大判プリンター

iPF760

ユーザーズガイド

印刷の流れ 15

さまざまな印刷方法 29

- CAD 図面を印刷する 42
- 拡大／縮小して印刷する 62
- 原寸で印刷する 75
- フチなしで印刷する 85
- 垂れ幕など定形外の用紙に印刷する 96
- 分割して印刷する／まとめて印刷する 109
- 用紙の中央に印刷する 124
- など

Windows ソフトウエア 153

- プリンタドライバ 154
- Preview 182
- フリーレイアウト 192
- Color imageRUNNER 連携拡大コピー 213
- Print Plug-In for Office 222
- など

Mac OS X ソフトウエア 287

- プリンタドライバ 288
- Preview 306
- Free Layout 328
- Color imageRUNNER 連携拡大コピー 353
- など

用紙の取り扱い 387

操作パネル 425

プリンタの各部 459

ネットワークの設定 467

画質の調整と改善 499

メンテナンスと消耗品 515

困ったときには 547

エラーメッセージ 577

仕様 599

付録 605

本プリンタのマニュアル

- セットアップガイド
- 基本操作ガイド
- ユーザーズガイド 電子マニュアル
- 用紙リファレンスガイド 電子マニュアル

ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

ver1.00 2011-12-15

メモ

本書は、プリンタに同梱の「User Manuals CD-ROM」に収録されている HTML 形式の製品マニュアルを、簡単に印刷できるよう PDF 形式にしたものです。そのため、一部 HTML 形式にのみ適用される説明文や、使用できない機能(動画表示機能など)があります。あらかじめご了承ください。

目次

印刷の流れ 15

印刷の手順 16

ロール紙印刷とカット紙印刷でできること 16
電源をオン/オフにする 17
ロール紙をセットして印刷する 19
カット紙をセットして印刷する 21
Windows から印刷する 22
Mac OS X から印刷する 23

印刷の中止 24

操作パネルから印刷を中止する 24
Windows から印刷を中止する 25
Mac OS X から印刷を中止する 25

印刷の一時停止 27

印刷を一時停止状態にする 27

さまざまな印刷方法 29

用紙を選択する 30

用紙の種類を選択して印刷する 30
プリンタドライバで用紙を指定する 30

写真やオフィス文書を印刷する 31

写真やイラストを印刷する 31
　写真やイラストを印刷する（Windows） 32
　写真やイラストを印刷する（Mac OS X） 33
オフィスの文書を印刷する 36
　オフィスの文書を印刷する（Windows） 36
　オフィスの文書を印刷する（Mac OS X） 37
PosterArtist で編集して印刷する 39

CAD 図面を印刷する 42

CAD の図面を印刷する 42
線画や文字を印刷する 42
　線画や文字を印刷する（Windows） 43
　線画や文字を印刷する（Mac OS X） 44
AutoCAD から印刷する 47
CAD 図面の色味を設定して印刷する 47
　CAD 図面の色味を設定して印刷する（Windows） 48
HP-GL/2 を使用して印刷する 49

画像を調整する 50

プリンタドライバで色を調整して印刷する 50
　写真やイラストの色を微調整して印刷する（Windows） 51
　写真やイラストの色を微調整して印刷する（Mac OS X） 54
印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する 56
　印刷の種類や印刷の条件を選択して印刷する（Windows） 58
　印刷の種類や印刷の条件を選択して印刷する（Mac OS X） 60

拡大／縮小して印刷する 62

用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する 62
　用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する（Windows） 62
　用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する（Mac OS X） 64
ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する 66
　ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する（Windows） 66
　ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する（Mac OS X） 68
指定した倍率で拡大/縮小して印刷する 70

指定した倍率で拡大/縮小して印刷する(Windows) 70
指定した倍率で拡大/縮小して印刷する(Mac OS X) 72
原寸で印刷する 75
オーバーサイズの用紙サイズに印刷する 75
原稿サイズの全面を原寸で印刷する(Windows) 76
原稿サイズの全面を原寸で印刷する(Mac OS X) 77
原寸大のフチなしで印刷する 79
原寸大のフチなしで印刷する(Windows) 80
原寸大のフチなしで印刷する(Mac OS X) 82
フチなしで印刷する 85
用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する 85
用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する(Windows) 86
用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する(Mac OS X) 87
ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する 90
ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する(Windows) 91
ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する(Mac OS X) 92
垂れ幕など定形外の用紙に印刷する 96
垂れ幕や横断幕を印刷する(長尺印刷) 96
垂れ幕や横断幕を印刷する(長尺印刷)(Windows) 96
垂れ幕や横断幕を印刷する(長尺印刷)(Mac OS X) 100
定形外の用紙に印刷する 103
定形外の用紙に印刷する(Windows) 103
定形外の用紙に印刷する(Mac OS X) 106
分割して印刷する／まとめて印刷する 109
複数の原稿を並べて印刷する 109
複数の原稿を並べて印刷する(Windows) 110
複数の原稿を並べて印刷する(Mac OS X) 111
複数ページをつなげて印刷する 113
複数ページをつなげて印刷する(Windows) 113
複数ページをつなげて印刷する(Mac OS X) 114
複数のページを 1 ページにまとめて印刷する 116
複数のページを 1 ページにまとめて印刷する(Windows) 117
複数のページを 1 ページにまとめて印刷する(Mac OS X) 118
ポスターを分割して印刷する 121
大きなポスターを印刷する(Windows) 121
用紙の中央に印刷する 124
原稿をロール紙の中央に印刷する 124
原稿をロール紙の中央に印刷する(Windows) 124
原稿をロール紙の中央に印刷する(Mac OS X) 126
原稿をカット紙の中央に印刷する 128
原稿をカット紙の中央に印刷する(Windows) 128
原稿をカット紙の中央に印刷する(Mac OS X) 130
ロール紙を節約して印刷する 133
原稿を 90 度回転してロール紙を節約する 133
原稿を 90 度回転してロール紙を節約する(Windows) 133
原稿を 90 度回転してロール紙を節約する(Mac OS X) 134
原稿の上下の余白分のロール紙を節約する 137
原稿の上下の余白分のロール紙を節約する(Windows) 137
原稿の上下の余白分のロール紙を節約する(Mac OS X) 139
印刷前に確認する 142
印刷前にプレビューでレイアウトを確認する 142
その他の便利な設定 143
スタンプを押して印刷する 143
COPY や社外秘などのスタンプを押して印刷する(Windows) 144
原稿の向きを用紙に合わせて印刷する 145

原稿の向きを用紙に合わせて印刷する(Windows) 146
原稿の向きを用紙に合わせて印刷する(Mac OS X) 147
お気に入りの設定で印刷する 149
印刷後にロール紙をカットする 149
印刷後にロール紙をカットする(Windows) 150
印刷後にロール紙をカットする(Mac OS X) 150

Windows ソフトウエア 153

プリンタドライバ 154

プリンタドライバの設定項目 154
プリンタドライバで用紙を指定する 155
印刷の設定を確認する 157
印刷前にプレビューでレイアウトを確認する 157
お気に入りの設定で印刷する 158
アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く 160
システムのメニューからプリンタドライバのダイアログボックスを開く 161
基本設定シート 162
プリンタの用紙情報ダイアログボックス 165
用紙の詳細設定ダイアログボックス 166
印刷目的の設定確認ダイアログボックス 167
色調整シート(カラー) 167
調整の対象ダイアログボックス(カラー) 168
マッチングシート 169
色調整シート(モノクロ) 170
調整の対象ダイアログボックス(モノクロ) 171
ページ設定シート 172
ユーザ用紙設定ダイアログボックス 174
レイアウトシート 175
ページオプションダイアログボックス 176
処理オプションダイアログボックス 177
お気に入りシート 178
ユーティリティシート 179
サポートシート 180
設定一覧ダイアログボックス 180
デバイス設定シート 181

Preview 182

Preview の特長 182
Preview の起動方法 182
Preview メインウィンドウ 183
ダイアログエリア 185
画面表示を拡大/縮小する 186
ページを移動する 186
ルーラーを使用する 186
90 度回転の優先設定を行う 187
レイアウトを選択して印刷する 188
中央に印刷する 190
上下の余白を印刷しない 191

フリーレイアウト 192

フリーレイアウトの特長 192
フリーレイアウトの起動方法 192
フリーレイアウト メインウィンドウ 194
詳細設定ダイアログ 195
環境設定ダイアログボックス 195
ページオプションダイアログボックス 196
ズームダイアログボックス 197
書式設定ダイアログボックス 198

複数のファイルの原稿を 1 ページに配置する 199
複数のアプリケーションソフトで作成した原稿を 1 ページに配置する 201
オブジェクトを選択する 203
オブジェクトのサイズを変更する 204
オブジェクトを移動する 205
オブジェクトを回転する 205
オブジェクトを自動配置する 205
オブジェクトを整列する 206
オブジェクトの重なり順を変更する 207
コピーまたは切り取ったオブジェクトを貼り付ける 208
折り返し両面ウィンドウ 209
仕上りサイズ設定ダイアログボックス 210
とじしろ設定ダイアログボックス 211
折り返し両面で印刷する 211

Color imageRUNNER 連携拡大コピー 213
Color imageRUNNER 連携拡大コピーの特長 213
Color imageRUNNER 連携拡大コピーの起動方法 213
Color imageRUNNER 連携拡大コピーダイアログボックス 214
ホットフォルダ 215
ホットフォルダを新規作成する 215
既存の共有フォルダをホットフォルダに指定する 218
印刷について設定する 220
Color imageRUNNER でスキャンした原稿を拡大印刷する 221

Print Plug-In for Office 222
Print Plug-In for Office の特長 222
インストール手順 222
アンインストール手順 225
Print Plug-In for Office が表示されないときには 225
Microsoft Word からの起動方法 228
ロール紙幅に合わせて印刷する(Word) 230
フチなし印刷する(Word) 232
割り付け印刷する(Word) 234
設定を登録する(Word) 235
登録した設定で印刷する(Word) 236
垂れ幕を印刷する/横断幕を印刷する(Word) 237
Microsoft PowerPoint からの起動方法 239
ロール紙幅に合わせて印刷する(PowerPoint) 241
フチなし印刷する(PowerPoint) 242
割り付け印刷する(PowerPoint) 245
設定を登録する(PowerPoint) 246
登録した設定で印刷する(PowerPoint) 247
垂れ幕を印刷する/横断幕を印刷する(PowerPoint) 248
Microsoft Excel からの起動方法 250
シート全体を印刷する(Excel) 251
選択した範囲を印刷する(Excel) 254
とじしろを設定する(Excel) 256
処理オプションを設定する 257

Status Monitor 259
imagePROGRAF Status Monitor の特長 259
imagePROGRAF Status Monitor によるジョブ管理 260

アカウンティング 261
アカウンティングについて 261
アカウンティングの起動方法 261
アカウンティング メインウィンドウ 262
ジョブリストエリア 264
アカウンティングの基本的な手順 265
アカウンティングの単価を設定する 265
インクの単価を設定する 265

用紙の単価を設定する 266
インクと用紙以外の価格を設定する 267
アカウンティングの表示と単位の設定をする 268
ジョブ履歴を定期的に自動取得する 268
ジョブ履歴の定期取得を解除する 269
プリンタ内ジョブと定期取得ジョブの表示を切り替える 269
ジョブ情報を CSV ファイルに出力する 269
ジョブのプロパティを表示する 269
設定した単価情報の表示、保存、読み込みをする 270
インクと用紙の総使用量を表示する 270

Device Setup Utility 271

imagePROGRAF Device Setup Utility 271
imagePROGRAF Device Setup Utility をインストールする 271
imagePROGRAF Device Setup Utility で IP アドレスを設定する 271

Media Configuration Tool 274

Media Configuration Tool の特長 274
インストール手順 274
Media Configuration Tool の起動方法 276
Media Configuration Tool メインウィンドウ 277
用紙種類情報を編集する 277
用紙種類の追加 278
用紙名称の変更 280
追加した用紙種類の削除 281
用紙種類の表示/非表示を切り替える 282
用紙種類の表示順序を変更する 283
用紙の種類を更新する 284

Mac OS X ソフトウエア 287

プリンタドライバ 288

プリンタドライバの設定項目 288
プリンタドライバで用紙を指定する 289
印刷の設定を確認する 290
印刷前にプレビューでレイアウトを確認する 291
お気に入りの設定で印刷する 292
アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く 292
基本設定パネル 293
プリンタの用紙情報ダイアログボックス 295
用紙の詳細設定ダイアログボックス 296
印刷目的の設定確認ダイアログボックス 297
マッチングパネル 297
色設定パネル(カラー) 299
調整の対象ダイアログボックス(カラー) 300
色設定パネル(モノクロ) 300
調整の対象ダイアログボックス(モノクロ) 301
ページ加工パネル 302
ユーティリティパネル 303
付加設定パネル 304
サポートパネル 304

Preview 306

Preview の特長 306
Preview の起動方法 306
Preview メインウィンドウ 307
用紙設定パネル 310
目的設定モード 311
詳細設定モード 313
出力設定パネル 314
色設定パネル 316

色調整 317
マッチング 319
ドライバ補正モード 320
ICC 補正モード 321
ColorSync モード 322
環境設定ダイアログボックス 322
ズームダイアログボックス 323
ページ移動ダイアログボックス 323
フチなしで印刷する 323
中央に印刷する 324
上下の余白を印刷しない 324
ページを 90 度回転して印刷する 325
用紙の幅に合わせて表示する 325
全体を表示する 326
実際のサイズで表示する 326
ページを移動する 327

Free Layout 328

Free Layout の特長 328
Free Layout の起動方法 328
Free Layout メインウィンドウ 329
用紙設定パネル 332
目的設定モード 333
詳細設定モード 335
色設定パネル 336
色調整 337
マッチング 339
ドライバ補正モード 341
ICC 補正モード 342
ColorSync モード 343
環境設定ダイアログボックス 343
ページ設定ダイアログボックス 344
ズームダイアログボックス 345
書式設定ダイアログボックス 346
複数のファイルの原稿を 1 ページに配置する 346
複数のアプリケーションソフトで作成した原稿を 1 ページに配置する 347
オブジェクトを選択する 347
オブジェクトのサイズを変更する 348
オブジェクトを移動する 348
オブジェクトを回転する 349
オブジェクトを自動配置する 349
オブジェクトを整列する 349
オブジェクトの重なり順を変更する 351
コピーまたは切り取ったオブジェクトを貼り付ける 352

Color imageRUNNER 連携拡大コピー 353

Color imageRUNNER 連携拡大コピーの特長 353
Color imageRUNNER 連携拡大コピーの起動方法 353
Color imageRUNNER 連携拡大コピーダイアログボックス 354
ホットフォルダ 355
ホットフォルダを新規作成する 355
ホットフォルダを編集する（印刷条件の設定） 357
ホットフォルダを削除する 359
印刷について設定する 359
用紙設定パネル 360
目的設定モード 361
詳細設定モード 362
出力設定パネル 363
色設定パネル 364
ドライバ補正モード 365
ICC 補正モード 366
ColorSync モード 367

Color imageRUNNER でスキャンした原稿を拡大印刷する 367

Printmonitor 369

imagePROGRAF Printmonitor の特長 369
imagePROGRAF Printmonitor によるジョブ管理 370

Media Configuration Tool 371

Media Configuration Tool の特長 371
インストール手順 371
アンインストール手順 373
Media Configuration Tool の起動方法 375
Media Configuration Tool メインウィンドウ 376
用紙種類情報を編集する 377
用紙種類の追加 377
用紙名称の変更 379
追加した用紙種類の削除 380
用紙種類の表示/非表示を切り替える 381
用紙種類の表示順序を変更する 382
用紙の種類を更新する 383

用紙の取り扱い 387

用紙について 388

用紙の種類 388
用紙のサイズ 388
用紙リファレンスガイドを表示する 390
最新の用紙情報に更新する 391

ロール紙の取り扱い 393

ロール紙にロールホルダーをセットする 393
ロール紙をプリンタにセットする 395
用紙の種類を変更する 398
用紙の長さを設定する 399
ロール紙をプリンタから取り外す 400
ロール紙からロールホルダーを取り外す 402
ロール紙を手動で送る 403
ロール紙の残量を管理する 404
ロール紙のインク乾燥時間を設定する 404
ロール紙のカット方法を設定する 406
ロール紙の先端を自動でカットする 410
ロール紙のカット屑を軽減する 411

カット紙の取り扱い 413

カット紙をプリンタにセットする 413
任意の位置から印刷を開始する 415
カット紙を取り外す 418

バスケット 419

バスケットを使用する 419

操作パネル 425

操作とディスプレイ 426

操作パネル 426
操作パネルのディスプレイ 427
ナビの見かた 431
ガイダンスを見ながら操作する 432

プリンタのメニュー 434

プリンタのメニューでできること 434
メニューを操作する 435

メニューの階層 438
メニューの設定値 443
ステータスプリントについて 452
インタフェース設定プリントについて 454

プリンタの各部 459

各部の説明 460

前面 460
側面 461
上カバー内部 462
ロール紙カバー内部 463
キャリッジ 463
インクタンクカバー内部 464
スタンド 465

オプション 466

ロールホルダーセット 466

ネットワークの設定 467

ネットワーク環境 468

ネットワーク環境について 468

リモート UI を使用する 471

リモート UI を使う 471

最初の設定 473

プリンタに IP アドレスを設定する 473
　プリンタの操作パネルで IP アドレスを設定する 473
　ARP/PING コマンドで IP アドレスを設定する 474
TCP/IPv6 ネットワークを設定する 475
プリンタドライバの接続先を設定する（Windows） 476
プリンタドライバの接続先を設定する（Mac OS X） 476
リモート UI でプリンタに TCP/IP ネットワークの設定をする 477

NetWare の設定 480

NetWare ネットワークを設定する 480
プリンタのフレームタイプを設定する 480
NetWare プリントサービスを設定する 483
リモート UI でプリンタに NetWare ネットワークの設定をする 485

Mac OS X の設定 488

TCP/IP ネットワークで接続先を設定する 488
Bonjour ネットワークで接続先を設定する 489
AppleTalk ネットワークで接続先を設定する 490
プリンタに AppleTalk ネットワークの設定をする 492

その他の設定 494

プリンタの情報を設定する 494
通信方式を手動で設定する 495
印刷の終了やエラーの発生を電子メールで通知する 496
ネットワークの設定を初期化する 496

画質の調整と改善 499

プリントヘッドの調整 500

プリントヘッドを調整する ... 500
縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する（ヘッド位置調整） ... 500
縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する（ヘッド位置調整） ... 501
罫線のずれを調整する（ヘッド傾き調整） ... 503
用紙のこすれや画像のぼやけを改善する（ヘッド高さ） ... 505

用紙送りの調整 507

用紙の送り量を調整する ... 507
用紙の送り量の調整方法を選択する（紙送り調整） ... 507
横スジを自動で調整する（画質調整） ... 508
横スジを手動で調整する（画質調整） ... 509
用紙の送り量を微調整する（紙送り微調整） ... 511
罫線の長さを調整する（長さ調整） ... 511
用紙の吸着力を変更する（吸着力） ... 513

メンテナンスと消耗品 515

インクタンク 516

インクタンク ... 516
インクタンクを交換する ... 516
インクタンクの残量を確認する ... 521
インクタンクの交換時期について ... 521

プリントヘッド 523

プリントヘッド ... 523
ノズルのつまりをチェックする ... 523
プリントヘッドをクリーニングする ... 524
プリントヘッドを交換する ... 525

メンテナンスカートリッジ 531

メンテナンスカートリッジ ... 531
メンテナンスカートリッジを交換する ... 531
メンテナンスカートリッジの残り容量を確認する ... 535
メンテナンスカートリッジの交換時期について ... 535

プリンタの清掃 537

プリンタの外装を清掃する ... 537
上カバー内部を清掃する ... 537

その他のメンテナンス 541

プリンタの輸送の準備をする ... 541
ファームウェアをアップデートする ... 544

消耗品 545

困ったときには 547

よくある質問 548

よくある質問 ... 548

用紙に関連するトラブル 550

用紙のつまりを取り除く（給紙口内部） ... 550
ロール紙のつまりを取り除く ... 552
カット紙のつまりを取り除く ... 554
ロール紙が給紙口に入らない ... 556
カット紙をセットできない ... 557
用紙をきれいにカットできない ... 557
用紙がカットされない ... 557

用紙先端にくぼんだような跡が付く 557
クリアフィルムのサイズを検知できない 557
ロール紙が排出され続ける 557

印刷が開始されない 558

操作パネルのデータ受信ランプが点灯しない 558
印刷データを送信してもプリンタが動かない 558
ディスプレイにインク充填中です。と表示された 558
ディスプレイに攪拌中です。と表示された 558

プリンタが途中で停止する 559

ディスプレイにエラーメッセージが表示される 559
用紙が白紙で排紙される 559

印刷品質のトラブル 560

印刷がかすれる 560
プリントヘッドが用紙にこすれる 560
用紙の端が汚れる 561
用紙の表面が汚れる 562
用紙の裏面が汚れる 562
色味が違って印刷される 562
色味の違うスジが入る 562
色ムラが発生する 563
画像の端部がぼやけたり、白スジが入る 564
印刷中に周期的な濃淡差が発生する 564
印刷物の用紙送り方向の長さが正確でない 564
用紙に対して斜めに印刷される 564
モノクロで印刷される 565
線の太さが均一に印刷されない 565
罫線がずれる 565

ネットワーク環境で印刷できない 566

プリンタをネットワークに接続できない 566
TCP/IP ネットワークで印刷できない 566
NetWare ネットワークで印刷できない 566
AppleTalk や Bonjour ネットワークで印刷できない 567

インストールに関連するトラブル 568

コンピュータがプリンタを認識できない 568
インストールしたプリンタドライバを削除したい 568

HP-GL/2 関連のトラブル 570

HP-GL/2 で印刷位置がずれる 570
HP-GL/2 で線や画像が欠けて印刷される 570
HP-GL/2 で線が太く（細く）印刷される 570
HP-GL/2 でモノクロ（カラー）で印刷される 570
HP-GL/2 の線画で色味が違って印刷される 570
HP-GL/2 で指定したサイズよりも 6mm 大きく印刷される 570
HP-GL/2 で定型サイズを指定しても最大サイズで出力される 571
HP-GL/2 で出力時間が長い 571
HP-GL/2 でリプロットできない 571
HP-GL/2 でプリンタが途中で停止する（キャリッジの停止） 571

その他のトラブル 572

電源がオンにならない 572
異常音かなと思ったときには 572
メンテナンスカートリッジの確認を指示するメッセージが消えない 572
インクが異常に消費される 572
インク残量検知機能について 573

エラーメッセージ 577

エラーメッセージ一覧 578

用紙関連のメッセージ 580

用紙種類が違います ... 580
用紙が小さいです ... 581
用紙が小さいです。 ... 581
用紙幅が違います ... 582
用紙サイズを検知できません。 ... 582
このデータを印刷するには用紙が足りません。 ... 583
この用紙は使用できません。 ... 583
ロール紙印刷が指定されています。 ... 583
ロール紙印刷が指定されましたが､カット紙がセットされています。 ... 584
ロール紙がなくなりました。 ... 584
カット紙印刷が指定されています。 ... 584
カット紙印刷が指定されましたが､ロール紙がセットされています。 ... 585
用紙がつまりました ... 585
用紙が斜めです。 ... 585
用紙が右側のガイドに合っていません。 ... 586
用紙を検知できません。 ... 586
用紙カットに失敗しました。 ... 586
紙送り量のリミットに達しました。 ... 587
リリースレバーの位置が不正です。 ... 587
フチなし印刷ができません。 ... 587
用紙のセット位置がフチなし印刷に適していません。 ... 588
ロール紙がロールホルダーにしっかり突き当たっていません 。 ... 588

インク関連のメッセージ 589

インクが不足しています。 ... 589
インクがありません。 ... 589
インクの残量を正しく検知できません。 ... 589
インク残量を正しく検知できません。 ... 589
インクタンクカバーを閉じてください。 ... 589
インクタンクが空です。 ... 590
インク残量が少ないです。 ... 590
インクタンクが装着されていません。 ... 590
インクタンクが違います。 ... 590
インクタンクを抜き取らないでください。 ... 590

印刷／調整関連のメッセージ 591

紙送り調整できません。 ... 591
印刷された出力物を確認してください。 ... 591

プリントヘッド関連のメッセージ 592

ヘッド調整できません ... 592
プリントヘッドが違います。 ... 592
プリントヘッドが異常です。 ... 592
プリントヘッドがありません。 ... 592
ヘッドクリーニングを行ってください。 ... 592

メンテナンスカートリッジ関連のメッセージ 594

メンテナンスカートリッジを装着してください。 ... 594
メンテナンスカートリッジが違います。 ... 594
メンテナンスカートリッジ 残り容量が少ないです。 ... 594
メンテナンスカートリッジの残り容量がありません ... 594
メンテナンスカートリッジがいっぱいです。 ... 594
メンテナンスカートリッジが異常です。 ... 594

HP-GL/2 関連のメッセージ 595

この用紙種類は HP-GL/2 でサポートされません。 ... 595
GL2:Wxxxx メモリがいっぱいです。(xxxx は 0501/0903/0904) ... 595

GL2:W0502 パラメータが範囲外です。 595
GL2:W0504 サポートしていないコマンドです。 595

その他のメッセージ 596

GARO Wxxxx(x は数字) 596
エラー Exxx-xxxx(x は英数字) 596
ハードウェアエラー xxxxxxxx-xxxx(x は英数字) 596
上カバーが開いています。 596
部品交換が近付いています。 597
部品交換目安を過ぎています。 597
ファイルを認識できませんでした。 597
マルチセンサが異常です。 597
カッターポジションが異常です。 597

仕様

仕様 599

プリンタの仕様 600

仕様 600
印刷領域 602

付録

付録 605

安全にお使いいただくために 606

安全にお使いいただくために 606
規制について 608

本プリンタのマニュアル 609

本プリンタのマニュアル 609
この製品マニュアルについて 609

このマニュアルの使い方 611

トピック検索について 611
印刷用 HTML について 612

印刷の手順

ロール紙印刷とカット紙印刷でできること 16
電源をオン/オフにする 17
ロール紙をセットして印刷する 19
カット紙をセットして印刷する 21
Windows から印刷する 22
Mac OS X から印刷する 23

ロール紙印刷とカット紙印刷でできること

このプリンタでは、ロール紙とカット紙に印刷できます。
ここでは、ロール紙印刷、カット紙印刷の特徴と設定できる主な印刷方法を紹介します。目的に応じて用紙を選択してください。

メモ

- プリンタに対応する用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類」参照) →P.388
- ここで紹介している印刷方法以外にも、さまざまな印刷方法があります。「目次」から「さまざまな印刷データ」や「さまざまな印刷方法」を参照し、目的に合った印刷を行なってください。

ロール紙印刷

ロール紙とは、ロール状に巻かれている用紙のことです。ロールホルダーにセットし、プリンタに取り付けます。
大判サイズの写真や、通常のカット紙では印刷できないポスターや横断幕などを印刷することができます。

- 長尺印刷
  Microsoft Office などのアプリケーションソフトから、垂れ幕や横断幕を簡単に印刷できます。
  (「垂れ幕や横断幕を印刷する(長尺印刷)」参照) →P.96
- フチなし印刷
  ポスターや写真などの周囲に余白(フチ)を入れずに印刷できます。
  (「用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する」参照) →P.85
  (「ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する」参照) →P.90
  (「原寸大のフチなしで印刷する」参照) →P.79
- バナー印刷
  複数ページのデータを、ページ間の余白を無くして一枚のつながった用紙として印刷できます。
  (「複数ページをつなげて印刷する」参照) →P.113
- 90 度回転印刷
  縦長の原稿を印刷するとき、原稿を 90 度回転し、余白を減らして印刷できます。
  (「原稿を 90 度回転してロール紙を節約する」参照) →P.133
- 拡大/縮小印刷
  原稿を大きく引き伸ばしたり、縮小したり、サイズを自由に調整して印刷できます。
  (「用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する」参照) →P.62
  (「ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する」参照) →P.66
  (「指定した倍率で拡大/縮小して印刷する」参照) →P.70
- フリーレイアウト機能
  ワープロソフトや表計算ソフトなど、複数のアプリケーションソフトの原稿を、並べて印刷できます。
  (「複数の原稿を並べて印刷する」参照) →P.109

カット紙印刷

カット紙とは、一枚ずつ裁断されている用紙です。単票紙ともいいます。
カット紙はプラテンと用紙押さえの間にセットします。

- 拡大/縮小印刷
  原稿を大きく引き伸ばしたり、縮小したり、サイズを自由に調整して印刷できます。
  (「用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する」参照) →P.62
  (「指定した倍率で拡大/縮小して印刷する」参照) →P.70
- フリーレイアウト機能
  ワープロソフトや表計算ソフトなど、複数のアプリケーションソフトの原稿を、並べて印刷できます。

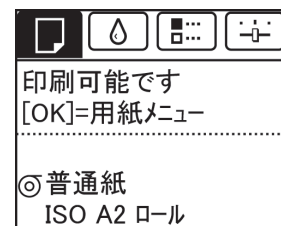
（「複数の原稿を並べて印刷する」参照） →P.109

電源をオン/オフにする

電源をオンにする

1 [電源]キーを押して、プリンタの電源をオンにします。
プリンタが起動します。
ディスプレイにキヤノンのロゴが表示され、続いて[起動中です。しばらくお待ちください。]と表示されます。

2 起動が完了すると、[電源ランプ]が点灯し、[スタンバイ]になります。

以下の場合は、[スタンバイ]になりません。必要な処置を行ってください。

- 上カバーが開いている場合
  上カバーを閉じてください。
- インクタンクカバーが開いている場合
  インクタンクカバーを閉じてください。
- プリントヘッドがセットされていない場合
  「プリントヘッドを交換する」を参照してください。 →P.525
- インクタンクがセットされていない場合
  「インクタンクを交換する」を参照してください。 →P.516
- ディスプレイに[エラー]が表示された場合
  「エラーメッセージ一覧」を参照してください。 →P.578
- [電源ランプ]や[メッセージランプ]が一度も点灯しなかったり、ディスプレイに何も表示されない場合
  電源コードやコンセントの接続を確認してください。

- 用紙がセットされていない場合

  用紙をセットしてください。（「ロール紙をセットして印刷する」参照） →P.19 （「カット紙をセットして印刷する」参照） →P.21

重要

- プリンタと Macintosh を USB ケーブルで接続している場合、プリンタの電源をオンにすると、シャットダウンしていた Macintosh も同時に起動することがあります。同時に起動させたくない場合は、USB ケーブルを取り外してからプリンタの電源をオンにしてください。なお、USB ハブを使用してプリンタと Macintosh を接続すると、この問題が解決される場合があります。

電源をオフにする

重要

- プリンタの動作中は、絶対に電源供給を切ったり、電源コードを抜かないでください。プリンタの故障や破損の原因になります。

1 プリンタが動作中でないことを確認します。
[メッセージランプ]が点滅している場合は、ディスプレイのメッセージを確認して必要な処置を行ってください。
（「エラーメッセージ一覧」参照） →P.578

[データ受信ランプ]が点滅している場合は、印刷ジョブを受信中です。印刷が終了してから電源をオフにしてください。

2 [電源]キーを 1 秒以上押し続けます。

ディスプレイに[終了します。しばらくお待ちください。]と表示され、電源がオフになります。

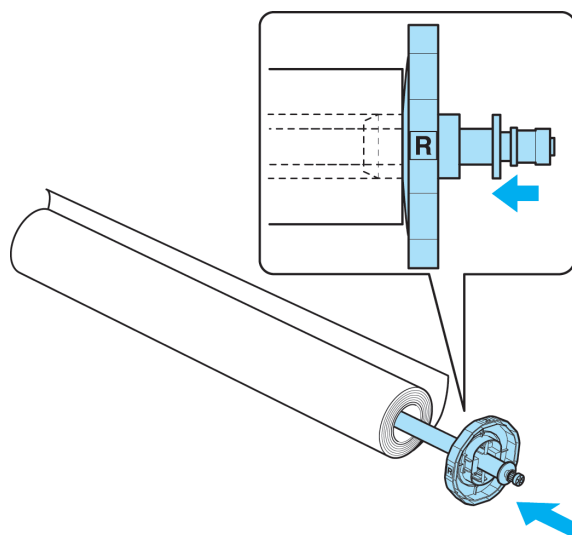
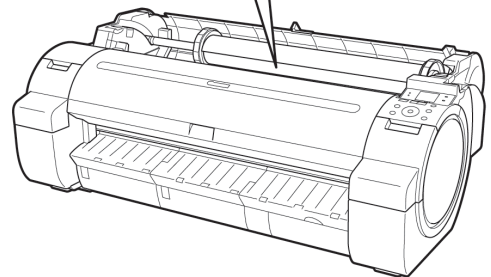
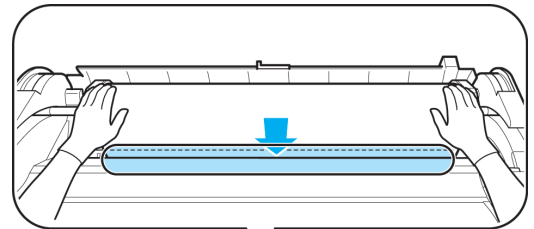
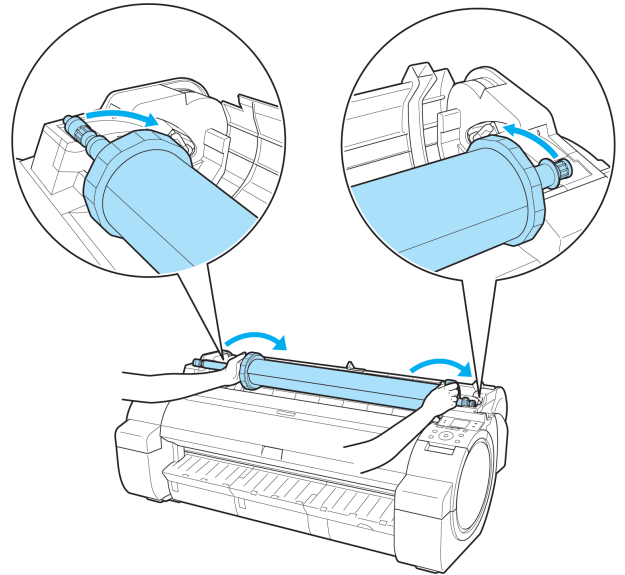
ロール紙をセットして印刷する

ここでは、ロール紙をセットしてから印刷するまでの基本的な操作を説明します。
ロール紙をセットして印刷する場合は以下の手順を行ってください。

メモ

- セットできるロール紙のサイズと種類については、[用紙のサイズ]、または用紙リファレンスガイドを参照してください。（「用紙のサイズ」参照） →P.388 （「用紙の種類」参照） →P.388
- 印刷後にインクの乾燥を待って排紙したい場合などには、ロール紙を自動でカットせずに、手動でカットすることもできます。（「ロール紙のカット方法を設定する」参照） →P.406

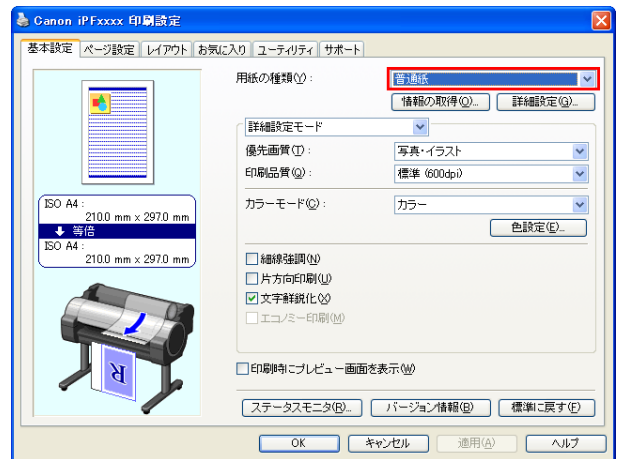
1 プリンタの電源をオンにします。（「電源をオン/オフにする」参照） →P.17

2 ロール紙にロールホルダーをセットします。（「ロール紙にロールホルダーをセットする」参照） →P.393

3 ロール紙をプリンタにセットします。(「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.395

4 用紙の種類を選択します。(「用紙の種類を変更する」参照) →P.398

メモ

- ロール紙にバーコードが印刷されていなくて、[ロール紙残量管理]が[オン]に設定されている場合は、用紙の種類を選択した後、続けて、用紙の長さを選択してください。(「用紙の長さを設定する」参照) →P.399

5 プリンタドライバで用紙の種類などを選択します。

- プリンタドライバで用紙を指定する(Windows) →P.155
- プリンタドライバで用紙を指定する(Mac OS X) →P.289

6 印刷ジョブを送信します。

- Windows から印刷する →P.22
- Mac OS X から印刷する →P.23

印刷が開始されます。

カット紙をセットして印刷する

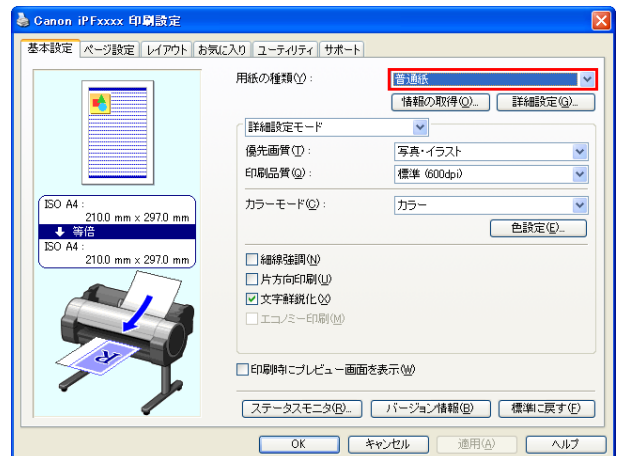
ここでは、カット紙をセットしてから印刷するまでの基本的な操作を説明します。
カット紙をセットして印刷する場合は以下の手順を行ってください。

メモ

- セットできる用紙のサイズと種類については、[用紙のサイズ]、または用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙のサイズ」参照) →P.388 (「用紙の種類」参照) →P.388

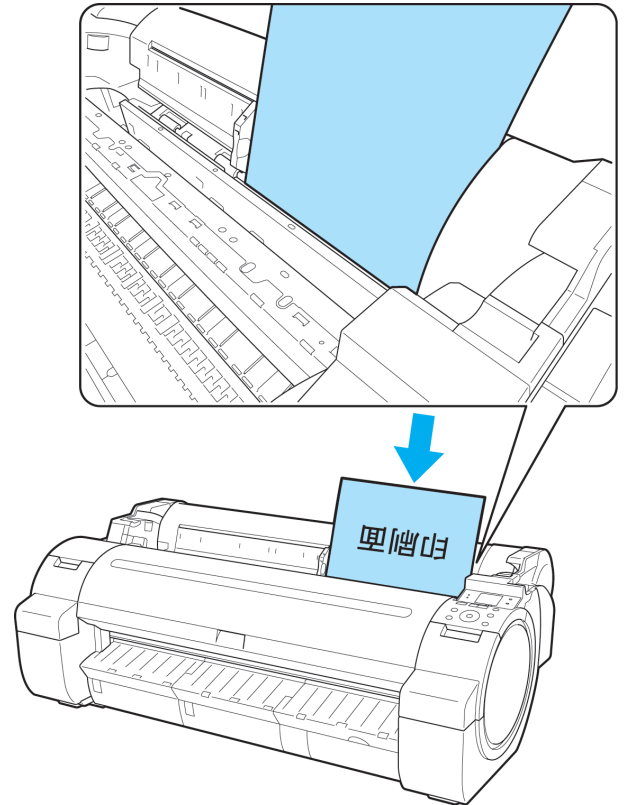
1 プリンタの電源をオンにします。(「電源をオン/オフにする」参照) →P.17

2 プリンタドライバで用紙の種類などを選択します。

- プリンタドライバで用紙を指定する(Windows) →P.155
- プリンタドライバで用紙を指定する(Mac OS X) →P.289

3 印刷ジョブを送信します。

- Windowsから印刷する →P.22
- Mac OS Xから印刷する →P.23

4 カット紙をセットします。(｢カット紙をプリンタにセットする｣参照) →P.413

印刷が開始されます。

Windowsから印刷する

アプリケーションソフトのメニューから印刷します。

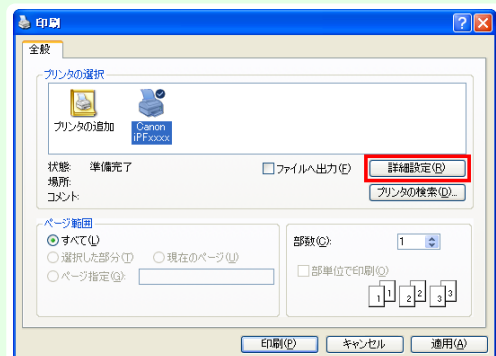
重要

- 印刷するときは、印刷に必要のないアプリケーションソフトを終了することをお勧めします。印刷するときに多くのアプリケーションソフトを起動していると、コンピュータに負荷がかかるため、プリンタへの印刷ジョブの送信が途切れて印刷品質が低下する場合があります。

1 アプリケーションソフトの[ファイル]メニューから[印刷](プリント)を選択し、印刷条件を設定するダイアログボックスを開きます。

2 表示されるダイアログボックスで、プリンタが選択されていることを確認し、[印刷]や[OK]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 表示されるダイアログボックスはアプリケーションソフトによって異なります。多くのアプリケーションソフトでは、このダイアログボックスで、印刷に使用するプリンタを選択したり、印刷するページや印刷部数などの基本的な印刷条件を設定できます。
  アプリケーションソフトから表示される[印刷]ダイアログボックスの例

- 他のプリンタが選択されている場合は、[プリンタの選択]の一覧や[プリンタ設定]をクリックして表示されるダイアログボックスで、印刷に使用するプリンタを選択します。

拡大/縮小印刷やフチなし印刷など、さまざまな印刷の設定は、プリンタドライバのダイアログボックスで行います。プリンタドライバのダイアログボックスを開くには、以下の 2 種類の方法があります。

- アプリケーションソフトから開く
  (「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く (Windows)」参照) →P.160
- システムのメニューから開く
  (「システムのメニューからプリンタドライバのダイアログボックスを開く (Windows)」参照) →P.161

Mac OS X から印刷する

コンピュータでプリンタを登録し、アプリケーションソフトのメニューから印刷します。

重要

- 印刷するときは、印刷に必要のないアプリケーションソフトを終了することをお勧めします。印刷するときに多くのアプリケーションソフトを起動していると、コンピュータに負荷がかかるため、プリンタへの印刷ジョブの送信が途切れて印刷品質が低下する場合があります。

プリンタを登録する

印刷する前に、[imagePROGRAF PrinterSetup.app] でプリンタを登録しておく必要があります。
プリンタを登録する方法については、「プリンタドライバの接続先を設定する (Mac OS X)」を参照してください。
→P.476

重要

- プリンタを登録するときに、プリンタの電源がオフになっていたり、ケーブルが外れていると、プリンタの一覧にプリンタが表示されません。

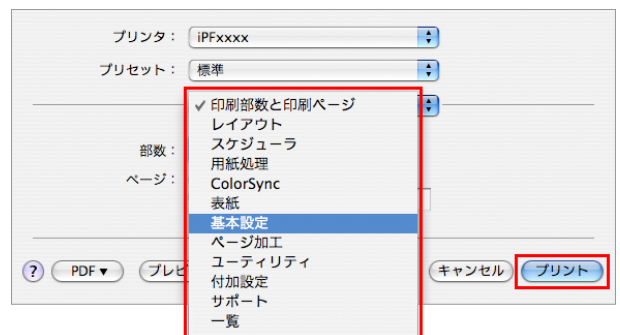
アプリケーションソフトから印刷する

1 アプリケーションソフトの [ファイル] メニューから [プリント] を選択し、印刷条件を設定するダイアログボックスを開きます。

メモ

- このダイアログボックスで、印刷に使用するプリンタを選択したり、印刷するページや印刷部数などの基本的な印刷条件を設定できます。

2 [プリンタ] の一覧からプリンタを選択します。

3 [プリント] をクリックして印刷を開始します。
拡大/縮小印刷やフチなし印刷など、さまざまな印刷の設定は、図のように、ダイアログボックスのパネルを切り替えて行います。

印刷の中止

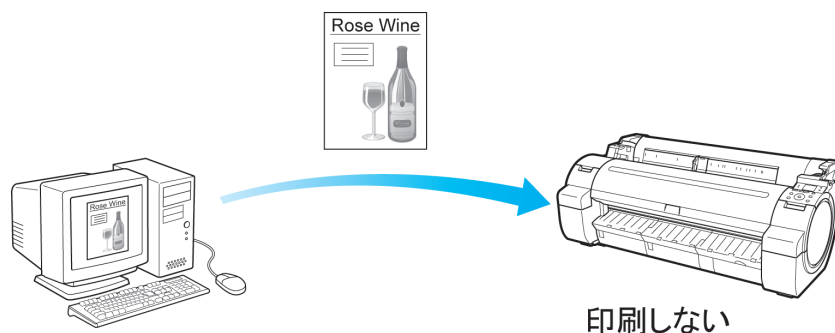
操作パネルから印刷を中止する 24
Windows から印刷を中止する 25
Mac OS X から印刷を中止する 25

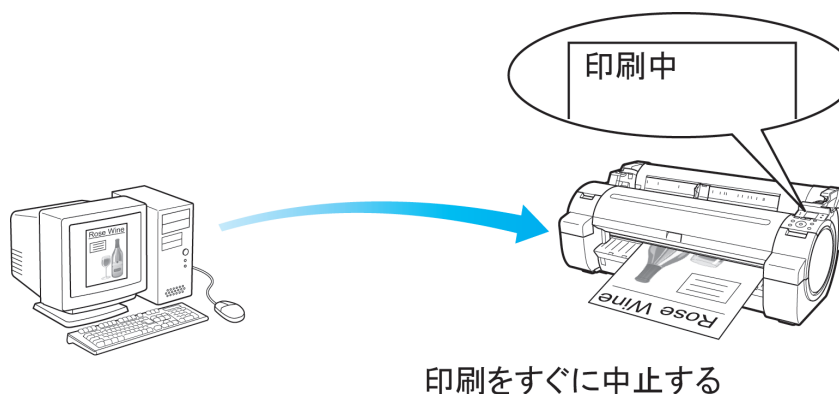
操作パネルから印刷を中止する

操作パネルの[ストップ]キーを押すと、プリンタで受信中、または印刷中のジョブを中止できます。

印刷時に[ストップ]キーを押した場合、そのときの状況によってプリンタの動作が異なります。

- 印刷が開始される前に[ストップ]キーを押した場合

  印刷の開始前に[ストップ]キーを押すと、確認画面が表示されます。[する]を選択すると、印刷ジョブがキャンセルされます。

- 印刷中に[ストップ]キーを押した場合

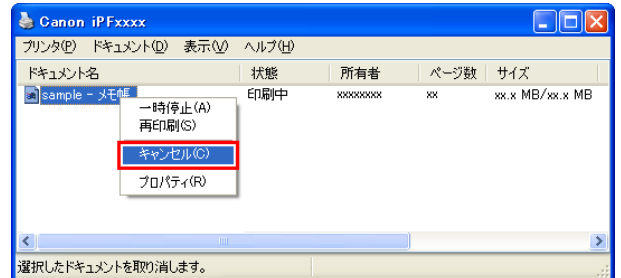
  印刷中に[ストップ]キーを押すと、確認画面が表示されます。[する]を選択すると、すぐに印刷が中止されます。

Windows から印刷を中止する

プリンタに送信中のジョブは、プリンタのウィンドウで中止できます。
プリンタで受信したジョブおよび印刷中のジョブは、imagePROGRAF Status Monitor から中止できます。

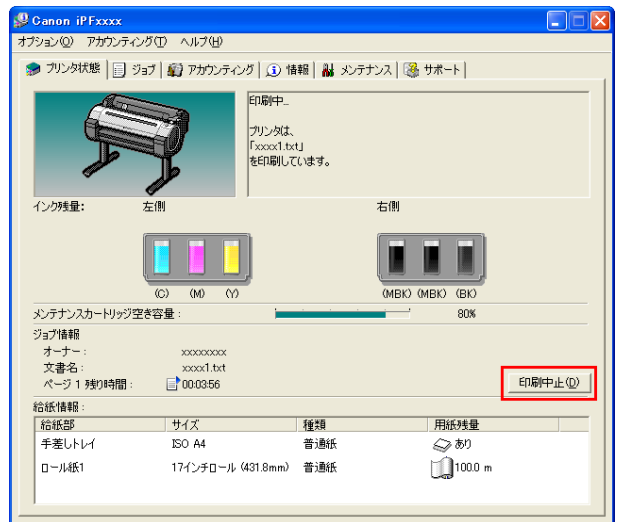
1 タスクバーに表示されているプリンタのアイコンをクリックし、プリンタのウィンドウを開きます。

メモ

- Windows の[スタート]メニューの[プリンタと FAX](または[プリンタ])から、プリンタのアイコンをダブルクリックして開くこともできます。

2 中止するドキュメントを選択し、右クリックして表示されるメニューから[キャンセル]を選択します。

3 プリンタのウィンドウに中止対象のジョブが無い場合(プリンタへの印刷データの送信が終了した場合)は、タスクバーのアイコンをダブルクリックし、imagePROGRAF Status Monitor を開きます。

4 [プリンタ状態]シートの[印刷中止]をクリックします。

メモ

- お使いの機種によっては画面が多少異なります。

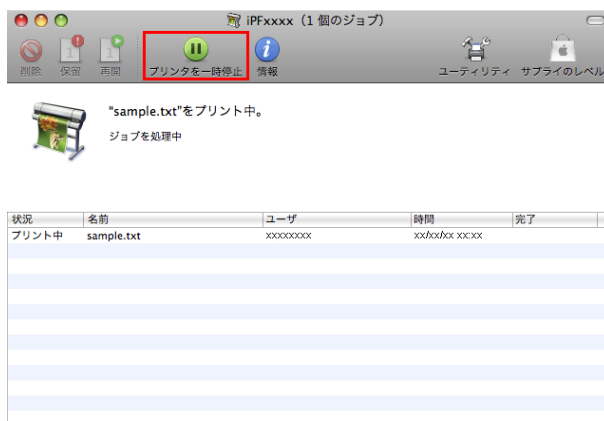
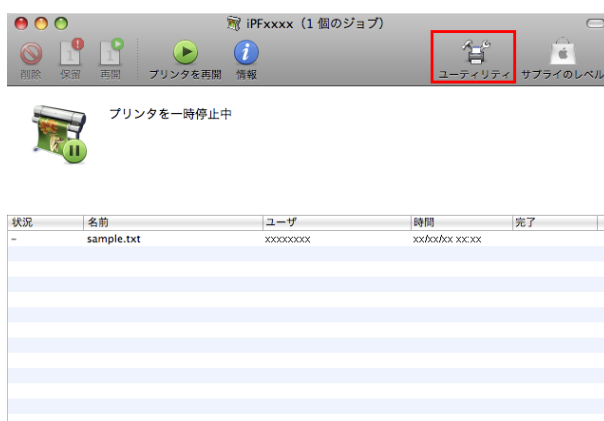
Mac OS X から印刷を中止する

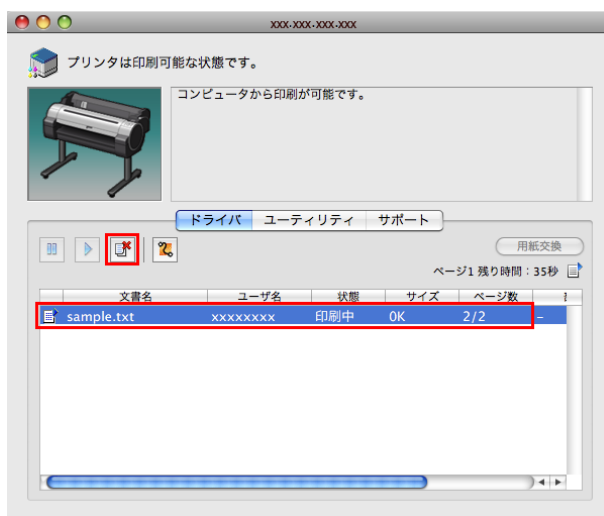
プリンタに送信中のジョブは、プリンタのウィンドウで中止できます。
プリンタで受信したジョブおよび印刷中のジョブは、imagePROGRAF Printmonitor から中止できます。

メモ

- プリンタのウィンドウにジョブが表示されるのは、コンピュータからプリンタに印刷データが送信されている間です。プリンタへの印刷データの送信が終了した場合は、印刷中でもジョブは表示されません。
- imagePROGRAF Printmonitor のウィンドウにジョブが表示されるのは、プリンタがコンピュータからの印刷データを受信してから印刷が終了するまでの間です。コンピュータで印刷データを作成中でも、プリンタへの送信が開始されていなければ、ジョブは表示されません。

1 デスクトップの[Dock]に表示されているプリンタのアイコンをクリックし、プリンタのウィンドウを開きます。

2 ［プリンタを一時停止］をクリックし、印刷を停止します。

3 プリンタのウィンドウに中止対象のジョブが無い場合（プリンタへの印刷データの送信が終了した場合）は、［ユーティリティ］をクリックし、imagePROGRAF Printmonitor を開きます。

4 印刷を中止するジョブを選択して をクリックし、ジョブを削除します。

メモ

- お使いの機種によっては画面が多少異なります。

プリンタに送信されたジョブが中止されます。

5 imagePROGRAF Printmonitor を閉じ、プリンタのウィンドウで［プリンタを再開］をクリックします。

重要

- imagePROGRAF Printmonitor から印刷を中止した場合は、必ずこの手順を行ってください。ジョブを開始しないと、次のジョブを印刷できません。

印刷の一時停止

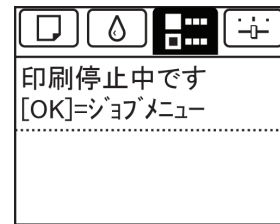
印刷を一時停止状態にする

印刷中に、操作パネルのメニューで、[印刷の一時停止]を[オン]に設定すると、設定した時点での印刷が終了後、プリンタは印刷停止状態になります。(「操作パネルのディスプレイ」参照) →P.427
印刷停止状態では、ジョブキューの印刷が実行されません。
印刷停止状態を解除するには[印刷の一時停止]を[オフ]に設定します。

メモ

- 以下の場合は、[印刷の一時停止]を[オフ]に設定しなくても印刷停止状態が解除され、ジョブキューの印刷が実行されます。
  - 給紙した場合
  - [用紙メニュー]から[用紙種類の変更]を実行した場合

1 印刷中に、操作パネルの[タブ選択画面]で[◀]キー、[▶]キーを押して、(ジョブタブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[ジョブメニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[印刷の一時停止]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[オン]または[オフ]を選択し、[OK]キーを押します。

用紙を選択する

用紙の種類を選択して印刷する 30
プリンタドライバで用紙を指定する 30

用紙の種類を選択して印刷する

用途に応じて用紙の種類を選択することで、最適な印刷結果を得ることができます。

- [用紙の種類]
  プリンタ、プリンタドライバには、用紙の種類の特性に合わせ、それぞれに最適な印刷設定が用意されています。

メモ

- プリンタに対応する用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類 →P.388 」参照)
- User Software CD-ROM で Media Configuration Tool をインストールしたとき、または Media Configuration Tool で用紙の情報を更新したときに、プリンタドライバ、関連ソフトウェア、およびプリンタの操作パネルの用紙の種類が変更されます。Media Configuration Tool については「Media Configuration Tool →P.274 (Windows)」または「Media Configuration Tool →P.371 (Macintosh)」を参照してください。
- プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタで指定した用紙の種類が合っていない場合、プリンタの操作パネルにエラーメッセージが表示される場合があります。印刷を実行することはできますが、正しい印刷結果を得られない可能性があります。

- 用紙の種類が選択できない場合
  プリンタにセットした用紙の種類が選択できない場合は、スペシャル 1 から順に試してください。数字が大きくなるほど発色性は良くなりますが、にじんだりする場合があります。
  用紙の種類を選択して印刷する方法については、以下のトピックを参照してください。
  - 用紙の種類を変更する →P.398

プリンタドライバで用紙を指定する

用紙を交換したときは、プリンタドライバで用紙の種類やサイズを設定します。
プリンタドライバでの用紙の設定方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- プリンタドライバで用紙を指定する(Windows) →P.155
- プリンタドライバで用紙を指定する(Mac OS X) →P.289

写真やオフィス文書を印刷する

写真やイラストを印刷する 31
写真やイラストを印刷する（Windows） 32
写真やイラストを印刷する（Mac OS X） 33

オフィスの文書を印刷する 36
オフィスの文書を印刷する（Windows） 36
オフィスの文書を印刷する（Mac OS X） 37

PosterArtist で編集して印刷する 39

写真やイラストを印刷する

印刷の目的を選択するだけで、簡単に印刷設定が行えます。

- ［目的設定モード］

  印刷の目的を一覧から選択し、最適な印刷結果を得ることができます。

- ［印刷目的］

  印刷物に適した設定を選択できます。

写真やイラストに適した印刷目的

	印刷目的	説明
	［ポスター］	ポスターに最適な設定です。彩度を高く、インパクトのある鮮やかな色で印刷します。
	［写真（カラー）］	デジタルカメラで撮影した写真画像を最適な設定で印刷します。
	［忠実再現］	色差最小で印刷します。印刷結果が鮮やかすぎる場合やスキャナ画像を印刷する場合に適しています。

重要

- ［用紙の種類］によっては、選択できない［印刷目的］があります。

メモ

- 印刷目的ごとの設定値は、［設定確認］で確認できます。
- 設定値を詳細に調整することもできます。（［詳細設定モード］）
  ［詳細設定モード］については、「印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する →P.56 」を参照してください。

- ［印刷品質］

  品質を選択します。
  品質と解像度の組み合わせによりプリンタの印字モードが決定します。

印刷品質	説明
［最高］	最高の解像度で、品質を重視する場合の設定です。他の選択肢と比較して、印刷にかかる時間と消費インクは多くなりますが、最も品質の高い印刷結果を得られます。
［きれい］	高解像度で、品質を重視する場合の設定です。 ［標準］や［速い］と比較して、印刷にかかる時間と消費インクは多くなりますが、品質の高い印刷結果を得られます。
［標準］	標準的な解像度で、品質と印刷時間の両方を重視する場合の設定です。 ［最高］や［きれい］と比較して、印刷にかかる時間を短縮することができます。
［速い］	印刷にかかる時間を短縮したい場合の設定です。 レイアウトの確認などを効率よく行えます。

写真やイラストを印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 写真やイラストを印刷する（Windows） →P.32
- 写真やイラストを印刷する（Mac OS X） →P.33

写真やイラストを印刷する（Windows）

ここでは、以下を例に、写真を印刷する手順を説明します。

- 原稿:デジタルカメラの写真画像
- 原稿サイズ:四切（10×12 インチ）
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:プレミアム光沢紙
- ロール紙幅:10 インチ（254.0 mm）

1 アプリケーションソフトのメニューから［印刷］（プリント）を選択します。

2 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。（「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く（Windows） →P.160」参照）

3 ［基本設定］シートが表示されていることを確認します。

4 **A**［用紙の種類］の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここではプレミアム光沢紙をクリックします。
A［用紙の種類］では、光沢紙やコート紙など、印刷する用紙を選択します。その際、選択する用紙がプリンタにセットされていることを確認してください。

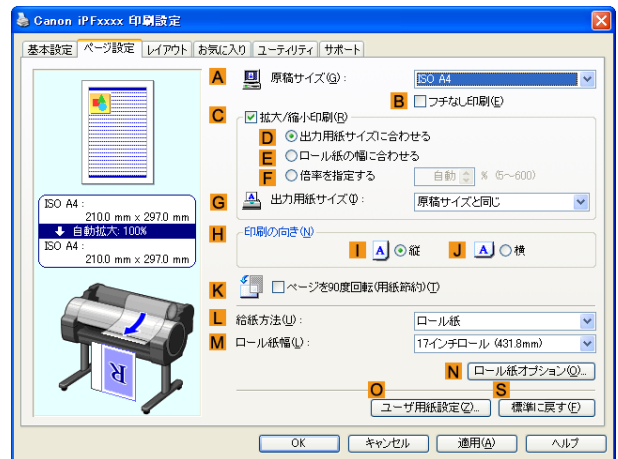
メモ

- User Software CD-ROM で Media Configuration Tool をインストールしたとき、または Media Configuration Tool で用紙の情報を更新したときに、プリンタドライバ、関連ソフトウェア、およびプリンタの操作パネルの用紙の種類が変更されます。詳細は Media Configuration Tool →P.274 を参照してください。

5 **D**［目的設定モード］が選択されていることを確認し、**E**［印刷目的］の一覧から［写真（カラー）］をクリックします。

メモ

- **G**［設定確認］をクリックすると、**E**［印刷目的］の一覧で選択した項目の設定値を確認できます。

6 [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

7 A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[四切 (10"x12")]をクリックします。

8 L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

9 M[ロール紙幅]の一覧からプリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[10 インチロール(254.0mm)]をクリックします。

10 その他の印刷条件を設定します。
設定できる印刷条件については、「プリンタドライバの設定項目(Windows) →P.154 」を参照してください。

11 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ
- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.157 」を参照してください。

写真やイラストを印刷する(Mac OS X)

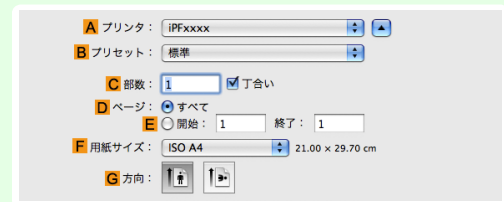
ここでは、以下を例に、写真を印刷する手順を説明します。

- 原稿:デジタルカメラの写真画像
- 原稿サイズ:四切(10×12 インチ)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:プレミアム光沢紙
- ロール紙幅:10 インチ(254.0 mm)

1 B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

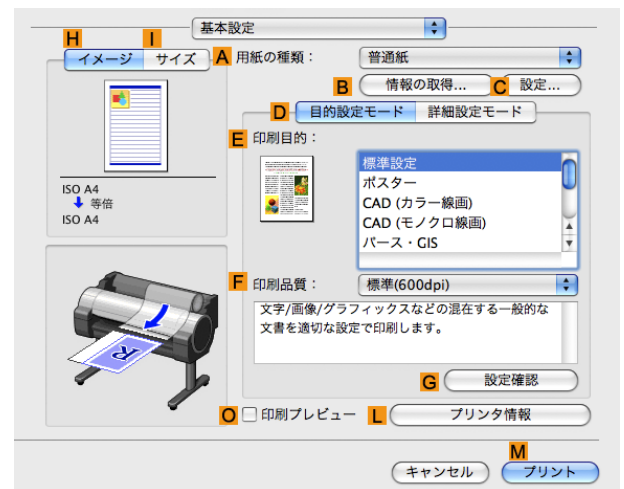
メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
  アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

  表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2 A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3 F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは[四切 (10"x12")]をクリックします。

4 [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

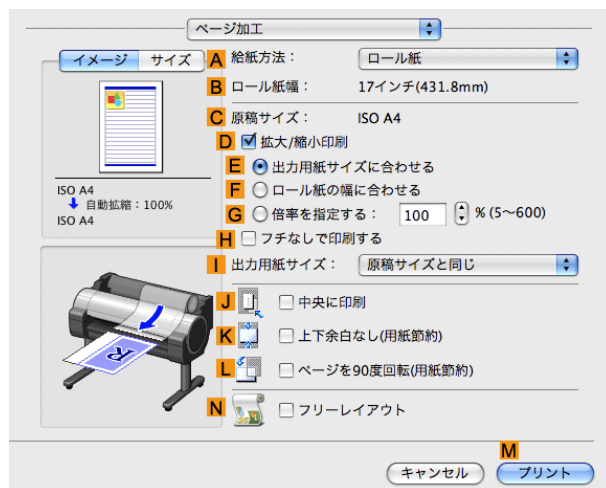
5 [基本設定]パネルを表示します。

6 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここではプレミアム光沢紙をクリックします。
その際、選択する用紙がプリンタにセットされていることを確認してください。

メモ

- User Software CD-ROM で Media Configuration Tool をインストールしたとき、または Media Configuration Tool で用紙の情報を更新したときに、プリンタドライバ、関連ソフトウェア、およびプリンタの操作パネルの用紙の種類が変更されます。詳細は Media Configuration Tool →P.371 を参照してください。

7 D[目的設定モード]が選択されていることを確認し、E[印刷目的]の一覧から[写真(カラー)]をクリックします。

メモ

- 写真やイラストに最適な印刷目的については「写真やイラストを印刷する →P.31 」を参照してください。
- G[設定確認]をクリックすると、E[印刷目的]の一覧で選択した項目の設定値を確認できます。

8 F[印刷品質]を一覧から選択します。

9 [ページ加工]パネルを表示します。

10 A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

11 B[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[10 インチ(254.0mm)]が表示されていることを確認します。

メモ

- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの L[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

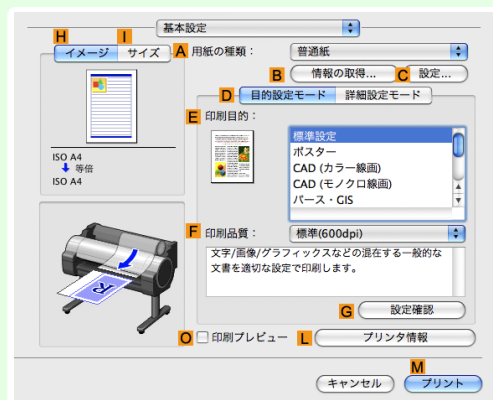
12 [ページ加工]パネルの C[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスの C[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[四切 (10"x12")]が表示されていることを確認します。

13 その他の印刷条件を設定します。
設定できる印刷条件については、「プリンタドライバの設定項目(Mac OS X) →P.288 」を参照してください。

14 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Mac OS X) →P.290」を参照してください。

さまざまな印刷方法 写真やオフィス文書を印刷する

オフィスの文書を印刷する

印刷の目的を選択するだけで、簡単に印刷設定が行えます。

- [目的設定モード]

  印刷の目的を一覧から選択し、最適な印刷結果を得ることができます。

- [印刷目的]

  印刷物に適した設定を選択できます。

オフィスの文書に適した印刷目的

	印刷目的	説明
	ビジネス文書	配布資料など、一般的なオフィス文書を見やすく印刷するのに適した設定です。

メモ

- 印刷目的ごとの設定値は、[設定確認]で確認できます。
- 設定値を詳細に調整することもできます。(詳細設定モード)
  詳細設定モードについては、「印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する →P.56」を参照してください。

- [印刷品質]

  品質を選択します。
  品質と解像度の組み合わせによりプリンタの印字モードが決定します。

印刷品質	説明
[標準]	標準的な解像度で、品質と印刷時間の両方を重視する場合の設定です。 [最高]や[きれい]と比較して、印刷にかかる時間を短縮することができます。

オフィスの文書を印刷する方法については、ご使用のコンピュータやOSに応じて、以下のトピックを参照してください。

- オフィスの文書を印刷する(Windows) →P.36
- オフィスの文書を印刷する(Mac OS X) →P.37

オフィスの文書を印刷する(Windows)

ここでは、以下を例に、オフィスの文書を印刷する手順を説明します。

- 原稿:ワープロソフトや表計算ソフトで作成したオフィスの文書
- 原稿サイズ:A4(210.0×297.0 mm)
- 用紙:カット紙
- 用紙の種類:普通紙
- 用紙サイズ:A4(210.0×297.0 mm)

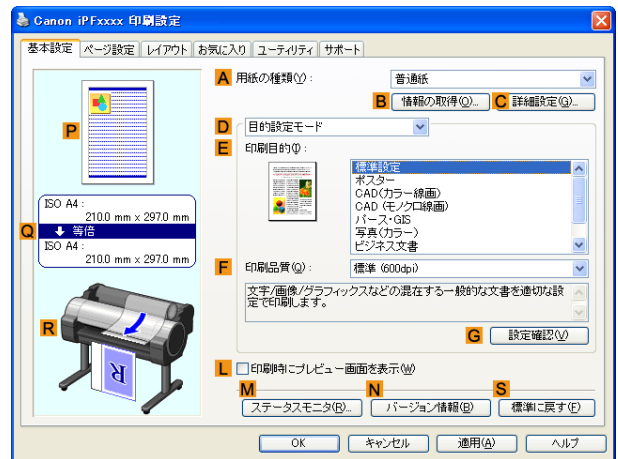
1 アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

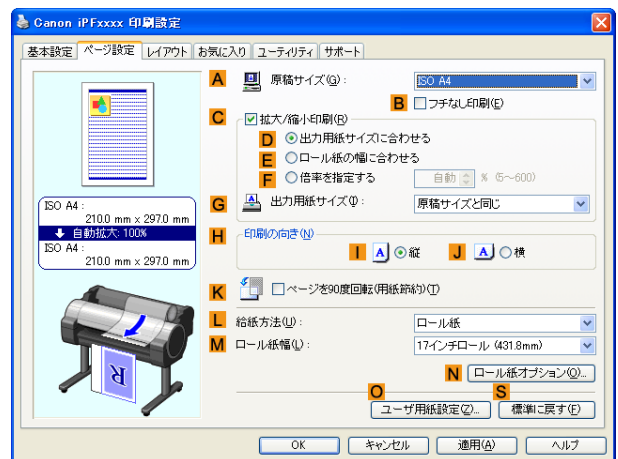
2 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。
(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows) →P.160」参照)

3 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

5 D[目的設定モード]が選択されていることを確認し、E[印刷目的]の一覧から[ビジネス文書]をクリックします。

メモ

- G[設定確認]をクリックすると、E[印刷目的]の一覧で選択した項目の設定値を確認できます。

6 [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

7 A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

8 L[給紙方法]の一覧から[手差し]をクリックします。

9 その他の印刷条件を設定します。
設定できる印刷条件については、「プリンタドライバの設定項目(Windows) →P.154 」を参照してください。

10 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.157 」を参照してください。

オフィスの文書を印刷する(Mac OS X)

ここでは、以下を例に、オフィスの文書を印刷する手順を説明します。

- 原稿:ワープロソフトや表計算ソフトで作成したオフィスの文書
- 原稿サイズ:A4(210.0×297.0 mm)

- 用紙:カット紙
- 用紙の種類:普通紙
- 用紙サイズ:A4（210.0×297.0 mm）

1 B［対象プリンタ］と C［用紙サイズ］の設定をします。

メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
  アプリケーションのメニューに［ページ設定］が表示される場合は、［ページ設定］から［ページ属性］ダイアログボックスを開き設定を行います。

表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから［プリント］を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2 A［プリンタ］の一覧からプリンタを選択します。

3 F［用紙サイズ］の一覧から原稿のサイズ、ここでは［ISO A4 - 手差し用紙（余白大）］をクリックします。

4 ［ページ属性］ダイアログボックスで設定した場合、F［OK］をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから［プリント］を選択します。

5 ［基本設定］パネルを表示します。

6 A［用紙の種類］の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

7 D［目的設定モード］が選択されていることを確認し、E［印刷目的］の一覧から［ビジネス文書］をクリックします。

メモ

- G［設定確認］をクリックすると、E［印刷目的］の一覧で選択した項目の設定値を確認できます。

8 F［印刷品質］を一覧から選択します。

9 [ページ加工]パネルを表示します。

10 **A**[給紙方法]の一覧から[手差し]をクリックします。

11 **C**[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスの **C**[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4 - 手差し用紙(余白大)]が表示されていることを確認します。

12 その他の印刷条件を設定します。
設定できる印刷条件については、「プリンタドライバの設定項目(Mac OS X) →P.288」を参照してください。

13 印刷の設定を確認し、**M**[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

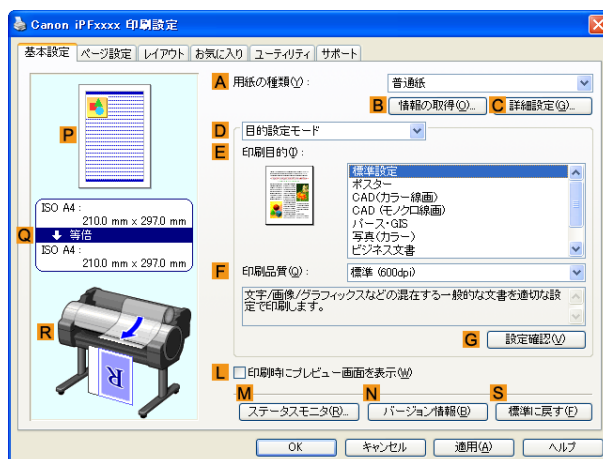
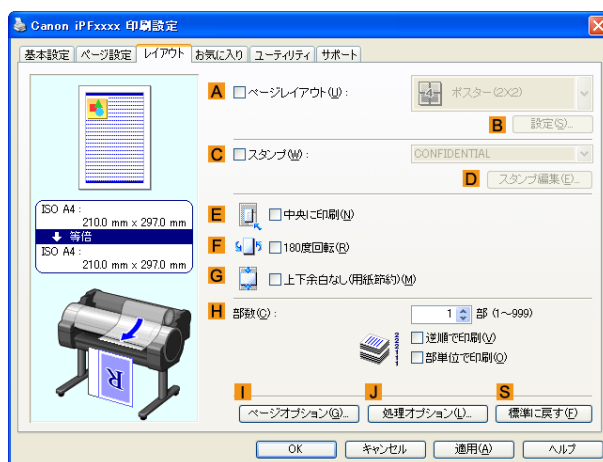
- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Mac OS X) →P.290」を参照してください。

PosterArtist で編集して印刷する

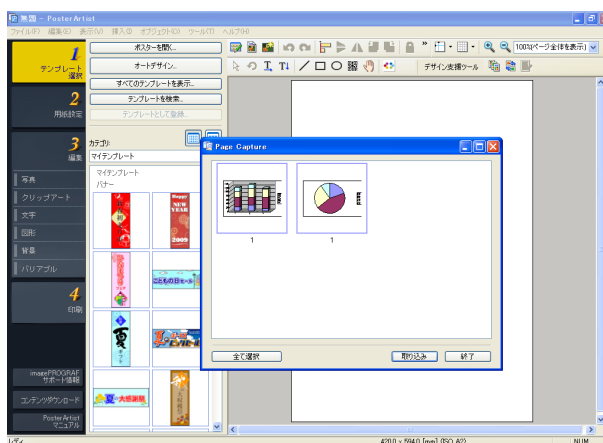
ワープロソフトや表計算ソフトの原稿、Web ブラウザの画面などを、PosterArtist で編集して印刷できます。
ここでは、複数のアプリケーションソフトの原稿を PosterArtist で編集し、ポスターにレイアウトして印刷する手順を説明します。

1 アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。
(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows)」参照) →P.160

3 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4 [レイアウト]タブをクリックし、[レイアウト]シートを表示します。

5 **A**[ページレイアウト]チェックボックスをオンにします。

6 **A**[ページレイアウト]の一覧から[PosterArtist で編集]をクリックします。

7 印刷を実行すると、PosterArtist が起動し、PageCapture ウィンドウが開きます。(実際には、まだ用紙に印刷されません。)

8 PosterArtist に取り込むページを選択します。

9 PosterArtist のウィンドウで、イメージの編集や並べ替えを行います。
PosterArtist のウィンドウを閉じずに手順 1 から手順 8 を繰り返すことで、複数のアプリケーションソフトの原稿を 1 ページに配置することができます。

メモ

- イメージの編集や並べ替えの方法については、PosterArtist マニュアルを参照してください。

10 PosterArtist のメニューから印刷します。

CAD 図面を印刷する

CAD の図面を印刷する 42
線画や文字を印刷する 42
線画や文字を印刷する(Windows) 43
線画や文字を印刷する(Mac OS X) 44
AutoCAD から印刷する 47
CAD 図面の色味を設定して印刷する 47
CAD 図面の色味を設定して印刷する(Windows) 48
HP-GL/2 を使用して印刷する 49

CAD の図面を印刷する

このプリンタでは、細い線や文字をくっきりと鮮明に印刷することができます。ご使用の CAD アプリケーションソフトから、精度の高い図面を簡単に印刷できます。
CAD で印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 線画や文字を印刷する(Windows) →P.43
- 線画や文字を印刷する(Mac OS X) →P.44

線画や文字を印刷する

印刷の目的を選択するだけで、簡単に印刷設定が行えます。

- [目的設定モード]

  印刷の目的を一覧から選択し、最適な印刷結果を得ることができます。

- [印刷目的]

  印刷物に適した設定を選択できます。

線画や文字に適した印刷目的

	印刷目的	説明
	[CAD(カラー線画)]	CAD の図面の細い線をくっきりと印刷するのに適した設定です。
	[CAD (モノクロ線画)]	CAD の図面を黒い線でくっきりと印刷するのに適した設定です。
	[パース・GIS]	3D-CAD やパース、GIS などの地図を美しく印刷するのに適した設定です。

メモ

- 印刷目的ごとの設定値は、[設定確認]で確認できます。
- 設定値を詳細に調整することもできます。([詳細設定モード])
  [詳細設定モード]については、「印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する →P.56 」を参照してください。

- [印刷品質]

  品質を選択します。
  品質と解像度の組み合わせによりプリンタの印字モードが決定します。

印刷品質	説明
[最高]	最高の解像度で、品質を重視する場合の設定です。他の選択肢と比較して、印刷にかかる時間と消費インクは多くなりますが、最も品質の高い印刷結果を得られます。
[きれい]	高解像度で、品質を重視する場合の設定です。

印刷品質	説明
[きれい]	[標準]や[速い]と比較して、印刷にかかる時間と消費インクは多くなりますが、品質の高い印刷結果を得られます。
[標準]	標準的な解像度で、品質と印刷時間の両方を重視する場合の設定です。 [最高]や[きれい]と比較して、印刷にかかる時間を短縮することができます。
[速い]	印刷にかかる時間を短縮したい場合の設定です。 レイアウトの確認などを効率よく行えます。

線画や文字を印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 線画や文字を印刷する(Windows) →P.43
- 線画や文字を印刷する(Mac OS X) →P.44

線画や文字を印刷する(Windows)

ここでは、以下を例に、線画を印刷する手順を説明します。

- 原稿:CAD の図面
- 原稿サイズ:A3(297.0×420.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A2/A3 ロール(420.0 mm)

1 アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows) →P.160 」参照)

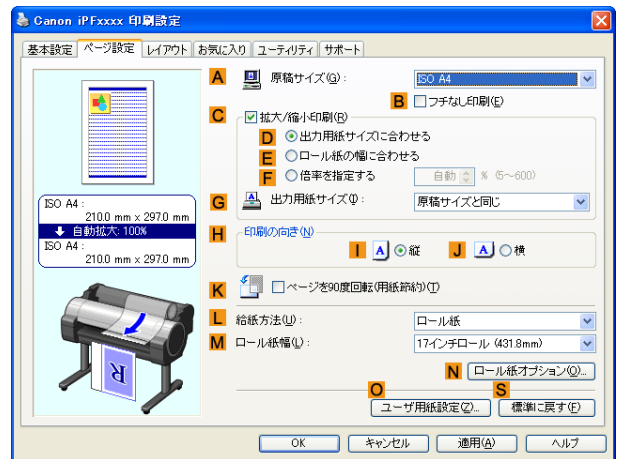
3 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4 **A**[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

5 **D**[目的設定モード]が選択されていることを確認し、**E**[印刷目的]の一覧から[CAD(カラー線画)]または[CAD (モノクロ線画)]をクリックします。

メモ

- **G**[設定確認]をクリックすると、**E**[印刷目的]の一覧で選択した項目の設定値を確認できます。

6 [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

7 **A**[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[ISO A3]をクリックします。

8 **L**[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

9 **M**[ロール紙幅]の一覧で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A2/A3 ロール(420.0mm)]をクリックします。

10 その他の印刷条件を設定します。
設定できる印刷条件については、「プリンタドライバの設定項目(Windows) →P.154」を参照してください。

11 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

> メモ
> - 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.157」を参照してください。

線画や文字を印刷する(Mac OS X)

ここでは、以下を例に、線画を印刷する手順を説明します。

- 原稿:CAD の図面
- 原稿サイズ:A3(297.0×420.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A2/A3 ロール(420.0 mm)

1 B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2 A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3 F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは[ISO A3]をクリックします。

4 [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5 [基本設定]パネルを表示します。

6 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

7 D[目的設定モード]が選択されていることを確認し、E[印刷目的]の一覧から[CAD(カラー線画)]または[CAD (モノクロ線画)]をクリックします。

メモ

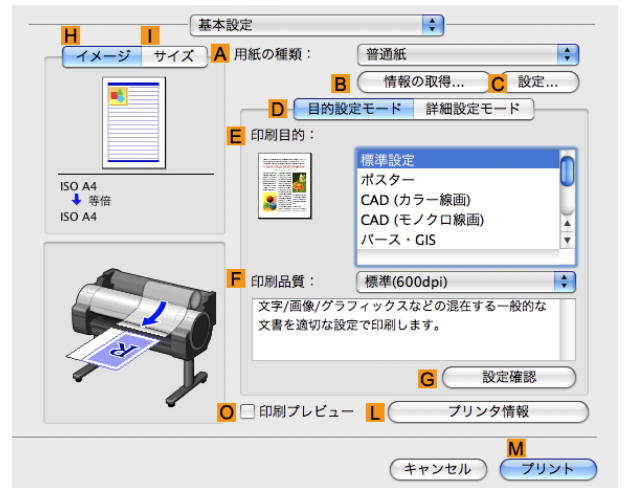
- G[設定確認]をクリックすると、E[印刷目的]の一覧で選択した項目の設定値を確認できます。

8 F[印刷品質]を一覧から選択します。

9 [ページ加工]パネルを表示します。

10 A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

11 B[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A2/A3(420.0mm)]が表示されていることを確認します。

- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの L[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

12 [ページ加工]パネルの C[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスの C[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[ISO A3]が表示されていることを確認します。

13 その他の印刷条件を設定します。
設定できる印刷条件については、「プリンタドライバの設定項目(Mac OS X) →P.288 」を参照してください。

14 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Mac OS X) →P.290 」を参照してください。

AutoCAD から印刷する

AutoCAD 用プリンタドライバ最適化キットは、AutoCAD からプリンタドライバで最適に印刷するためのソフトウェアです。
AutoCAD の画像処理に使用するメモリやラスターデータの処理解像度を、最適に制御することで生産性と信頼性に優れた印刷が可能になります。
AutoCAD 用プリンタドライバ最適化キットは、対応している AutoCAD がインストールされたコンピュータにプリンタドライバをインストールすると、自動的にインストールされます。

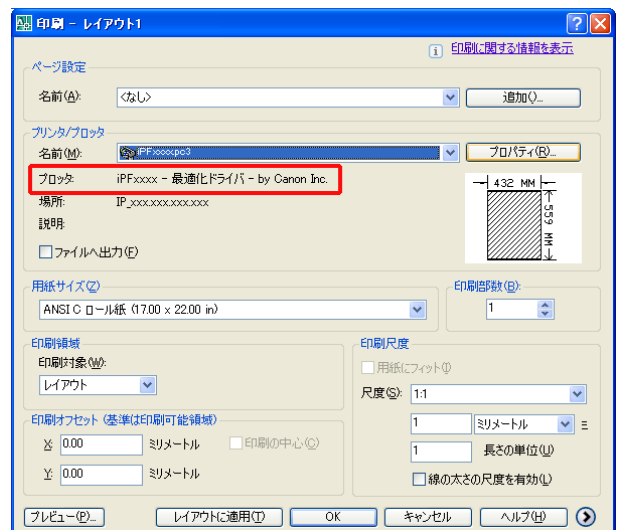
メモ

- AutoCAD から印刷すると自動的に AutoCAD 用プリンタドライバ最適化キットが適用され、最適な印刷が行われます。

AutoCAD 用プリンタドライバ最適化キットのインストールを確認する

AutoCAD 用プリンタドライバ最適化キットのインストールは、以下の方法で確認できます。

1 AutoCAD の[ファイル]メニューから[印刷]を選択します。

2 [印刷]ダイアログボックスが表示されます。
[プリンタ/プロッタ]の[プロッタ]に、[iPFxxxx - 最適化ドライバ - by Canon Inc.]が表示されていれば AutoCAD 用プリンタドライバ最適化キットはインストールされています。

AutoCAD 用プリンタドライバ最適化キットのインストール

AutoCAD 用プリンタドライバ最適化キットがインストールされていない場合は、以下の方法でインストールしてください。

1 CD-ROM ドライブに User Software CD-ROM を挿入し、インストーラを起動します。

2 [Setup Menu]ウィンドウで、[ソフトウェア個別インストール]をクリックします。

3 AutoCAD 用プリンタドライバ最適化キットの[インストール]をクリックします。

4 画面の指示に従ってインストールします。

CAD 図面の色味を設定して印刷する

[カラーモード]で[カラー(CAD)]を選択した時の色味を設定することができます。
印刷の[色の互換性]を選択すると、下の表の通り、色味を変更して印刷することができます。

メモ

- [カラー(CAD)]は[基本設定]シートで[詳細設定モード]を選択し、[優先画質]で[線画・文字]を選択すると表示されます。

[色の互換性]

カラー設定項目

カラー設定	機能説明
[カラー(CAD)1]	標準的なカラーで印刷します。
[カラー(CAD)2]	明るめのカラーで印刷します。
[カラー(CAD)3]	Canon iPF500, iPF600, iPF700, iPF510, iPF610, iPF710, iPF605, iPF720, iPF810, iPF815, iPF820, iPF825 をエミュレートした近似色で印刷します。
[カラー(CAD)4]	HP Designjet 500/800 をエミュレートした近似色で印刷します。
[カラー(CAD)5]	HP Designjet 1000 をエミュレートした近似色で印刷します。

重要

- [カラー(CAD)3]、[カラー(CAD)4]、[カラー(CAD)5]を選択した場合、指定した機種の色味や画質を完全に一致させるものではありません。

[色の互換性]の設定方法については、以下のトピックを参照してください。

- CAD 図面の色味を設定して印刷する(Windows) →P.48

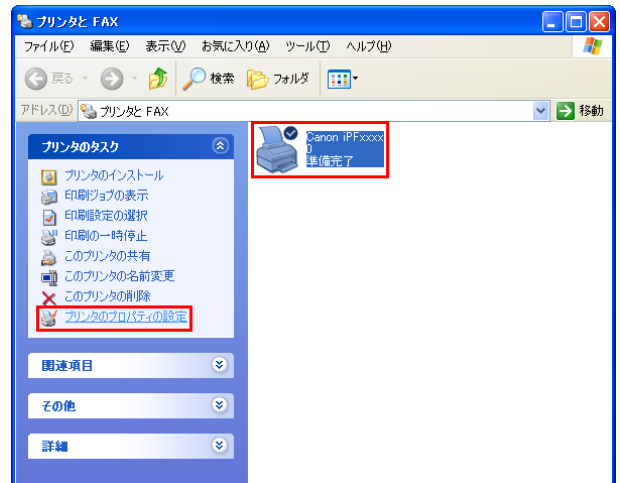
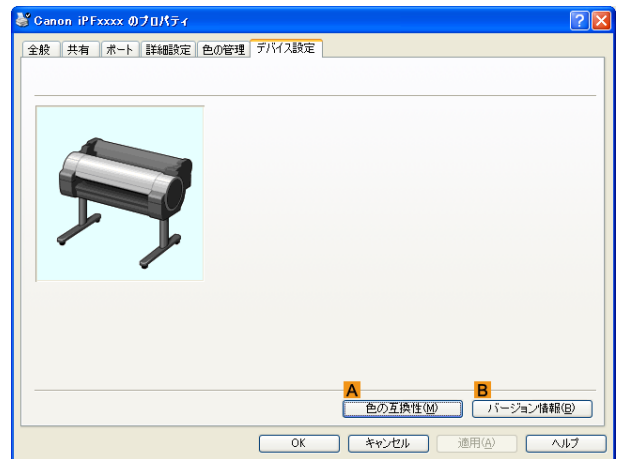
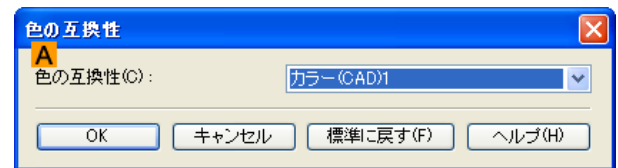
CAD 図面の色味を設定して印刷する(Windows)

[カラーモード]で[カラー(CAD)]を選択した時の色味を設定することができます。

メモ

- [カラー(CAD)]は[基本設定]シートで[詳細設定モード]を選択し、[優先画質]で[線画・文字]を選択すると表示されます。

1 [スタート]メニューから[プリンタと FAX](または[プリンタ])を開きます。

2 プリンタを選択し、プリンタのプロパティのダイアログボックスを開きます。

3 [デバイス設定]タブをクリックし、[デバイス設定]シートを表示します。

4 A[色の互換性]をクリックし、[色の互換性]ダイアログボックスを開きます。

5 A[色の互換性]の一覧から必要なカラー設定を選択します。

メモ
- カラー設定についての詳細は「CAD 図面の色味を設定して印刷する →P.47 」を参照してください。

実際の印刷方法については、以下のトピックを参照してください。

- 印刷の種類や印刷の条件を選択して印刷する(Windows) →P.58

HP-GL/2 を使用して印刷する

本プリンタには、キヤノン独自の GARO 言語による印刷と、他社プリンタをエミュレートした近似色で印刷する HP-GL/2(HP RTL)エミュレーションによる印刷があります。
プリンタは、受信した印刷データに応じて GARO 言語と HP-GL/2(HP RTL)エミュレーションとを自動的に切替えて印刷します。

メモ
- GARO は Graphic Arts Language with Raster Operations の略称です。
- HP-GL/2 は Hewlett-Packard　Graphics Language/2、HP RTL は Hewlett-Packard　Raster Transfer Language の略称です。
- 他のプリンタの印刷に近い結果を得ることをエミュレートするといいます。

HP-GL/2 出力をサポートしているアプリケーションソフトから印刷する場合には、アプリケーションソフトのプロッタ出力の設定を HP-GL/2 に指定してください。
HP-GL/2(HP RTL)エミュレーションは、Designjet 500/800 または Designjet 1000 をエミュレートした近似色で印刷します。
エミュレートするプリンタの設定など HP-GL/2(HP RTL)エミュレーションに関する設定は、プリンタの操作パネルで行います。(「メニューの階層 →P.438 」、「メニューの設定値 →P.443 」参照)

メモ
- アプリケーションソフトの設定の方法はアプリケーションソフトの取扱説明書をお読みください。
  非常に大きなデータを印刷する場合、正しく印刷できないことがあります。
- HP-GL/2(HP RTL)エミュレーション以外の CAD の色味についても、「メニューの設定値」を参照してください。→P.443

画像を調整する

プリンタドライバで色を調整して印刷する 50
写真やイラストの色を微調整して印刷する(Windows) 51
写真やイラストの色を微調整して印刷する(Mac OS X) 54

印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する 56
印刷の種類や印刷の条件を選択して印刷する(Windows) 58
印刷の種類や印刷の条件を選択して印刷する(Mac OS X) 60

プリンタドライバで色を調整して印刷する

個々の印刷データに対する印刷時の色は、基本的にアプリケーションソフトの設定が優先されますが、さらに色の調整を行いたい場合は、プリンタドライバで調整します。

- [カラーモード]

プリンタドライバが行う色の処理の方法を選択します。
カラーモードの設定によって、調整できることが異なります。

カラーモード	説明	色の調整
[カラー]	カラーで印刷します。	色調の補正、カラーマッチングを行うことができます。
[モノクロ]	グレースケールで印刷します。	色調を補正できます。
[カラー(CAD)]	線画(2D-CAD)に適したカラーモードで、赤や黄色の線を見やすく印刷します。	色調を補正できます。
[モノクロ(黒インク)]	線画用のカラーモードで、黒インクだけで印刷します。	色調を補正できます。
[モノクロ(二階調)]	CAD 用のカラーモードで、カラーインクを使用し、白以外の部分をすべて黒で印刷します。	色の調整はできません。
[色補正なし](*1)	プリンタドライバでカラーマッチングを行わずに印刷します。	色調を補正できます。

*1:[色補正なし]を選択した場合、[マッチング]シート/[マッチング]パネルは表示されません。

- [色調整]

イメージ、グラフィックス、テキストごとに、色調を補正できます。

補正項目	説明
[シアン]	[シアン]、[マゼンタ]、[イエロー]の強弱を調整することで色合いを補正できます。
[マゼンタ]	
[イエロー]	
[グレー色調]	冷黒(青みがかった色合い)から温黒(赤みがかった色合い)まで、グレーの色を表現できます。
[明るさ]	最も明るい部分や最も暗い部分を損なわずに、印刷結果の明るさを補正できます。
[コントラスト]	最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを、相対的に補正できます。 軟調にしたい場合は、コントラストを弱く、硬調にしたい場合は、コントラストを強く設定してください。
[鮮やかさ]	鮮明な色合いからくすんだ色合いまで、鮮やかさを補正できます。

メモ

- [調整の対象]をクリックすると[調整の対象]ダイアログボックスが開き、[イメージ]、[グラフィックス]、[テキスト]から色を調整する対象を選択することができます。

- [マッチング]

カラーマッチングのマッチングモードとマッチング方法を選択できます。
マッチングモードとマッチング方法の設定によって、コンピュータのディスプレイで見た画像の色と印刷結果の色を近づけることができます。

マッチングモード	説明	備考
[ドライバ補正モード]	ドライバ独自のカラープロファイルを用いて最適な色合いで印刷します。	通常はこのモードを選択してください。
[ICC 補正モード]	ICC プロファイルを用いて、カラーマッチングを行います。 入力プロファイル、プリンタプロファイル、マッチング方法を詳細に指定して印刷する場合に選択してください。	デジタルカメラやスキャナの ICC プロファイル、プロファイル作成ツールで作成した ICC プロファイルなどを使用できます。
[ドライバ ICM モード]	プリンタドライバの ICM 機能を用いて、プリンタドライバでカラーマッチングを行います。 マッチング方法のみを指定して印刷する場合に選択してください。	Windows で選択できます。
[ホスト ICM モード]	Windows の ICM 機能を用いて、ホストコンピュータでカラーマッチングを行います。 ICM 機能対応のアプリケーションから印刷する場合に選択してください。	
[ColorSync モード]	MacOS の ColorSync 機能を用いて、カラーマッチングを行います。 ColorSync を使ったソフトプルーフを行って印刷する場合に選択してください。	Mac OS で選択できます。

マッチング方法	説明	備考
[自動]	イメージ、グラフィックス、テキストごとに最適なカラーマッチングを行います。	マッチングモードの設定やご使用の OS によって、選択できる項目や項目の並び順が異なります。
[写真調]	一般的な写真を美しく印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。滑らかな階調性が特徴です。また、アプリケーションソフトを使用して色調整を行う際にも扱いやすいモードです。	
[色差最小]	画像データを、入力の色空間に忠実な色で印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。色味を調整して印刷したい場合には最も扱いやすいモードです。ただし、プリンタの色再現領域よりも広い範囲の色は階調が失われる事があります。一般的に相対カラリメトリックとも呼ばれます。	
[色差最小(白色点補正なし)]	カラーマッチングの処理方法は[色差最小]と同じです。さらに紙の色まで再現したい場合に使用します。一般的に絶対カラリメトリックとも呼ばれます。	
[鮮やかな色に]	ポスターなどを鮮やかに印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。	

メモ

- 色を調整して印刷する場合は、コンピュータのディスプレイの色を正しく調整してください。ディスプレイの調整が正しくない場合、思いどおりの印刷結果が得られないことがあります。ディスプレイの調整方法については、ディスプレイのマニュアルやご使用の OS のマニュアルを参照してください。
  色を調整して印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

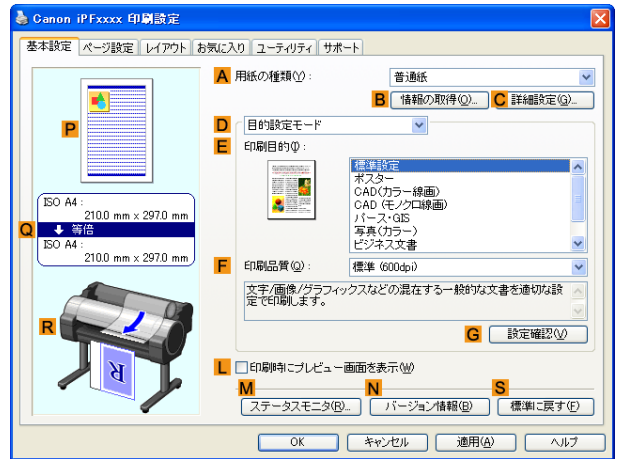
- 写真やイラストの色を微調整して印刷する(Windows) →P.51
- 写真やイラストの色を微調整して印刷する(Mac OS X) →P.54

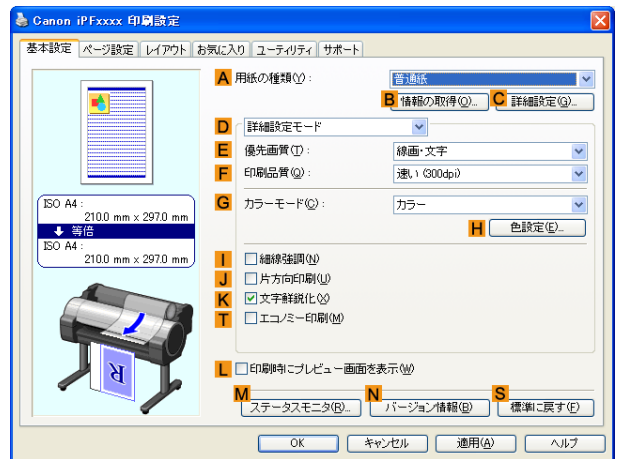
写真やイラストの色を微調整して印刷する(Windows)

登録されている[印刷目的]の設定を使用せずに、独自の設定で印刷することができます。ここでは、写真の色味を微調整して印刷する手順を説明します。

1 アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。
（「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く（Windows）→P.160」参照）

3 ［基本設定］シートが表示されていることを確認します。

4 A［用紙の種類］の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類を選択します。

5 D［詳細設定モード］をクリックし、印刷の設定モードを切り替えます。

6 G［カラーモード］の一覧から［カラー］をクリックします。

7 H［色設定］をクリックし、［色設定］ダイアログボックスを開きます。

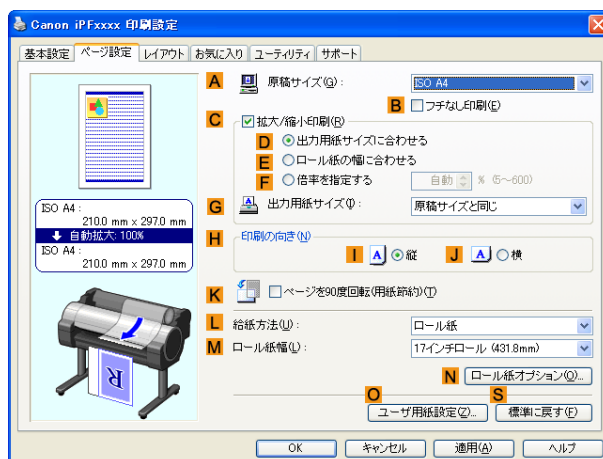
8 [色調整]シートで、色合いや明るさなどを調整します。

補正項目	説明
D[シアン]	シアン、マゼンタ、イエローの強弱を調整することで色合いを補正できます。
E[マゼンタ]	
F[イエロー]	
G[グレー色調]	冷黒(青みがかった色合い)、純黒(ニュートラル)、温黒(赤みがかった色合い)など、モノクロ写真に適したグレーの色調を調整できます。色領域から色を選択するか、リストから色調を選択します。
H[明るさ]	最も明るい部分や最も暗い部分を損なわずに、印刷結果の明るさを補正できます。
I[コントラスト]	最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを、相対的に補正できます。 軟調にしたい場合は、コントラストを弱く、硬調にしたい場合は、コントラストを強く設定してください。
J[鮮やかさ]	鮮明な色合いからくすんだ色合いまで、鮮やかさを補正できます。

メモ

- [調整の対象]をクリックすると[調整の対象]ダイアログボックスが開き、[イメージ]、[グラフィックス]、[テキスト]から色を調整する対象を選択することができます。

9 [色設定]ダイアログボックスを閉じます。

10 [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

11 A[原稿サイズ]やL[給紙方法]の設定を確認します。

12 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.157 」を参照してください。

さまざまな印刷方法

画像を調整する

写真やイラストの色を微調整して印刷する(Mac OS X)

登録されている[印刷目的]の設定を使用せずに、独自の設定で印刷することができます。ここでは、写真の色味を微調整して印刷する手順を説明します。

1 B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

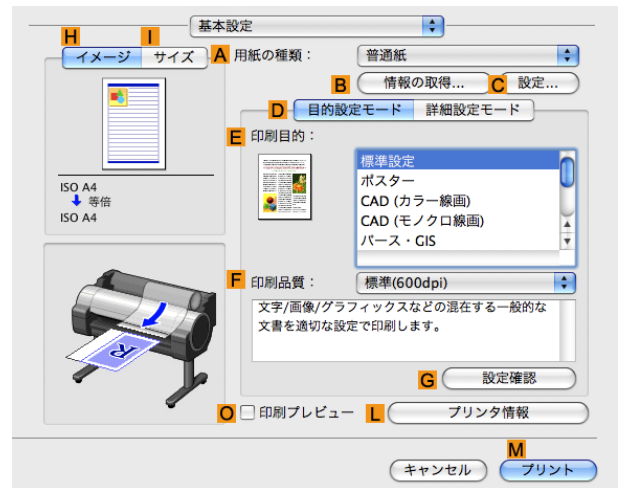
- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
  アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

  表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2 A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

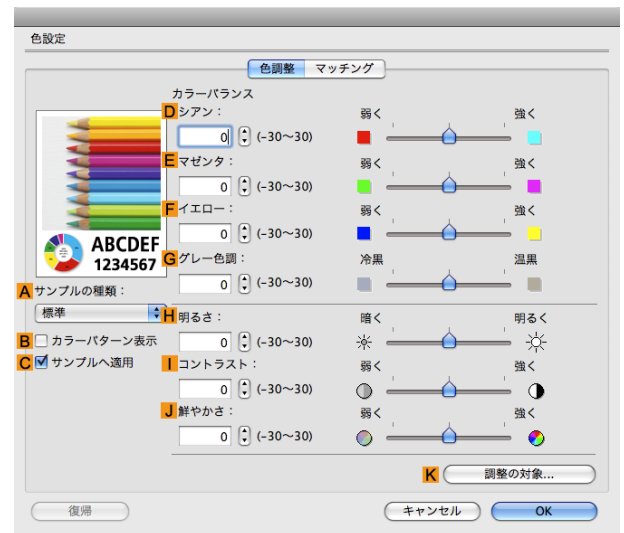
3 F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズを選択します。

4 [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5 [基本設定]パネルを表示します。

6 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類を選択します。

7 D[詳細設定モード]をクリックし、印刷の設定モードを切り替えます。

8 H[カラーモード]の一覧から[カラー]をクリックします。

9 I[設定]をクリックし、[色設定]ダイアログボックスを開きます。

10 [色調整]パネルで色合いや明るさなどを調整します。

補正項目	説明
D[シアン]	シアン、マゼンタ、イエローの強弱を調整することで色合いを補正できます。
E[マゼンタ]	
F[イエロー]	
G[グレー色調]	冷黒(青みがかった色合い)、純黒(ニュートラル)、温黒(赤みがかった色合い)など、モノクロ写真に適したグレーの色調を調整できます。色領域から色を選択するか、リストから色調を選択します。
H[明るさ]	最も明るい部分や最も暗い部分を損なわずに、印刷結果の明るさを補正できます。
I[コントラスト]	最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを、相対的に補正できます。 軟調にしたい場合は、コントラストを弱く、硬調にしたい場合は、コントラストを強く設定してください。
J[鮮やかさ]	鮮明な色合いからくすんだ色合いまで、鮮やかさを補正できます。

メモ
- [調整の対象]をクリックすると[調整の対象]ダイアログボックスが開き、[イメージ]、[グラフィックス]、[テキスト]から色を調整する対象を選択することができます。

11 [OK]をクリックし、[色設定]ダイアログボックスを閉じます。

12 [ページ加工]パネルを表示します。

13 **A**[給紙方法]や**C**[原稿サイズ]の設定を確認します。

14 印刷の設定を確認し、**M**[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Mac OS X) →P.290 」を参照してください。

印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する

品質や色などの詳細な印刷設定を行えます。

- [詳細設定モード]

印刷する原稿に合わせて、特に重視する要素や色の調整を行うことで、思いどおりの印刷結果を得ることができます。

メモ

- あらかじめ用意されている設定から印刷の目的を選択するだけで最適な設定が行える、[目的設定モード]もあります。
  [目的設定モード]については、以下のトピックを参照してください。
  - 写真やイラストを印刷する →P.31
  - 線画や文字を印刷する →P.42
  - オフィスの文書を印刷する →P.36

- [優先画質]

印刷結果において、特に重視する要素を選択します。

優先画質(*1)	説明
[写真･イラスト]	ポスターのように主に写真やイラストで構成される原稿を印刷する場合、または印刷物の写真やイラストの仕上がりを重視する場合の設定です。
[線画･文字]	主に微細な線で構成されるCAD図面などを印刷する場合、または文字を多く含む壁新聞などにおいて細かな文字の仕上がりを重視する場合に選択します。 写真や塗りつぶしの多い画像を印刷すると十分な品位が得られないことがあります。その場合は[写真･イラスト]を選択してください。
[オフィス文書]	一般的なアプリケーションソフトで作成した書類やプレゼン資料のように、テキストとイラストの混在したドキュメントの読みやすさを重視する場合の設定です。

*1:優先画質の一覧には、選択した用紙の種類によって、その用紙の種類に最適な選択肢が表示されます。

- [印刷品質]

品質を選択します。
品質と解像度の組み合わせによりプリンタの印字モードが決定します。

印刷品質(*1)	説明	優先画質
[最高]	最高の解像度で、品質を重視する場合の設定です。他の選択肢と比較して、印刷にかかる時間と消費インクは多くなりますが、最も品質の高い印刷結果を得られます。	[写真・イラスト]
[きれい]	高解像度で、品質を重視する場合の設定です。[標準]や[速い]と比較して、印刷にかかる時間と消費インクは多くなりますが、品質の高い印刷結果を得られます。	[写真・イラスト] [線画・文字]
[標準]	標準的な解像度で、品質と印刷時間の両方を重視する場合の設定です。[最高]や[きれい]と比較して、印刷にかかる時間を短縮することができます。	[写真・イラスト] [線画・文字] [オフィス文書]
[速い]	印刷にかかる時間を短縮したい場合の設定です。レイアウトの確認などを効率よく行えます。	[写真・イラスト] [線画・文字]

*1:印刷品質の一覧には、選択した優先画質によって、その優先画質に最適な選択肢が表示されます。

- 色の設定

設定項目	選択肢	説明
[カラーモード](*1)	[カラー] [モノクロ] [カラー(CAD)] [モノクロ(黒インク)] [モノクロ(二階調)] [色補正なし]	カラー印刷またはモノクロ印刷を選択します。(「プリンタドライバで色を調整して印刷する →P.50」参照)
[色調整]	[シアン] [マゼンタ] [イエロー] [グレー色調] [明るさ] [コントラスト] [鮮やかさ]	シアン、マゼンタ、イエローの色合いや、明るさ、コントラスト、鮮やかさ、グレーの度合いを調整できます。 [カラーモード]で、[モノクロ]または[モノクロ(黒インク)]を選択した場合は、[明るさ]と[コントラスト]だけを調整できます。 [調整の対象]を[イメージ]、[グラフィックス]、[テキスト]から選択することができます。
カラーマッチングのモード	[ドライバ補正モード] [ICC 補正モード] [ドライバ ICM モード](Windows) [ホスト ICM モード](Windows) [ColorSync モード](Mac OS X)	カラーマッチングのモードを選択できます。
カラーマッチングの方法(*2)	[自動] [写真調] [色差最小] [色差最小(白色点補正なし)] [鮮やかな色に]	カラーマッチングの方法を選択できます。[カラーマッチングのモード]で選択したマッチングモードによって、選択できる項目が異なります。

*1:カラーモードの一覧には、選択した優先画質によって、その優先画質に最適な選択肢が表示されます。
*2:ご使用の OS によって、表示される選択肢の並び順が異なります。

- 品質の補正

設定項目	説明
[片方向印刷]	罫線のずれやバンド状の色ムラなど印刷品位の低下が発生した場合に、片方向印刷をオンにすると改善される場合があります。ただし、通常よりも印刷に時間がかかります。
[細線強調]	CAD など、細い線を見やすくしたい場合に設定します。
[文字鮮鋭化]	細かな文字をくっきりと印刷したい場合に設定します。
[印刷ムラ低減](*1)	印刷ムラを改善したい場合に設定します。
[エコノミー印刷]	オンにすると、通常の印刷よりも印刷品位は下がりますがインクの消費量を抑えて印刷します。図面を確認のために印刷する場合などにインクを節約したいときにオンにしてください。この機能は、[用紙の種類]、[印刷品質]の設定によっては選択できない場合があります。

*1: Mac OS X の場合に表示されます。

- より高画質をお求めの場合は、プリンタドライバの[印刷品質]で[きれい]または[最高]を選択し、印刷方向を[片方向印刷]に設定して印刷してください。

印刷品質や色を指定して印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

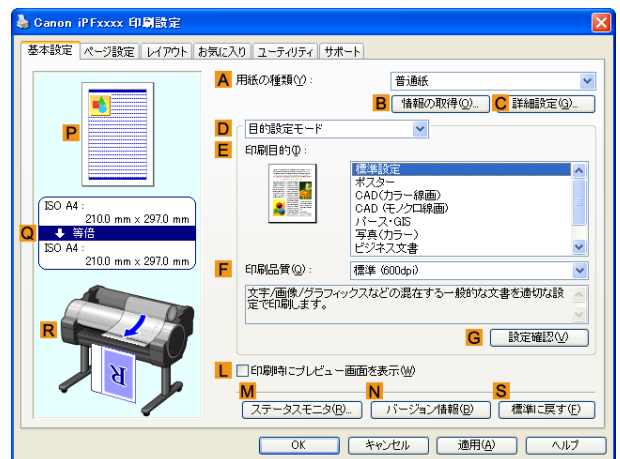
- 印刷の種類や印刷の条件を選択して印刷する(Windows) →P.58
- 印刷の種類や印刷の条件を選択して印刷する(Mac OS X) →P.60

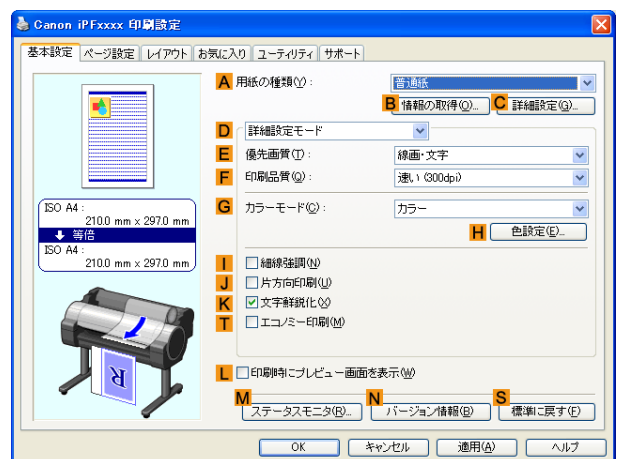
印刷の種類や印刷の条件を選択して印刷する(Windows)

登録されている[印刷目的]の設定を使用せずに、独自の設定で印刷することができます。ここでは、CAD の図面をできる限りきれいな画質で、線や文字をはっきりと印刷する手順を説明します。

1 アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows) →P.160」参照)

3 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類を選択します。

5 D[詳細設定モード]をクリックし、印刷の設定モードを切り替えます。

6 E[優先画質]の一覧から[線画・文字]をクリックします。

7 F[印刷品質]の一覧から[きれい(1200dpi)]をクリックします。

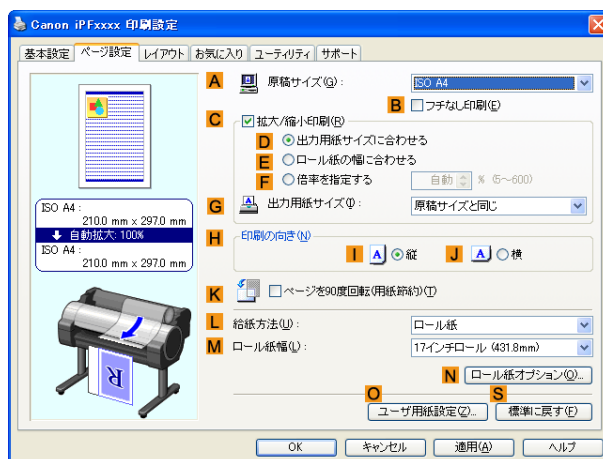
> メモ
> • F[印刷品質]の一覧に表示される選択肢は、用紙の種類によって異なります。

8 G[カラーモード]の一覧から[カラー(CAD)]をクリックします。

9 色を調整する場合は、H[色設定]をクリックします。

> メモ
> • 色を調整する方法については、「プリンタドライバで色を調整して印刷する →P.50 」を参照してください。

10 K[文字鮮鋭化]チェックボックスをオンにします。

11 [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

12 A[原稿サイズ]やL[給紙方法]の設定を確認します。

13 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

> メモ
> • 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.157 」を参照してください。

印刷の種類や印刷の条件を選択して印刷する(Mac OS X)

登録されている[印刷目的]の設定を使用せずに、独自の設定で印刷することができます。ここでは、CAD の図面をできる限りきれいな画質で、線や文字をはっきりと印刷する手順を説明します。

1 B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
  アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

  表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2 A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3 F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズを選択します。

4 [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5 [基本設定]パネルを表示します。

6 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類を選択します。

7 D[詳細設定モード]をクリックし、印刷の設定モードを切り替えます。

8 E[優先画質]の一覧から[線画・文字]をクリックします。

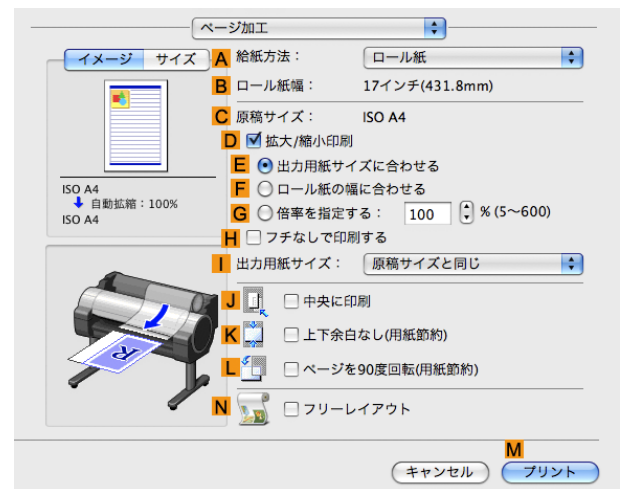
9 F[印刷品質]の一覧から[きれい(1200dpi)]をクリックします。

> メモ
> • F[印刷品質]の一覧に表示される選択肢は、用紙の種類によって異なります。

10 H[カラーモード]の一覧から[カラー(CAD)]をクリックします。

11 色を調整する場合は、I[設定]をクリックします。

> メモ
> • 色を調整する方法については、「プリンタドライバで色を調整して印刷する →P.50」を参照してください。

12 [ページ加工]パネルを表示します。

13 A[給紙方法]やC[原稿サイズ]の設定を確認します。

14 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

> メモ
> • 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Mac OS X) →P.290」を参照してください。

拡大／縮小して印刷する

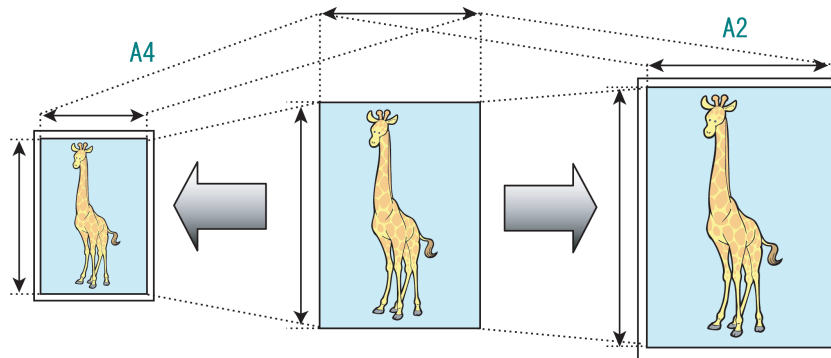
用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する 62
用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する（Windows） 62
用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する（Mac OS X） 64
ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する 66
ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する（Windows） 66
ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する（Mac OS X） 68
指定した倍率で拡大/縮小して印刷する 70
指定した倍率で拡大/縮小して印刷する（Windows） 70
指定した倍率で拡大/縮小して印刷する（Mac OS X） 72

用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する

原稿を大きく引き伸ばしたり、縮小したり、印刷するサイズを自由に調整できます。

- [拡大/縮小印刷]

  プリンタドライバで原稿を拡大/縮小して印刷できます。

- [出力用紙サイズに合わせる]

  用紙のサイズに合わせて原稿を拡大/縮小します。

用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する（Windows） →P.62
- 用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する（Mac OS X） →P.64

メモ

- デジタルカメラで撮影した JPEG や TIFF 形式の画像データを拡大して印刷する場合は、Adobe Photoshop などのアプリケーションソフトで、入力解像度を原寸で 150dpi 以上に設定すると、より良い印刷結果が得られます。

用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する（Windows）

ここでは、以下を例に、用紙のサイズに合わせて原稿を拡大して印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4（210.0×297.0 mm）
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A2/A3 ロール（420.0 mm）

1 アプリケーションソフトのメニューから［印刷］（プリント）を選択します。

2 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。（「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く（Windows） →P.160」参照）

3 ［基本設定］シートが表示されていることを確認します。

4 A［用紙の種類］の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

5 E［印刷目的］の一覧から印刷目的を選択します。

6 ［ページ設定］タブをクリックし、［ページ設定］シートを表示します。

7 L［給紙方法］の一覧からロール紙を選択してクリックします。

8 M［ロール紙幅］の一覧で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは［ISO A2/A3 ロール（420.0mm）］をクリックします。

9 A［原稿サイズ］の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは［ISO A4］をクリックします。

10 C［拡大/縮小印刷］チェックボックスをオンにします。

11 D［出力用紙サイズに合わせる］をクリックします。

12 G［出力用紙サイズ］の一覧から［ISO A3］をクリックします。

13 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する（Windows） →P.157 」を参照してください。

用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する（Mac OS X）

ここでは、以下を例に、用紙のサイズに合わせて原稿を拡大して印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4（210.0×297.0 mm）
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A2/A3 ロール（420.0 mm）

1 B［対象プリンタ］と C［用紙サイズ］の設定をします。

メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
  アプリケーションのメニューに［ページ設定］が表示される場合は、［ページ設定］から［ページ属性］ダイアログボックスを開き設定を行います。

表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから［プリント］を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2 A［プリンタ］の一覧からプリンタを選択します。

3 F［用紙サイズ］の一覧から原稿のサイズ、ここでは［ISO A4］をクリックします。

4 ［ページ属性］ダイアログボックスで設定した場合、F［OK］をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから［プリント］を選択します。

5 ［基本設定］パネルを表示します。

6 A［用紙の種類］の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

7 E［印刷目的］を一覧から選択します。

8 F[印刷品質]を一覧から選択します。

9 [ページ加工]パネルを表示します。

10 A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

11 B[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A2/A3(420.0mm)]が表示されていることを確認します。

メモ

- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの L[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

12 [ページ加工]パネルの C[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスの C[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]が表示されていることを確認します。

13 D[拡大/縮小印刷]チェックボックスをオンにします。

14 E[出力用紙サイズに合わせる]が選択されていることを確認します。

15 I[出力用紙サイズ]の一覧から[ISO A3]をクリックします。

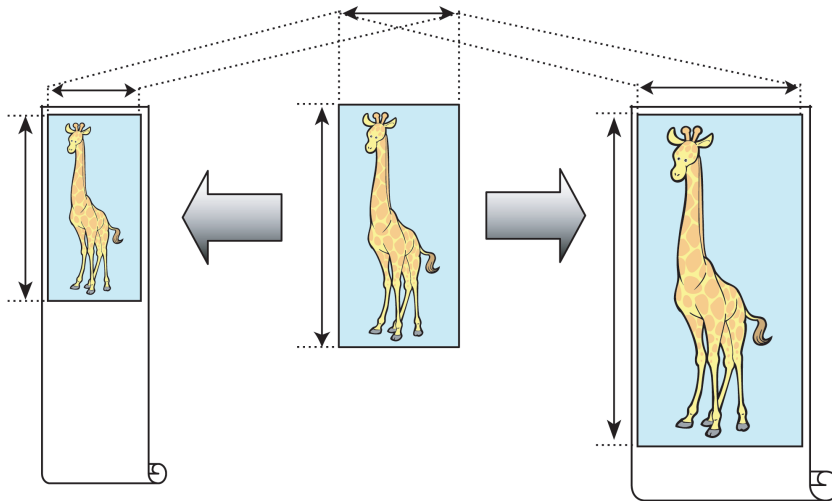
16 印刷の設定を確認し、**M**[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Mac OS X) →P.290 」を参照してください。

ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する

原稿を大きく引き伸ばしたり、縮小したり、印刷するサイズを自由に調整できます。

- [拡大/縮小印刷]
  プリンタドライバで原稿を拡大/縮小して印刷できます。
- [ロール紙の幅に合わせる]
  原稿の幅をロール紙の幅に合わせて、原稿全体を拡大/縮小して印刷します。

ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する方法については、ご使用のコンピュータやOSに応じて、以下のトピックを参照してください。

- ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する(Windows) →P.66
- ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する(Mac OS X) →P.68

メモ

- デジタルカメラで撮影したJPEGやTIFF形式の画像データを拡大して印刷する場合は、Adobe Photoshopなどのアプリケーションソフトで、入力解像度を原寸で150dpi以上に設定すると、より良い印刷結果が得られます。

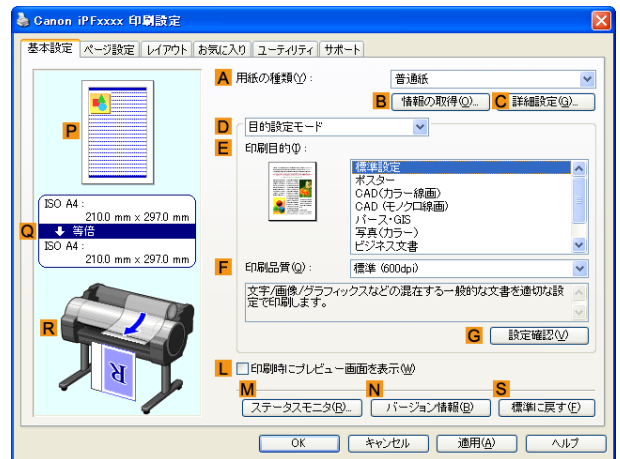
ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する(Windows)

ここでは、以下を例に、ロール紙の幅に合わせて原稿を拡大して印刷する手順を説明します。

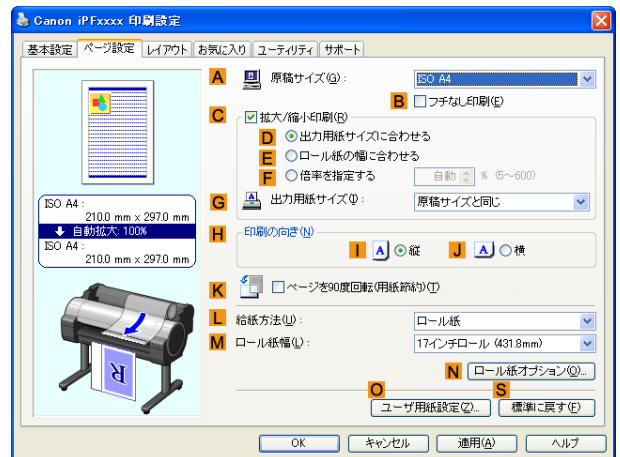
- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4(210.0×297.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:16インチ(406.4 mm)

1 アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows) →P.160 」参照)

3 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

5 E[印刷目的]の一覧から印刷目的を選択します。

6 [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

7 L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

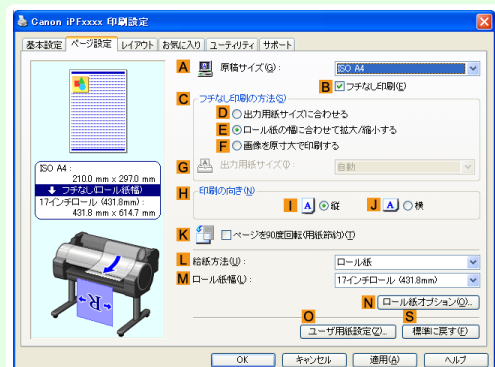
8 A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

9 C[拡大/縮小印刷]チェックボックスをオンにします。

メモ

- [ページ設定]シートにC[拡大/縮小印刷]チェックボックスが表示されない場合は、B[フチなし印刷]チェックボックスをオフにします。

さまざまな印刷方法

拡大／縮小して印刷する

10 E[ロール紙の幅に合わせる]をクリックします。

- E[ロール紙の幅に合わせる]をクリックすると、[情報]ダイアログボックスが開きます。[ロール紙幅]の一覧から、プリンタにセットされているロール紙の幅を選択し、[OK]をクリックします。
- 設定したロール紙の幅とプリンタにセットしたロール紙の幅が同じであることを確認してください。

11 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.157 」を参照してください。

ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する(Mac OS X)

ここでは、以下を例に、ロール紙の幅に合わせて原稿を拡大して印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4(210.0×297.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:16 インチ(406.4 mm)

1 B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2 A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3 F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

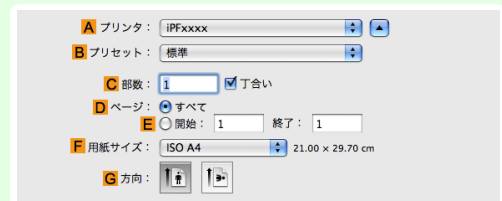
4 [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5 [基本設定]パネルを表示します。

6 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

7 E[印刷目的]を一覧から選択します。

8 F[印刷品質]を一覧から選択します。

9 [ページ加工]パネルを表示します。

10 A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

11 B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[16 インチ(406.4mm)]が表示されていることを確認します。

メモ

- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの L[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

12 C［原稿サイズ］で、［ページ属性］ダイアログボックスの C［用紙サイズ］で選択した原稿のサイズ、ここでは［ISO A4］が表示されていることを確認します。

13 D［拡大/縮小印刷］チェックボックスをオンにします。

14 F［ロール紙の幅に合わせる］をクリックします。

15 印刷の設定を確認し、M［プリント］をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する（Mac OS X） →P.290 」を参照してください。

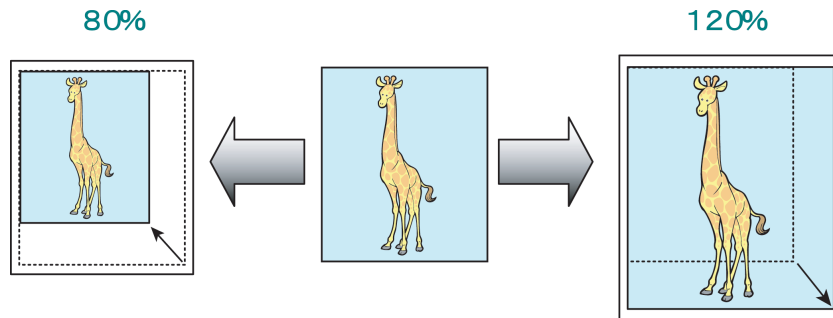
指定した倍率で拡大/縮小して印刷する

原稿を大きく引き伸ばしたり、縮小したり、印刷するサイズを自由に調整できます。

- ［拡大/縮小印刷］

  プリンタドライバで原稿を拡大/縮小して印刷できます。

- ［倍率を指定する］

  指定した倍率で原稿を拡大/縮小します。

倍率を指定して拡大/縮小して印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 指定した倍率で拡大/縮小して印刷する（Windows） →P.70
- 指定した倍率で拡大/縮小して印刷する（Mac OS X） →P.72

メモ

- デジタルカメラで撮影した JPEG や TIFF 形式の画像データを拡大して印刷する場合は、Adobe Photoshop などのアプリケーションソフトで、入力解像度を原寸で 150dpi 以上に設定すると、より良い印刷結果が得られます。

指定した倍率で拡大/縮小して印刷する（Windows）

ここでは、以下を例に、指定した倍率で原稿を拡大して印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4（210.0×297.0 mm）

- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A2/A3 ロール(420.0 mm)

重要

- フチなしで印刷する場合は、倍率を指定して拡大/縮小して印刷することはできません。

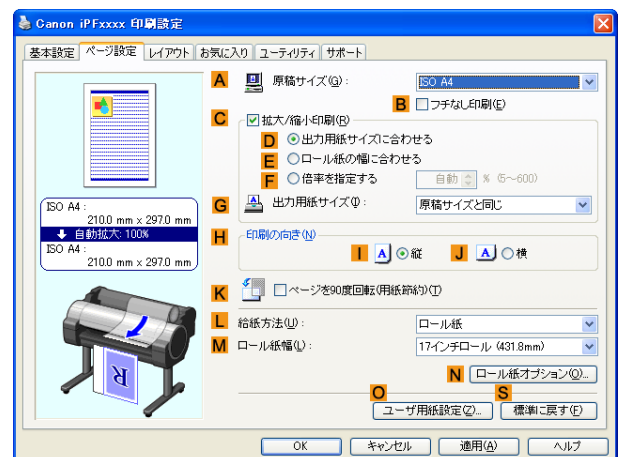
1 アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows) →P.160 」参照)

3 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

5 E[印刷目的]の一覧から印刷目的を選択します。

6 [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

7 L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

8 M[ロール紙幅]の一覧で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A2/A3 ロール(420.0mm)]をクリックします。

9 A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

10 C[拡大/縮小印刷]チェックボックスをオンにします。

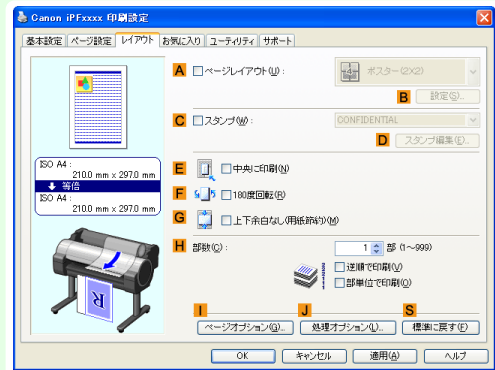
11 G[出力用紙サイズ]の一覧から[ISO A4]をクリックします。

12 F［倍率を指定する］をクリックし、［120］を入力します。

メモ

- 印刷する用紙のサイズより大きくなるように倍率を指定することもできますが、右側と下側の用紙に収まらない部分は印刷されません。
- 拡大/縮小した原稿のサイズが用紙のサイズよりも小さいと左上に寄って印刷されます。その場合は、［レイアウト］シートの E［中央に印刷］チェックボックスをオンにすると中央に印刷できます。

13 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する（Windows） →P.157 」を参照してください。

指定した倍率で拡大/縮小して印刷する（Mac OS X）

ここでは、以下を例に、指定した倍率で原稿を拡大して印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4（210.0×297.0 mm）
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A2/A3 ロール（420.0 mm）

1 B［対象プリンタ］と C［用紙サイズ］の設定をします。

メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
アプリケーションのメニューに［ページ設定］が表示される場合は、［ページ設定］から［ページ属性］ダイアログボックスを開き設定を行います。

表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから［プリント］を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

A プリンタ： iPFxxxx
B プリセット： 標準
C 部数： 1 丁合い
D ページ： すべて
E 開始： 1 終了： 1
F 用紙サイズ： ISO A4 21.00 x 29.70 cm
G 方向：

2 A［プリンタ］の一覧からプリンタを選択します。

3 F［用紙サイズ］の一覧から原稿のサイズ、ここでは［ISO A4］をクリックします。

4 [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5 [基本設定]パネルを表示します。

6 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

7 E[印刷目的]を一覧から選択します。

8 F[印刷品質]を一覧から選択します。

9 [ページ加工]パネルを表示します。

10 A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

11 B［ロール紙幅］で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは［ISO A2/A3（420.0mm）］が表示されていることを確認します。

メモ

- B［ロール紙幅］に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、［基本設定］パネルの L［プリンタ情報］をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

12 C［原稿サイズ］で、［ページ属性］ダイアログボックスの C［用紙サイズ］で選択した原稿のサイズ、ここでは［ISO A4］が表示されていることを確認します。

13 D［拡大/縮小印刷］チェックボックスをオンにします。

14 G［倍率を指定する］をクリックし、［120］を入力します。

メモ

- 印刷する用紙のサイズより大きくなるように倍率を指定することもできますが、用紙に収まらない部分は印刷されません。
- 拡大/縮小した原稿のサイズが用紙のサイズよりも小さいと左上に寄って印刷されます。その場合は、J［中央に印刷］チェックボックスをオンにすると中央に印刷できます。

15 印刷の設定を確認し、M［プリント］をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する（Mac OS X） →P.290」を参照してください。

原寸で印刷する

オーバーサイズの用紙サイズに印刷する 75
原稿サイズの全面を原寸で印刷する(Windows) 76
原稿サイズの全面を原寸で印刷する(Mac OS X) 77

原寸大のフチなしで印刷する 79
原寸大のフチなしで印刷する(Windows) 80
原寸大のフチなしで印刷する(Mac OS X) 82

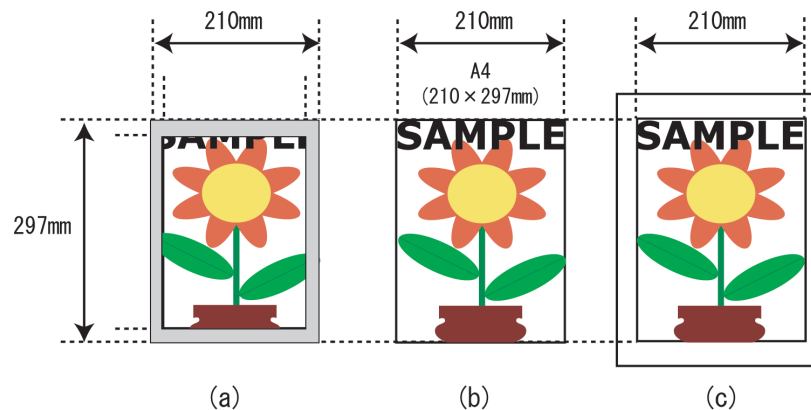
オーバーサイズの用紙サイズに印刷する

フチなし印刷の場合を除き、プリンタの印刷領域は、選択した用紙のサイズから余白を除いたサイズになります(「印刷領域 →P.602 」参照)。文書や画像を余白なく作成し、そのままのサイズで印刷したい場合は、オーバーサイズの用紙サイズを使用します。
例えば、A4 サイズの原稿を余白なしで A4 サイズに印刷するには、A4 よりも大きなサイズの用紙に印刷し、印刷した後で周囲の余白を切り落とします。

メモ

- 通常の用紙サイズでは、原稿を余白なく作成して印刷した場合、用紙の端の画像が欠けます。

- [オーバーサイズ]

通常の用紙サイズの[外側]に、プリンタの動作に必要な余白をとって印刷します。例えば、A4 サイズ(210×297 mm)の原稿を印刷した場合は、以下のようになります。

- (a) 通常の用紙サイズ:灰色の部分は印刷されません。
- (b) 原稿のサイズ
- (c) オーバーサイズの用紙サイズ:印刷領域が原稿のサイズ(b)と一致します。

重要

- オーバーサイズの用紙サイズに印刷するときは、原稿のサイズに、プリンタの動作に必要な余白を加えたサイズよりも大きな用紙をセットしてください。
  - カット紙の場合:原稿のサイズより、幅 6 mm 以上、高さ 26 mm 以上大きな用紙をセットします。
  - ロール紙の場合:原稿のサイズより、幅 6 mm 以上、長さ 6 mm 以上大きな用紙をセットします。

メモ

- プリンタにセットできる最大の用紙サイズに対しては、オーバーサイズの用紙サイズは使用できません。(「用紙のサイズ →P.388 」参照)
- 定形外の用紙に対してオーバーサイズの用紙サイズを設定する場合は、ユーザ定義用紙に用紙サイズを登録してください。[カスタムサイズ]では、オーバーサイズの用紙サイズの設定はできません。(「定形外の用紙に印刷する →P.103 」参照)

オーバーサイズで印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 原稿サイズの全面を原寸で印刷する(Windows) →P.76
- 原稿サイズの全面を原寸で印刷する(Mac OS X) →P.77

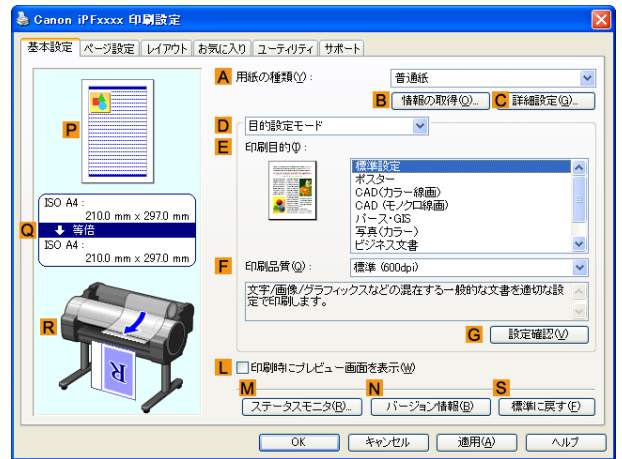
原稿サイズの全面を原寸で印刷する(Windows)

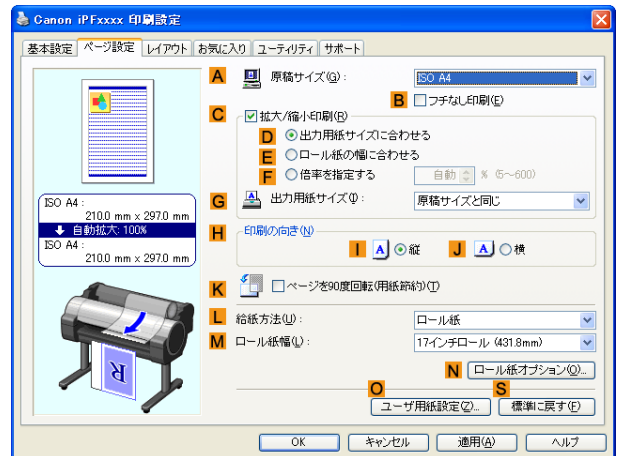
ここでは、以下を例に、原稿サイズの全面を原寸で印刷する手順を説明します。(オーバーサイズ印刷)

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4(210.0×297.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A2/A3 ロール(420.0 mm)

1 アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows)→P.160」参照)

3 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

5 [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

6 O[ユーザ用紙設定]をクリックし、[ユーザ用紙設定]ダイアログボックスを開きます。

7 [ユーザ用紙設定]ダイアログボックスで、[サイズ系列]の[オーバーサイズ]チェックボックスをオンにします。

8 [OK]をクリックし、[ユーザ用紙設定]ダイアログボックスを閉じます。

9 A[原稿サイズ]の一覧から[オーバーサイズ - ISO A4]をクリックします。

10 L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

11 **M**［ロール紙幅］の一覧で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは［ISO A2/A3 ロール（420.0mm）］をクリックします。

12 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する（Windows） →P.157 」を参照してください。

原稿サイズの全面を原寸で印刷する（Mac OS X）

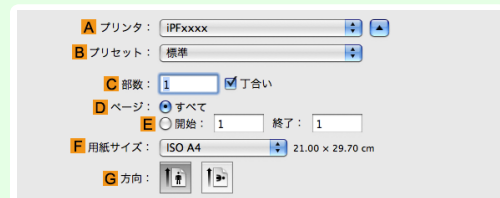
ここでは、以下を例に、原稿サイズの全面を原寸で印刷する手順を説明します。（オーバーサイズ印刷）

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4（210.0×297.0 mm）
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A2/A3 ロール（420.0 mm）

1 **B**［対象プリンタ］と **C**［用紙サイズ］の設定をします。

メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
アプリケーションのメニューに［ページ設定］が表示される場合は、［ページ設定］から［ページ属性］ダイアログボックスを開き設定を行います。

表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから［プリント］を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2 **A**［プリンタ］の一覧からプリンタを選択します。

3 **F**［用紙サイズ］の一覧から原稿のサイズ、ここでは［ISO A4 - オーバーサイズ］をクリックします。

4 ［ページ属性］ダイアログボックスで設定した場合、**F**［OK］をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから［プリント］を選択します。

5 [基本設定]パネルを表示します。

6 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

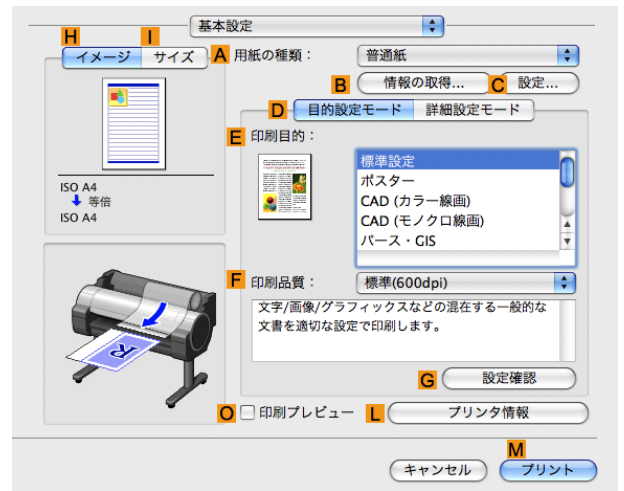
7 E[印刷目的]を一覧から選択します。

8 F[印刷品質]を一覧から選択します。

9 [ページ加工]パネルを表示します。

10 A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

11 B[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A2/A3(420.0mm)]が表示されていることを確認します。

メモ

- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの L[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

12 C[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスの C[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4 - オーバーサイズ]が表示されていることを確認します。

13 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Mac OS X) →P.290 」を参照してください。

原寸大のフチなしで印刷する

写真やイラストで構成されるポスターのように、周囲の余白(フチ)のない印刷物を作成したい場合に、フチなしで印刷できます。

- [フチなし印刷]

通常の印刷では、原稿の周囲にプリンタの動作に必要な余白が入ります。フチなし印刷では、原稿の周囲に余白を入れず、用紙の全面に印刷します。

重要

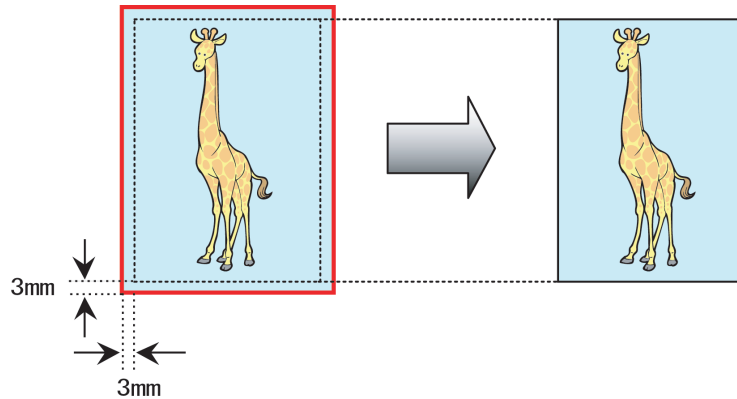
- フチなし印刷は、ロール紙専用の機能です。
- フチなし印刷できる用紙は、用紙の種類とロール紙の幅が限られています。フチなし印刷できる用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類 →P.388 」参照)
- オートカットできない用紙の場合は、左右のみフチなしで印刷します。
- フチなし印刷時は、ページレイアウト、中央に印刷、およびロール紙のカットライン印刷はできません。
- フチなし印刷時、[出力用紙サイズに合わせる]または[画像を原寸大で印刷する](Windows のみ)が選択されている場合は[ページを 90 度回転(用紙節約)]を選択することはできません。
- フチなし印刷の場合、印刷を中断して用紙をカットするため、用紙の先端で若干の色ムラが発生することがあります。より高画質をお求めになる場合は、プリンタドライバの[オートカット設定]で[なし]を選択し、印刷します。この場合、左右のみフチなしで印刷されます。印刷物を排紙、カットした後に、上下のフチをはさみなどでカットしてください。
- 工場出荷時の状態では、すべての用紙でインク乾燥時間が無効に設定されています。インクの定着が悪い用紙にフチなし印刷する場合、使用頻度によっては、カッターユニットが印刷面に接触して傷が付いたり、切断面が乱れることがあります。このような場合は、以下の手順でインク乾燥時間を変更してください。
  - プリンタドライバの[基本設定]シートで、[用紙の種類]の[設定]をクリックします。
  - [インク乾燥時間]の[ページ間]の一覧からインク乾燥時間を選択します。

- [フチなし印刷の方法]

印刷する原稿に合わせ、フチなし印刷の方法を選択できます。

- [画像を原寸大で印刷する]

  原稿の拡大/縮小を行わず、原稿のサイズと同じサイズで印刷します。原稿を用紙のサイズより上下左右に 3 mm ずつ大きく作成する必要があります。

メモ

- 選択できる原稿のサイズには制限があります。
- 用紙サイズに合わせて原稿を作成した場合でも、用紙サイズに合わせたフチなし印刷では、画像が自動的に拡大されます。そのため、わずかに画質が劣化します。画質を重視する場合は、用紙サイズよりも上下左右 3 mm ずつ大きいサイズで原稿を作成し、原寸大のフチなしで印刷してください。

写真やイラストを原寸大のフチなしで印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 原寸大のフチなしで印刷する(Windows) →P.80
- 原寸大のフチなしで印刷する(Mac OS X) →P.82

原寸大のフチなしで印刷する(Windows)

ここでは、以下を例に、原寸大のフチなしで原稿を印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:四切(10×12 インチ)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:厚口コート紙
- ロール紙幅:10 インチ(254.0 mm)

1 アプリケーションソフトで、四切(254.0×304.8 mm)よりも上下左右に 3 mm ずつ大きいサイズ(260.0×310.8 mm)で原稿を作成します。

メモ

- Microsoft Word などの余白を設定できるアプリケーションソフトでは、余白を 0 mm に設定します。余白の設定方法については、アプリケーションソフトの説明書を参照してください。
- 上下左右の約 3 mm は印刷されません。印刷したい部分が用紙に収まるように原稿を作成してください。

2 アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

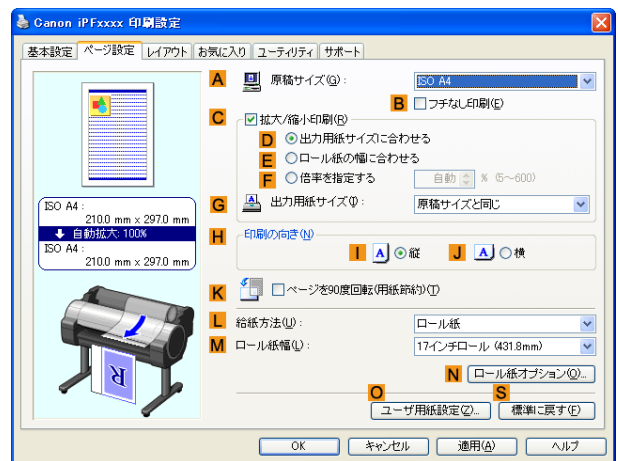
3 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。

(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows) →P.160 」参照)

4 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

5 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは厚口コート紙をクリックします。

6 E[印刷目的]を一覧から選択します。

7 [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

8 A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[四切 (10"x12")]をクリックします。

9 L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

10 B[フチなし印刷]チェックボックスをオンにし、[情報]ダイアログボックスを開きます。

11 [ロール紙幅]の一覧から、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[10 インチロール(254.0mm)]をクリックします。

12 [OK]をクリックし、[情報]ダイアログボックスを閉じます。

13 C[フチなし印刷の方法]で、F[画像を原寸大で印刷する]をクリックします。

14 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.157 」を参照してください。

原寸大のフチなしで印刷する(Mac OS X)

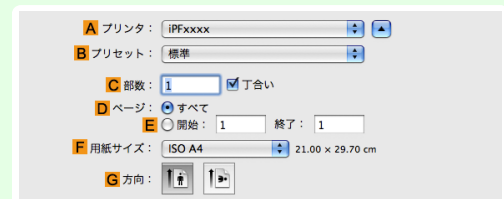
ここでは、以下を例に、原寸大のフチなしで原稿を印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:四切(10×12 インチ)- フチなし
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:厚口コート紙
- ロール紙幅:10 インチ(254.0 mm)

1 B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
  アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

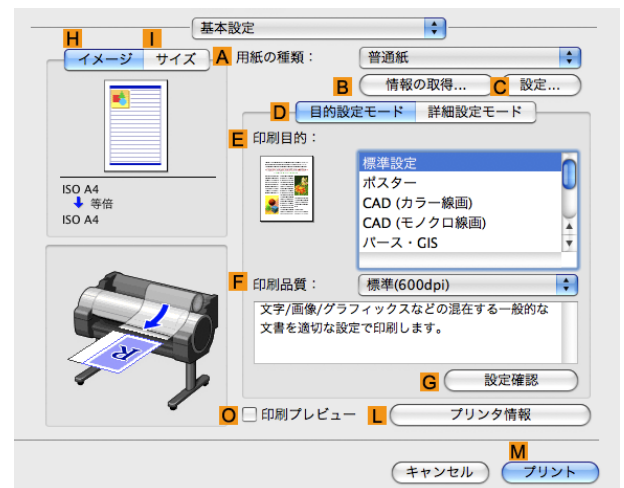
  表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2 A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3 F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここではフチなし印刷が可能な用紙サイズ[四切(10"×12")- フチなし]をクリックします。

メモ

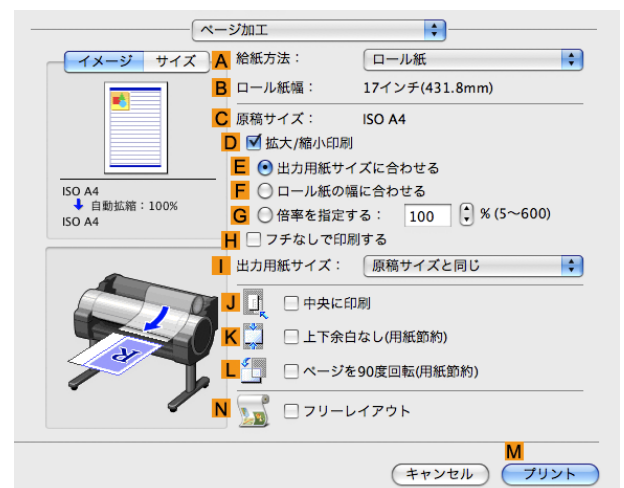
- 原寸大のフチなし印刷が可能な用紙のサイズは、通常のサイズ名の後に[- フチなし]が付いたサイズです。

4 [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5 [基本設定]パネルを表示します。

6 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは厚口コート紙をクリックします。

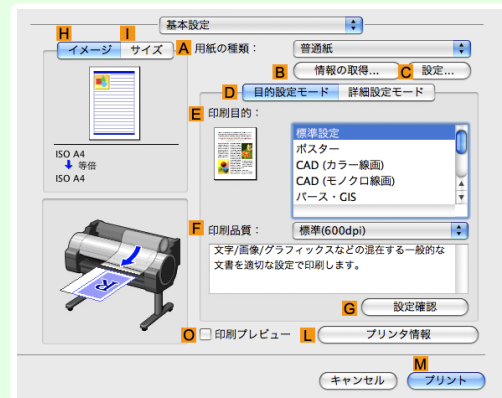
7 E[印刷目的]を一覧から選択します。

8 F[印刷品質]を一覧から選択します。

9 [ページ加工]パネルを表示します。

10 A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

11 ロール紙幅と原稿サイズが一致していることを確認します。
B[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[10 インチ(254.0mm)]が表示されていることを確認します。

メモ

- **B**[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの **L**[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

12 **C**[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスの **C**[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[四切(10"×12")- フチなし]が表示されていることを確認します。

13 印刷の設定を確認し、**M**[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Mac OS X) →P.290 」を参照してください。

フチなしで印刷する

用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する 85
用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する(Windows) 86
用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する(Mac OS X) 87
ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する 90
ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する(Windows) 91
ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する(Mac OS X) 92

用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する

写真やイラストで構成されるポスターのように、周囲の余白(フチ)のない印刷物を作成したい場合に、フチなしで印刷できます。

- [フチなし印刷]

通常の印刷では、原稿の周囲にプリンタの動作に必要な余白が入ります。フチなし印刷では、原稿の周囲に余白を入れず、用紙の全面に印刷します。

重要

- フチなし印刷は、ロール紙専用の機能です。
- フチなし印刷できる用紙は、用紙の種類とロール紙の幅が限られています。フチなし印刷できる用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類 →P.388」参照)
- オートカットできない用紙の場合は、左右のみフチなしで印刷します。
- フチなし印刷時は、ページレイアウト、中央に印刷、およびロール紙のカットライン印刷はできません。
- フチなし印刷時、[出力用紙サイズに合わせる]または[画像を原寸大で印刷する](Windows のみ)が選択されている場合は[ページを 90 度回転(用紙節約)]を選択することはできません。
- フチなし印刷の場合、印刷を中断して用紙をカットするため、用紙の先端で若干の色ムラが発生することがあります。より高画質をお求めになる場合は、プリンタドライバの[オートカット設定]で[なし]を選択し、印刷します。この場合、左右のみフチなしで印刷されます。印刷物を排紙、カットした後に、上下のフチをはさみなどでカットしてください。
- 工場出荷時の状態では、すべての用紙でインク乾燥時間が無効に設定されています。インクの定着が悪い用紙にフチなし印刷する場合、使用頻度によっては、カッターユニットが印刷面に接触して傷が付いたり、切断面が乱れることがあります。このような場合は、以下の手順でインク乾燥時間を変更してください。
  - プリンタドライバの[基本設定]シートで、[用紙の種類]の[設定]をクリックします。
  - [インク乾燥時間]の[ページ間]の一覧からインク乾燥時間を選択します。

- [フチなし印刷の方法]

印刷する原稿に合わせ、フチなし印刷の方法を選択できます。

- [出力用紙サイズに合わせる]

用紙のサイズに合わせて原稿を拡大/縮小します。

メモ

- 原稿の各辺は、プリンタドライバで用紙サイズに対して上下左右に 3 mm ずつ大きく設定されます。用紙の外にはみ出した 3 mm の部分は印刷されません。

写真やイラストを出力する用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する（Windows） →P.86
- 用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する（Mac OS X） →P.87

用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する（Windows）

ここでは、以下を例に、用紙のサイズに合わせて原稿を拡大してフチなしで印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:四切（10×12 インチ）
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:厚口コート紙
- ロール紙幅:10 インチ（254.0 mm）

1 アプリケーションソフトで、原稿を用紙のサイズいっぱいに作成します。

メモ

- Microsoft Word などの余白を設定できるアプリケーションソフトでは、余白を 0 mm に設定します。余白の設定方法については、アプリケーションソフトの説明書を参照してください。

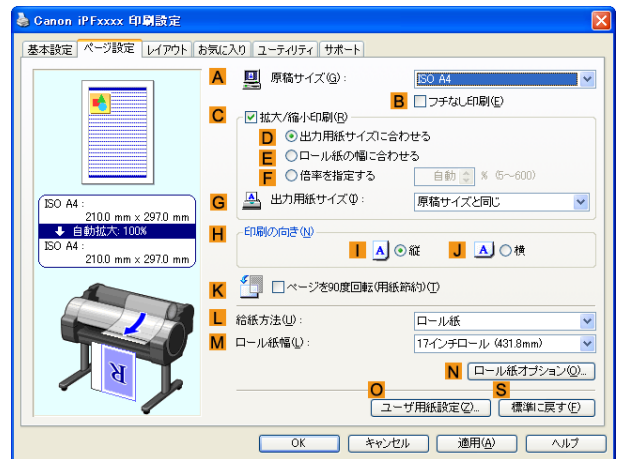
2 アプリケーションソフトのメニューから[印刷]（プリント）を選択します。

3 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。（「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く（Windows） →P.160 」参照）

4 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

5 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは厚口コート紙をクリックします。

6 E[印刷目的]を一覧から選択します。

7 [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

8 **A**[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[四切 (10"x12")]をクリックします。

9 **L**[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

10 **B**[フチなし印刷]チェックボックスをオンにし、[情報]ダイアログボックスを開きます。

11 [ロール紙幅]の一覧から、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[10 インチロール (254.0mm)]をクリックします。

12 [OK]をクリックし、[情報]ダイアログボックスを閉じます。

13 **C**[フチなし印刷の方法]で、**D**[出力用紙サイズに合わせる]をクリックします。

14 **G**[出力用紙サイズ]の一覧から[原稿サイズと同じ]をクリックします。

15 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.157」を参照してください。

用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する(Mac OS X)

ここでは、以下を例に、用紙のサイズに合わせて原稿を拡大してフチなしで印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:四切(10×12 インチ)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:厚口コート紙

- ロール紙幅:10 インチ(254.0 mm)

1 B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

> メモ
> - ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
> アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。
>
> 表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2 A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3 F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは[四切 (10"x12")]をクリックします。

> メモ
> - 用紙のサイズに合わせて原稿を拡大/縮小してフチなしで印刷する場合は、すべてのサイズを選択できます。

4 [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5 [基本設定]パネルを表示します。

6 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは厚口コート紙をクリックします。

7 E[印刷目的]を一覧から選択します。

8 F[印刷品質]を一覧から選択します。

9 [ページ加工]パネルを表示します。

10 A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

11 B[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[10 インチ(254.0mm)]が表示されていることを確認します。

メモ

- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルのL[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

12 C[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスのC[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[四切 (10"x12")]が表示されていることを確認します。

13 [ページ加工]パネルのD[拡大/縮小印刷]チェックボックスをオンにします。

14 H[フチなしで印刷する]チェックボックスをオンにします。

15 D[拡大/縮小印刷]で、E[出力用紙サイズに合わせる]をクリックします。

16 I[出力用紙サイズ]の一覧から用紙のサイズ、ここでは[四切(10"×12")- フチなし]をクリックします。

17 印刷の設定を確認し、M［プリント］をクリックして印刷を開始します。

メモ
- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Mac OS X) →P.290」を参照してください。

ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する

写真やイラストで構成されるポスターのように、周囲の余白(フチ)のない印刷物を作成したい場合に、フチなしで印刷できます。

- ［フチなし印刷］

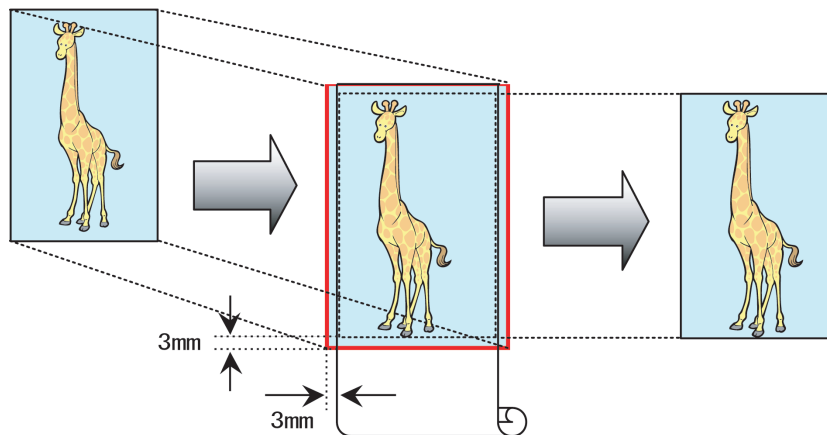
通常の印刷では、原稿の周囲にプリンタの動作に必要な余白が入ります。フチなし印刷では、原稿の周囲に余白を入れず、用紙の全面に印刷します。

重要
- フチなし印刷は、ロール紙専用の機能です。
- フチなし印刷できる用紙は、用紙の種類とロール紙の幅が限られています。フチなし印刷できる用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類 →P.388」参照)
- オートカットできない用紙の場合は、左右のみフチなしで印刷します。
- フチなし印刷時は、ページレイアウト、中央に印刷、およびロール紙のカットライン印刷はできません。
- フチなし印刷時、［出力用紙サイズに合わせる］または［画像を原寸大で印刷する］(Windows のみ)が選択されている場合は［ページを 90 度回転(用紙節約)］を選択することはできません。
- フチなし印刷の場合、印刷を中断して用紙をカットするため、用紙の先端で若干の色ムラが発生することがあります。より高画質をお求めになる場合は、プリンタドライバの［オートカット設定］で［なし］を選択し、印刷します。この場合、左右のみフチなしで印刷されます。印刷物を排紙、カットした後に、上下のフチをはさみなどでカットしてください。
- 工場出荷時の状態では、すべての用紙でインク乾燥時間が無効に設定されています。インクの定着が悪い用紙にフチなし印刷する場合、使用頻度によっては、カッターユニットが印刷面に接触して傷が付いたり、切断面が乱れることがあります。このような場合は、以下の手順でインク乾燥時間を変更してください。
  - プリンタドライバの［基本設定］シートで、［用紙の種類］の［設定］をクリックします。
  - ［インク乾燥時間］の［ページ間］の一覧からインク乾燥時間を選択します。

- ［フチなし印刷の方法］

印刷する原稿に合わせ、フチなし印刷の方法を選択できます。

- ［ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小する］

原稿の幅をロール紙の幅に合わせて原稿全体を拡大/縮小します。

メモ
- ページを 90 度回転させて印刷する設定と組み合わせて使用すると、原稿の縦の幅とロール紙の幅を合わせて、フチなしで印刷できます。

写真やイラストをロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する(Windows) →P.91
- ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する(Mac OS X) →P.92

ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する(Windows)

ここでは、以下を例に、ロール紙の幅に合わせて原稿を拡大してフチなしで印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4(210.0×297.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:厚口コート紙
- ロール紙幅:10 インチ(254.0 mm)

1 アプリケーションソフトで、原稿を用紙のサイズいっぱいに作成します。

メモ

- Microsoft Word などの余白を設定できるアプリケーションソフトでは、余白を 0 mm に設定します。余白の設定方法については、アプリケーションソフトの説明書を参照してください。

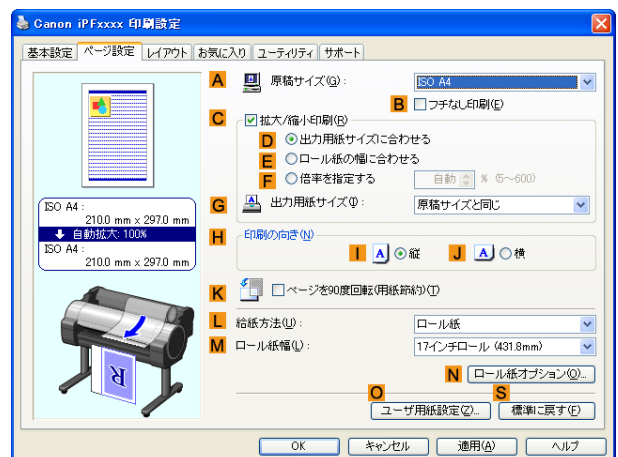
2 アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

3 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows) →P.160 」参照)

4 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

5 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは厚口コート紙をクリックします。

6 E[印刷目的]を一覧から選択します。

7 [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

8 A［原稿サイズ］の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは［ISO A4］をクリックします。

9 L［給紙方法］の一覧からロール紙を選択してクリックします。

10 B［フチなし印刷］チェックボックスをオンにし、［情報］ダイアログボックスを開きます。

11 ［ロール紙幅］の一覧から、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは［10 インチロール (254.0mm)］をクリックします。

12 ［OK］をクリックし、［情報］ダイアログボックスを閉じます。

13 C［フチなし印刷の方法］で、E［ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小する］が選択されていることを確認します。

14 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する（Windows） →P.157 」を参照してください。

ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する（Mac OS X）

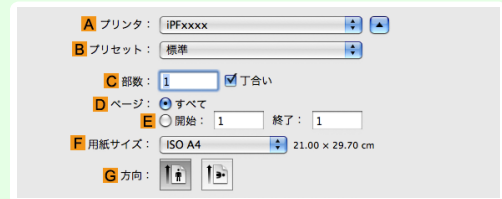
ここでは、以下を例に、ロール紙の幅に合わせて原稿を拡大してフチなしで印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4（210.0×297.0 mm）
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:厚口コート紙
- ロール紙幅:10 インチ（254.0 mm）

1 B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2 A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3 F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

メモ

- ロール紙の幅に合わせて原稿を拡大/縮小してフチなしで印刷する場合は、すべてのサイズを選択できます。

4 [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5 [基本設定]パネルを表示します。

6 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは厚口コート紙をクリックします。

7 E[印刷目的]を一覧から選択します。

8 F[印刷品質]を一覧から選択します。

9 ［ページ加工］パネルを表示します。

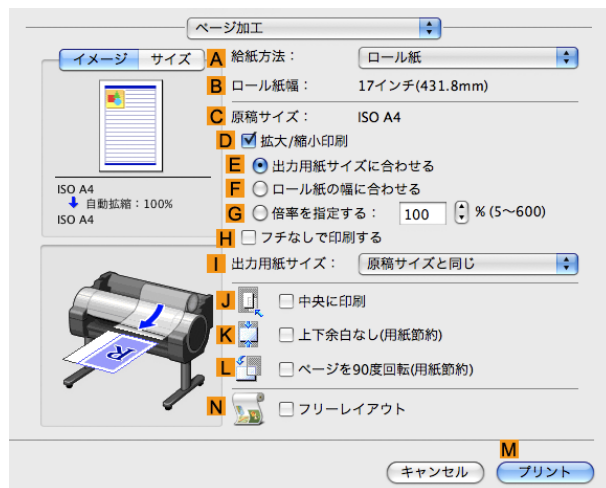
10 A［給紙方法］の一覧からロール紙を選択してクリックします。

11 B［ロール紙幅］で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは［10 インチ(254.0mm)］が表示されていることを確認します。

メモ

- B［ロール紙幅］に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、［基本設定］パネルの L［プリンタ情報］をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

12 C［原稿サイズ］で、［ページ属性］ダイアログボックスの C［用紙サイズ］で選択した原稿のサイズ、ここでは［ISO A4］が表示されていることを確認します。

13 D［拡大/縮小印刷］チェックボックスをオンにします。

14 H［フチなしで印刷する］チェックボックスをオンにします。
自動的に D［拡大/縮小印刷］で F［ロール紙の幅に合わせる］が選択されます。

15 印刷の設定を確認し、**M**[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Mac OS X) →P.290」を参照してください。

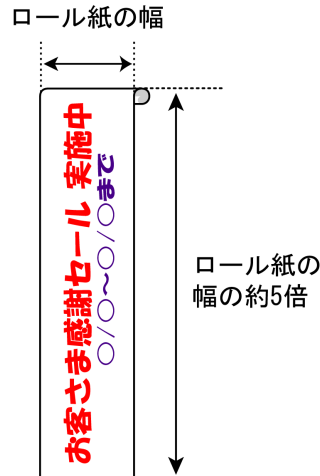
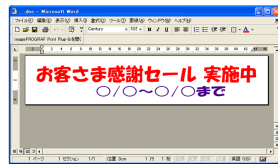
垂れ幕など定形外の用紙に印刷する

垂れ幕や横断幕を印刷する(長尺印刷) 96
垂れ幕や横断幕を印刷する(長尺印刷)(Windows) 96
垂れ幕や横断幕を印刷する(長尺印刷)(Mac OS X) 100
定形外の用紙に印刷する 103
定形外の用紙に印刷する(Windows) 103
定形外の用紙に印刷する(Mac OS X) 106

垂れ幕や横断幕を印刷する(長尺印刷)

このプリンタでは、ロール紙を使用して最大 18.0m の長尺印刷ができます。
Print Plug-In for Office または PosterArtist を使用すれば、最大 18.0m の垂れ幕や横断幕が簡単に印刷できます。
(「Print Plug-In for Office の特長 →P.222」、「PosterArtist で編集して印刷する →P.39」参照)
ただし、アプリケーションソフトによっては設定可能な原稿サイズに制約があるため、18.0m の印刷ができない場合があります。

[ロール紙の幅に合わせる]

垂れ幕や横断幕の幅をロール紙の幅に合わせたいときは、プリンタドライバの自動的に拡大/縮小して印刷する機能を使用します。
たとえば Microsoft Word などのアプリケーションソフトで作成した原稿を自動的に拡大すれば、簡単にロール紙の幅いっぱいに印刷できます。

垂れ幕や横断幕を印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 垂れ幕や横断幕を印刷する(長尺印刷)(Windows) →P.96
- 垂れ幕や横断幕を印刷する(長尺印刷)(Mac OS X) →P.100

重要

- 印刷を開始する前に、ロール紙の残量を確認してください。プリンタ本体のロール紙の残量検知機能をオンにしている場合は、ロール紙の残量が不足すると、メッセージで表示されます。
- インクの残量が少ない場合は、交換用のインクをご用意ください。
- より高画質をお求めの場合は、プリンタドライバの印刷品質を[きれい]または[最高]、印刷方向を[片方向印刷]に設定して印刷してください。

垂れ幕や横断幕を印刷する(長尺印刷)(Windows)

アプリケーションソフトで作成した原稿をプリンタドライバで自動的に拡大することにより、最大 18.0m の垂れ幕や横断幕が印刷できます。
ただし、アプリケーションソフトによっては設定可能な原稿サイズに制約があるため、18.0m の印刷ができない場合があります。
ここでは、以下を例にロール紙幅の約 5 倍の長さの横断幕(バナー)を印刷する手順を紹介します。

- 原稿:Microsoft Word で作成した横断幕用の原稿

- 原稿サイズ:定形外（100×500 mm）
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:16 インチ（406.4 mm）

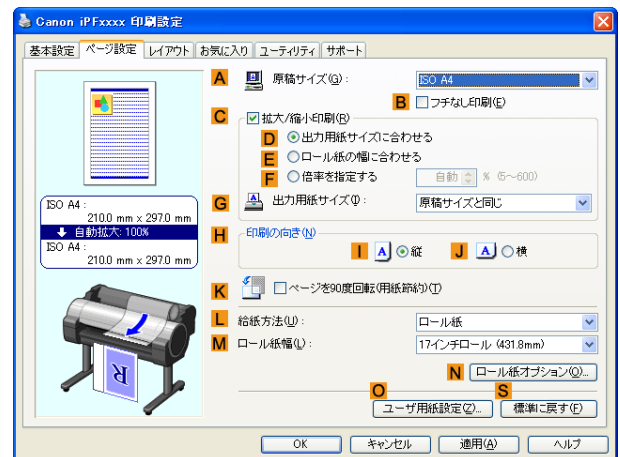
印刷手順は次のとおりです。

1. プリンタドライバにユーザ定義用紙を登録します。
   プリンタドライバに登録する定形外の用紙サイズをユーザ定義用紙と呼びます。
   ユーザ定義用紙を一度登録すれば、以降は用紙サイズの一覧から繰り返し選択できます。
   なお、ユーザ定義用紙は最大 18.0m まで設定できます。
2. アプリケーションソフトで、登録した用紙サイズで原稿を作成します。
3. 垂れ幕や横断幕に対応した設定を行い、印刷します。

ユーザ定義用紙を登録する

ここでは、垂れ幕や横断幕用の横長の用紙サイズを登録する手順を説明します。

1 プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。（「システムのメニューからプリンタドライバのダイアログボックスを開く（Windows） →P.161 」参照）

2 [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

3 L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

4 O[ユーザ用紙設定]をクリックし、[ユーザ用紙設定]ダイアログボックスを開きます。

5 [ユーザ定義用紙名]に任意の名前、ここでは[横断幕用]を入力します。

6 [単位]で、[ミリメートル]をクリックします。

7 [用紙サイズ]の[幅]に[100]、[高さ]に[500]を入力します。

8 [登録]をクリックし、[横断幕用]という名前の用紙サイズを登録します。

9 [OK]をクリックし、[ユーザ用紙設定]ダイアログボックスを閉じます。

10 プリンタドライバのダイアログボックスを閉じます。

メモ

- 用紙サイズは、[カスタムサイズ]でも設定できますが、設定可能なサイズは最大 3.2m です。なお、[カスタムサイズ]の設定は、アプリケーションソフトを終了すると無効になります。
  詳細については、「定形外の用紙に印刷する（Windows） →P.103 」を参照してください。

アプリケーションソフトで原稿を作成する

ここでは、登録したユーザ定義用紙を使用し、Microsoft Word で原稿を作成する手順を説明します。

1 Microsoft Word を起動します。

2 [ファイル]メニューから[ページ設定]を選択し、[ページ設定]ダイアログボックスを開きます。

3 [用紙サイズ]の一覧から、登録したユーザ定義用紙、ここでは[横断幕用]をクリックします。

重要

- [横断幕用]が表示されない場合は、印刷に使用するプリンタとしてこのプリンタが選択されていることを確認してください。
- Microsoft PowerPoint など、登録した用紙サイズを選択できないアプリケーションソフトでは、アプリケーションソフトの[ユーザー設定]などで、100×500 mm を指定します。

4 印刷の向きを横向きに設定します。

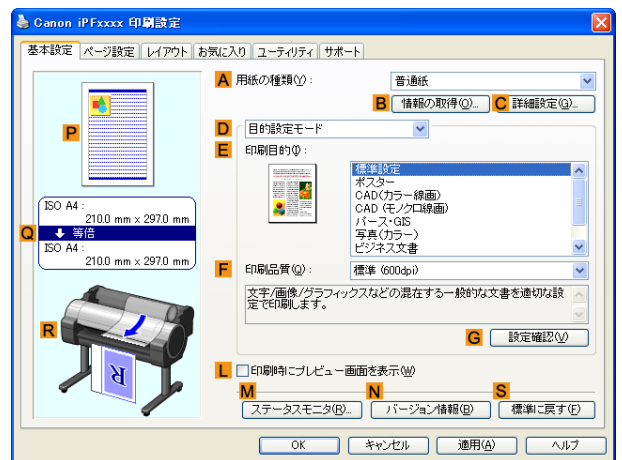
5 原稿を作成します。

印刷する

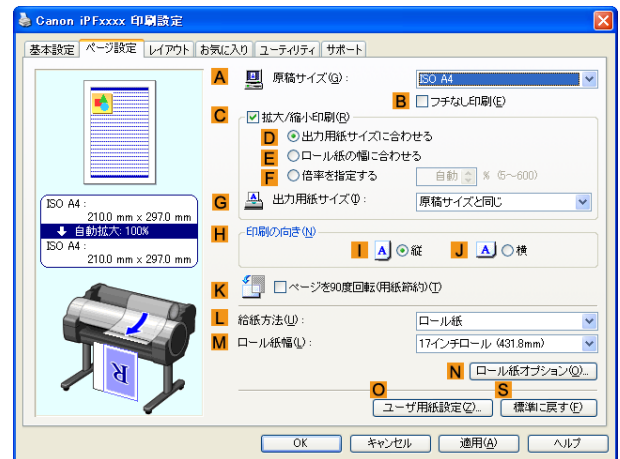
ここでは、垂れ幕や横断幕に対応した設定を行い、印刷する手順を説明します。

1 Microsoft Word のメニューから[印刷]を選択します。

2 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows) →P.160 」参照)

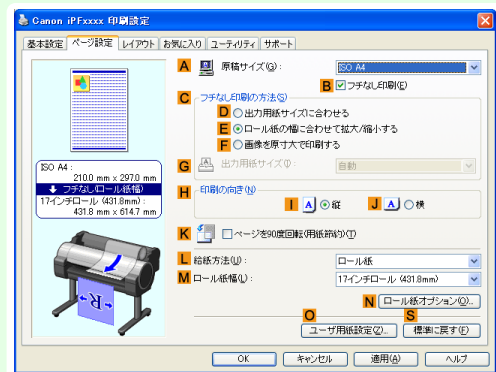
3 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

5 D[目的設定モード]が選択されていることを確認し、E[印刷目的]の一覧から[ポスター]をクリックします。

6 [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

7 **A**[原稿サイズ]の一覧から、登録した[横断幕用]をクリックします。

8 **C**[拡大/縮小印刷]チェックボックスをオンにします。

メモ

- [ページ設定]シートに**C**[拡大/縮小印刷]チェックボックスが表示されない場合は、**B**[フチなし印刷]チェックボックスをオフにします。

9 **L**[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

10 **E**[ロール紙の幅に合わせる]をクリックし、[情報]ダイアログボックスを開きます。

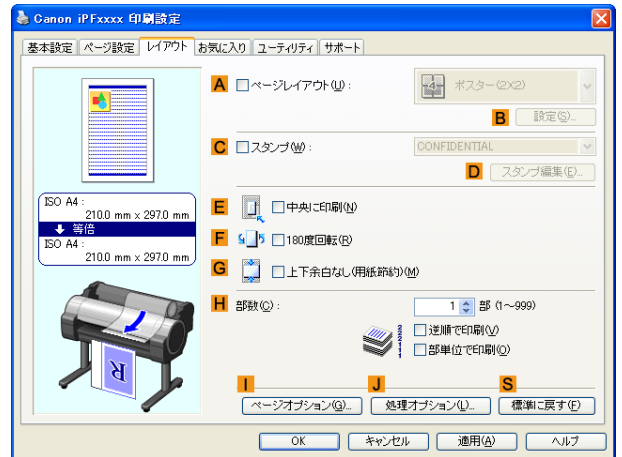
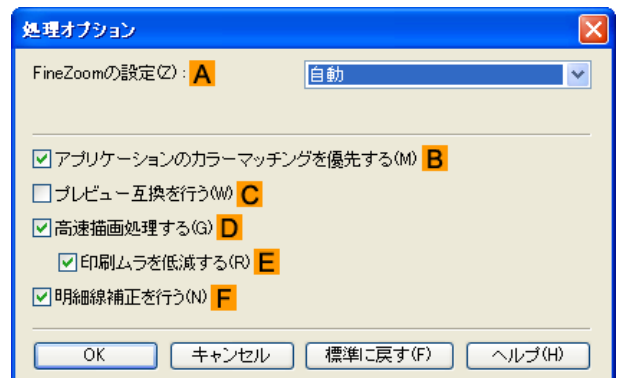
11 [ロール紙幅]の一覧からプリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[16 インチロール(406.4mm)]をクリックし、[OK]をクリックします。

12 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.157」を参照してください。

印刷が正しく行われない場合、以下の設定を行うと印刷できることがあります。

1 [レイアウト]シートの **J** [処理オプション]をクリックし、[処理オプション]ダイアログボックスを開きます。

2 [FineZoom の設定]の一覧から[する]をクリックします。

垂れ幕や横断幕を印刷する(長尺印刷)(Mac OS X)

アプリケーションソフトで作成した原稿をプリンタドライバで自動的に拡大することにより、最大 18.0m の垂れ幕や横断幕が印刷できます。
ここでは、以下を例にロール紙幅の約 5 倍の長さの横断幕(バナー)を印刷する手順を紹介します。

- 原稿:横断幕用の原稿
- 原稿サイズ:定形外(100×500 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:16 インチ(406.4 mm)

印刷手順は次のとおりです。

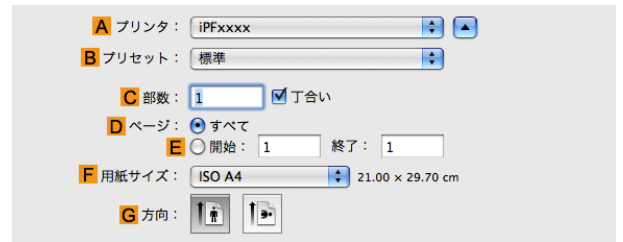
1. アプリケーションソフトで垂れ幕や横断幕用の原稿を作成します。
2. [ページ設定]で[カスタム・ページ・サイズ](Mac OS X 10.4.11〜10.5)/[カスタム用紙サイズ](Mac OS X 10.6〜10.7)を登録します。
   [カスタム・ページ・サイズ]/[カスタム用紙サイズ]を一度登録すれば、以降は用紙サイズの一覧から繰り返し選択できます。
   なお、[カスタム・ページ・サイズ]/[カスタム用紙サイズ]は最大 18.0m まで設定できます。
3. 垂れ幕や横断幕に対応した設定を行い、印刷します。

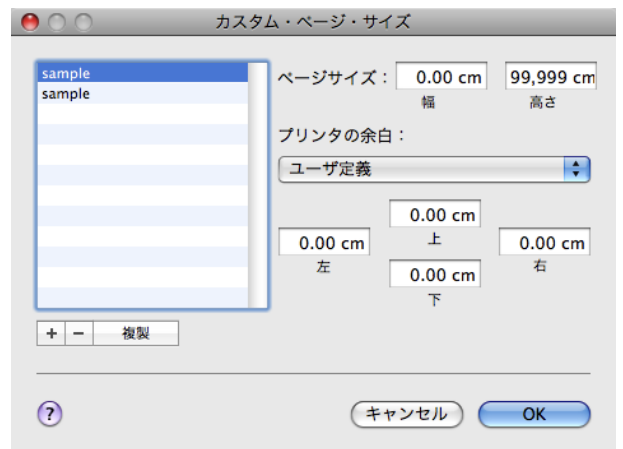
メモ
- 以下の操作手順は Mac OS X 10.5 のものです。定形外の用紙サイズの設定方法は Mac OS X のバージョンによって異なります。

[カスタム･ページ･サイズ]を登録する

ここでは､垂れ幕や横断幕用の横長の用紙サイズを登録し､登録した用紙サイズで原稿を作成する手順を説明します｡

1 アプリケーションソフトで原稿を作成します。

2 アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

3 A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

4 F[用紙サイズ]の一覧から[カスタムサイズを管理]をクリックし､[カスタム･ページ･サイズ]ダイアログボックスを開きます。

5 左側の一覧の[名称未設定]をダブルクリックし､登録するページサイズの名前､ここでは[100*500]を入力します。
左側の一覧に[名称未設定]が表示されない場合は､左側の一覧の下にある[+]をクリックします。

6 [ページサイズ]の[幅]に[10]､[高さ]に[50]を入力します｡単位は cm で入力します。

7 [プリンタの余白]で､上下左右の余白に[0.3]を入力します｡単位は cm で入力します。

8 [OK]をクリックし､[カスタム･ページ･サイズ]ダイアログボックスを閉じます。

9 F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ､ここでは登録した[100*500]をクリックします。

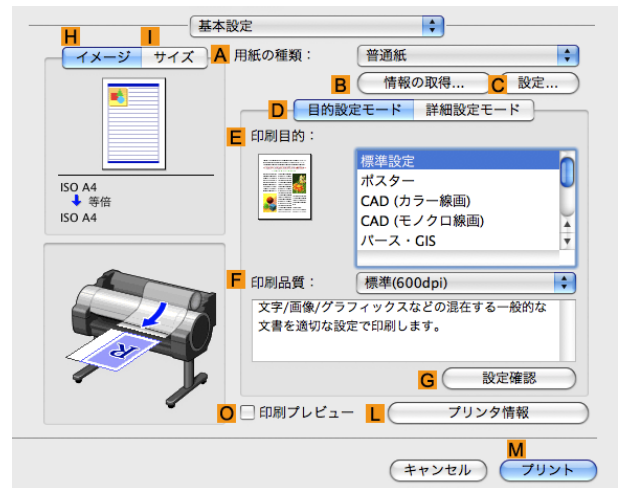
10 G[方向]で､原稿が横向きのアイコンをクリックします。

11 [OK]をクリックし､ダイアログボックスを閉じます。

印刷する

ここでは､垂れ幕や横断幕に対応した設定を行い､印刷する手順を説明します。

1 アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

2 [基本設定]パネルを表示します。

3 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

4 E[印刷目的]を一覧から選択します。

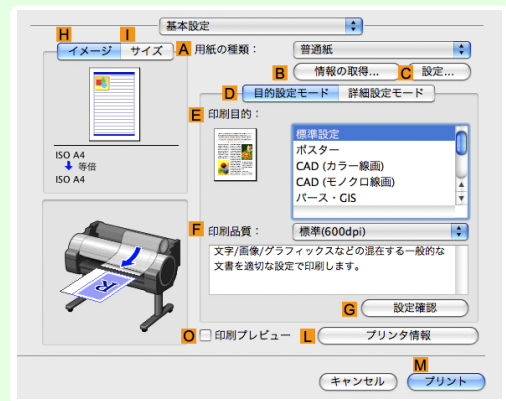
5 F[印刷品質]を一覧から選択します。

6 [ページ加工]パネルを表示します。

7 A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

8 B[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[16 インチ(406.4mm)]が表示されていることを確認します。

メモ

- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの L[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

9 **C**[原稿サイズ]で、[ページ設定]で登録した[100*500]が表示されていることを確認します。

10 **D**[拡大/縮小印刷]チェックボックスをオンにします。

11 **F**[ロール紙の幅に合わせる]をクリックします。

12 印刷の設定を確認し、**M**[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Mac OS X) →P.290 」を参照してください。

定形外の用紙に印刷する

定形外の用紙への印刷は、用紙サイズをプリンタドライバに登録して行います。
用紙サイズを一度登録すれば、以降は用紙サイズの一覧から繰り返し選択できます。なお、用紙サイズは最大 18.0m まで設定できます。

メモ

- Windows では、用紙サイズを[カスタムサイズ]でも設定できますが、設定可能なサイズは最大 3.2m です。また、[カスタムサイズ]の設定は、アプリケーションソフトを終了すると無効になります。

定形外の用紙に印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 定形外の用紙に印刷する(Windows) →P.103
- 定形外の用紙に印刷する(Mac OS X) →P.106

定形外の用紙に印刷する(Windows)

定形外の用紙への印刷は、用紙サイズをプリンタドライバに登録して行います。
プリンタドライバに登録する定形外の用紙サイズをユーザ定義用紙と呼びます。
ユーザ定義用紙を一度登録すれば、以降は用紙サイズの一覧から繰り返し選択できます。
なお、ユーザ定義用紙は最大 18.0m まで設定できます。

メモ

- 用紙サイズを[カスタムサイズ]として一時的に設定する方法もありますが、設定可能なサイズは最大 3.2m です。また、[カスタムサイズ]はアプリケーションソフトを終了すると無効になります。

ユーザ定義用紙を登録して印刷する

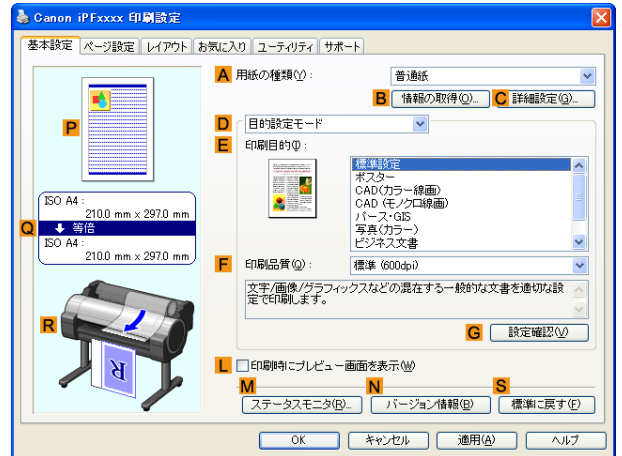
ここでは、以下を例に定形外の用紙サイズを[正方形 430]という名前で登録して印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:正方形(430×430 mm)
- 用紙:カット紙
- 用紙の種類:任意の種類
- 用紙サイズ:正方形(430×430 mm)

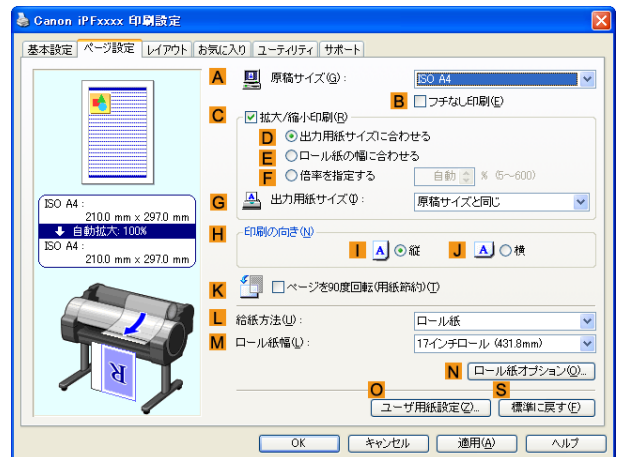
1 プリンタに正方形(430×430 mm)の用紙をセットします。

2 アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

3 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。
(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows) →P.160 」参照)

4 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

5 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類を選択します。

6 D[目的設定モード]が選択されていることを確認し、E[印刷目的]を一覧から選択します。

7 [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

8 O[ユーザ用紙設定]をクリックし、[ユーザ用紙設定]ダイアログボックスを開きます。

9 [ユーザ定義用紙名]に任意の名前、ここでは[正方形430]と入力します。

10 [単位]で[ミリメートル]が選択されていることを確認します。

11 [幅]と[高さ]に[430]を入力します。

メモ
- [幅・高さの比を固定する]チェックボックスをオンにした場合、[幅]または[高さ]のどちらか一方に入力すると、元の幅と高さの比率に応じて、もう一方が自動的に変更されます。

12 [登録]をクリックし、[正方形430]を登録します。

13 [OK]をクリックし、[ユーザ用紙設定]ダイアログボックスを閉じます。

14 L[給紙方法]の一覧から[カット紙]をクリックします。

15 A[原稿サイズ]の一覧から、登録した[正方形430]をクリックします。

16 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.157」を参照してください。

[カスタムサイズ]で印刷する

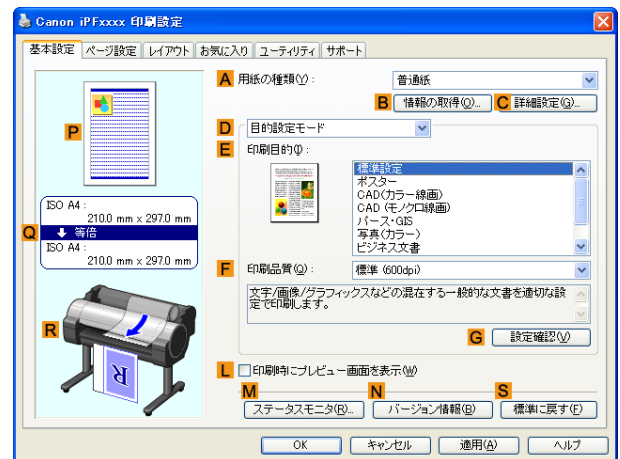
ここでは、以下を例に、[カスタムサイズ]を使用して印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:定形外の正方形(430×430 mm)
- 用紙:カット紙
- 用紙の種類:任意の種類
- 用紙サイズ:正方形(430×430 mm)

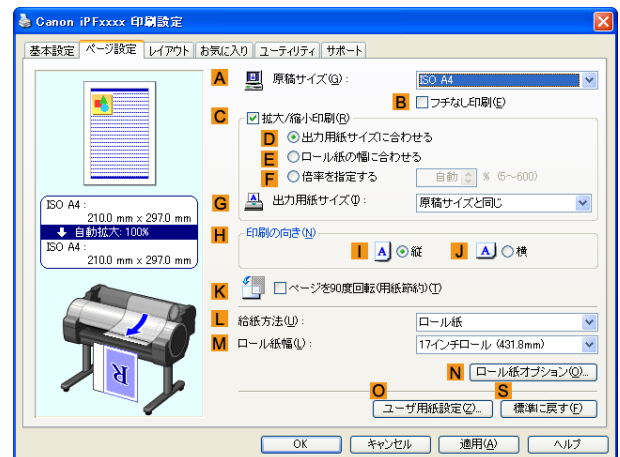
1 プリンタに正方形(430×430 mm)の用紙をセットします。

2 アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

3 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows) →P.160」参照)

4 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

5 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類を選択します。

6 D[目的設定モード]が選択されていることを確認し、E[印刷目的]を一覧から選択します。

7 [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

8 L[給紙方法]の一覧から[手差し]をクリックします。

9 A[原稿サイズ]の一覧から[カスタムサイズ]をクリックし、[カスタムサイズ設定]ダイアログボックスを開きます。

10 [単位]で[ミリメートル]が選択されていることを確認します。

11 [幅]と[高さ]に[430]を入力します。

12 [OK]をクリックし、[カスタムサイズ設定]ダイアログボックスを閉じます。

13 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ
- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.157 」を参照してください。

定形外の用紙に印刷する(Mac OS X)

定形外の用紙への印刷は、用紙サイズをプリンタドライバに登録して行います。
プリンタドライバに登録する定形外の用紙サイズを[カスタム・ページ・サイズ](Mac OS X 10.4.11〜10.5)/[カスタム用紙サイズ](Mac OS X 10.6〜10.7)と呼びます。
[カスタム・ページ・サイズ]/[カスタム用紙サイズ]を一度登録すれば、以降は用紙サイズの一覧から繰り返し選択できます。
なお、[カスタム・ページ・サイズ]/[カスタム用紙サイズ]は最大 18.0m まで設定できます。
ここでは、以下を例に定形外の用紙サイズを[430*430]という名前で登録して印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:正方形(430×430 mm)
- 用紙:カット紙
- 用紙の種類:任意の種類
- 用紙サイズ:正方形(430×430 mm)

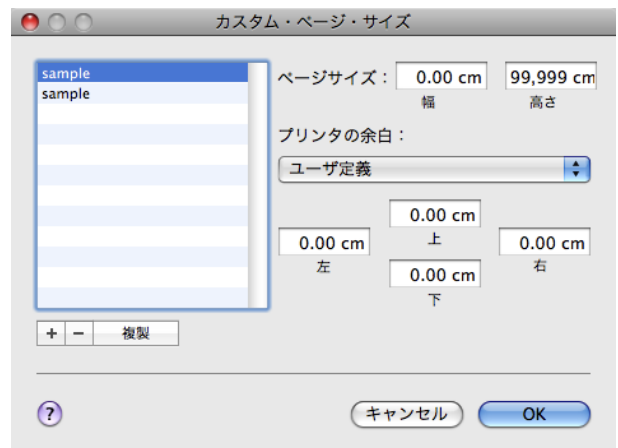
メモ
- 以下の手順は Mac OS X 10.5 のものです。定形外の用紙サイズの設定方法は Mac OS X のバージョンによって異なります。

1 アプリケーションソフトで原稿を作成します。

2 プリンタに正方形(430×430 mm)の用紙をセットします。

3 アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

4 A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

5 F[用紙サイズ]の一覧から[カスタムサイズを管理]をクリックし、[カスタム・ページ・サイズ]ダイアログボックスを開きます。

6 [ページサイズ]で、原稿の幅と高さ、ここでは[幅]と[高さ]に[43.00 cm]を入力します。

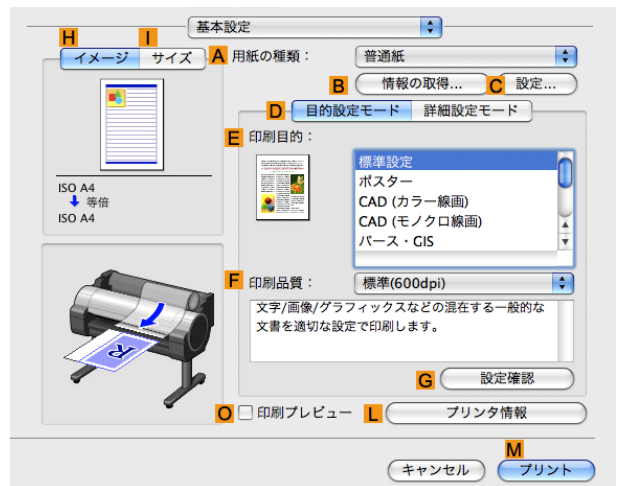
7 [プリンタの余白]で、上と左右の余白に[0.5]、下の余白に[2.3]を入力します。単位は cm で入力します。

8 [カスタム・ページ・サイズ]ダイアログボックスの左側の一覧の[名称未設定]をダブルクリックし、用紙サイズの名前、ここでは[430*430]を入力します。

9 [OK]をクリックし、[カスタム・ページ・サイズ]ダイアログボックスを閉じます。

10 F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは登録した[430*430]をクリックします。

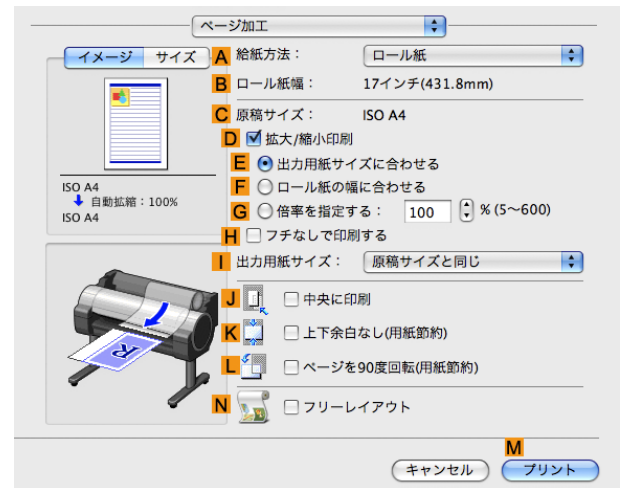
11 [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

12 [基本設定]パネルを表示します。

13 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類を選択します。

14 D[目的設定モード]が選択されていることを確認し、E[印刷目的]を一覧から選択します。

15 F[印刷品質]を一覧から選択します。

さまざまな印刷方法
垂れ幕など定形外の用紙に印刷する

16 [ページ加工]パネルを表示します。

17 A[給紙方法]の一覧から[カット紙]をクリックします。

18 C[原稿サイズ]で、[ページ設定]で登録した[430*430]が表示されていることを確認します。

19 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ
- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Mac OS X) →P.290 」を参照してください。

分割して印刷する／まとめて印刷する

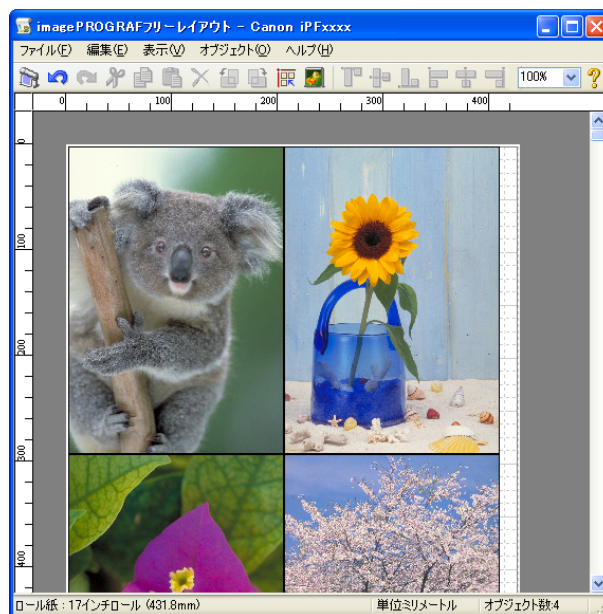
複数の原稿を並べて印刷する 109
複数の原稿を並べて印刷する（Windows） 110
複数の原稿を並べて印刷する（Mac OS X） 111
複数ページをつなげて印刷する 113
複数ページをつなげて印刷する（Windows） 113
複数ページをつなげて印刷する（Mac OS X） 114
複数のページを 1 ページにまとめて印刷する 116
複数のページを 1 ページにまとめて印刷する（Windows） 117
複数のページを 1 ページにまとめて印刷する（Mac OS X） 118
ポスターを分割して印刷する 121
大きなポスターを印刷する（Windows） 121

複数の原稿を並べて印刷する

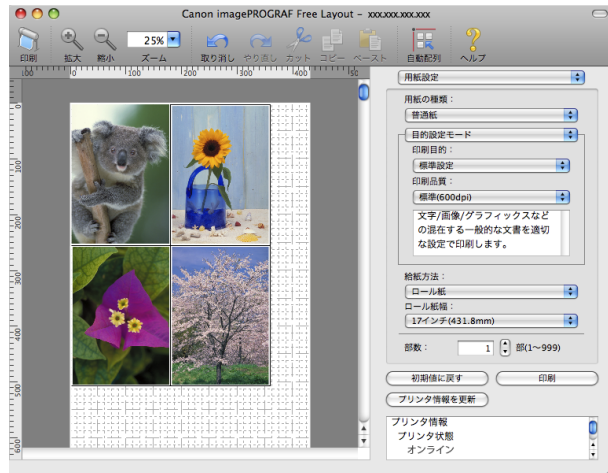
ワープロソフトや表計算ソフトの原稿、Web ブラウザの画面などを並べてレイアウトすることで、表現力の豊かなプレゼンテーション資料やわかりやすい会議用の資料など、さまざまな印刷物を作成できます。

- ［フリーレイアウト］（Windows）

複数のページを用紙に配置するだけでなく、複数のファイルの原稿を用紙に配置して印刷したり、複数のアプリケーションソフトで作成した原稿を用紙に配置して印刷することができます。

メモ

- フリーレイアウトは 64 ビット版の Windows では使用できません。

- [imagePROGRAF Free Layout](Macintosh)

複数のページを用紙に配置するだけでなく、複数のファイルの原稿を用紙に配置して印刷したり、複数のアプリケーションソフトで作成した原稿を用紙に配置して印刷することができます。

複数のアプリケーションソフトの原稿を配置して印刷する方法については、以下のトピックを参照してください。

- 複数の原稿を並べて印刷する(Windows) →P.110
- 複数の原稿を並べて印刷する(Mac OS X) →P.111

複数の原稿を並べて印刷する(Windows)

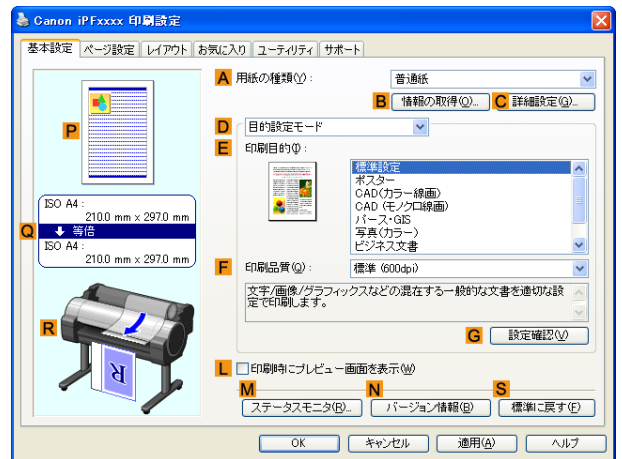
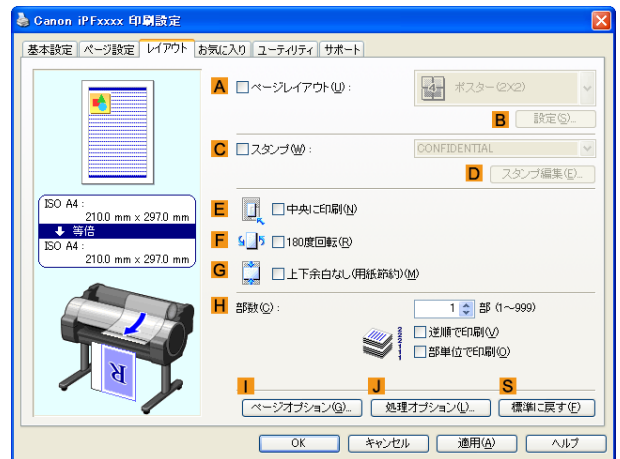
ここでは、フリーレイアウトという機能で、複数の原稿を並べて印刷する手順を説明します。

メモ

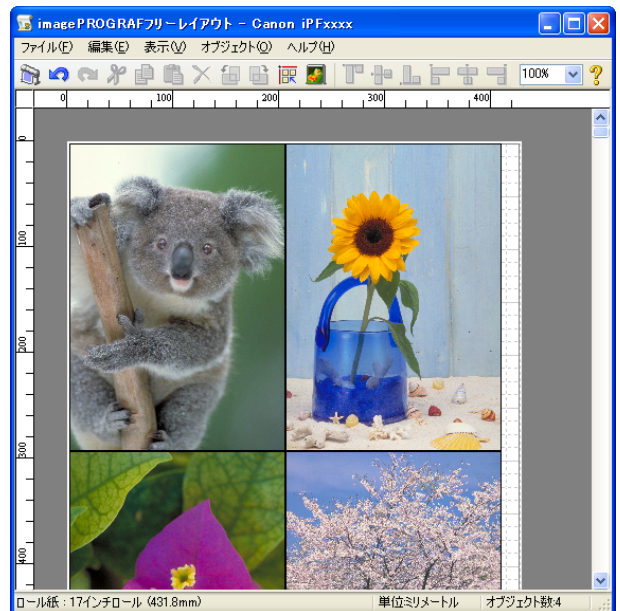
- フリーレイアウトは 64 ビット版の Windows では使用できません。

1 アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows) →P.160」参照)

3 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4 [レイアウト]タブをクリックし、[レイアウト]シートを表示します。

5 **A**[ページレイアウト]チェックボックスをオンにします。

6 **A**[ページレイアウト]の一覧から[フリーレイアウト]をクリックします。

7 印刷を実行すると、imagePROGRAF フリーレイアウトのウィンドウが開きます。(実際には、まだ用紙に印刷されません。)

8 imagePROGRAF フリーレイアウトのウィンドウで、イメージの編集や並べ替えを行います。

メモ

- imagePROGRAF フリーレイアウトのウィンドウを閉じずに手順 1 から手順 7 を繰り返すことで、複数のアプリケーションソフトの原稿を 1 ページに配置することができます。
- イメージの編集や並べ替えの方法については、imagePROGRAF フリーレイアウトのヘルプを参照してください。

9 imagePROGRAF フリーレイアウトのメニューから印刷します。

メモ

- imagePROGRAF フリーレイアウト機能についての詳細は、フリーレイアウト →P.192 を参照してください。

複数の原稿を並べて印刷する(Mac OS X)

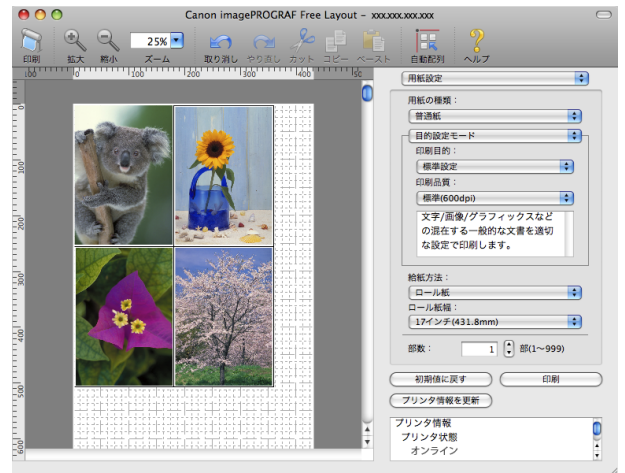
ここでは、[Free Layout](フリーレイアウト)という機能で、複数の原稿を並べて印刷する手順を説明します。

1 アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

2 [ページ加工]パネルを表示します。

3 **N**[フリーレイアウト]チェックボックスをオンにします。

4 **M**[プリント]をクリックします。

5 [Canon imagePROGRAF Free Layout]のウィンドウが開きます。

6 [Canon imagePROGRAF Free Layout]のウィンドウで、イメージの編集や並べ替えを行います。

メモ

- [Canon imagePROGRAF Free Layout]のウィンドウを閉じずに手順 1 から手順 4 を繰り返すことで、複数のアプリケーションソフトの原稿を 1 ページに配置することができます。
- イメージの編集や並べ替えの方法については、[Canon imagePROGRAF Free Layout]のヘルプを参照してください。

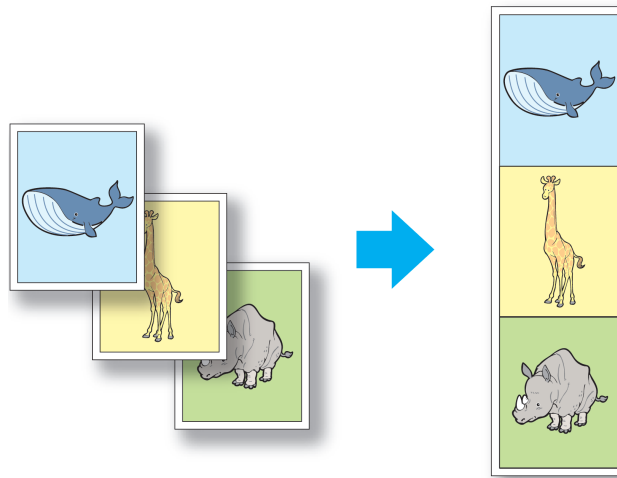
7 [Canon imagePROGRAF Free Layout]のメニューから印刷します。

メモ

- [Canon imagePROGRAF Free Layout]機能についての詳細は、Free Layout →P.328 を参照してください。

複数ページをつなげて印刷する

複数ページのデータを、ページ間の余白を無くして一枚のつながった用紙として印刷することができます。

- ロール紙(バナー印刷)

重要

- この機能では、ロール紙にのみ印刷できます。カット紙に印刷することはできません。
- この機能を使用して印刷する場合は、用紙節約、部数、フチなし印刷、拡大/縮小印刷、レイアウトなどの設定が無効になります。

写真やイラストを原寸大のフチなしで印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 複数ページをつなげて印刷する(Windows) →P.113
- 複数ページをつなげて印刷する(Mac OS X) →P.114

複数ページをつなげて印刷する(Windows)

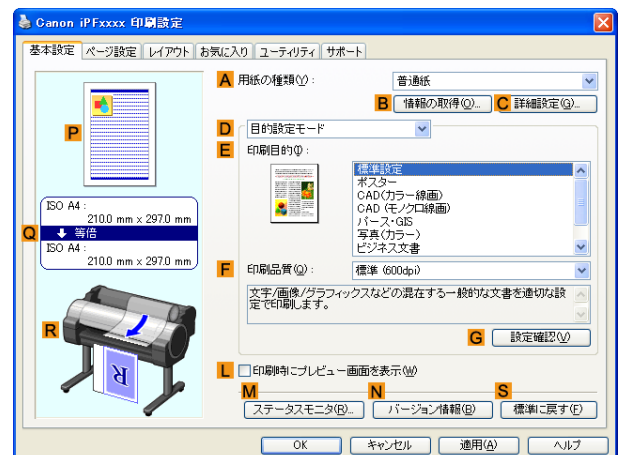
ここでは、複数ページのデータを、ページ間の余白を無くして一枚のつながった用紙として印刷する手順について説明します。

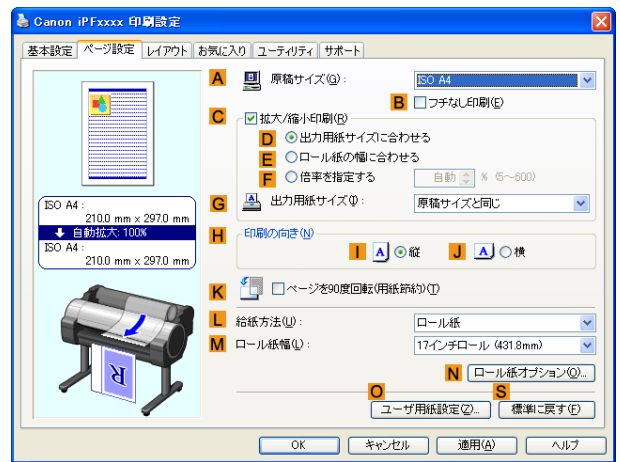
重要

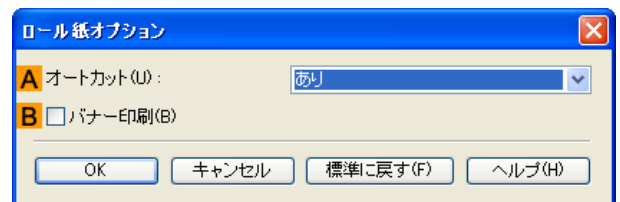
- この機能では、ロール紙にのみ印刷できます。カット紙に印刷することはできません。
- この機能を使用して印刷する場合は、用紙節約、部数、フチなし印刷、拡大/縮小印刷、レイアウトなどの設定が無効になります。

1 アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows) →P.160 」参照)

3 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類をクリックします。

5 [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

6 L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

7 N[ロール紙オプション]をクリックし、[ロール紙オプション]ダイアログボックスを表示します。

8 B[バナー印刷]チェックボックスをオンにします。

9 [OK]をクリックします。

10 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.157 」を参照してください。

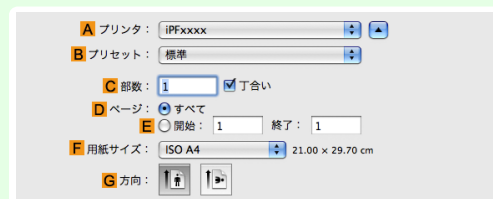
複数ページをつなげて印刷する(Mac OS X)

ここでは、複数ページのデータを、ページ間の余白を無くして一枚のつながった用紙として印刷する手順について説明します。

重要

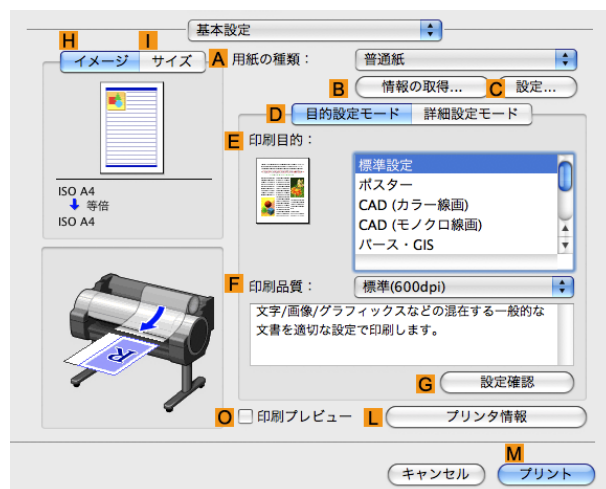
- この機能では、ロール紙にのみ印刷できます。カット紙に印刷することはできません。
- この機能を使用して印刷する場合は、用紙節約、部数、フチなし印刷、拡大/縮小印刷、レイアウトなどの設定が無効になります。

1 B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

> メモ
> - ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
> アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。
>
> 表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2 A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3 F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズをクリックします。

4 [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5 [基本設定]パネルを表示します。

6 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類をクリックします。

7 E[印刷目的]を一覧から選択します。

8 F[印刷品質]を一覧から選択します。

9 ［ページ加工］パネルを表示します。

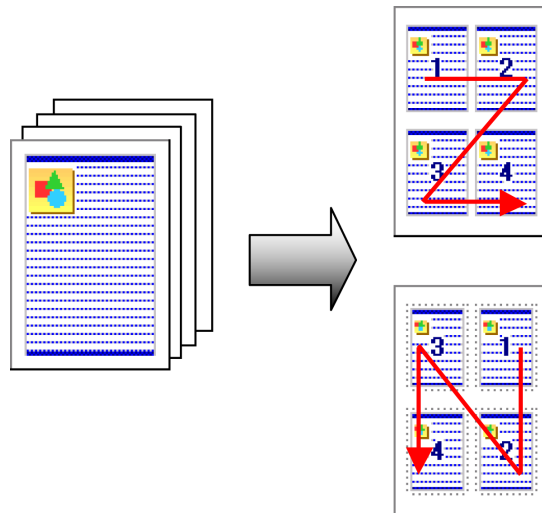
10 A［給紙方法］の一覧から［ロール紙（バナー印刷）］をクリックします。

11 印刷の設定を確認し、M［プリント］をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する（Mac OS X）→P.290」を参照してください。

複数のページを１ページにまとめて印刷する

原稿を縮小し、複数のページを１ページに割り付けて印刷することで、用紙を節約できます。

- ［ページレイアウト］

１枚の用紙に割り付ける原稿のページ数を指定します。

重要

- 以下の場合は、この機能は使用できません。
  - フチなし印刷
  - 倍率を指定した拡大/縮小印刷（Windows）
  - バナー印刷（Windows）
- この機能を使用して印刷する場合は［中央に印刷］の設定が無効になります。

メモ

- 最大 16 ページを１ページにまとめることができます。
- ページの配置順序を変更したり、それぞれのページに枠を付けることもできます。

複数のページを 1 ページにまとめて印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 複数のページを 1 ページにまとめて印刷する(Windows) →P.117
- 複数のページを 1 ページにまとめて印刷する(Mac OS X) →P.118

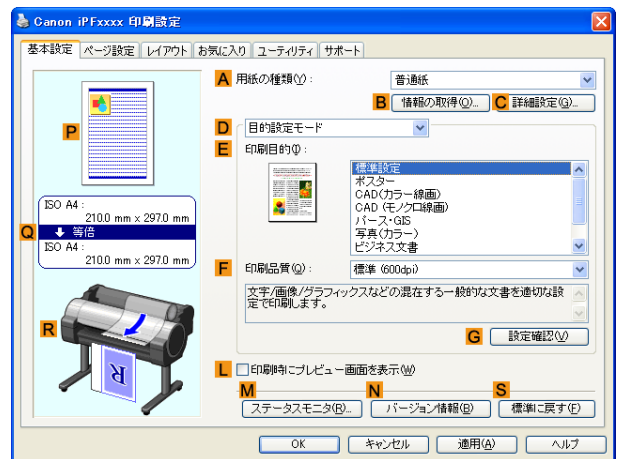
複数のページを 1 ページにまとめて印刷する(Windows)

ここでは、以下を例に、4 ページ分の原稿を 1 ページにまとめて印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A3(297.0×420.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A2/A3 ロール(420.0 mm)

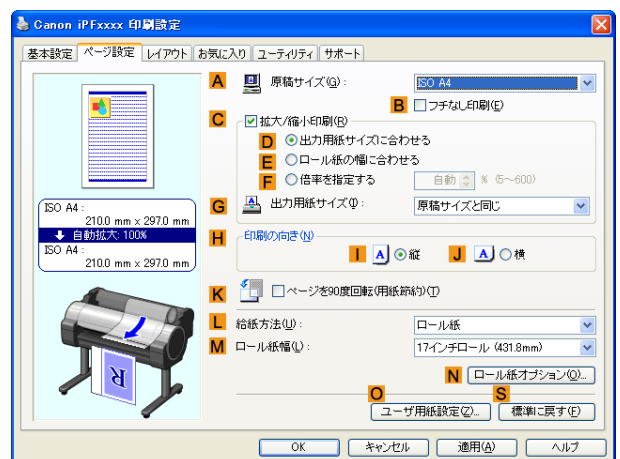
1 アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows) →P.160 」参照)

3 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4 **A**[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

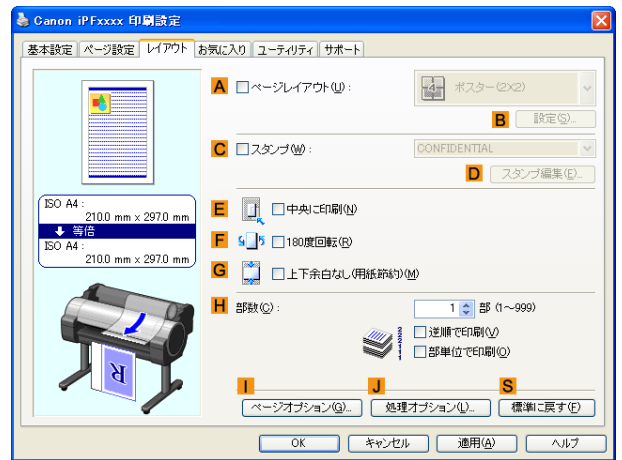
5 **E**[印刷目的]を一覧から選択します。

6 **F**[印刷品質]を一覧から選択します。

7 [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

8 **A**[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[ISO A3]をクリックします。

9 L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

10 M[ロール紙幅]の一覧で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A2/A3 ロール(420.0mm)]をクリックします。

11 [レイアウト]タブをクリックし、[レイアウト]シートを表示します。

12 A[ページレイアウト]チェックボックスをオンにします。

13 A[ページレイアウト]の一覧から[4 ページ/枚]をクリックします。

メモ

- B[設定]をクリックし、[N ページ印刷]ダイアログボックスを開くと、4 ページの上下左右の並び順やページを囲む枠線を選択できます。

14 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.157 」を参照してください。

複数のページを 1 ページにまとめて印刷する(Mac OS X)

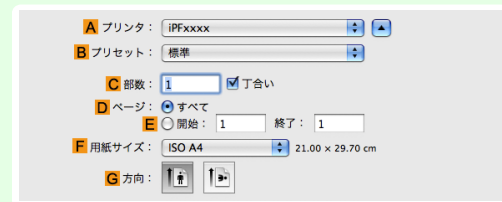
ここでは、以下を例に、4 ページ分の原稿を 1 ページにまとめて印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A3(297.0×420.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A2/A3 ロール(420.0 mm)

1 B［対象プリンタ］と C［用紙サイズ］の設定をします。

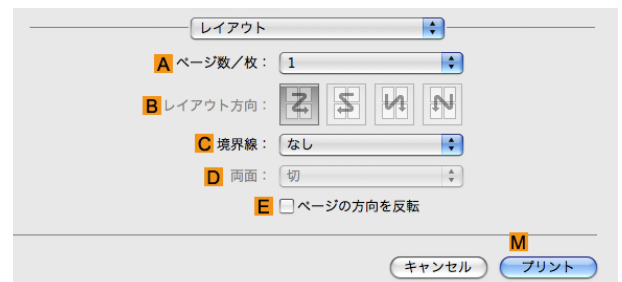
メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
アプリケーションのメニューに［ページ設定］が表示される場合は、［ページ設定］から［ページ属性］ダイアログボックスを開き設定を行います。

表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから［プリント］を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2 A［プリンタ］の一覧からプリンタを選択します。

3 F［用紙サイズ］の一覧から原稿のサイズ、ここでは［ISO A3］をクリックします。

4 ［ページ属性］ダイアログボックスで設定した場合、F［OK］をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから［プリント］を選択します。

5 ［レイアウト］パネルを表示します。

6 A［ページ数／枚］の一覧から［4］をクリックします。

メモ

- B［レイアウト方向］や C［境界線］（または［枠線］）で、4 ページの上下左右の並び順やページを囲む枠線を選択できます。

7 [基本設定]パネルを表示します。

8 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

9 E[印刷目的]を一覧から選択します。

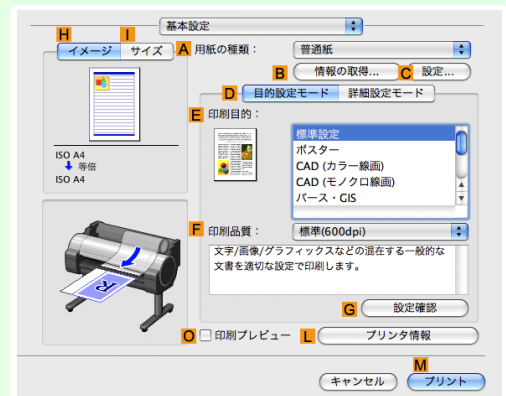
10 F[印刷品質]を一覧から選択します。

11 [ページ加工]パネルを表示します。

12 A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

13 B[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A2/A3(420.0mm)]が表示されていることを確認します。

メモ

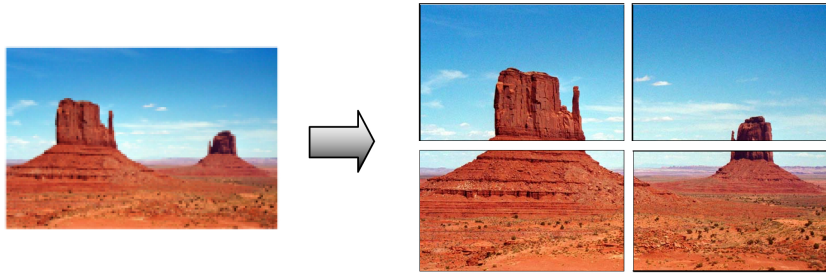
- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの L[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

14 C[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスのC[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[ISO A3]が表示されていることを確認します。

15 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Mac OS X) →P.290」を参照してください。

ポスターを分割して印刷する

原稿を拡大して複数の用紙に分割して印刷します。印刷した用紙を貼り合わせると、プリンタにセットできる用紙のサイズを超える大きさのポスターを作成できます。

- [ページレイアウト]

ポスター印刷を選択します。

重要

- この機能を使用して印刷する場合は[中央に印刷]、[スタンプ]、[上下余白なし(用紙節約)]、[ページオプション]の設定が無効になります。

大きなポスターを印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 大きなポスターを印刷する(Windows) →P.121

メモ

- ポスター印刷は、Windows で使用できます。

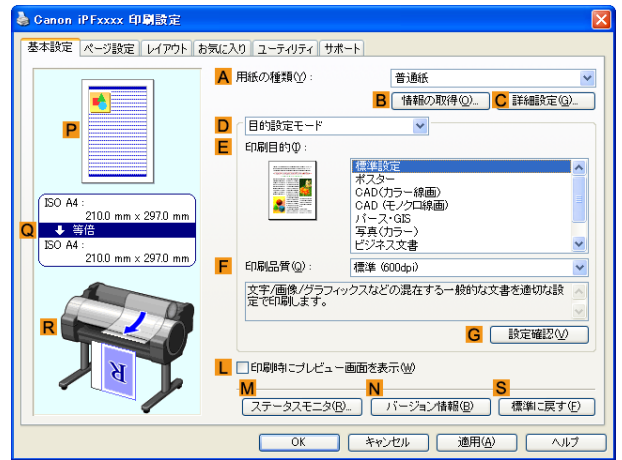
大きなポスターを印刷する(Windows)

原稿を拡大して複数の用紙に分割して印刷できます。印刷した用紙を貼り合わせると、プリンタにセットできる用紙のサイズを超える大きさのポスターを作成できます。ここでは、以下を例に、A2 サイズの原稿を拡大して 4 枚の用紙に分割して印刷する手順を説明します。

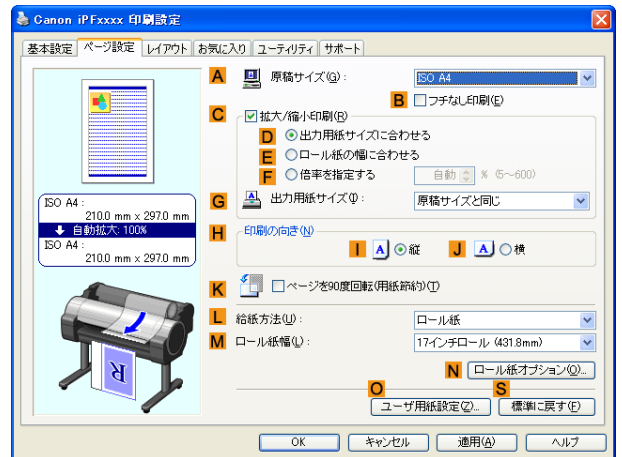
- 原稿:ポスター
- 原稿サイズ:A2(420.0×594.0 mm)
- 用紙:カット紙
- 用紙サイズ:A2(420.0×594.0 mm)

1 アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

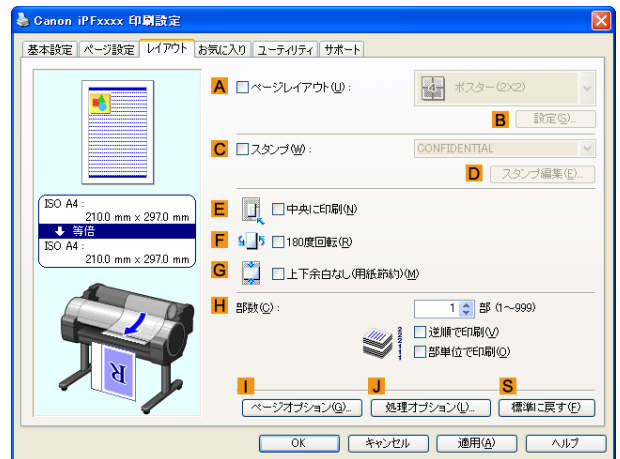
2 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows)」→P.160参照)

3 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4 **A**[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類を選択します。

5 **E**[印刷目的]の一覧から[ポスター]をクリックします。

6 [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

7 **A**[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[ISO A2]をクリックします。

8 **L**[給紙方法]の一覧から[手差し]をクリックします。

9 [レイアウト]タブをクリックし、[レイアウト]シートを表示します。

10 A[ページレイアウト]チェックボックスをオンにします。

11 A[ページレイアウト]の一覧から[ポスター(2 X 2)]をクリックします。

メモ

- 分割して印刷するポスターの一部分だけを印刷する場合は、以下の手順を行います。
  - A[ページレイアウト]の下にあるB[設定]をクリックし、[出力ページの指定]ダイアログボックスを開きます。
  - [出力ページの指定]ダイアログボックスで、印刷しない部分のチェックボックスをオフにします。
  - [OK]をクリックし、[出力ページの指定]ダイアログボックスを閉じます。

12 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.157 」を参照してください。

用紙の中央に印刷する

原稿をロール紙の中央に印刷する 124
原稿をロール紙の中央に印刷する(Windows) 124
原稿をロール紙の中央に印刷する(Mac OS X) 126

原稿をカット紙の中央に印刷する 128
原稿をカット紙の中央に印刷する(Windows) 128
原稿をカット紙の中央に印刷する(Mac OS X) 130

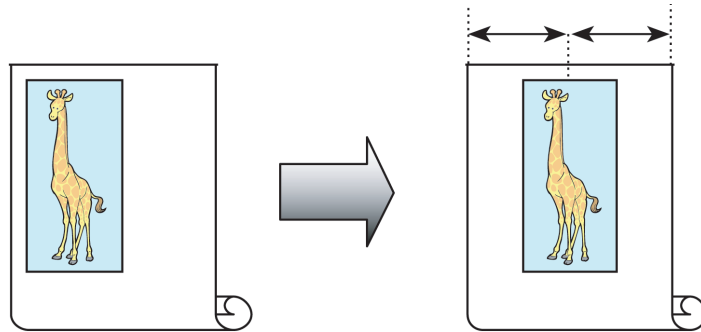
原稿をロール紙の中央に印刷する

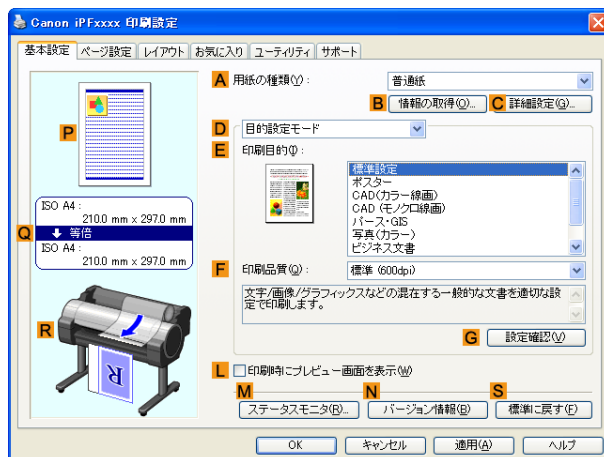
原稿のサイズよりも大きなサイズの用紙に印刷したり、原稿を縮小して印刷するときに、原稿を用紙の中央に配置して印刷することができます。

- ロール紙幅の中央に印刷する

  ロール紙の幅よりも小さいサイズの原稿を印刷する場合、原稿をロール紙の幅の中央に配置して印刷することができます。

  [中央に印刷]

  ロール紙の幅の中央に原稿の中央を合わせて配置します。

原稿をロール紙の中央に印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 原稿をロール紙の中央に印刷する(Windows) →P.124
- 原稿をロール紙の中央に印刷する(Mac OS X) →P.126

原稿をロール紙の中央に印刷する(Windows)

ここでは、以下を例に、原稿をロール紙の中央に印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4(210.0×297.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A3/A4 ロール(297.0 mm)

1 アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。
(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows) →P.160 」参照)

3 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

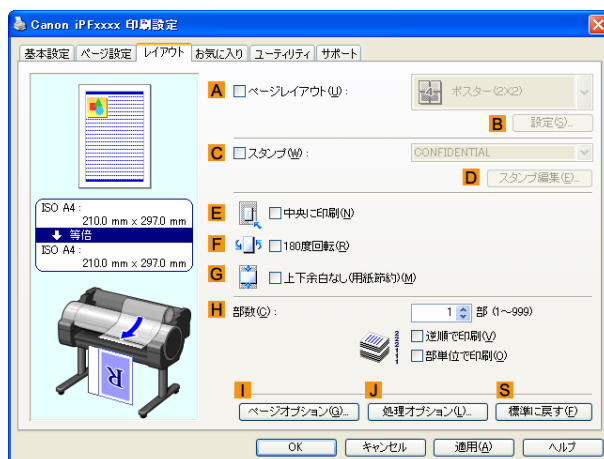
5 E[印刷目的]の一覧から印刷目的を選択します。

6 [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

7 A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

8 L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

9 M[ロール紙幅]の一覧で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A3/A4 ロール(297.0mm)]をクリックします。

10 [レイアウト]タブをクリックし、[レイアウト]シートを表示します。

11 **E**［中央に印刷］チェックボックスをオンにします。

12 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する（Windows） →P.157 」を参照してください。

原稿をロール紙の中央に印刷する（Mac OS X）

ここでは、以下を例に、原稿をロール紙の中央に印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4（210.0×297.0 mm）
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A3/A4 ロール（297.0 mm）

1 **B**［対象プリンタ］と **C**［用紙サイズ］の設定をします。

メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
  アプリケーションのメニューに［ページ設定］が表示される場合は、［ページ設定］から［ページ属性］ダイアログボックスを開き設定を行います。

表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから［プリント］を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2 **A**［プリンタ］の一覧からプリンタを選択します。

3 **F**［用紙サイズ］の一覧から原稿のサイズ、ここでは［ISO A4］をクリックします。

4 ［ページ属性］ダイアログボックスで設定した場合、**F**［OK］をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから［プリント］を選択します。

5 [基本設定]パネルを表示します。

6 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

7 E[印刷目的]を一覧から選択します。

8 F[印刷品質]を一覧から選択します。

9 [ページ加工]パネルを表示します。

10 A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

11 B[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A3/A4(297.0mm)]が表示されていることを確認します。

メモ

- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの L[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

12 C[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスの C[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]が表示されていることを確認します。

13 J[中央に印刷]チェックボックスをオンにします。

14 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Mac OS X) →P.290 」を参照してください。

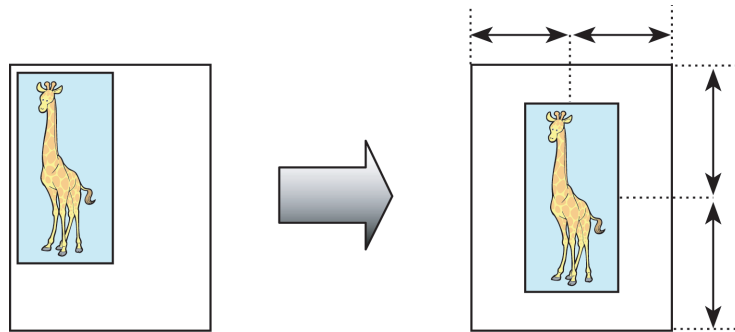
原稿をカット紙の中央に印刷する

原稿のサイズよりも大きなサイズの用紙に印刷したり、原稿を縮小して印刷するときに、原稿を用紙の中央に配置して印刷することができます。

- カット紙の中央に印刷する

原稿のサイズよりも大きなサイズの用紙に印刷したり、原稿を縮小して印刷する場合、原稿が用紙の左上にずれて印刷されることがあります。原稿が用紙の左上に印刷される場合、原稿をカット紙の中央に配置して印刷することができます。

[中央に印刷]

カット紙の中央に原稿の中央を合わせて配置します。

原稿をカット紙の中央に印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 原稿をカット紙の中央に印刷する(Windows) →P.128
- 原稿をカット紙の中央に印刷する(Mac OS X) →P.130

原稿をカット紙の中央に印刷する(Windows)

ここでは、以下を例に、原稿を 50%の大きさに縮小し、カット紙の中央に印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4(210.0×297.0 mm)
- 用紙:カット紙
- 用紙の種類:普通紙
- 用紙サイズ:A4(210.0×297.0 mm)

1 アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。
(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows)」→P.160参照)

3 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

5 E[印刷目的]を一覧から選択します。

6 [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

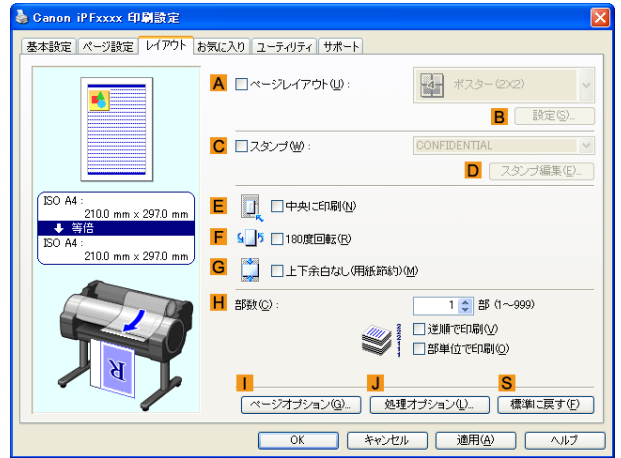
7 A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

8 C[拡大/縮小印刷]チェックボックスをオンにします。

9 G[出力用紙サイズ]の一覧から[原稿サイズと同じ]をクリックします。

10 F[倍率を指定する]をクリックし、[50]を入力します。

11 L[給紙方法]の一覧から[手差し]をクリックします。

12 [レイアウト]タブをクリックし、[レイアウト]シートを表示します。

13 **E**[中央に印刷]チェックボックスをオンにします。

14 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

重要

- 給紙方法に[手差し]を選択した場合は、本体操作パネルのメッセージにしたがって用紙サイズを入力してください。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.157 」を参照してください。

原稿をカット紙の中央に印刷する(Mac OS X)

ここでは、以下を例に、カット紙の中央に印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4
- 用紙:カット紙
- 用紙の種類:普通紙
- 用紙サイズ:定形外

1 **B**[対象プリンタ]と **C**[用紙サイズ]の設定をします。

メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
  アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2 A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3 F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは[ISO A4 - 手差し用紙(余白大)]をクリックします。

4 [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5 [基本設定]パネルを表示します。

6 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

7 E[印刷目的]を一覧から選択します。

8 F[印刷品質]を一覧から選択します。

9 [ページ加工]パネルを表示します。

10 A[給紙方法]の一覧から[手差し]をクリックします。

11 C[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスのC[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4 - 手差し用紙(余白大)]が表示されていることを確認します。

12 J[中央に印刷]チェックボックスをオンにします。

13 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ
- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Mac OS X) →P.290 」を参照してください。

重要
- 給紙方法に[手差し]を選択した場合は、本体操作パネルのメッセージにしたがって用紙サイズを入力してください。

ロール紙を節約して印刷する

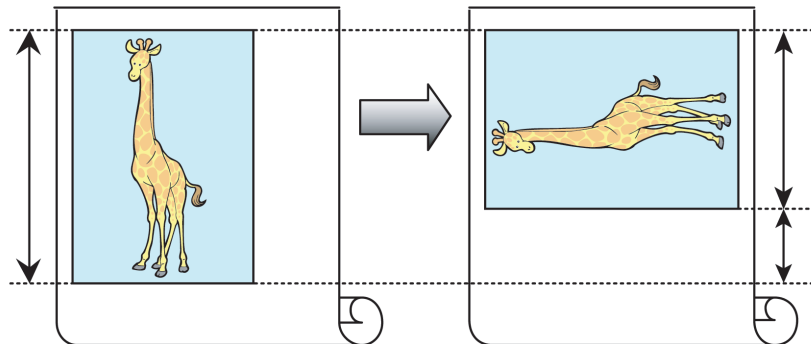
原稿を 90 度回転してロール紙を節約する 133
原稿を 90 度回転してロール紙を節約する(Windows) 133
原稿を 90 度回転してロール紙を節約する(Mac OS X) 134
原稿の上下の余白分のロール紙を節約する 137
原稿の上下の余白分のロール紙を節約する(Windows) 137
原稿の上下の余白分のロール紙を節約する(Mac OS X) 139

原稿を 90 度回転してロール紙を節約する

原稿に合わせた設定を行うことで、ロール紙を節約することができます。

- [ページを 90 度回転(用紙節約)]

縦長の原稿を印刷するとき、原稿の縦の長さがロール紙の幅に収まる場合、原稿を自動的に 90 度回転して印刷します。これにより、用紙を節約できます。

重要

- 回転するとロール紙の幅に収まらない場合も、ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小する機能を同時に使用すれば、ページを回転して印刷できます。

ロール紙を節約して印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 原稿を 90 度回転してロール紙を節約する(Windows) →P.133
- 原稿を 90 度回転してロール紙を節約する(Mac OS X) →P.134

原稿を 90 度回転してロール紙を節約する(Windows)

ここでは、以下を例に、原稿を 90 度回転してロール紙を節約して印刷する手順を説明します。

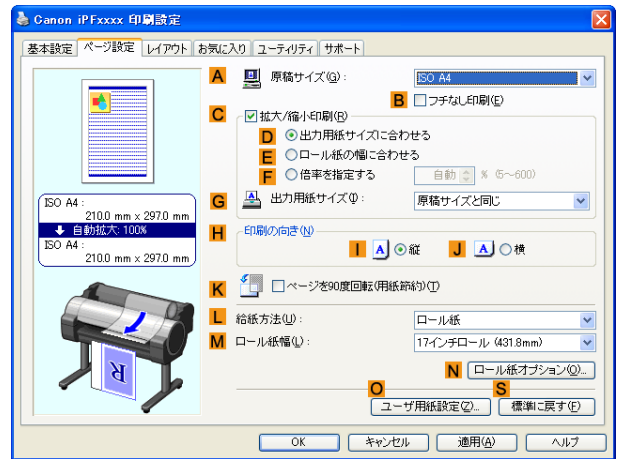
- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4(210.0×297.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A3/A4 ロール(297.0 mm)

この例では、A4(210.0×297.0 mm)の縦の長さが A3/A4 ロールのロール紙の幅(297.0 mm)に収まるため、原稿を 90 度回転させて印刷することで、用紙を節約できます。

1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。
2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows) →P.160」参照)

3 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

5 [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

6 A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

7 L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

8 M[ロール紙幅]の一覧で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A3/A4 ロール(297.0mm)]をクリックします。

9 K[ページを 90 度回転(用紙節約)]チェックボックスをオンにします。

10 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.157」を参照してください。

原稿を 90 度回転してロール紙を節約する(Mac OS X)

ここでは、以下を例に、原稿を 90 度回転してロール紙を節約して印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4(210.0×297.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙:A3/A4 ロール(297.0 mm)

この例では、A4(210.0×297.0 mm)の縦の長さが A3/A4 ロールのロール紙の幅(297.0 mm)に収まるため、原稿を 90 度回転させて印刷することで、用紙を節約できます。

1 B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2 A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3 F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

4 [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5 [基本設定]パネルを表示します。

6 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

7 [ページ加工]パネルを表示します。

8 A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

9 B[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A3/A4(297.0mm)]が表示されていることを確認します。

メモ
- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの L[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

10 C[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスの C[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]が表示されていることを確認します。

11 L[ページを 90 度回転(用紙節約)]チェックボックスをオンにします。

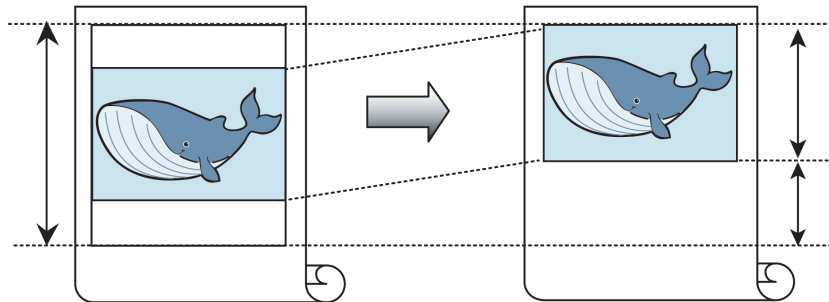
12 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ
- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Mac OS X) →P.290 」を参照してください。

原稿の上下の余白分のロール紙を節約する

原稿に合わせた設定を行うことで、ロール紙を節約することができます。

- [上下余白なし(用紙節約)]

  原稿の上下に空白部分(余白)がある場合、空白部分にあたる用紙の紙送りを行わずに印刷します。これにより、余白の分だけ用紙を節約できます。

重要
- 以下の場合は、上下の余白を除いて印刷することはできません。
  - バナー印刷
  - ページレイアウトとしてポスターを選択

メモ
- フチなしで印刷するときも、上下の余白を除いて印刷できます。
- 上下の余白を除いて印刷されるため、原稿内の画像や文章のレイアウトによっては、印刷物のサイズが不揃いになることがあります。

ロール紙を節約して印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 原稿の上下の余白分のロール紙を節約する(Windows) →P.137
- 原稿の上下の余白分のロール紙を節約する(Mac OS X) →P.139

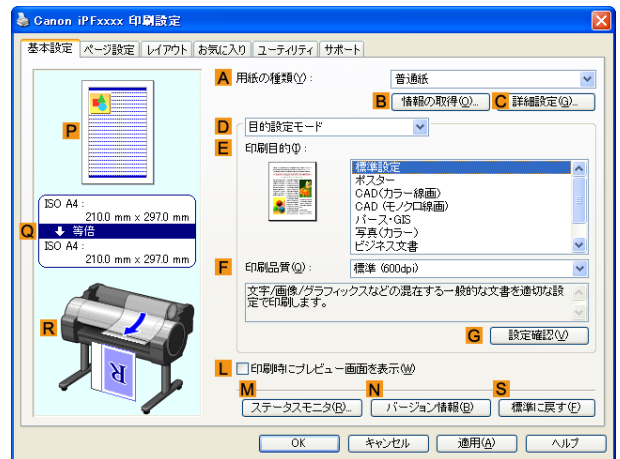
原稿の上下の余白分のロール紙を節約する(Windows)

ここでは、以下を例に、原稿の上下の余白分のロール紙を節約して印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4(210.0×297.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A3/A4 ロール(297.0 mm)

1 アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。
(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows) →P.160 」参照)

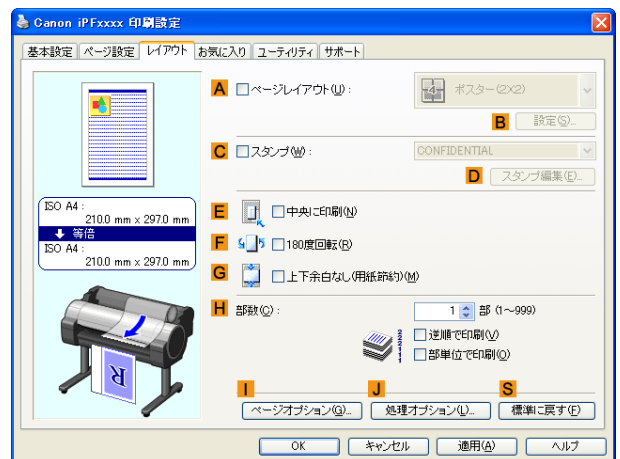
3 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

5 [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

6 A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

7 L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

8 M[ロール紙幅]の一覧で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A3/A4 ロール(297.0mm)]をクリックします。

9 [レイアウト]タブをクリックし、[レイアウト]シートを表示します。

10 G[上下余白なし(用紙節約)]チェックボックスをオンにします。

11 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.157 」を参照してください。

原稿の上下の余白分のロール紙を節約する(Mac OS X)

ここでは、以下を例に、原稿の上下の余白分のロール紙を節約して印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4(210.0×297.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A3/A4 ロール(297.0 mm)

1 B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2 A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3 F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

4 [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5 [基本設定]パネルを表示します。

6 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

7 [ページ加工]パネルを表示します。

8 A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

9 B[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A3/A4(297.0mm)]が表示されていることを確認します。

メモ

- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの L[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

10 C［原稿サイズ］で、［ページ属性］ダイアログボックスの C［用紙サイズ］で選択した原稿のサイズ、ここでは［ISO A4］が表示されていることを確認します。

11 K［上下余白なし（用紙節約）］チェックボックスをオンにします。

12 印刷の設定を確認し、M［プリント］をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する（Mac OS X） →P.290 」を参照してください。

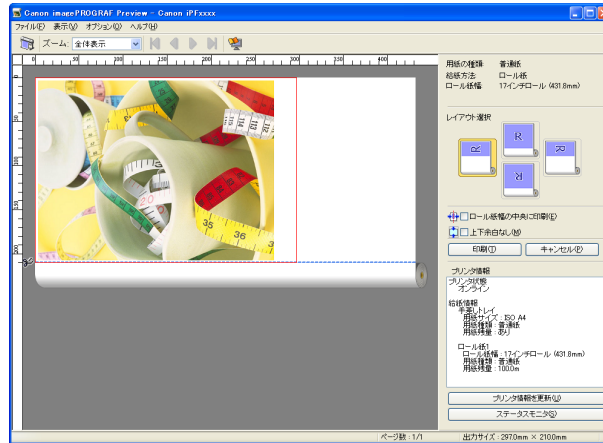
印刷前に確認する

印刷前にプレビューでレイアウトを確認する

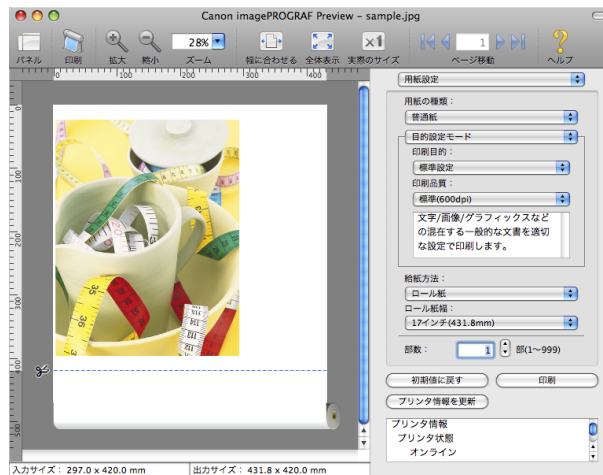
プレビュー画面で印刷レイアウトを確認することができます。

- [印刷時にプレビュー画面を表示]（Windows）

  プレビュー画面を見ながら印刷の向きなどの設定を変更することもでき、変更した内容はただちにプレビュー画面に反映されます。

メモ

- 設定や環境によっては PageComposer が起動する場合があります。

- [Preview]（Macintosh）

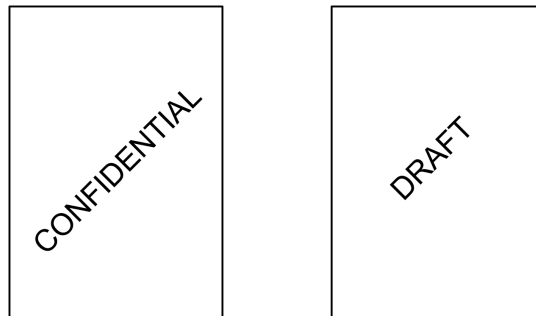
  プレビュー画面を見ながらレイアウトや拡大率などの設定を変更することもでき、変更した内容はただちにプレビュー画面に反映されます。

印刷前にレイアウトを確認する方法については、以下のトピックを参照してください。

- 印刷前にプレビューでレイアウトを確認する（Windows） →P.157
- 印刷前にプレビューでレイアウトを確認する（Mac OS X） →P.291

その他の便利な設定

スタンプを押して印刷する 143
COPY や社外秘などのスタンプを押して印刷する（Windows） 144
原稿の向きを用紙に合わせて印刷する 145
原稿の向きを用紙に合わせて印刷する（Windows） 146
原稿の向きを用紙に合わせて印刷する（Mac OS X） 147
お気に入りの設定で印刷する 149
印刷後にロール紙をカットする 149
印刷後にロール紙をカットする（Windows） 150
印刷後にロール紙をカットする（Mac OS X） 150

スタンプを押して印刷する

取り扱いに注意が必要な書類に、マーク（スタンプ）を付けて印刷できます。

- ［スタンプ］

原稿のすべてのページにスタンプを押して印刷します。

重要
- ポスターのページレイアウトが選択されている場合は、スタンプは印刷できません。

以下のスタンプが用意されています。

- CONFIDENTIAL
- COPY
- DRAFT
- 社外秘
- FINAL
- コピー禁止
- サンプル
- マル秘

また、独自にスタンプを作成することもできます。スタンプを作成するときは、以下の項目を設定できます。

- スタンプに使用する文字列:フォント、サイズ、色などを設定できます。文字列を枠で囲むこともできます。
- スタンプを押す位置:ページ内の位置、角度などを設定できます。
- スタンプを印刷する方法:重ね印刷や透かし印刷を設定できます。また、先頭のページだけに印刷することもできます。

メモ
- スタンプ機能は、Windows で使用できます。
- 用意されているスタンプの他に、最大 50 個のスタンプを作成できます。

スタンプを押して印刷する方法については、以下のトピックを参照してください。

- COPY や社外秘などのスタンプを押して印刷する（Windows） →P.144

COPY や社外秘などのスタンプを押して印刷する(Windows)

ここでは、以下を例に、原稿に[社外秘]というスタンプを押して印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A2(420.0×594.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A2/A3 ロール(420.0 mm)

1 アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

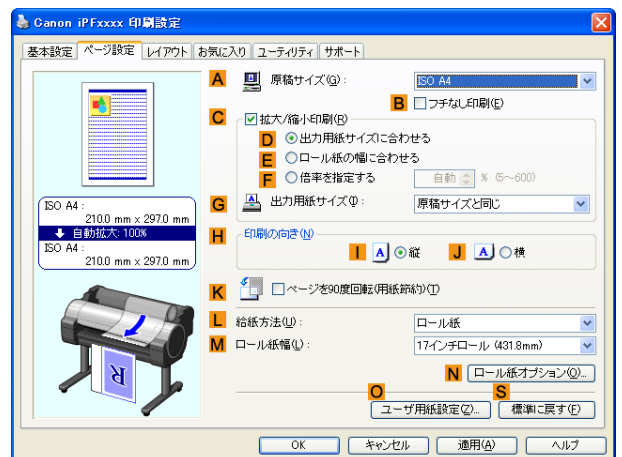
2 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows) →P.160」参照)

3 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

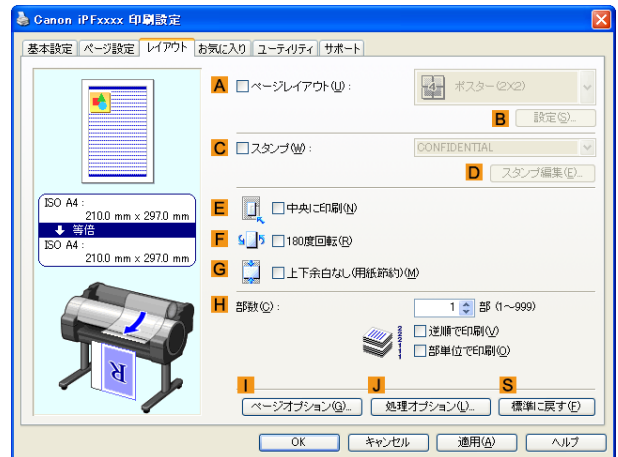
5 E[印刷目的]を一覧から選択します。

> メモ
> - G[設定確認]をクリックすると、E[印刷目的]の一覧で選択した項目の設定値を確認できます。

6 [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

7 A[原稿サイズ]の一覧から、アプリケーションソフトで作成した原稿サイズ、ここでは[ISO A2]をクリックします。

8 L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

9 M［ロール紙幅］の一覧で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは［ISO A2/A3 ロール（420.0mm）］をクリックします。

10 ［レイアウト］タブをクリックし、［レイアウト］シートを表示します。

11 C［スタンプ］チェックボックスをオンにします。

12 ［スタンプリスト］の一覧から［社外秘］をクリックします。

メモ

- D［スタンプ編集］をクリックすると［スタンプ編集］ダイアログボックスが開きます。［スタンプ編集］ダイアログボックスでは、独自のスタンプを作成したり、スタンプの位置や角度を変更することができます。

13 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

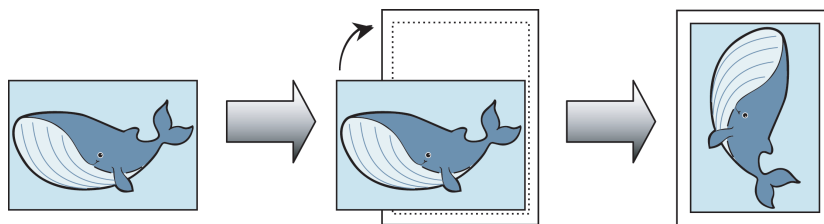
メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する（Windows） →P.157 」を参照してください。

原稿の向きを用紙に合わせて印刷する

印刷する用紙に合わせて、原稿の向きを指定することができます。

- ［印刷の向き］

  プリンタには通常、用紙を縦向きにセットします。横長の原稿を印刷する場合は、印刷の向きを指定し、原稿を横向きにして印刷します。

- ［180 度回転］

  原稿を 180 度回転し、上下を逆にして印刷します。

- ［鏡像］

  鏡に映したように、原稿の左右を反転して印刷します。

  原稿の向きを指定して印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

  - 原稿の向きを用紙に合わせて印刷する（Windows） →P.146
  - 原稿の向きを用紙に合わせて印刷する（Mac OS X） →P.147

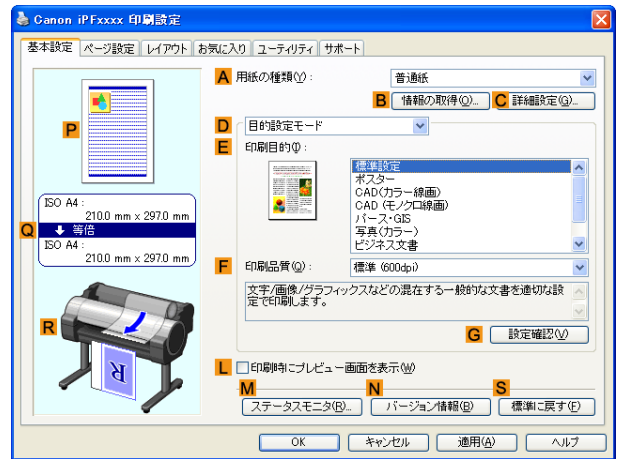
原稿の向きを用紙に合わせて印刷する(Windows)

ここでは、以下を例に、横長で作成した原稿の向きを用紙に合わせて印刷する手順を説明します。

- 原稿:横長で作成した原稿
- 原稿サイズ:A4(210.0×297.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A2/A3 ロール(420.0 mm)

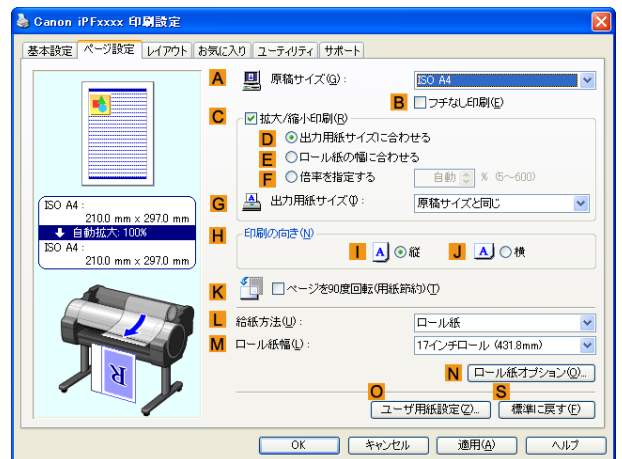
1 アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows)」→P.160参照)

3 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

5 E[印刷目的]を一覧から選択します。

6 F[印刷品質]を一覧から選択します。

7 [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

8 A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

9 H[印刷の向き]で、J[横]をクリックします。

10 L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

11 M[ロール紙幅]の一覧で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A2/A3 ロール(420.0mm)]をクリックします。

12 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.157 」を参照してください。

原稿の向きを用紙に合わせて印刷する(Mac OS X)

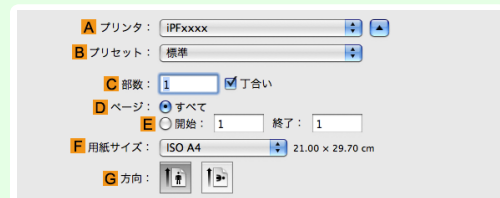
ここでは、以下を例に、横長で作成した原稿の向きを用紙に合わせて印刷する手順を説明します。

- 原稿:横長で作成した原稿
- 原稿サイズ:A4(210.0×297.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A2/A3 ロール(420.0 mm)

1 B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

メモ

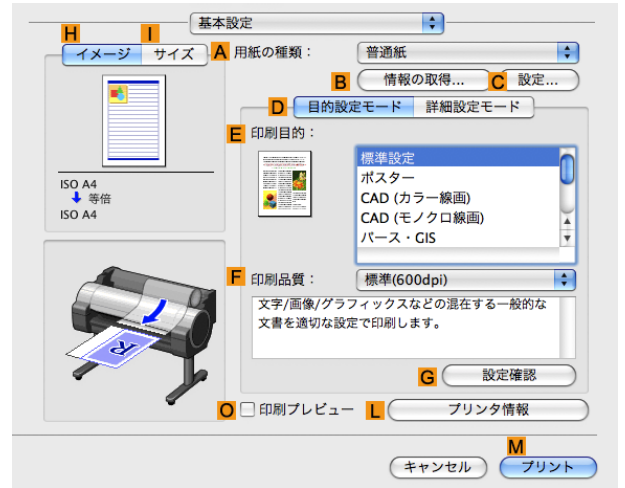
- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2 A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3 F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

4 G[方向]で、原稿が横向きのアイコンをクリックします。

5 [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

6 [基本設定]パネルを表示します。

7 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

8 E[印刷目的]を一覧から選択します。

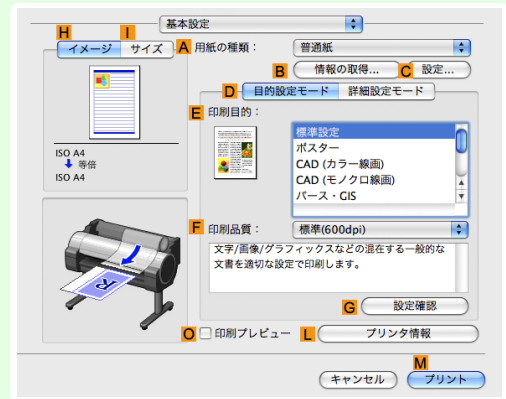
9 F[印刷品質]を一覧から選択します。

10 [ページ加工]パネルを表示します。

11 A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

12 B[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A2/A3(420.0mm)]が表示されていることを確認します。

メモ

- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの L[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

13 C[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスの C[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]が表示されていることを確認します。

14 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Mac OS X) →P.290 」を参照してください。

お気に入りの設定で印刷する

思いどおりに印刷できた場合や、同じサイズで何度も印刷する場合、[お気に入り]の設定として印刷の設定を登録しておくと、繰り返し同じ設定で印刷できます。

- [お気に入り]

お気に入りの設定を登録します。登録済みの設定を一覧から選択して印刷に適用したり、内容を確認することができます。

メモ

- お気に入りの設定は、ファイルに保存することもできるため、他のコンピュータから同じ設定で印刷したい場合などに使用できます。(Windows の場合)

お気に入りの設定で印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- お気に入りの設定で印刷する(Windows) →P.158
- お気に入りの設定で印刷する(Mac OS X) →P.292

印刷後にロール紙をカットする

印刷後にロール紙を自動でカットできます。

メモ

- 糊付きの用紙など、特殊な用紙の場合はカットできないことがあります。自動でカットできない用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類 →P.388 」参照)

- [オートカット]

印刷後にロール紙を自動でカットします。ロール紙をカットせずに、続けて印刷したり、カットラインを印刷することもできます。

印刷後にロール紙をカットする方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 印刷後にロール紙をカットする(Windows) →P.150
- 印刷後にロール紙をカットする(Mac OS X) →P.150

印刷後にロール紙をカットする(Windows)

ここでは、印刷後にロール紙を自動でカットする(オートカット)手順、または手動でカットするためのカットラインを印刷する手順を説明します。

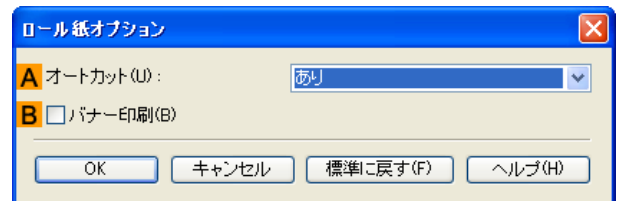
- 初期設定の状態(プリンタの設定が工場出荷時の状態、プリンタドライバがインストール時の状態)では、オートカット機能は有効になっています。以下の手順では、無効になっているオートカット機能を有効にしたり、カットラインを印刷する設定に変更できます。

1 アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows) →P.160 」参照)

3 [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

4 L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

5 N[ロール紙オプション]をクリックし、[ロール紙オプション]ダイアログボックスを開きます。

6 A[オートカット]の一覧から、オートカットを有効にする場合は[あり]をクリックします。後で手動でカットする場合は[カットラインを印刷]をクリックします。

7 [OK]をクリックし、[ロール紙オプション]ダイアログボックスを閉じます。

8 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.157 」を参照してください。

印刷後に、ロール紙が自動でカットされます。

印刷後にロール紙をカットする(Mac OS X)

ここでは、印刷後にロール紙を自動でカットする(オートカット)手順、または手動でカットするためのカットラインを印刷する手順を説明します。

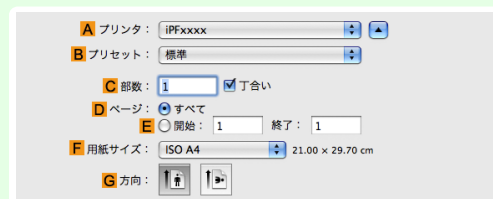
- 初期設定の状態(プリンタの設定が工場出荷時の状態、プリンタドライバがインストール時の状態)では、オートカット機能は有効になっています。以下の手順では、無効になっているオートカット機能を有効にしたり、カットラインを印刷する設定に変更できます。

1 B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

メモ

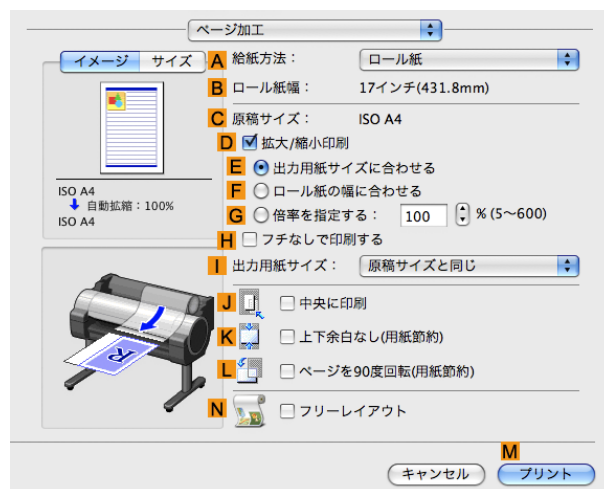
- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
  アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

  表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

A プリンタ： iPFxxxx
B プリセット： 標準
C 部数： 1 丁合い
D ページ： すべて
E 開始： 1 終了： 1
F 用紙サイズ： ISO A4 21.00 x 29.70 cm
G 方向：

2 A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3 F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズを選択します。

4 [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5 [ページ加工]パネルを表示します。

6 A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

7 [基本設定]パネルを表示します。

8 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類を選択します。

9 C[設定]をクリックし、[用紙の詳細設定]ダイアログボックスを開きます。

10 H[オートカット]の一覧から、オートカットを有効にする場合は[パネル優先]をクリックします。後で手動でカットする場合は[カットラインを印刷]をクリックします。

> 重要
> - プリンタでオートカット機能が無効になっている場合は、プリンタの操作パネルから、オートカットの設定を変更する必要があります。

11 [OK]をクリックし、[用紙の詳細設定]ダイアログボックスを閉じます。

12 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

> メモ
> - 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Mac OS X) →P.290」を参照してください。

iPF760

ユーザーズガイド

印刷の流れ 15
さまざまな印刷方法 29

Windows ソフトウエア

プリンタドライバ 154
Preview 182
フリーレイアウト 192
Color imageRUNNER 連携拡大コピー 213
Print Plug-In for Office 222
Status Monitor 259
アカウンティング 261
Device Setup Utility 271
Media Configuration Tool 274

Mac OS X ソフトウエア 287
用紙の取り扱い 387
操作パネル 425
プリンタの各部 459
ネットワークの設定 467
画質の調整と改善 499
メンテナンスと消耗品 515
困ったときには 547
エラーメッセージ 577
仕様 599
付録 605

User's Guide

プリンタドライバ

プリンタドライバの設定項目 154

プリンタドライバで用紙を指定する 155
印刷の設定を確認する 157
印刷前にプレビューでレイアウトを確認する 157
お気に入りの設定で印刷する 158

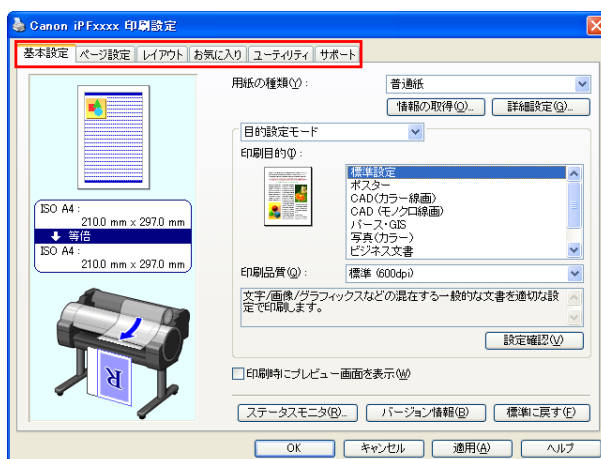
アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く 160
システムのメニューからプリンタドライバのダイアログボックスを開く 161

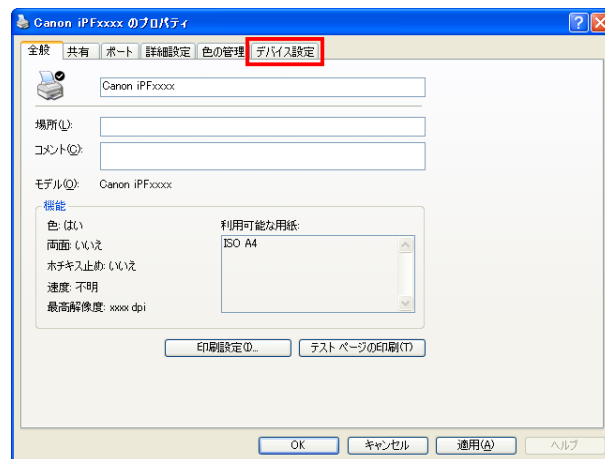
基本設定シート 162
プリンタの用紙情報ダイアログボックス 165
用紙の詳細設定ダイアログボックス 166
印刷目的の設定確認ダイアログボックス 167
色調整シート(カラー) 167
調整の対象ダイアログボックス(カラー) 168
マッチングシート 169
色調整シート(モノクロ) 170
調整の対象ダイアログボックス(モノクロ) 171
ページ設定シート 172
ユーザ用紙設定ダイアログボックス 174
レイアウトシート 175
ページオプションダイアログボックス 176
処理オプションダイアログボックス 177
お気に入りシート 178
ユーティリティシート 179
サポートシート 180
設定一覧ダイアログボックス 180
デバイス設定シート 181

プリンタドライバの設定項目

Windows 版プリンタドライバの開き方については、以下を参照してください。

- アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.160
- システムのメニューからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.161

Windows 版プリンタドライバの設定項目については、以下を参照してください。

- 基本設定シート →P.162
  用紙の種類、カラー、印刷画質、印刷プレビューについて設定できます。目的に応じて簡単に印刷の設定が行える[目的設定モード]と、より細かな設定を自由に行える[詳細設定モード]があります。
  - 用紙の詳細設定ダイアログボックス →P.166
  - 印刷目的の設定確認ダイアログボックス →P.167
  - 色調整シート(カラー) →P.167

- マッチングシート →P.169
    - 色調整シート(モノクロ) →P.170
- ページ設定シート →P.172
  原稿の用紙サイズ、フチなし印刷、拡大/縮小印刷、印刷の向き、給紙方法、印刷する用紙のサイズ、用紙のオートカットについて設定できます。
    - ユーザ用紙設定ダイアログボックス →P.174
- レイアウトシート →P.175
  ページレイアウト、スタンプ印刷、印刷の向き、印刷部数、印刷処理オプションについて設定できます。
    - ページオプションダイアログボックス →P.176
    - 処理オプションダイアログボックス →P.177
- お気に入りシート →P.178
  各シートで選択した印刷設定をお気に入りとして登録できます。登録したお気に入りは、編集したり、印刷時に使用することができます。
- ユーティリティシート →P.179
  プリントヘッドや用紙送りに関するメンテナンス、[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]に関する設定を行えます。
- サポートシート →P.180
  サポート情報や製品マニュアルを表示できます。

- デバイス設定シート →P.181
  プリンタに装着されているオプションの設定や、プリンタドライバのバージョン情報表示を行えます。

[imagePROGRAF フリーレイアウト]とは、アプリケーションソフトで作成した原稿を 1 ページに自由に配置して印刷するための機能です。詳細は、フリーレイアウト →P.192 を参照してください。
[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]とは、[Color imageRUNNER]でスキャンした原稿を、自動的に拡大して印刷するための機能です。詳細は、Color imageRUNNER 連携拡大コピー →P.213 を参照してください。

重要

- [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]、[imagePROGRAF フリーレイアウト]は 64 ビット版の Windows では使用できません。

プリンタドライバで用紙を指定する

用紙を交換した場合にプリンタドライバでは以下の設定が必要です。

重要

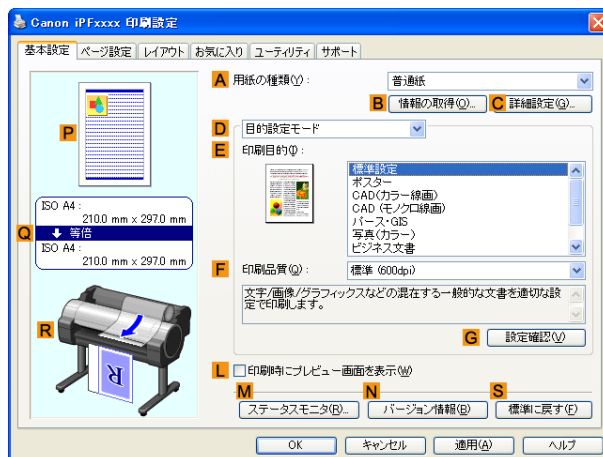
- 必ずプリンタのメニューとプリンタドライバで同じ用紙やサイズを指定してください。

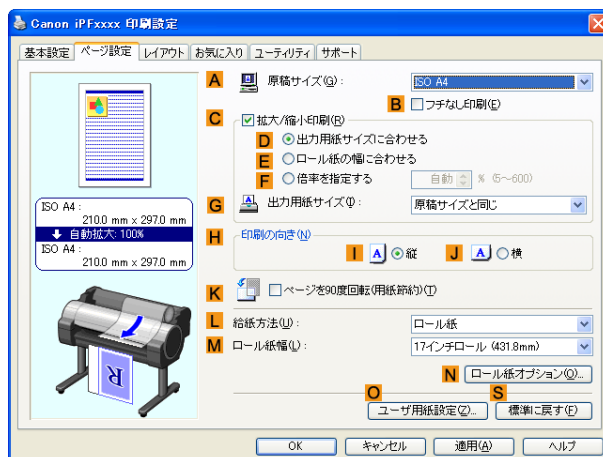
1 アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。
(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.160 」参照)

3 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類を選択します。

メモ

- B[情報の取得]ボタンをクリックすると[プリンタの用紙情報]ダイアログボックスが表示されます。[プリンタの用紙情報]ダイアログボックスでは、プリンタの用紙情報を取得して、プリンタドライバの給紙方法と用紙の種類を設定することができます。
  この機能を使用する場合は、[ステータスモニタ]がインストールされている必要があります。

5 [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

6 A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択します。

7 L[給紙方法]の一覧から給紙方法を選択します。

8 L[給紙方法]でロール紙を選択した場合は、M[ロール紙幅]の一覧から、プリンタにセットされているロール紙幅を選択します。

メモ

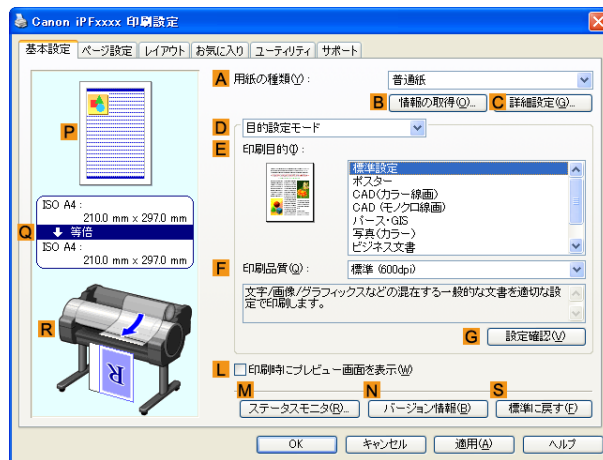
- プリンタドライバでは、印刷の目的に合わせていろいろな設定ができます。
  設定できる印刷条件については、「プリンタドライバの設定項目 →P.154 」を参照してください。

Windows ソフトウエア
プリンタドライバ

印刷の設定を確認する

印刷の設定を確認するには、以下の 2 種類の方法があります。

- 設定プレビューで確認する

  設定プレビューは、[基本設定]シート、[ページ設定]シート、[レイアウト]シートの左側の部分に表示されます。原稿サイズ、印刷の向き、給紙方法、レイアウトなど、現在の設定状況をイラストや数値で確認できます。

表示部分	表示される情報
P[上部のイラスト]	印刷の向き、ページレイアウト、フチなし印刷、カラーモードなどの設定状況がイラストで表示されます。
Q[中央の枠内]	原稿サイズ、出力用紙サイズ、拡大/縮小の方法、倍率などが表示されます。
R[下部のイラスト]	給紙方法、印刷の向き、フチなし印刷などの設定状況がイラストで表示されます。

メモ

- [目的設定モード]で選択した[印刷目的]の設定値を確認したい場合は、[基本設定]シートで G[設定確認]をクリックし、[設定確認]ダイアログボックスを開きます。

- 印刷プレビューで確認する

  原稿の印刷イメージそのものを確認できます。

  この機能を有効にしておくと、印刷する前に imagePROGRAF Preview または PageComposer が起動し、印刷イメージを確認できるため、印刷の失敗を未然に防止できます。

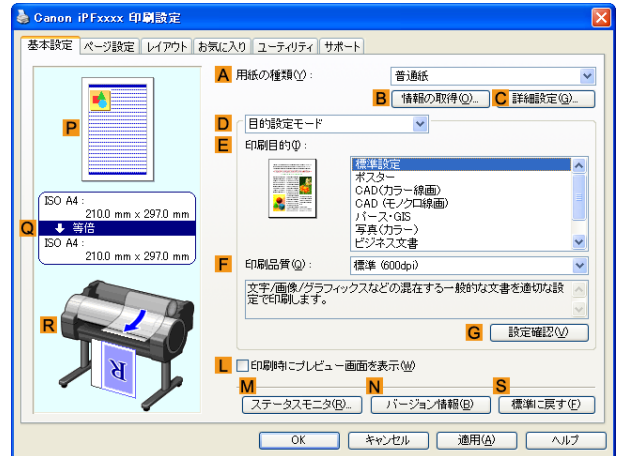
  印刷プレビューの詳細については、「印刷前にプレビューでレイアウトを確認する →P.142」を参照してください。

印刷前にプレビューでレイアウトを確認する

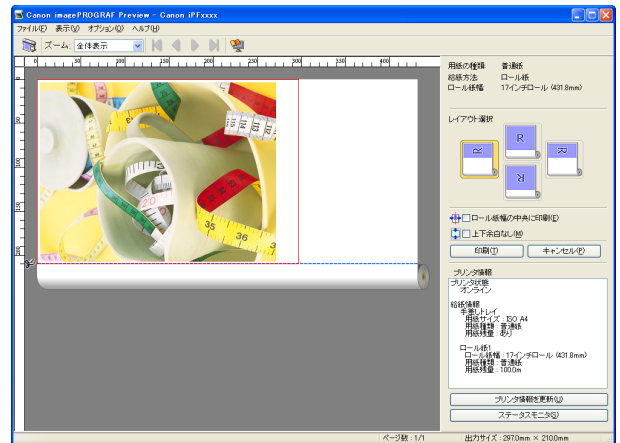
ここでは、実際に用紙に印刷する前に、印刷結果をプレビューする手順を説明します。

1 アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。
(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.160」参照)

3 [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4 L[印刷時にプレビュー画面を表示]チェックボックスをオンにします。

5 [OK]をクリックして印刷を実行すると、[imagePROGRAF Preview]ウィンドウが開きます。

メモ

- PageComposer が起動した場合は、[レイアウト]シートから[処理オプション]ダイアログを開き、[プレビュー互換を行う]のチェックを外してください。

6 メインウィンドウで、レイアウトの確認や必要に応じた設定の変更を行います。

7 [ファイル]メニューから[印刷]をクリックします。

メモ

- [imagePROGRAF Preview]の機能の詳細は、Preview →P.182 を参照してください。

お気に入りの設定で印刷する

ここでは、お気に入りの設定を登録し、その設定で印刷する手順を説明します。

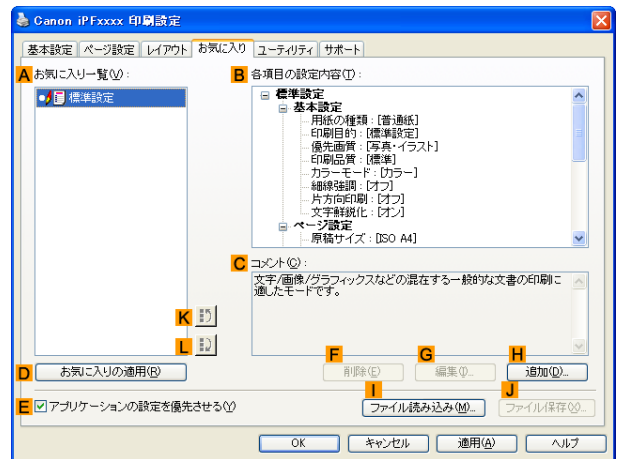
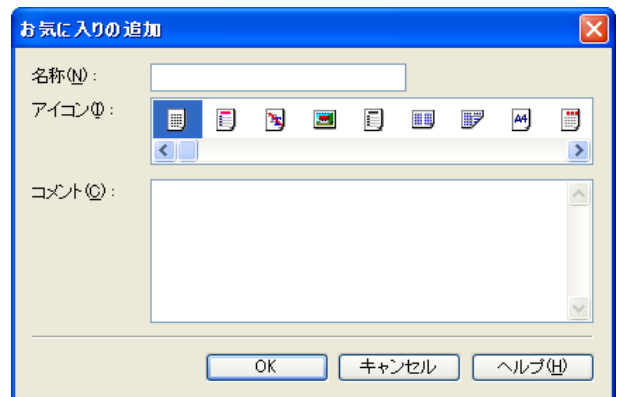
お気に入りの設定を登録する

ここではドライバ上で変更した印刷設定を[お気に入り]として登録する手順を説明します。

1 アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。
(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.160 」参照)

3 通常の印刷の設定を行います。
ここからお気に入りの登録を行います。

4 [お気に入り]タブをクリックし、[お気に入り]シートを表示します。

5 H[追加]をクリックし、[お気に入りの追加]ダイアログボックスを開きます。

6 [名称]に[プレゼン用の写真]や[月例の報告書]などの任意の名前を入力します。

7 [アイコン]の一覧から、この設定にふさわしいアイコンを選択します。

8 [コメント]に、追加するお気に入りの設定を説明するコメントを入力します。

9 [OK]をクリックし、[お気に入りの追加]ダイアログボックスを閉じます。
登録したお気に入りの設定は、A[お気に入り一覧]に表示されます。

メモ

- お気に入りの設定をファイルに保存する場合は、J[ファイル保存]をクリックし、保存するファイルを指定します。

お気に入りの設定で印刷する

ここでは、登録したお気に入りの設定で印刷する手順を説明します。

1 アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。
(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.160 」参照)

3 [お気に入り]タブをクリックし、[お気に入り]シートを表示します。

4 **A**[お気に入り一覧]の一覧から、登録したお気に入りの設定を選択します。

メモ

- お気に入りの設定をファイルから読み込む場合は、**I**[ファイル読み込み]をクリックし、お気に入りが保存してあるファイルを指定します。

5 **D**[お気に入りの適用]をクリックし、現在の印刷の設定をお気に入りの設定に置き換えます。

6 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する →P.157」を参照してください。

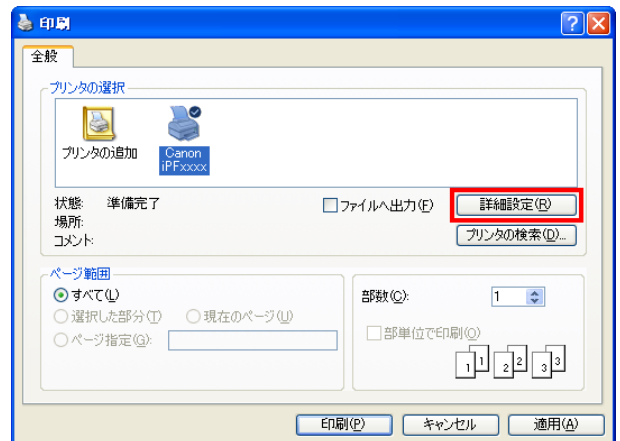
アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く

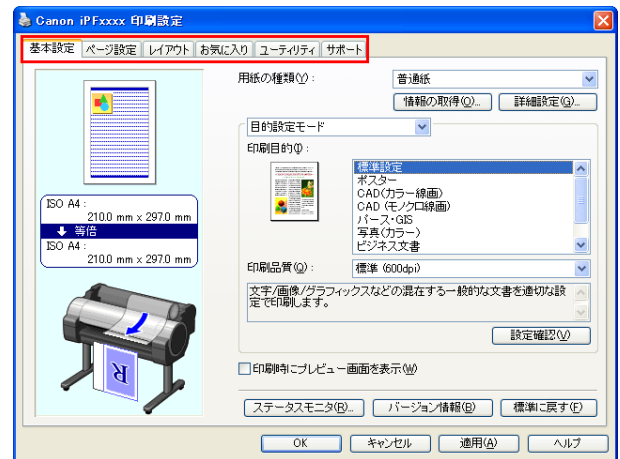
1 [ファイル]メニューから[印刷](プリント)を選択し、印刷の条件を設定するダイアログボックスを開きます。

2 プリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。

メモ

- 印刷の条件を設定するダイアログボックスはアプリケーションソフトによって異なります。プリンタを選択すると、表示されているダイアログボックスにプリンタドライバの設定用のシートが追加されるアプリケーションソフトもあります。
  以下の例では、[詳細設定]をクリックします。

- アプリケーションソフトから表示される[印刷]ダイアログボックスの例

[基本設定]、[ページ設定]、[レイアウト]、[お気に入り]、[ユーティリティ]、[サポート]の 6 つのシートが、プリンタドライバが表示する印刷の設定用のシートです。

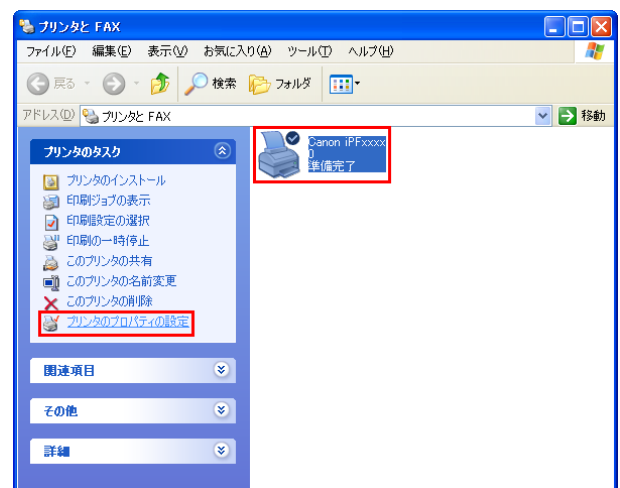
メモ

- アプリケーションソフトによっては、ダイアログボックスのタイトルが異なったり、上記の 6 つ以外のシートも表示される場合があります。

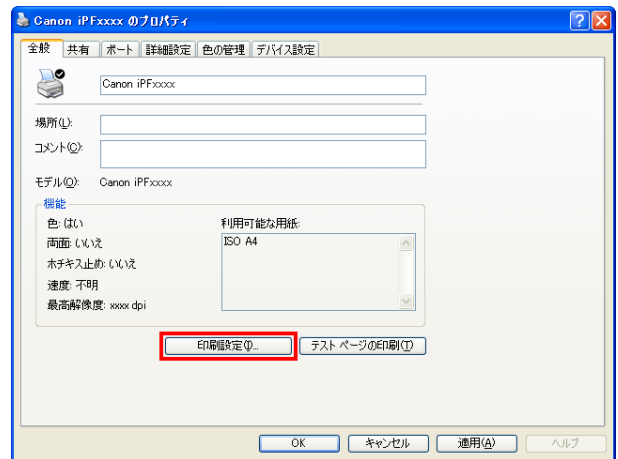
重要

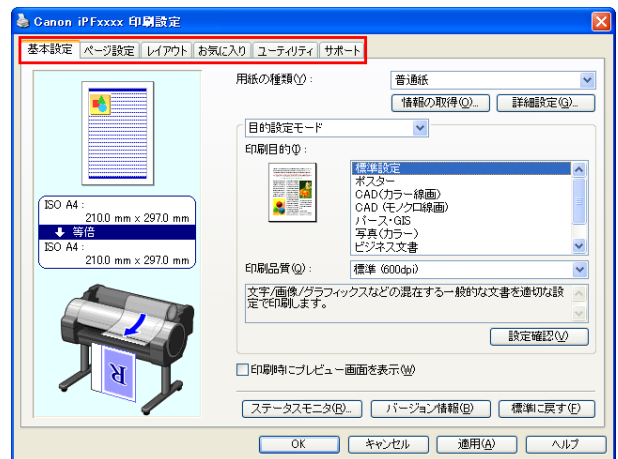
- アプリケーションソフトで開いたプリンタドライバのダイアログボックスで行った設定は、そのアプリケーションソフトで有効な一時的な設定です。アプリケーションソフトを終了した時点で無効になります。
- プリンタドライバのダイアログボックスは、Windows のシステムのメニューから開くこともできます。
  設定を継続的に全てのアプリケーションで使用する場合は、システムのメニューからプリンタドライバを開いて設定してください。
  「システムのメニューからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.161 」を参照してください。

システムのメニューからプリンタドライバのダイアログボックスを開く

1. [スタート]メニューから[プリンタと FAX]（または[プリンタ]）を開きます。

2. プリンタを選択し、プリンタのプロパティのダイアログボックスを開きます。

3 [印刷設定]をクリックし、タイトルにプリンタ名の付いた[印刷設定]ダイアログボックスを開きます。

メモ

- [デバイス設定]シートもプリンタドライバの一部です。(「デバイス設定シート →P.181 」参照)

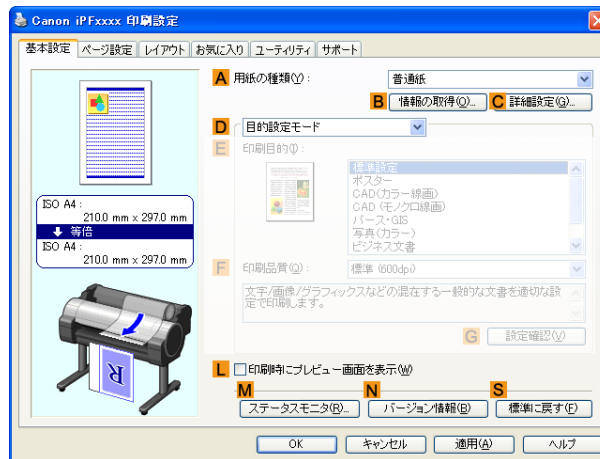
[基本設定]、[ページ設定]、[レイアウト]、[お気に入り]、[ユーティリティ]、[サポート]の 6 つのシートが、プリンタドライバが表示する印刷の設定用のシートです。

重要

- システムのメニューで開いたプリンタドライバのダイアログボックスで行った設定は、すべてのアプリケーションソフトで有効になります。
- プリンタドライバのダイアログボックスは、アプリケーションソフトから開くこともできます。
  「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.160 」を参照してください。

基本設定シート

[基本設定]シートでは、以下の項目を設定できます。設定する値の詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

メモ

- [基本設定]シートは、目的に応じて簡単に印刷の設定が行える[目的設定モード]と、より細かな設定を自由に行える[詳細設定モード]を切り替えて使用することができます。

共通項目

- **B**[情報の取得]

  [プリンタの用紙情報]を表示します。給紙方法を選択し、プリンタドライバの給紙方法、用紙の種類およびロール紙幅に反映させることができます。

  - プリンタの用紙情報ダイアログボックス →P.165

- **C**[詳細設定]

  [用紙の詳細設定]を表示します。インクの乾燥時間など、用紙の種類に合わせた印刷の方法を設定できます。

  - 用紙の詳細設定ダイアログボックス →P.166

- **L**[印刷時にプレビュー画面を表示]

  オンにすると、印刷前に[imagePROGRAF Preview]が起動します。
  イメージを画面上で確認してから印刷できます。

  - 印刷前にプレビューでレイアウトを確認する →P.142

- **M**[ステータスモニタ]

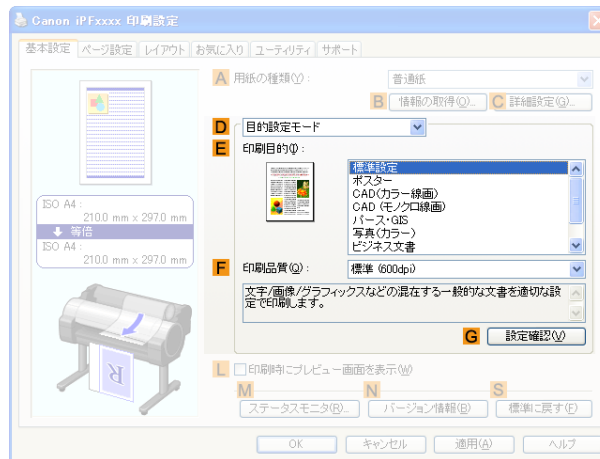
  imagePROGRAF Status Monitor が起動します。
  プリンタの状態やジョブの状態などを確認できます。
  また、プリンタにエラーが発生した場合に、電子メールで通知する[電子メール通知]の設定ができます。
  詳細は[ステータスモニタ]のヘルプを参照してください。

- **N**[バージョン情報]

  プリンタドライバのバージョン情報が表示されます。

- **S**[標準に戻す]

  シート内の各設定値を初期値に戻します。

[目的設定モード]を選択した場合

- **E**[印刷目的]

印刷物に適した設定を選択できます。

- 写真やイラストを印刷する →P.31
- 線画や文字を印刷する →P.42
- オフィスの文書を印刷する →P.36

A[用紙の種類]によっては選択できない**E**[印刷目的]があります。

- **F**[印刷品質]

印刷品質を選択できます。

- 印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する →P.56

- **G**[設定確認]

E[印刷目的]の設定値が表示されます。

E[印刷目的]の設定値を確認したり、順番を変更することができます。

- 印刷目的の設定確認ダイアログボックス →P.167

[詳細設定モード]を選択した場合

- **E**[優先画質]

印刷結果で優先する要素を選択できます。

- 印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する →P.56

- **F**[印刷品質]

印刷品質を選択できます。

- 印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する →P.56

- **G[カラーモード]**

カラーモードを選択できます。

- 印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する →P.56

メモ

- A[用紙の種類]によっては選択できないG[カラーモード]があります。

- **H[色設定]**

クリックすると[色設定]ダイアログボックスが開き、色を詳細に設定できます。

- プリンタドライバで色を調整して印刷する →P.50

- **I[細線強調]**

オンにすると、細い線をくっきりと印刷します。

- **J[片方向印刷]**

チェックボックスをオンにすると、罫線ずれなどを防ぎ、印刷品質が向上します。ただし、印刷スピードは遅くなります。

- **K[文字鮮鋭化]**

オンにすると、文字を鮮明に印刷します。

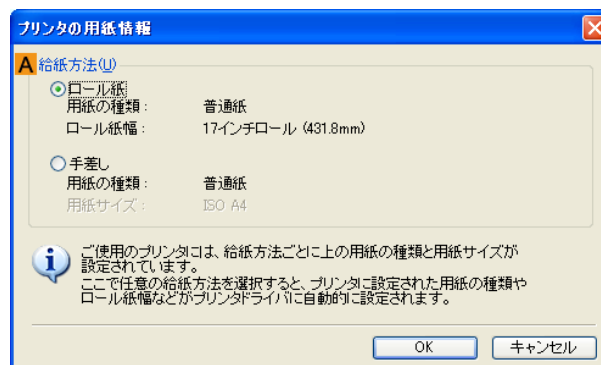
- **T[エコノミー印刷]**

チェックボックスをオンにすると、インクの消費量を抑えて印刷します。ただし、通常の印刷よりも印刷品位は下がります。

図面を確認のために印刷する場合などにインクを節約したいときにオンにしてください。この機能は、A[用紙の種類]、F[印刷品質]の設定によっては選択できない場合があります。

プリンタの用紙情報ダイアログボックス

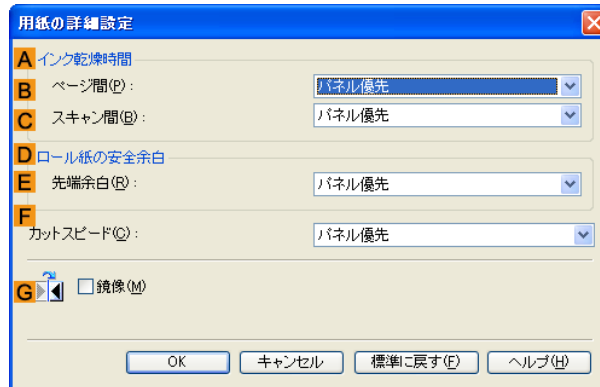
[プリンタの用紙情報]ダイアログボックスでは、プリンタの用紙情報を取得して、プリンタドライバの給紙方法と用紙の種類を設定することができます。

メモ

- [プリンタの用紙情報]ダイアログボックスは、[基本設定]シートで[用紙の種類]の[情報の取得]をクリックすると表示できます。(「基本設定シート →P.162 」参照)

- **A[給紙方法]**

プリンタで使用可能な給紙方法とセットされている用紙の情報が表示されます。[給紙方法]を選択して[OK]をクリックすると、プリンタドライバに給紙方法と用紙の種類が設定されます。

用紙の詳細設定ダイアログボックス

[用紙の詳細設定]ダイアログボックスでは、以下の項目を設定できます。設定する値の詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

- [用紙の詳細設定]ダイアログボックスは、[基本設定]シートで[用紙の種類]の[設定]をクリックすると表示できます。(「基本設定シート →P.162 」参照)

- **A**[インク乾燥時間]

  インクを乾燥させるための待ち時間を設定できます。[インク乾燥時間]の設定は、ロール紙のみ有効となります。

  - (「ロール紙のインク乾燥時間を設定する →P.404 」参照)

- **B**[ページ間]

  1 ページ分を印刷してから、用紙を排紙するまでの待ち時間を設定できます。

- **C**[スキャン間]

  ページ内で 1 ラインを印刷してから、次の 1 ラインを印刷するまでの時間を設定できます。

- **D**[ロール紙の安全余白]

  カールの強い用紙をプラテンにしっかりと吸着させるために、用紙の先端に確保する余白の長さを指定することができます。

- **E**[先端余白]

  ロール紙の[先端余白]の長さを設定できます。

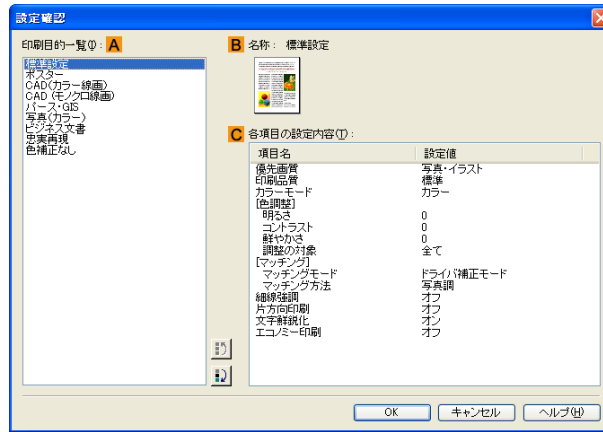
- **F**[カットスピード]

  オートカットのスピードを選択できます。オートカットできれいにカットできないときに調整できます。

- **G**[鏡像]

  鏡像印刷を行うかどうかを選択できます。クリックしてチェックボックスをオンにすると、文書や画像を鏡に映したように左右を反転させて印刷します。

印刷目的の設定確認ダイアログボックス

[設定確認]ダイアログボックスでは、選択した印刷目的の詳細を確認することができます。

- [設定確認]ダイアログボックスは、[基本設定]シートで[印刷目的]の[設定確認]をクリックすると表示できます。(「基本設定シート →P.162 」参照)

- **A**[印刷目的一覧]

  [印刷目的]のすべての項目が表示されます。

- **B**[名称]

  [印刷目的一覧]から選択した項目の名称とアイコンが表示されます。

- **C**[各項目の設定内容]

  選択した[印刷目的]の一覧から選択した各項目の細かな設定値を確認することができます。

色調整シート(カラー)

[色調整]シートでは、印刷結果が思いどおりの色調にならない場合に調整することができます。

- [色調整]シートは、[基本設定]シートで[詳細設定モード]の[カラーモード]の[色設定]をクリックすると表示できます。(「基本設定シート →P.162 」参照)

- **A**[サンプルの種類]

  サンプル画像を[標準]、[人物]、[風景]、[グラフィックス]から選択することができます。

- **B**[カラーパターン表示]

  チェックボックスをオンにすると、カラーパターンを表示します。

- **C**[サンプルへ適用]

  チェックボックスをオンにすると、変更した設定がサンプル画像に反映されます。

- **D**[シアン]/**E**[マゼンタ]/**F**[イエロー]

  各色の強弱を調整することで色合いを補正できます。

- **G**[グレー色調]

  グレーの色調を調整できます。[冷黒]にすると青みがかった色合いになり、[温黒]にすると赤みがかった色合いになります。

- **H**[明るさ]

  画像全体の明るさを調整することができます。印刷結果が元の画像(スキャナで読み込む前の写真やコンピュータ画面上で作成されたグラフィックスなど)に比べて明るいときや暗いときに、明るさを調整できます。

- **I**[コントラスト]

  最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを相対的に調整できます。[コントラスト]を強くするとメリハリが付き[コントラスト]を弱くするとやわらかくなります。

- **J**[鮮やかさ]

  色の濃さを調整できます。[鮮やかさ]の設定を強くするとビビッドな色合いになり、[鮮やかさ]を弱くするとくすんだ色合いになります。

- **K**[調整の対象]

  [調整の対象]ダイアログボックスが表示され、色を調整する対象を選択できます。

  - 調整の対象ダイアログボックス(カラー) →P.168

- **S**[標準に戻す]

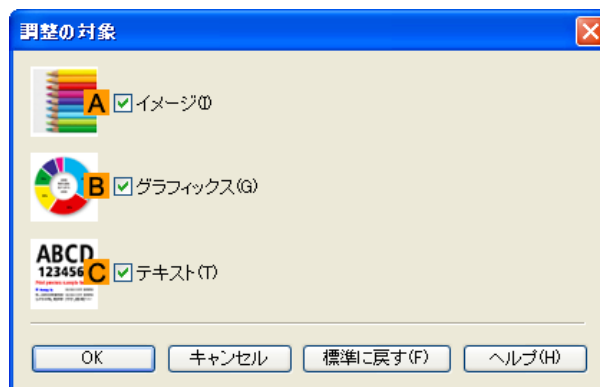
  クリックすると、シート内の各設定値を初期値に戻すことができます。

メモ

- 各選択項目の詳細については、「プリンタドライバで色を調整して印刷する →P.50」を参照してください。

調整の対象ダイアログボックス(カラー)

[調整の対象]ダイアログボックスでは、色の調整をどの種類の印刷ジョブに対して行うかを選択します。1 つの原稿中にイメージ部分、グラフィックス部分、テキスト部分がある場合に、それぞれに対して調整を行うかどうかを選択できます。

メモ

- [調整の対象]ダイアログボックスは、[色調整]シートの[調整の対象]をクリックすると表示できます。

- **A**[イメージ]

  チェックボックスをオンにすると、写真などのイメージ部分に対して調整を適用できます。

- **B**[グラフィックス]

  チェックボックスをオンにすると、線や円などのグラフィックス部分に対して調整を適用できます。

- **C**[テキスト]

チェックボックスをオンにすると、テキスト部分に対して調整を適用できます。

マッチングシート

[マッチング]シートでは、異なるデバイス間で色を合わせるカラーマッチングを設定することができます。

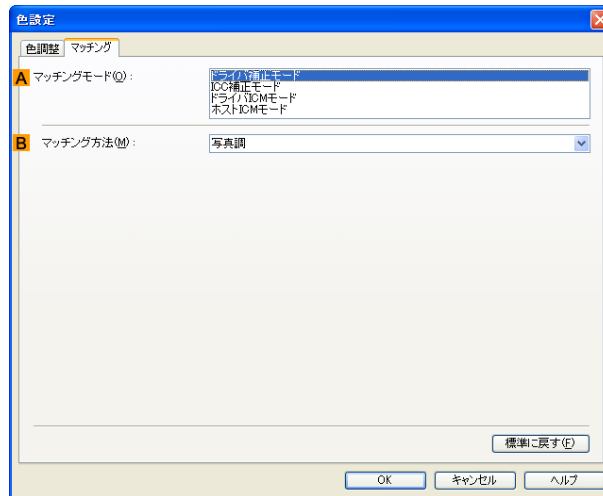
重要

- [カラーモード]で[色補正なし]が選択されているときは[マッチング]シートは表示されません。

メモ

- [マッチング]シートは、[基本設定]シートで[詳細設定モード]の[カラーモード]の[色設定]をクリックし、[マッチング]シートをクリックすると表示できます。(「基本設定シート →P.162 」参照)

[ドライバ補正モード]

A[マッチングモード]の一覧から[ドライバ補正モード]を選択したときに、以下の項目を設定できます。

- **A**[マッチングモード]

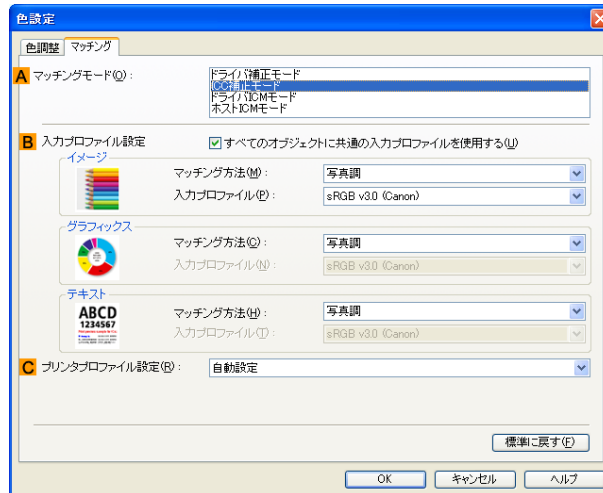
使用するカラーマッチングを選択できます。

通常は、[ドライバ補正モード]を選択します。ICC プロファイルを使用したカラーマッチングを行いたい場合は、使用するカラーマッチングシステムに応じて[ICC 補正モード]、[ドライバ ICM モード]、[ホスト ICM モード]を選択します。

- **B**[マッチング方法]

印刷する内容に合わせてカラーマッチング方法を選択できます。[マッチング方法]は、選択した[マッチングモード]によって設定できる項目が異なります。

[ICC 補正モード]/[ドライバ ICM モード]/[ホスト ICM モード]

A[マッチングモード]の一覧から[ICC 補正モード]、[ドライバ ICM モード]、[ホスト ICM モード]を選択したときは、以下の項目を設定できます。

- **A[マッチングモード]**

  使用するカラーマッチングを選択できます。

- **B[入力プロファイル設定]**

  [イメージ]、[グラフィックス]、[テキスト]それぞれを選択できます。[マッチング方法]と[入力プロファイル]を選択することができます。

  選択されている[マッチングモード]によって選択できる項目が異なります。

  [すべてのオブジェクトに共通の入力プロファイルを使用する]のチェックボックスがオンになっているときは、[グラフィックス]、[テキスト]にも自動的に同じ入力プロファイルが設定されます。[グラフィックス]、[テキスト]に対して、それぞれ異なる入力プロファイルを設定したいときは、[すべてのオブジェクトに共通の入力プロファイルを使用する]のチェックボックスをオフにしてから、設定します。

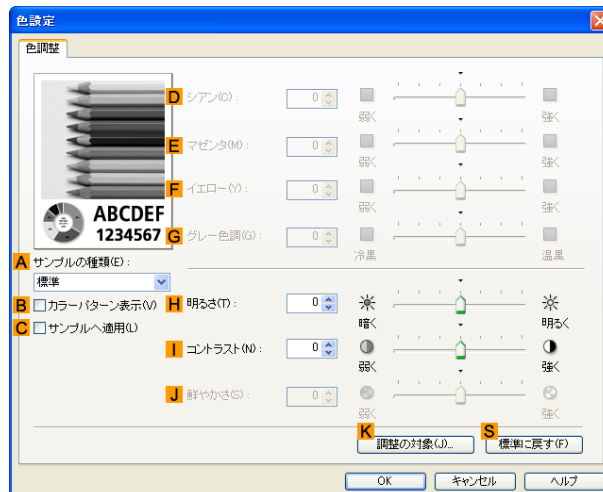
- **C[プリンタプロファイル設定]**

  プリンタのプロファイルを設定することができます。通常は[自動設定]を選択します。

メモ

- 各選択項目の詳細については、「プリンタドライバで色を調整して印刷する →P.50 」を参照してください。

色調整シート(モノクロ)

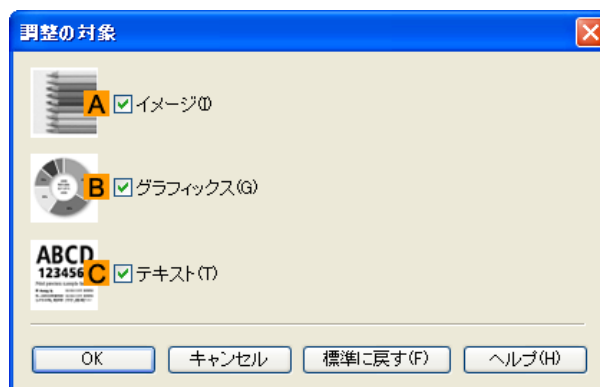
モノクロ用の[色調整]シートでは、明るさとコントラストを調整することができます。

- [色調整]シートは、[基本設定]シートで[詳細設定モード]の[カラーモード]の[色設定]をクリックすると表示できます。（「基本設定シート →P.162」参照）

- **A**[サンプルの種類]
  サンプル画像を[標準]、[人物]、[風景]、[グラフィックス]から選択することができます。
- **B**[カラーパターン表示]
  チェックボックスをオンにすると、カラーパターンを表示します。
- **C**[サンプルへ適用]
  チェックボックスをオンにすると、変更した設定がサンプル画像に反映されます。
- **D**[シアン]/**E**[マゼンタ]/**F**[イエロー]
  設定できません。
- **G**[グレー色調]
  設定できません。
- **H**[明るさ]
  画像全体の明るさを調整することができます。印刷結果が元の画像（スキャナで読み込む前の写真やコンピュータ画面上で作成されたグラフィックスなど）に比べて明るいときや暗いときに、明るさを調整できます。
- **I**[コントラスト]
  最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを相対的に調整できます。[コントラスト]を強くするとメリハリが付き[コントラスト]を弱くするとやわらかくなります。
- **J**[鮮やかさ]
  設定できません。
- **K**[調整の対象]
  [調整の対象]ダイアログボックスが表示され、色を調整する対象を選択できます。
  - 調整の対象ダイアログボックス（モノクロ） →P.171
- **S**[標準に戻す]
  クリックすると、シート内の各設定値を初期値に戻すことができます。

- 各選択項目の詳細については、「プリンタドライバで色を調整して印刷する →P.50」を参照してください。

調整の対象ダイアログボックス（モノクロ）

[調整の対象]ダイアログボックスでは、色の調整をどの種類の印刷ジョブに対して行うかを選択します。1 つの原稿中にイメージ部分、グラフィックス部分、テキスト部分がある場合に、それぞれに対して調整を行うかどうかを選択できます。

メモ

- [調整の対象]ダイアログボックスは、[色調整]シートの[調整の対象]をクリックすると表示できます。

- **A**[イメージ]

  チェックボックスをオンにすると、写真などのイメージ部分に対して調整を適用できます。

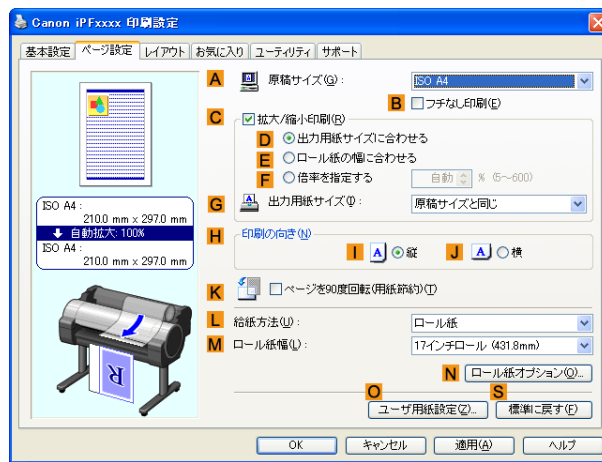
- **B**[グラフィックス]

  チェックボックスをオンにすると、線や円などのグラフィックス部分に対して調整を適用できます。

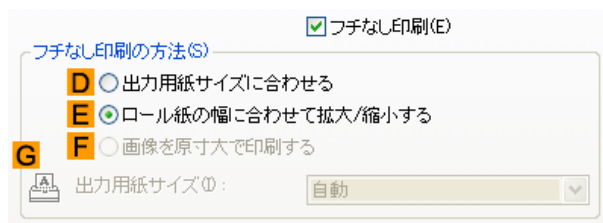
- **C**[テキスト]

  チェックボックスをオンにすると、テキスト部分に対して調整を適用できます。

ページ設定シート

[ページ設定]シートでは、以下の項目を設定できます。設定する値の詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

- **A**[原稿サイズ]

  アプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択できます。
  選択できる原稿のサイズについては、「用紙のサイズ →P.388」を参照してください。

- **B**[フチなし印刷]

  L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択すると有効になります。オンにすると、以下の項目を選択できます。

  - 用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する →P.85
  - ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する →P.90
  - 原寸大のフチなしで印刷する →P.79

- **D**[出力用紙サイズに合わせる]

  原稿を、印刷する用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷できます。

- **E**[ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小する]

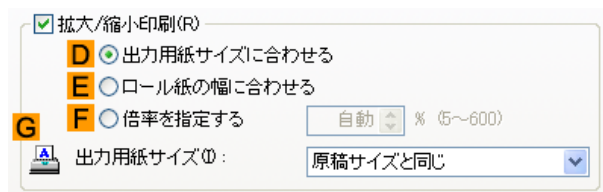
  原稿を、ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷できます。

- **F**[画像を原寸大で印刷する]

画像を原寸大で印刷できます。**A**[原稿サイズ]の一覧から、原稿の高さまたは幅が[ロール紙]の幅と同じサイズを選択したときに有効になります。

- **G**[出力用紙サイズ]

D[出力用紙サイズに合わせる]を選択すると有効になります。
印刷する用紙のサイズを選択できます。
選択できる用紙のサイズについては、「用紙のサイズ →P.388」を参照してください。
一覧には、フチなしで印刷できる用紙のサイズが表示されます。

- **C**[拡大/縮小印刷]

オンにすると、以下の項目を選択できます。

- 用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する →P.62
- ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する →P.66
- 指定した倍率で拡大/縮小して印刷する →P.70

- **D**[出力用紙サイズに合わせる]

原稿を、印刷する用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷できます。

- **E**[ロール紙の幅に合わせる]

原稿を、ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷できます。

- **F**[倍率を指定する]

原稿を、指定した倍率で拡大/縮小して印刷できます。[5〜600]の値を入力できます。

- **G**[出力用紙サイズ]

印刷する用紙のサイズを選択できます。
選択できる用紙のサイズについては、「用紙のサイズ →P.388」を参照してください。

- **H**[印刷の向き]

印刷の向きを選択できます。

- 原稿の向きを用紙に合わせて印刷する →P.145

- **K**[ページを 90 度回転(用紙節約)]

オンにすると、ページを 90 度回転して印刷できます。

- 原稿を 90 度回転してロール紙を節約する →P.133

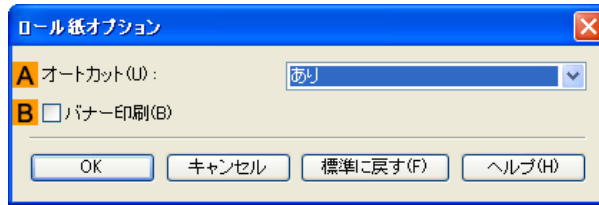
- **L**[給紙方法]

用紙の給紙方法を選択できます。
[基本設定]シートの[用紙の種類]で選択した項目によって、表示される項目が異なります。

- **M**[ロール紙幅]

ロール紙の幅を選択できます。
選択できるロール紙の幅については、「用紙のサイズ →P.388」を参照してください。

- **N**[ロール紙オプション]

ロール紙のオプション設定を行います。クリックすると[ロール紙オプション]ダイアログボックスが開きます。

A[オートカット]の一覧からオートカットの[あり]/[なし]や[カットラインを印刷]を設定できます。

- 印刷後にロール紙をカットする →P.149

複数ページをつなげて印刷する場合は **B**[バナー印刷]をチェックします。

- 複数ページをつなげて印刷する →P.113

- **O**[ユーザ用紙設定]

クリックすると[ユーザ用紙設定]ダイアログボックスが開き、独自の用紙サイズを登録したり、使用するサイズの系列を設定できます。

- ユーザ用紙設定ダイアログボックス →P.174

- **S**[標準に戻す]

シート内の各設定値を初期値に戻すことができます。

ユーザ用紙設定ダイアログボックス

[ユーザ用紙設定]ダイアログボックスでは、独自のユーザ定義用紙を作成して登録することができます。定義した用紙サイズは、標準の用紙サイズとともに一覧から選択できるようになります。

メモ

- [ユーザ用紙設定]ダイアログボックスは、[ページ設定]シートの[ユーザ用紙設定]をクリックすると表示できます。(「ページ設定シート →P.172」参照)

- **A**[サイズ一覧]

プリンタドライバで使用可能な用紙サイズの名称とサイズが表示されます。

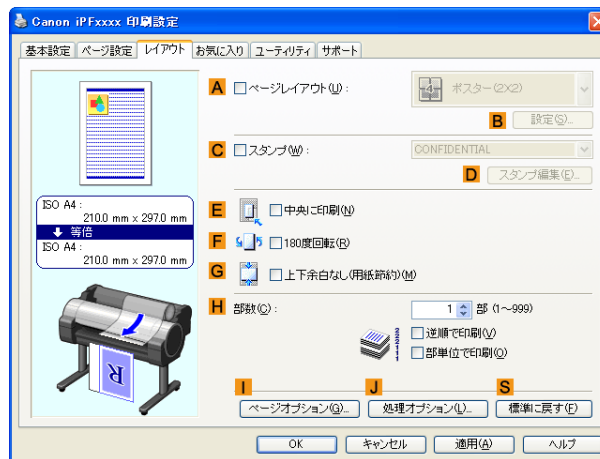
- **B**[削除]

A[サイズ一覧]からユーザが作成したユーザ定義用紙を削除することができます。
以下の場合は、削除することができません。

- プリンタドライバ標準の用紙サイズを選択した場合
- オーバーサイズの用紙サイズを選択した場合
- 赤い丸の付いた用紙サイズを選択した場合

- **C**[ユーザ定義用紙名]
  ユーザ定義用紙の名称を指定することができます。
- **D**[単位]
  ユーザ定義用紙の高さ、幅のサイズの単位を指定することができます。
- **E**[用紙サイズ]
  用紙の[幅]と[高さ]を指定することができます。[フチなし印刷のサイズ]チェックボックスをオンにすると、[フチなし印刷]が可能なサイズから選択することができます。[幅・高さの比を固定する]チェックボックスをオンにすると、[幅]と[高さ]の比率を保ったままサイズを変更することができます。
- **F**[登録]
  設定したユーザ定義用紙を登録したり、既存のユーザ定義用紙を上書きすることができます。
- **G**[サイズ系列]
  [原稿サイズ]、[出力用紙サイズ]、[サイズ一覧]に表示する選択肢の数を制限することができます。

レイアウトシート

[レイアウト]シートでは、以下の項目を設定できます。設定する値の詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

- **A**[ページレイアウト]
  オンにすると、ページレイアウトを選択できます。
  - 複数のページを 1 ページにまとめて印刷する →P.116
  - ポスターを分割して印刷する →P.121
  - 複数の原稿を並べて印刷する →P.109
  - PosterArtist で編集して印刷する →P.39
- **B**[設定]
  クリックすると、**A**[ページレイアウト]で選択した項目によって、以下のいずれかのダイアログボックスが開き、レイアウトの詳細や印刷するページを設定できます。
  - [N ページ印刷]
  - [出力ページの指定]
  - [フリーレイアウト設定]
- **C**[スタンプ]
  オンにすると、[スタンプリスト]と **D**[スタンプ編集]が選択できるようになります。
  - スタンプを押して印刷する →P.143
  - [スタンプリスト]
    スタンプのリストが表示されます。印刷したいスタンプを選びます。
- **D**[スタンプ編集]
  クリックすると[スタンプ編集]ダイアログボックスが開き、独自のスタンプを定義できます。

- **E**[中央に印刷]

オンにすると、原稿を用紙の中央に印刷できます。

- 原稿をロール紙の中央に印刷する →P.124
- 原稿をカット紙の中央に印刷する →P.128

- **F**[180 度回転]

オンにすると、原稿を 180 度回転して印刷できます。

- **G**[上下余白なし(用紙節約)]

オンにすると、原稿の上下に余白がある場合、余白を除いて印刷し、用紙を節約できます。

- 原稿の上下の余白分のロール紙を節約する →P.137

- **H**[部数]

印刷部数を[1〜999]の値で入力できます。

- [逆順で印刷]
  オンにすると、最終ページから逆の順番で印刷できます。
- [部単位で印刷]
  オンにすると、1 部ずつまとめて、複数の部数を印刷できます。

- **I**[ページオプション]

クリックすると[ページオプション]ダイアログボックスが開き、用紙のヘッダやフッタにユーザ名や日付、ページ番号を印刷する設定をすることができます。

- ページオプションダイアログボックス →P.176

- **J**[処理オプション]

思いどおりに印刷できない場合、クリックすると、印刷の処理方法を変更できます。

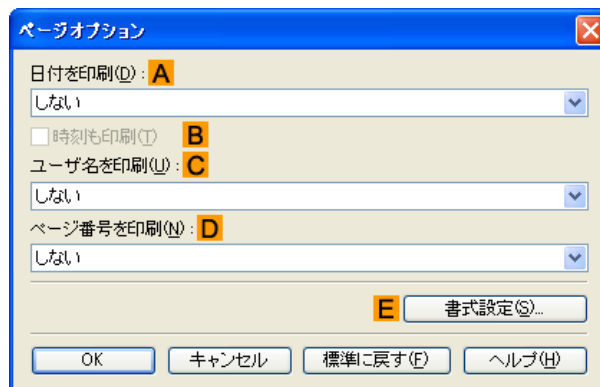
- 処理オプションダイアログボックス →P.177

- **S**[標準に戻す]

クリックすると、シート内の各設定値を初期値に戻すことができます。

ページオプションダイアログボックス

[ページオプション]ダイアログボックスでは、以下の項目を設定できます。

メモ

- [ページオプション]ダイアログボックスは、[レイアウト]シートの[ページオプション]をクリックすると表示できます。(「レイアウトシート →P.175 」参照)

- **A**[日付を印刷]

日付を印刷する位置を選択することができます。**B**[時刻も印刷]をチェックすると時刻も印刷します。

- **C**[ユーザ名を印刷]

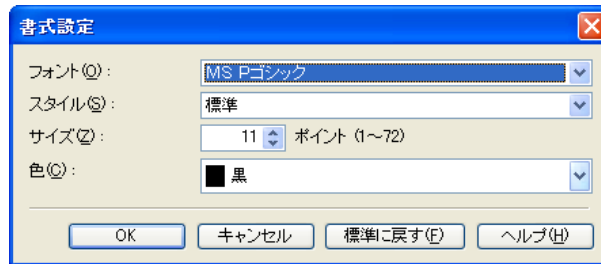
ユーザ名を印刷する位置を選択することができます。

- **D**[ページ番号を印刷]

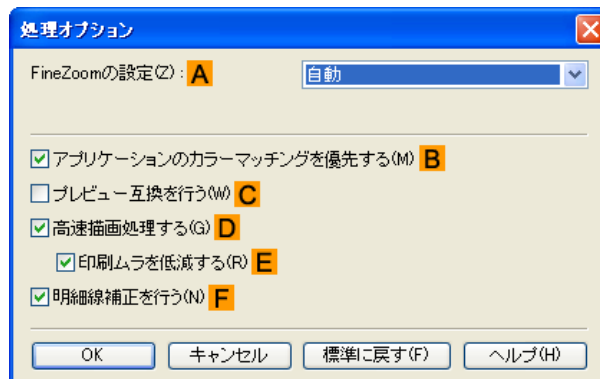
  ページ番号を印刷する位置を選択することができます。

- **E**[書式設定]

  [書式設定]ダイアログボックスが開き、書式を設定する事ができます。

メモ

- 同じ位置が指定された場合には、左から日付/ユーザ名/ページ番号の順に配置して印字を行います。
- [N ページ印刷]などで複数ページを 1 枚にまとめる設定をした場合、それぞれのページに印刷されます。

処理オプションダイアログボックス

[処理オプション]ダイアログボックスでは、思いどおりの印刷結果を得られなかったときに、印刷の処理方法を変更することができます。

メモ

- [処理オプション]ダイアログボックスは、[レイアウト]シートの[処理オプション]をクリックすると表示できます。(「レイアウトシート →P.175」参照)

- **A**[FineZoom の設定]

  長尺用紙に印刷するときに使用する機能です。通常は[自動]を選択してください。長尺用紙への印刷が正しく行われない場合は[する]を選択し、細い線が消えるなどの画像乱れが発生する場合は[しない]を選択することにより改善する場合があります。

- **B**[アプリケーションのカラーマッチングを優先する]

  アプリケーションソフトによるカラーマネージメントを優先させることができます。

- **C**[プレビュー互換を行う]

  チェックボックスをオンにすると、[基本設定]シートで[印刷時にプレビュー画面を表示]をチェックして印刷したときに、PageComposer を起動します。

- **D**[高速描画処理する]

  画像の色味や線の太さなどが違って印刷されたとき、チェックボックスをオフにすると、思いどおりの印刷結果を得られることがあります。

メモ

- この機能は 64 ビット版の Windows では使用できません。

Windows ソフトウェア
プリンタドライバ

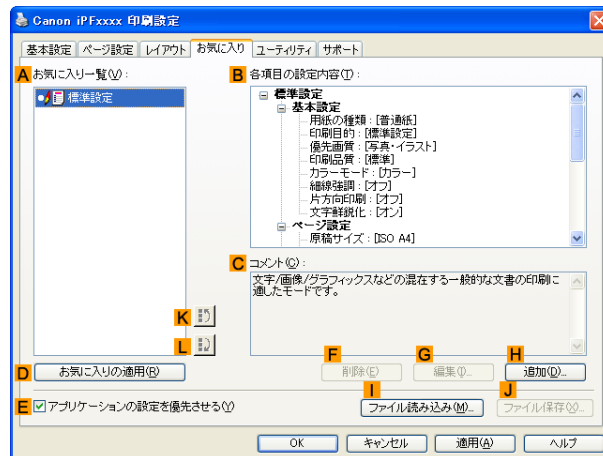
- **E**[印刷ムラを低減する]

印刷ムラが気になるとき、チェックボックスをオンにすると印刷結果が改善されることがあります。ただし、画像によっては印刷速度が遅くなります。

- **F**[明細線補正を行う]

細線の色味が他の図形と違って印刷されるとき、チェックボックスをオフにすると、思い通りの印刷結果を得られることがあります。ただし、色によっては細線が途切れて印刷される場合があります。

お気に入りシート

[お気に入り]シートでは、以下の項目を設定できます。設定する値の詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

- **A**[お気に入り一覧]

[標準設定]と、独自に作成したお気に入りの設定の一覧が表示されます。

  - お気に入りの設定で印刷する →P.149

- **B**[各項目の設定内容]

A[お気に入り一覧]の一覧から選択したお気に入りの設定の設定内容が表示されます。

- **C**[コメント]

お気に入りの設定に登録したコメントが表示されます。

- **D**[お気に入りの適用]

クリックすると、印刷の設定を、**A**[お気に入り一覧]の一覧から選択したお気に入りの設定に変更できます。

- **E**[アプリケーションの設定を優先させる]

オンにすると、**D**[お気に入りの適用]をクリックしたときに、**A**[お気に入り一覧]の一覧から選択したお気に入りの設定よりも、アプリケーションソフトでの設定を優先します。優先される項目については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

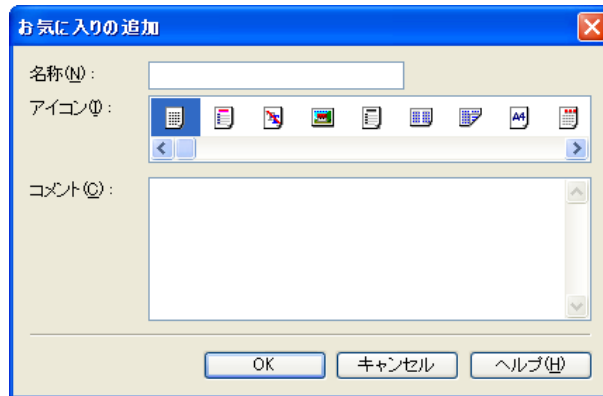
- **F**[削除]

クリックすると、**A**[お気に入り一覧]の一覧から選択したお気に入りの設定を削除できます。

- **G**[編集]

クリックすると[お気に入りの編集]ダイアログボックスが開き、**A**[お気に入り一覧]の一覧から選択したお気に入りの設定の名前やアイコンを編集できます。

- **H**[追加]

  クリックすると[お気に入りの追加]ダイアログボックスが開き、現在の印刷の設定をお気に入りの設定として登録できます。

- **I**[ファイル読み込み]

  クリックすると[ファイルを開く]ダイアログボックスが開き、ファイルに保存されているお気に入りの設定を読み込むことができます。

- **J**[ファイル保存]

  クリックすると[名前を付けて保存]ダイアログボックスが開き、お気に入りの設定をファイルに保存できます。

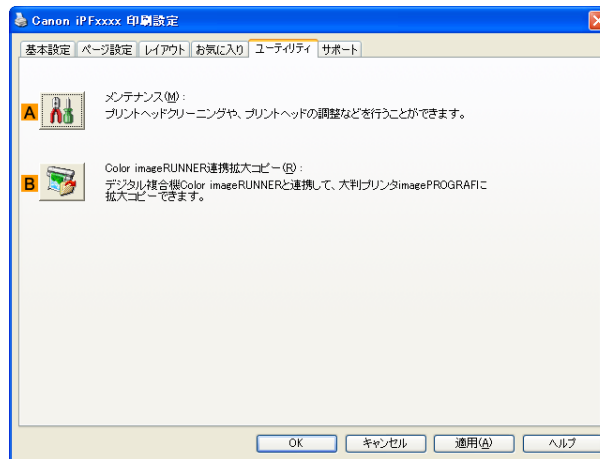
- **K**[上へ]

  クリックすると **A**[お気に入り一覧]の一覧から選択したお気に入りの設定を上へ変更することができます。

- **L**[下へ]

  クリックすると **A**[お気に入り一覧]の一覧から選択したお気に入りの設定を下へ変更することができます。

ユーティリティシート

[ユーティリティ]シートでは、以下の項目を実行できます。ユーティリティの詳細については、各ユーティリティのヘルプを参照してください。

- **A**[メンテナンス]

  クリックすると imagePROGRAF Status Monitor が起動し、以下のプリンタのメンテナンスを実行できます。

  - ノズル(インクの噴き出し口)のチェック
  - ノズル(インクの噴き出し口)のクリーニング
  - ヘッドの位置の調整
  - 用紙の送り量の調整

- **B**[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]

  クリックすると Color imageRUNNER 連携拡大コピーユーティリティ(iR 連携)が起動し、Color imageRUNNER 連携拡大コピーで使用されるホットフォルダを作成したり、ホットフォルダに印刷の条件を設定することができます。

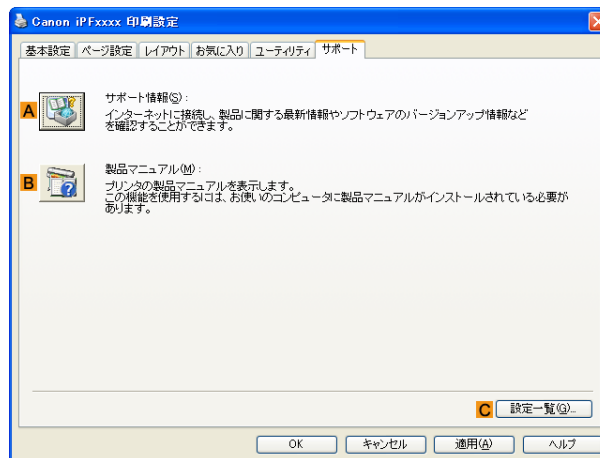
  - Color imageRUNNER でスキャンした原稿を拡大印刷する →P.221

  詳細は Color imageRUNNER 連携拡大コピー →P.213 を参照してください。

メモ

- この機能は 64 ビット版の Windows では使用できません。

サポートシート

[サポート]シートでは、サポート情報や製品マニュアルを表示できます。

- **A**[サポート情報]

  クリックするとインターネットに接続し、製品に関する最新の情報や消耗品の情報、プリンタドライバのバージョンアップ情報などを確認することができます。

- **B**[製品マニュアル]

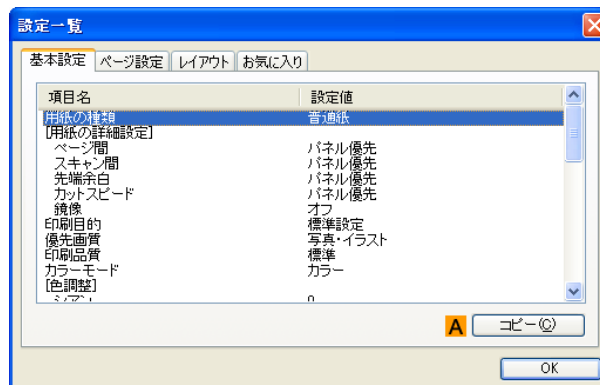
  クリックするとプリンタの製品マニュアルを表示します。この機能を使用するには、ご使用のコンピュータに製品マニュアルがインストールされている必要があります。

- **C**[設定一覧]

  クリックすると[設定確認]ダイアログボックスが開き、[基本設定]シート、[ページ設定]シート、[レイアウト]シート、[お気に入り]シートの設定を確認することができます。

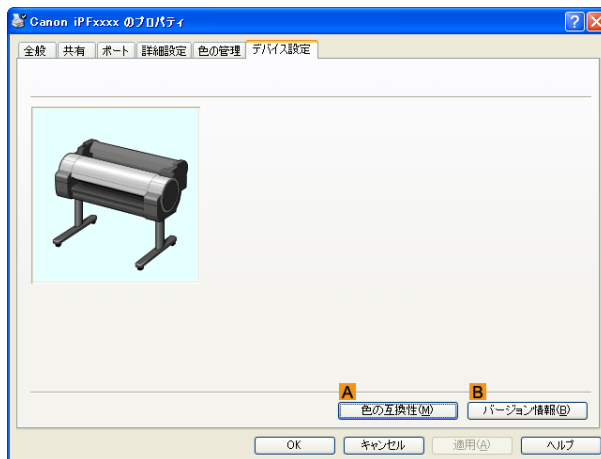
設定一覧ダイアログボックス

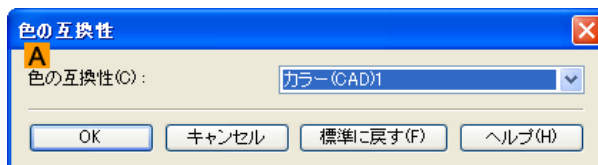
[設定一覧]ダイアログボックスでは、[基本設定]シート、[ページ設定]シート、[レイアウト]シート、[お気に入り]シートの設定を表示することができます。

Windows ソフトウエア プリンタドライバ

- **A**[コピー]

  クリックすると、設定をクリップボードにコピーします。テキストエディタなどに貼り付けることができます。

デバイス設定シート

プリンタのプロパティのウィンドウにあるシートの多くは、Windows によって管理されています。ただし、[デバイス設定]シートはプリンタの構成に関連する設定を行うシートで、プリンタドライバの一部です。
[デバイス設定]シートでは、以下の項目を設定できます。

- **A**[色の互換性]

  クリックすると[色の互換性]ダイアログボックスが開き、[カラーモード]で[カラー(CAD)]を選択した場合の色味の設定を行うことができます。

  - カラー設定についての詳細は CAD 図面の色味を設定して印刷する →P.47 を参照してください。

- **B**[バージョン情報]

  プリンタドライバのバージョン情報を表示できます。

Preview

Preview の特長 182
Preview の起動方法 182
Preview メインウィンドウ 183
ダイアログエリア 185
画面表示を拡大/縮小する 186
ページを移動する 186
ルーラーを使用する 186
90 度回転の優先設定を行う 187
レイアウトを選択して印刷する 188
中央に印刷する 190
上下の余白を印刷しない 191

Preview の特長

Preview の主な特長は以下のとおりです。

- アプリケーションソフトで作成した原稿を、プレビュー画面を見ながらレイアウトの設定を変更することができます。
- レイアウトを変更するだけでなく、変更した内容はただちにプレビュー画面に反映され、プレビュー画面をそのまま印刷することができます。

メモ

- 用紙の種類、画像のサイズ、用紙の詳細設定、プリンタ本体の設定によっては、実際の出力が、Preview 上の設定と異なる場合があります。

Preview の起動方法

Preview を起動する手順は、以下のとおりです。

1. ご使用になるアプリケーションソフトを起動します。
2. アプリケーションソフトの[ファイル]メニューからプリンタの設定を行うメニューを選択し、[印刷]ダイアログボックスを開きます。

メモ

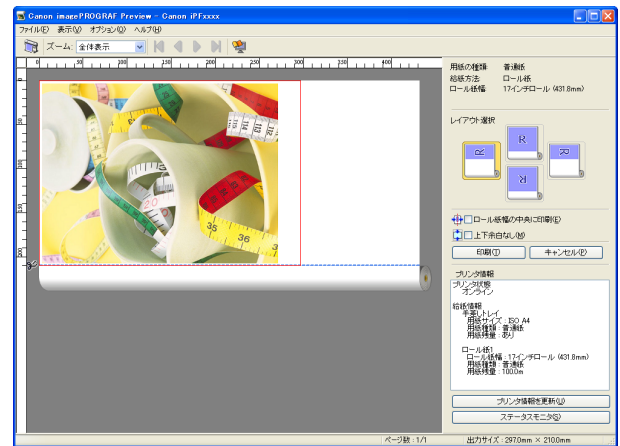
- 通常、[ファイル]メニューから[印刷]を選択します。

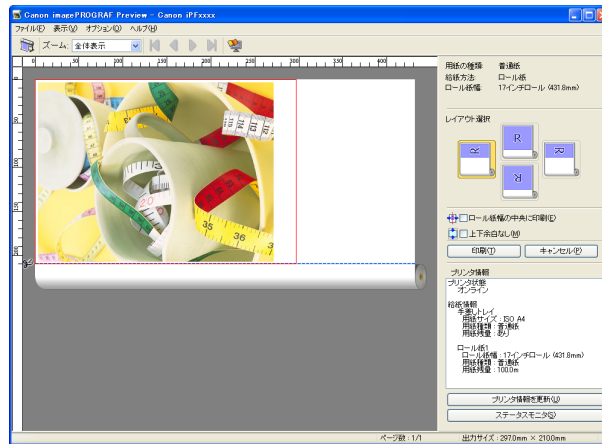
3. [基本設定]シートで[印刷時にプレビュー画面を表示]チェックボックスをオンにします。
[OK]ボタンをクリックし、設定内容を保存します。

メモ

- この画面の左下にはお使いのプリンタの絵が表示されます。

4. アプリケーションの[印刷]ダイアログボックスで[印刷]ボタンをクリックします。

5 Preview メインウィンドウが表示されます。

Preview メインウィンドウ

Preview のメインウィンドウは、メニューバー、ツールバー、プレビューエリア、ダイアログエリア、ステータスバーで構成されています。

メモ

- ツールバーは[表示]メニューで表示/非表示を切り換えられます。

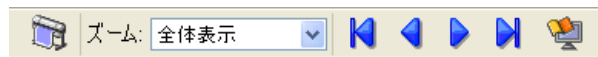
- メニューバー

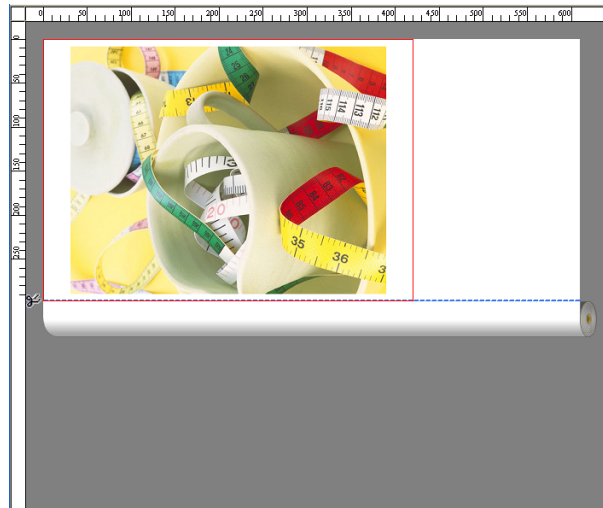
  操作に必要なメニューを選択できます。

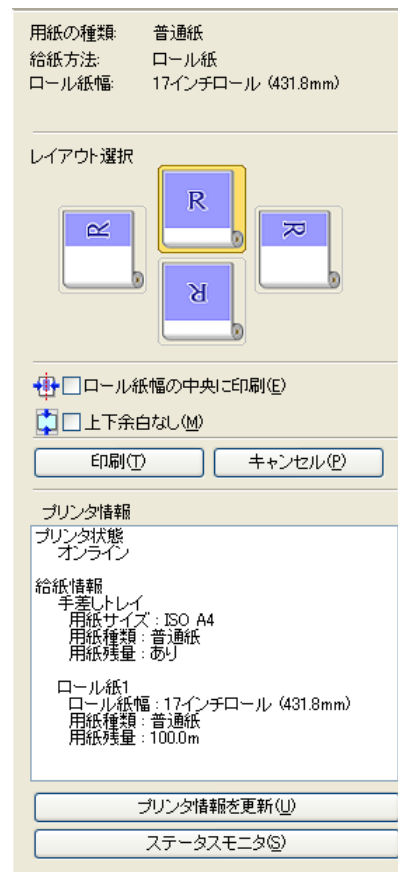
Canon imagePROGRAF Preview - Canon iPFxxxx

ファイル(F) 表示(V) オプション(O) ヘルプ(H)

- ツールバー

  主な操作のツールボタンを選択できます。

- **プレビューエリア**

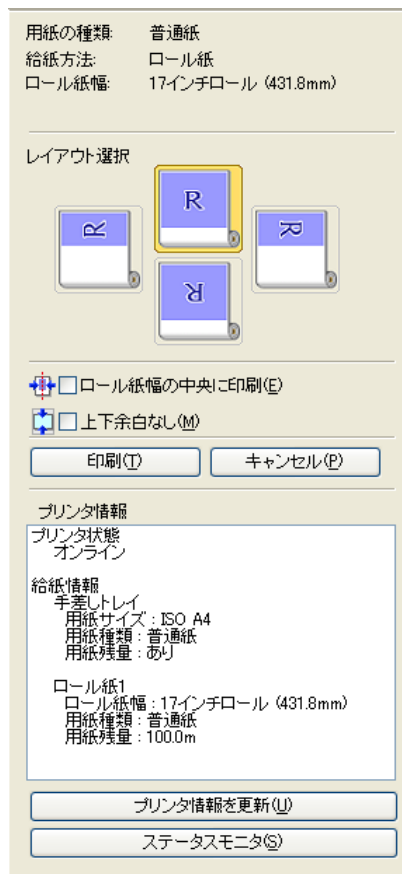
設定した内容がどのように反映されるのかを確認することができます。

- **ダイアログエリア**

印刷条件を設定したり、印刷を実行することができます。
ダイアログエリアについて詳しくは、「ダイアログエリア」を参照してください。→P.185

- **ステータスバー**

メッセージ、[ページ数]と[出力サイズ]が表示されます。

画像を90度回転して印刷すれば、用紙を節約できます。　ページ数 : 1/1　出力サイズ : 297.0mm × 420.0mm

ダイアログエリア

レイアウトを選択したり、中央に印刷することができます。

- [用紙の種類]/[給紙方法]/用紙のサイズ

  設定されている情報を確認することができます。

- [レイアウト選択]

  レイアウトを選択することにより、用紙を節約して印刷することができます。
  [レイアウト選択]について詳しくは、「レイアウトを選択して印刷する」を参照してください。→P.188

- [ロール紙幅の中央に印刷]

  プリンタにセットされている用紙の中央に配置して印刷することができます。
  [ロール紙幅の中央に印刷]について詳しくは、「中央に印刷する」を参照してください。→P.190

メモ

- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。

- [上下余白なし]

  用紙の上下に空白領域がある印刷データの場合に、空白部分はロール紙を送らず、用紙を節約できます。
  [上下余白なし]について詳しくは、「上下の余白を印刷しない」を参照してください。→P.191

メモ

- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。

- [印刷]ボタン

  ボタンをクリックすると、印刷を開始します。

- [キャンセル]ボタン

  ボタンをクリックすると、印刷を中止します。

- [プリンタ情報]
  プリンタから取得した情報を確認することができます。

- [プリンタ情報を更新]ボタン
  ボタンをクリックすると、プリンタと接続しプリンタ情報を更新することができます。

- [ステータスモニタ]ボタン
  ボタンをクリックすると、[ステータスモニタ]を起動します。

画面表示を拡大/縮小する

[表示]メニューから[ズーム]を選択すると、画面表示を拡大/縮小することができます。

項目	内容
[全体表示]	全体を表示します。
[幅に合わせる]	用紙の幅に合わせて表示します。
[縮小]	標準サイズの 1/2 倍で表示します。
[標準]	標準サイズで表示します。
[拡大]	標準サイズの 2 倍で表示します。
[さらに拡大]	標準サイズの 3 倍で表示します。

メモ

- ツールバーの[ズーム]の[▼]ボタンをクリックしても、項目を選択することができます。

ページを移動する

[表示]メニューから[ページ移動]を選択すると、表示するページを移動する事ができます。

項目	内容
[最初のページへ]	最初のページに移動します。
[前のページへ]	前のページに移動します。
[次のページへ]	次のページに移動します。
[最後のページへ]	最後のページに移動します。
[ページの指定]	指定したページに移動します。

メモ

- ツールバーの   でページを移動することもできます。

ルーラーを使用する

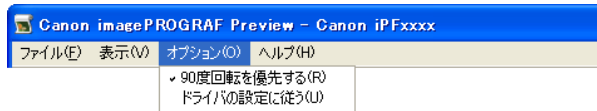
ルーラーを使用してレイアウトを確認することができます。

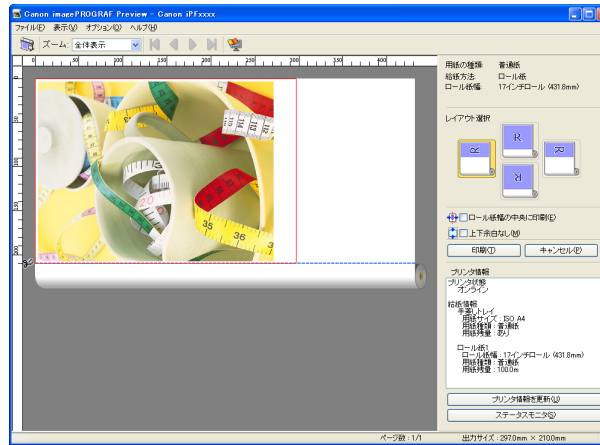
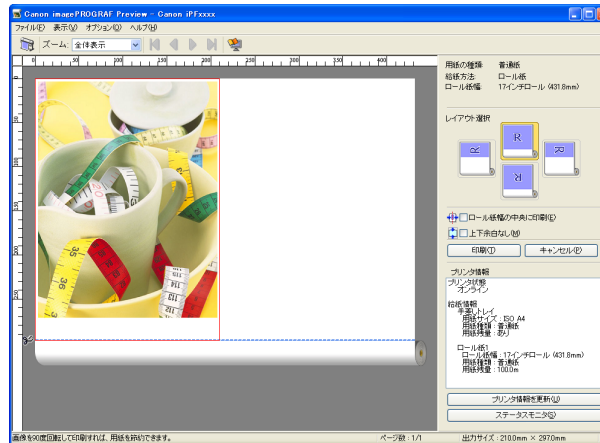
- ルーラーの表示/非表示を切り替える
  [表示]メニューから[ルーラー]を選択すると、ルーラーの表示/非表示が切り替わります。

- ルーラーの表示単位を変更する
  [表示]メニューから[表示単位]を選択すると、ルーラーの表示単位を設定することができます。

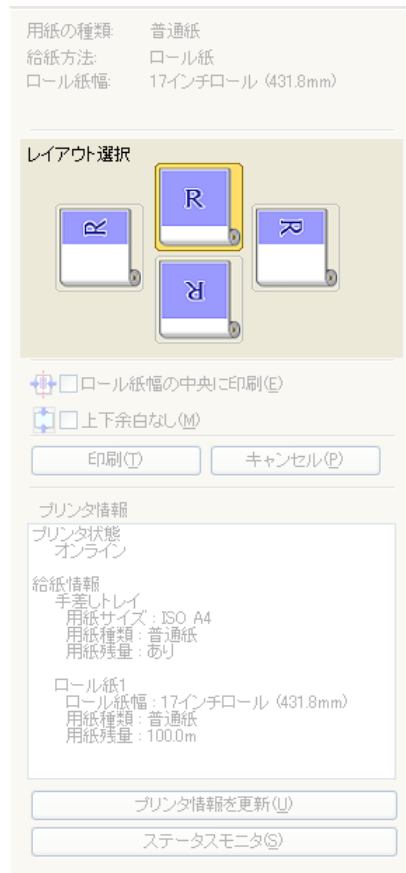
項目	内容
[ミリメートル]	ルーラーの目盛りをミリ単位で表示します。
[インチ]	ルーラーの目盛りをインチ単位で表示します。

90 度回転の優先設定を行う

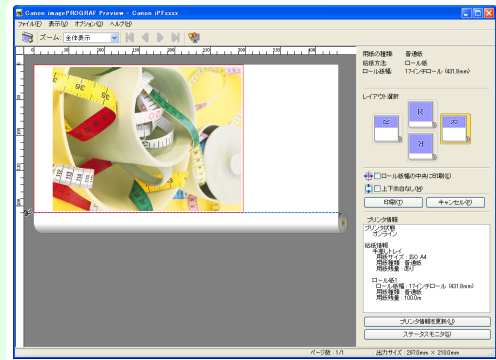
[オプション]メニューから[90 度回転を優先する]または、[ドライバの設定に従う]を選択することができます。

項目	内容
[90 度回転を優先する]	縦長のページを 90 度回転して印刷します。回転した結果、ロール紙幅に収まるときにのみ自動的にページを回転します。
[ドライバの設定に従う]	ページを回転させるかどうかは、プリンタドライバの設定に従います。

[90 度回転を優先する]が選択されている、またはプリンタドライバで[ページを 90 度回転(用紙節約)]がチェックされている場合

[ドライバの設定に従う]が選択されている場合

レイアウトを選択して印刷する

レイアウトを選択することにより、用紙を節約して印刷することができます。

1 [レイアウト選択]で変更したいレイアウトのボタンをクリックします。

ボタン	内容
[上ボタン]	の位置に回転します。
[右ボタン]	の位置に回転します。
[左ボタン]	の位置に回転します。
[下ボタン]	の位置に回転します。

メモ

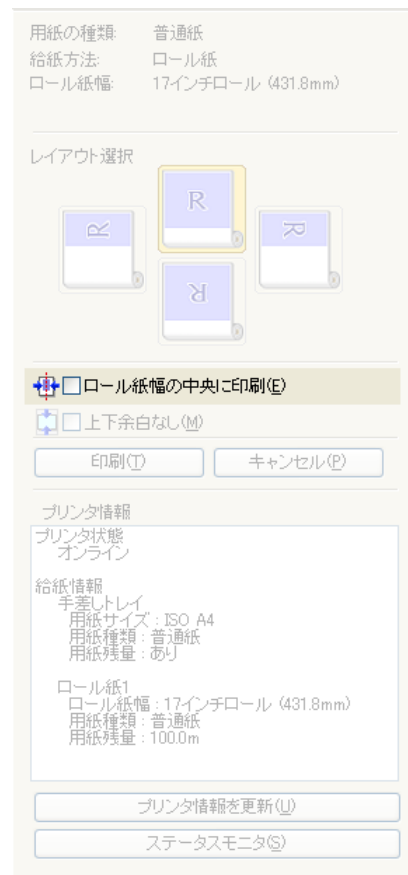
- [右ボタン]または[左ボタン]は回転した結果、ロール紙幅に収まるときにのみ選択することができます。
- [右ボタン]または[左ボタン]をクリックすると、ロール紙上に横長に印刷されるため、用紙を節約できます。
- [カット紙]が選択されている場合は、[上ボタン]または[下ボタン]のみ選択することができます。

ボタン	内容
	現在選択されているボタンです。
	選択することができるボタンです。
	選択することができないボタンです。

2 [印刷]ボタンをクリックします。

選択されたレイアウトで印刷が開始されます。

中央に印刷する

プリンタにセットされている用紙の中央に配置して印刷することができます。

1 [ロール紙幅の中央に印刷]をクリックしてチェックマークを付けます。

2 [印刷]ボタンをクリックします。

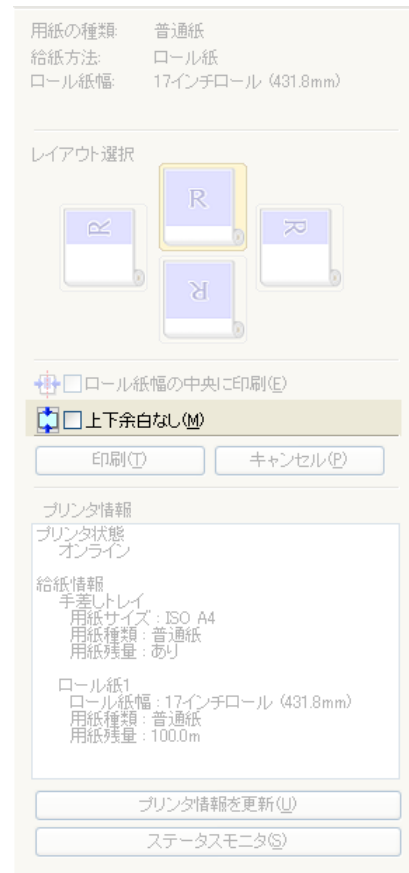
用紙の中央に印刷が開始されます。

メモ

- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。

上下の余白を印刷しない

用紙の上下に空白領域のあるデータを印刷するとき、マージン以外の空白部分はロール紙を送らず、用紙を節約できます。

1 [上下余白なし]をクリックしてチェックマークを付けます。

2 [印刷]ボタンをクリックします。

上下余白なしの設定で印刷が開始されます。

フリーレイアウト

フリーレイアウトの特長 192
フリーレイアウトの起動方法 192

フリーレイアウト メインウィンドウ 194
詳細設定ダイアログ 195
環境設定ダイアログボックス 195
ページオプションダイアログボックス 196
ズームダイアログボックス 197
書式設定ダイアログボックス 198

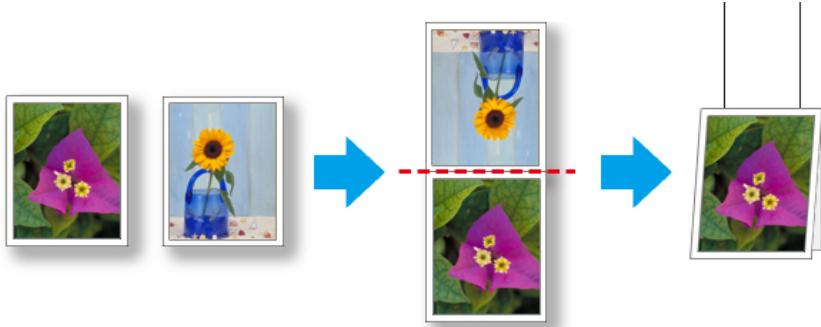
複数のファイルの原稿を 1 ページに配置する 199
複数のアプリケーションソフトで作成した原稿を 1 ページに配置する 201
オブジェクトを選択する 203
オブジェクトのサイズを変更する 204
オブジェクトを移動する 205
オブジェクトを回転する 205
オブジェクトを自動配置する 205
オブジェクトを整列する 206
オブジェクトの重なり順を変更する 207
コピーまたは切り取ったオブジェクトを貼り付ける 208

折り返し両面ウィンドウ 209
仕上りサイズ設定ダイアログボックス 210
とじしろ設定ダイアログボックス 211
折り返し両面で印刷する 211

フリーレイアウトの特長

フリーレイアウトの主な特長は以下のとおりです。

- アプリケーションソフトで作成した原稿を自由に配置して印刷することができます。
- 複数のページを 1 ページに配置するだけでなく、複数のファイルの原稿を 1 ページに配置して印刷したり、複数のアプリケーションソフトで作成した原稿を 1 ページに配置して印刷することができます。
- 任意の 2 ページを、折り返すことで両面となるレイアウトに配置し、印刷します。
天井から吊下げた広告用ポスターなどに利用できます。

メモ

- この機能は 64 ビット版の Windows では使用できません。
- 用紙の種類、画像のサイズ、用紙の詳細設定、プリンタ本体の設定によっては、実際の出力が、フリーレイアウト上の設定と異なる場合があります。

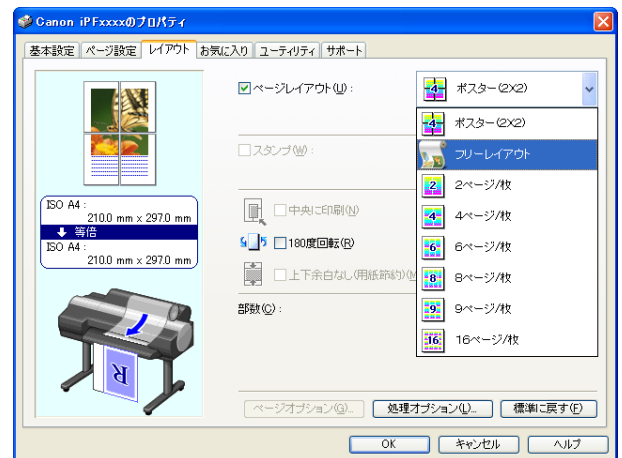
フリーレイアウトの起動方法

フリーレイアウトを起動する手順は、以下のとおりです。

1 ご使用になるアプリケーションソフトを起動します。

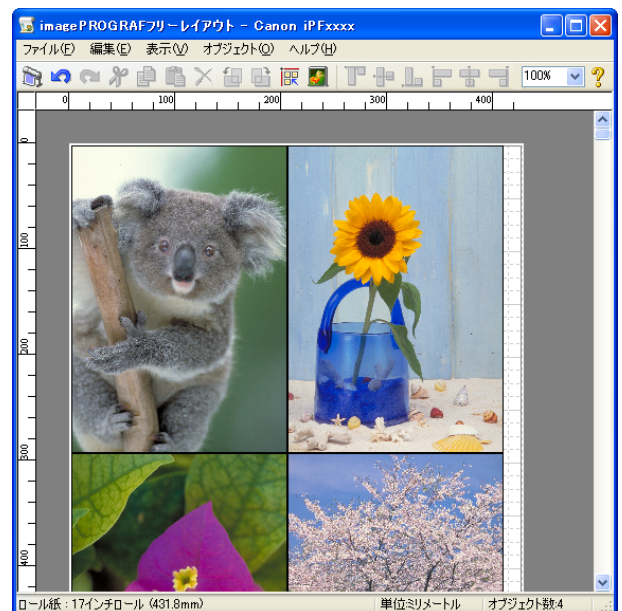
2 アプリケーションソフトの[ファイル]メニューからプリンタの設定を行うメニューを選択し、[印刷]ダイアログボックスを開きます。

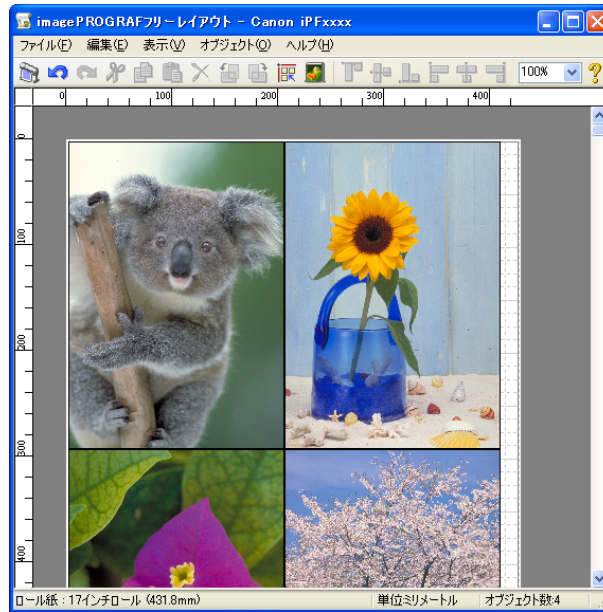
メモ
- 通常、[ファイル]メニューから[印刷]を選択します。

3 一覧からプリンタを選択し、[レイアウト]シートを選択します。

メモ
- この画面の左下にはお使いのプリンタの絵が表示されます。

4 [レイアウト]シートで[ページレイアウト]チェックボックスをオンにし、一覧からフリーレイアウトを選択します。
[OK]ボタンをクリックし、設定内容を保存します。

メモ
- フリーレイアウトを選択すると、その他の設定項目は無効になります。

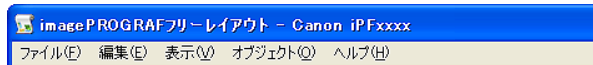
5 アプリケーションの[印刷]ダイアログボックスで[印刷]ボタンをクリックします。
フリーレイアウト メインウィンドウが表示されます。

フリーレイアウト メインウィンドウ

フリーレイアウトのメインウィンドウは、メニューバー、ツールバー、レイアウトエリア、ステータスバーで構成されています。

メモ

- ツールバー、ステータスバーは、[表示]メニューで表示/非表示を切り換えられます。

- メニューバー

  操作に必要なメニューを選択できます。

  imagePROGRAFフリーレイアウト - Canon iPFxxxx
  ファイル(F) 編集(E) 表示(V) オブジェクト(O) ヘルプ(H)

- ツールバー

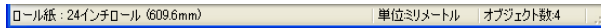
  主な操作のツールボタンを選択できます。

- レイアウトエリア

  オブジェクトの配置、サイズ、向きを編集できます。

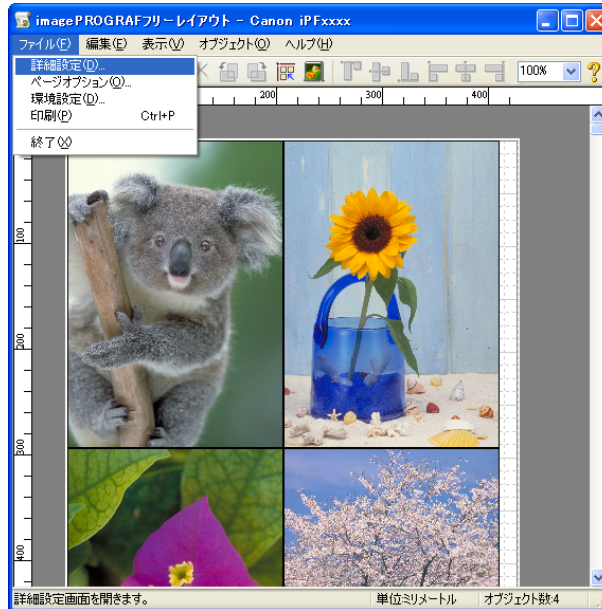
- ステータスバー

用紙サイズ、長さの単位、オブジェクトの数が表示されます。

ロール紙：24インチロール（609.6mm） 単位ミリメートル オブジェクト数4

詳細設定ダイアログ

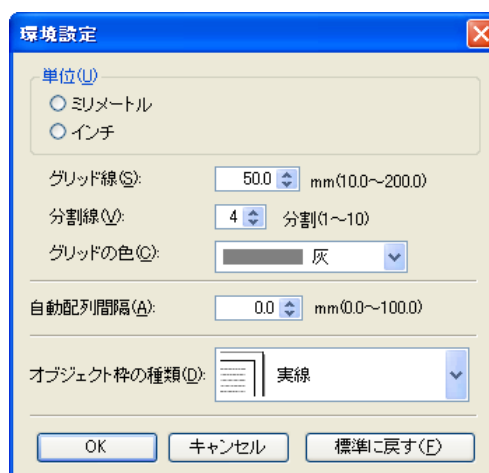
［ファイル］メニューから［詳細設定］ダイアログを選択すると、プリンタドライバが開きます。プリンタドライバで、プリンタにセットしている用紙の種類に合わせて基本的な設定をします。

プリンタドライバについての詳細はプリンタドライバ →P.154 を参照してください。

メモ

- ［詳細設定］ダイアログを選択すると、［基本設定］シート、［ページ設定］シート、［レイアウト］シートの3つのシートのみ表示します。一部プリンタドライバの設定項目が無効になるものがあります。

環境設定ダイアログボックス

［ファイル］メニューから［環境設定］を選択すると、表示されます。フリーレイアウトの環境設定を行うことができます。

- ［単位］

用紙の長さや余白などの単位を選択します。

- ［グリッド線］

オブジェクトの配置の目安となるように、グリッド線の幅を半角数字で入力します。

- 入力できる数値は｢10.0～200.0(mm)｣｢0.39～7.88(inch)｣です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

- [分割線]

オブジェクトの配置の目安となるように、グリッド線の分割数を変更します。

- 入力できる数値は 1～10 です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

- [グリッドの色]

グリッド線の色を選択します。

- [自動配列間隔]

オブジェクトを自動配列する際の、オブジェクト間の間隔を設定します。

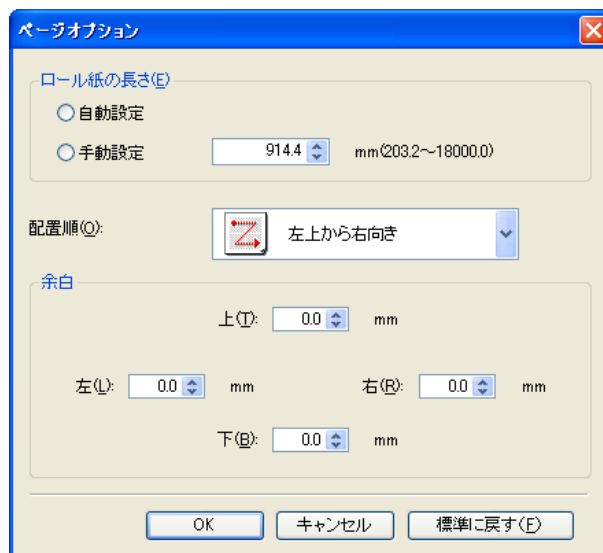
- 入力できる数値は｢0.0～100.0(mm)｣｢0.00～3.94(inch)｣です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

- [オブジェクト枠の種類]

印刷するオブジェクトの枠線を選択することができます。
オブジェクト枠の種類には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[枠なし]	枠なしで印刷します。
[実線]	実線を枠として印刷します。
[点線]	点線を枠として印刷します。
[破線]	破線を枠として印刷します。
[カットマーク]	カットマークを付けて印刷します。

ページオプションダイアログボックス

[ファイル]メニューから[ページオプション]を選択すると、表示されます。フリーレイアウトのロール紙の長さ、オブジェクトの配置順、余白の設定を行うことができます。

- [ロール紙の長さ]

ロール紙に印刷する 1 ページの長さを設定します。
ロール紙の長さには、以下の設定があります。

設定項目	内容
[自動設定]	配置したオブジェクトが1ページで印刷されるように、ロール紙に印刷する1ページの長さが自動で設定されます。
[手動設定]	ロール紙に印刷する1ページの長さを半角数字で入力します。

メモ
- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。
- 入力できる数値は「203.2〜18000.0(mm)」「8.00〜708.66(inch)」です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

- [配置順]

オブジェクトの配置順を設定します。
配置順には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[左上から右向き]	左上から右方向に、オブジェクトが配置されます。
[左上から下向き]	左上から下方向に、オブジェクトが配置されます。
[右上から左向き]	右上から左方向に、オブジェクトが配置されます。
[左下から上向き]	左下から上方向に、オブジェクトが配置されます。

メモ
- [ロール紙の長さ]で[自動設定]を選択し、[用紙の向き]で[縦]を選択している場合は、[左上から右向き]と[右上から左向き]が選択できます。
- [ロール紙の長さ]で[自動設定]を選択し、[用紙の向き]で[横]を選択している場合は、[左上から下向き]と[左下から上向き]が選択できます。

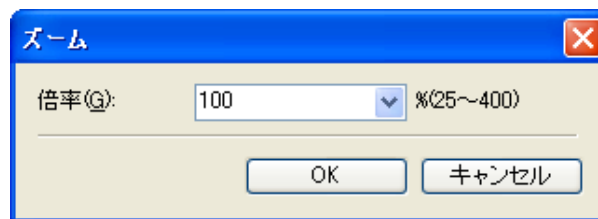
- [余白]

用紙の余白を半角数字で入力します。

メモ
- 入力できる数値は「0.0〜50.0(mm)」「0.00〜1.97(inch)」です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

ズームダイアログボックス

[表示]メニューから[ズーム]を選択すると、表示されます。画面表示を拡大/縮小できます。

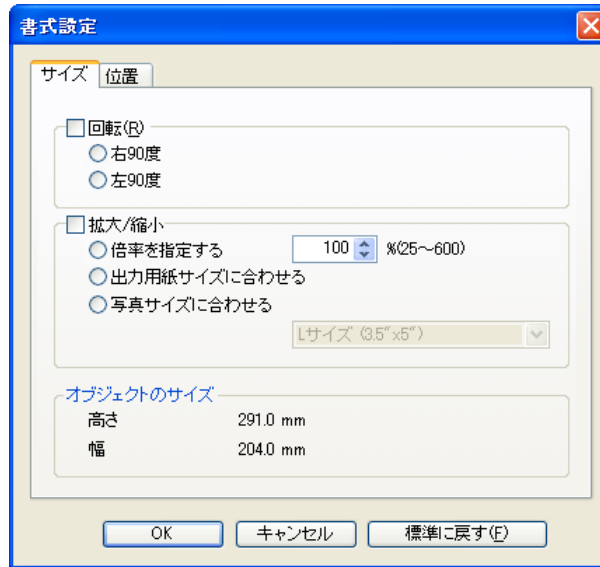
- [倍率]

画面表示の拡大/縮小倍率を設定します。

メモ
- 入力できる数値は25〜400です。
- [▼]を押して、倍率を選択することもできます。

書式設定ダイアログボックス

オブジェクトを選択後、[オブジェクト]メニューから[書式設定]を選択すると、表示されます。

[サイズ]シート

オブジェクトを回転したり、拡大/縮小できます。

メモ

- オブジェクトが選択されていない場合は、[書式設定]を選択することができません。

- [回転]

チェックマークを付けると、[右 90 度]または[左 90 度]を選択することができます。

設定項目	内容
[右 90 度]	時計回りに 90 度回転します。
[左 90 度]	反時計回りに 90 度回転します。

メモ

- 複数のオブジェクトが選択されている場合は、[回転]を選択することができません。

- [拡大/縮小]

チェックマークを付けると、[倍率を指定する]、[出力用紙サイズに合わせる]または[写真サイズに合わせる]を選択することができます。

設定項目	内容
[倍率を指定する]	オブジェクトの拡大/縮小率の数値を入力します。
[出力用紙サイズに合わせる]	出力する用紙サイズに合わせて、各オブジェクトを拡大/縮小して印刷します。ロール紙を使用している場合は、各オブジェクトの幅がロール紙の幅に合うように拡大/縮小します。
[写真サイズに合わせる]	すべてのオブジェクトを、指定した写真サイズで印刷します。

メモ

- オブジェクトの拡大/縮小率を半角数字で入力します。入力できる数値は 25〜600 です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

[位置]シート

オブジェクトの位置を調整できます。

メモ

- オブジェクトが選択されていない場合は、[書式設定]を選択することができません。

- [オブジェクトの位置]

数値を指定することにより、オブジェクトの位置を移動することが出来ます。

設定項目	内容
[縦位置]	縦位置の数値を入力します。
[横位置]	横位置の数値を入力します。
[ページ位置]	ページ位置の数値を入力します。

- [オブジェクトのサイズ]

オブジェクトのサイズを確認できます。

メモ

- 複数のオブジェクトが選択されている場合は、[オブジェクトのサイズ]は表示されません。

複数のファイルの原稿を 1 ページに配置する

複数のファイルの原稿を 1 ページに配置して印刷することができます。

1 アプリケーションソフトの[ファイル]メニューからプリンタの設定を行うメニューを選択し、[印刷]ダイアログボックスを開きます。

メモ

- 通常、[ファイル]メニューから[印刷]を選択します。

2 [プロパティ]をクリックし、[プロパティ]ダイアログボックスを開きます。

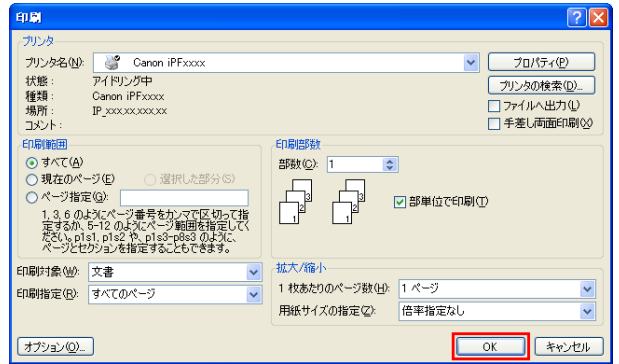
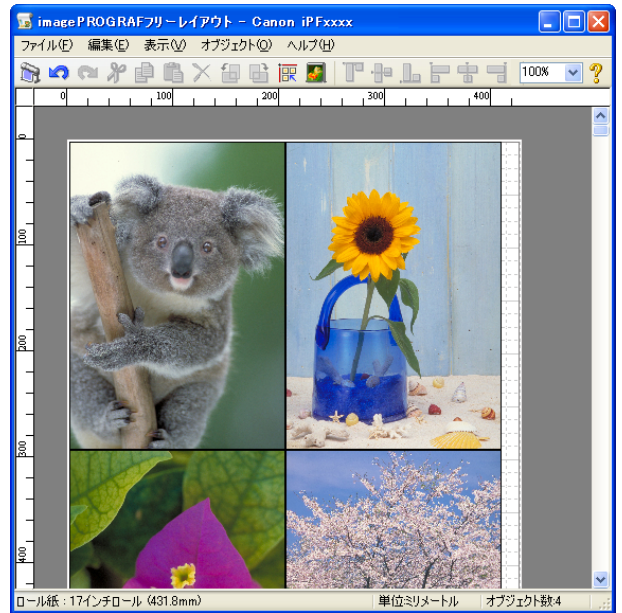
3 [ページ設定]シートで[給紙方法]を選択します。

メモ
- この画面の左下にはお使いのプリンタの絵が表示されます。

4 [レイアウト]シートで[ページレイアウト]チェックボックスをオンにし、一覧からフリーレイアウトを選択します。

メモ
- この画面の左下にはお使いのプリンタの絵が表示されます。
- フリーレイアウトを選択すると、その他の設定項目は無効になります。

5 [OK]をクリックし、設定内容を保存します。

6 [印刷]ダイアログボックスで印刷するページや印刷部数を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

フリーレイアウトが起動し、アプリケーションソフトで作成した原稿がオブジェクトとしてレイアウトエリアに配置されます。

7 フリーレイアウトを起動したまま、アプリケーションソフトで他のファイルを開き、上記の手順を繰り返します。

複数のアプリケーションソフトで作成した原稿を 1 ページに配置する

複数のアプリケーションソフトで作成した原稿を 1 ページに配置して印刷することができます。

1 アプリケーションソフトの[ファイル]メニューからプリンタの設定を行うメニューを選択し、[印刷]ダイアログボックスを開きます。

メモ

- 通常、[ファイル]メニューから[印刷]を選択します。

2 [プロパティ]をクリックし、[プロパティ]ダイアログボックスを開きます。

3 [ページ設定]シートで[給紙方法]を選択します。

メモ

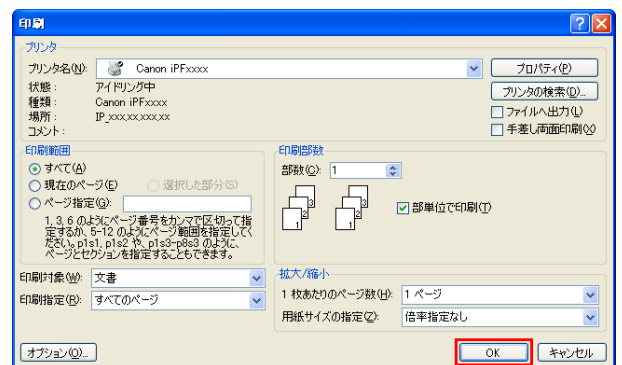
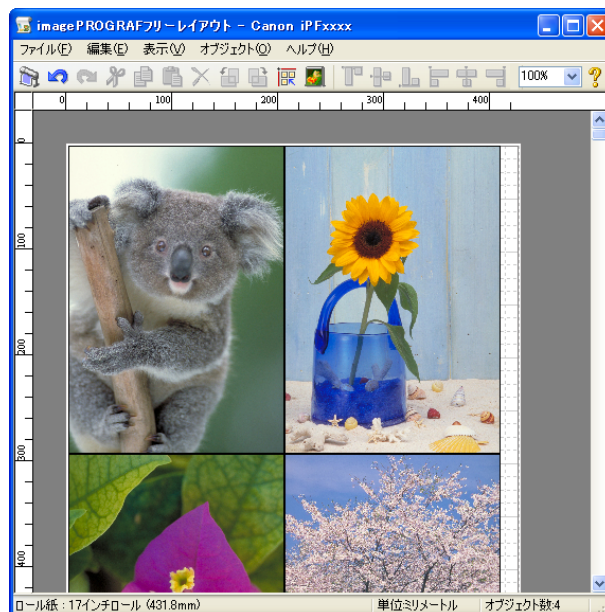
- この画面の左下にはお使いのプリンタの絵が表示されます。

4 [レイアウト]シートで[ページレイアウト]チェックボックスをオンにし、一覧からフリーレイアウトを選択します。

メモ

- この画面の左下にはお使いのプリンタの絵が表示されます。
- フリーレイアウトを選択すると、その他の設定項目は無効になります。

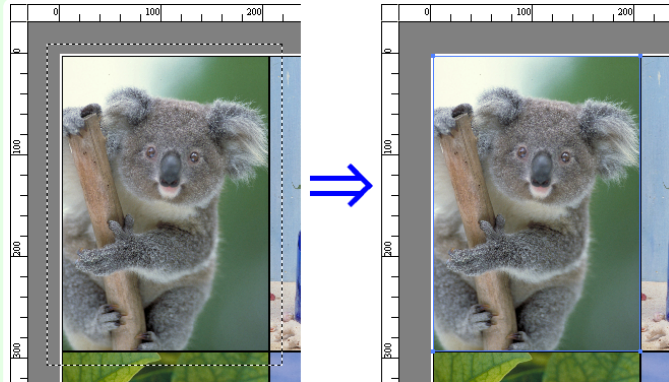
5 [OK]をクリックし、設定内容を保存します。

6 [印刷]ダイアログボックスで印刷するページや印刷部数を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

フリーレイアウトが起動し、アプリケーションソフトで作成した原稿がオブジェクトとしてレイアウトエリアに配置されます。

7 フリーレイアウトを起動したまま、他のアプリケーションソフトでファイルを開き、上記の手順を繰り返します。

オブジェクトを選択する

オブジェクトが選択されると、オブジェクトの周囲に選択ボックス(青い枠線)が表示されます。

メモ

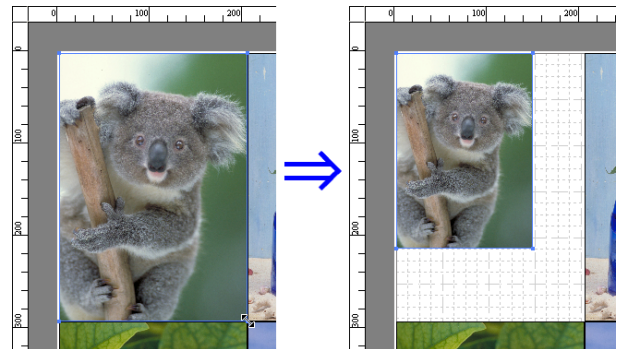
- 1 つのオブジェクトを選択する場合は、オブジェクトをクリックします。
- 連続したオブジェクトを複数選択する場合は、Shift キーを押しながら、オブジェクトをクリックします。
- 任意のオブジェクトを複数選択する場合は、Ctrl キーを押しながら、オブジェクトをクリックします。
- すべてのオブジェクトを選択する場合は、[編集]メニューから[全て選択]を選択します。
- マウスをドラッグしたまま範囲を指定すると、範囲内にあるオブジェクトが選択されます。

オブジェクトのサイズを変更する

オブジェクトのサイズを変更する手順には、マウス操作による方法と、拡大/縮小倍率を指定する方法があります。

メモ

- オブジェクトの縦横の比率は変わらずに、拡大/縮小されます。

マウス操作によってサイズを変更する場合

1. オブジェクトを選択します。
2. オブジェクトの周囲の選択ボックスの角にポインタを置いて矢印ハンドルを表示し、ドラッグしてオブジェクトのサイズを変更します。

拡大/縮小倍率を指定する場合

1. オブジェクトを選択します。
   書式設定ダイアログボックス →P.198 の[拡大/縮小]チェックボックスをオンにし、[倍率を指定する]を選択します。
2. オブジェクトの拡大/縮小率を半角数字で入力します。

メモ

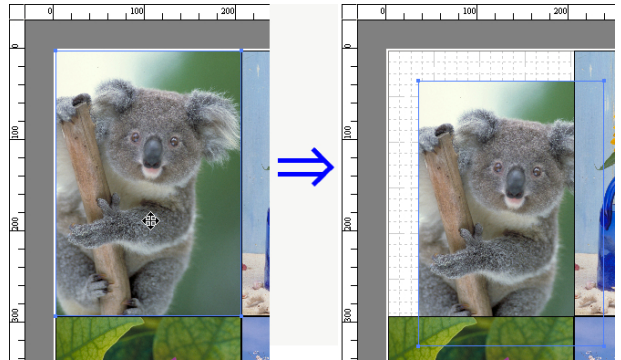
- 入力できる数値は 25～600 です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

3. [OK]をクリックします。

オブジェクトを移動する

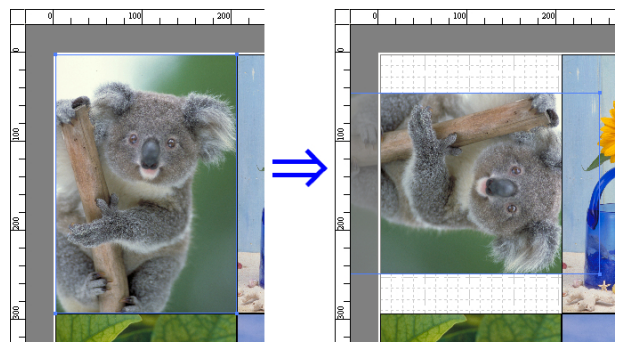
選択したオブジェクトの位置を移動することができます。

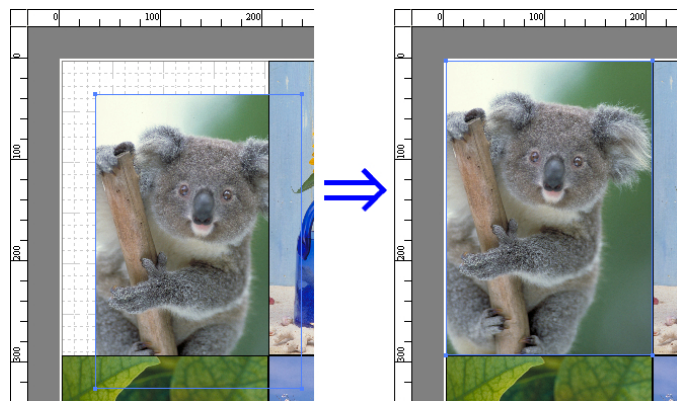
1 オブジェクトを選択します。

2 オブジェクトの選択ボックス内にポインタを置いて十字ハンドルを表示し、ドラッグしてオブジェクトを移動します。
または、書式設定ダイアログボックス →P.198 の[縦位置]、[横位置]、[ページ位置]に数値を指定することにより、[オブジェクトの位置]を移動することが出来ます。

オブジェクトを回転する

選択したオブジェクトを回転することができます。

1 オブジェクトを選択します。

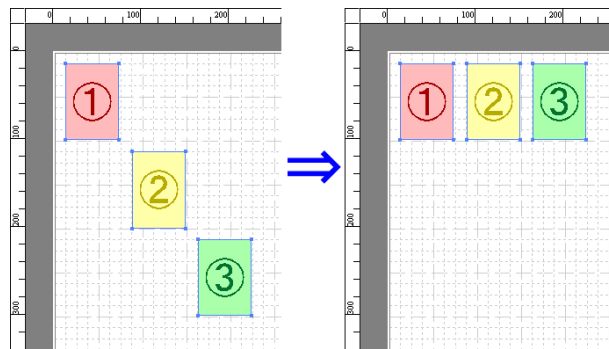
2 ツールバーから[左 90 度回転]または[右 90 度回転]を選択します。
または、書式設定ダイアログボックス →P.198 の[回転]チェックボックスをオンにし、[右 90 度]または[左 90 度]を選択し、[OK]をクリックします。

オブジェクトを自動配置する

ツールバーの[オブジェクトの自動配列]をクリックします。オブジェクトが自動的に配置されます。または、[オブジェクト]メニューから[オブジェクトの自動配列]を選択します。

メモ
- オブジェクトの配置順は、ページオプションダイアログボックス →P.196 の[配置順]の設定によって異なります。

オブジェクトを整列する

オブジェクトを規則的に整列させることができます。

1 複数のオブジェクトを選択します。

2 ツールバーから整列用のボタンをクリックします。
または[オブジェクト]メニューから整列用のメニューを選択します。

- [上揃え]

  オブジェクトを上端に揃えて配置します。

- [上下中央揃え]

  オブジェクトを垂直方向の中央に揃えて配置します。

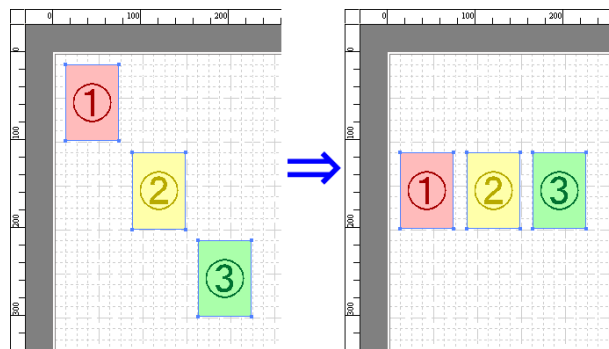
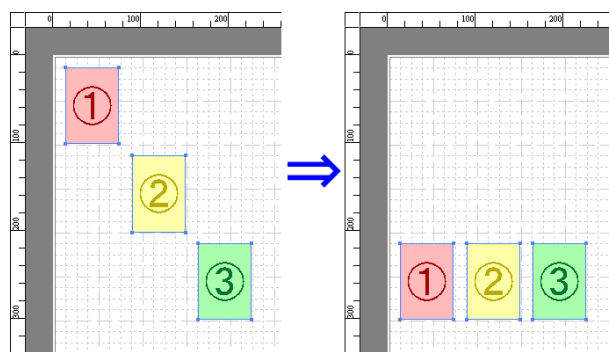
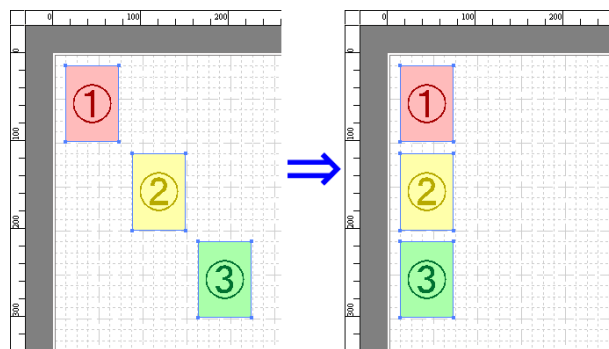
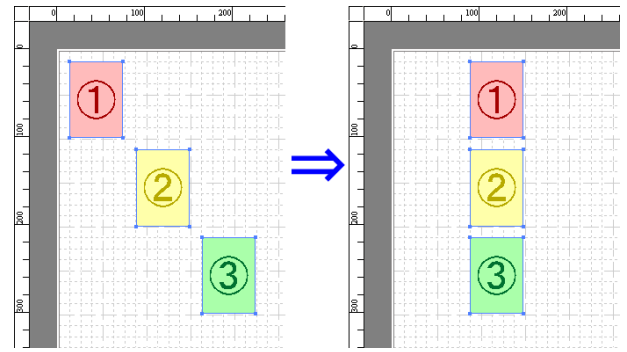
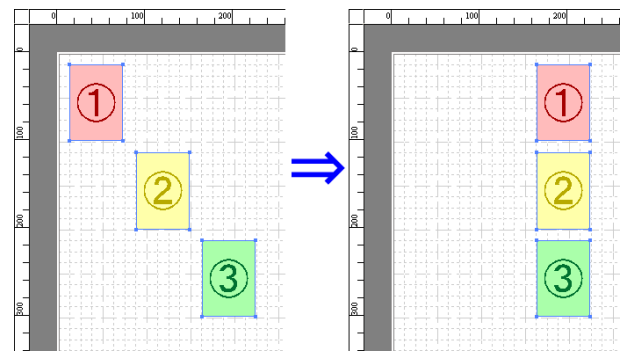
- [下揃え]

  オブジェクトを下端に揃えて配置します。

- [左揃え]

  オブジェクトを左端に揃えて配置します。

- [左右中央揃え]
  オブジェクトを水平方向の中央に揃えて配置します。

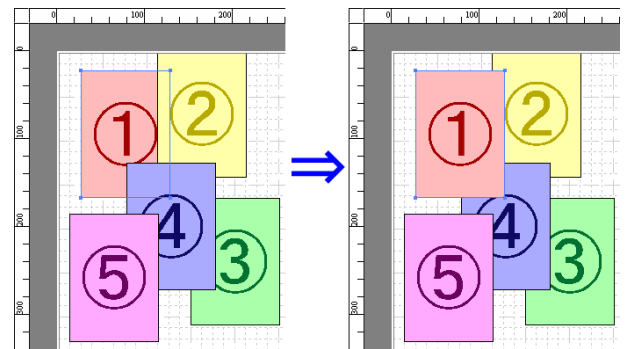
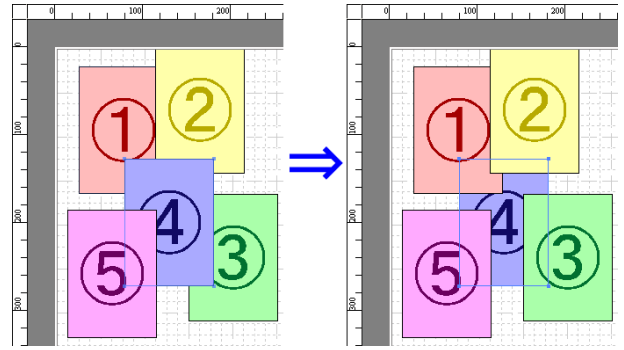
- [右揃え]
  オブジェクトを右端に揃えて配置します。

オブジェクトの重なり順を変更する

オブジェクトの重なり順を変更することができます。

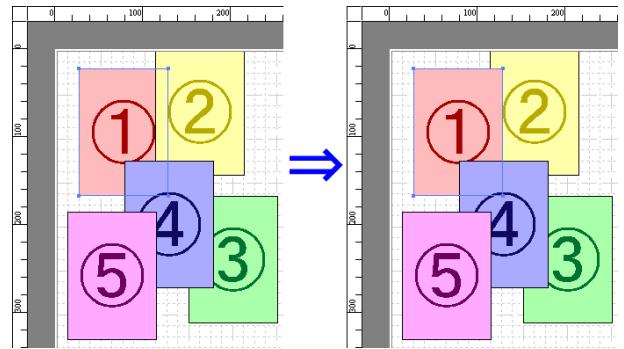
1 オブジェクトを選択します。

2 [オブジェクト]メニューから重なり順のメニューを選択します。

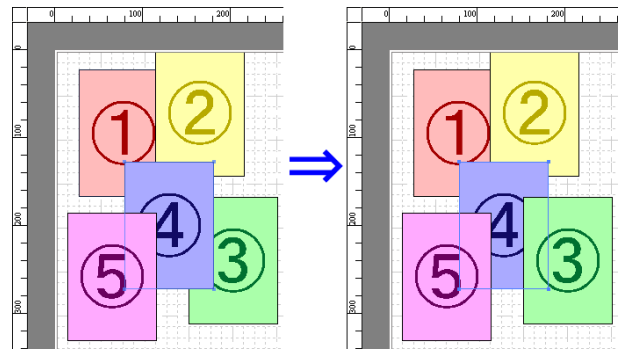
> メモ
> - オブジェクトの重なり順は、自動配置の順序に影響します。
> - オブジェクトの上でマウスを右クリックしても選択できます。

- [最前面へ移動]
  オブジェクトを最前面に移動します。

- [最背面へ移動]

  オブジェクトを最背面に移動します。

- [前面へ移動]

  オブジェクトを 1 つ前に移動します。

- [背面へ移動]

  オブジェクトを 1 つ後ろに移動します。

コピーまたは切り取ったオブジェクトを貼り付ける

1 ツールバーから[コピー]または[切り取り]をクリックします。
または[編集]メニューから[コピー]または[切り取り]を選択します。

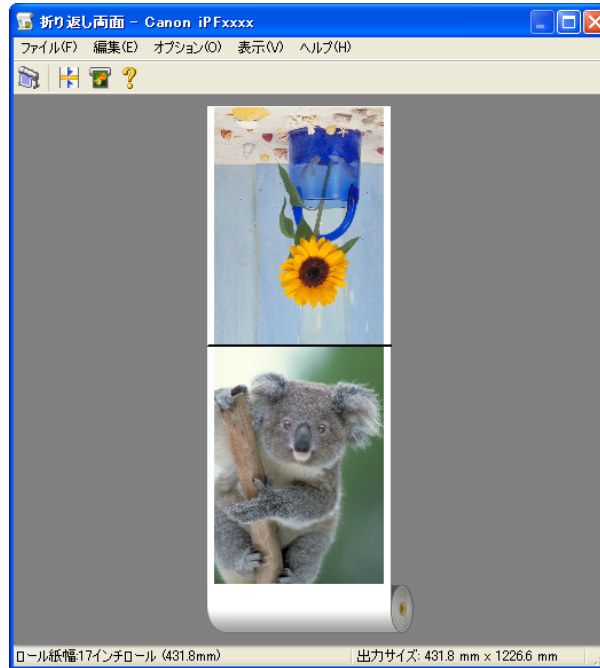
2 ツールバーから[貼り付け]をクリックします。
または[編集]メニューから[貼り付け]を選択します。

メモ

- コピーまたは切り取ったオブジェクトがページの一番最後に配置されます。
- オブジェクトの上でマウスを右クリックしても選択できます。
- 好みの位置に貼り付けたい場合は、マウスを好みの位置で右クリックして、[指定位置貼り付け]でオブジェクトを貼り付けます。

折り返し両面ウィンドウ

オブジェクトを選択後、[編集]メニューから[折り返し両面]を選択すると、表示されます。[折り返し両面]機能を使用して、折り目をつけて印刷することができます。
[折り返し両面]ウィンドウは、メニューバー、ツールバー、レイアウトエリア、ステータスバーで構成されています。

メモ

- ツールバー、ステータスバーは、[表示]メニューで表示/非表示を切り換えられます。

- メニューバー

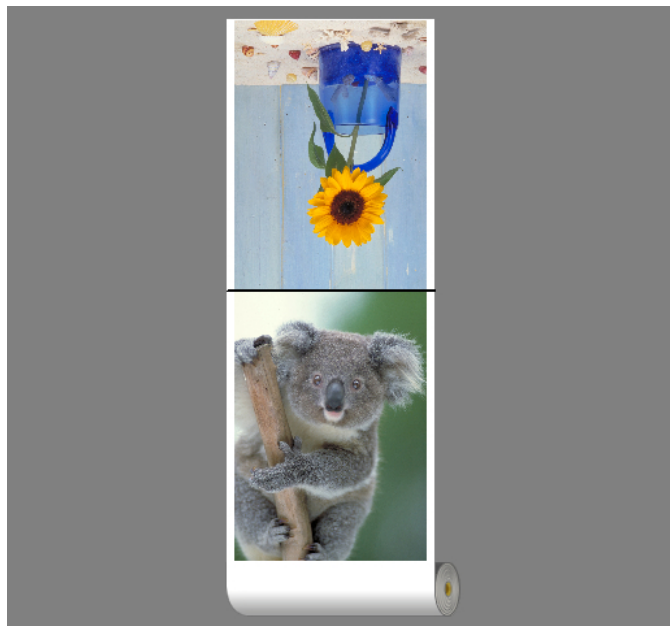
操作に必要なメニューを選択できます。

ファイル(F) 編集(E) オプション(O) 表示(V) ヘルプ(H)

- ツールバー

主な操作のツールボタンを選択できます。

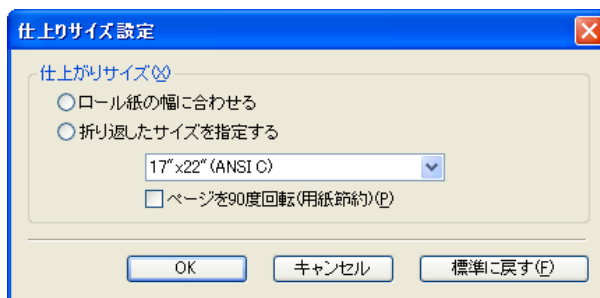
- レイアウトエリア

オブジェクトの配置、向きを確認できます。

- ステータスバー

給紙方法、ロール紙幅、出力サイズが表示されます。

ロール紙幅17インチロール (431.8mm)　出力サイズ: 431.8 mm x 1226.6 mm

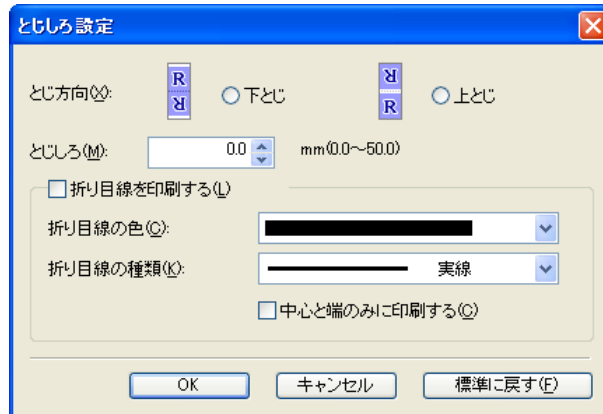
仕上りサイズ設定ダイアログボックス

[編集]メニューから[仕上りサイズ設定]を選択すると、表示されます。仕上りサイズの設定を行うことができます。

- [仕上りサイズ]

仕上りサイズの設定方法を選択します。
仕上りサイズには以下の設定があります。

設定項目	内容
[ロール紙の幅に合わせる]	原稿の幅がロール紙の幅に合うように、自動的に原稿全体を拡大／縮小して印刷します。
[折り返したサイズを指定する]	出力する用紙サイズに合わせて、自動的に原稿全体を拡大／縮小して印刷します。[出力用紙サイズ]から実際に出力したいサイズを選びます。
[ページを 90 度回転(用紙節約)]	ページを 90 度回転して印刷します。ページを回転させたとき、ロール紙幅に収まるときには自動的にページを回転し、ロール紙幅に収まらない場合は回転しません。

とじしろ設定ダイアログボックス

[編集]メニューから[とじしろ設定]を選択すると、表示されます。とじ方向の設定を行うことができます。

- [とじ方向]

用紙を折り返す際のとじ方向を設定します。
とじ方向には以下の設定があります。

設定項目	内容
[下とじ]	原稿の下部にとじしろの余白を設定して印刷します。
[上とじ]	原稿の上部にとじしろの余白を設定して印刷します。

- [とじしろ]

とじしろの余白を設定します。
指定したサイズで、とじしろの余白をとって印刷します。余白サイズを半角数字で入力してください。

メモ
- 入力できる数値は「0〜50(mm)」です。

- [折り目線を印刷する]

折り目線の色や種類を設定します。

メモ
- 折り目線を印刷しない場合は、[折り目線を印刷する]チェックボックスをオフにします。

- [折り目線の色]

折り目線を選択することができます。

- [折り目線の種類]

折り目線を選択することができます。
折り目線の種類には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[実線]	実線を枠として印刷します。
[点線]	点線を枠として印刷します。
[破線]	破線を枠として印刷します。

- [中心と端のみに印刷する]

折り目線を中心と両端に印刷する場合は、[中心と端のみに印刷する]チェックボックスをオンにします。

折り返し両面で印刷する

2 つのページを連続して印刷します。中央の折り目線で折り返すことで、両面印刷の代用とすることができます。

1 フリーレイアウトのレイアウトエリアから 2 つのオブジェクトを選択します。

2 フリーレイアウトの[編集]メニューから[折り返し両面]を選択します。
[折り返し両面]ウィンドウが開き、選択したオブジェクトがレイアウトエリアに配置されます。

3 [編集]メニューから[仕上りサイズ設定]ダイアログボックスを開きます。

4 [仕上りサイズ]から[ロール紙の幅に合わせる]もしくは[折り返したサイズを指定する]を選択します。

メモ
- [折り返したサイズを指定する]を選択した場合、[ページを 90 度回転(用紙節約)]を設定できます。

5 [OK]をクリックし、設定内容を保存します。

6 [編集]メニューから[とじしろ設定]ダイアログボックスを開きます。

7 [とじ方向]から[下とじ]もしくは[上とじ]を選択します。

8 [とじしろ]から[とじしろ]の幅を設定をします。

9 [折り目線を印刷する]から[折り目線の色]と[折り目線の種類]の設定をします。

メモ
- [中心と端のみに印刷する]のチェックボックスをオンにすると、折り目線を中心と両端の 3 点のみに印刷します。

10 [OK]をクリックし、設定内容を保存します。

11 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

Color imageRUNNER 連携拡大コピー

Color imageRUNNER 連携拡大コピーの特長 213
Color imageRUNNER 連携拡大コピーの起動方法 213
Color imageRUNNER 連携拡大コピーダイアログボックス 214
ホットフォルダ 215
ホットフォルダを新規作成する 215
既存の共有フォルダをホットフォルダに指定する 218
印刷について設定する 220
Color imageRUNNER でスキャンした原稿を拡大印刷する 221

Color imageRUNNER 連携拡大コピーの特長

Color imageRUNNER 連携拡大コピーの主な特長は以下のとおりです。

- Color imageRUNNER でスキャンした原稿を、自動的に拡大して印刷することができます。
- プリンタの選択、用紙の種類、出力プロファイルの選択やマッチング方法などの基本的なプリンタの設定に加えて、フチなし印刷、拡大縮小処理などもプリンタドライバを経由せずに設定できます。

メモ

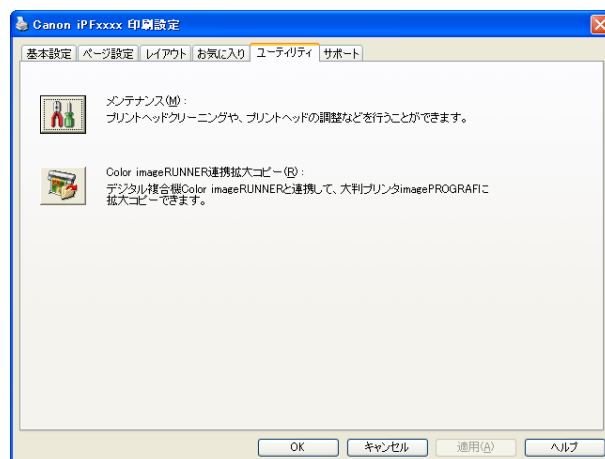
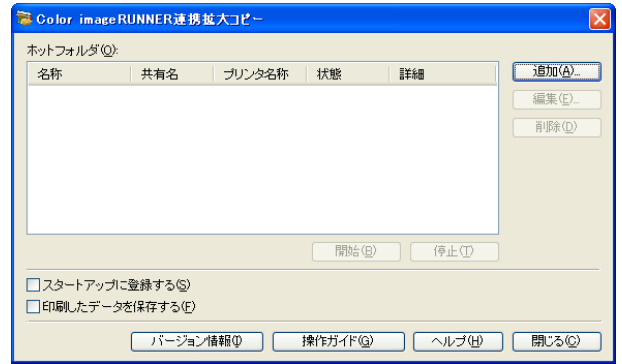
- この機能は 64 ビット版の Windows では使用できません。
- 用紙の種類、画像のサイズ、用紙の詳細設定、プリンタ本体の設定によっては、実際の出力が、連携拡大コピー機能上の設定と異なる場合があります。

Color imageRUNNER 連携拡大コピーの起動方法

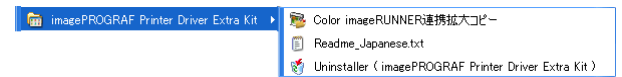
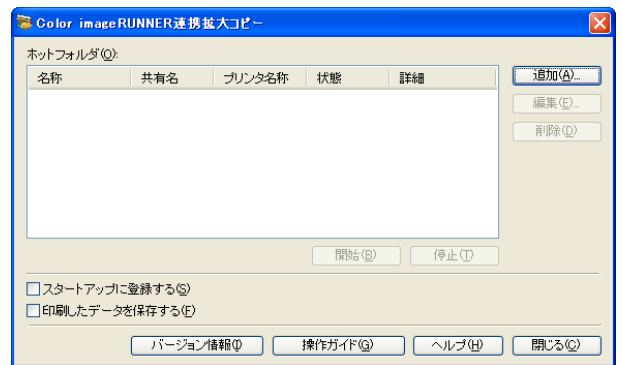
Color imageRUNNER 連携拡大コピーを起動する手順は、以下のとおりです。

[スタート]ボタンから[プリンタと FAX]を選択して起動する場合

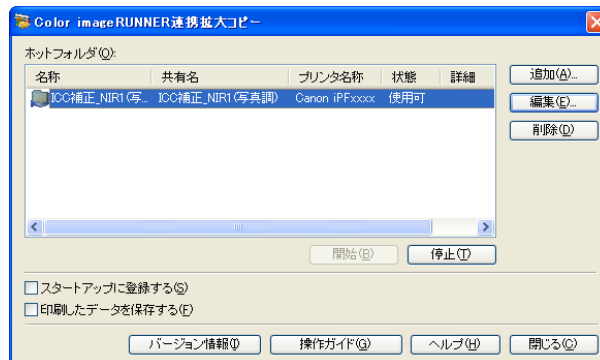
1. お使いの OS の、プリンタを設定するためのフォルダを開きます。
たとえば Windows XP の場合は、デスクトップの[スタート]ボタンをクリックし、[プリンタと FAX]を選択します。

2. プリンタのアイコンを右クリックし、[印刷設定]を選択し、[印刷設定]ダイアログボックスを開きます。
[ユーティリティ]シートで[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ボタンをクリックします。

3 [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスが表示されます。

- [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスで[スタートアップに登録する]チェックボックスをオンにすると、次回 Windows を起動したときから、タスクバーに Color imageRUNNER 連携拡大コピーユーティリティのアイコンが表示されます。

[スタート]ボタンから[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]を選択して起動する場合

1 Windows の[スタート]ボタンから[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]を選択します。

2 [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスが表示されます。

Color imageRUNNER 連携拡大コピーダイアログボックス

ここでは、[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスについて説明しています。

メモ

- [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスを開く手順については、「Color imageRUNNER 連携拡大コピーの起動方法」を参照してください。 →P.213

- **[ホットフォルダ]**

  ホットフォルダの一覧が表示されます。

- [追加]ボタン
  ボタンをクリックすると、[簡単設定ウィザード]ダイアログボックスが開き、ホットフォルダを追加できます。
- [編集]ボタン
  [ホットフォルダ]の一覧からホットフォルダを選択してボタンをクリックすると、[ホットフォルダの追加/編集]ダイアログボックスが開き、ホットフォルダを編集できます。
- [削除]ボタン
  [ホットフォルダ]の一覧からホットフォルダを選択してボタンをクリックすると、ホットフォルダを削除できます。
- [開始]ボタン
  ボタンをクリックすると、選択された[停止]状態のホットフォルダが[使用可]になります。
- [停止]ボタン
  ボタンをクリックすると、選択された[使用可]状態のホットフォルダが[停止]になります。
- [スタートアップに登録する]
  Windows のスタートアップメニューに登録します。
- [印刷したデータを保存する]
  印刷したデータを自動的に保存します。
- [バージョン情報]ボタン
  ボタンをクリックすると、ユーティリティの名称とバージョン情報が表示されます。
- [操作ガイド]ボタン
  ボタンをクリックすると、[Color imageRUNNER 連携拡大コピー設定マニュアル]が表示されます。

ホットフォルダ

ホットフォルダとは、Color imageRUNNER 連携拡大コピーで使用されるフォルダです。

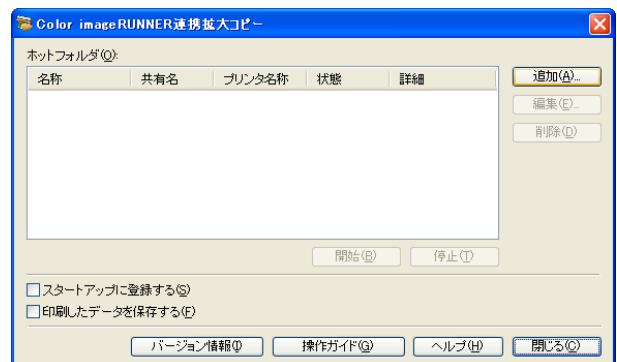
- Color imageRUNNER でスキャンした原稿のデータがコンピュータのホットフォルダに転送されると、ホットフォルダに設定されている印刷条件に従って、プリンタから自動的に拡大印刷されます。
- ホットフォルダは、自由に作成、編集、削除したり、印刷について設定することができます。

メモ

- ホットフォルダは 20 個まで作成できます。

ホットフォルダを新規作成する

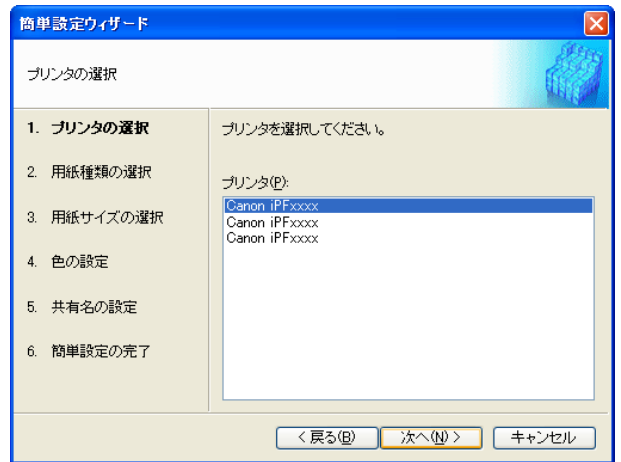
1 [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスを開き、[追加]ボタンをクリックします。

メモ

- [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスを開く手順については、「Color imageRUNNER 連携拡大コピーの起動方法」を参照してください。 →P.213

2

[簡単設定ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。
[次へ]ボタンをクリックします。

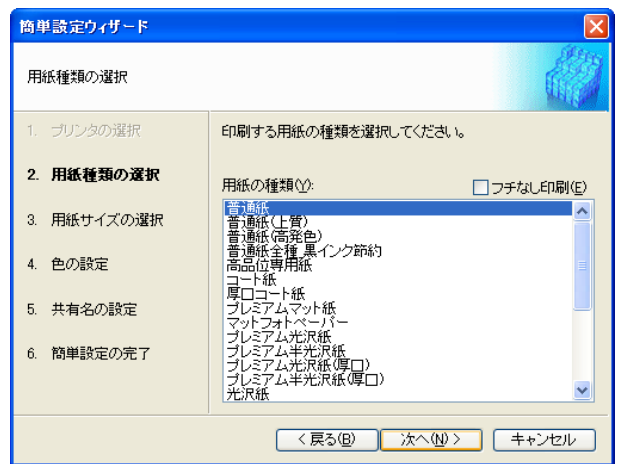
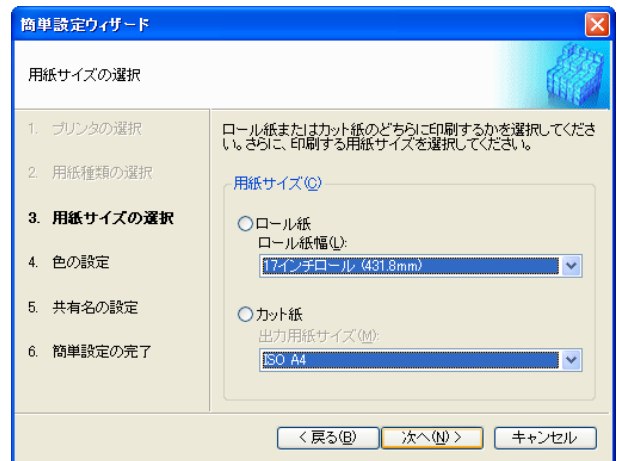
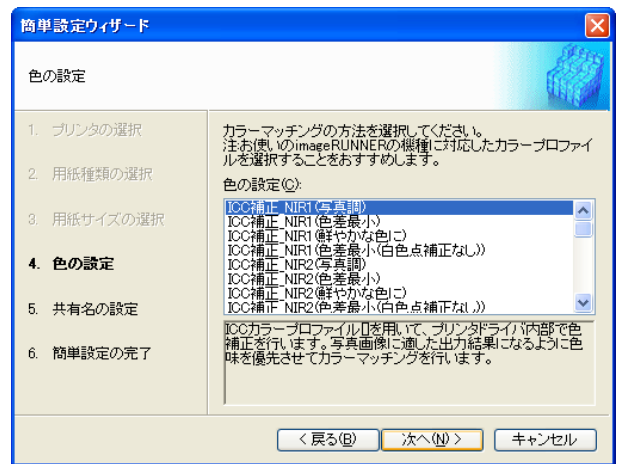
3

使用するプリンタの機種を選択します。
[次へ]ボタンをクリックします。

4

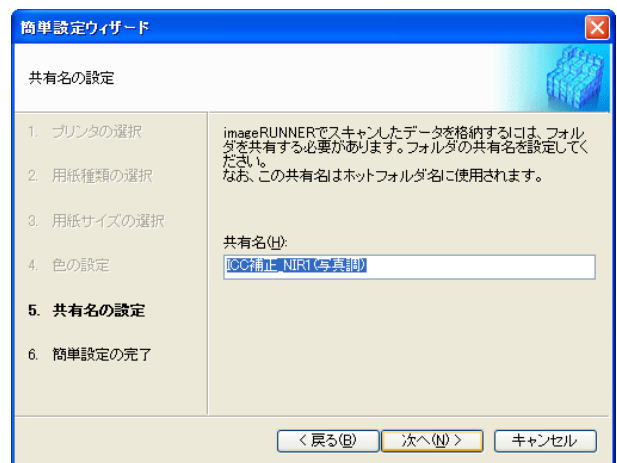
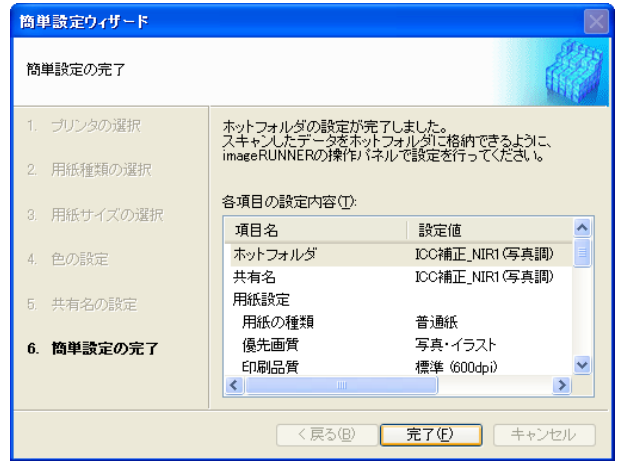
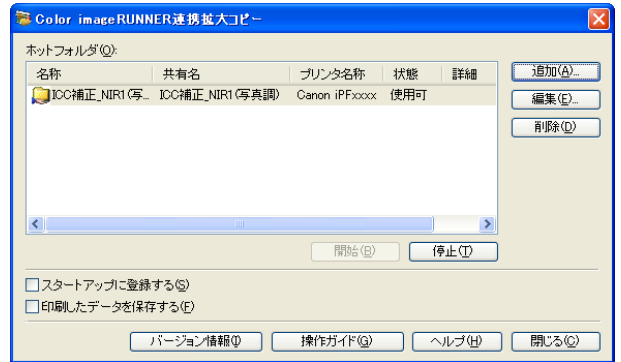
印刷する用紙の種類を選択します。

メモ

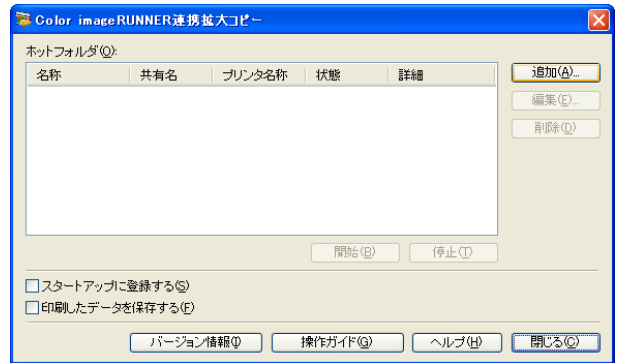
- [フチなし印刷]チェックボックスをオンにすると、フチなし印刷が可能な用紙の種類のみを 一覧表示します。

[次へ]ボタンをクリックします。

5 ロール紙またはカット紙のどちらに印刷するかを選択します。さらに、印刷する用紙サイズを選択します。
[次へ]ボタンをクリックします。

6 カラーマッチングの方法を選択します。
[次へ]ボタンをクリックします。

7 Color imageRUNNER でスキャンした原稿を受信するためには、フォルダを共有する必要があります。[共有名]にフォルダの共有名を入力します。
[次へ]ボタンをクリックします。

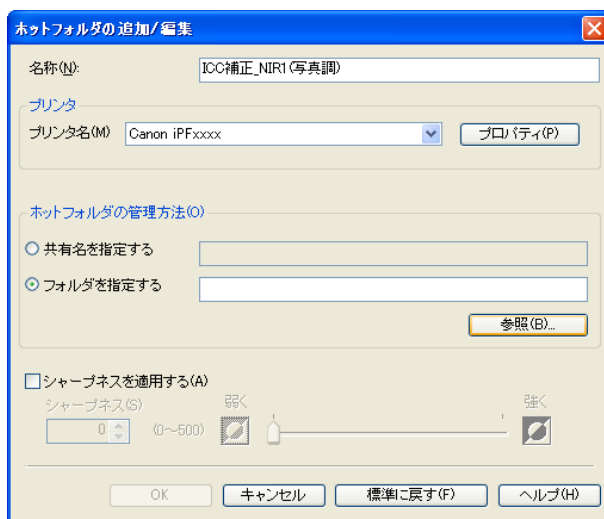
メモ

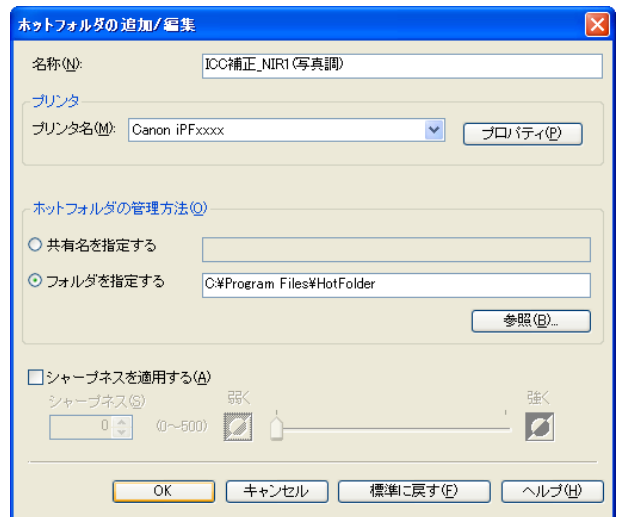
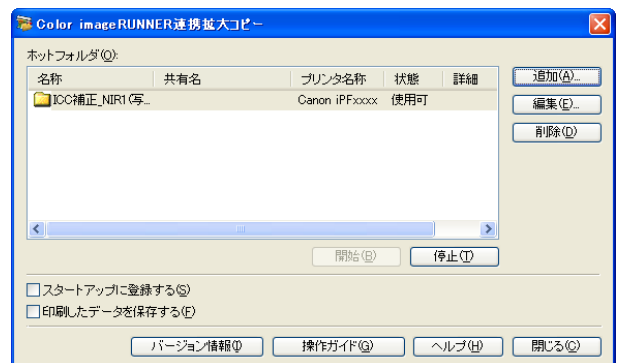
- この共有名はホットフォルダの名称に使用されます。
- ここで[次へ]ボタンをクリックした後は、[戻る]ボタンが使用できなくなります。

8 [完了]ボタンをクリックし、[簡単設定ウィザード]ダイアログボックスを閉じます。

[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスの[ホットフォルダ]の一覧に、作成したホットフォルダが表示されます。

既存の共有フォルダをホットフォルダに指定する

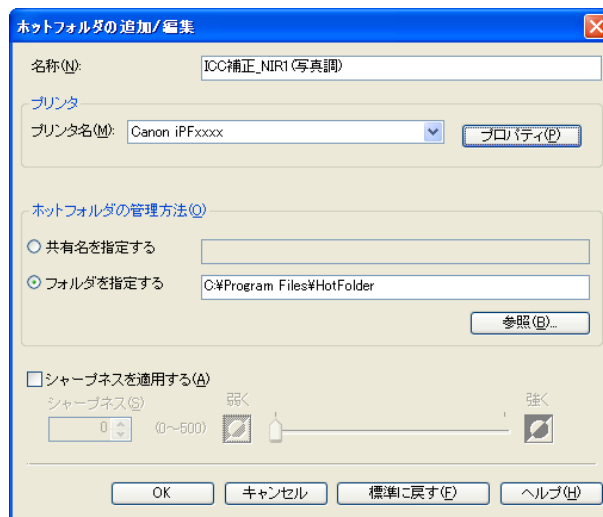
1 ホットフォルダに指定するフォルダを共有します。

2 [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスを開き、[追加]ボタンをクリックします。

- [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスを開く手順については、「Color imageRUNNER 連携拡大コピーの起動方法」を参照してください。 →P.213

3 [簡単設定ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。
[マニュアル設定]ボタンをクリックします。

4 [ホットフォルダの追加/編集]ダイアログボックスが表示されます。
[名称]にホットフォルダの名称を入力します。
[フォルダを指定する]を選択してから、[参照]をクリックし、既存の共有フォルダを設定します。

5 フォルダの場所が表示されます。
ホットフォルダに指定するフォルダを選択して、[OK]ボタンをクリックします。

6 必要に応じて、ホットフォルダに印刷について設定することができます。(「印刷について設定する」参照) →P.220
[OK]ボタンをクリックし、[ホットフォルダの追加/編集]ダイアログボックスを閉じます。

[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスの[ホットフォルダ]の一覧に、作成したホットフォルダが表示されます。

印刷について設定する

[ホットフォルダの追加/編集]ダイアログボックスから[プロパティ]ボタンをクリックすると、プリンタドライバが開きます。プリンタドライバで、プリンタにセットしている用紙の種類に合わせて基本的な設定をします。

プリンタドライバについての詳細はプリンタドライバ →P.154 を参照してください。

メモ

- [基本設定]シート、[ページ設定]シート、[レイアウト]シートの3つのシートのみ表示します。一部プリンタドライバの設定項目が無効になるものがあります。

- [シャープネスを適用する]

  チェックマークを付けると、シャープネスの設定を行うことができます。

スライドバーを左右にドラッグして調整します。直接数値を入力して調整することもできます。

メモ

- 入力できる数値は 0〜500 です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。
- PDF 形式のファイルには適用されません。

Color imageRUNNER でスキャンした原稿を拡大印刷する

Color imageRUNNER でスキャンした原稿をプリンタで自動的に拡大して印刷することができます。
Color imageRUNNER でスキャンした原稿をホットフォルダへ送信すると、ホットフォルダに設定されている印刷条件に従って、プリンタから自動的に拡大印刷されます。
この一連の機能を Color imageRUNNER 連携拡大コピー機能と呼びます。
Color imageRUNNER 連携拡大コピー機能を使用するために、あらかじめ以下の流れで設定を行います。

1. コンピュータにホットフォルダを作成します。
   Color imageRUNNER でスキャンした原稿のデータを送信するホットフォルダをコンピュータに作成し、拡大コピーするための設定を行います。詳細は、「ホットフォルダを新規作成する」を参照してください。 →P.215
2. Color imageRUNNER に読取設定を登録します。
   Color imageRUNNER でスキャンした原稿をホットフォルダに送信するための設定を行います。

上記の設定が完了したら、Color imageRUNNER でスキャンした原稿をホットフォルダに送信し、拡大印刷することができます。

Color imageRUNNER に読取設定を登録する

Color imageRUNNER でスキャンした原稿をホットフォルダに送信するための設定を行います。読取設定と送信先を Color imageRUNNER の[定型業務]ボタンとして登録すると、ホットフォルダへ簡単に送信できます。
Color imageRUNNER の[定型業務]ボタンに読取設定と送信先を登録する手順については、Color imageRUNNER 連携拡大コピーユーティリティの[Color imageRUNNER 連携拡大コピー設定マニュアル]ボタンをクリックして表示される設定マニュアル、または Color imageRUNNER のマニュアルを参照してください。

原稿をスキャンして拡大印刷する

Color imageRUNNER で原稿をスキャンして、拡大印刷するには、以下の手順を行います。手順の詳細については、Color imageRUNNER のマニュアルを参照してください。

1. Color imageRUNNER の原稿台ガラスまたはフィーダに原稿をセットします。
2. [送信/ファクス](または[送信])を押し、送信画面を表示します。
3. [定型業務]ボタンを押し、ホットフォルダ用に登録した[定型業務]ボタンを押します。
4. 操作パネルの[スタート]ボタンを押します。原稿台ガラスで原稿をスキャンした場合は、すべての原稿をスキャンした後にタッチパネルディスプレイの[読込終了]を押してください。
   スキャンした原稿がホットフォルダに送信され、ホットフォルダに設定されている印刷条件に従って、プリンタから自動的に拡大印刷されます。

Print Plug-In for Office

Print Plug-In for Office の特長 222
インストール手順 222
アンインストール手順 225
Print Plug-In for Office が表示されないときには 225

Microsoft Word からの起動方法 228
ロール紙幅に合わせて印刷する(Word) 230
フチなし印刷する(Word) 232
割り付け印刷する(Word) 234
設定を登録する(Word) 235
登録した設定で印刷する(Word) 236
垂れ幕を印刷する/横断幕を印刷する(Word) 237

Microsoft PowerPoint からの起動方法 239
ロール紙幅に合わせて印刷する(PowerPoint) 241
フチなし印刷する(PowerPoint) 242
割り付け印刷する(PowerPoint) 245
設定を登録する(PowerPoint) 246
登録した設定で印刷する(PowerPoint) 247
垂れ幕を印刷する/横断幕を印刷する(PowerPoint) 248

Microsoft Excel からの起動方法 250
シート全体を印刷する(Excel) 251
選択した範囲を印刷する(Excel) 254
とじしろを設定する(Excel) 256

処理オプションを設定する 257

Print Plug-In for Office の特長

[Print Plug-In for Office]は[Microsoft Office]から簡単に印刷を行うための Plug-In です。

- ツールバー/リボンに表示されるので簡単にアクセスできます。
- ウィザード形式で選択していくだけで設定できます。
- [Microsoft Word]や[Microsoft PowerPoint]からは[長尺印刷]のカスタムサイズの設定もウィザードで設定できます。
- [Microsoft Excel]では自動的にカスタムサイズの設定ができます。
- 印刷前にプレビュー画面を起動し、レイアウトを確認することができます。

メモ

- 64 ビット版 Windows OS では、WOW64(32 ビットエミュレータ)上でのみ動作します。

重要

- [imagePROGRAF Print Plug-In for Office]をインストール後、[Microsoft Office]に[Print Plug-In for Office]ツールバー/リボンが表示されないことがあります。詳しくは、Print Plug-In for Office が表示されないときには →P.225 を参照してください。
- [Internet Explorer]から Office ドキュメントを開いた場合、正常に動作しません。
- 埋め込みオブジェクトやリンクオブジェクトを編集している場合、正常に動作しません。
- [Microsoft Office 2007/2010]のクイックアクセスツールバーに[imagePROGRAF Print Plug-In]リボンを追加した場合、正常に動作しません。

インストール手順

[Print Plug-In for Office]をインストールする手順は、以下のとおりです。

メモ

- インストールする前に Administrator 権限で Windows にログオンする必要があります。

1 CD-ROM ドライブに､｢User Software CD-ROM｣を挿入し､インストーラを起動します｡

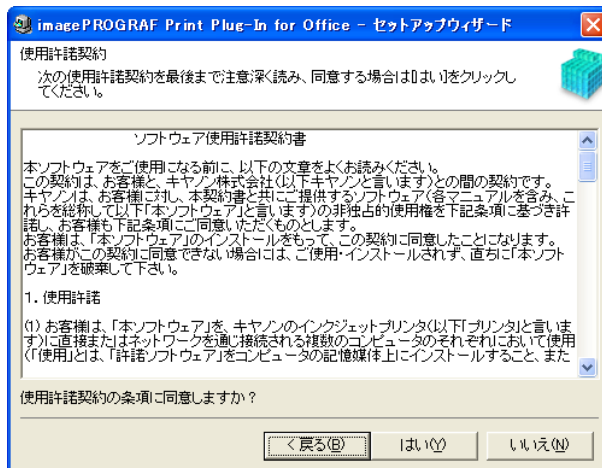
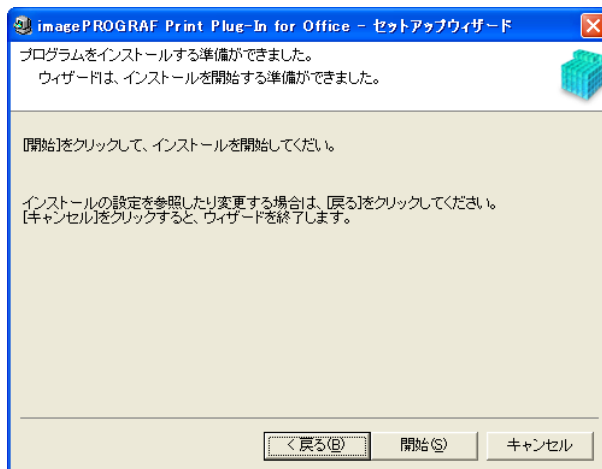
メモ

- インストーラの画面が表示されない場合は､[マイコンピュータ]から CD-ROM アイコンを開き､[setup.exe]をクリックし､アイコンを開きます｡

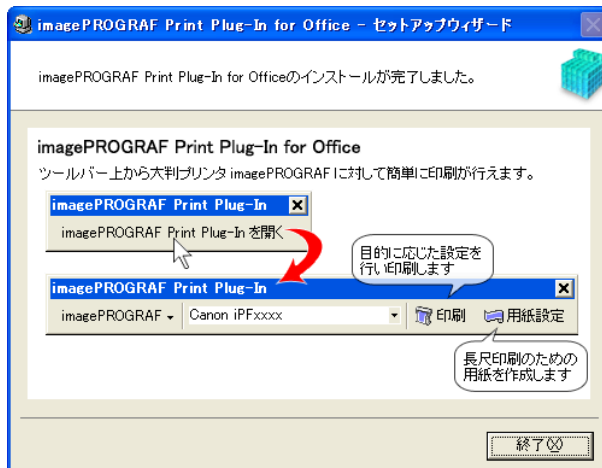
2 [ソフトウェア個別インストール]ボタンをクリックします｡

3 [imagePROGRAF Print Plug-In for Office]の[インストール]をクリックします｡

4 [次へ]ボタンをクリックします｡

5 [使用許諾契約]を読んで、[はい]ボタンをクリックします。

6 [開始]ボタンをクリックします。

7 [はい]ボタンをクリックします。

8 [終了]ボタンをクリックします。

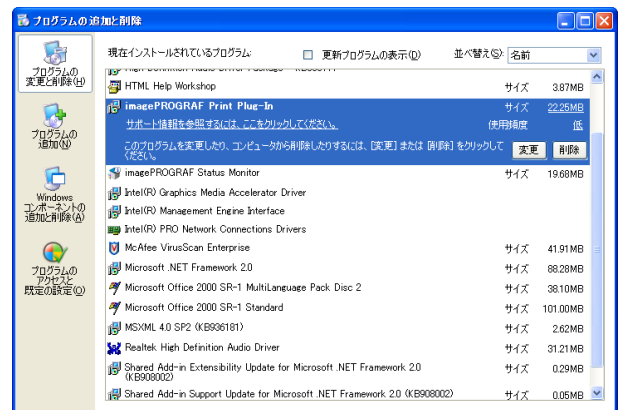
[Print Plug-In for Office]のインストールが終了します。

重要

- 本ソフトウェアをインストールすると、仮想プリンタ[Canon imagePROGRAF PrintPlugIn]がインストールされる場合があります。本ソフトウェアを使用する場合、仮想プリンタ[Canon imagePROGRAF PrintPlugIn]をアンインストールしないでください。
- [imagePROGRAF Print Plug-In for Office]をインストール後、[Microsoft Office]に[Print Plug-In for Office]ツールバー/リボンが表示されないことがあります。
[imagePROGRAF Print Plug-In for Office]ツールバー/リボンを表示する方法については、以下のトピックを参照してください。
    - Print Plug-In for Office が表示されないときには →P.225

アンインストール手順

[Print Plug-In for Office]をアンインストールする手順は、以下のとおりです。

1. [Microsoft Office]を開いている場合は閉じます。
2. [スタート]メニューから[コントロールパネル]を選択します。
3. [プログラムの追加と削除]を開きます。
4. [imagePROGRAF Print Plug-In]を選択し、[削除]ボタンをクリックします。

メモ

- Office アプリケーションが起動していると[Print Plug-In for Office]のアンインストールはできません。メッセージが表示されたら、[キャンセル]を選択して起動している全ての Office アプリケーションを閉じてください。

Print Plug-In for Office が表示されないときには

[Word]、[PowerPoint]、[Excel]の Microsoft Office アプリケーションで、[imagePROGRAF Print Plug-In を開く]ボタンなどが表示されず[Print Plug-In for Office]の機能が使用できないことがあります。
その場合は[Print Plug-In for Office]を再インストールしてください。
また、[Microsoft Office 2003]以降の場合はアドインを有効にし、[Print Plug-In for Office]を表示させることもできます。
再インストール、またはアドインを有効にする手順については以下を参照してください。

[Print Plug-In for Office]を再インストールする

[Microsoft Office]アプリケーションは、システムやアプリケーションなどの異常終了などが発生した場合、安全のためにアドインを無効にします。
その場合、[imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンを表示させるために、[Print Plug-In for Office]を再インストールする必要があります。

メモ

- Office アプリケーションが起動していると[Print Plug-In for Office]の再インストールはできません。メッセージが表示されたら、[キャンセル]を選択して起動している Office アプリケーションを閉じてください。

[Print Plug-In for Office]を再インストールするには、次の手順で操作します。

1. [Microsoft Office]を開いている場合は閉じます。

2 [Print Plug-In for Office]をインストールします。
インストールについては、「インストール手順」を参照してください。 →P.222

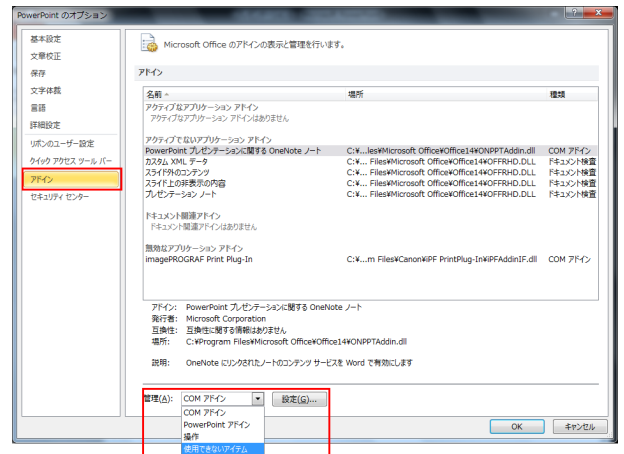
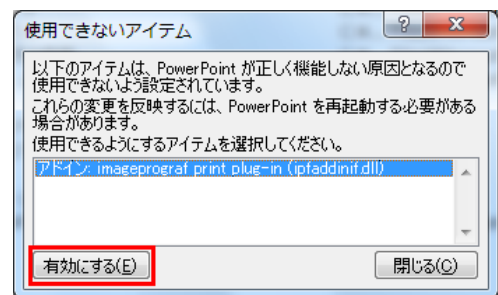
Office アプリケーションの使用できないアイテムで[Print Plug-In for Office]を有効にする

[Microsoft Office]アプリケーションは、システムやアプリケーションなどの異常終了などが発生した場合、安全のためにアドインを無効にします。
その場合、[imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンを表示させるために、無効になっているアドインを復元させる必要があります。
[Microsoft Office]で無効になっているアドインを復元するには、次の手順で操作します。

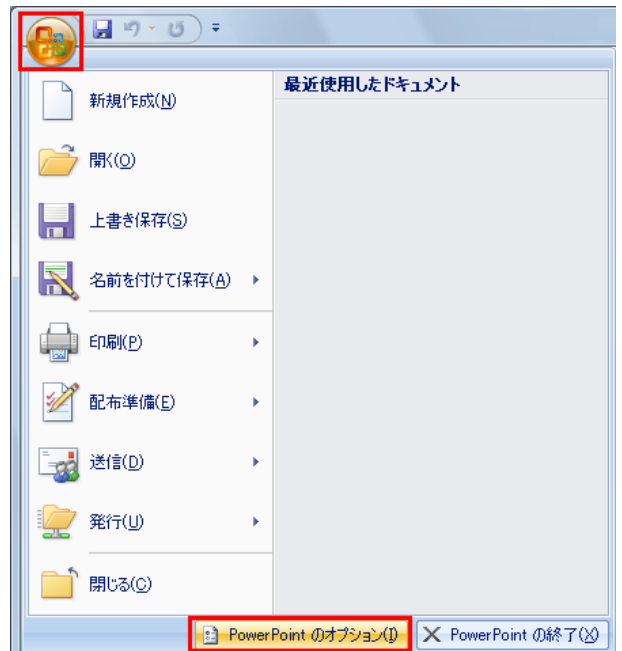
- [Microsoft Office 2010]の場合

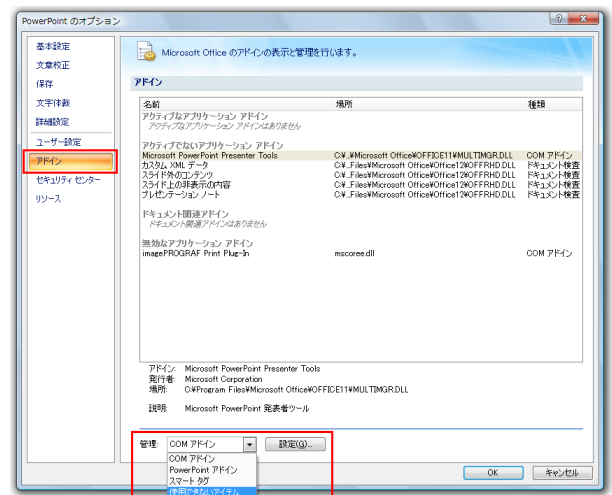
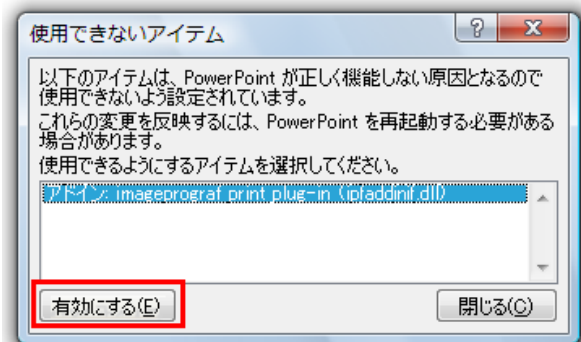
1 [ファイル]メニューから、[オプション]を選択します。

2 [<アプリケーション名>のオプション] ダイアログ左側のリストから [アドイン] を選択します。

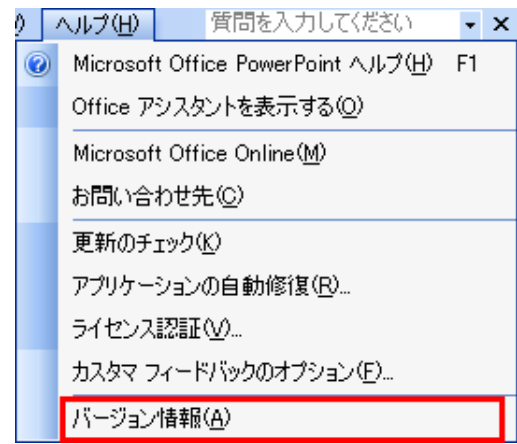
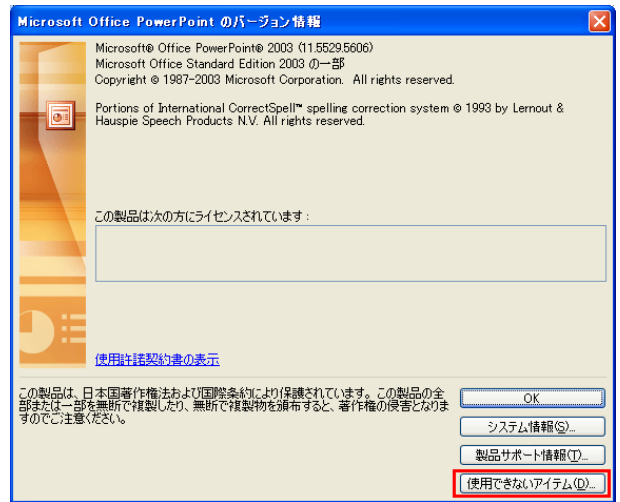
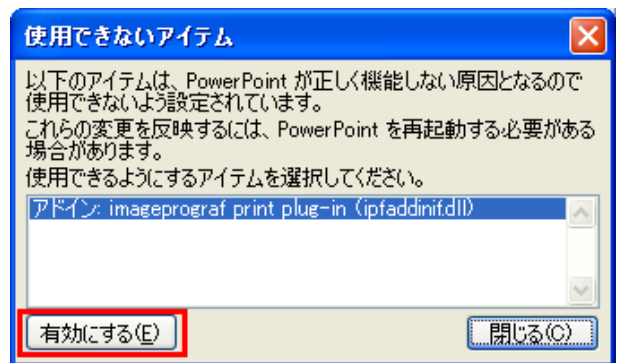
3 [管理] コンボボックスから [使用できないアイテム] を選択し [設定] ボタンをクリックします。

4 [使用できないアイテム] ダイアログで [アドイン imageprograf print plug-in (ipfaddinif.dll)] が表示されている場合、選択して [有効にする] ボタンをクリックします。

5 すべてのダイアログボックスを閉じ、Office アプリケーションを再起動します。

- ［Microsoft Office 2007］の場合

1 ［Office］ボタンをクリックして、［<アプリケーション名>のオプション］ボタンをクリックします。

2 ［<アプリケーション名>のオプション］ダイアログ左側のリストから［アドイン］を選択します。

3 ［管理］コンボボックスから［使用できないアイテム］を選択し［設定］ボタンをクリックします。

4 ［使用できないアイテム］ダイアログで［アドイン imageprograf print plug-in（ipfaddinif.dll）］が表示されている場合、選択して［有効にする］ボタンをクリックします。

5 すべてのダイアログボックスを閉じ、Office アプリケーションを再起動します。

- ［Microsoft Office 2003］の場合

1 アプリケーションの[ヘルプ]メニューから[バージョン情報]をクリックします。

2 [<アプリケーション>のバージョン情報] ダイアログで [使用できないアイテム] ボタンをクリックします。

3 [使用できないアイテム] ダイアログで [アドイン imageprograf print plug-in (ipfaddinif.dll)] が表示されている場合、選択して [有効にする] ボタンをクリックします。

4 すべてのダイアログボックスを閉じ、Office アプリケーションを再起動します。

Microsoft Word からの起動方法

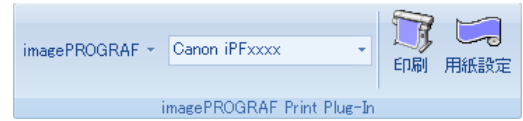
[Microsoft Word]から[Print Plug-In for Office]を起動する手順は、以下のとおりです。

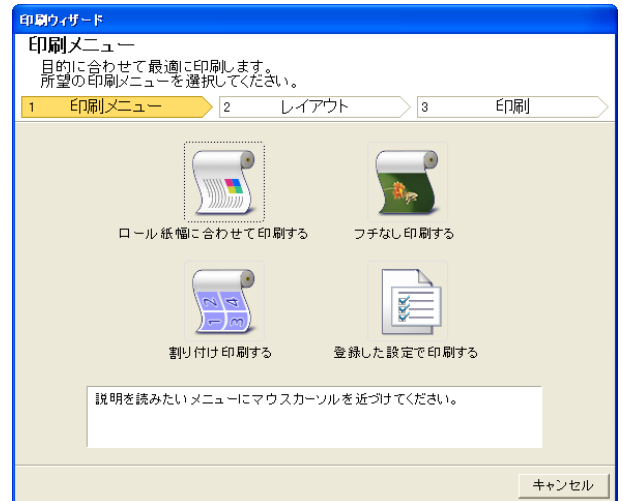
1 [Microsoft Word]を起動します。

2 ツールバー/リボンに[imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示された場合はクリックします。

重要

- [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンが表示されない場合は、以下を参照してください。
  - Print Plug-In for Office が表示されないときには →P.225

3 [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンが表示されていることを確認します。

4 設定したい項目に応じてツールバー/リボンからボタンをクリックします。

アイコン	内容
imagePROGRAF メニュー	[バージョン情報]や[ヘルプ]、[処理オプション]ダイアログボックスを表示します。 [処理オプション]ダイアログボックスでは設定を変更することができます。 詳しくは、処理オプションを設定する →P.257 を参照してください。
Canon iPFxxxx プリンタ一覧	プリンタを選択します。 [すべてのプリンタを表示]を選択すると大判プリンタ[imagePROGRAF]の再表示を行います。すべてのプリンタドライバを表示したい場合や表示を更新したい場合に選択してください。
印刷 [印刷]ボタン	印刷ウィザードが表示されます。 [ロール紙幅に合わせて印刷する]、[フチなし印刷する]、[割り付け印刷する]、[登録した設定で印刷する]の設定ができます。
用紙設定 [用紙設定]ボタン	長尺ウィザードが表示されます。 垂れ幕または横断幕の設定ができます。

[印刷ウィザード] ダイアログボックス

重要

- [印刷ウィザード]が開いているとき、別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[印刷ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります。

［長尺ウィザード］ダイアログボックス

重要

- [長尺ウィザード]が開いているとき､別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[長尺ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください｡表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります｡
- 既存のデータに対して用紙を作成するとレイアウトなどが崩れる場合があります｡そのときは再度データを修正してください｡

ロール紙幅に合わせて印刷する(Word)

ロール紙幅いっぱいに印刷します｡掲示物やポスターを大きく印刷したり､[長尺ウィザード]で作成した横断幕や垂れ幕を印刷することができます｡

1 [Microsoft Word]を起動します｡

2 [imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示されている場合はクリックします｡

3 [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンから[印刷]をクリックします｡
[印刷ウィザード]ダイアログボックスが表示されます｡

重要

- [印刷ウィザード]が開いているとき､別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[印刷ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください｡表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります｡

4 [ロール紙幅に合わせて印刷する]をクリックします。

5 プリンタにセットされている[ロール紙幅]を選択します。

6 画像のサイズを選択します。

7 レイアウトを選択します。

8 [次へ]を選択します。

9 [用紙の種類]を選択します。

10 [印刷範囲]を[全てのページ]、[現在のページ]、[ページ指定]から選択します。
[ページ指定]の場合はページ番号を入力します。

11 [部数]を入力します。

メモ

- [ドラフト印刷]をオンにすると高速で印刷します。ただし、印刷品質は低下します。
- [鮮やかな色に]をオンにするとポスターなどを鮮やかに印刷します。
- [ワンタッチ登録]ボタンを押すと設定を登録することができます。同じ設定で何度も印刷する場合に便利です。
- [印刷プレビュー]ボタンを押すと、プレビュー画面が表示されレイアウトの確認や変更を行う事ができます。
- ロール紙幅いっぱいに印刷する場合の最大印刷長は、ロール紙幅の 5.587 倍または 18.0 m の小さい方となります。

12 [プリント]を押すと印刷を開始します。

フチなし印刷する(Word)

フチなし印刷します。写真やポスターを周囲に余白をとらずに印刷することができます。

1 [Microsoft Word]を起動します。

2 [imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示されている場合はクリックします。

3 [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンから[印刷]をクリックします。
[印刷ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

重要

- [印刷ウィザード]が開いているとき､別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[印刷ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります。

4 [フチなし印刷する]をクリックします。

5 確認のメッセージダイアログボックスが表示されます。原稿いっぱいにデータが作成されている場合は[動作の選択]で[このまま続ける]が選択されていることを確認し、[OK]を押してください。

メモ

- データを修正する場合は[アプリケーションに戻る]を選択して[OK]を押してください。[Print Plug-In for Office]を終了しアプリケーションへ戻ります。

6 プリンタにセットされている[ロール紙幅]を選択します。

7 レイアウトを選択します。

8 [次へ]を選択します。

9 [用紙の種類]を選択します。

10 [印刷範囲]を[全てのページ]、[現在のページ]、[ページ指定]から選択します。
[ページ指定]の場合はページ番号を入力します。

11 [部数]を入力します。

メモ

- [ドラフト印刷]をオンにすると高速で印刷します。ただし、印刷品質は低下します。
- [鮮やかな色に]をオンにするとポスターなどを鮮やかに印刷します。
- [ワンタッチ登録]ボタンを押すと設定を登録することができます。同じ設定で何度も印刷する場合に便利です。
- [印刷プレビュー]ボタンを押すと、プレビュー画面が表示されレイアウトの確認や変更を行う事ができます。
- フチなし印刷する場合の最大印刷長は、ロール紙幅の 5.587 倍または 18.0 m の小さい方となります。

12 [プリント]を押すと印刷を開始します。

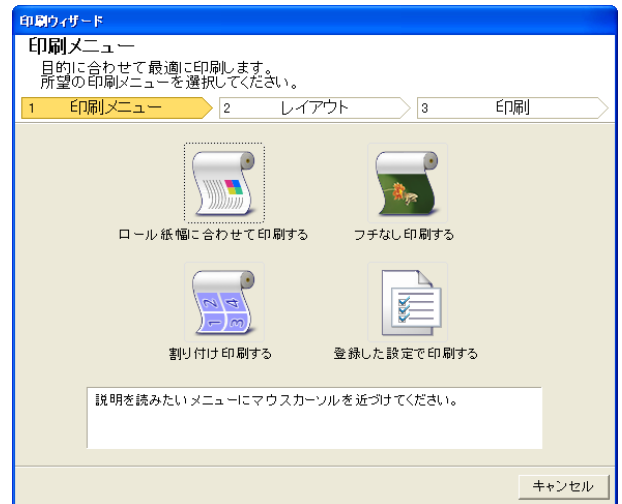
割り付け印刷する（Word）

複数ページを 1 枚にまとめて印刷を行います。配布資料を 1 ページにまとめたり、ページ数の多い文書を印刷することができます。

1 [Microsoft Word］を起動します。

2 [imagePROGRAF Print Plug-In を開く］が表示されている場合はクリックします。

3 [imagePROGRAF Print Plug-In］ツールバー/リボンから［印刷］をクリックします。
［印刷ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。

重要

- ［印刷ウィザード］が開いているとき、別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は［印刷ウィザード］ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバーの操作ができない場合があります。

4 ［割り付け印刷する］をクリックします。

5 プリンタにセットされている［ロール紙幅］を選択します。

6 ［レイアウト選択］からレイアウトを選択します。

7 [次へ]を選択します。

8 [用紙の種類]を選択します。

9 [印刷範囲]を[全てのページ]、[現在のページ]、[ページ指定]から選択します。
[ページ指定]の場合はページ番号を入力します。

10 [部数]を入力します。

メモ

- [ドラフト印刷]をオンにすると高速で印刷します。ただし、印刷品質は低下します。
- [鮮やかな色に]をオンにするとポスターなどを鮮やかに印刷します。
- [ワンタッチ登録]ボタンを押すと設定を登録することができます。同じ設定で何度も印刷する場合に便利です。
- [印刷プレビュー]ボタンを押すと、プレビュー画面が表示されレイアウトの確認や変更を行う事ができます。
- 割り付け印刷する場合の最大印刷長は、ロール紙幅の 5.587 倍または 18.0 m の小さい方となります。

11 [プリント]を押すと印刷を開始します。

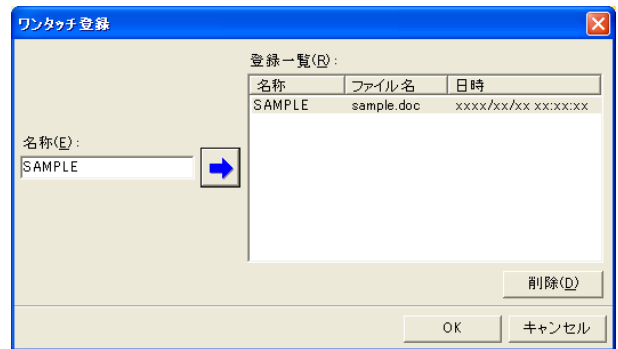
設定を登録する(Word)

同じ設定で繰り返し印刷する場合は[ワンタッチ登録]することができます。登録した設定は[登録した設定で印刷する]から呼び出すことができます。

1 [印刷メニュー]の[ロール紙幅に合わせて印刷する]、[フチなし印刷する]または[割り付け印刷する]で[印刷]画面まで設定をします。

メモ

- 20 個まで登録することができます。
- 設定できる項目については以下をご覧ください。
  - ロール紙幅に合わせて印刷する(Word) →P.230
  - フチなし印刷する(Word) →P.232
  - 割り付け印刷する(Word) →P.234

2 [ワンタッチ登録]ボタンをクリックします。

3 [名称]に名称を入力します。
31 文字まで入力できます。

4 をクリックします。入力した名称が[登録一覧]に表示されます。

5 [OK]をクリックし、[印刷]画面へ戻ります。

6 印刷する場合は[プリント]、印刷を中止する場合は[キャンセル]をクリックします。

> メモ
> • [印刷]画面で[キャンセル]をクリックしても登録した設定は削除されません。

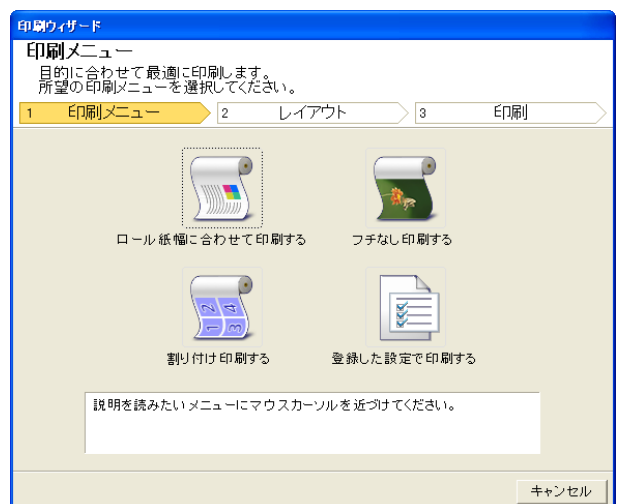
登録した設定で印刷する(Word)

登録した設定で印刷を行います。

1 [Microsoft Word]を起動します。

2 [imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示されている場合はクリックします。

3 [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンから[印刷]をクリックします。
[印刷ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

> 重要
> • [印刷ウィザード]が開いているとき、別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[印刷ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります。

4 [登録した設定で印刷する]をクリックします。

5 [次へ]ボタンをクリックします。

6 [用紙の種類]を選択します。

7 [印刷範囲]を[全てのページ]、[現在のページ]、[ページ指定]から選択します。
[ページ指定]の場合はページ番号を入力します。

8 [部数]を入力します。

メモ
- [ドラフト印刷]をオンにすると高速で印刷します。ただし、印刷品質は低下します。
- [鮮やかな色に]をオンにするとポスターなどを鮮やかに印刷します。
- [印刷プレビュー]ボタンを押すと、プレビュー画面が表示されレイアウトの確認や変更を行う事ができます。
- 登録した設定で印刷する場合の最大印刷長は、ロール紙幅の 5.587 倍または 18.0 m の小さい方となります。

9 [プリント]を押すと印刷を開始します。

垂れ幕を印刷する/横断幕を印刷する(Word)

ロール紙幅いっぱいに印刷します。掲示物やポスターを大きく印刷したり、[長尺ウィザード]で作成した横断幕や垂れ幕を印刷することができます。

垂れ幕/横断幕の用紙を作成する

[長尺ウィザード]を使用し垂れ幕の場合は縦長、横断幕の場合は横長の用紙を作成します。

1 [Microsoft Word]を起動します。

2 [imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示されている場合はクリックします。

3 [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンから[用紙設定]をクリックします。
[長尺ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

メモ

- [長尺ウィザード]が開いているとき、別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[長尺ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります。

4 [垂れ幕を印刷する]または[横断幕を印刷する]をクリックします。

メモ

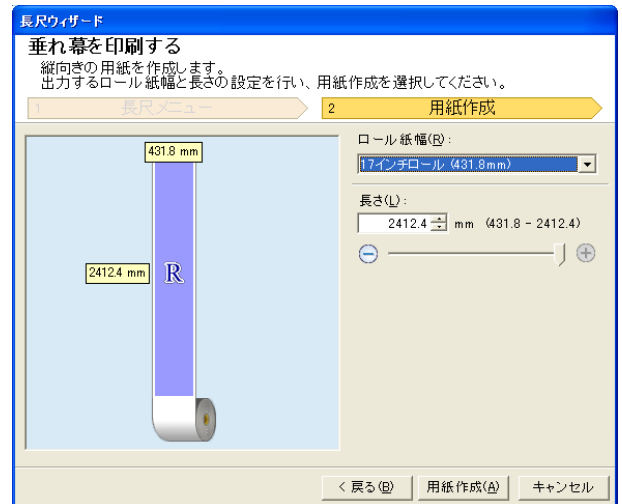
- ここでは垂れ幕作成を例に手順を説明します。

5 [長さ]をリストボックス、スライドバーのどちらかで調整します。

6 [用紙作成]ボタンをクリックします。

7 メッセージが表示された場合は[OK]をクリックします。

8 編集し、原稿を作成してください。

メモ

- 印刷は[印刷ウィザード]の[ロール紙幅に合わせて印刷する]で行います。[ロール紙幅に合わせて印刷する]について詳しくは、「ロール紙幅に合わせて印刷する(Word)」を参照してください。 →P.230

重要

- 既存のデータに対して用紙を作成するとレイアウトなどが崩れる場合があります。そのときは再度データを修正してください。

Microsoft PowerPoint からの起動方法

[Microsoft PowerPoint]から[Print Plug-In for Office]を起動する手順は、以下のとおりです。

1 [Microsoft PowerPoint]を起動します。

2 ツールバー/リボンに[imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示された場合はクリックします。

imagePROGRAF Print Plug-Inを開く
imagePROGRAF Print Plug-In

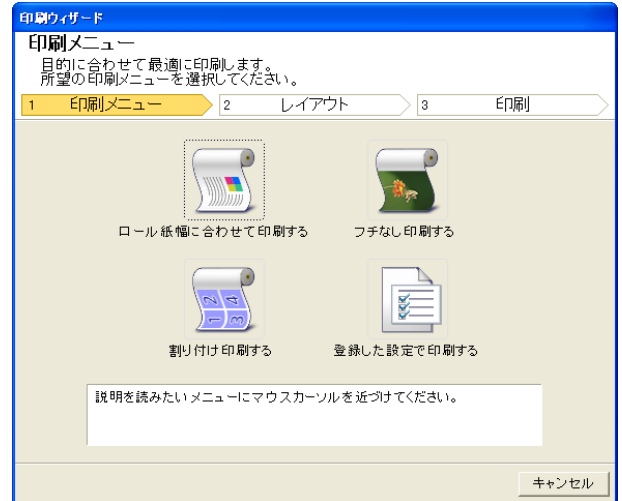
重要

- [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンが表示されない場合は、以下を参照してください。
  - Print Plug-In for Office が表示されないときには →P.225

3 [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンが表示されていることを確認します。

4 設定したい項目に応じてツールバー/リボンからボタンをクリックします。

アイコン	内容
imagePROGRAF メニュー	[バージョン情報]や[ヘルプ]、[処理オプション]ダイアログボックスを表示します。(「処理オプションを設定する」参照) →P.257
Canon iPFxxxx プリンタ一覧	プリンタを選択します。 [すべてのプリンタを表示]を選択すると大判プリンタ[imagePROGRAF]の再表示を行います。すべてのプリンタドライバを表示したい場合や表示を更新したい場合に選択してください。
印刷 [印刷]ボタン	印刷ウィザードが表示されます。 [ロール紙幅に合わせて印刷する]、[フチなし印刷する]、[割り付け印刷する]、[登録した設定で印刷する]の設定ができます。

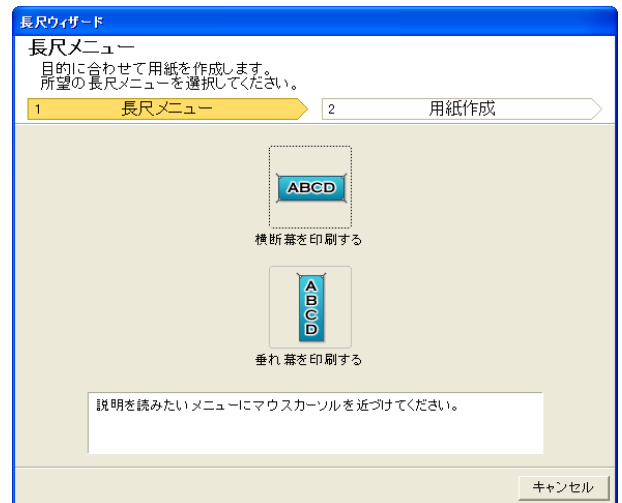
アイコン	内容
用紙設定 [用紙設定]ボタン	長尺ウィザードが表示されます。 垂れ幕または横断幕の設定ができます。

[印刷ウィザード] ダイアログボックス

重要

- [印刷ウィザード]が開いているとき、別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[印刷ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります。

メモ

- パスワードが設定されているドキュメントを読み取り専用で開いた場合、[印刷ウィザード]を実行できません。

[長尺ウィザード] ダイアログボックス

重要

- [長尺ウィザード]が開いているとき、別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[長尺ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります。
- 既存のデータに対して用紙を作成するとレイアウトなどが崩れる場合があります。そのときは再度データを修正してください。

メモ

- パスワードが設定されているドキュメントを読み取り専用で開いた場合、[長尺ウィザード]を実行できません。パスワードの設定を解除してください。

ロール紙幅に合わせて印刷する(PowerPoint)

ロール紙幅いっぱいに印刷します。掲示物やポスターを大きく印刷したり、[長尺ウィザード]で作成した横断幕や垂れ幕を印刷することができます。

1 [Microsoft PowerPoint]を起動します。

2 [imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示されている場合はクリックします。

3 [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンから[印刷]をクリックします。
[印刷ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

重要

- [印刷ウィザード]が開いているとき、別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[印刷ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります。

4 [ロール紙幅に合わせて印刷する]をクリックします。

5 プリンタにセットされている[ロール紙幅]を選択します。

6 画像のサイズを選択します。

7 レイアウトを選択します。

8 [次へ]を選択します。

9 [用紙の種類]を選択します。

10 [印刷範囲]を[全てのスライド]、[現在のスライド]、[スライド指定]から選択します。
[スライド指定]の場合はスライド番号を入力します。

11 [部数]を入力します。

メモ

- [ドラフト印刷]をオンにすると高速で印刷します。ただし、印刷品質は低下します。
- [鮮やかな色に]をオンにするとポスターなどを鮮やかに印刷します。
- [ワンタッチ登録]ボタンを押すと設定を登録することができます。同じ設定で何度も印刷する場合に便利です。
- [印刷プレビュー]ボタンを押すと、プレビュー画面が表示されレイアウトの確認や変更を行う事ができます。
- ロール紙幅いっぱいに印刷する場合の最大印刷長は、ロール紙幅の 14.22 倍または 18.0 m の小さい方となります。

12 [プリント]を押すと印刷を開始します。

フチなし印刷する(PowerPoint)

フチなし印刷します。写真やポスターを周囲に余白をとらずに印刷することができます。

1 [Microsoft PowerPoint]を起動します。

2 [imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示されている場合はクリックします。

3 [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンから[印刷]をクリックします。
[印刷ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

重要

• [印刷ウィザード]が開いているとき、別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[印刷ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります。

4 [フチなし印刷する]をクリックします。

5 確認のメッセージダイアログボックスが表示されます。原稿いっぱいにデータが作成されている場合は[動作の選択]で[このまま続ける]が選択されていることを確認し、[OK]を押してください。

メモ

• データを修正する場合は[アプリケーションに戻る]を選択して[OK]を押してください。[Print Plug-In for Office]を終了しアプリケーションへ戻ります。

6 プリンタにセットされている[ロール紙幅]を選択します。

7 レイアウトを選択します。

8 [次へ]を選択します。

9 [用紙の種類]を選択します。

10 [印刷範囲]を[全てのスライド]、[現在のスライド]、[スライド指定]から選択します。
[スライド指定]の場合はスライド番号を入力します。

11 [部数]を入力します。

メモ

- [ドラフト印刷]をオンにすると高速で印刷します。ただし、印刷品質は低下します。
- [鮮やかな色に]をオンにするとポスターなどを鮮やかに印刷します。
- [ワンタッチ登録]ボタンを押すと設定を登録することができます。同じ設定で何度も印刷する場合に便利です。
- [印刷プレビュー]ボタンを押すと、プレビュー画面が表示されレイアウトの確認や変更を行う事ができます。
- フチなし印刷する場合の最大印刷長は、ロール紙幅の 14.22 倍または 18.0 m の小さい方となります。

12 [プリント]を押すと印刷を開始します。

割り付け印刷する(PowerPoint)

複数ページを 1 枚にまとめて印刷を行います。配布資料を 1 ページにまとめたり、ページ数の多い文書を印刷することができます。

1 [Microsoft PowerPoint]を起動します。

2 [imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示されている場合はクリックします。

3 [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンから[印刷]をクリックします。
[印刷ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

重要

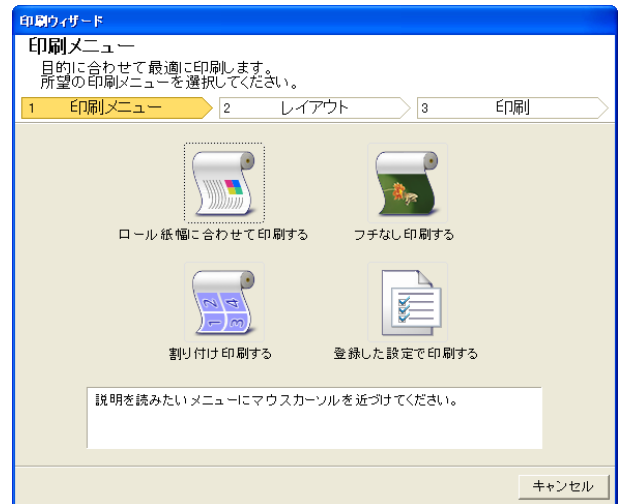
- [印刷ウィザード]が開いているとき、別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[印刷ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります。

4 [割り付け印刷する]をクリックします。

5 プリンタにセットされている[ロール紙幅]を選択します。

6 [レイアウト選択]からレイアウトを選択します。

Windows ソフトウエア

Print Plug-In for Office

7 ［次へ］を選択します。

8 ［用紙の種類］を選択します。

9 ［印刷範囲］を［全てのスライド］、［現在のスライド］、［スライド指定］から選択します。
［スライド指定］の場合はスライド番号を入力します。

10 ［部数］を入力します。

メモ

- ［ドラフト印刷］をオンにすると高速で印刷します。ただし、印刷品質は低下します。
- ［鮮やかな色に］をオンにするとポスターなどを鮮やかに印刷します。
- ［ワンタッチ登録］ボタンを押すと設定を登録することができます。同じ設定で何度も印刷する場合に便利です。
- ［印刷プレビュー］ボタンを押すと、プレビュー画面が表示されレイアウトの確認や変更を行う事ができます。
- 割り付け印刷する場合の最大印刷長は、ロール紙幅の 14.22 倍または 18.0 m の小さい方となります。

11 ［プリント］を押すと印刷を開始します。

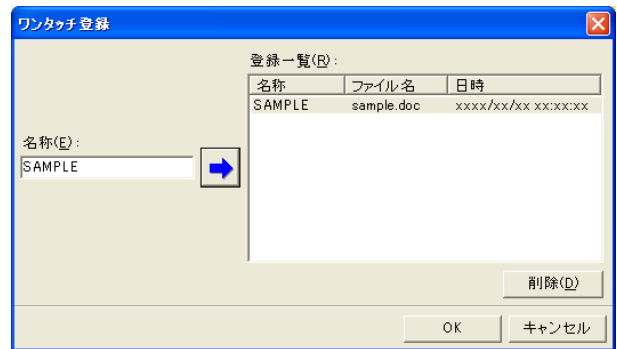
設定を登録する（PowerPoint）

同じ設定で繰り返し印刷する場合は［ワンタッチ登録］することができます。登録した設定は［登録した設定で印刷する］から呼び出すことができます。

1 ［印刷メニュー］の［ロール紙幅に合わせて印刷する］、［フチなし印刷する］または［割り付け印刷する］で［印刷］画面まで設定をします。

メモ

- 20 個まで登録することができます。
- 設定できる項目については以下をご覧ください。
  - ロール紙幅に合わせて印刷する（PowerPoint） →P.241
  - フチなし印刷する（PowerPoint） →P.242
  - 割り付け印刷する（PowerPoint） →P.245

2 [ワンタッチ登録]ボタンをクリックします。

3 [名称]に名称を入力します。
31 文字まで入力できます。

4 ➡ をクリックします。入力した名称が[登録一覧]に表示されます。

5 [OK]をクリックし、[印刷]画面へ戻ります。

6 印刷する場合は[プリント]、印刷を中止する場合は[キャンセル]をクリックします。

メモ

- [印刷]画面で[キャンセル]をクリックしても登録した設定は削除されません。

登録した設定で印刷する(PowerPoint)

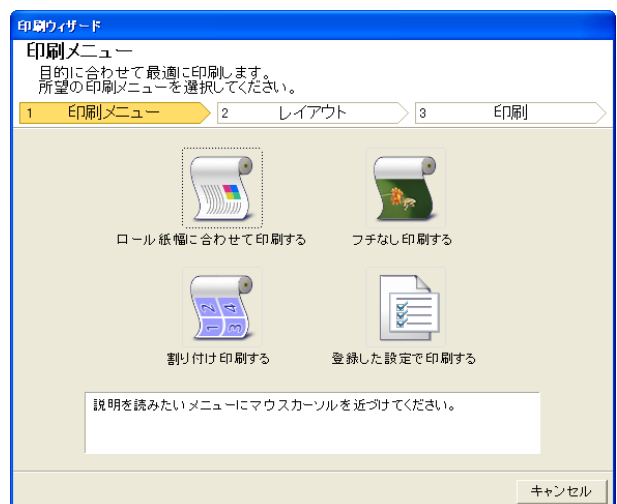
登録した設定で印刷を行います。

1 [Microsoft PowerPoint]を起動します。

2 [imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示されている場合はクリックします。

imagePROGRAF Print Plug-Inを開く
imagePROGRAF Print Plug-In

3 [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンから[印刷]をクリックします。
[印刷ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

重要

- [印刷ウィザード]が開いているとき、別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[印刷ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります。

4 [登録した設定で印刷する]をクリックします。

5 [次へ]ボタンをクリックします。

6 [用紙の種類]を選択します。

7 [印刷範囲]を[全てのスライド]、[現在のスライド]、[スライド指定]から選択します。
[スライド指定]の場合はスライド番号を入力します。

8 [部数]を入力します。

メモ

- [ドラフト印刷]をオンにすると高速で印刷します。ただし、印刷品質は低下します。
- [鮮やかな色に]をオンにするとポスターなどを鮮やかに印刷します。
- [印刷プレビュー]ボタンを押すと、プレビュー画面が表示されレイアウトの確認や変更を行う事ができます。
- 登録した設定で印刷する場合の最大印刷長は、ロール紙幅の 14.22 倍または 18.0 m の小さい方となります。

9 [プリント]を押すと印刷を開始します。

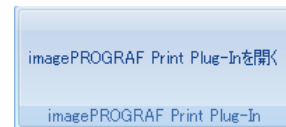
垂れ幕を印刷する/横断幕を印刷する(PowerPoint)

ロール紙幅いっぱいに印刷します。掲示物やポスターを大きく印刷したり、[長尺ウィザード]で作成した横断幕や垂れ幕を印刷することができます。

垂れ幕/横断幕の用紙を作成する

[長尺ウィザード]を使用し垂れ幕の場合は縦長、横断幕の場合は横長の用紙を作成します。

1 [Microsoft PowerPoint]を起動します。

2 [imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示されている場合はクリックします。

3 [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンから[用紙設定]をクリックします。
[長尺ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

重要

- [長尺ウィザード]が開いているとき、別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[長尺ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります。

4 [垂れ幕を印刷する]または[横断幕を印刷する]をクリックします。

メモ

- ここでは垂れ幕作成を例に手順を説明します。

5 [長さ]をリストボックス、スライドバーのどちらかで調整します。

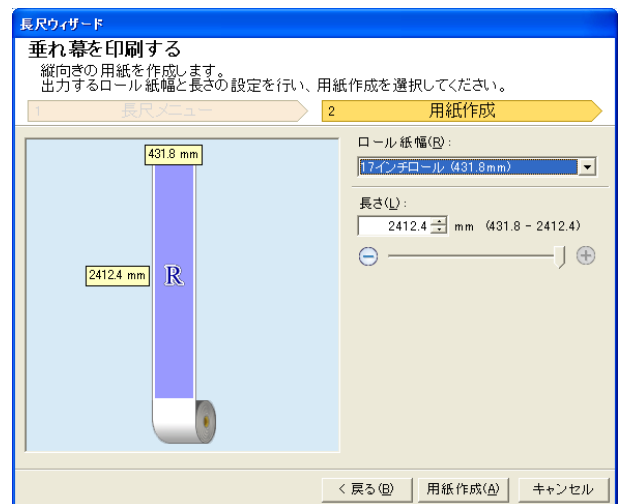
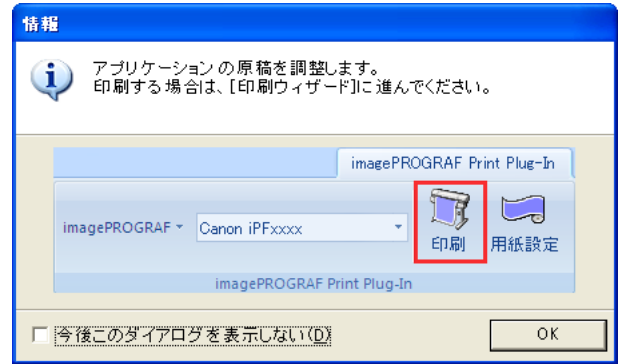
6 [用紙作成]ボタンをクリックします。

7 メッセージが表示された場合は[OK]をクリックします。

8 編集し、原稿を作成してください。

重要

- 既存のデータに対して用紙を作成するとレイアウトなどが崩れる場合があります。そのときは再度データを修正してください。

メモ

- 印刷は[印刷ウィザード]の[ロール紙幅に合わせて印刷する]で行います。[ロール紙幅に合わせて印刷する]について詳しくは、「ロール紙幅に合わせて印刷する(PowerPoint)」を参照してください。 →P.241

Microsoft Excel からの起動方法

[Microsoft Excel]から[Print Plug-In for Office]を起動する手順は、以下のとおりです。

1 [Microsoft Excel]を起動します。

2 ツールバー/リボンに[imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示された場合はクリックします。

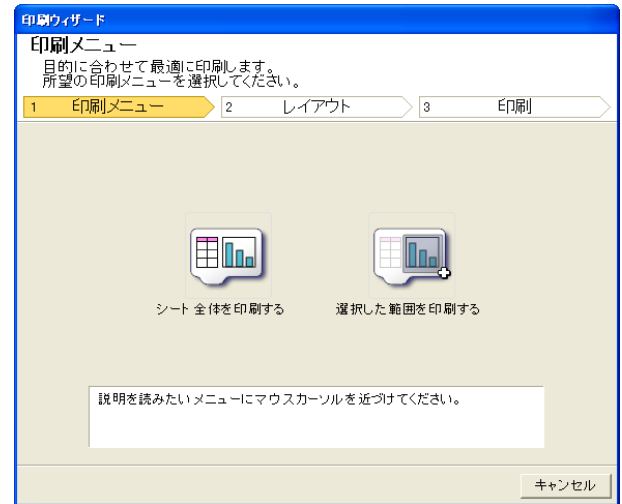
重要

- [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンが表示されない場合は、以下を参照してください。
  - Print Plug-In for Office が表示されないときには →P.225

3 [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンが表示されていることを確認します。

4 設定したい項目に応じてツールバー/リボンからボタンをクリックします。

アイコン	内容
imagePROGRAF ▾ メニュー	[バージョン情報]や[ヘルプ]、[処理オプション]ダイアログボックスを表示します。(「処理オプションを設定する」参照) →P.257
Canon iPFxxxx ▾ プリンタ一覧	プリンタを選択します。 [すべてのプリンタを表示]を選択すると大判プリンタ[imagePROGRAF]の再表示を行います。すべてのプリンタドライバを表示したい場合や表示を更新したい場合に選択してください。
印刷 [印刷]ボタン	印刷ウィザードが表示されます。 [シート全体を印刷する]、[選択した範囲を印刷する]の設定ができます。

[印刷ウィザード] ダイアログボックス

重要

- [印刷ウィザード]が開いているとき、別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[印刷ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります。
- セル編集中は、ツールバー/リボンの[印刷]ボタンをクリックしても[印刷ウィザード]を起動しません。
- 複数のシートが選択されている場合は、[印刷ウィザード]を実行できません。1 シートのみ選択し直してから再度[印刷]をクリックしてください。
- オブジェクトが選択されているとき、ツールバー/リボンの[印刷]ボタンをクリックしても[印刷ウィザード]を起動しません。
- Excel の用紙サイズが空白になっている場合は、[印刷ウィザード]を実行できません。エクセルの[ファイル]メニューの[ページ設定]で[用紙サイズ]を確認してください。

メモ

- グラフが選択されている状態で[印刷]ボタンをクリックすると、印刷を続行するか確認するメッセージダイアログボックスが表示されます。[いいえ]をクリックするとアプリケーションへ戻ります。
- 改ページが設定されている状態で[印刷]ボタンをクリックすると、印刷を続行するか確認するメッセージダイアログボックスが表示されます。[いいえ]をクリックするとアプリケーションへ戻ります。設定された改ページを使用しない場合は、改ページプレビューを確認して変更してください。
- 印刷範囲が設定されている状態で[印刷]ボタンをクリックすると、印刷を続行するか確認するメッセージダイアログボックスが表示されます。[いいえ]をクリックするとアプリケーションへ戻ります。設定された印刷範囲を使用しない場合は、改ページプレビューを確認して変更してください。
- シートやセルが保護されている状態で[印刷]ボタンをクリックすると、印刷を続行するか確認するメッセージダイアログボックスが表示されます。[いいえ]をクリックするとアプリケーションへ戻ります。設定を変更する場合はシートやセルの保護を解除してください。

シート全体を印刷する(Excel)

シート全体をロール紙幅いっぱいに印刷します。現在表示しているシートを大きく印刷する場合は、こちらを選択してください。

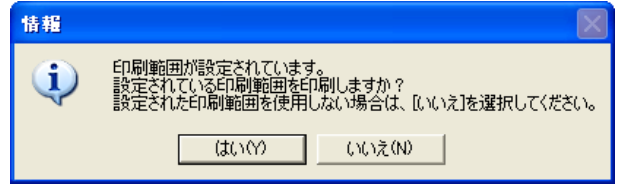
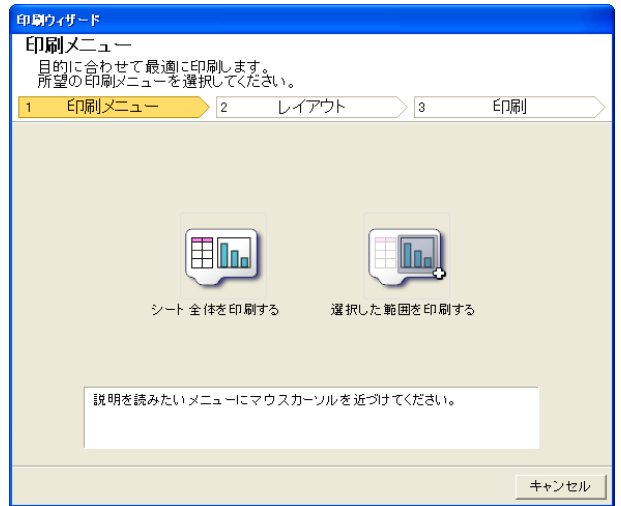
1. [Microsoft Excel]を起動します。
2. [imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示されている場合はクリックします。

imagePROGRAF Print Plug-Inを開く
imagePROGRAF Print Plug-In

3　[imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンから[印刷]をクリックします。

重要

- 複数のシートが選択されている場合は、[印刷ウィザード]を実行できません。1 シートのみ選択し直してから再度[印刷]をクリックしてください。

印刷範囲が設定されている場合は確認のメッセージダイアログボックスが表示されます。
シート全体を印刷したい場合は、印刷範囲の設定を解除してください。

[印刷ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

4　[シート全体を印刷する]をクリックします。
解析中のメッセージが表示されます。

自動的にレイアウトメニューが表示されます。

メモ
- データ解析に時間がかかる場合は、メッセージダイアログが表示されます。[いいえ]を選択するとアプリケーションへ戻ります。

5 プリンタにセットされている[ロール紙幅]を選択します。

6 画像のサイズを選択します。

7 レイアウトを選択します。

8 [とじしろ]を設定する場合は[とじしろ設定]ボタンをクリックします。
[とじしろ]の設定手順についてはとじしろを設定する（Excel） →P.256 を参照してください。

9 [次へ]を選択します。

10 [用紙の種類]を選択します。

11 [部数]を入力します。

メモ
- [ドラフト印刷]をオンにすると高速で印刷します。ただし、印刷品質は低下します。
- [鮮やかな色に]をオンにするとポスターなどを鮮やかに印刷します。
- [印刷プレビュー]ボタンを押すと、プレビュー画面が表示されレイアウトの確認や変更を行う事ができます。
- ロール紙幅いっぱいに印刷する場合の最大印刷長は 18.0m です。

12 上下の余白が多い場合は[上下余白なし（用紙節約）]をチェックしてください。
上下余白は[印刷プレビュー]で確認することができます。

13 [プリント]を押すと印刷を開始します。

重要
- 複数ページに分かれてしまう場合は、データを小さくするか、または選択する範囲を小さくしてみてください。
- 表示されているデータが何もないシートでは、[プリント]や[印刷プレビュー]を選択しても実行することができません。

選択した範囲を印刷する(Excel)

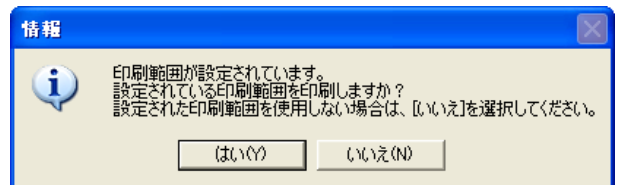
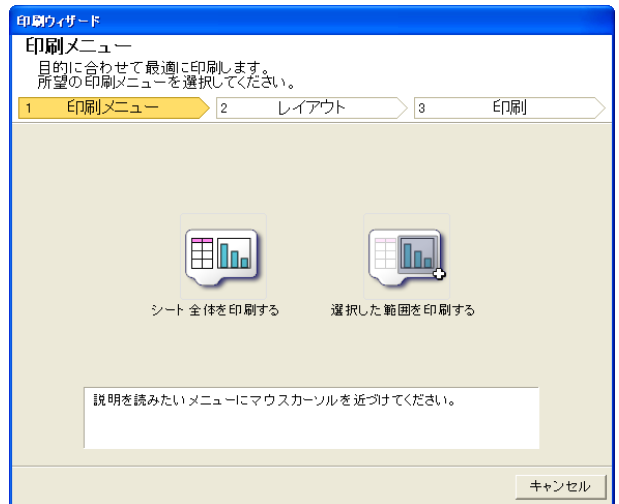
選択した範囲のセルをロール紙幅いっぱいに印刷します。シートの特定の部分を大きく印刷する場合は、こちらを選択してください。

1 [Microsoft Excel]を起動します。

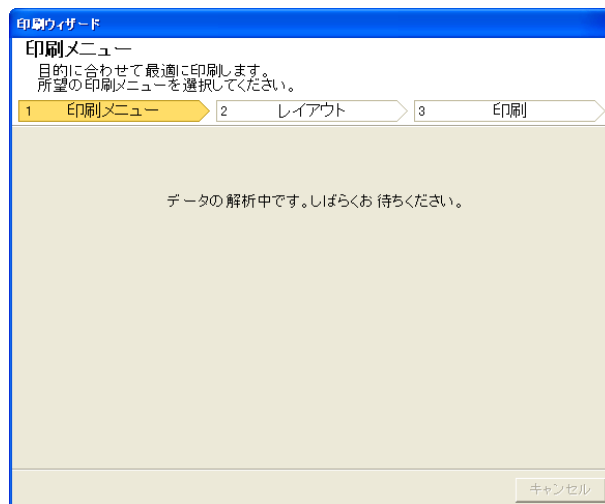
2 [imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示されている場合はクリックします。

3 [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンから[印刷]をクリックします。

重要
- 複数のシートが選択されている場合は、[印刷ウィザード]を実行できません。1 シートのみ選択し直してから再度[印刷]をクリックしてください。

印刷範囲が設定されている場合は確認のメッセージダイアログボックスが表示されます。
選択した範囲を印刷したい場合は、印刷範囲の設定を解除してください。

[印刷ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

4 [選択した範囲を印刷する]をクリックします。

重要
- 複数のセルが選択されていない場合は、[選択した範囲を印刷する]を選択できません。

解析中のメッセージが表示されます。

自動的にレイアウトメニューが表示されます。

重要
- [Excel 2007/2010]で選択されている範囲が大きすぎる場合はデータを解析することができません。選択する範囲を小さくしてから実行してください。

メモ
- データ解析に時間がかかる場合は、メッセージダイアログが表示されます。[いいえ]を選択するとアプリケーションへ戻ります。

5 プリンタにセットされている[ロール紙幅]を選択します。

6 画像のサイズを選択します。

7 レイアウトを選択します。

8 [とじしろ]を設定する場合は[とじしろ設定]ボタンをクリックします。
[とじしろ]の設定手順についてはとじしろを設定する（Excel） →P.256 を参照してください。

9 [次へ]を選択します。

10 [用紙の種類]を選択します。

11 [部数]を入力します。

メモ

- [ドラフト印刷]をオンにすると高速で印刷します。ただし、印刷品質は低下します。
- [鮮やかな色に]をオンにするとポスターなどを鮮やかに印刷します。
- [印刷プレビュー]ボタンを押すと、プレビュー画面が表示されレイアウトの確認や変更を行う事ができます。
- ロール紙幅いっぱいに印刷する場合の最大印刷長は 18.0m です。

12 上下の余白が多い場合は[上下余白なし(用紙節約)]をチェックしてください。
上下余白は[印刷プレビュー]で確認することができます。

13 [プリント]を押すと印刷を開始します。

重要

- 複数ページに分かれてしまう場合は、データを小さくするか、または選択する範囲を小さくしてみてください。
- 表示されているデータが何もないシートでは、[プリント]や[印刷プレビュー]を選択しても実行することができません。

とじしろを設定する(Excel)

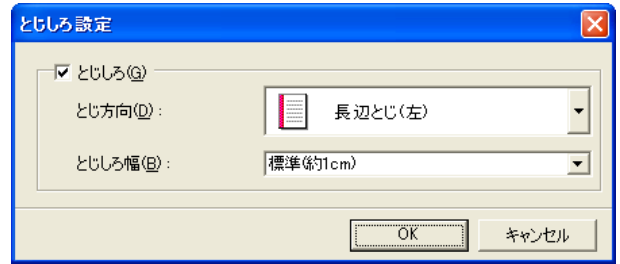
印刷物を閉じるための余白である[とじしろ]を設定することができます。

1 [シート全体を印刷する]または[選択した範囲を印刷する]で[レイアウト]画面の[レイアウト選択]まで設定します。
設定方法についてはシート全体を印刷する(Excel) →P.251 、選択した範囲を印刷する(Excel) →P.254 を参照してください。

2 [とじしろ設定]ボタンをクリックします。

重要

- 以下の場合は[とじしろ設定]ボタンをクリックできません。
  - [画像のサイズ]が[100%]に設定されている場合
  - グラフが選択されている場合
  - 改ページが設定されている状態
  - シート、またはセルが保護されている場合

[とじしろ設定]ダイアログボックスが開きます。

3 [とじしろ]チェックボックスがオンになっていない場合はチェックしてオンにします。

4 [とじ方向]を選択します。

5 [とじしろ幅]を選択します。

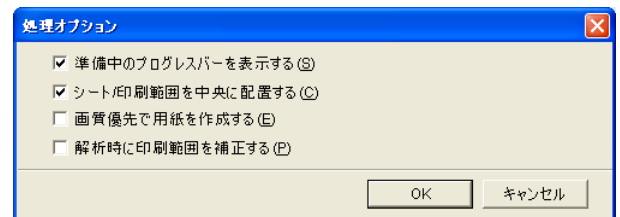
6 [OK]ボタンをクリックします。
[レイアウト]画面に戻ります。

プレビュー画面に[とじしろ]の設定が反映されていることを確認します。

7 [印刷ウィザード]ダイアログボックスの設定を行います。

処理オプションを設定する

[imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバーから[処理オプション]を設定することができます。

1 ツールバーの[imagePROGRAF]をクリックし、[処理オプション]を選択します。

2 設定を変更したい項目のチェックボックスをオンまたはオフにします。

項目	内容
[準備中のプログレスバーを表示する]	オフにすると準備中に表示されるプログレスバーを非表示にします。
[シート/印刷範囲を中央に配置する]	オフにすると配置を変更せずに印刷します。オンになっている場合は上下左右の余白が片寄らないように配置をして印刷します。オフにすると配置を変更せずに印刷します。 この機能は[Microsoft Excel]のみで有効になります。
[画質優先で用紙を作成する]	オンにすると原稿を最大のサイズで作成します。印刷の際に拡大率が低くなるので写真などの画質の劣化が最小限になります。 この機能は[Microsoft PowerPoint]のみで有効になります。

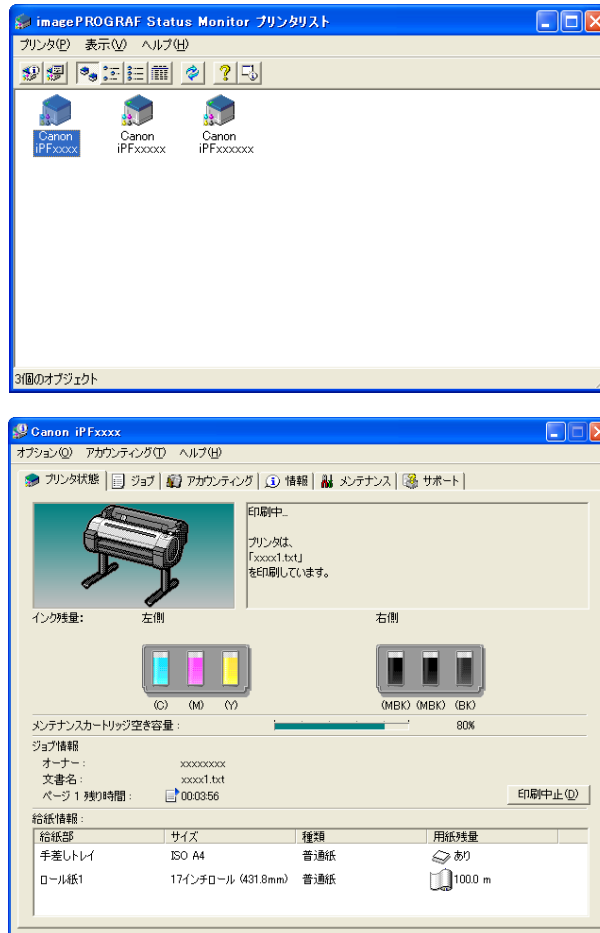
項目	内容
[解析時に印刷範囲を補正する]	通常のデータ解析で処理できないデータに対して、印刷範囲を補正して処理を行います。データ解析に失敗した場合に、このチェックボックスをオンにすると印刷できることがあります。 この機能は[Microsoft Excel]のみで有効になります。

3 [OK]をクリックして[処理オプション]ダイアログボックスを閉じます。

Status Monitor

imagePROGRAF Status Monitor の特長 259
imagePROGRAF Status Monitor によるジョブ管理 260

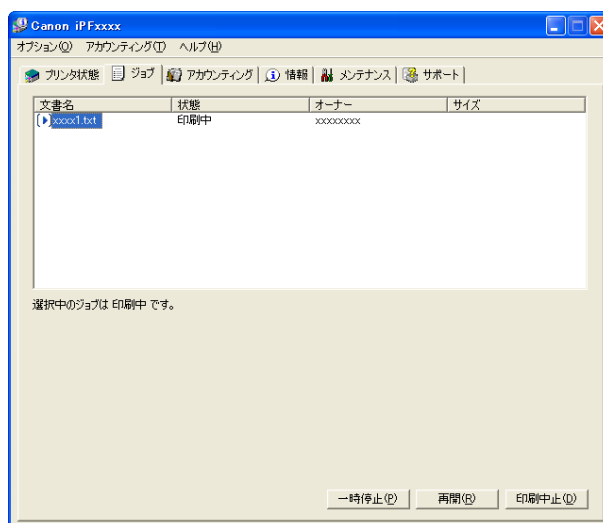
imagePROGRAF Status Monitor の特長

imagePROGRAF Status Monitor は、プリンタの状態を確認したり、印刷ジョブを管理したりするためのユーティリティソフトウェアです。
imagePROGRAF Status Monitor は、プリンタを一覧表示する[プリンタリスト]と、個別のプリンタの詳細を表示する[ステータスモニタ]の二つの画面で構成されています。

- ご使用のコンピュータにドライバがインストールされているプリンタ、またはコンピュータに接続されているプリンタやネットワーク上で検索されたプリンタの一覧を表示させることができます。
- プリンタの状態をコンピュータの画面上でリアルタイムに確認できます。
- プリンタにエラーが発生したとき、どのように対処したらよいかを即座に確認できます。
- プリンタの各色のインクの量を表示します。インクが残り少なくなると、アイコンやメッセージで知らせます。
- 各給紙部にセットされている用紙のサイズと種類が表示されます。また、用紙の有無を確認できます。
- プリンタの情報を確認したり、最良の印刷結果を得るためにプリンタのメンテナンスができます。
- プリンタにエラーなどが発生した場合に、登録しておいたメールアドレスに自動的にエラー情報を通知するように設定できます。
- アカウンティング機能を使ってプリンタのジョブ履歴を収集し、そのコストなどを調べることができます。
アカウンティング機能について詳しくは、アカウンティングについて →P.261 を参照してください。

メモ

- 詳細については、imagePROGRAF Status Monitor のヘルプを参照してください。

imagePROGRAF Status Monitor によるジョブ管理

imagePROGRAF Status Monitor の[ジョブ]シートでは、印刷ジョブの一時停止や中止などの操作を行うことができます。

- 印刷を一時停止/再開する

  印刷ジョブを選択して[一時停止]ボタンをクリックすると、選択したジョブの印刷処理が一時的に停止されます。
  一時停止中のジョブを選択して[再開]ボタンをクリックすると、印刷処理を再開します。

  メモ
  - 印刷データがすべてプリンタに送られた時点で、一時停止/再開の操作は行えなくなります。

- 印刷を中止する

  印刷ジョブを選択して[印刷中止]ボタンをクリックすると、選択したジョブの印刷が中止されます。

  メモ
  - 他のユーザの印刷を中止することはできません。

アカウンティング

アカウンティングについて 261
アカウンティングの起動方法 261
アカウンティング メインウィンドウ 262
ジョブリストエリア 264
アカウンティングの基本的な手順 265
アカウンティングの単価を設定する 265
インクの単価を設定する 265
用紙の単価を設定する 266
インクと用紙以外の価格を設定する 267
アカウンティングの表示と単位の設定をする 268
ジョブ履歴を定期的に自動取得する 268
ジョブ履歴の定期取得を解除する 269
プリンタ内ジョブと定期取得ジョブの表示を切り替える 269
ジョブ情報を CSV ファイルに出力する 269
ジョブのプロパティを表示する 269
設定した単価情報の表示、保存、読み込みをする 270
インクと用紙の総使用量を表示する 270

アカウンティングについて

アカウンティングは、プリンタのジョブ履歴を収集し、そのコストなどを調べるための機能です。
アカウンティングを利用すると次のようなメリットがあります。

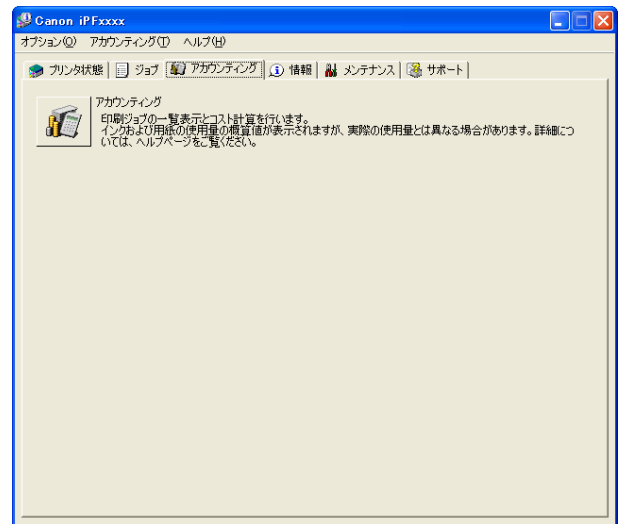
- ジョブ履歴の収集
  いつ誰がどんなドキュメントをどのプリンタから印刷したのかを確認できます。
- 使用した用紙枚数や金額の集計
  収集したジョブ履歴から、印刷したページ数や用紙枚数、印刷にかかったコストなどを集計できます。
- ジョブの定期取得
  定期的にジョブ履歴を自動収集できます。
- ジョブ情報の書き出し
  収集したジョブ情報を CSV 形式のファイルに書き出すことができます。

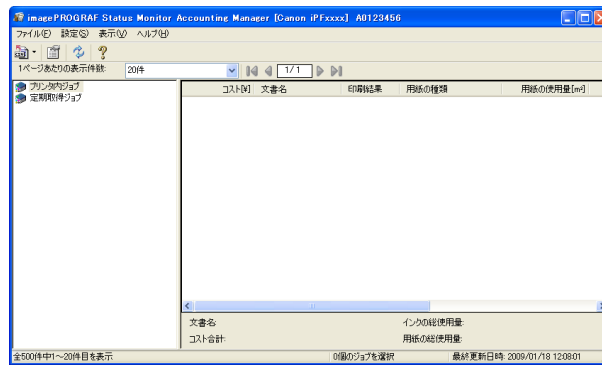
- Status Monitor のアカウンティングでは、ジョブごとに消費されるインクおよび用紙の使用量の概算値が表示されます。この概算値の正確性について、当社は保証するものではありません。お客様のご使用状況に応じて、この概算値は変動します。
- 操作パネルの[設定/調整メニュー]→[プリンタの情報]→[ジョブ履歴表示]が[オフ]になっているときには、ジョブ履歴の収集が行われません。ただし、
  - [ジョブ履歴表示]を[オフ]にしても、その時点で既に取得済みの定期取得ジョブは表示されます。
  - [ジョブ履歴表示]を再び[オン]にしたときには、その時点でプリンタの中にあるジョブがすべて表示されます。

アカウンティングの起動方法

アカウンティングを起動する手順は、以下のとおりです。

1 imagePROGRAF Status Monitor の画面を開きます。

2 [アカウンティング]メニューから[アカウンティング]を選択します。
または、[アカウンティング]シートを開き、[アカウンティング]ボタンをクリックします。

アカウンティング メインウィンドウ

アカウンティングのメインウィンドウは、タイトルバー、メニューバー、ツールバー、表示ジョブの切替エリア、ジョブ一覧エリア、集計エリア、ステータスバーで構成されています。

- タイトルバー

  プリンタの機種名、使用しているポート名、およびシリアルナンバーが表示されます。

- メニューバー

  操作に必要なメニューを選択できます。

- ツールバー

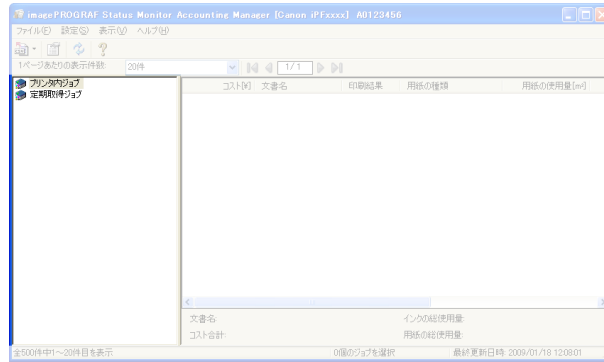
  主な操作のツールボタンやプルダウンを選択できます。

メモ

- ツールバーは[表示]メニューで表示/非表示を切り換えられます。

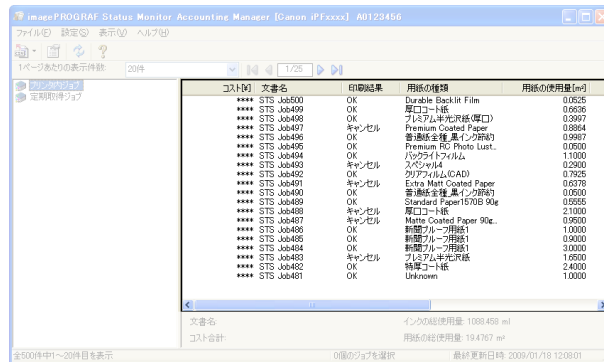
- 表示ジョブの切り替えエリア

  どのジョブ履歴を表示させるかをここで選択して切り替えます。

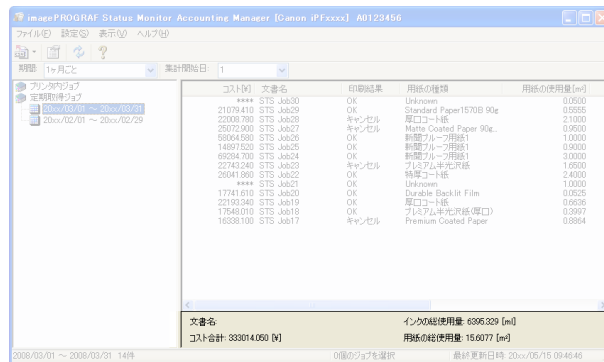
定期取得を行っている場合は､指定した期間ごとにまとめてジョブ履歴を表示できます。

表示の切り替え方法について詳しくは､プリンタ内ジョブと定期取得ジョブの表示を切り替える →P.269 を参照してください。

- ジョブリストエリア

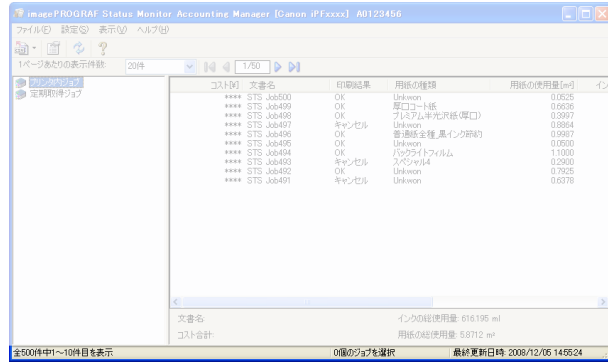
取得したジョブの詳細情報が一覧表示されます。

プリンタ内のジョブまたは定期取得したジョブを一覧表示します｡詳しくはジョブリストエリア →P.264 を参照してください。

- 集計エリア

選択したジョブのコスト合計､および用紙とインクの使用量が表示されます。

メモ

- 定期取得ジョブを表示している場合は､画面左側で期間を選択すると､その期間のコスト合計､および用紙とインクの使用量が表示されます。

- ステータスバー

  メッセージなどが表示されます。

ジョブリストエリア

ジョブリストエリアに表示されるジョブの項目と内容は次の通りです。

- [コスト]

  印刷にかかったコストです。

メモ
- インクと用紙の単価が設定されていないときには、[****]が表示されます。

- [文書名]

  印刷した文書の名前です。

- [印刷結果]

  印刷が実行された場合は[OK]、実行されなかった場合は[キャンセル]を表示します。

- [用紙の種類]

  印刷に使用した用紙の種類です。

- [用紙の使用量]

  印刷に使用した用紙の面積です。

メモ
- [用紙の使用量]は[用紙の幅]と[用紙の長さ]を掛け合わせた値と異なる場合があります。

- [出力画像サイズ]

  印刷に使用した画像のサイズです。

メモ
- ジョブが複数ページの場合は最終ページのサイズが表示されます。

- [用紙の幅]

  印刷に使用した用紙の幅です。

メモ
- ジョブが複数ページの場合は最終ページの幅が表示されます。

- [用紙の長さ]

  印刷に使用した用紙の長さです。

アカウンティングの基本的な手順

初めて使用するときは、以下の手順で設定を行います。

1 用紙やインクなどの単価を設定します。
単価の設定について詳しくは、アカウンティングの単価を設定する →P.265 を参照してください。

2 表示させる単位などを設定します。
単位の設定について詳しくは、アカウンティングの表示と単位の設定をする →P.268 を参照してください。

3 ジョブを定期的に取得する場合は、定期取得の設定を行います。
定期取得の設定について詳しくは、ジョブ履歴を定期的に自動取得する →P.268 を参照してください。

4 一覧表示させたいジョブを指定します。
一覧表示の設定について詳しくは、プリンタ内ジョブと定期取得ジョブの表示を切り替える →P.269 を参照してください。

これで必要なジョブ履歴と詳細情報が一覧表示されます。

アカウンティングの単価を設定する

[設定]メニューから[単価設定]を選択すると、[単価設定]ダイアログボックスが表示されます。ここで単価を設定します。

メモ

- ジョブを選択してから[単価設定]ダイアログボックスを開くと、そのジョブで単価がまだ設定されていない項目がフォーカスされた状態で表示されます。

- インクの単価を設定する →P.265
- 用紙の単価を設定する →P.266
- インクと用紙以外の価格を設定する →P.267

インクの単価を設定する

[インク]シートを開きます。このシートでインクの単価を設定します。

すべてのインクを同じ単価にする場合

1 [すべてのインクに同じ単価を使う]チェックボックスを選択します。

2 [タンク容量]と、それに対する[価格]を入力します。

3 [OK]ボタンをクリックします。

重要

- [OK]ボタンをクリックするまでは、設定内容は反映されません。

色ごとにインクの単価を変える場合

1 設定したいインクの色を選択します。

2 [タンク容量]と、それに対する[価格]を入力します。

3 [上書き]ボタンをクリックします。

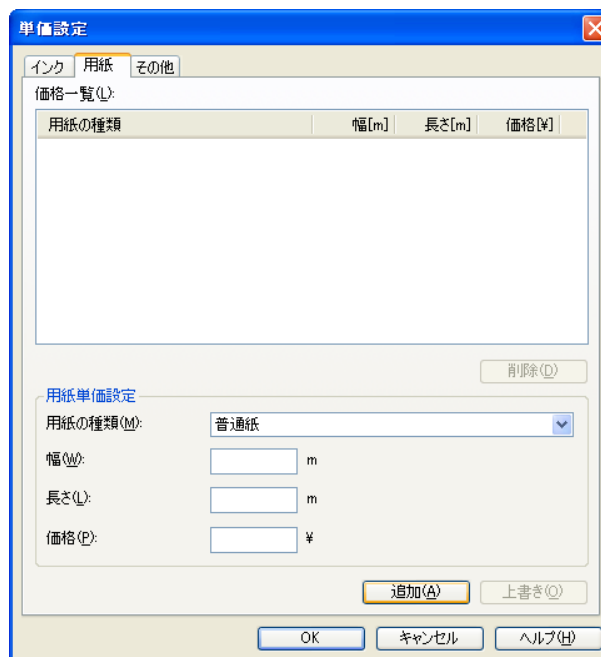
4 すべてのインクに対して、手順 1〜3 を繰り返します。

5 [OK]ボタンをクリックします。

重要

- [OK]ボタンをクリックするまでは、設定内容は反映されません。

用紙の単価を設定する

[用紙]シートを開きます。このシートで用紙の単価を設定します。

1 [用紙の種類]で、用紙の種類を選択します。

2 用紙の[幅]、[長さ]、および、設定した幅×長さに対する面積あたりの[価格]を入力します。

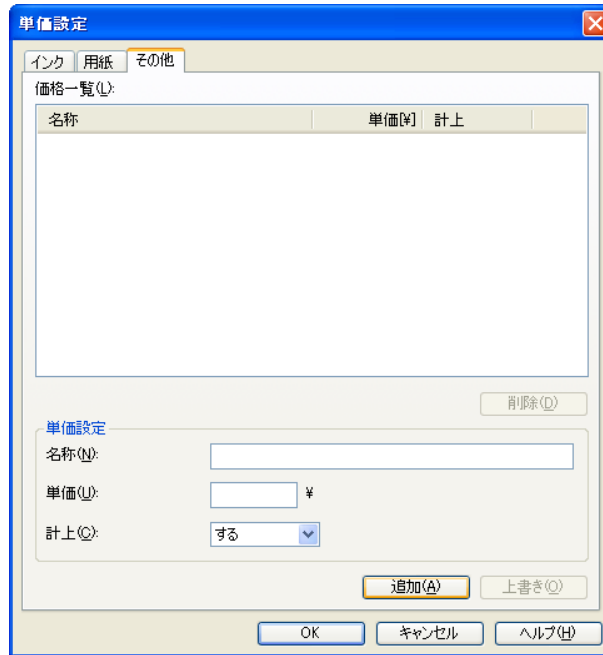
3 [追加]ボタンをクリックします。既に設定済みの用紙種類の単価を変更する場合は、[上書き]ボタンをクリックします。

4 [OK]ボタンをクリックします。

重要

- [OK]ボタンをクリックするまでは、設定内容は反映されません。

インクと用紙以外の価格を設定する

[その他]シートを開きます。このシートでインクと用紙以外の価格を自由に設定します。

1. [名称]に任意の名称を入れます。
2. [単価]を入力します。
3. ジョブにかかったコストとして計上するかしないかを、[計上]で選択します。
4. [追加]ボタンをクリックします。既に設定済みの用紙種類の単価を変更する場合は、[上書き]ボタンをクリックします。
5. [OK]ボタンをクリックします。

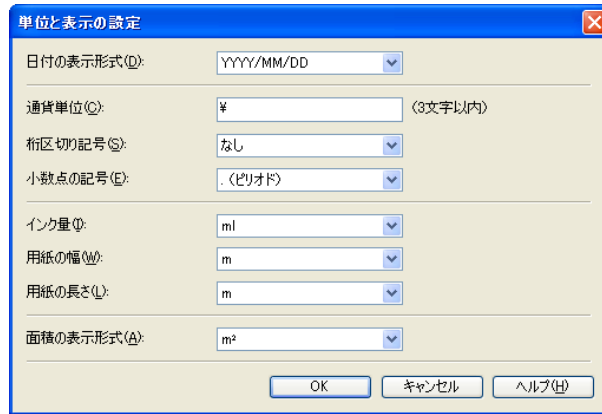
重要

- [OK]ボタンをクリックするまでは、設定内容は反映されません。

メモ

- 最大で5件まで設定できます。

アカウンティングの表示と単位の設定をする

[設定]メニューから[単位と表示の設定]を選択すると、[単位と表示の設定]ダイアログボックスが表示されます。ここで表示に関する設定をします。

- [日付の表示形式]
  日付の表示形式を選択します。YYYY は年、MM は月、DD は日を表します。
- [通貨単位]
  通貨単位を入れます。3 文字以内で任意に入力します。
- [桁区切り記号]
  桁区切りに使用する記号を選択します。記号は数字 3 桁ごとに入ります。
- [小数点の記号]
  小数点として使用する記号を選択します。
- [インク量]
  インク量の単位を選択します。
- [用紙の幅]
  用紙の幅方向の長さの単位を選択します。
- [用紙の長さ]
  用紙の長さの単位を選択します。
- [面積の表示形式]
  用紙の面積の単位を選択します。

ジョブ履歴を定期的に自動取得する

プリンタからジョブ履歴を定期的に収集し、お使いのコンピュータに保存します。

1. [設定]メニューから[定期取得設定]を選択します。
2. [印刷ジョブのログを定期的に取得する]を選択します。
3. [OK]ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

重要

- 操作パネルの[設定/調整メニュー]→[プリンタの情報]→[ジョブ履歴表示]が[オフ]になっているときには、ジョブ履歴の収集が行われません。ただし、[ジョブ履歴表示]を[オフ]にしても、その時点で既に取得済みの定期取得ジョブは表示されます。

メモ

- 定期取得の設定を行った直後はジョブが表示されません。しばらく待ってから、[表示]メニューで[最新の情報に更新]を選択すると表示されます。
- ジョブ履歴は最大で 10000 件まで保存され、これを超えた場合は古いジョブ履歴から順に削除されます。古いデータを保存する場合は、CSV ファイルに書き出すことをおすすめします。
  ジョブ履歴を CSV ファイルに書き出す方法について詳しくは、ジョブ情報を CSV ファイルに出力する →P.269 を参照してください。

ジョブ履歴の定期取得を解除する

プリンタからの定期的なジョブ履歴の取得を解除することができます。

1. [設定]メニューから[定期取得設定]を選択します。
2. [印刷ジョブのログを定期的に取得する]のチェックマークをはずします。
3. [OK]ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

プリンタ内ジョブと定期取得ジョブの表示を切り替える

アカウンティングで表示するジョブ履歴には、プリンタ内ジョブと定期取得ジョブの二種類があります。
プリンタ内ジョブと定期取得ジョブは、画面左の表示ジョブの切り替えエリアで指定して表示を切り替えます。

- [プリンタ内ジョブ]

  現在プリンタ内にあるジョブを一覧表示します。
  ツールバーまたは[表示]メニューの[1 ページあたりの表示件数]で、1 ページに表示する件数を変えることができます。
  ツールバーまたは[表示]メニューの[移動]で表示するページを移動する事ができます。

メモ
- ハードディスクを搭載するプリンタの場合は、プリンタ 1 台あたり 500 件まで表示できます。
- ハードディスクを搭載しないプリンタの場合は、プリンタ 1 台あたり 32 件まで表示できます。ただし、プリンタの電源をオフにすると、表示できるジョブは 10 件になります。

- [定期取得ジョブ]

  定期的に取得したジョブを一覧表示します。
  ある一定の期間ごとにまとめてジョブを表示する場合は、ツールバーまたは[表示]メニューの[期間]および[集計開始日](または[集計開始曜日]、[集計開始月])で期間を指定します。
  例えば、毎月 1 日から 1 か月分の単位でジョブ履歴を表示するときは、[期間]を[1 ヶ月ごと]に、[集計開始日]を[1]に設定します。

メモ
- 定期取得ジョブはプリンタ 1 台あたり最大 10000 件まで表示されます。

ジョブ情報を CSV ファイルに出力する

[ファイル]メニューから[コスト情報の書き出し]を選択すると、収集したジョブの情報を CSV ファイルに出力することができます。

メモ
- [コスト情報の書き出し]は、ツールバーのアイコンから選択することもできます。

- [選択しているジョブ]

  ジョブ一覧の中で選択されているジョブの情報を CSV ファイルに出力します。

メモ
- Shift キーまたは Ctrl キーを押しながらクリックすることで、複数のジョブを選択することができます。

- [リストに表示されているジョブ]

  現在リストに表示されているジョブの情報を CSV ファイルに出力します。

ジョブのプロパティを表示する

ジョブ一覧中のジョブを選択し、[ファイル]メニューから[ジョブのプロパティを表示]を選択すると、[ジョブのプロパティ]ダイアログが表示され、コストの詳細情報などを確認できます。
[コピー]ボタンをクリックすると、このダイアログボックス内の文字情報をクリップボードにコピーします。

- ジョブを選択して右クリックし、[ジョブのプロパティを表示]を選択して表示させることもできます。また、ツールバーのアイコンから表示させることもできます。
- 複数のジョブを選択してから[ジョブのプロパティ]ダイアログを開くと、その合計のコストが表示されます。

設定した単価情報の表示、保存、読み込みをする

- [単価情報の表示]

  [ファイル]メニューから[単価情報の表示]を選択すると、[単価情報]ダイアログボックスが表示されます。設定されているインクや用紙などの単価が一覧表示されます。

  [コピー]ボタンをクリックすると、このダイアログボックス内の文字情報をクリップボードにコピーします。

- [単価情報の保存]

  [ファイル]メニューの[単価情報の保存]で保存先を選択します。設定されているインクや用紙などの単価情報をファイルに保存します。

- [単価情報の読み込み]

  [ファイル]メニューの[単価情報の読み込み]で単価情報のファイルを選択すると、単価情報を読み込みます。

インクと用紙の総使用量を表示する

[ファイル]メニューから[インクと用紙の使用量を表示]を選択すると、[インクと用紙の使用量を表示]ダイアログボックスが表示されます。
プリンタが今までに使用したインクと用紙の総量を一覧表示します。
[コピー]ボタンをクリックすると、このダイアログボックス内の文字情報をクリップボードにコピーします。

- 用紙は、使用量の多い順に 7 種類まで表示されます。それ以外の用紙は、合計使用量が[その他]として表示されます。

Device Setup Utility

imagePROGRAF Device Setup Utility 271
imagePROGRAF Device Setup Utility をインストールする 271
imagePROGRAF Device Setup Utility で IP アドレスを設定する 271

imagePROGRAF Device Setup Utility

imagePROGRAF Device Setup Utility は、ご使用のコンピュータとプリンタが通信できるように設定するためのユーティリティソフトウェアです。プリンタを新規に導入した場合などは、最初に imagePROGRAF Device Setup Utility を使用してネットワーク設定を行います。

- imagePROGRAF Device Setup Utility を起動すると、ネットワーク上のプリンタを検索して一覧表示します。この中から設定したいプリンタ(MAC アドレス)を選択し、ご使用のコンピュータからプリンタの IP アドレスやネットワークのフレームタイプなどの基本的な設定を行います。
- 使用するコンピュータとプリンタが正しく通信できる状態にあるかどうかは、プリンタリストの一覧で確認できます。

メモ

- imagePROGRAF Device Setup Utility による設定作業は、ネットワーク管理者またはプリンタ管理者が行ってください。
- 詳細については、imagePROGRAF Device Setup Utility のヘルプを参照してください。

imagePROGRAF Device Setup Utility をインストールする

imagePROGRAF Device Setup Utility は、プリンタに付属の User Software CD-ROM から、以下の手順でインストールします。

1. User Software CD-ROM を、コンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。
2. [Setup Menu]ウィンドウで、[ソフトウェア個別インストール]をクリックします。
3. imagePROGRAF Device Setup Utility の[インストール]をクリックします。
4. 画面の指示に従ってインストールします。

imagePROGRAF Device Setup Utility で IP アドレスを設定する

Windows のコンピュータをご使用の場合は、プリンタに付属のユーティリティソフト imagePROGRAF Device Setup Utility でプリンタの IP アドレスを設定できます。ここでは、imagePROGRAF Device Setup Utility を使用し、IP アドレスを設定する手順を説明します。

重要

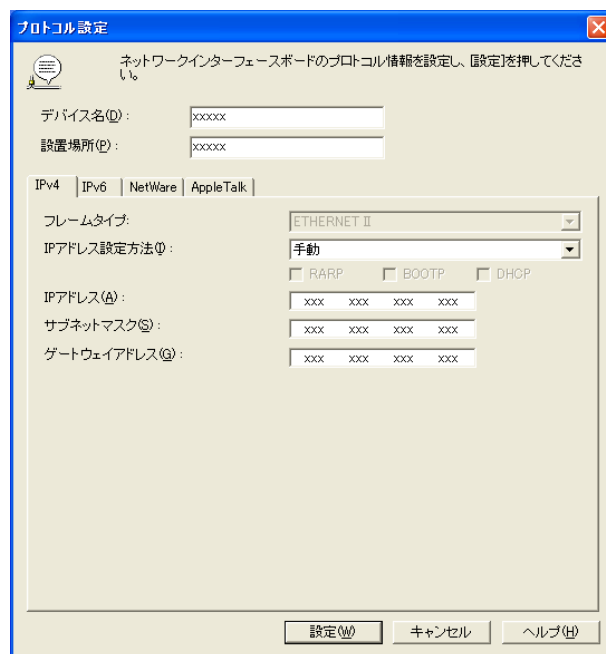
- ネットワークの設定には[Administrator]アカウントに相当する管理者権限が必要です。ネットワークの設定は、ネットワーク管理者が行うことをお勧めします。

メモ

- imagePROGRAF Device Setup Utility をインストールする方法については、「imagePROGRAF Device Setup Utility をインストールする」を参照してください。 →P.271

IPv4 の IP アドレスを設定する場合

1. [スタート]メニューから imagePROGRAF Device Setup Utility を起動します。

2. 一覧に表示される[デバイス名]から、設定するプリンタを選択します。
3. [プリンタ]メニューから[プロトコル設定]を選択します。
4. [IPv4]タブを選択します。

5. [IP アドレス設定方法]の一覧から[手動]を選択します。
6. プリンタに割り当てる IP アドレスを入力し、[設定]をクリックします。
7. [確認]メッセージダイアログボックスが表示されたら、[OK]をクリックします。
8. imagePROGRAF Device Setup Utility を終了します。

メモ

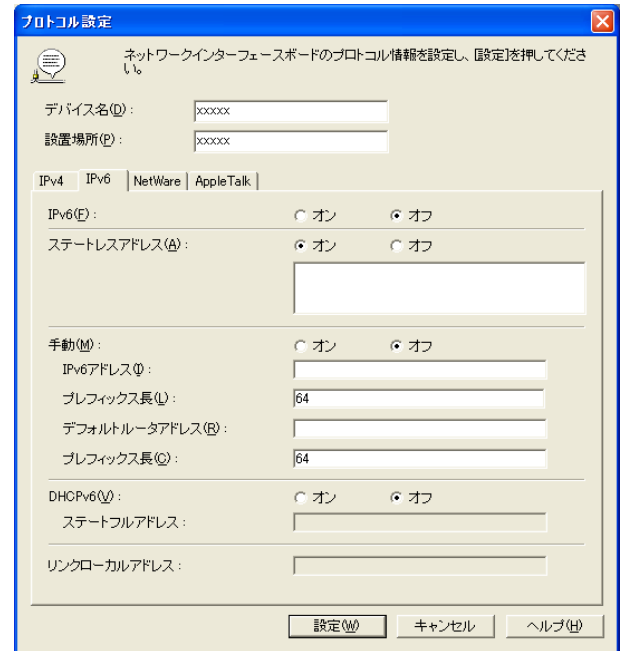
- IP アドレスを自動で設定する場合は、[IP アドレス設定方法]の一覧から[自動]を選択し、[DHCP]、[BOOTP]、[RARP]のうち、使用する項目のチェックボックスをオンにします。
- サブネットマスク、デフォルトゲートウェイも設定できます。

IPv6 の IP アドレスを設定する場合

1. [スタート]メニューから imagePROGRAF Device Setup Utility を起動します。

2 一覧に表示される[デバイス名]から、設定するプリンタを選択します。

3 [プリンタ]メニューから[プロトコル設定]を選択します。

4 [IPv6]タブを選択します。

5 [IPv6]で[オン]を選択します。

6 ネットワーク環境に IPv6 に対応したルータがある場合は、[ステートレスアドレス]で[オン]を選択します。
または、ネットワーク環境に DHCPv6 サーバがある場合は、[DHCPv6]で[オン]を選択します。

メモ

- IPv6 に対応したルータおよび DHCPv6 サーバのいずれもない場合は、[手動]で[オン]を選択し、[IPv6 アドレス]と[プレフィックス長]を入力してください。

7 [設定]をクリックします。

8 [確認]メッセージダイアログボックスが表示されたら、[OK]をクリックします。

9 imagePROGRAF Device Setup Utility を終了します。

Media Configuration Tool

Media Configuration Tool の特長 274
インストール手順 274
Media Configuration Tool の起動方法 276
Media Configuration Tool メインウィンドウ 277
用紙種類情報を編集する 277
用紙種類の追加 278
用紙名称の変更 280
追加した用紙種類の削除 281
用紙種類の表示/非表示を切り替える 282
用紙種類の表示順序を変更する 283
用紙の種類を更新する 284

Media Configuration Tool の特長

Media Configuration Tool の主な特長は以下のとおりです。

- プリンタがサポートするメディア(用紙の種類)が追加されたときに、その用紙情報ファイルをプリンタの操作パネルおよびプリンタドライバに登録することができます。
- プリンタの操作パネルおよびプリンタドライバのダイアログボックスで使用される用紙種類の表示順の変更や用紙名称の変更などを行うことができます。

重要

- User Software CD-ROM の[プリンタドライバのインストール]でプリンタドライバをインストールすると、通常 Media Configuration Tool もインストールされ、メディア情報も設定されます。さらにメディア情報を追加したり、編集したい方はこのソフトウェアをお使いください。

Media Configuration Tool が適用されるドライバ

- imagePROGRAF プリンタドライバ

インストール手順

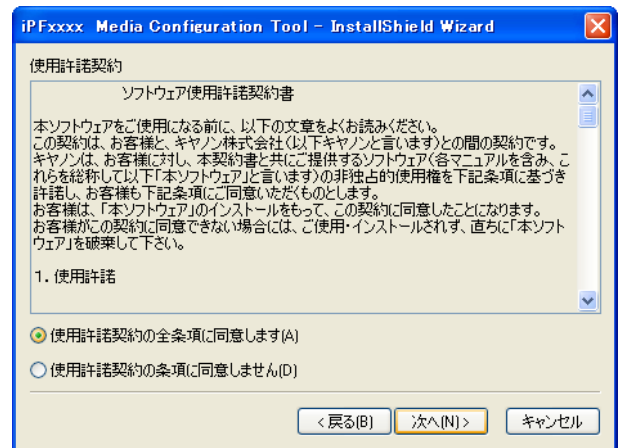
新しいバージョンの Media Configuration Tool のインストーラを起動すると、Media Configuration Tool のインストール画面が表示されます。この画面からインストールする手順は、以下のようになります。

重要

- User Software CD-ROM の[プリンタドライバのインストール]でプリンタドライバをインストールすると、通常 Media Configuration Tool もインストールされ、メディア情報も設定されます。
- Windows にソフトウェアをインストールするときは、管理者としてログインする必要があります。

1 Media Configuration Tool のインストーラを起動します。
[次へ]ボタンをクリックします。

2 プリンタを使用する国または地域の選択画面が表示されます。
国または地域を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。

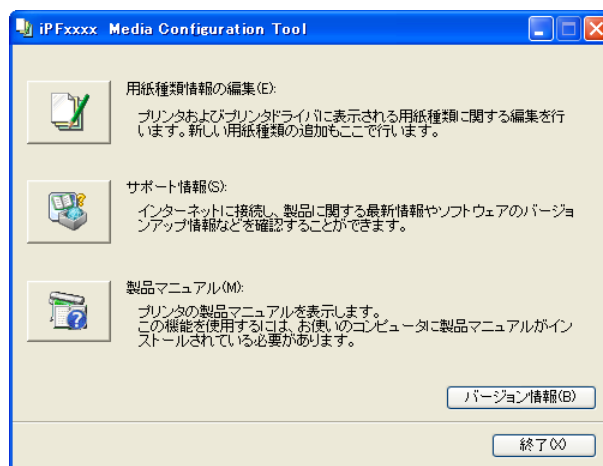
3 [使用許諾契約]が表示されます。
[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。

4 [インストール先の選択]画面が表示されます。
インストール先を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。

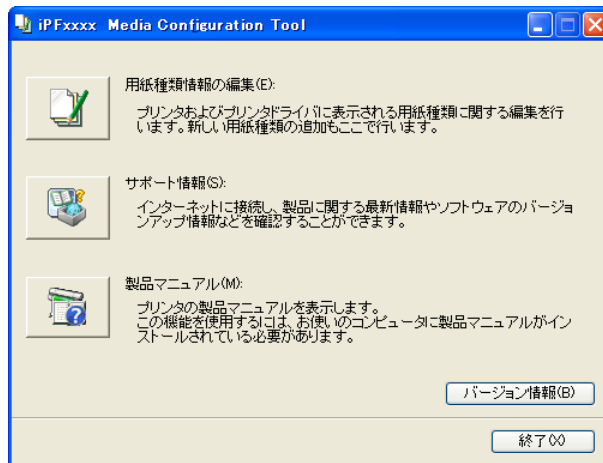
5 [インストール準備の完了]画面が表示されます。
[インストール]ボタンをクリックします。

6 必要なファイルがお使いのコンピュータにコピーされ、[InstallShield Wizard の完了]画面が表示されます。
[完了]ボタンをクリックします。

Media Configuration Tool のインストールが完了します。

Media Configuration Tool の起動方法

Media Configuration Tool を起動する手順は、以下のとおりです。
[スタート]メニューから[すべてのプログラム]>[iPFxxxx Media Configuration Tool]>[iPFxxxx Media Configuration Tool]を選択します。
Media Configuration Tool メインウィンドウが表示されます。

Media Configuration Tool メインウィンドウ

ここでは、Media Configuration Tool メインウィンドウについて説明しています。

- Media Configuration Tool メインウィンドウを開く手順について詳しくは、「Media Configuration Tool の起動方法」を参照してください。 →P.276

- **[用紙種類情報の編集]ボタン**

  ボタンをクリックすると、[用紙種類の編集]ダイアログボックスが表示され、用紙の種類を編集することができます。
  [用紙種類情報の編集]について詳しくは、「用紙種類情報を編集する」を参照してください。 →P.277

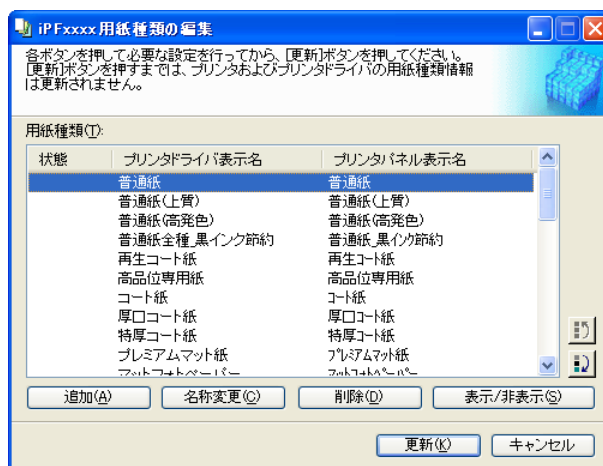
- **[サポート情報]ボタン**

  ボタンをクリックすると、インターネットに接続し、製品に関する最新情報やソフトウェアのバージョンアップ情報などを確認することができます。

- **[製品マニュアル]ボタン**

  ボタンをクリックすると、プリンタの製品マニュアルを表示します。この機能を使用するには、お使いのコンピュータに製品マニュアルがインストールされている必要があります。

用紙種類情報を編集する

Media Configuration Tool メインウィンドウの[用紙種類情報の編集]ボタンをクリックすると、[用紙種類の編集]ダイアログボックスが表示されます。

この画面では、以下の操作を行うことができます。

- 用紙種類の追加 →P.278
- 用紙名称の変更 →P.280
- 追加した用紙種類の削除 →P.281

- 用紙種類の表示/非表示を切り替える →P.282
- 用紙種類の表示順序を変更する →P.283

メモ

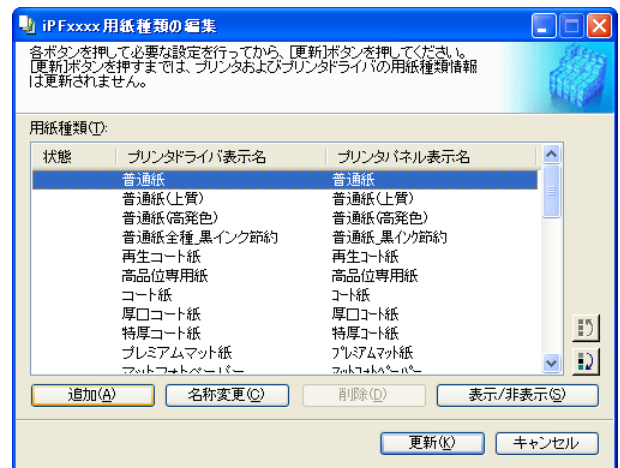
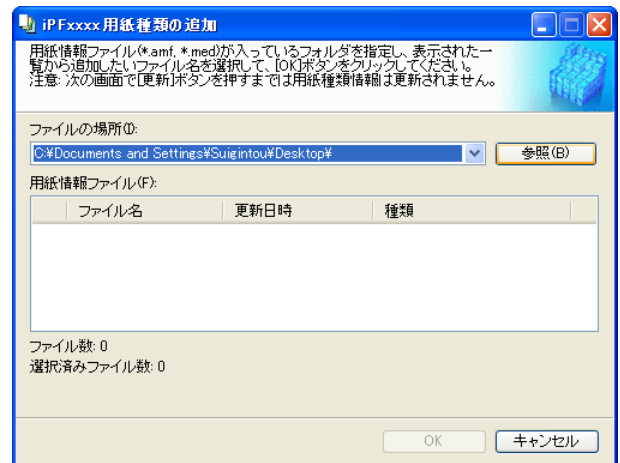
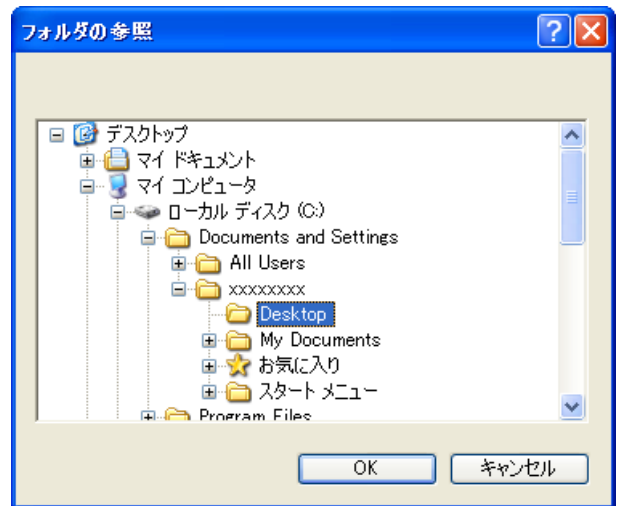
- 削除、表示/非表示、表示順の変更は条件によって行うことができない場合があります。

用紙種類の追加

キヤノンよりリリースされた用紙情報ファイル(Media Information File / .amf ファイル)をプリンタの操作パネルおよびプリンタドライバに登録します。

重要

- 用紙種類の追加を行っている間は、対象のプリンタで印刷を実行しないでください。
- 用紙情報ファイルを登録後に、プリンタドライバまたは Media Configuration Tool を再インストールすると、登録済みの用紙情報ファイルは削除されることがあります。この場合は、まず最新の Media Configuration Tool をダウンロードしてインストールし、続いて必要な用紙情報ファイルをダウンロードして登録してください。

1 [用紙種類の編集]ダイアログボックスを開き、[追加]ボタンをクリックします。

2 [用紙種類の追加]ダイアログボックスが表示されます。
[参照]ボタンをクリックします。

3 [フォルダの参照]ダイアログボックスが表示されます。
用紙情報ファイル(.amf ファイル)が含まれるフォルダを選択して、[OK]ボタンをクリックします。

4 [用紙種類の追加]ダイアログボックスの[用紙情報ファイル]に[フォルダの参照]ダイアログボックスで選択したフォルダ内の用紙情報ファイル名が表示されます。追加したい用紙のチェックボックスにチェックマークを付け、[OK]ボタンをクリックします。

重要

- [用紙情報ファイル]の[種類]に[基本用紙情報ファイル]と表示されている場合は、用紙種類の表示順序や用紙種類の表示/非表示の設定が初期化されます。基本用紙情報ファイルの追加を行った後、再度設定しなおしてください。

5 確認画面が表示されます。[OK]ボタンをクリックします。

6 [用紙種類の編集]ダイアログボックスの[更新]ボタンをクリックします。

[用紙種類の更新]ウィザードが開始されます。[用紙種類の更新]ウィザードで用紙情報を更新する手順について詳しくは、「用紙の種類を更新する」を参照してください。→P.284

重要

- 用紙種類の更新は必ず行ってください。更新を行わないとプリンタおよびプリンタドライバに変更が反映されません。

用紙名称の変更

1 [用紙種類の編集]ダイアログボックスを開きます。

2 [用紙種類]のリストから、名称を変更したい用紙を選択します。
[名称変更]ボタンをクリックします。

3 [用紙種類名称の変更]ダイアログボックスが表示されます。
[プリンタドライバ表示名]および[プリンタパネル表示名]を編集して、[OK]ボタンをクリックします。

メモ

- [元に戻す]ボタンをクリックすると、初期状態の名称が設定されます。

4 [用紙種類の編集]ダイアログボックスの[更新]ボタンをクリックします。

[用紙種類の更新]ウィザードが開始されます。[用紙種類の更新]ウィザードで用紙情報を更新する手順について詳しくは、「用紙の種類を更新する」を参照してください。→P.284

重要

- 用紙種類の更新は必ず行ってください。更新を行わないとプリンタおよびプリンタドライバに変更が反映されません。

追加した用紙種類の削除

1 [用紙種類の編集]ダイアログボックスを開きます。

2 [用紙種類]のリストから、削除したい用紙を選択します。
[削除]ボタンをクリックします。

メモ

- [用紙種類]のリストの[状態]に[追加]と表示されている用紙のみ削除できます。

3 [用紙種類の編集]ダイアログボックスの[更新]ボタンをクリックします。

[用紙種類の更新]ウィザードが開始されます。[用紙種類の更新]ウィザードで用紙情報を更新する手順について詳しくは、「用紙の種類を更新する」を参照してください。→P.284

重要

- 用紙種類の更新は必ず行ってください。更新を行わないとプリンタおよびプリンタドライバに変更が反映されません。

用紙種類の表示/非表示を切り替える

1 [用紙種類の編集]ダイアログボックスを開きます。

2 [用紙種類]のリストから、表示/非表示にしたい用紙を選択します。
[表示/非表示]ボタンをクリックします。
選択した用紙の表示と非表示が切り替わります。

メモ

- 非表示の用紙は、[用紙種類]のリスト上でグレーアウト表示されます。
- [表示/非表示]ボタンをクリックするごとに、プリンタドライバとプリンタパネルの両方表示→両方非表示→プリンタパネルのみ表示と切り替わります。

3 [用紙種類の編集]ダイアログボックスの[更新]ボタンをクリックします。

[用紙種類の更新]ウィザードが開始されます。[用紙種類の更新]ウィザードで用紙情報を更新する手順について詳しくは、「用紙の種類を更新する」を参照してください。→P.284

重要

- 用紙種類の更新は必ず行ってください。更新を行わないとプリンタドライバに変更が反映されません。

用紙種類の表示順序を変更する

1 [用紙種類の編集]ダイアログボックスを開きます。

2 [用紙種類]のリストから、表示順を変更したい用紙を選択して、表示順変更ボタン(または)をクリックします。
選択した行が一行ずつ上または下に移動します。

3 [用紙種類の編集]ダイアログボックスの[更新]ボタンをクリックします。

[用紙種類の更新]ウィザードが開始されます。[用紙種類の更新]ウィザードで用紙情報を更新する手順について詳しくは、「用紙の種類を更新する」を参照してください。→P.284

重要

- 用紙種類の更新は必ず行ってください。更新を行わないとプリンタおよびプリンタドライバに変更が反映されません。

用紙の種類を更新する

[用紙種類の編集]ダイアログボックスの[更新]ボタンをクリックすると、[用紙種類の更新]ウィザードが開始されます。このウィザードでは、お使いのプリンタとプリンタドライバの用紙情報を新しい情報に置き換えることができます。
[用紙種類の更新]ウィザードで用紙情報を更新する手順は、以下のようになります。

重要

- ここでの手順は、更新された Media Configuration Tool もしくは、更新対象の用紙情報ファイルが入手されていることを前提としています。

1 [用紙種類の更新 - プリンタの選択]ダイアログボックスの[プリンタ]に用紙情報を更新するプリンタが自動的に表示されていることを確認し、[次へ]ボタンをクリックします。

メモ

- プリンタドライバがインストールされていない場合は、以下のようなダイアログボックスが表示されます。更新対象のプリンタの接続方法を選択します。

2 プリンタとの通信が開始され、以下のようなダイアログボックスが表示されます。

重要

- プリンタと通信中は、印刷を実行したり、電源を切ったりしないでください。
- プリンタと通信できない場合には、以下の警告メッセージが表示されます。

3 プリンタとの通信が終了すると、画面表示が、[用紙種類の更新 - 更新対象の確認]ダイアログボックスに切り替わります。プリンタから取得した情報を確認します。
確認した内容で更新する場合には、[実行]ボタンをクリックします。

重要

- これから更新するデータと異なったデータがプリンタに設定されている場合、選択した用紙情報ファイルで更新されます。プリンタに設定されているデータを残したい場合は、[キャンセル]ボタンをクリックしてください。

4 プリンタとの通信が開始され、以下のようなダイアログボックスが表示されます。

重要

- プリンタと通信中は、印刷を実行したり、電源を切ったりしないでください。
- プリンタと通信できない場合には、以下の警告メッセージが表示されます。

正常に用紙情報ファイルが更新されると、画面表示が[用紙種類の更新 - 完了]ダイアログボックスに切り替わります。[完了]ボタンをクリックして、[用紙種類の更新]ウィザードを閉じます。

プリンタドライバ

プリンタドライバの設定項目 288

プリンタドライバで用紙を指定する 289
印刷の設定を確認する 290
印刷前にプレビューでレイアウトを確認する 291
お気に入りの設定で印刷する 292

アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く 292

基本設定パネル 293
　プリンタの用紙情報ダイアログボックス 295
　用紙の詳細設定ダイアログボックス 296
　印刷目的の設定確認ダイアログボックス 297
　マッチングパネル 297
　色設定パネル(カラー) 299
　調整の対象ダイアログボックス(カラー) 300
　色設定パネル(モノクロ) 300
　調整の対象ダイアログボックス(モノクロ) 301
ページ加工パネル 302
ユーティリティパネル 303
付加設定パネル 304
サポートパネル 304

プリンタドライバの設定項目

Mac OS X 版プリンタドライバの開き方については、以下を参照してください。

- アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.292

Mac OS X 版プリンタドライバの設定項目については、以下を参照してください。

- 基本設定パネル →P.293
  用紙の種類、カラー、印刷画質、印刷プレビューについて設定できます。目的に応じて簡単に印刷の設定が行える[目的設定モード]と、より細かな設定を自由に行える[詳細設定モード]があります。
  - 用紙の詳細設定ダイアログボックス →P.296
  - 印刷目的の設定確認ダイアログボックス →P.297
  - 色設定パネル(カラー) →P.299
  - 色設定パネル(モノクロ) →P.300
- ページ加工パネル →P.302
  給紙方法、印刷する用紙サイズ、原稿の拡大/縮小率、フチなし印刷、印刷の向きについて設定できます。
- ユーティリティパネル →P.303
  プリントヘッドや用紙送りに関するメンテナンス、[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]に関する設定を行えます。
- 付加設定パネル →P.304
  プリンタへの印刷ジョブの送信方法について設定できます。
- サポートパネル →P.304
  サポート情報や製品マニュアルを表示できます。

[imagePROGRAF Free Layout]という機能で、アプリケーションソフトで作成した原稿を 1 ページに配置して印刷することができます。詳細は、Free Layout →P.328 を参照してください。
[imagePROGRAF Preview]という機能で、印刷前にレイアウトを確認したりプレビュー画面を見ながらレイアウトや拡大率などの設定を変更することができます。詳細は、Preview →P.306 を参照してください。
[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]という機能で、[Color imageRUNNER]でスキャンした原稿を、自動的に拡大して印刷することができます。詳細は、Color imageRUNNER 連携拡大コピー →P.353 を参照してください。

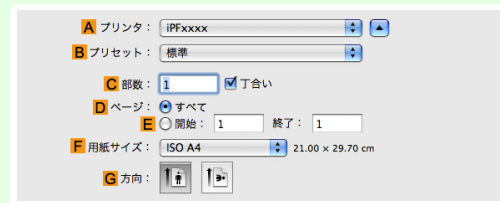
プリンタドライバで用紙を指定する

用紙を交換した場合にプリンタドライバでは以下の設定が必要です。

1 B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

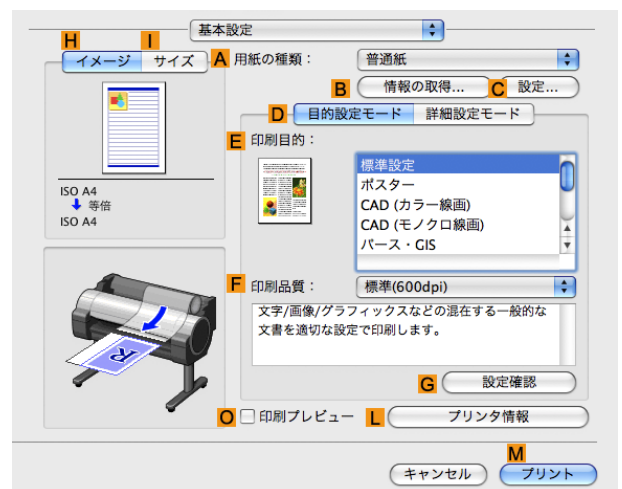
メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
  アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

  表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2 A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3 F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズを選択します。

4 [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5 [基本設定]パネルを表示します。

6 A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類を選択します。

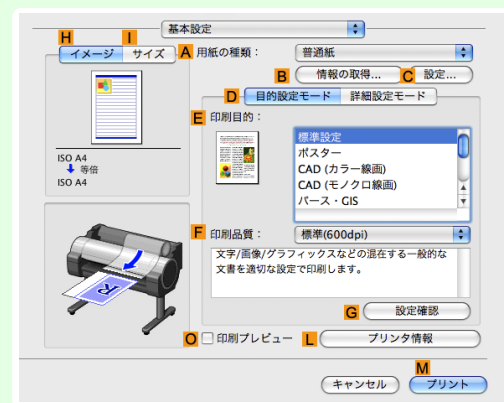
7 [ページ加工]パネルを表示します。

8 **A**[給紙方法]の一覧から給紙方法を選択します。

9 **A**[給紙方法]で[手差し]を選択した場合は、**C**[原稿サイズ]で、[ページ設定]で選択したサイズが表示されていることを確認します。**A**[給紙方法]で[ロール紙]を選択した場合は、**B**[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されていることを確認します。

メモ

- **B**[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの **L** [プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

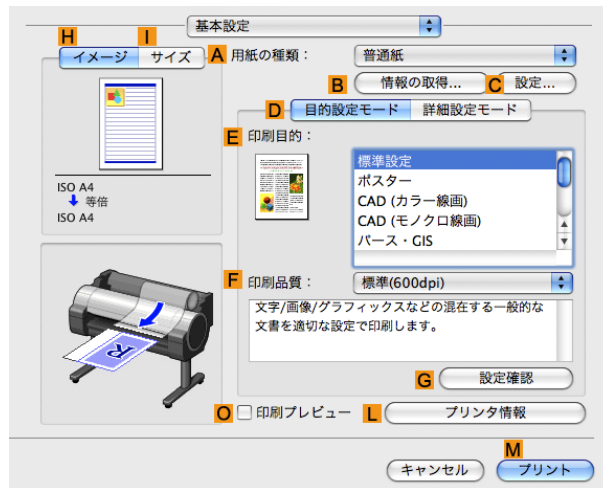
メモ

- プリンタドライバでは、印刷の目的に合わせていろいろな設定ができます。
  設定できる印刷条件については、「プリンタドライバの設定項目 →P.288 」を参照してください。

印刷の設定を確認する

設定した印刷条件を確認するには、以下の 2 種類の方法があります。

- 設定プレビューで確認する
- 印刷プレビューで確認する

設定プレビューで確認する

設定プレビューは、[基本設定]パネル、[ページ加工]パネル、[ユーティリティ]パネル、[付加設定]パネルの左側の部分に表示されます。原稿サイズ、印刷の向き、給紙方法など、現在の設定状況をイラストや数値で確認できます。

表示部分	表示される情報
H[イメージ]タブをクリックして表示されるパネル	上部には、原稿のサイズ、用紙のサイズ、印刷の向き、ページレイアウト、フチなし印刷、カラーモードなどの設定状況がイラストで表示されます。 その下には、原稿サイズ、出力用紙サイズ、拡大/縮小の方法、倍率などが表示されます。
I[サイズ]タブをクリックして表示されるパネル	用紙サイズの詳細が数値で表示されます。
プリンタと用紙のイラストのパネル	給紙方法、印刷の向き、フチなし印刷などの設定状況がイラストで表示されます。

メモ

- [目的設定モード]で選択した[印刷目的]の設定値を確認したい場合は、[基本設定]パネルで G[設定確認]をクリックし、[設定確認]ダイアログボックスを開きます。

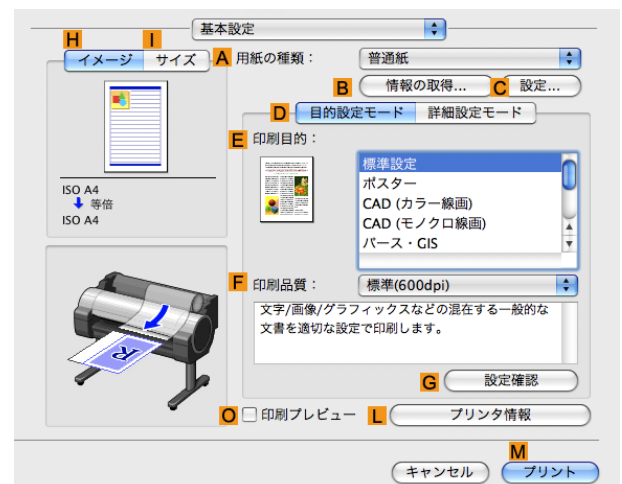
印刷プレビューで確認する

原稿の印刷イメージそのものを確認できます。
印刷する前に印刷イメージを確認できるため、印刷の失敗を未然に防止できます。
印刷プレビューの詳細については、「印刷前にプレビューでレイアウトを確認する →P.142」を参照してください。

印刷前にプレビューでレイアウトを確認する

ここでは、[Canon imagePROGRAF Preview]という機能で、印刷する前にレイアウトを確認する手順を説明します。

1 アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

2 [基本設定]パネルを表示します。

3 O[印刷プレビュー]チェックボックスをオンにします。

4 M[プリント]をクリックします。

5 [Canon imagePROGRAF Preview]のウィンドウが開きます。

6 [Canon imagePROGRAF Preview]のウィンドウで、レイアウトの確認や設定の変更を行います。

7 [Canon imagePROGRAF Preview]のメニューから印刷します。

メモ

- [imagePROGRAF Preview]機能についての詳細は、Preview →P.306 を参照してください。

お気に入りの設定で印刷する

Mac OS X では、[プリセット]機能を使用してお気に入りの設定で印刷できます。

メモ

- 印刷ダイアログボックスの[プリセット]の一覧から[別名で保存]をクリックすることで、現在の印刷条件の設定を保存できます。これは OS がサポートする機能です。詳細については、Mac OS のマニュアルを参照してください。

アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く

1 アプリケーションソフトの[ファイル]メニューから[プリント]を選択し、印刷条件を設定するダイアログボックスを開きます。

メモ

- このダイアログボックスで、印刷に使用するプリンタを選択したり、印刷するページや印刷部数などの基本的な印刷条件を設定できます。

2 [プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3 [プリント]をクリックして印刷を開始します。
拡大/縮小印刷やフチなし印刷など、さまざまな印刷の設定は、図のように、ダイアログボックスのパネルを切り替えて行います。

基本設定パネル

[基本設定]パネルでは、以下の項目を設定できます。設定する値の詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

メモ

- [基本設定]パネルは、目的に応じて簡単に印刷の設定が行える[目的設定モード]と、より細かな設定を自由に行える[詳細設定モード]を切り替えて使用することができます。

共通項目

- **A**[用紙の種類]

用紙の種類を選択できます。
プリンタに対応する用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類 →P.388」参照)

- **B**[情報の取得]

[プリンタの用紙情報]を表示します。給紙方法を選択し、プリンタドライバの給紙方法、用紙の種類およびロール紙幅に反映させることができます。

  - プリンタの用紙情報ダイアログボックス →P.295

- **C**[設定]

[用紙の詳細設定]を表示します。インクの乾燥時間など、用紙の種類に合わせた印刷の方法を設定できます。

  - 用紙の詳細設定ダイアログボックス →P.296

- **O**[印刷プレビュー]

オンにすると、印刷前に[imagePROGRAF Preview]が起動します。
イメージを画面上で確認してから印刷できます。

重要

- [ページ加工]パネルの[フリーレイアウト]がオンになっている場合は[フリーレイアウト]が無効になります。

- 印刷前にプレビューでレイアウトを確認する →P.142

- **L**[プリンタ情報]

[プリンタ情報]を表示します。インクの残量などのプリンタの情報を表示できます。

[目的設定モード]を選択した場合

- **E**[印刷目的]

印刷物に適した設定を選択できます。

- 写真やイラストを印刷する →P.31
- 線画や文字を印刷する →P.42
- オフィスの文書を印刷する →P.36

- **F**[印刷品質]

印刷品質を選択できます。

- **G**[設定確認]

クリックすると[設定確認]ダイアログボックスが開き、**E**[印刷目的]の一覧から選択した項目の設定値を確認したり、**E**[印刷目的]の一覧に表示される項目の順番を変更できます。

- 印刷目的の設定確認ダイアログボックス →P.297

[詳細設定モード]を選択した場合

- **E**[優先画質]

印刷結果で優先する要素を選択できます。

- 印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する →P.56

- **F**[印刷品質]

  印刷品質を選択できます。

  - 印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する →P.56

- **H**[カラーモード]

  カラーモードを選択できます。

  - 印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する →P.56

- **I**[設定]

  クリックすると[色設定]ダイアログボックスが開き、色を詳細に設定できます。

  - プリンタドライバで色を調整して印刷する →P.50

- **J**[片方向印刷]

  チェックボックスをオンにすると、罫線ずれなどを防ぎ、印刷品質が向上します。ただし、印刷スピードは遅くなります。

- **Q**[細線強調]

  オンにすると、細い線をくっきりと印刷します。

- **P**[文字鮮鋭化]

  オンにすると、文字を鮮明に印刷します。

- **K**[印刷ムラ低減]

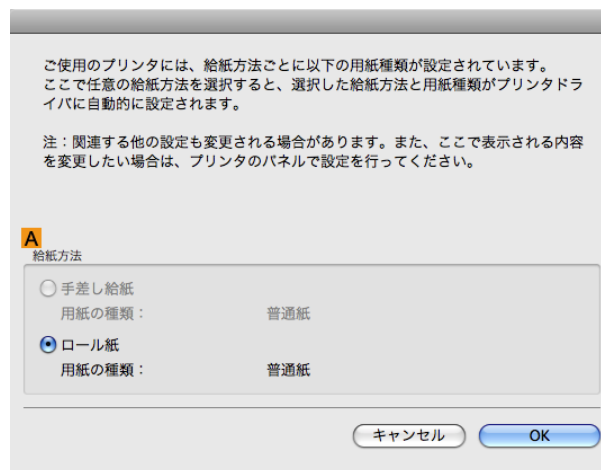
  チェックボックスをオンにすると、2 パスで印刷し、印刷ムラを改善できます。
  [用紙の種類]で普通紙、[優先画質]で[オフィス文書]を選択すると表示されます

- **N**[エコノミー印刷]

  チェックボックスをオンにすると、インクの消費量を抑えて印刷します。ただし、通常の印刷よりも印刷品位は下がります。
  図面を確認のために印刷する場合などにインクを節約したいときにオンにしてください。この機能は、[用紙の種類]、[印刷品質]の設定によっては選択できない場合があります。

プリンタの用紙情報ダイアログボックス

[プリンタの用紙情報]ダイアログボックスでは、プリンタの用紙情報を取得して、プリンタドライバの用紙の種類を設定することができます。

メモ

- [プリンタの用紙情報]ダイアログボックスは、[基本設定]パネルで[用紙の種類]の[情報の取得]をクリックすると表示できます。(「基本設定パネル →P.293 」参照)

- **A**[給紙方法]

  プリンタで使用可能な[給紙方法]とセットされている用紙の種類が表示されます。[給紙方法]を選択して[OK]をクリックすると、プリンタドライバに用紙の種類が設定されます。

用紙の詳細設定ダイアログボックス

[用紙の詳細設定]ダイアログボックスでは、以下の項目を設定できます。設定する値の詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

メモ

- [用紙の詳細設定]ダイアログボックスは、[基本設定]パネルで[用紙の種類]の[設定]をクリックすると表示できます。(「基本設定パネル →P.293 」参照)

- **A**[用紙の種類]

用紙の種類を選択できます。
プリンタに対応する用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類 →P.388 」参照)

- **B**[インク乾燥時間]

インクを乾燥させるための待ち時間を設定できます。[インク乾燥時間]の設定は、ロール紙のみ有効となります。

  - (「ロール紙のインク乾燥時間を設定する →P.404 」参照)

- **C**[ページ間]

１ページ分を印刷してから、用紙を排紙するまでの待ち時間を設定できます。

- **D**[スキャン間]

ページ内で１ラインを印刷してから、次の１ラインを印刷するまでの時間を設定できます。

- **E**[ロール紙の安全余白]

カールの強い用紙をプラテンにしっかりと吸着させるために、用紙の先端に確保する余白の長さを指定することができます。

- **F**[先端余白]

ロール紙の[先端余白]の長さを設定できます。

- **G**[カットスピード]

オートカットのスピードを選択できます。オートカットできれいにカットできないときに調整できます。

- **H**[オートカット]

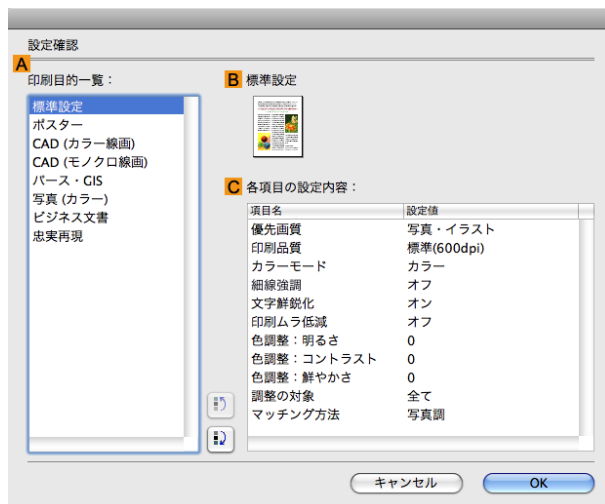
オートカットの有効/無効やカットラインの印刷を設定できます。一覧からオートカットの[パネル優先]/[なし]や[カットラインを印刷]を設定します。

- **J**[鏡像]

鏡像印刷を行うかどうかを選択できます。クリックしてチェックボックスをオンにすると、文書や画像を鏡に映したように左右を反転させて印刷します。

印刷目的の設定確認ダイアログボックス

[設定確認]ダイアログボックスでは、選択した印刷目的の詳細を確認することができます。

メモ

- [設定確認]ダイアログボックスは、[基本設定]パネルで[印刷目的]の[設定確認]をクリックすると表示できます。(「基本設定パネル →P.293 」参照)

- **A**[印刷目的一覧]
  [印刷目的]のすべての項目が表示されます。
- **B**[名称]
  [印刷目的一覧]から選択した項目の名称とアイコンが表示されます。
- **C**[各項目の設定内容]
  [印刷目的]の一覧から選択した項目の細かな設定値を確認することができます。

マッチングパネル

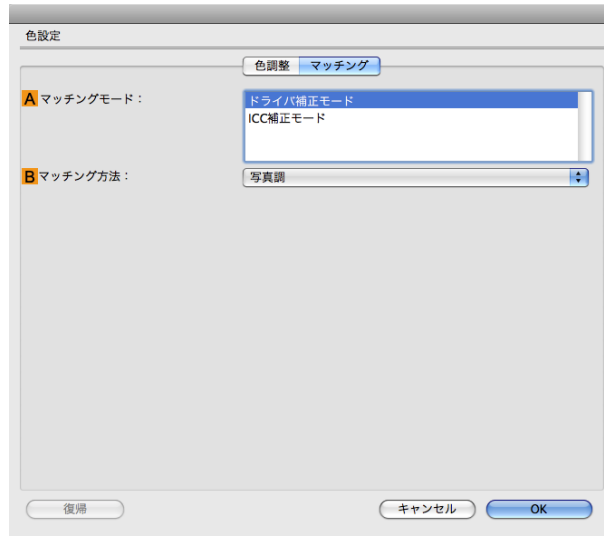
[マッチング]パネルでは、異なるデバイス間で色を合わせるカラーマッチングを設定することができます。

重要

- [カラーモード]で[色補正なし]が選択されているときは[マッチング]パネルは表示されません。

メモ

- [マッチング]パネルは、[基本設定]パネルで[詳細設定モード]の[カラーモード]の[色設定]をクリックし、[マッチング]タブをクリックすると表示できます。(「基本設定パネル →P.293 」参照)

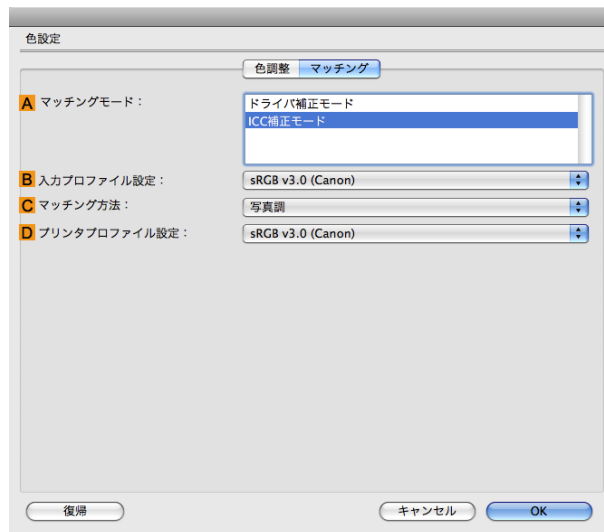
[ドライバ補正モード]

- **A**[マッチングモード]

  使用するカラーマッチングを選択できます。

- **B**[マッチング方法]

  印刷する内容に合わせてカラーマッチング方法を選択できます。**B**[マッチング方法]は、選択した **A**[マッチングモード]によって設定できる項目が異なります。

[ICC 補正モード]

A[マッチングモード]の一覧から[ICC 補正モード]を選択したときは、以下の項目を設定できます。

メモ

- [マッチング]パネルは、[基本設定]パネルで[詳細設定モード]の[カラーモード]の[色設定]をクリックし、[マッチング]タブをクリックすると表示できます。(「基本設定パネル →P.293 」参照)

- **A**[マッチングモード]

  使用するカラーマッチングを選択できます。

- **B**[入力プロファイル設定]

  [入力プロファイル]を選択することができます。

  選択されている **A**[マッチングモード]によって選択できる項目が異なります。

- **C**[マッチング方法]

  C[マッチング方法]を選択することができます。

  選択されている **A**[マッチングモード]によって選択できる項目が異なります。

• D[プリンタプロファイル設定]

プリンタのプロファイルを設定することができます。

メモ

• 各選択項目の詳細については、プリンタドライバで色を調整して印刷する →P.50 を参照してください。

色設定パネル(カラー)

色は、基本的にアプリケーションソフトで調整されます。印刷結果が思いどおりの色調にならない場合は、プリンタドライバでカラーを調整することもできます。
[色調整]パネルでは、印刷結果が思いどおりの色調にならない場合に調整することができます。

メモ

• [色調整]パネルは、[基本設定]パネルで[詳細設定モード]の[カラーモード]の[色設定]をクリックすると表示できます。(「基本設定パネル →P.293 」参照)
• 各選択項目の詳細については、「プリンタドライバで色を調整して印刷する →P.50 」を参照してください。

• A[サンプルの種類]

サンプル画像を[標準]、[人物]、[風景]、[グラフィックス]から選択することができます。

• B[カラーパターン表示]

チェックボックスをオンにすると、カラーパターンを表示します。

• C[サンプルへ適用]

チェックボックスをオンにすると、変更した設定がサンプル画像に反映されます。

• D[シアン]/E[マゼンタ]/F[イエロー]

各色の強弱を調整することで色合いを補正できます。

• G[グレー色調]

グレーの色調を調整できます。[冷黒]にすると青みがかった色合いになり、[温黒]にすると赤みがかった色合いになります。

• H[明るさ]

画像全体の明るさを調整することができます。印刷結果が元の画像(スキャナで読み込む前の写真やコンピュータ画面上で作成されたグラフィックスなど)に比べて明るいときや暗いときに、明るさを調整できます。

• I[コントラスト]

最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを相対的に調整できます。[コントラスト]を強くするとメリハリが付き[コントラスト]を弱くするとやわらかくなります。

• J[鮮やかさ]

色の濃さを調整できます。[鮮やかさ]の設定を強くするとビビッドな色合いになり、[鮮やかさ]を弱くするとくすんだ色合いになります。

- **K[調整の対象]**

  [調整の対象]ダイアログボックスが表示され、色を調整する対象を選択できます。

  - 調整の対象ダイアログボックス(カラー) →P.300

調整の対象ダイアログボックス(カラー)

[調整の対象]ダイアログボックスでは、色の調整をどの種類の印刷ジョブに対して行うかを選択します。1 つの原稿中にイメージ部分、グラフィックス部分、テキスト部分がある場合に、それぞれに対して調整を行うかどうかを選択できます。

メモ

- [調整の対象]ダイアログボックスは、[色調整]パネルの[調整の対象]をクリックすると表示できます。

- **A[イメージ]**

  チェックボックスをオンにすると、写真などのイメージ部分に対して調整を適用できます。

- **B[グラフィックス]**

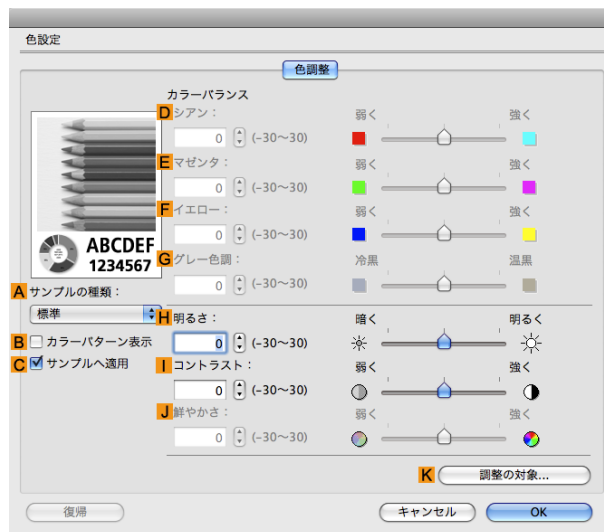
  チェックボックスをオンにすると、線や円などのグラフィックス部分に対して調整を適用できます。

- **C[テキスト]**

  チェックボックスをオンにすると、テキスト部分に対して調整を適用できます。

色設定パネル(モノクロ)

モノクロ用の[色調整]パネルでは、明るさとコントラストを調整することができます。

メモ

- [色調整]パネルは、[基本設定]パネルで[詳細設定モード]の[色設定]をクリックすると表示できます。(「基本設定パネル →P.293 」参照)
- 各選択項目の詳細については、「プリンタドライバで色を調整して印刷する →P.50 」を参照してください。

- **A**[サンプルの種類]
  サンプル画像を[標準]、[人物]、[風景]、[グラフィックス]から選択することができます。
- **B**[カラーパターン表示]
  チェックボックスをオンにすると、カラーパターンを表示します。
- **C**[サンプルへ適用]
  チェックボックスをオンにすると、変更した設定がサンプル画像に反映されます。
- **D**[シアン]/**E**[マゼンタ]/**F**[イエロー]
  設定できません。
- **G**[グレー色調]
  設定できません。
- **H**[明るさ]
  画像全体の明るさを調整することができます。印刷結果が元の画像(スキャナで読み込む前の写真やコンピュータ画面上で作成されたグラフィックスなど)に比べて明るいときや暗いときに、明るさを調整できます。
- **I**[コントラスト]
  最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを相対的に調整できます。**I**[コントラスト]を強くするとメリハリが付き **I**[コントラスト]を弱くするとやわらかくなります。
- **J**[鮮やかさ]
  設定できません。
- **K**[調整の対象]
  [調整の対象]ダイアログボックスが表示され、色を調整する対象を選択できます。
  - 調整の対象ダイアログボックス(モノクロ) →P.301

調整の対象ダイアログボックス(モノクロ)

[調整の対象]ダイアログボックスでは、色の調整をどの種類の印刷ジョブに対して行うかを選択します。1 つの原稿中にイメージ部分、グラフィックス部分、テキスト部分がある場合に、それぞれに対して調整を行うかどうかを選択できます。

メモ

- [調整の対象]ダイアログボックスは、[色調整]パネルの[調整の対象]をクリックすると表示できます。

- **A**[イメージ]

  チェックボックスをオンにすると、写真などのイメージ部分に対して調整を適用できます。

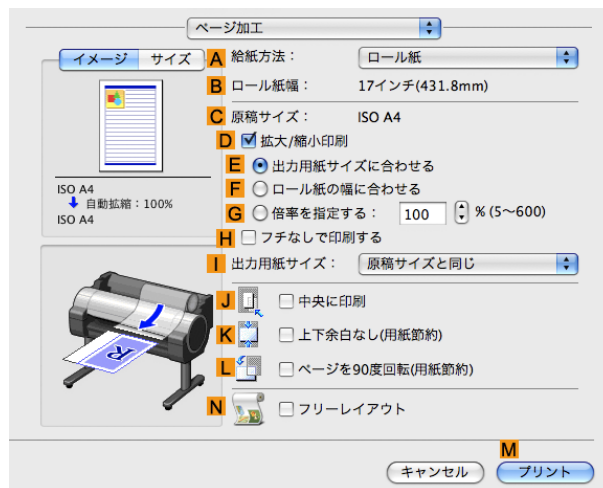
- **B**[グラフィックス]

  チェックボックスをオンにすると、線や円などのグラフィックス部分に対して調整を適用できます。

- **C**[テキスト]

  チェックボックスをオンにすると、テキスト部分に対して調整を適用できます。

ページ加工パネル

[ページ加工]パネルでは、以下の項目を設定できます。設定する値の詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

- **A**[給紙方法]

  用紙の給紙方法を選択できます。

  [基本設定]パネルの **A**[用紙の種類]で選択した項目によって、表示される項目が異なります。

- **B**[ロール紙幅]

  プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されます。プリンタがロール紙の幅を認識できない場合は、[不明]と表示されます。

- **C**[原稿サイズ]

  アプリケーションソフトのページ設定で設定されている原稿のサイズが表示されます。

  アプリケーションソフトで選択できる原稿のサイズについては、「用紙のサイズ →P.388 」を参照してください。

- **D**[拡大/縮小印刷]

  チェックボックスをオンにすると、以下の項目を選択できます。

  - 用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する →P.62
  - ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する →P.66
  - 指定した倍率で拡大/縮小して印刷する →P.70

- **E**[出力用紙サイズに合わせる]

  原稿を、印刷する用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷できます。

- **F**[ロール紙の幅に合わせる]

  原稿を、ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷できます。

- **G**[倍率を指定する]

  原稿を、指定した倍率で拡大/縮小して印刷できます。[5〜600]の値を入力できます。

- **H**[フチなしで印刷する]

  A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択すると有効になります。

  オンにすると、印刷する用紙のサイズや幅に合わせて、フチなしで印刷できます。

- 用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する →P.85
- ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する →P.90
- 原寸大のフチなしで印刷する →P.79

- **I**[出力用紙サイズ]

印刷する用紙のサイズを選択できます。
[すべての出力用紙サイズを表示]をクリックすると、選択可能な用紙のサイズの一覧が表示されます。
選択できる用紙のサイズについては、「用紙のサイズ →P.388 」を参照してください。

- **J**[中央に印刷]

チェックボックスをオンにすると、原稿を用紙の中央に印刷できます。

- 原稿をロール紙の中央に印刷する →P.124
- 原稿をカット紙の中央に印刷する →P.128

- **K**[上下余白なし(用紙節約)]

チェックボックスをオンにすると、原稿の上下に余白がある場合、余白を除いて印刷し、用紙を節約できます。

- 原稿の上下の余白分のロール紙を節約する →P.137

- **L**[ページを 90 度回転(用紙節約)]

チェックボックスをオンにすると、原稿を 90 度回転して印刷できます。

- 原稿を 90 度回転してロール紙を節約する →P.133

- **N**[フリーレイアウト]

チェックボックスをオンにすると、印刷前に[imagePROGRAF Free Layout]が起動します。
複数の原稿を並べて印刷することができます。

重要

- [基本設定]パネルの[印刷プレビュー]がオンになっている場合は[印刷プレビュー]が無効になります。

- 複数の原稿を並べて印刷する →P.109

ユーティリティパネル

[ユーティリティ]パネルでは、以下の項目を設定できます。

- **A**[設定]

クリックすると[プリンタ情報]ダイアログボックスが開き、以下のプリンタのメンテナンスを実行できます。

- ノズル(インクの噴き出し口)のクリーニング
- ヘッドの位置の調整
- 用紙の送り量の調整

- **B**［表示］

  クリックすると［imagePROGRAF Printmonitor］が起動し、印刷ジョブの状態などを表示できます。

- **C**［設定］

  クリックすると、Color imageRUNNER 連携拡大コピー（iR 連携）の設定を行うことができます。
  詳細は Color imageRUNNER 連携拡大コピー →P.353 を参照してください。

付加設定パネル

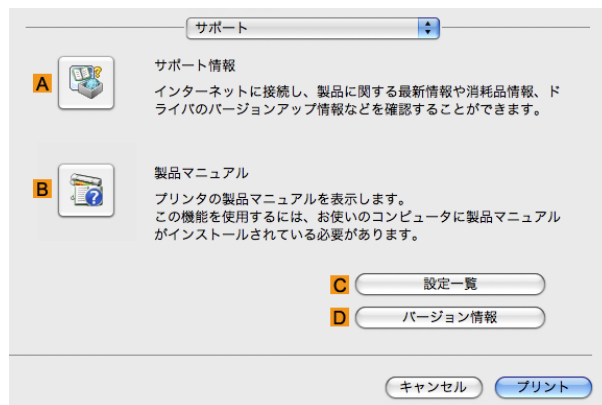
［付加設定］パネルでは、以下の項目を設定できます。

- **A**［データ送信方法］

  印刷ジョブをプリンタに送信する方法を選択できます。

  - **B**［印刷データをすぐにプリンタに送る］
  - **C**［全ページ分の印刷データを一括でプリンタに送る］

サポートパネル

［サポート］パネルでは、サポート情報や製品マニュアルを表示できます。

- **A**［サポート情報］

  クリックするとインターネットに接続し、製品に関する最新の情報や消耗品の情報、プリンタドライバのバージョンアップ情報などを確認することができます。

- **B**［製品マニュアル］

  クリックするとプリンタの製品マニュアルを表示します。この機能を使用するには、ご使用のコンピュータに製品マニュアルがインストールされている必要があります。

- **C**［設定一覧］

  設定をファイルとして保存することができます。クリックすると［ファイル保存］ダイアログボックスが開き、保存先を指定してファイルを保存します。

- **D** [バージョン情報]
  プリンタドライバのバージョン情報を表示できます。

Preview

Preview の特長 306
Preview の起動方法 306

Preview メインウィンドウ 307
用紙設定パネル 310
目的設定モード 311
詳細設定モード 313
出力設定パネル 314
色設定パネル 316
色調整 317
マッチング 319
ドライバ補正モード 320
ICC 補正モード 321
ColorSync モード 322

環境設定ダイアログボックス 322
ズームダイアログボックス 323
ページ移動ダイアログボックス 323

フチなしで印刷する 323
中央に印刷する 324
上下の余白を印刷しない 324
ページを 90 度回転して印刷する 325
用紙の幅に合わせて表示する 325
全体を表示する 326
実際のサイズで表示する 326
ページを移動する 327

Preview の特長

Preview の主な特長は以下のとおりです。

- アプリケーションソフトで作成した原稿を、プレビュー画面を見ながらレイアウトや拡大率などの設定を変更することができます。
- 設定を変更するだけでなく、変更した内容はただちにプレビュー画面に反映され、プレビュー画面をそのまま印刷することができます。

- 用紙の種類、画像のサイズ、用紙の詳細設定、プリンタ本体の設定によっては、実際の出力が、Preview 上の設定と異なる場合があります。

Preview の起動方法

Preview を起動する手順は、以下のとおりです。

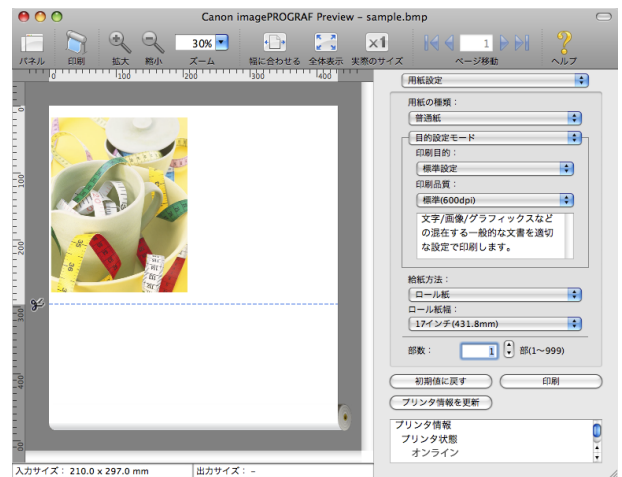
1. ご使用になるアプリケーションソフトを起動します。
2. アプリケーションソフトの[ファイル]メニューからプリンタの設定を行うメニューを選択し、[プリント]ダイアログボックスを開きます。

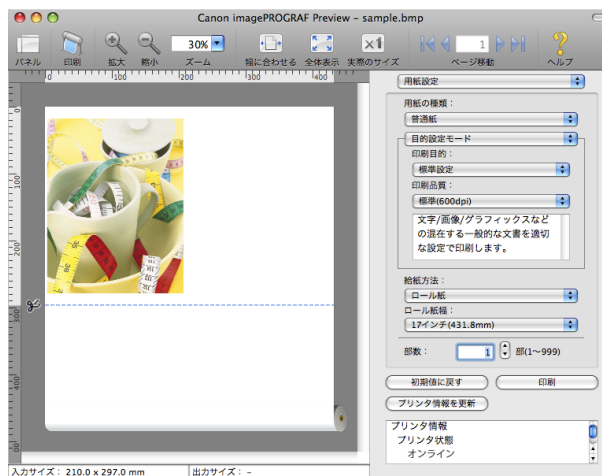
3. [基本設定]パネルの[印刷プレビュー]をクリックしてチェックマークを付けます。

4 [プリント]ダイアログボックスの[プリント]ボタンをクリックします。

メモ

- この画面の左下にはお使いのプリンタの絵が表示されます。

5 Preview メインウィンドウが表示されます。

Preview メインウィンドウ

Preview のメインウィンドウは、メニューバー、ツールバー、プレビューエリア、ダイアログエリア、パネルエリア、ステータスエリアで構成されています。

メモ

- ツールバーは[表示]メニューで表示/非表示を切り換えられます。

- **メニューバー**

操作に必要なメニューを選択できます。

imagePROGRAF Advanced Preview　ファイル　編集　表示　オブジェクト　ウインドウ　ヘルプ

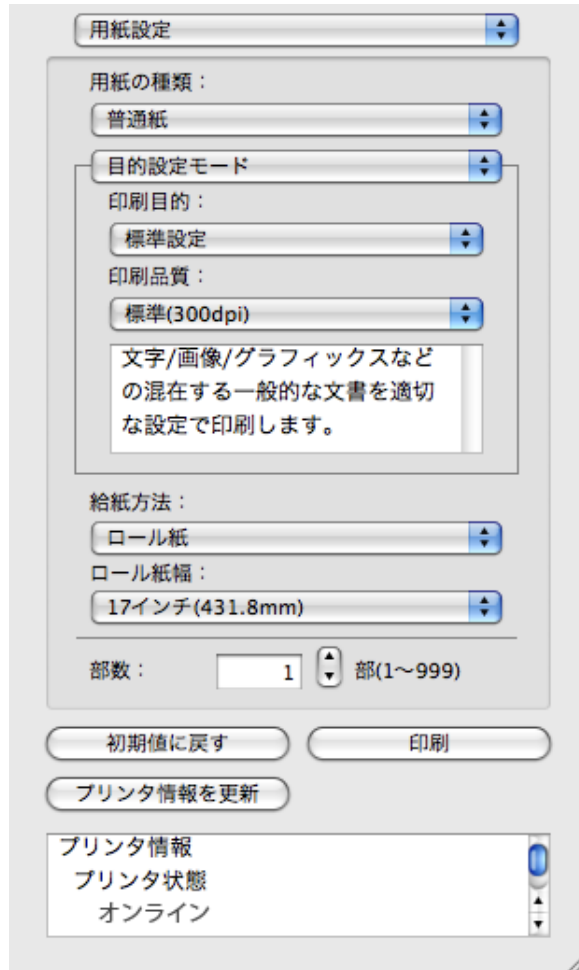
- **ツールバー**

主な操作のツールボタンを選択できます。

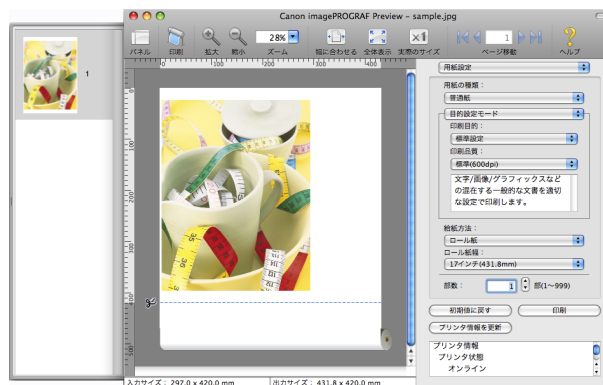
- **プレビューエリア**

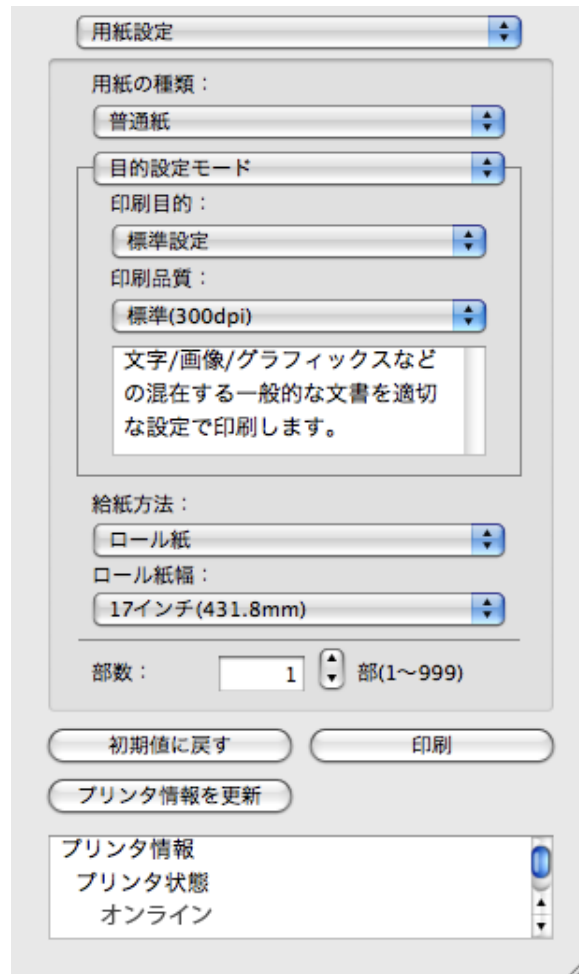
設定した内容がどのように反映されるのかを確認することができます。

- ダイアログエリア

印刷条件を設定したり、印刷を実行することができます。

- パネルエリア

原稿のサムネイルを表示することができます。

ツールバーの [パネル]をクリックすると、表示されます。
または[表示]メニューから[パネル]を選択します。

- ステータスエリア

[入力サイズ]と[出力サイズ]が表示されます。

入力サイズ： 420.0 x 594.0 mm 出力サイズ： 609.6 x 594.0 mm

用紙設定パネル

ダイアログエリアから[用紙設定]を選択すると、表示されます。

- [用紙の種類]

  用紙の種類を選択します。

  メモ
  - 必ず実際にプリンタにセットされている用紙の種類を選択してください。プリンタにセットしている用紙と選択した用紙が異なると、正しい印刷結果が得られないことがあります。

- [目的設定モード]/[詳細設定モード]

  最適な印刷の設定を行うために 2 つのモードがあります。
  各モードで設定できる項目については以下をご覧ください。

  - 目的設定モード →P.311
  - 詳細設定モード →P.313

- [給紙方法]

  給紙方法を選択します。
  給紙方法には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[手差し]	手差しによる印刷の場合に選びます。
[ロール紙]	ロール紙に印刷する場合に選びます。

- [ロール紙幅]

  プリンタ本体で設定されたロール紙の幅を選択します。

メモ
- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。

- [部数]

印刷する部数を半角数字で入力します。

メモ
- 入力できる数値は 1〜999 です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

- [初期値に戻す]ボタン

ボタンを押すと、Preview の起動時の設定に戻ります。

- [印刷]ボタン

ボタンを押すと、印刷が開始されます。

- [プリンタ情報を更新]ボタン

ボタンを押すと、プリンタ情報を取得できます。

目的設定モード

印刷目的のリストから原稿の内容に合った項目を選択するだけで、目的に応じた最適な設定の印刷を簡単に行うことができます。

- [印刷目的]

目的に応じた最適な設定の印刷を簡単に行うことができます。
[印刷目的]の各項目を選択すると、その項目に関するコメントがリストの下に表示されます。

設定項目	内容
[標準設定]	文字/画像/グラフィックスなどの混在する一般的な文書を適切な設定で印刷します。
[ビジネス文書]	配布資料など、一般的なオフィス文書を見やすく印刷します。
[ポスター]	ポスターに最適な設定です。彩度を高く、インパクトのある鮮やかな色で印刷します。
[CAD(カラー線画)]	CAD 図面などの細い線をくっきりと印刷します。
[CAD (モノクロ線画)]	CAD 図面を、黒い線でくっきりと印刷します。
[パース·GIS]	3D-CAD やパース、GIS などの地図を美しく印刷します。
[写真(カラー)]	デジタルカメラで撮影した写真画像を最適な設定で印刷します。
[忠実再現]	色差最小で印刷します。印刷結果が鮮やかすぎる場合やスキャナ画像を印刷する場合に適しています。
[ユーザ設定]	詳細設定モードで設定された内容で印刷します。

メモ

- 選択した用紙の種類によって選択できる設定が変わります。

- [印刷品質]

画質と印刷速度のバランスで印刷品質を選択できます。

印刷品質と解像度のレベルは以下の組み合わせで表示されます。

設定項目	内容
印刷品質	[最高]/[きれい]/[標準]/[速い]
解像度	[1200dpi]/[600dpi]/[300dpi]

メモ

- 選択した用紙の種類や優先画質によって選択できる設定が変わります。
- [きれい]は[速い]よりも印刷時間とインクの消費は多くなりますが、印刷品質は高くなります。
- [速い]は[きれい]よりも印刷時間とインクの消費は少なくなりますが、印刷品質は低くなります。

詳細設定モード

印刷品質やカラーモードなどの詳細な設定を自分で行うことできます。

- [優先画質]

印刷の内容に応じて適切な画質のモードを選択することができます。

設定項目	内容
[写真･イラスト]	写真画像やイラストに最適なモードで印刷します。
[線画･文字]	CAD 図面などの線画を印刷する場合、または壁新聞など文字が多い原稿を印刷する場合に最適なモードです。ただし、写真や塗り潰しの多い画像を印刷すると十分な品位が得られないことがあります。この時は[写真･イラスト]を選んでください。
[オフィス文書]	提案書や配布資料など、一般オフィス文書を見やすく印刷します。

メモ

- 選択した用紙の種類によって選択できる設定が変わります。

- [印刷品質]

画質と印刷速度のバランスで印刷品質を選択できます。

印刷品質と解像度のレベルは以下の組み合わせで表示されます。

設定項目	内容
印刷品質	[最高]/[きれい]/[標準]/[速い]
解像度	[1200dpi]/[600dpi]/[300dpi]

メモ

- 選択した用紙の種類や優先画質によって選択できる設定が変わります。
- [きれい]は[速い]よりも印刷時間とインクの消費は多くなりますが、印刷品質は高くなります。
- [速い]は[きれい]よりも印刷時間とインクの消費は少なくなりますが、印刷品質は低くなります。

出力設定パネル

ダイアログエリアから[出力設定]を選択すると、表示されます。

- [拡大／縮小印刷]

拡大／縮小印刷の方法を選択します。
拡大／縮小印刷には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[出力用紙サイズに合わせる]	出力する用紙サイズに合わせて、自動的に原稿全体を拡大／縮小して印刷します。[出力用紙サイズ]から実際に出力したいサイズを選びます。
[ロール紙の幅に合わせる]	原稿の幅がロール紙の幅に合うように、自動的に原稿全体を拡大／縮小して印刷します。 *[用紙設定]パネルの[ロール紙幅]に、プリンタに取り付けたロール紙の幅が正しく設定されていることを確認してください。 *[給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ表示されます。
[倍率を指定する]	指定した倍率で、原稿全体を拡大／縮小して印刷します。倍率を半角数字で入力してください。設定できる倍率は 5〜600%です。 *[▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。 *出力用紙サイズより大きくなるように倍率を指定することは可能ですが、用紙に入りきらない部分は印刷されません。 *[フチなしで印刷する]にチェックマークが付いている場合は、選択できません。

- [フチなしで印刷する]

特定の幅のロール紙、および特定の種類の用紙を用いた場合に四辺の縁のない印刷を行うことができます。
[フチなしで印刷する]について詳しくは、「フチなしで印刷する」を参照してください。 →P.323

メモ
- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。
- [中央に印刷]が設定されている場合は、選択できません。

- [出力用紙サイズ]

印刷する用紙のサイズを選択します。

メモ
- [拡大/縮小印刷]の[ロール紙の幅に合わせる]が設定されている場合は、選択できません。

- [中央に印刷]

プリンタにセットされている用紙の中央に配置して印刷します。
[中央に印刷]について詳しくは、「中央に印刷する」を参照してください。→P.324

- [フチなしで印刷する]にチェックマークが付いている場合は、選択できません。

- [上下余白なし(用紙節約)]

用紙の上下に空白領域がある印刷データの場合に、空白部分はロール紙を送らず、用紙を節約できます。
[上下余白なし(用紙節約)]について詳しくは、「上下の余白を印刷しない」を参照してください。→P.324

メモ
- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。

- [ページを回転]

ページを回転する方法を選択します。
ページを回転には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[右 90 度回転(用紙節約)]	縦長で作成したページを右 90 度回転して横長で印刷します。ページを回転させたとき、ロール紙幅に収まるときには自動的にページを回転し、ロール紙幅に収まらない場合は回転しません。
[左 90 度回転(用紙節約)]	縦長で作成したページを左 90 度回転して横長で印刷します。ページを回転させたとき、ロール紙幅に収まるときには自動的にページを回転し、ロール紙幅に収まらない場合は回転しません。
[180 度回転]	文書や画像を 180 度回転させて印刷します。

- [初期値に戻す]ボタン

ボタンを押すと、Preview の起動時の設定に戻ります。

- [印刷]ボタン

ボタンを押すと、印刷が開始されます。

- [プリンタ情報を更新]ボタン

ボタンを押すと、プリンタ情報を取得できます。

色設定パネル

ダイアログエリアから[色設定]を選択すると、表示されます。

- [カラーモード]

印刷の内容に応じてカラーモードを選択することができます。

設定項目	内容
[カラー]	カラー印刷を有効にします。
[モノクロ]	カラー印刷を無効にし、カラーデータの連続階調をグレーの中間調を用いてモノクロで印刷します。
[カラー(CAD)]	線画に適した見やすい色で印刷します。
[モノクロ(二階調)]	白以外の色をすべて黒で印刷します。
[モノクロ(黒インク)]	黒インクを使用して、線画を印刷したいときに使用します。
[色補正なし]	プリンタドライバでカラーマッチングを行わずに印刷します。Adobe Photoshop などのアプリケーションでカラーマッチングを行う場合や、プロファイル作成ツールでカラーチャートを印刷する場合に選択してください。

メモ

- 選択した用紙の種類や優先画質によって選択できる設定が変わります。

- [色調整]/[マッチング]

色調整とマッチングの設定を行うことができます。

- 色調整 →P.317
- マッチング →P.319

- [初期値に戻す]ボタン

  ボタンを押すと、Preview の起動時の設定に戻ります。

- [印刷]ボタン

  ボタンを押すと、印刷が開始されます。

- [プリンタ情報を更新]ボタン

  ボタンを押すと、プリンタ情報を取得できます。

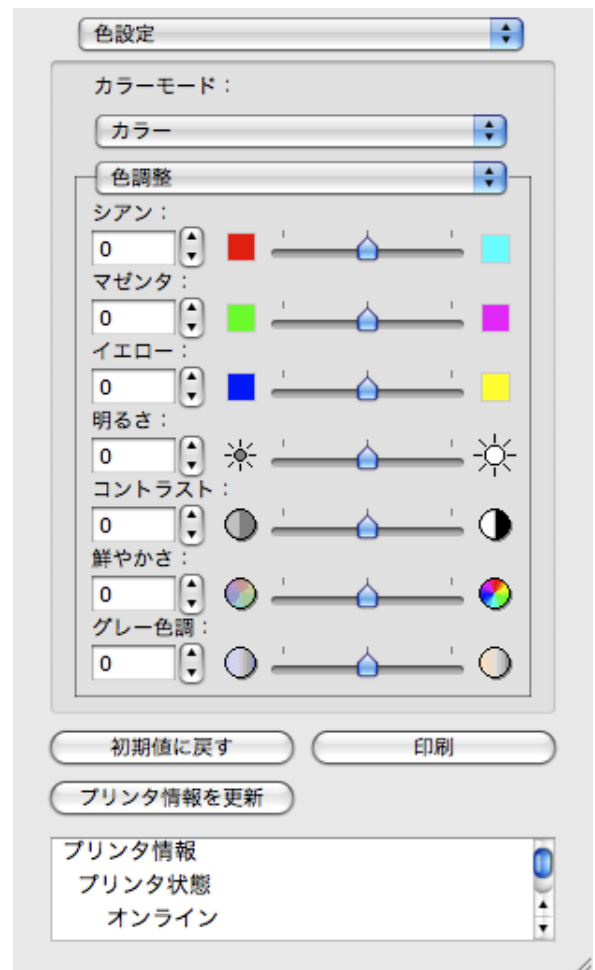
色調整

色調整の設定を行うことができます。

カラーを調整する

カラーは基本的にアプリケーションソフトで選択され調整されます。ただし、印刷結果が希望する色調にならない場合は、カラーを調整することもできます。

1. [色設定]パネルの[カラーモード]で、[カラー]を選択します。

2. [色調整]を選択します。

3. 各項目のスライドバーを左右にドラッグして調整します。

設定項目	内容
[シアン]	強弱を調整することで色合いが補正できます。
[マゼンタ]	強弱を調整することで色合いが補正できます。
[イエロー]	強弱を調整することで色合いが補正できます。
[明るさ]	画像全体の明るさを調整することができます。出力した結果が元の画像(スキャナで読み込む前の写真やモニタ上で作成されたグラフィックスなど)に比べて明るいときや、明るさを変えて出力したいときなどに使用します。

設定項目	内容
[コントラスト]	最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを相対的に調整できます。 *軟調にしたい場合はコントラストを弱く、硬調にしたい場合はコントラストを強くしてください。
[鮮やかさ]	ビビッドな色合いからくすんだ色合いまで、鮮やかさを調整できます。
[グレー色調]	グレーの色を、冷黒(青みがかった色合い)から温黒(赤みがかった色合い)まで調整できます。

メモ

• 数値の入力欄で矢印ボタンをクリックするか、直接数値を入力して調整することもできます。

モノクロを調整する

スキャナやデジタルカメラで取り込んだカラー写真または他のカラー画像を、モノクロで印刷するための設定をします。

1 [色設定]パネルの[カラーモード]で、[モノクロ]を選択します。

2 [色調整]を選択します。

3 各項目のスライドバーを左右にドラッグして調整します。

設定項目	内容
[明るさ]	画像全体の明るさを調整することができます。出力した結果が元の画像(スキャナで読み込む前の写真やモニタ上で作成されたグラフィックスなど)に比べて明るいときや、明るさを変えて出力したいときなどに使用します。
[コントラスト]	最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを相対的に調整できます。 *軟調にしたい場合はコントラストを弱く、硬調にしたい場合はコントラストを強くしてください。

メモ

- 数値の入力欄で矢印ボタンをクリックするか、直接数値を入力して調整することもできます。

マッチング

マッチングの設定を行うことができます。

重要

- [カラーモード]で[色補正なし]が選択されているときは[マッチング]は表示されません。

- [マッチングモード]

印刷の内容に応じてマッチングモードを選択することができます。

設定項目	内容
ドライバ補正モード →P.320	ドライバ独自のカラープロファイルを用いて最適な色合いで印刷します。通常はこのモードを選択してください。
ICC 補正モード →P.321	ICC プロファイルを用いて、カラーマッチングを行います。入力プロファイル、プリンタプロファイル、マッチング方法を詳細に指定して印刷する場合に選択してください。デジタルカメラやスキャナの ICC プロファイル、プロファイル作成ツールで作成した ICC プロファイルなどを使用できます。
ColorSync モード →P.322	MacOS の ColorSync 機能を用いて、カラーマッチングを行います。ColorSync を使ったソフトプルーフを行って印刷する場合に選択してください。

メモ

- プリンタドライバで各モードが設定されている必要があります。
- Mac OS X 10.5 以降をご使用の場合、[ColorSync モード]を選択するにはドライバの[カラー・マッチング]パネルで[ColorSync モード]が設定されている必要があります。

- [マッチング方法]

印刷の内容に応じてマッチング方法を選択することができます。

- [入力プロファイル]

入力プロファイルを選択します。

メモ

- [マッチングモード]で[ICC 補正モード]を選択した場合のみ、選択できます。

- [プリンタプロファイル]

プリンタプロファイルを選択します。

メモ

- (MacOS X 10.4 をご使用の場合)[マッチングモード]で[ICC 補正モード]または[ColorSync モード]を選択した場合のみ、選択できます。
- (MacOS X 10.5 以降をご使用の場合)[マッチングモード]で[ICC 補正モード]を選択した場合のみ、選択できます。

- [ソフトプルーフ]

チェックマークを付けると、[ColorSync モード]がプレビューエリアに適用されます。

メモ

- [マッチングモード]で[ColorSync モード]を選択した場合のみ、選択できます。

ドライバ補正モード

1 [マッチングモード]で、[ドライバ補正モード]を選択します。

2 ［マッチング方法］のリストをクリックし、設定を選びます。

設定項目	内容
［自動］	イメージ、グラフィックス、テキストのそれぞれに最適なカラーマッチングを行います。
［写真調］	一般的な写真を美しく印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。滑らかな階調性が特徴です。また、アプリケーションソフトを使用して色調整を行う際にも扱いやすいモードです。
［鮮やかな色に］	ポスターなどを鮮やかに印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。
［色差最小］	画像データを、入力の色空間に忠実な色で印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。色味を調整して印刷したい場合には最も扱いやすいモードです。ただし、プリンタの色再現領域よりも広い範囲の色は階調が失われる事があります。一般的に相対カラリメトリックとも呼ばれます。

ICC 補正モード

1 ［マッチングモード］で［ICC 補正モード］を選択します。

2 ［マッチング方法］のリストをクリックし、設定を選びます。

設定項目	内容
［写真調］	一般的な写真を美しく印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。滑らかな階調性が特徴です。また、アプリケーションソフトを使用して色調整を行う際にも扱いやすいモードです。
［鮮やかな色に］	ポスターなどを鮮やかに印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。
［色差最小］	画像データを、入力の色空間に忠実な色で印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。色味を調整して印刷したい場合には最も扱いやすいモードです。ただし、プリンタの色再現領域よりも広い範囲の色は階調が失われる事があります。一般的に相対カラリメトリックとも呼ばれます。

設定項目	内容
[色差最小(白色点補正なし)]	カラーマッチングの処理方法は[色差最小]と同じです。さらに紙の色まで再現したい場合に使用します。一般的に絶対カラリメトリックとも呼ばれます。

3 [入力プロファイル]のリストをクリックし、入力プロファイルを選びます。

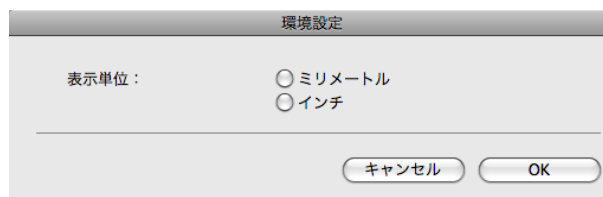
4 [プリンタプロファイル]のリストをクリックし、プリンタプロファイルを選びます。

ColorSync モード

1 [マッチングモード]で、[ColorSync モード]が選択されていることを確認します。

2 [ColorSync モード]をプレビューに適用する場合は、[ソフトプルーフ]にチェックマークをつけます。

環境設定ダイアログボックス

[imagePROGRAF Advanced Preview]メニューから[環境設定]を選択すると、表示されます。Preview の環境設定を行うことができます。

- [表示単位]

  用紙の長さや余白などの単位を選択します。

ズームダイアログボックス

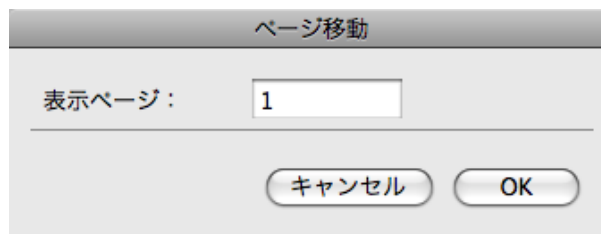
[表示]メニューから[ズーム]を選択すると、表示されます。画面表示を拡大／縮小できます。

- [倍率]

画面表示の拡大／縮小倍率を設定します。

メモ
- 入力できる数値は 10〜400 です。
- [▼]を押して、倍率を選択することもできます。

ページ移動ダイアログボックス

[表示]メニューから[ページ移動]を選択すると、表示されます。

メモ
- 原稿が 1 ページしかない場合は、[ページ移動]を選択することができません。

- [表示ページ]

プレビューエリアに表示するページを半角数字で入力します。

メモ
- 入力できる数値は、原稿のページ数の範囲です。

フチなしで印刷する

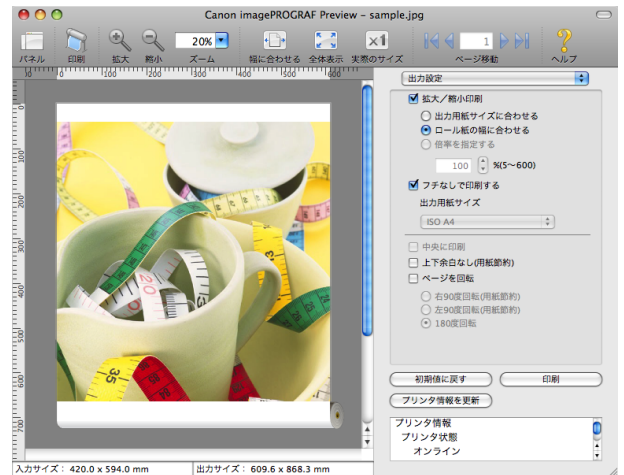
フチなし印刷機能を使用して、画像の周囲に余白を取らずに印刷することができます。

メモ
- 用紙の種類によっては、2 辺のみのフチなしで印刷されます。
- フチなし印刷機能を使用するには、プリンタに専用の用紙がセットされている必要があります。

1. 用紙設定パネル →P.310 の[給紙方法]で、[ロール紙]を選択します。
2. [出力設定]パネルの[拡大／縮小印刷]をクリックしてチェックマークを付けます。
3. [ロール紙の幅に合わせる]を選択します。

4 [フチなしで印刷する]をクリックしてチェックマークを付けます。

Mac OS X ソフトウエア

Preview

5 [印刷]ボタンをクリックします。

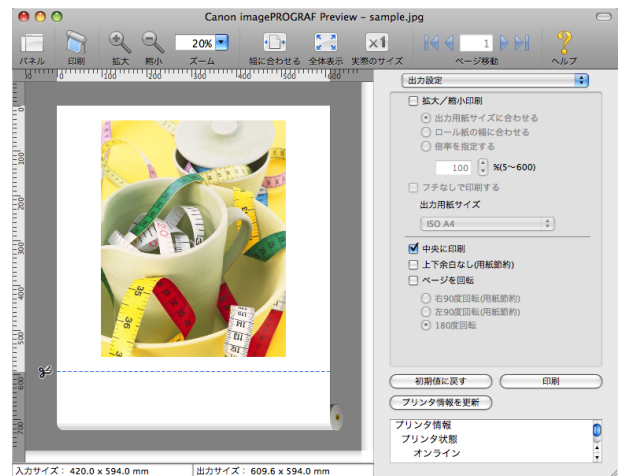
フチなしの設定で印刷が開始されます。

中央に印刷する

プリンタにセットされている用紙の中央に配置して印刷します。

メモ

- [フチなしで印刷する]にチェックマークが付いている場合は、表示されません。

1 [出力設定]パネルの[中央に印刷]をクリックしてチェックマークを付けます。

2 [印刷]ボタンをクリックします。

用紙の中央に印刷が開始されます。

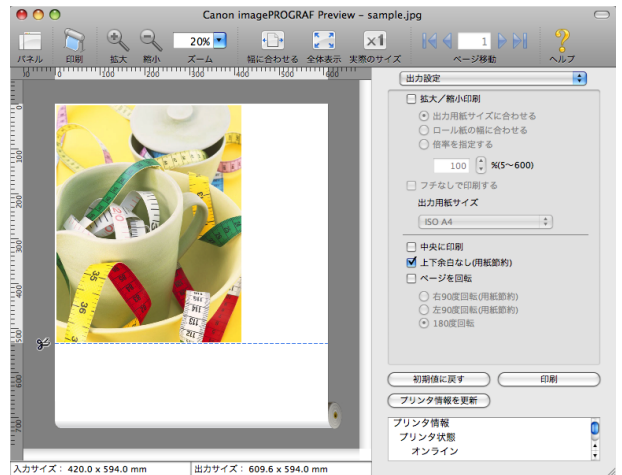
上下の余白を印刷しない

用紙の上下に空白領域のあるデータを印刷するとき、マージン以外の空白部分はロール紙を送らず、用紙を節約できます。

メモ

- [フチなしで印刷する]にチェックマークが付いている場合は、表示されません。

1 用紙設定パネル →P.310 の[給紙方法]で、[ロール紙]を選択します。

2 [出力設定]パネルの[上下余白なし(用紙節約)]をクリックしてチェックマークを付けます。

3 [印刷]ボタンをクリックします。

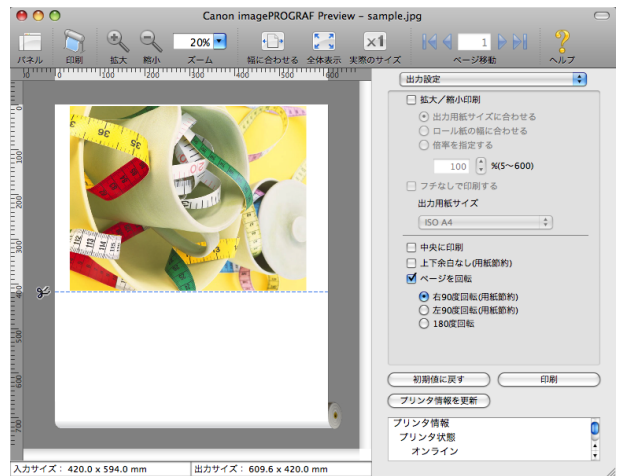
上下余白なしの設定で印刷が開始されます。

ページを 90 度回転して印刷する

ロール紙上に横長に印刷されるため、用紙を節約できます。

1 用紙設定パネル →P.310 の[給紙方法]で、[ロール紙]を選択します。

2 [出力設定]パネルの[ページを回転]をクリックしてチェックマークを付けます。

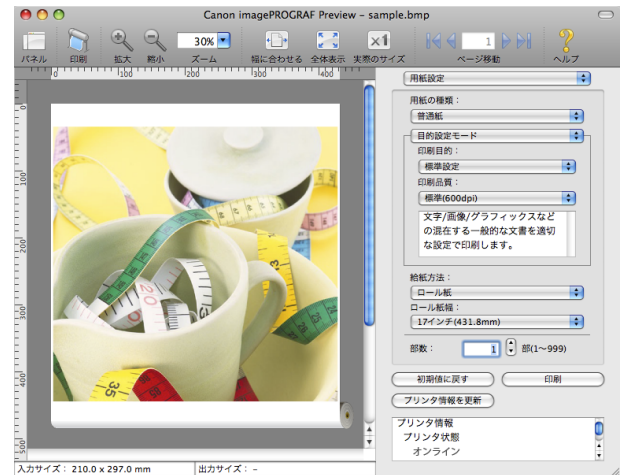
3 [右 90 度回転(用紙節約)]または[左 90 度回転(用紙節約)]を選択します。

4 [印刷]ボタンをクリックします。

ページを 90 度回転して印刷が開始されます。

用紙の幅に合わせて表示する

プレビューエリアに用紙の幅に合わせて表示することができます。

1 ツールバーから [幅に合わせる]を選択します。

2 用紙の幅に合わせて表示されます。

全体を表示する

プレビューエリアに全体を表示することができます。

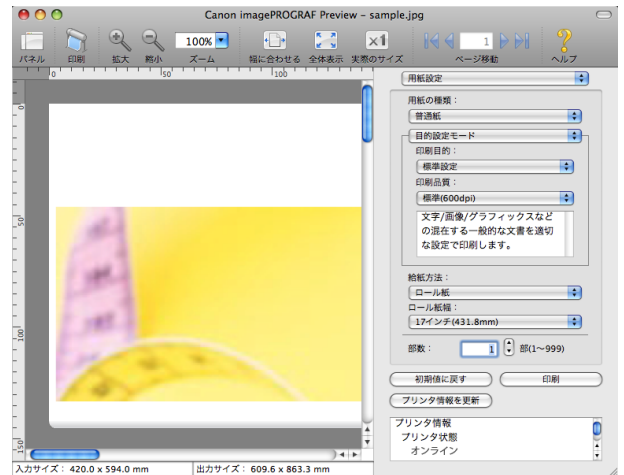
1 ツールバーから [全体表示]を選択します。

2 全体が表示されます。

実際のサイズで表示する

実際のサイズで表示することができます。

1 ツールバーから [実際のサイズ]を選択します。

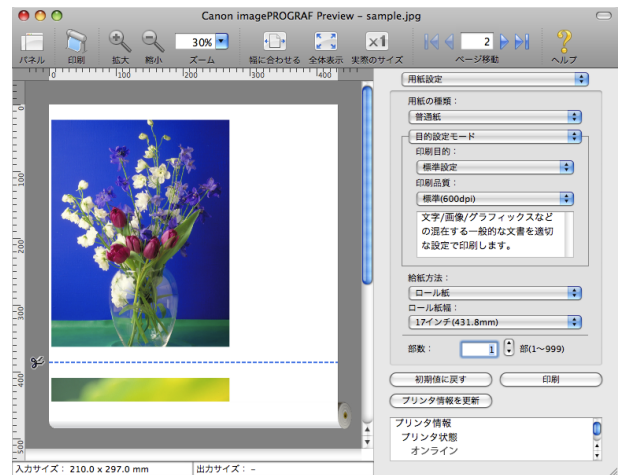
2 実際のサイズで表示されます。

ページを移動する

プレビューエリアに表示するページを移動する事が出来ます。

1 ツールバーの[ページ移動]の各ボタンを選択します。

ボタン	内容
	最初のページに移動します。
	前のページに移動します。
	次のページに移動します。
	最後のページに移動します。

2 移動先のページが表示されます。

メモ

- サムネイルでページをクリックして、ページを移動することもできます。

Free Layout

Free Layout の特長 328
Free Layout の起動方法 328
Free Layout メインウィンドウ 329
用紙設定パネル 332
目的設定モード 333
詳細設定モード 335
色設定パネル 336
色調整 337
マッチング 339
ドライバ補正モード 341
ICC 補正モード 342
ColorSync モード 343
環境設定ダイアログボックス 343
ページ設定ダイアログボックス 344
ズームダイアログボックス 345
書式設定ダイアログボックス 346
複数のファイルの原稿を 1 ページに配置する 346
複数のアプリケーションソフトで作成した原稿を 1 ページに配置する 347
オブジェクトを選択する 347
オブジェクトのサイズを変更する 348
オブジェクトを移動する 348
オブジェクトを回転する 349
オブジェクトを自動配置する 349
オブジェクトを整列する 349
オブジェクトの重なり順を変更する 351
コピーまたは切り取ったオブジェクトを貼り付ける 352

Free Layout の特長

Free Layout の主な特長は以下のとおりです。

- アプリケーションソフトで作成した原稿を自由に配置して印刷することができます。
- 複数のページを 1 ページに配置するだけでなく、複数のファイルの原稿を 1 ページに配置して印刷したり、複数のアプリケーションソフトで作成した原稿を 1 ページに配置して印刷することができます。

メモ

- 用紙の種類、画像のサイズ、用紙の詳細設定、プリンタ本体の設定によっては、実際の出力が Free Layout 上の設定と異なる場合があります。

Free Layout の起動方法

Free Layout を起動する手順は、以下のとおりです。

1 ご使用になるアプリケーションソフトを起動します。

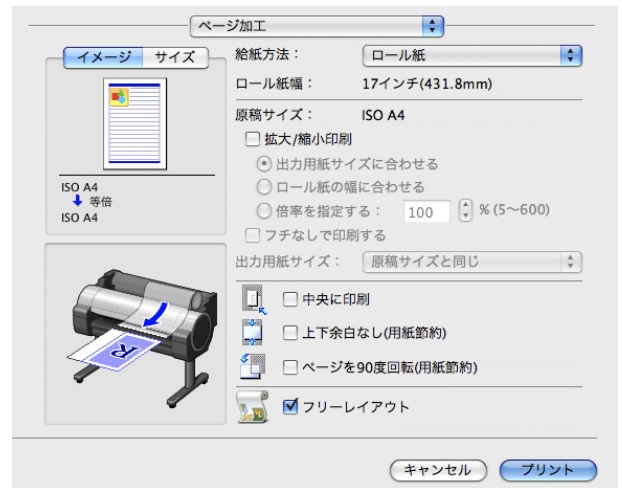
2 アプリケーションソフトの[ファイル]メニューからプリンタの設定を行うメニューを選択し、[プリント]ダイアログボックスを開きます。

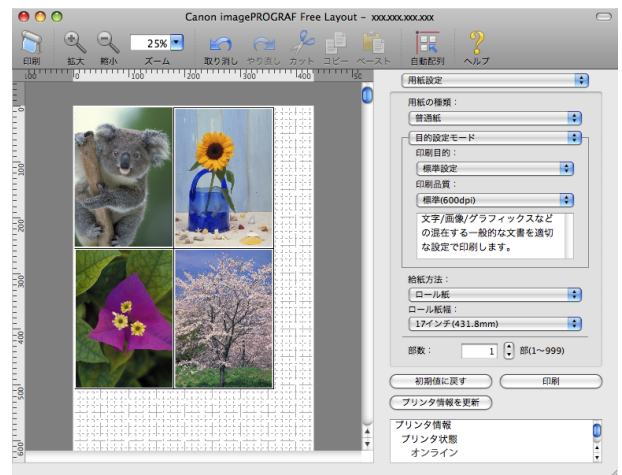
メモ

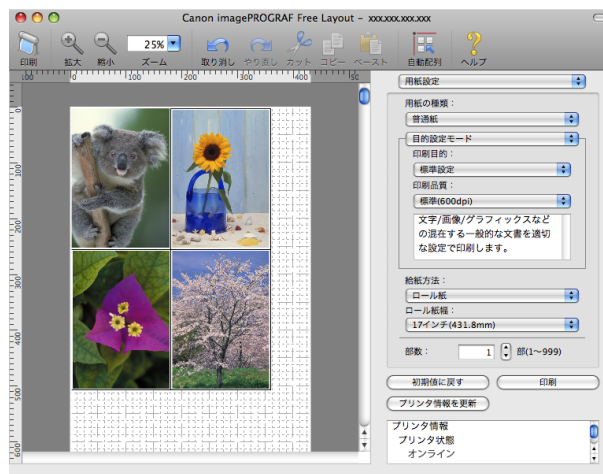
- 通常、[ファイル]メニューから[プリント]を選択します。

3 [ページ加工]パネルの[フリーレイアウト]をクリックしてチェックマークを付けます。

4 [プリント]ダイアログボックスの[プリント]ボタンをクリックします。

メモ

- この画面の左下にはお使いのプリンタの絵が表示されます。

5 Free Layout メインウィンドウが表示されます。

Free Layout メインウィンドウ

Free Layout のメインウィンドウは、メニューバー、ツールバー、レイアウトエリア、ダイアログエリアで構成されています。

メモ

- ツールバーは[表示]メニューで表示/非表示を切り換えられます。

- **メニューバー**

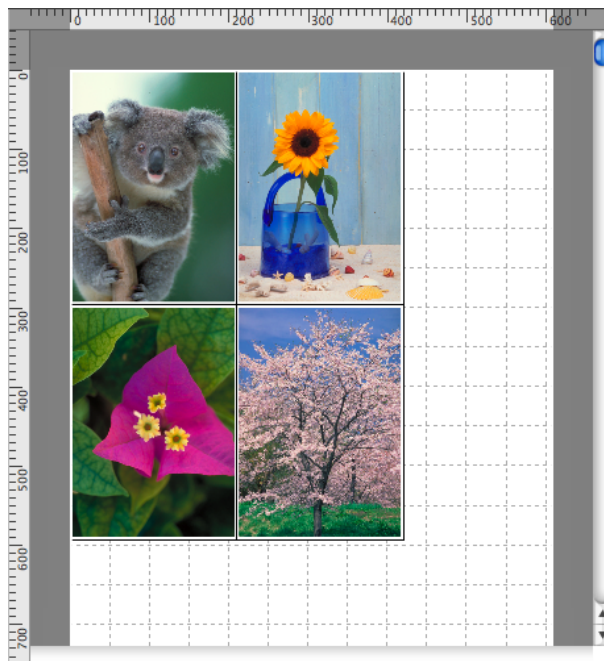
  操作に必要なメニューを選択できます。

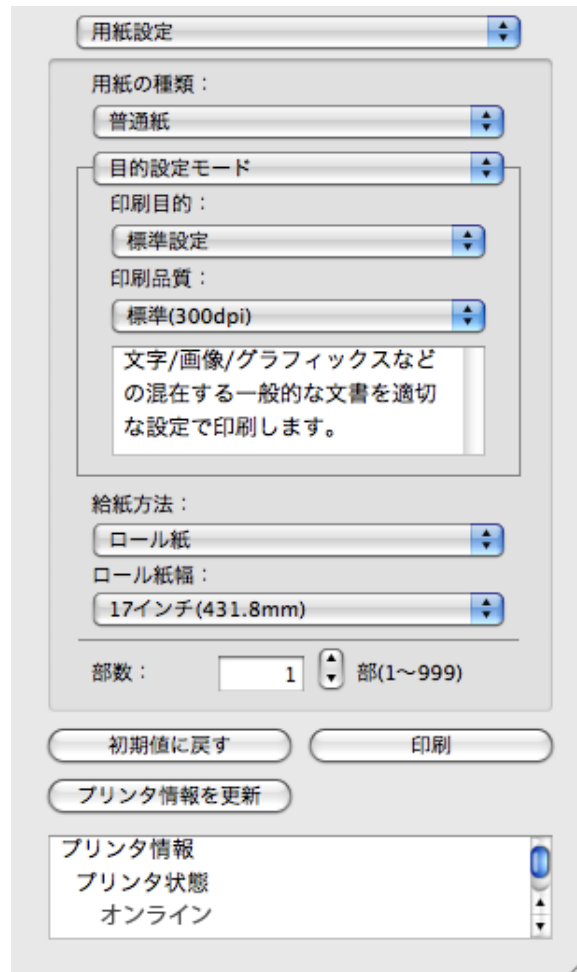
imagePROGRAF Advanced Preview ファイル 編集 表示 オブジェクト ウインドウ ヘルプ

- **ツールバー**

  主な操作のツールボタンを選択できます。

- **レイアウトエリア**

  オブジェクトの配置、サイズ、向きを編集できます。

- ダイアログエリア

印刷条件を設定したり、印刷を実行することができます。

用紙設定パネル

ダイアログエリアから[用紙設定]を選択すると、表示されます。

- [用紙の種類]

  用紙の種類を選択します。

  メモ

  - 必ず実際にプリンタにセットされている用紙の種類を選択してください。プリンタにセットしている用紙と選択した用紙が異なると、正しい印刷結果が得られないことがあります。

- [目的設定モード]/[詳細設定モード]

  最適な印刷の設定を行うために 2 つのモードがあります。
  各モードで設定できる項目については以下をご覧ください。

  - 目的設定モード →P.333
  - 詳細設定モード →P.335

- [給紙方法]

  給紙方法を選択します。
  給紙方法には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[手差し]	手差しによる印刷の場合に選びます。
[ロール紙]	ロール紙に印刷する場合に選びます。

- [ロール紙幅]

  プリンタ本体で設定されたロール紙の幅を選択します。

メモ

- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。

- [部数]

印刷する部数を半角数字で入力します。

メモ

- 入力できる数値は 1〜999 です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

- [初期値に戻す]ボタン

ボタンを押すと、Free Layout の起動時の設定に戻ります。

- [印刷]ボタン

ボタンを押すと、印刷が開始されます。

- [プリンタ情報を更新]ボタン

ボタンを押すと、プリンタ情報を取得できます。

目的設定モード

印刷目的のリストから原稿の内容に合った項目を選択するだけで、目的に応じた最適な設定の印刷を簡単に行うことができます。

- [印刷目的]

目的に応じた最適な設定の印刷を簡単に行うことができます。
[印刷目的]の各項目を選択すると、その項目に関するコメントがリストの下に表示されます。

設定項目	内容
[標準設定]	文字/画像/グラフィックスなどの混在する一般的な文書を適切な設定で印刷します。
[ビジネス文書]	配布資料など、一般的なオフィス文書を見やすく印刷します。
[ポスター]	ポスターに最適な設定です。彩度を高く、インパクトのある鮮やかな色で印刷します。
[CAD(カラー線画)]	CAD 図面などの細い線をくっきりと印刷します。
[CAD (モノクロ線画)]	CAD 図面を、黒い線でくっきりと印刷します。
[パース･GIS]	3D-CAD やパース、GIS などの地図を美しく印刷します。
[写真(カラー)]	デジタルカメラで撮影した写真画像を最適な設定で印刷します。
[忠実再現]	色差最小で印刷します。印刷結果が鮮やかすぎる場合やスキャナ画像を印刷する場合に適しています。
[ユーザ設定]	詳細設定モードで設定された内容で印刷します。

- 選択した用紙の種類によって選択できる設定が変わります。

- [印刷品質]

画質と印刷速度のバランスで印刷品質を選択できます。

印刷品質と解像度のレベルは以下の組み合わせで表示されます。

設定項目	内容
印刷品質	[最高]/[きれい]/[標準]/[速い]
解像度	[1200dpi]/[600dpi]/[300dpi]

- 選択した用紙の種類や優先画質によって選択できる設定が変わります。
- [きれい]は[速い]よりも印刷時間とインクの消費は多くなりますが、印刷品質は高くなります。
- [速い]は[きれい]よりも印刷時間とインクの消費は少なくなりますが、印刷品質は低くなります。

詳細設定モード

優先画質や印刷品質などの詳細な設定を自分で行うことできます。

- [優先画質]

印刷の内容に応じて適切な画質のモードを選択することができます。

設定項目	内容
[写真･イラスト]	写真画像やイラストに最適なモードで印刷します。
[線画･文字]	CAD 図面などの線画を印刷する場合、または壁新聞など文字が多い原稿を印刷する場合に最適なモードです。ただし、写真や塗り潰しの多い画像を印刷すると十分な品位が得られないことがあります。この時は[写真･イラスト]を選んでください。
[オフィス文書]	提案書や配布資料など、一般オフィス文書を見やすく印刷します。

メモ

- 選択した用紙の種類によって選択できる設定が変わります。

- [印刷品質]

画質と印刷速度のバランスで印刷品質を選択できます。

印刷品質と解像度のレベルは以下の組み合わせで表示されます。

設定項目	内容
印刷品質	[最高]/[きれい]/[標準]/[速い]
解像度	[1200dpi]/[600dpi]/[300dpi]

メモ

- 選択した用紙の種類や優先画質によって選択できる設定が変わります。
- [きれい]は[速い]よりも印刷時間とインクの消費は多くなりますが、印刷品質は高くなります。
- [速い]は[きれい]よりも印刷時間とインクの消費は少なくなりますが、印刷品質は低くなります。

色設定パネル

ダイアログエリアから[色設定]を選択すると、表示されます。

- [カラーモード]

印刷の内容に応じてカラーモードを選択することができます。

設定項目	内容
[カラー]	カラー印刷を有効にします。
[モノクロ]	カラー印刷を無効にし、カラーデータの連続階調をグレーの中間調を用いてモノクロで印刷します。
[カラー(CAD)]	線画に適した見やすい色で印刷します。
[モノクロ(二階調)]	白以外の色をすべて黒で印刷します。
[モノクロ(黒インク)]	黒インクを使用して、線画を印刷したいときに使用します。
[色補正なし]	プリンタドライバでカラーマッチングを行わずに印刷します。Adobe Photoshop などのアプリケーションでカラーマッチングを行う場合や、プロファイル作成ツールでカラーチャートを印刷する場合に選択してください。

メモ

- 選択した用紙の種類や優先画質によって選択できる設定が変わります。

- [色調整]/[マッチング]

色調整とマッチングの設定を行うことができます。

- 色調整 →P.337
- マッチング →P.339

メモ

- [マッチング]は[カラーモード]で[色補正なし]が選択されているときは表示されません。

- [初期値に戻す]ボタン

ボタンを押すと、Free Layout の起動時の設定に戻ります。

- [印刷]ボタン

ボタンを押すと、印刷が開始されます。

- [プリンタ情報を更新]ボタン

ボタンを押すと、プリンタ情報を取得できます。

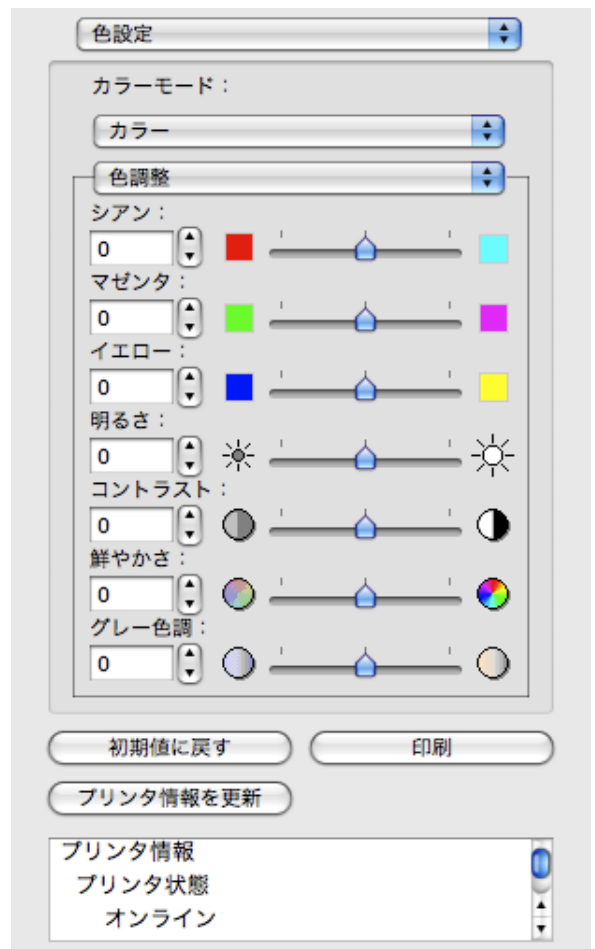
色調整

色調整の設定を行うことができます。

カラーを調整する

カラーは基本的にアプリケーションソフトで選択され調整されます。ただし、印刷結果が希望する色調にならない場合は、カラーを調整することもできます。

1 [色設定]パネルの[カラーモード]で、[カラー]を選択します。

2 [色調整]を選択します。

3 各項目のスライドバーを左右にドラッグして調整します。

設定項目	内容
[シアン]	強弱を調整することで色合いが補正できます。

設定項目	内容
[マゼンタ]	強弱を調整することで色合いが補正できます。
[イエロー]	強弱を調整することで色合いが補正できます。
[明るさ]	画像全体の明るさを調整することができます。出力した結果が元の画像(スキャナで読み込む前の写真やモニタ上で作成されたグラフィックスなど)に比べて明るいときや、明るさを変えて出力したいときなどに使用します。
[コントラスト]	最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを相対的に調整できます。 *軟調にしたい場合はコントラストを弱く、硬調にしたい場合はコントラストを強く設定してください。
[鮮やかさ]	ビビッドな色合いからくすんだ色合いまで、鮮やかさを調整できます。
[グレー色調]	グレーの色を、冷黒(青みがかった色合い)から温黒(赤みがかった色合い)まで調整できます。

メモ

- 数値の入力欄で矢印ボタンをクリックするか、直接数値を入力して調整することもできます。

モノクロを調整する

スキャナやデジタルカメラで取り込んだカラー写真または他のカラー画像を、モノクロで印刷するための設定をします。

1 [色設定]パネルの[カラーモード]で、[モノクロ]を選択します。

2 [色調整]を選択します。

3 各項目のスライドバーを左右にドラッグして調整します。

設定項目	内容
[明るさ]	画像全体の明るさを調整することができます。出力した結果が元の画像(スキャナで読み込む前の写真やモニタ上で作成されたグラフィックスなど)に比べて明るいときや、明るさを変えて出力したいときなどに使用します。
[コントラスト]	最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを相対的に調整できます。 *軟調にしたい場合はコントラストを弱く、硬調にしたい場合はコントラストを強く設定してください。

メモ

- 数値の入力欄で矢印ボタンをクリックするか、直接数値を入力して調整することもできます。

マッチング

マッチングの設定を行うことができます。

重要

- [カラーモード]で[色補正なし]が選択されているときは[マッチング]は表示されません。

- [マッチングモード]

印刷の内容に応じてマッチングモードを選択することができます。

設定項目	内容
ドライバ補正モード →P.341	ドライバ独自のカラープロファイルを用いて最適な色合いで印刷します。通常はこのモードを選択してください。

Mac OS X ソフトウエア Free Layout

設定項目	内容
ICC 補正モード →P.342	ICC プロファイルを用いて、カラーマッチングを行います。入力プロファイル、プリンタプロファイル、マッチング方法を詳細に指定して印刷する場合に選択してください。デジタルカメラやスキャナの ICC プロファイル、プロファイル作成ツールで作成した ICC プロファイルなどを使用できます。
ColorSync モード →P.343	MacOS の ColorSync 機能を用いて、カラーマッチングを行います。ColorSync を使ったソフトプルーフを行って印刷する場合に選択してください。

メモ

- プリンタドライバで各モードが設定されている必要があります。
- Mac OS X 10.5 以降をご使用の場合、[ColorSync モード]を選択するにはドライバの[カラー･マッチング]パネルで[ColorSync モード]が設定されている必要があります。

- [マッチング方法]

印刷の内容に応じてマッチング方法を選択することができます。

- [入力プロファイル]

入力プロファイルを選択します。

メモ

- [マッチングモード]で[ICC 補正モード]を選択した場合のみ、選択できます。

- [プリンタプロファイル]

プリンタプロファイルを選択します。

メモ

- (MacOS X 10.4 をご使用の場合)[マッチングモード]で[ICC 補正モード]または[ColorSync モード]を選択した場合のみ、選択できます。
- (MacOS X 10.5 以降をご使用の場合)[マッチングモード]で[ICC 補正モード]を選択した場合のみ、選択できます。

- [ソフトプルーフ]

チェックマークを付けると、[ColorSync モード]がレイアウトエリアに適用されます。

メモ

- [マッチングモード]で[ColorSync モード]を選択した場合のみ、選択できます。

ドライバ補正モード

1 [マッチングモード]で、[ドライバ補正モード]を選択します。

2 [マッチング方法]のリストをクリックし、設定を選びます。

設定項目	内容
[自動]	イメージ、グラフィックス、テキストのそれぞれに最適なカラーマッチングを行います。
[写真調]	一般的な写真を美しく印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。滑らかな階調性が特徴です。また、アプリケーションソフトを使用して色調整を行う際にも扱いやすいモードです。
[鮮やかな色に]	ポスターなどを鮮やかに印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。
[色差最小]	画像データを、入力の色空間に忠実な色で印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。色味を調整して印刷したい場合には最も扱いやすいモードです。ただし、プリンタの色再現領域よりも広い範囲の色は階調が失われる事があります。一般的に相対カラリメトリックとも呼ばれます。

ICC 補正モード

1 [マッチングモード]で[ICC 補正モード]を選択します。

2 [マッチング方法]のリストをクリックし、設定を選びます。

設定項目	内容
[写真調]	一般的な写真を美しく印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。滑らかな階調性が特徴です。また、アプリケーションソフトを使用して色調整を行う際にも扱いやすいモードです。
[鮮やかな色に]	ポスターなどを鮮やかに印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。
[色差最小]	画像データを、入力の色空間に忠実な色で印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。色味を調整して印刷したい場合には最も扱いやすいモードです。ただし、プリンタの色再現領域よりも広い範囲の色は階調が失われる事があります。一般的に相対カラリメトリックとも呼ばれます。
[色差最小(白色点補正なし)]	カラーマッチングの処理方法は[色差最小]と同じです。さらに紙の色まで再現したい場合に使用します。一般的に絶対カラリメトリックとも呼ばれます。

3 [入力プロファイル]のリストをクリックし、入力プロファイルを選びます。

4 [プリンタプロファイル]のリストをクリックし、プリンタプロファイルを選びます。

ColorSync モード

1 [マッチングモード]で、[ColorSync モード]が選択されていることを確認します。

2 [ソフトプルーフ]にチェックマークを付けると、レイアウトエリアに出力結果がシミュレーションして表示されます。

環境設定ダイアログボックス

imagePROGRAF Advanced Preview メニューから[環境設定]を選択すると、表示されます。Free Layout の環境設定を行うことができます。

- [表示単位]

  用紙の長さや余白などの単位を選択します。

• [グリッド線]

オブジェクトの配置の目安となるように、グリッド線の幅を半角数字で入力します。

メモ
• 入力できる数値は「10.0〜200.0(mm)」「0.39〜7.87(inch)」です。
• [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

• [分割線]

オブジェクトの配置の目安となるように、グリッド線の分割数を変更します。

メモ
• 入力できる数値は 1〜10 です。
• [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

• [グリッドの色]

グリッド線の色を選択します。

• [オブジェクト枠を印刷する]

オブジェクトの枠線を印刷することができます。

メモ
• オブジェクトの枠線を印刷しない場合は、[オブジェクト枠を印刷する]チェックボックスをオフにします。

• [オブジェクト枠の種類]

印刷するオブジェクトの枠線を選択することができます。
オブジェクト枠の種類には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[実線]	実線を枠として印刷します。
[点線]	点線を枠として印刷します。
[破線]	破線を枠として印刷します。

• [自動配列間隔]

オブジェクトを自動配列する際の、オブジェクト間の間隔を設定します。

メモ
• 入力できる数値は「0.0〜100.0(mm)」「0.00〜3.94(inch)」です。
• [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

ページ設定ダイアログボックス

[ファイル]メニューから[ページ設定]を選択すると、表示されます。このダイアログボックスで、印刷の向き、用紙サイズなどを設定します。

• [用紙の向き]

用紙の向きを選択します。

用紙の向きには、以下の設定があります。

設定項目	内容
[縦]	アプリケーションで作成した図や文章をそのままの向きで印刷します。
[横]	アプリケーションで作成した図や文章の向きを、横に 90 度回転して印刷します。

- [ロール紙長さ]

ロール紙に印刷する 1 ページの長さを設定します。
[自動設定]にチェックマークを付けると、配置したオブジェクトが 1 ページで印刷されるように、ロール紙に印刷する 1 ページの長さが自動で設定されます。

メモ
- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。
- 入力できる数値は「203.2〜18000.0(mm)」「8.00〜708.66(inch)」です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

- [配置順]

オブジェクトの配置順を設定します。
配置順には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[左上から右向き]	左上から右方向に、オブジェクトが配置されます。
[左上から下向き]	左上から下方向に、オブジェクトが配置されます。

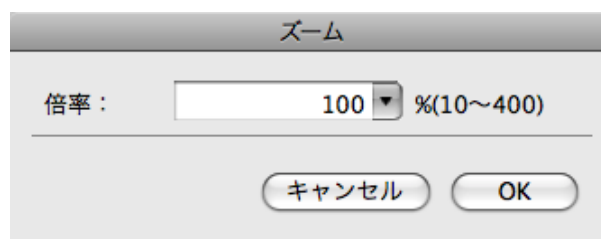
メモ
- [ロール紙長さ]で[自動設定]を選択し、[用紙の向き]で[縦]を選択している場合は、[左上から右向き]のみが選択できます。
- [ロール紙長さ]で[自動設定]を選択し、[用紙の向き]で[横]を選択している場合は、[左上から下向き]のみが選択できます。

- [用紙サイズ]

印刷する用紙のサイズを選択します。

メモ
- [給紙方法]で[ロール紙]が設定されている場合は、選択できません。

ズームダイアログボックス

[表示]メニューから[ズーム]を選択すると、表示されます。画面表示を拡大/縮小できます。

- [倍率]

画面表示の拡大/縮小倍率を設定します。

メモ
- 入力できる数値は 10〜400 です。
- [▼]を押して、倍率を選択することもできます。

書式設定ダイアログボックス

オブジェクトを選択後、[オブジェクト]メニューから[書式設定]を選択すると、表示されます。オブジェクトを回転したり、拡大/縮小できます。

メモ

- オブジェクトが選択されていない場合は、[書式設定]を選択することができません。

- [回転]

チェックマークを付けると、[右 90 度]または[左 90 度]を選択することができます。

設定項目	内容
[右 90 度]	時計回りに 90 度回転します。
[左 90 度]	反時計回りに 90 度回転します。

メモ

- 複数のオブジェクトが選択されている場合は、[回転]を選択することができません。

- [倍率]

オブジェクトの拡大/縮小率を半角数字で入力します。

メモ

- 入力できる数値は 25～400 です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

- [オブジェクトのサイズ]

オブジェクトのサイズを確認できます。

メモ

- 複数のオブジェクトが選択されている場合は、[オブジェクトのサイズ]は表示されません。

複数のファイルの原稿を 1 ページに配置する

複数のファイルの原稿を 1 ページに配置して印刷することができます。

1 アプリケーションソフトの[ファイル]メニューからプリンタの設定を行うメニューを選択し、[プリント]ダイアログボックスを開きます。

メモ

- 通常、[ファイル]メニューから[プリント]を選択します。

2 [ページ加工]パネルの[フリーレイアウト]をクリックしてチェックマークを付けます。

3 [プリント]ダイアログボックスで印刷するページや印刷部数を選択し、[プリント]ボタンをクリックします。
Free Layout が起動し、アプリケーションソフトで作成した原稿がオブジェクトとしてレイアウトエリアに配置されます。

4 Free Layout を起動したまま、アプリケーションソフトで他のファイルを開き、上記の手順を繰り返します。

複数のアプリケーションソフトで作成した原稿を 1 ページに配置する

複数のアプリケーションソフトで作成した原稿を 1 ページに配置して印刷することができます。

1 アプリケーションソフトの[ファイル]メニューからプリンタの設定を行うメニューを選択し、[プリント]ダイアログボックスを開きます。

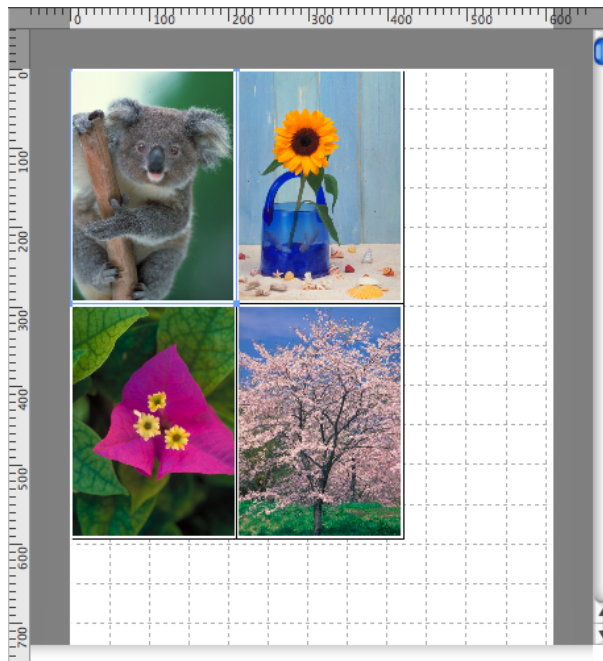
メモ
- 通常、[ファイル]メニューから[プリント]を選択します。

2 [ページ加工]パネルの[フリーレイアウト]をクリックしてチェックマークを付けます。

3 [プリント]ダイアログボックスで印刷するページや印刷部数を選択し、[プリント]ボタンをクリックします。
Free Layout が起動し、アプリケーションソフトで作成した原稿がオブジェクトとしてレイアウトエリアに配置されます。

4 Free Layout を起動したまま、他のアプリケーションソフトでファイルを開き、上記の手順を繰り返します。

オブジェクトを選択する

オブジェクトが選択されると、オブジェクトの周囲に選択ボックス(青い枠線)が表示されます。

メモ
- 1 つのオブジェクトを選択する場合は、オブジェクトをクリックします。
- 連続したオブジェクトを複数選択する場合は、shift キーを押しながら、オブジェクトをクリックします。
- 任意のオブジェクトを複数選択する場合は、command キーを押しながら、オブジェクトをクリックします。
- すべてのオブジェクトを選択する場合は、[編集]メニューから[すべてを選択]を選択します。

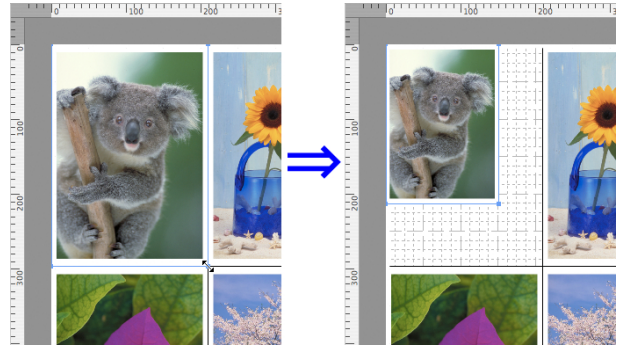
オブジェクトのサイズを変更する

オブジェクトのサイズを変更する手順には、マウス操作による方法と、拡大/縮小倍率を指定する方法があります。

メモ

- オブジェクトの縦横の比率は変わらずに、拡大/縮小されます。

マウス操作によってサイズを変更する場合

1. オブジェクトを選択します。
2. オブジェクトの周囲の選択ボックスの角にポインタを置いて矢印ハンドルを表示し、ドラッグしてオブジェクトのサイズを変更します。

拡大/縮小倍率を指定する場合

1. オブジェクトを選択します。
2. 書式設定ダイアログボックス →P.346 を開きます。
3. [倍率]で拡大/縮小倍率を設定します。オブジェクトの拡大/縮小率を半角数字で入力します。

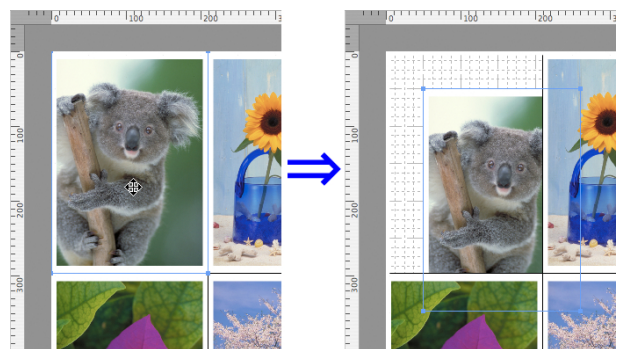
メモ

- 入力できる数値は 25～400 です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

4. [OK]をクリックします。

オブジェクトを移動する

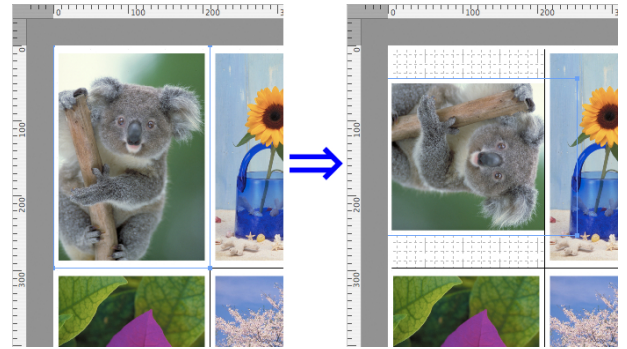
選択したオブジェクトの位置を移動することができます。

1. オブジェクトを選択します。
2. オブジェクトの選択ボックス内にポインタを置いて十字ハンドルを表示し、ドラッグしてオブジェクトを移動します。

オブジェクトを回転する

選択したオブジェクトを回転することができます。

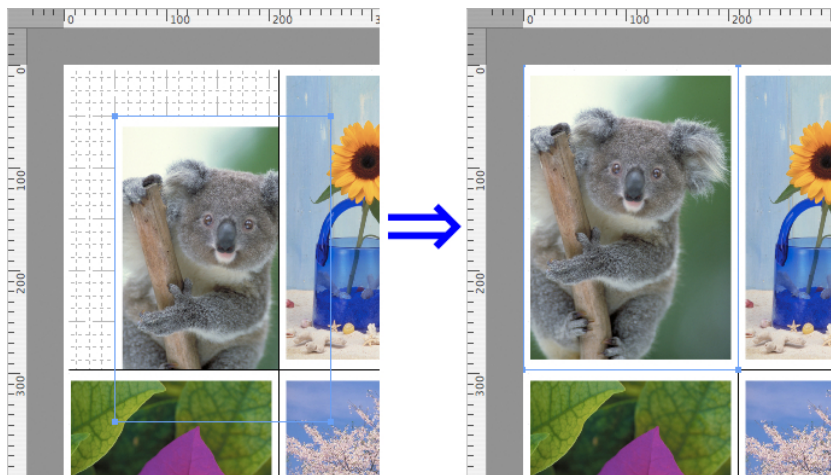
1 オブジェクトを選択します。

2 ツールバーから[左 90 度回転]または[右 90 度回転]を選択します。
または、書式設定ダイアログボックス →P.346 の[回転]チェックボックスをオンにし、[右 90 度]または[左 90 度]を選択し、[OK]をクリックします。

メモ

- 複数のオブジェクトが選択されている場合は、[回転]を選択することができません。

オブジェクトを自動配置する

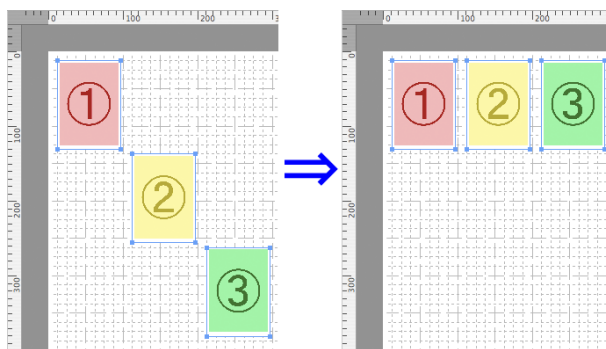
ツールバーの[自動配列]をクリックします。オブジェクトが自動的に配置されます。または、[オブジェクト]メニューから[オブジェクトの自動配列]を選択します。

メモ

- オブジェクトの配置順は、ページ設定ダイアログボックス →P.344 の[配置順]の設定によって異なります。

オブジェクトを整列する

オブジェクトを規則的に整列させることができます。

1 複数のオブジェクトを選択します。

2 [オブジェクト]メニューから整列用のメニューを選択します。

- [上揃え]

  オブジェクトを上端に揃えて配置します。

- [上下中央揃え]

  オブジェクトを垂直方向の中央に揃えて配置します。

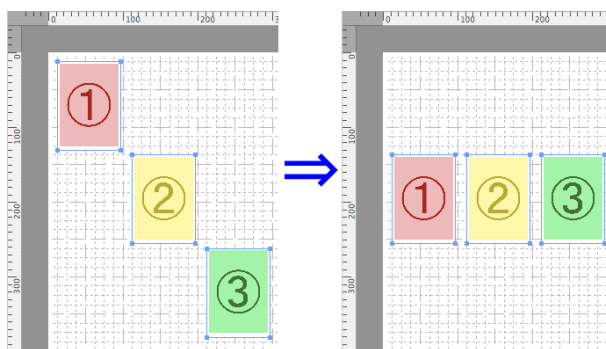
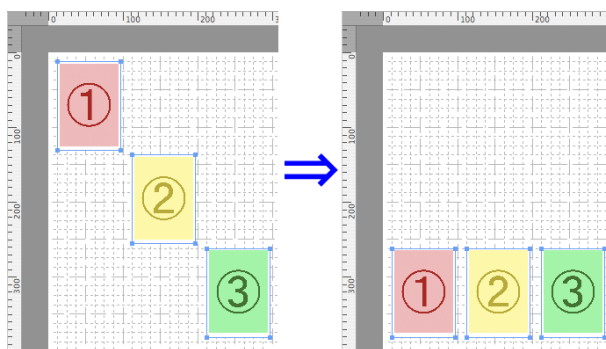
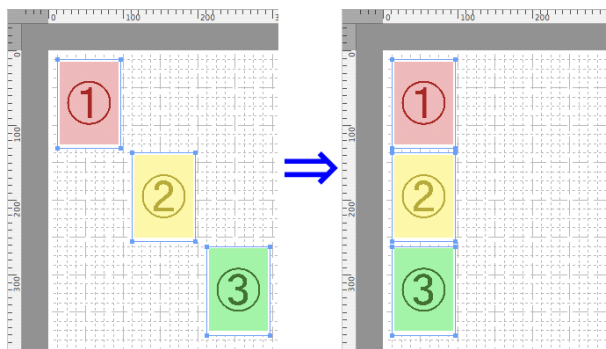
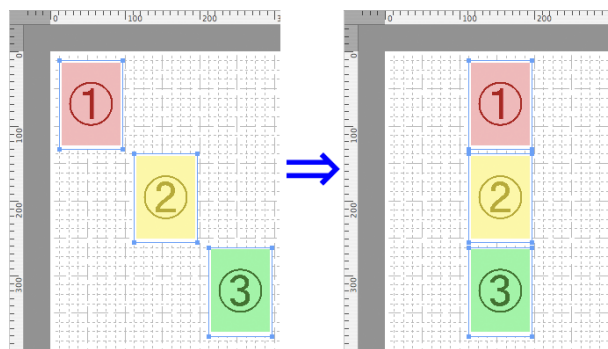
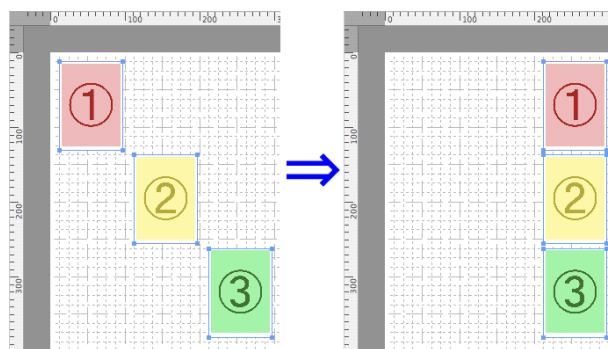
- [下揃え]

  オブジェクトを下端に揃えて配置します。

- [左揃え]

  オブジェクトを左端に揃えて配置します。

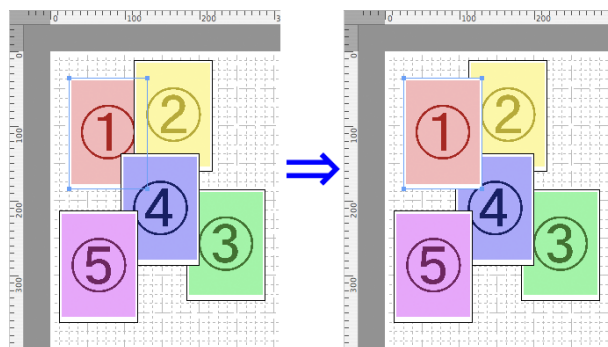
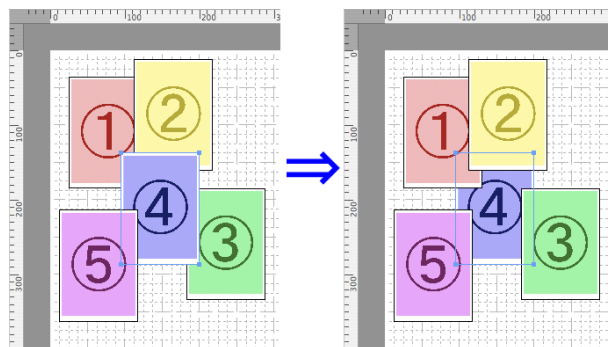
- [左右中央揃え]
  オブジェクトを水平方向の中央に揃えて配置します。

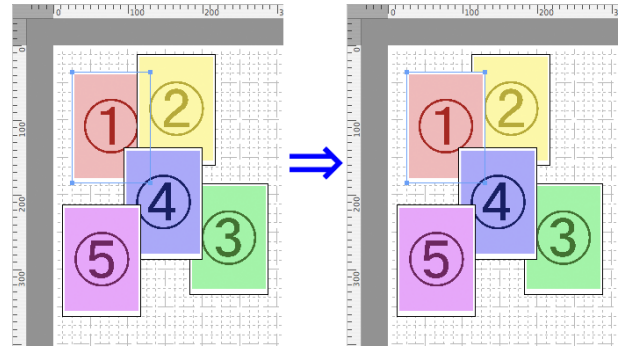
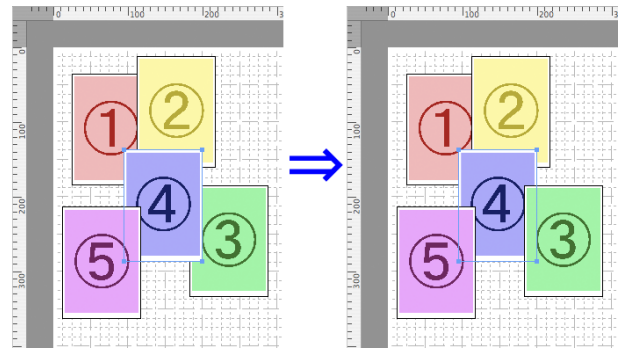
- [右揃え]
  オブジェクトを右端に揃えて配置します。

オブジェクトの重なり順を変更する

オブジェクトの重なり順を変更することができます。

1 オブジェクトを選択します。

2 [オブジェクト]メニューから重なり順のメニューを選択します。

- [最前面へ移動]
  オブジェクトを最前面に移動します。

- [最背面へ移動]
  オブジェクトを最背面に移動します。

- [前面へ移動]
  オブジェクトを 1 つ前に移動します。

- [背面へ移動]
  オブジェクトを 1 つ後ろに移動します。

コピーまたは切り取ったオブジェクトを貼り付ける

1 ツールバーから[コピー]または[カット]をクリックします。
または[編集]メニューから[コピー]または[カット]を選択します。

2 ツールバーから[ペースト]をクリックします。
または[編集]メニューから[ペースト]を選択します。

メモ

- コピーまたは切り取ったオブジェクトがページの一番最後に配置されます。

Color imageRUNNER 連携拡大コピー

Color imageRUNNER 連携拡大コピーの特長 353
Color imageRUNNER 連携拡大コピーの起動方法 353

Color imageRUNNER 連携拡大コピーダイアログボックス 354

ホットフォルダ 355
ホットフォルダを新規作成する 355
ホットフォルダを編集する(印刷条件の設定) 357
ホットフォルダを削除する 359

印刷について設定する 359
用紙設定パネル 360
目的設定モード 361
詳細設定モード 362
出力設定パネル 363
色設定パネル 364
ドライバ補正モード 365
ICC 補正モード 366
ColorSync モード 367

Color imageRUNNER でスキャンした原稿を拡大印刷する 367

Color imageRUNNER 連携拡大コピーの特長

Color imageRUNNER 連携拡大コピーの主な特長は以下のとおりです。

- Color imageRUNNER でスキャンした原稿を、自動的に拡大して印刷することができます。
- プリンタの選択、用紙の種類、出力プロファイルの選択やマッチング方法などの基本的なプリンタの設定に加えて、フチなし印刷、拡大縮小処理などもプリンタドライバを経由せずに設定できます。

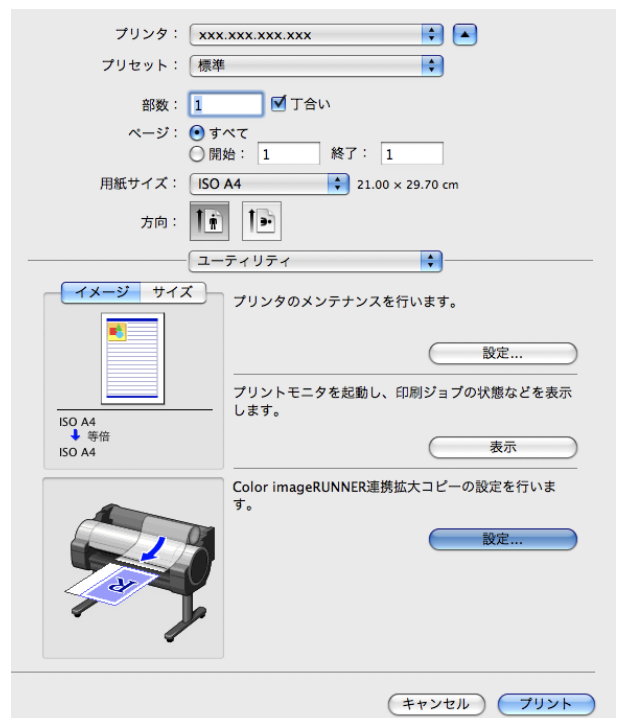
メモ

- 用紙の種類、画像のサイズ、用紙の詳細設定、プリンタ本体の設定によっては、実際の出力が、連携拡大コピー機能上の設定と異なる場合があります。

Color imageRUNNER 連携拡大コピーの起動方法

Color imageRUNNER 連携拡大コピーを起動する手順は、以下のとおりです。

1 [プリント]ダイアログボックスの[ユーティリティ]パネルを開きます。

メモ

- この画面の左下にはお使いのプリンタの絵が表示されます。

2 [Color imageRUNNER 連携拡大コピーの設定を行います。]の[設定]ボタンをクリックし、[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスを開きます。

メモ

- [アプリケーション]>[Canon Utilities]> [iR Enlargement Copy] >[Color imageRUNNER 連携拡大コピー.app]アイコンをクリックして直接起動することもできます。

Color imageRUNNER 連携拡大コピーダイアログボックス

ここでは、[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスについて説明しています。

メモ

- [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスを開く手順については、「Color imageRUNNER 連携拡大コピーの起動方法」を参照してください。 →P.353

- **[フォルダ内のファイルを削除]**

  ホットフォルダの一覧からホットフォルダを選択して[削除]ボタンをクリックすると、ホットフォルダ内のファイルのみを削除できます。

- **[フォルダごと削除、および上記リストから削除]**

  ホットフォルダの一覧からホットフォルダを選択して[削除]ボタンをクリックすると、ホットフォルダを削除できます。

- **[削除]ボタン**

  [フォルダ内のファイルを削除]または[フォルダごと削除、および上記リストから削除]を選択してボタンをクリックすると、ホットフォルダまたはホットフォルダ内のファイルのみを削除できます。

- **[追加]ボタン**

  ボタンをクリックすると、[出力先選択]ダイアログボックスが開き、ホットフォルダを追加できます。

- [編集]ボタン

  ホットフォルダの一覧からホットフォルダを選択してこのボタンをクリックすると、[ホットフォルダの追加／編集]ダイアログボックスが開き、ホットフォルダを編集できます。

- [ホットフォルダを常に監視する]

  チェックボックスをオンにすると、次回 OS X を起動したときから、Dock に Color imageRUNNER 連携拡大コピーユーティリティのアイコンが表示されます。

ホットフォルダ

ホットフォルダとは、Color imageRUNNER 連携拡大コピーで使用されるフォルダです。

- Color imageRUNNER でスキャンした原稿のデータがコンピュータのホットフォルダに転送されると、ホットフォルダに設定されている印刷条件に従って、プリンタから自動的に拡大印刷されます。
- ホットフォルダは、自由に作成、編集、削除したり、印刷について設定することができます。

メモ

- ホットフォルダは 10 個まで作成できます。

ホットフォルダを新規作成する

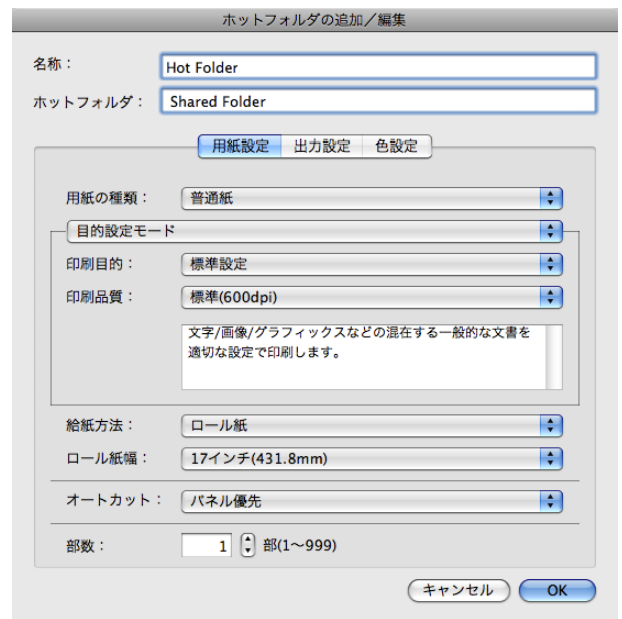
1 [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスを開きます。

メモ

- [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスを開く手順については、「Color imageRUNNER 連携拡大コピーの起動方法」を参照してください。 →P.353

2 [拡大コピー用設定]の[追加]ボタンをクリックし、[出力先選択]ダイアログボックスを開きます。

3 [出力先]にプリンタ一覧の中から、出力先のプリンタを選択します。

4 [OK]ボタンをクリックし、[ホットフォルダの追加／編集]ダイアログボックスを開きます。

5 [名称]に、ホットフォルダのリストで表示するための名称を入力します。

6 [ホットフォルダ]にホットフォルダ名を入力します。

7 [OK]ボタンをクリックします。[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスの一覧に、作成したホットフォルダが表示されます。

8 [閉じる]ボタンをクリックし、[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスを終了させます。

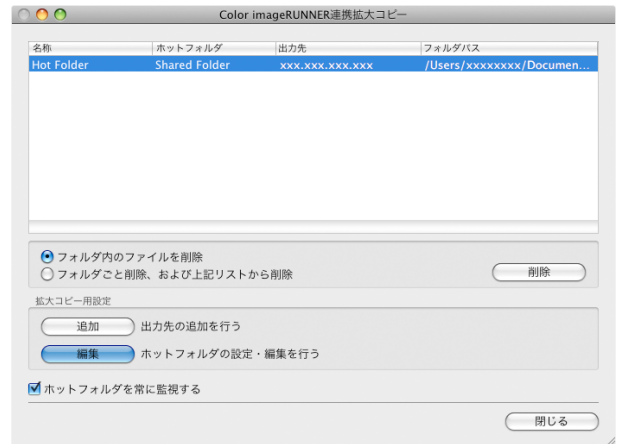
9 [アップル]メニューから[システム環境設定]の[共有]ダイアログボックスを開きます。

10 OS X 10.4 の場合
[Windows 共有]、[FTP サービス]のチェックボックスをチェックし、共有設定をします。
OS X 10.5-10.6 の場合
[ファイル共有]のチェックボックスをチェックし、[オプション]ボタンをクリックします。
[FTP を使用してファイルやフォルダを共有]、[SMB を使用してファイルやフォルダを共有]のチェックボックスをチェックし、共有設定をします。
OS X 10.7 以降の場合
[ファイル共有]のチェックボックスをチェックし、[オプション]ボタンをクリックします。
[SMB を使用してファイルやフォルダを共有]のチェックボックスをチェックし、共有設定をします。

メモ

- ホットフォルダは 10 個まで作成できます。

ホットフォルダを編集する(印刷条件の設定)

1 [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスを開きます。

2 ホットフォルダのリストから作成済みのホットフォルダを選択します。

3 [拡大コピー用設定]の[編集]ボタンをクリックし、[ホットフォルダの追加／編集]ダイアログボックスを開きます。

4 用紙設定パネル →P.360 で必要な項目を設定します。

5 出力設定パネル →P.363 で必要な項目を設定します。

6 色設定パネル →P.364 で必要な項目を設定します。

7 [OK]ボタンをクリックし、[ホットフォルダの追加／編集]ダイアログボックスを終了させます。

8 [アップル]メニューから[システム環境設定]の[共有]ダイアログボックスを開きます。

9 OS X 10.4 の場合
[Windows 共有]、[FTP サービス]のチェックボックスをチェックし、共有設定をします。
OS X 10.5-10.6 の場合
[ファイル共有]のチェックボックスをチェックし、[オプション]ボタンをクリックします。
[FTP を使用してファイルやフォルダを共有]、[SMB を使用してファイルやフォルダを共有]のチェックボックスをチェックし、共有設定をします。
OS X 10.7 以降の場合
[ファイル共有]のチェックボックスをチェックし、[オプション]ボタンをクリックします。
[SMB を使用してファイルやフォルダを共有]のチェックボックスをチェックし、共有設定をします。

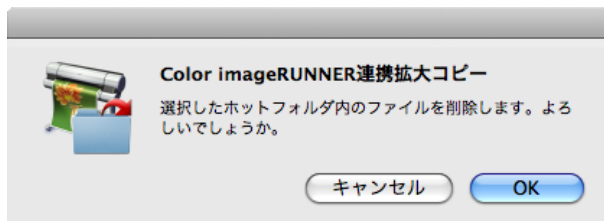
メモ

- ホットフォルダを新規作成した際、共有設定を行っている場合は、手順 8〜9 は必要ありません。

ホットフォルダを削除する

1 [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスを開きます。

2 ホットフォルダのリストから削除したいホットフォルダを選択します。

3 [フォルダごと削除、および上記リストから削除]を選択し、[削除]ボタンをクリックします。

4 メッセージの内容を確認して、[OK]ボタンをクリックします。

メモ

- ホットフォルダ内のファイルのみを削除するには、[フォルダ内のファイルを削除]を選択します。

印刷について設定する

[ホットフォルダの追加／編集]ダイアログボックスの設定パネルで印刷条件を設定することができます。
各パネルで設定できる項目については以下をご覧ください。

- 用紙設定パネル →P.360
- 出力設定パネル →P.363
- 色設定パネル →P.364

用紙設定パネル

- [目的設定モード]/[詳細設定モード]

  最適な印刷の設定を行うために 2 つのモードがあります。
  各モードで設定できる項目については以下をご覧ください。

  - 目的設定モード →P.361
  - 詳細設定モード →P.362

- [用紙の種類]

  用紙の種類を選択します。

メモ

- 必ず実際にプリンタにセットされている用紙の種類を選択してください。プリンタにセットしている用紙と選択した用紙が異なると、正しい印刷結果が得られないことがあります。

- [給紙方法]

  給紙方法を選択します。
  給紙方法には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[手差し]	手差しによる印刷の場合に選びます。
[ロール紙]	ロール紙に印刷する場合に選びます。

- [ロール紙幅]

  プリンタ本体で設定されたロール紙の幅を選択します。

メモ

- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。

- [オートカット]

  ロール紙のカットを自動で行うか、またはカットラインを印刷するかを設定します。
  オートカットには、以下の設定があります。

設定項目	内容
[パネル優先]	本体の操作パネルに設定されている値になります。
[なし]	印刷が終わると、1 ページごとにロール紙をカットしないで、連続して次のデータを印刷します。
[カットラインを印刷]	印刷が終わると、1 ページごとに手動でカットするためのカットラインを印刷し、連続して次のデータを印刷します。

メモ
- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。

- [部数]

印刷する部数を半角数字で入力します。

メモ
- 入力できる数値は 1〜999 です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

目的設定モード

印刷目的のリストから原稿の内容に合った項目を選択するだけで、目的に応じた最適な設定の印刷を簡単に行うことができます。

- [印刷目的]

目的に応じた最適な設定の印刷を簡単に行うことができます。
[印刷目的]の各項目を選択すると、その項目に関するコメントがリストの下に表示されます。

設定項目	内容
[標準設定]	文字/画像/グラフィックスなどの混在する一般的な文書を適切な設定で印刷します。
[ビジネス文書]	配布資料など、一般的なオフィス文書を見やすく印刷します。
[ポスター]	ポスターに最適な設定です。彩度を高く、インパクトのある鮮やかな色で印刷します。
[CAD(カラー線画)]	CAD 図面などの細い線をくっきりと印刷します。
[CAD (モノクロ線画)]	CAD 図面を、黒い線でくっきりと印刷します。
[パース・GIS]	3D-CAD やパース、GIS などの地図を美しく印刷します。
[写真(カラー)]	デジタルカメラで撮影した写真画像を最適な設定で印刷します。
[忠実再現]	色差最小で印刷します。印刷結果が鮮やかすぎる場合やスキャナ画像を印刷する場合に適しています。
[ユーザ設定]	詳細設定モードで設定された内容で印刷します。

メモ
- 選択した用紙の種類によって選択できる設定が変わります。

- [印刷品質]

画質と印刷速度のバランスで印刷品質を選択できます。

印刷品質と解像度のレベルは以下の組み合わせで表示されます。

設定項目	内容
印刷品質	[最高]/[きれい]/[標準]/[速い]
解像度	[1200dpi] / [600dpi] / [300dpi]

メモ

- 選択した用紙の種類や優先画質によって選択できる設定が変わります。
- [きれい]は[速い]よりも印刷時間とインクの消費は多くなりますが、印刷品質は高くなります。
- [速い]は[きれい]よりも印刷時間とインクの消費は少なくなりますが、印刷品質は低くなります。

詳細設定モード

優先画質や印刷品質などの詳細な設定を自分で行うことできます。

- [優先画質]

印刷の内容に応じて適切な画質のモードを選択することができます。

設定項目	内容
[写真･イラスト]	写真画像やイラストに最適なモードで印刷します。
[線画･文字]	CAD 図面などの線画を印刷する場合、または壁新聞など文字が多い原稿を印刷する場合に最適なモードです。ただし、写真や塗り潰しの多い画像を印刷すると十分な品位が得られないことがあります。この時は[写真･イラスト]を選んでください。
[オフィス文書]	提案書や配布資料など、一般オフィス文書を見やすく印刷します。

メモ

- 選択した用紙の種類によって選択できる設定が変わります。

- [印刷品質]

画質と印刷速度のバランスで印刷品質を選択できます。

印刷品質と解像度のレベルは以下の組み合わせで表示されます。

設定項目	内容
印刷品質	[最高]/[きれい]/[標準]/[速い]
解像度	[1200dpi] / [600dpi] / [300dpi]

メモ

- 選択した用紙の種類や優先画質によって選択できる設定が変わります。
- [きれい]は[速い]よりも印刷時間とインクの消費は多くなりますが、印刷品質は高くなります。
- [速い]は[きれい]よりも印刷時間とインクの消費は少なくなりますが、印刷品質は低くなります。

出力設定パネル

- [拡大／縮小印刷]

拡大／縮小印刷の方法を選択します。
拡大／縮小印刷には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[出力用紙サイズに合わせる]	出力する用紙サイズに合わせて、自動的に原稿全体を拡大／縮小して印刷します。[出力用紙サイズ]から実際に出力したいサイズを選びます。
[ロール紙の幅に合わせる]	原稿の幅がロール紙の幅に合うように、自動的に原稿全体を拡大／縮小して印刷します。 *[用紙設定]パネルの[ロール紙幅]に、プリンタに取り付けたロール紙の幅が正しく設定されていることを確認してください。 *[給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ表示されます。
[倍率を指定する]	指定した倍率で、原稿全体を拡大／縮小して印刷します。倍率を半角数字で入力してください。設定できる倍率は 5～600%です。 *[▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。 *出力用紙サイズより大きくなるように倍率を指定することは可能ですが、用紙に入りきらない部分は印刷されません。 *[フチなし印刷]にチェックマークが付いている場合は、表示されません。

- [フチなしで印刷する]

特定の幅のロール紙、および特定の種類の用紙を用いた場合に四辺の縁のない印刷を行うことができます。

メモ

- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。

- [出力用紙サイズ]

印刷する用紙のサイズを選択します。

メモ

- [拡大／縮小印刷]の[ロール紙の幅に合わせる]が設定されている場合は、表示されません。

- [中央に印刷]

画像をカット紙の中央に配置して印刷したいときや、ロール紙の幅に対して左右の余白を均等にとって印刷したいときには、この機能を使用します。

メモ

- [倍率を指定する]の機能を使って拡大または縮小印刷するときにも、この機能を使うと便利です。画像の倍率を指定すると、必ずそのページの左上の角に固定された始点を基準に拡大または縮小されます。そのため、縮小して印刷すると、用紙の下側と右側の余白が大きくなります。このときにこの機能を使用すると、上下左右の余白が均等になります。

- [上下余白なし(用紙節約)]

印刷データの上下に空白部分がある場合に空白部分をなくして印刷します。空白部分については、紙を送らないので用紙を節約することができます。

メモ

- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。

- [ページを回転]

ページを回転する方法を選択します。

ページを回転には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[右 90 度回転(用紙節約)]	縦長で作成したページを右 90 度回転して横長で印刷します。ページを回転させたとき、ロール紙幅に収まるときには自動的にページを回転し、ロール紙幅に収まらない場合は回転しません。 *[拡大／縮小印刷]で[ロール紙の幅に合わせる]が選択されている場合、ロール紙幅に合わせて回転後の画像を拡大／縮小します。
[左 90 度回転(用紙節約)]	縦長で作成したページを左 90 度回転して横長で印刷します。ページを回転させたとき、ロール紙幅に収まるときには自動的にページを回転し、ロール紙幅に収まらない場合は回転しません。 *[拡大／縮小印刷]で[ロール紙の幅に合わせる]が選択されている場合、ロール紙幅に合わせて回転後の画像を拡大／縮小します。
[180 度回転]	文書や画像を 180 度回転させて印刷します。

メモ

- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。

色設定パネル

- [カラーモード]

印刷の内容に応じてカラーモードを選択することができます。

設定項目	内容
[カラー]	カラー印刷を有効にします。

設定項目	内容
[モノクロ]	カラー印刷を無効にし、カラーデータの連続階調をグレーの中間調を用いてモノクロで印刷します。
[カラー(CAD)]	線画に適した見やすい色で印刷します。
[モノクロ(二階調)]	白以外の色をすべて黒で印刷します。
[モノクロ(黒インク)]	黒インクを使用して、線画を印刷したいときに使用します。

メモ
• 選択した用紙の種類や優先画質によって選択できる設定が変わります。

• [マッチングモード]

[マッチングモード]でマッチングモードを選びます。

設定項目	内容
ドライバ補正モード →P.365	ドライバ独自のカラープロファイルを用いて最適な色合いで印刷します。通常はこのモードを選択してください。
ICC 補正モード →P.366	ICC プロファイルを用いて、カラーマッチングを行います。入力プロファイル、プリンタプロファイル、マッチング方法を詳細に指定して印刷する場合に選択してください。デジタルカメラやスキャナの ICC プロファイル、プロファイル作成ツールで作成した ICC プロファイルなどを使用できます。
ColorSync モード →P.367	MacOS の ColorSync 機能を用いて、カラーマッチングを行います。ColorSync を使ったソフトプルーフを行って印刷する場合に選択してください。
[補正しない]	カラーマッチングを実行しません。アプリケーションでマッチングを実行する場合に選択します。

ドライバ補正モード

1 [マッチングモード]で[ドライバ補正モード]を選択します。

2 [マッチング方法]のリストをクリックし、設定を選びます。

設定項目	内容
[自動]	イメージ、グラフィックス、テキストのそれぞれに最適なカラーマッチングを行います。
[写真調]	一般的な写真を美しく印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。滑らかな階調性が特徴です。また、アプリケーションソフトを使用して色調整を行う際にも扱いやすいモードです。
[鮮やかな色に]	ポスターなどを鮮やかに印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。

設定項目	内容
[色差最小]	画像データを、入力の色空間に忠実な色で印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。色味を調整して印刷したい場合には最も扱いやすいモードです。ただし、プリンタの色再現領域よりも広い範囲の色は階調が失われる事があります。一般的に相対カラリメトリックとも呼ばれます。

ICC 補正モード

1 [マッチングモード]で[ICC 補正モード]を選択します。

2 [マッチング方法]のリストをクリックし、設定を選びます。

設定項目	内容
[写真調]	一般的な写真を美しく印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。滑らかな階調性が特徴です。また、アプリケーションソフトを使用して色調整を行う際にも扱いやすいモードです。
[鮮やかな色に]	ポスターなどを鮮やかに印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。
[色差最小]	画像データを、入力の色空間に忠実な色で印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。色味を調整して印刷したい場合には最も扱いやすいモードです。ただし、プリンタの色再現領域よりも広い範囲の色は階調が失われる事があります。一般的に相対カラリメトリックとも呼ばれます。
[色差最小(白色点補正なし)]	カラーマッチングの処理方法は[色差最小]と同じです。さらに紙の色まで再現したい場合に使用します。一般的に絶対カラリメトリックとも呼ばれます。

3 [入力プロファイル]のリストをクリックし、入力プロファイルを選びます。

メモ

- 望みどおりの色で印刷されない場合は、お使いの Color imageRUNNER の iR 連携拡大コピー用の入力プロファイルを選択してください。

4 [プリンタプロファイル]のリストをクリックし、プリンタプロファイルを選びます。

ColorSync モード

1 ［マッチングモード］で［ColorSync モード］を選択します。

2 ［プリンタプロファイル］のリストをクリックし、プリンタプロファイルを選びます。

メモ

- Mac OS X 10.4 で選択できます。

Color imageRUNNER でスキャンした原稿を拡大印刷する

Color imageRUNNER でスキャンした原稿をプリンタで自動的に拡大して印刷することができます。
Color imageRUNNER でスキャンした原稿をホットフォルダへ送信すると、ホットフォルダに設定されている印刷条件に従って、プリンタから自動的に拡大印刷されます。
この一連の機能を Color imageRUNNER 連携拡大コピー機能と呼びます。
Color imageRUNNER 連携拡大コピー機能を使用するために、あらかじめ以下の流れで設定を行います。

1. コンピュータにホットフォルダを作成します。
   Color imageRUNNER でスキャンした原稿のデータを送信するホットフォルダをコンピュータに作成し、拡大コピーするための設定を行います。詳細は、「ホットフォルダを新規作成する」を参照してください。 →P.355
2. Color imageRUNNER に読取設定を登録します。
   Color imageRUNNER でスキャンした原稿をホットフォルダに送信するための設定を行います。

上記の設定が完了したら、Color imageRUNNER でスキャンした原稿をホットフォルダに送信し、拡大印刷することができます。

Color imageRUNNER に読取設定を登録する

Color imageRUNNER でスキャンした原稿をホットフォルダに送信するための設定を行います。読取設定と送信先を Color imageRUNNER の［定型業務］ボタンとして登録すると、ホットフォルダへ簡単に送信できます。
Color imageRUNNER の［定型業務］ボタンに読取設定と送信先を登録する手順については、Color imageRUNNER のマニュアルを参照してください。

原稿をスキャンして拡大印刷する

Color imageRUNNER で原稿をスキャンして、拡大印刷するには、以下の手順を行います。手順の詳細については、Color imageRUNNER のマニュアルを参照してください。

1 Color imageRUNNER の原稿台ガラスまたはフィーダに原稿をセットします。

2 ［送信/ファクス］（または［送信］）を押し、送信画面を表示します。

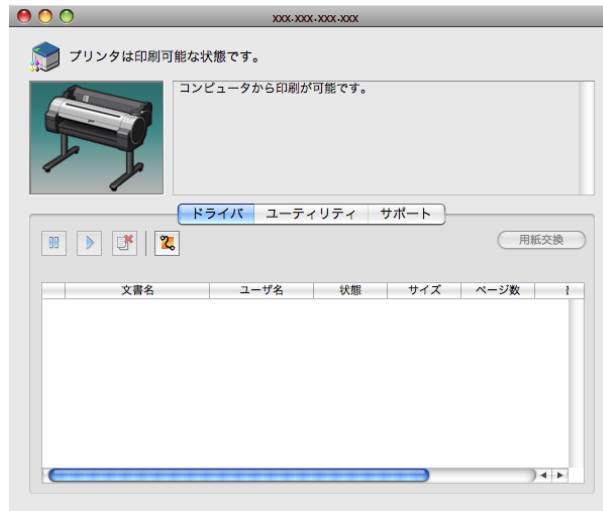
3 [定型業務]ボタンを押し、ホットフォルダ用に登録した[定型業務]ボタンを押します。

4 操作パネルの[スタート]ボタンを押します。原稿台ガラスで原稿をスキャンした場合は、すべての原稿をスキャンした後にタッチパネルディスプレイの[読込終了]を押してください。
スキャンした原稿がホットフォルダに送信され、ホットフォルダに設定されている印刷条件に従って、プリンタから自動的に拡大印刷されます。

Printmonitor

imagePROGRAF Printmonitor の特長 369
imagePROGRAF Printmonitor によるジョブ管理 370

imagePROGRAF Printmonitor の特長

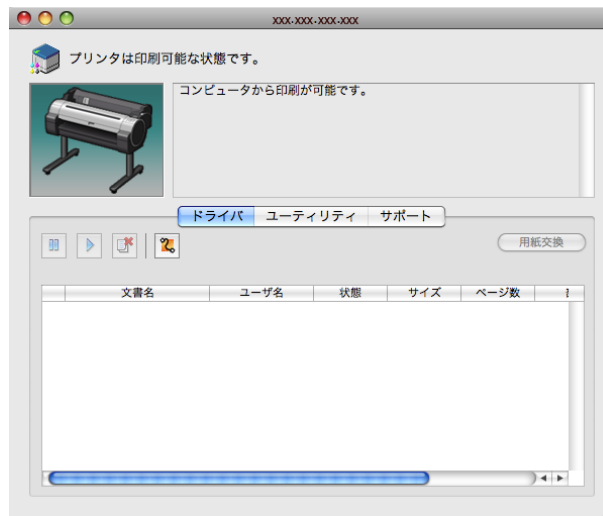
imagePROGRAF Printmonitor は、プリンタの状態を確認したり、印刷ジョブを管理したりするためのユーティリティソフトウェアです。

- プリンタの状態をコンピュータの画面上でリアルタイムに確認できます。
- 印刷ジョブの状態を確認したり、削除などの操作を行ったりすることができます。
- プリンタにエラーが発生したとき、どのように対処したらよいかを即座に確認できます。
- プリンタにエラーなどが発生した場合に、登録しておいたメールアドレスに自動的にエラー情報を通知するように設定できます。

メモ

- imagePROGRAF Printmonitor に目的のプリンタの状態が表示されなかった場合は、以下の手順でプリンタを選択し直してください。

1. 目的のプリンタがネットワークまたはローカルポートに接続されていて、電源がオンになっていることを確認します。
2. [プリンタ]メニューから目的のプリンタ名を選択します。目的のプリンタを認識すると、プリンタの状態が表示されます。
3. 2.の手順で目的のプリンタの情報が表示されない場合は、[プリンタ]メニューの[監視プリンタを検索]を選択します。[プリンタ]メニューのプリンタ名が現在認識されているプリンタ名に更新されます。
4. [プリンタ]メニューから目的のプリンタ名を選択します。目的のプリンタを認識すると、プリンタの状態が表示されます。

imagePROGRAF Printmonitor によるジョブ管理

imagePROGRAF Printmonitor の[ドライバ]パネルでは、印刷ジョブの一時停止や中止などの操作を行うことができます。

- 印刷を一時停止/再開する

印刷ジョブを選択して をクリックすると、選択したジョブの印刷処理が一時的に停止されます。

一時停止中のジョブを選択して をクリックすると、印刷処理を再開します。

メモ

- 印刷データがすべてプリンタに送られた時点で、一時停止/再開の操作は行えなくなります。

- 印刷を中止する

印刷ジョブを選択して ボタンをクリックすると、選択したジョブの印刷が中止されます。

メモ

- 他のユーザの印刷を中止することはできません。

Media Configuration Tool

Media Configuration Toolの特長 371
インストール手順 371
アンインストール手順 373
Media Configuration Toolの起動方法 375
Media Configuration Toolメインウィンドウ 376
用紙種類情報を編集する 377
用紙種類の追加 377
用紙名称の変更 379
追加した用紙種類の削除 380
用紙種類の表示/非表示を切り替える 381
用紙種類の表示順序を変更する 382
用紙の種類を更新する 383

Media Configuration Toolの特長

Media Configuration Toolの主な特長は以下のとおりです。

- プリンタがサポートするメディア(用紙の種類)が追加されたときに、その用紙情報ファイルをプリンタの操作パネルおよびプリンタドライバに登録することができます。
- プリンタの操作パネルおよびプリンタドライバのダイアログボックスで使用される用紙種類の表示順の変更や用紙名称の変更などを行うことができます。

重要

- User Software CD-ROMでプリンタドライバをインストールすると、通常Media Configuration Toolもインストールされ、メディア情報も設定されます。さらにメディア情報を追加したり、編集したい方はこのソフトウェアをお使いください。

Media Configuration Toolが適用されるドライバ

- imagePROGRAF プリンタドライバ

インストール手順

新しいバージョンのMedia Configuration Toolのインストーラを起動してMedia Configuration Toolをインストールする手順は、以下のとおりです。

重要

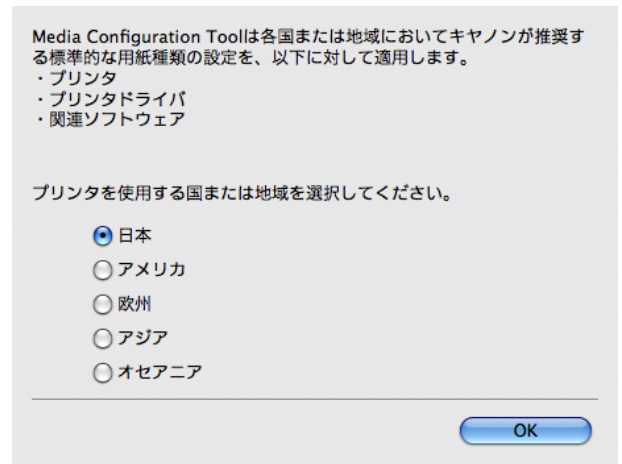
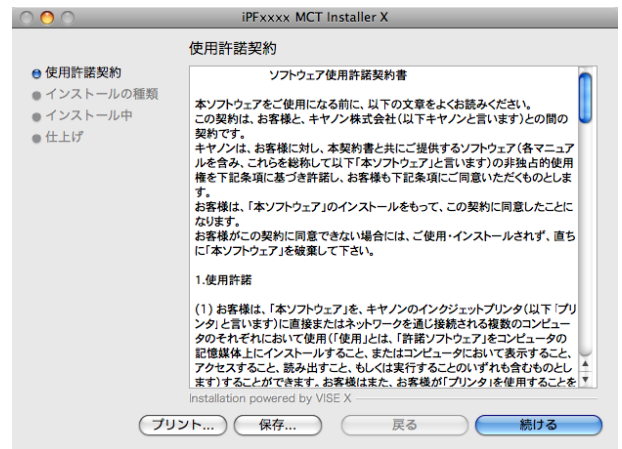
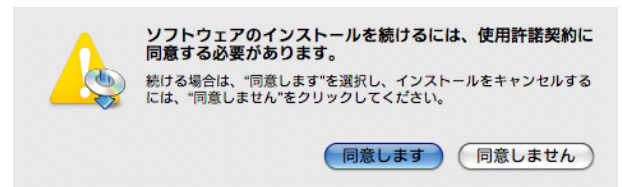
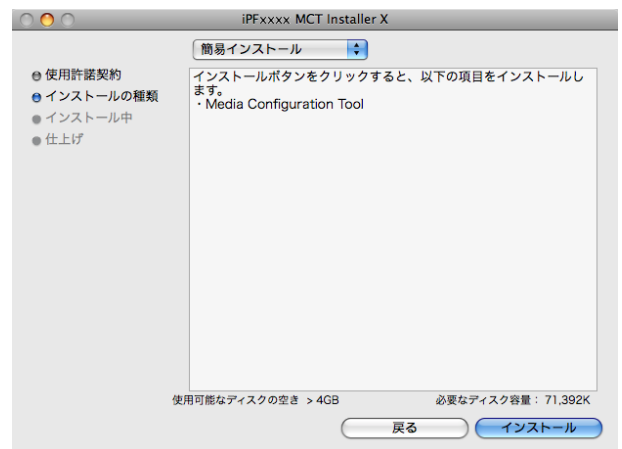
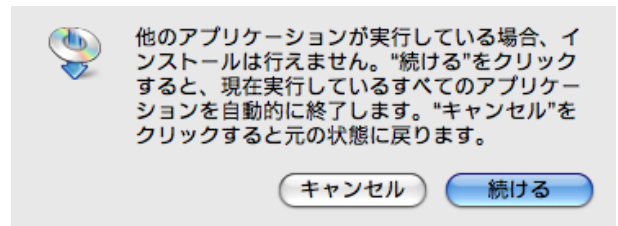
- User Software CD-ROMでプリンタドライバをインストールすると、通常Media Configuration Toolもインストールされ、メディア情報も設定されます。

1 [MCT Installer iPFxxxx for X]アイコンを開き、Media Configuration Toolのインストーラを起動します。

メモ

- アイコンの[iPFxxxx]はご使用のプリンタ名になります。

2 管理者の名前とパスワードを入力して、[OK]ボタンをクリックします。

3 プリンタを使用する国または地域の選択画面が表示されます。
国または地域を選択して、[OK]ボタンをクリックします。

4 [使用許諾契約]が表示されます。
ソフトウェア使用許諾契約書を読んで、[続ける]ボタンをクリックします。

5 [同意します]ボタンをクリックします。

6 [簡易インストール]を選択して、[インストール]ボタンをクリックします。

7 他のアプリケーションを終了するために、[続ける]ボタンをクリックします。

8 以下のメッセージが表示されたら、[終了]ボタンをクリックします。

Media Configuration Tool のインストールが終了します。

メモ

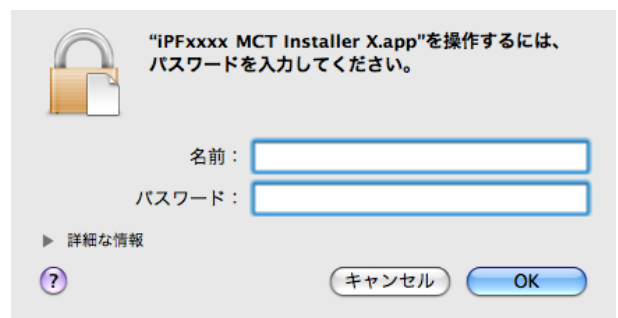
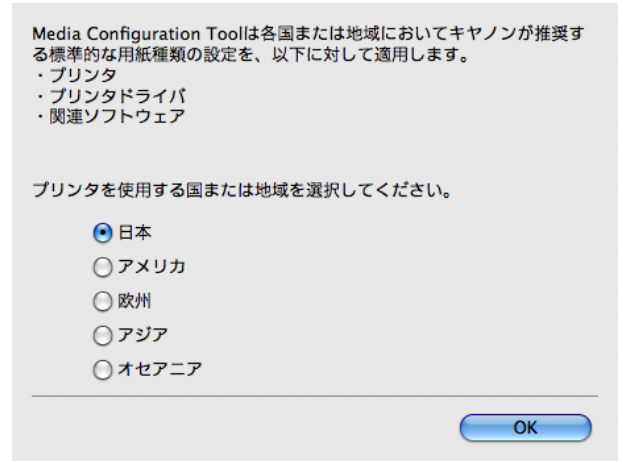
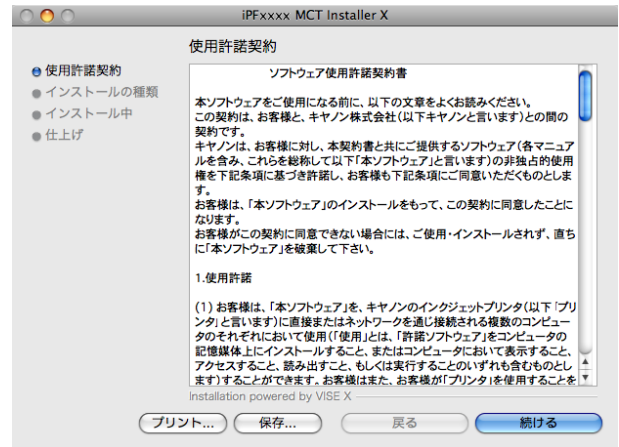
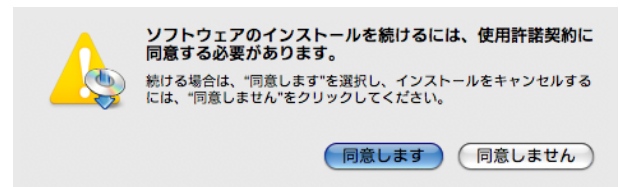
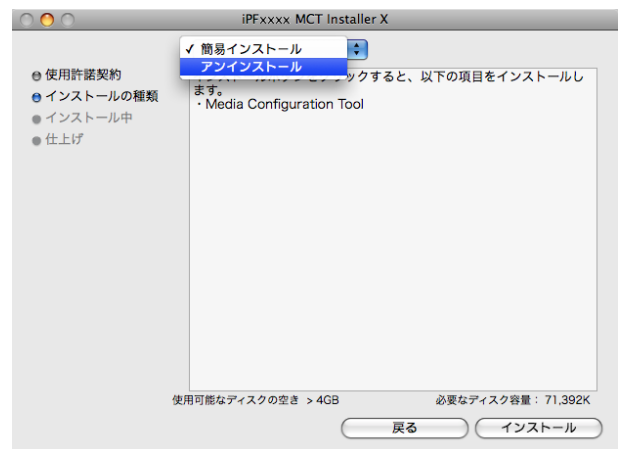
- インストールが正常に終了すると、以下のフォルダに[Media Configuration Tool]フォルダが保存されます。
  [アプリケーション]>[Canon Utilities]> [iPFxxxx Media Configuration Tool]
- 上記フォルダの[iPFxxxx]の部分はご使用のプリンタ名になります。

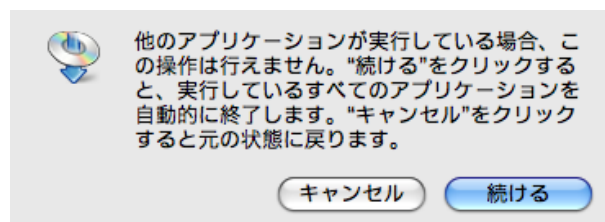
アンインストール手順

1 [MCT Installer iPFxxxx for X]アイコンを開き、Media Configuration Tool のインストーラを起動します。

メモ

- アイコンの[iPFxxxx]はご使用のプリンタ名になります。

2 管理者の名前とパスワードを入力して、[OK]ボタンをクリックします。

3 プリンタを使用する国または地域の選択画面が表示されます。
国または地域を選択して、[OK]ボタンをクリックします。

4 [使用許諾契約]が表示されます。
ソフトウェア使用許諾契約書を読んで、[続ける]ボタンをクリックします。

5 [同意します]ボタンをクリックします。

6 [アンインストール]を選択します。

7 [アンインストール]ボタンをクリックします。

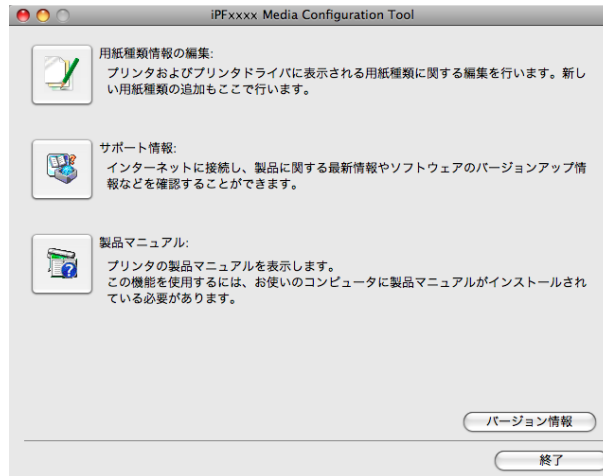
8 他のアプリケーションが実行されている場合は、[続ける]ボタンをクリックします。

9 以下のメッセージが表示されたら、[終了]ボタンをクリックします。

Media Configuration Tool のアンインストールが終了します。

Media Configuration Tool の起動方法

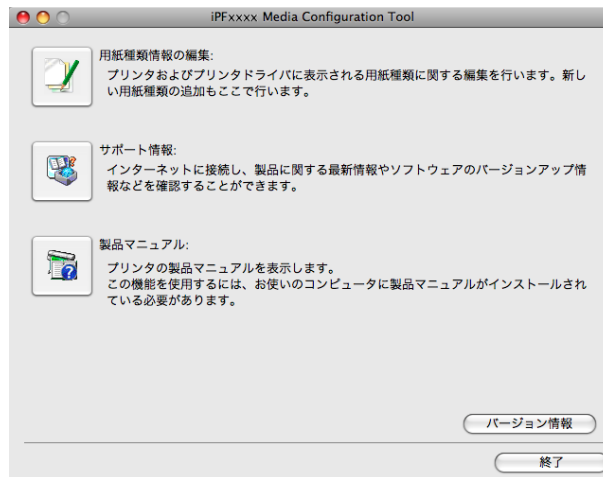
Media Configuration Tool を起動する手順は、以下のとおりです。
[アプリケーション]メニューから[Canon Utilities]> [iPFxxxx Media Configuration Tool] > [MCTxxxx.app]を選択します。

Media Configuration Tool メインウィンドウが表示されます。

メモ

- 対象機種のプリンタドライバがインストールされていない場合、Media Configuration Tool は起動しません。プリンタドライバがインストールされていない状態で Media Configuration Tool を起動すると、以下の警告メッセージが表示されます。

Media Configuration Tool メインウィンドウ

ここでは、Media Configuration Tool メインウィンドウについて説明しています。

メモ

- Media Configuration Tool メインウィンドウを開く手順について詳しくは、「Media Configuration Tool の起動方法」を参照してください。 →P.375

- [用紙種類情報の編集]ボタン

  ボタンをクリックすると、[用紙種類の編集]ダイアログボックスが表示され、用紙の種類を編集することができます。

  [用紙種類情報の編集]について詳しくは、「用紙種類情報を編集する」を参照してください。 →P.377

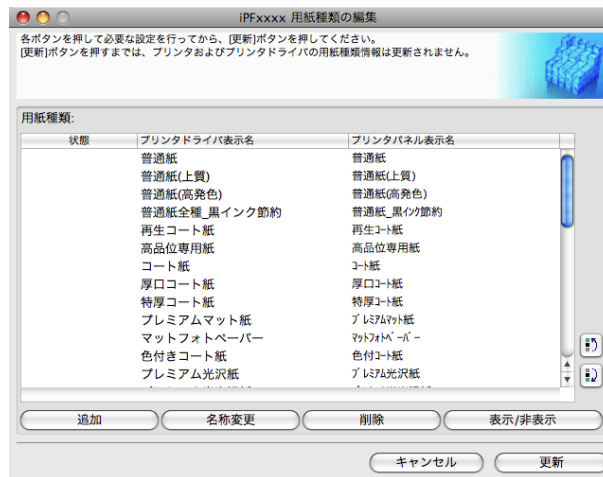
- [サポート情報]ボタン

  ボタンをクリックすると、インターネットに接続し、製品に関する最新情報やソフトウェアのバージョンアップ情報などを確認することができます。

- [製品マニュアル]ボタン

  ボタンをクリックすると、プリンタの製品マニュアルを表示します。この機能を使用するには、お使いのコンピュータに製品マニュアルがインストールされている必要があります。

用紙種類情報を編集する

Media Configuration Tool メインウィンドウの[用紙種類情報の編集]ボタンをクリックすると、[用紙種類の編集]ダイアログボックスが表示されます。

この画面では、以下の操作を行うことができます。

- 用紙種類の追加 →P.377
- 用紙名称の変更 →P.379
- 追加した用紙種類の削除 →P.380
- 用紙種類の表示/非表示を切り替える →P.381
- 用紙種類の表示順序を変更する →P.382

メモ

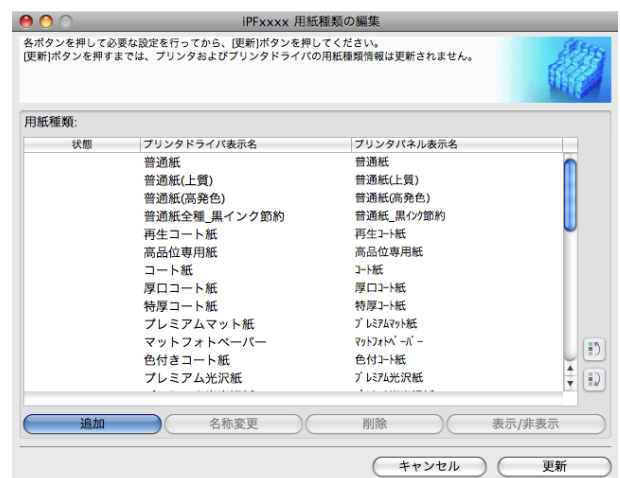
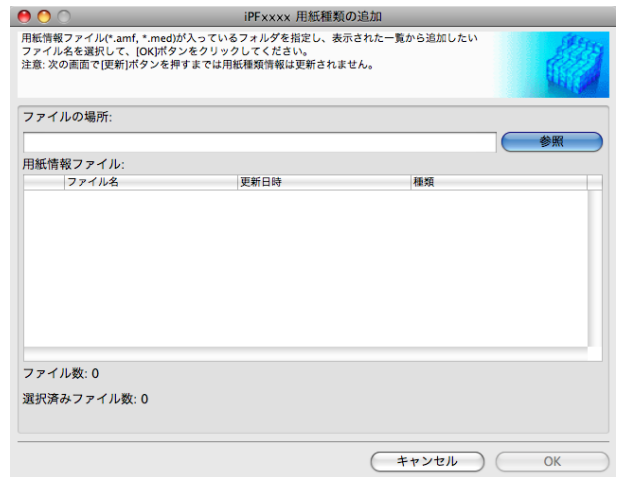
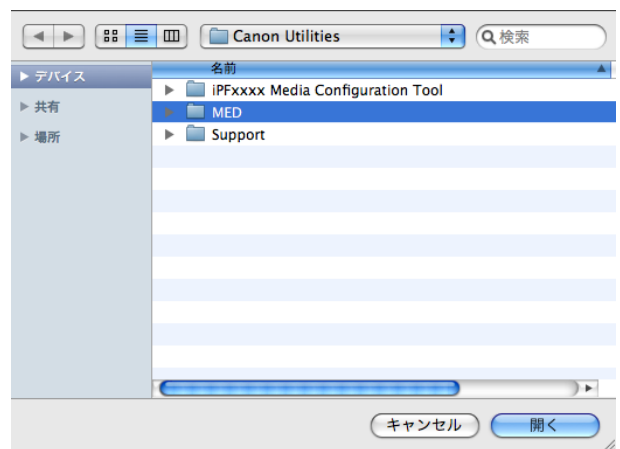
- 削除、表示/非表示、表示順の変更は条件によって行うことができない場合があります。

用紙種類の追加

キヤノンよりリリースされた用紙情報ファイル(Media Information File / .amf ファイル)をプリンタの操作パネルおよびプリンタドライバに登録します。

重要

- 用紙種類の追加を行っている間は、対象のプリンタで印刷を実行しないでください。
- 用紙情報ファイルを登録後に、プリンタドライバまたは Media Configuration Tool を再インストールすると、登録済みの用紙情報ファイルは削除されることがあります。この場合は、まず最新の Media Configuration Tool をダウンロードしてインストールし、続いて必要な用紙情報ファイルをダウンロードして登録してください。

1 [用紙種類の編集]ダイアログボックスを開き、[追加]ボタンをクリックします。

2 [用紙種類の追加]ダイアログボックスが表示されます。
[参照]ボタンをクリックします。

3 用紙情報ファイル(.amf ファイル)が含まれるフォルダを選択して、[開く]ボタンをクリックします。

4 [用紙種類の追加]ダイアログボックスの[用紙情報ファイル]に[フォルダの選択]ダイアログボックスで選択したフォルダ内の用紙情報ファイル名が表示されます。追加したい用紙のチェックボックスにチェックマークを付け、[OK]ボタンをクリックします。

重要

- [用紙情報ファイル]の[種類]に[基本用紙情報ファイル]と表示されている場合は、用紙種類の表示順序や用紙種類の表示/非表示の設定が初期化されます。基本用紙情報ファイルの追加を行った後、再度設定しなおしてください。

5 確認画面が表示されます。[OK]ボタンをクリックします。

6 [用紙種類の編集]ダイアログボックスの[更新]ボタンをクリックします。

[用紙種類の更新]ウィザードが開始されます。[用紙種類の更新]ウィザードで用紙情報を更新する手順について詳しくは、「用紙の種類を更新する」を参照してください。→P.383

重要

- 用紙種類の更新は必ず行ってください。更新を行わないとプリンタおよびプリンタドライバに変更が反映されません。

用紙名称の変更

1 [用紙種類の編集]ダイアログボックスを開きます。

2 [用紙種類]のリストから、名称を変更したい用紙を選択します。
[名称変更]ボタンをクリックします。

3 [用紙種類名称の変更]ダイアログボックスが表示されます。
[プリンタドライバ表示名]および[プリンタパネル表示名]を編集して、[OK]ボタンをクリックします。

メモ

- [元に戻す]ボタンをクリックすると、初期状態の名称が設定されます。

4 [用紙種類の編集]ダイアログボックスの[更新]ボタンをクリックします。

[用紙種類の更新]ウィザードが開始されます。[用紙種類の更新]ウィザードで用紙情報を更新する手順について詳しくは、「用紙の種類を更新する」を参照してください。→P.383

重要

- 用紙種類の更新は必ず行ってください。更新を行わないとプリンタおよびプリンタドライバに変更が反映されません。

追加した用紙種類の削除

1 [用紙種類の編集]ダイアログボックスを開きます。

2 [用紙種類]のリストから、削除したい用紙を選択します。
[削除]ボタンをクリックします。

メモ

- [用紙種類]のリストの[状態]に[追加]と表示されている用紙のみ削除できます。

3 [用紙種類の編集]ダイアログボックスの[更新]ボタンをクリックします。

[用紙種類の更新]ウィザードが開始されます。[用紙種類の更新]ウィザードで用紙情報を更新する手順について詳しくは、「用紙の種類を更新する」を参照してください。 →P.383

重要

- 用紙種類の更新は必ず行ってください。更新を行わないとプリンタおよびプリンタドライバに変更が反映されません。

用紙種類の表示/非表示を切り替える

1 [用紙種類の編集]ダイアログボックスを開きます。

2 [用紙種類]のリストから、表示/非表示にしたい用紙を選択します。
[表示/非表示]ボタンをクリックします。
選択した用紙の表示と非表示が切り替わります。

メモ

- 非表示の用紙は、[用紙種類]のリスト上でグレーアウト表示されます。
- [表示/非表示]ボタンをクリックするごとに、プリンタドライバとプリンタパネルの両方表示→両方非表示→プリンタパネルのみ表示と切り替わります。

3 [用紙種類の編集]ダイアログボックスの[更新]ボタンをクリックします。

[用紙種類の更新]ウィザードが開始されます。[用紙種類の更新]ウィザードで用紙情報を更新する手順について詳しくは、「用紙の種類を更新する」を参照してください。→P.383

重要

- 用紙種類の更新は必ず行ってください。更新を行わないとプリンタドライバに変更が反映されません。

用紙種類の表示順序を変更する

1 [用紙種類の編集]ダイアログボックスを開きます。

2 [用紙種類]のリストから、表示順を変更したい用紙を選択して、表示順変更ボタン(または)をクリックします。
選択した行が一行ずつ上または下に移動します。

3 [用紙種類の編集]ダイアログボックスの[更新]ボタンをクリックします。

[用紙種類の更新]ウィザードが開始されます。[用紙種類の更新]ウィザードで用紙情報を更新する手順について詳しくは、「用紙の種類を更新する」を参照してください。→P.383

重要

- 用紙種類の更新は必ず行ってください。更新を行わないとプリンタおよびプリンタドライバに変更が反映されません。

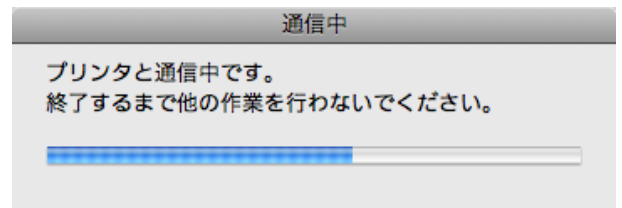
用紙の種類を更新する

[用紙種類の編集]ダイアログボックスの[更新]ボタンをクリックすると、[用紙種類の更新]ウィザードが開始されます。このウィザードでは、お使いのプリンタとプリンタドライバの用紙情報を新しい情報に置き換えることができます。
[用紙種類の更新]ウィザードで用紙情報を更新する手順は、以下のようになります。

重要

- ここでの手順は、更新された Media Configuration Tool もしくは、更新対象の用紙情報ファイルが入手されていることを前提としています。

1 [用紙種類の更新 - プリンタの選択]ダイアログボックスの[プリンタ]に用紙情報を更新するプリンタが自動的に表示されていることを確認し、[次へ]ボタンをクリックします。

2 プリンタとの通信が開始され、以下のようなダイアログボックスが表示されます。

重要

- プリンタと通信中は、印刷を実行したり、電源を切ったりしないでください。

注意

- プリンタと通信できない場合には、以下の警告メッセージが表示されます。

3 プリンタとの通信が終了すると、画面表示が、[用紙種類の更新 - 更新対象の確認]ダイアログボックスに切り替わります。プリンタから取得した情報を確認します。
確認した内容で更新する場合には、[実行]ボタンをクリックします。

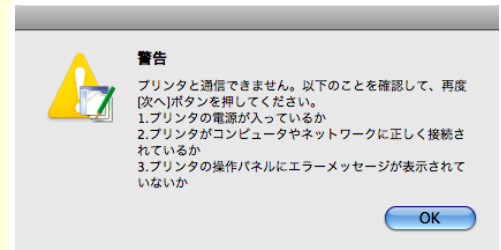
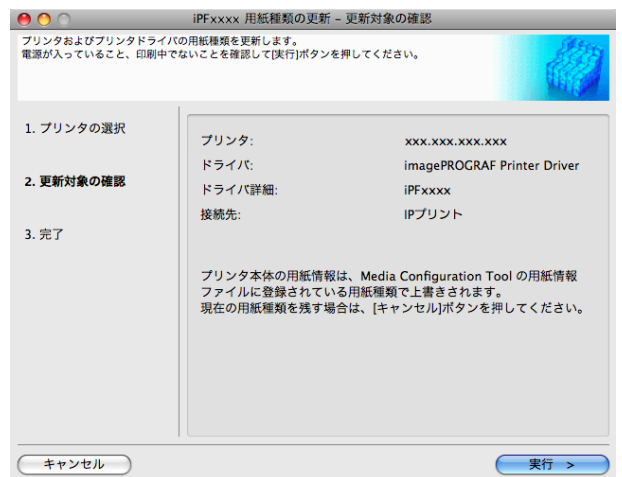
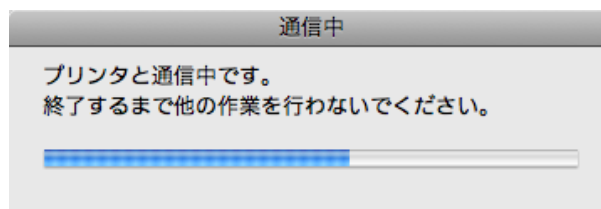
重要

- これから更新するデータと異なったデータがプリンタに設定されている場合、選択した用紙情報ファイルで更新されます。プリンタに設定されているデータを残したい場合は、[キャンセル]ボタンをクリックしてください。

4 プリンタとの通信が開始され、以下のようなダイアログボックスが表示されます。

重要

- プリンタと通信中は、印刷を実行したり、電源を切ったりしないでください。

注意

- プリンタと通信できない場合には、以下の警告メッセージが表示されます。

5 正常に用紙情報ファイルが更新されると、画面表示が[用紙種類の更新 - 完了]ダイアログボックスに切り替わります。[完了]ボタンをクリックして、[用紙種類の更新]ウィザードを閉じます。

用紙について

用紙の種類 388
用紙のサイズ 388
用紙リファレンスガイドを表示する 390
最新の用紙情報に更新する 391

用紙の種類

プリンタに対応する用紙には、以下の用紙の種類があります。プリンタに対応する用紙についての詳細は、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙リファレンスガイド」参照)

- 普通紙
- コート紙
- フォト用紙
- 光沢紙
- プルーフ用紙
- CAD 専用紙　など

用紙リファレンスガイドには、以下の内容が記載されています。

- 用紙の種類
- 用紙の取り扱いについて
- 用紙の製品仕様
- 使用上の注意
- 操作パネル、プリンタドライバの設定　など

- 用紙リファレンスガイド表示方法

用紙リファレンスガイドは、[imagePROGRAF サポート情報]から表示できます。(「用紙リファレンスガイドを表示する」参照) →P.390

- 対応用紙の更新方法

プリンタに対応する用紙は、imagePROGRAF ホームページに新たにリリースされることがあります。
新たにリリースされた用紙を使用するには、Media Configuration Tool で最新の用紙情報をプリンタに登録してください。(「最新の用紙情報に更新する」参照) →P.391

重要

- プリンタドライバを使用しない場合でも、用紙リファレンスガイドのインストールとお使いの地域に合った用紙種類をプリンタに登録するため、Media Configuration Tool をインストールしてください。
Media Configuration Tool については、Media Configuration Tool(Windows) →P.274 または Media Configuration Tool (Macintosh) →P.371 を参照してください。

用紙のサイズ

ロール紙

以下のすべての条件に合ったロール紙を使用できます。

- 外径 150 mm 以内
- 紙管の内径 2 インチまたは 3 インチ
- 表(外側)が印刷面

ロール紙の幅	プリンタドライバの[ロール紙幅]の設定	フチなし印刷(*1)
914.4 mm(36.00 インチ)	[36 インチロール(914.4mm)]	可
841.0 mm(33.11 インチ)	[ISO A0/A1 ロール(841.0mm)]	可
762.0 mm(30.00 インチ)	[30 インチロール(762.0mm)]	不可
728.0 mm(28.66 インチ)	[JIS B1/B2 ロール(728.0mm)]	可
609.6 mm(24.00 インチ)	[24 インチロール(609.6mm)]	可
594.0 mm(23.39 インチ)	[ISO A1/A2 ロール(594.0mm)]	可
515.0 mm(20.28 インチ)	[JIS B2/B3 ロール(515.0mm)]	可

ロール紙の幅	プリンタドライバの[ロール紙幅]の設定	フチなし印刷(*1)
431.8 mm(17.00 インチ)	[17 インチロール(431.8mm)]	可
420.0 mm(16.54 インチ)	[ISO A2/A3 ロール(420.0mm)]	可
406.4 mm(16.00 インチ)	[16 インチロール(406.4mm)]	不可
355.6 mm(14.00 インチ)	[14 インチロール(355.6mm)]	可
300.0 mm(11.81 インチ)	[300mm ロール(300.0mm)]	可
297.0 mm(11.69 インチ)	[ISO A3/A4 ロール(297.0mm)]	可
257.0 mm(10.12 インチ)	[JIS B4 ロール(257.0mm)]	可
254.0 mm(10.00 インチ)	[10 インチロール(254.0mm)]	可

*1: フチなし印刷できる用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類」参照) →P.388

カット紙

以下のサイズのカット紙を使用できます。

用紙のサイズ	寸法
[ISO A0]	841.0 × 1189.0 mm(33.11 × 46.81 インチ)
[ISO A1]	594.0 × 841.0 mm(23.39 × 33.11 インチ)
[ISO A2 ノビ]	431.8 × 609.6 mm(17.00 × 24.00 インチ)
[ISO A2]	420.0 × 594.0 mm(16.54 × 23.39 インチ)
[ISO A3 ノビ]	329.0 × 483.0 mm(12.95 × 19.02 インチ)
[ISO A3]	297.0 × 420.0 mm(11.69 × 16.54 インチ)
[ISO A4]	210.0 × 297.0 mm(8.27 × 11.69 インチ)
[ISO B1]	707.0 × 1000.0 mm(27.83 × 39.37 インチ)
[ISO B2]	500.0 × 707.0 mm(19.69 × 27.83 インチ)
[ISO B3]	353.0 × 500.0 mm(13.90 × 19.69 インチ)
[ISO B4]	250.0 × 353.0 mm(9.84 × 13.90 インチ)
[JIS B1]	728.0 × 1030.0 mm(28.66 × 40.55 インチ)
[JIS B2]	515.0 × 728.0 mm(20.28 × 28.66 インチ)
[JIS B3]	364.0 × 515.0 mm(14.33 × 20.28 インチ)
[JIS B4]	257.0 × 364.0 mm(10.12 × 14.33 インチ)
[34"x44"(ANSI E)]	863.6 × 1117.6 mm(34.00 × 44.00 インチ)
[28"x40"(ANSI F)]	711.2 × 1016.0 mm(28.00 × 40.00 インチ)
[22"x34"(ANSI D)]	558.8 × 863.6 mm(22.00 × 34.00 インチ)
[17"x22"(ANSI C)]	431.8 × 558.8 mm(17.00 × 22.00 インチ)
[11"x17"(Ledger)]	279.4 × 431.8 mm(11.00 × 17.00 インチ)
[13"x19"(Super B)]	330.2 × 482.6 mm(13.00 × 19.00 インチ)
[Letter(8.5"x11")]	215.9 × 279.4 mm(8.50 × 11.00 インチ)
[Legal(8.5"x14")]	215.9 × 355.6 mm(8.50 × 14.00 インチ)
[36"x48"(ARCH E)]	914.4 × 1219.2 mm(36.00 × 48.00 インチ)
[30"x42"(ARCH E1)]	762.0 × 1066.8 mm(30.00 × 42.00 インチ)
[26"x38"(ARCH E2)]	660.4 × 965.2 mm(26.00 × 38.00 インチ)
[27"x39"(ARCH E3)]	685.8 × 990.6 mm(27.00 × 39.00 インチ)
[24"x36"(ARCH D)]	609.6 × 914.4 mm(24.00 × 36.00 インチ)
[18"x24"(ARCH C)]	457.2 × 609.6 mm(18.00 × 24.00 インチ)
[12"x18"(ARCH B)]	304.8 × 457.2 mm(12.00 × 18.00 インチ)
[9"x12"(ARCH A)]	228.6 × 304.8 mm(9.00 × 12.00 インチ)
[DIN C0]	917.0 × 1296.0 mm(36.10 × 51.02 インチ)

用紙のサイズ	寸法
[DIN C1]	648.0 × 917.0 mm(25.51 × 36.10 インチ)
[DIN C2]	458.0 × 648.0 mm(18.03 × 25.51 インチ)
[DIN C3]	324.0 × 458.0 mm(12.76 × 18.03 インチ)
[DIN C4]	229.0 × 324.0 mm(9.02 × 12.76 インチ)
[大全 (20"x24")]	508.0 × 609.6 mm(20.00 × 24.00 インチ)
[全紙 (18"x22")]	457.2 × 558.8 mm(18.00 × 22.00 インチ)
[半切 (14"x17")]	355.6 × 431.8 mm(14.00 × 17.00 インチ)
[小半切 (12"x16")]	304.8 × 406.4 mm(12.00 × 16.00 インチ)
[四切 (10"x12")]	254.0 × 304.8 mm(10.00 × 12.00 インチ)
[四切ワイド (10"x15")]	254.0 × 381.0 mm(10.00 × 15.00 インチ)
[US フォト (16"x20")]	406.4 × 508.0 mm(16.00 × 20.00 インチ)
[ポスター 20"x30"]	508.0 × 762.0 mm(20.00 × 30.00 インチ)
[ポスター 30"x40"]	762.0 × 1016.0 mm(30.00 × 40.00 インチ)
[13"x22"]	329.0 × 558.0 mm(12.95 × 21.97 インチ)
[ポスター 300x900mm]	300.0 × 900.0 mm(11.81 × 35.43 インチ)
[ユーザ定義用紙]	203.2 × 203.2 mm(8.00 × 8.00 インチ) ~ 917.0 × 1600.0 mm(36.10 × 62.99 インチ)

メモ

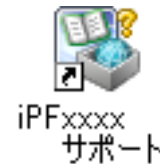
- 定形外の用紙については、「定形外の用紙に印刷する」を参照してください。 →P.103
- カット紙では、フチなし印刷できません。

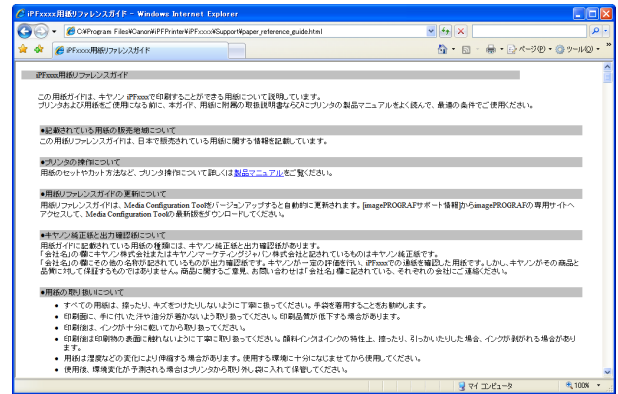
用紙リファレンスガイドを表示する

用紙リファレンスガイドは、[imagePROGRAF サポート情報]から参照できます。ご使用の OS に合わせて、操作してください。

- Windows の場合

1. デスクトップの[iPFxxxx サポート]アイコンをダブルクリックします(iPFxxxx はプリンタ名)。

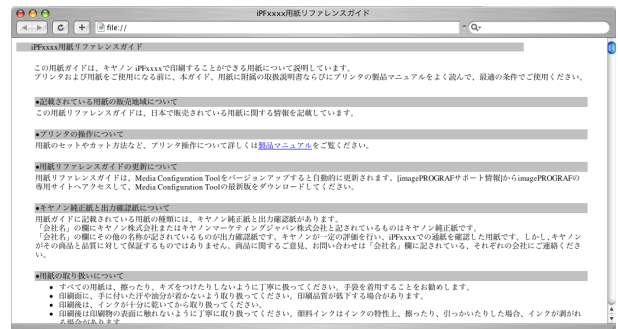
   [imagePROGRAF サポート情報]のウィンドウが開きます。

2. [用紙リファレンスガイド]ボタンをクリックします。

用紙リファレンスガイドが表示されます。

- Mac OS X の場合

1. [Dock]内の[iPF サポート]アイコンをクリックします。

[imagePROGRAF サポート情報]のウィンドウが開きます。

2. [用紙リファレンスガイド]ボタンをクリックします。

用紙リファレンスガイドが表示されます。

最新の用紙情報に更新する

用紙リファレンスガイドやプリンタの操作パネル、プリンタドライバの用紙情報は、[用紙情報ファイル](Media Information File)の最新版を imagePROGRAF ホームページからダウンロードしてインストールすることで、最新の情報に更新できます。
最新の[用紙情報ファイル](Media Information File)は、[imagePROGRAF サポート情報]から imagePROGRAF の専用サイトへアクセスしてダウンロードしてください。ダウンロードできない場合は、販売店にお問い合わせください。
[用紙情報ファイル](Media Information File)については、以下を参照してください。

- Media Configuration Tool →P.274 (Windows)
- Media Configuration Tool →P.371 (Macintosh)

重要

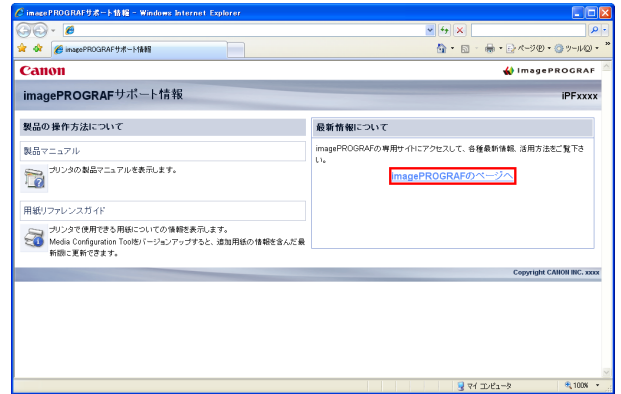
- お使いの Media Configuration Tool のバージョンが imagePROGRAF ホームページにリリースされているバージョンより古い場合は、[用紙情報ファイル](Media Information File)をインストールする前に Media Configuration Tool の最新版をダウンロードしてインストールしてください。Media Configuration Tool の最新版を[用紙情報ファイル](Media Information File)より先にインストールしないと最新の用紙情報に更新できません。

- Windows の場合

1. デスクトップの[iPFxxxx サポート]アイコンをダブルクリックします(iPFxxxx はプリンタ名)。

   [imagePROGRAF サポート情報]のウィンドウが開きます。

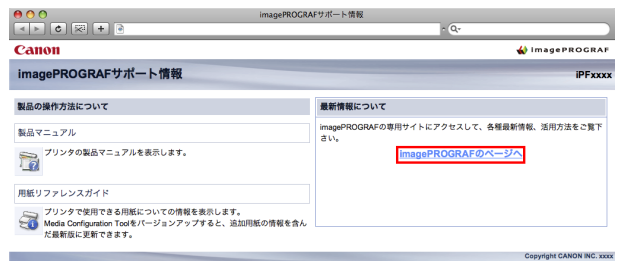
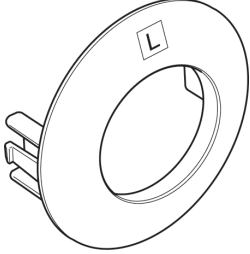
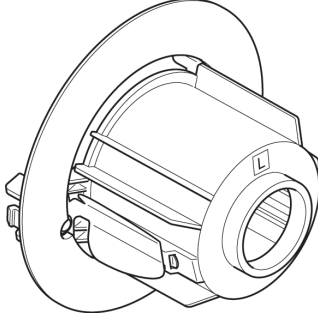
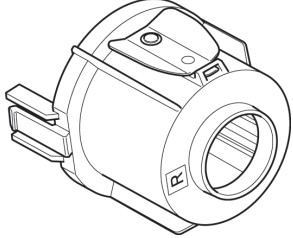
2. [imagePROGRAF のページへ]をクリックします。

   ご使用のコンピュータの標準ブラウザが起動し、imagePROGRAF のホームページが表示されます。

- Mac OS X の場合

1. [Dock]内の[iPF サポート]アイコンをクリックします。

   [imagePROGRAF サポート情報]のウィンドウが開きます。

2. [imagePROGRAF のページへ]をクリックします。

   ご使用のコンピュータの標準ブラウザが起動し、imagePROGRAF のホームページが表示されます。

ロール紙の取り扱い

ロール紙にロールホルダーをセットする 393
ロール紙をプリンタにセットする 395

用紙の種類を変更する 398
用紙の長さを設定する 399

ロール紙をプリンタから取り外す 400
ロール紙からロールホルダーを取り外す 402

ロール紙を手動で送る 403
ロール紙の残量を管理する 404
ロール紙のインク乾燥時間を設定する 404

ロール紙のカット方法を設定する 406
ロール紙の先端を自動でカットする 410
ロール紙のカット屑を軽減する 411

ロール紙にロールホルダーをセットする

ロール紙に印刷する場合は、ロール紙にロールホルダーを取り付けます。
ロール紙の紙管には 2 インチと 3 インチの 2 つの種類があるため、紙管に合ったアタッチメントを取り付けてください。工場出荷状態では 2 インチ紙管アタッチメントが取り付けられています。

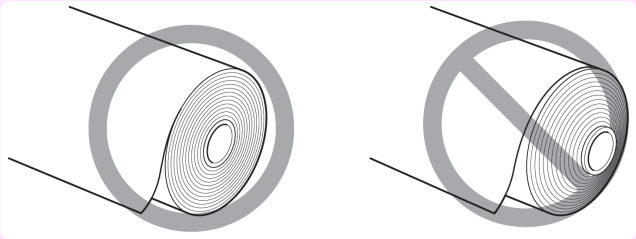
2 インチ紙管のロール紙を使用する場合		3 インチ紙管のロール紙を使用する場合	
ホルダーストッパ(L 側)	ロールホルダー(R 側)	ホルダーストッパ(L 側)	ロールホルダー(R 側)
2 インチ紙管アタッチメント	アタッチメント不要	3 インチ紙管アタッチメント L	3 インチ紙管アタッチメント R

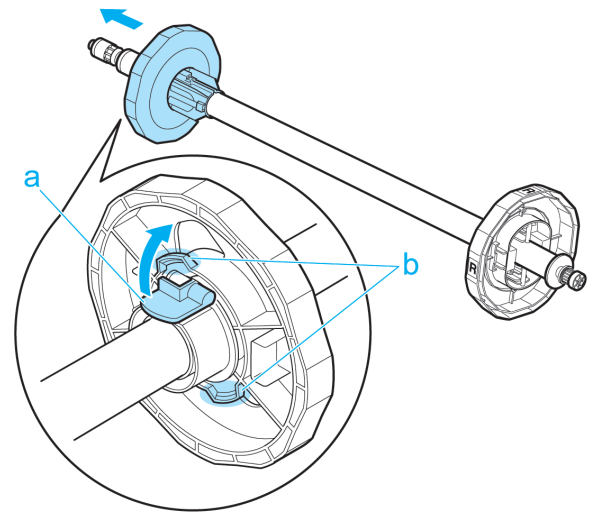
注意

- ロール紙は、転がり落ちないように、机の上など平面に横置きにしてセットしてください。ロール紙を落とすと、けがをする場合があります。

重要

- ロール紙を取り扱うときは、印刷面を汚さないように注意してください。印刷品質が低下する場合があります。ロール紙は、印刷面を保護するために、清潔な布手袋を着用して取り扱うことをお勧めします。
- ロール紙の先端が不揃いだったり、汚れやテープの跡がある場合は、はさみなどで切り揃えておいてください。給紙不良や印刷品質の低下の原因になります。バーコードが印刷されているロール紙の場合、バーコード部分をカットしないように注意してください。
- ロール紙の端面は、巻き揃えておいてください。給紙不良の原因になります。

メモ

- 使用できるロール紙のサイズと種類については、[用紙のサイズ]、または用紙リファレンスガイドを参照してください。
(「用紙のサイズ」参照) →P.388 (「用紙の種類」参照) →P.388
- [ナビ]キーを押すと、操作説明を見ながらロールホルダーをセットすることができます。(「ナビの見かた」参照) →P.431

1 ホルダーストッパのレバー(a)を軸側から起こしてロックを解除し、図の位置(b)を持ってホルダーストッパをロールホルダーから取り外します。

2 ロールホルダーとホルダーストッパに、それぞれ使用するロール紙の紙管のアタッチメントを取り付けます。

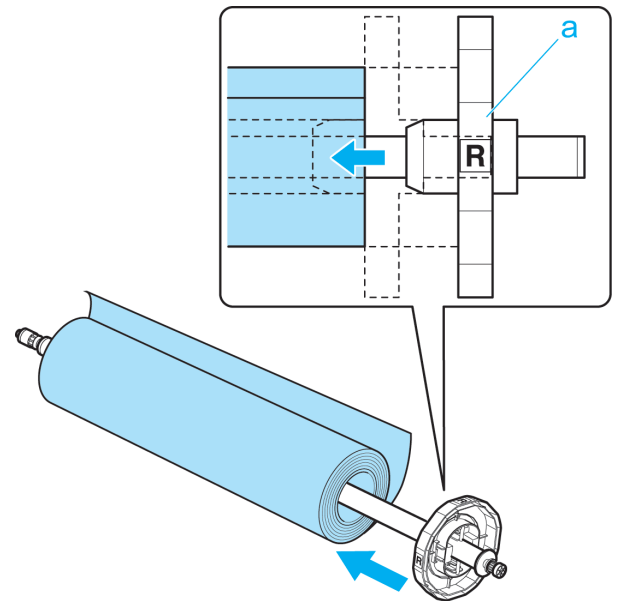
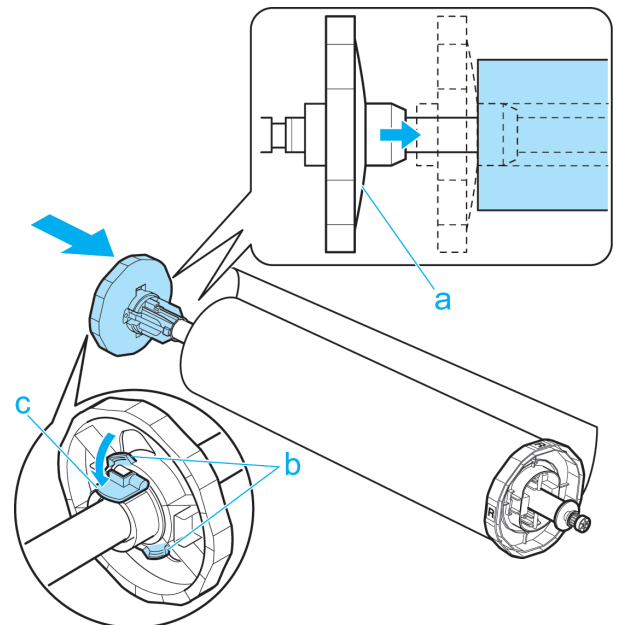
- 2 インチ紙管の用紙を使用する場合

ホルダーストッパ(L 側)	ロールホルダー(R 側)
2インチ紙管アタッチメントのツメ(a)をホルダーストッパの穴(b)に合わせて、しっかりと差し込みます。	アタッチメントは不要です。

- 3 インチ紙管の用紙を使用する場合

ホルダーストッパ(L 側)	ロールホルダー(R 側)
3インチ紙管アタッチメント L のツメ(a)をホルダーストッパの穴(b)に合わせて、しっかりと差し込みます。	3インチ紙管アタッチメント R のツメ(a)をロールホルダーの穴(b)に合わせて、しっかりと差し込みます。

用紙の取り扱い
ロール紙の取り扱い

3 図のように、ロール紙の先端を手前側に向けて、ロール紙の右側からロールホルダーを差し込みます。ロール紙が、ロールホルダーのフランジ(a)に隙間なく突き当たるまでしっかりと差し込みます。

4 図のように、ホルダーストッパを左側からロールホルダーに差し込み、図の位置(b)を持ってホルダーストッパのフランジ(a)がロール紙に突き当たるまでしっかりと押し込みます。ホルダーストッパのレバー(c)を軸側に倒してロックします。

ロール紙をプリンタにセットする

以下の手順でロール紙をプリンタにセットします。

メモ

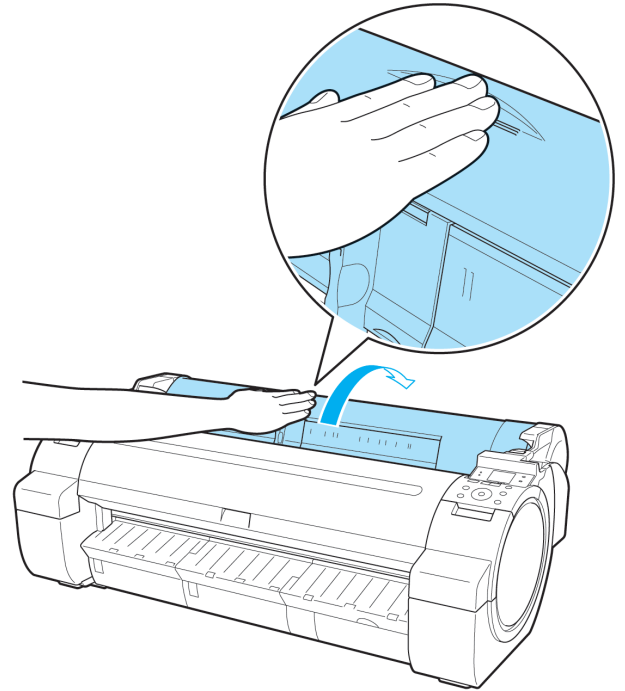
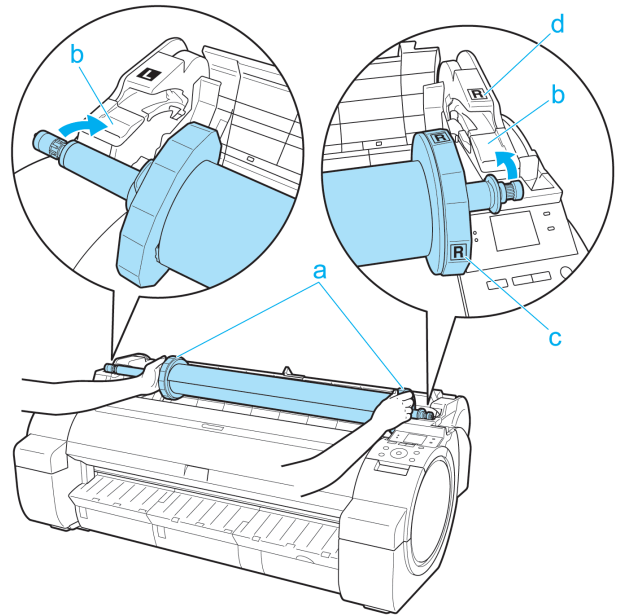
- ロール紙をセットする前に、上カバー内部や排紙ガイドが汚れていないか確認してください。汚れている場合はあらかじめ清掃しておくことをお勧めします。(「上カバー内部を清掃する」参照) →P.537

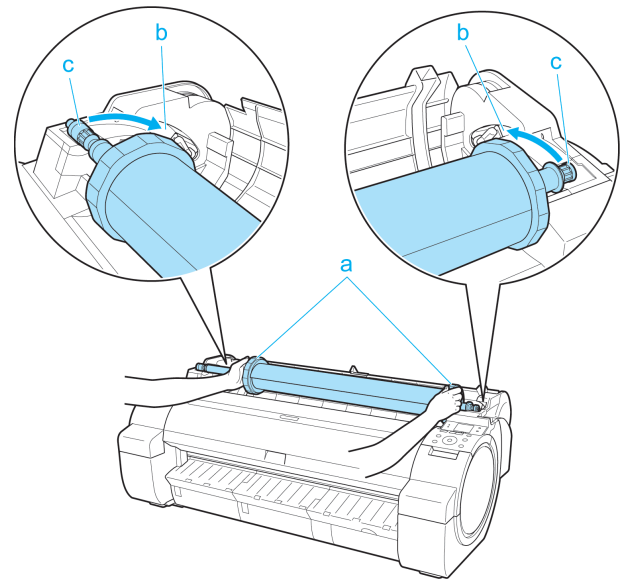
1 [用紙交換]キーを押します。

2 [▲]キー、[▼]キーを押して[ロール紙をセットする]を選択し、[OK]キーを押します。

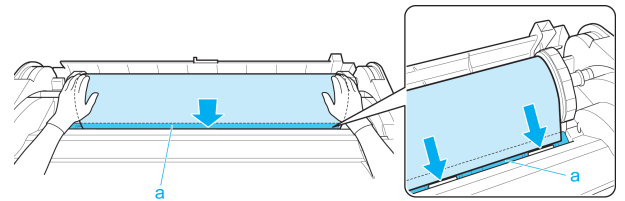
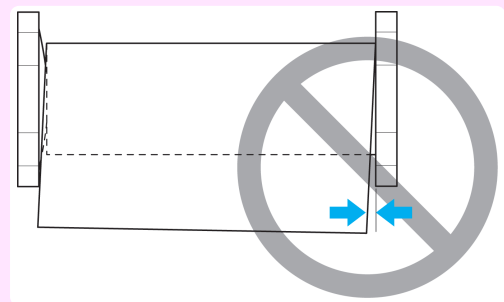
メモ

- 使用しない用紙が給紙されている場合は、用紙を外すメッセージが表示されます。
  [▲]キー、[▼]キーを押して[はい]を選択し、[OK]キーを押します。用紙を取り外し、次の手順に進んでください。

3 図の位置に手を添えて、ロール紙カバーを開きます。

4 ロールホルダーのフランジ(a)を持って、ロールホルダーの軸をロール紙仮置き台(b)にセットします。
その際、図のようにロールホルダーのフランジの[R]のラベル(c)と、プリンタ本体の[R]のラベル(d)を合わせてセットしてください。

5 ロールホルダーのフランジ(a)を持って、左右のスライドガイド(b)に沿って水平にロールホルダースロットにセットします。

注意

- ロールホルダーの左右を間違えた状態で無理にセットしないでください。プリンタやロールホルダーを破損する場合があります。
- ロールホルダースロットにセットするまでフランジから手を離さないでください。
- セットするときに、スライドガイド(b)とロールホルダーの軸(c)の間に指が挟まれないように注意してください。

6 ロール紙の先端を、ピピッと音が鳴るまで給紙口(a)に送り込みます。

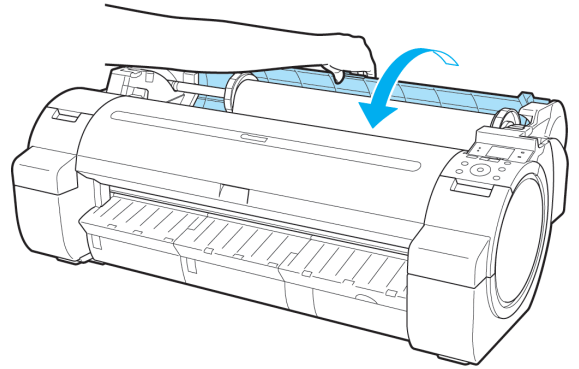
重要

- ロール紙を送り込むときは、印刷面を汚さないように注意してください。印刷品質が低下する場合があります。ロール紙は、印刷面を保護するために、清潔な布手袋を着用して取り扱うことをお勧めします。
- 用紙にしわやカールがある場合は、しわやカールを取ってからセットしてください。
- 用紙が斜めにならないようにセットしてください。

7 給紙動作が開始されると、[ロール紙残量管理]の設定やロール紙に印刷されているバーコードによって、以下の操作が必要になります。(「ロール紙の残量を管理する」参照) →P.404

[ロール紙残量管理]	バーコード	給紙後の動作
[オフ]	印刷されている	ディスプレイに用紙の種類を選択するメニューが自動的に表示されます。 [▲]キー、[▼]キーを押してセットした用紙の種類を選択し、[OK]キーを押します。
	印刷されていない	
[オン]	印刷されている	ロール紙に印刷されているバーコードから用紙の種類と残量が自動で検知されます。 用紙の種類、長さを選択する必要はありません。
	印刷されていない	ディスプレイに用紙の種類と長さを選択するメニューが自動的に表示されます。 [▲]キー、[▼]キーを押してセットした用紙の種類と長さを選択し、[OK]キーを押します。

メモ

- 選択する用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類」参照) →P.388

8 図の位置を持って、ロール紙カバーを閉じます。

メモ

- ロール紙の先端に折れがあり、はさみなどでカットした場合や、汚れがある場合は、給紙完了後ロール紙の先端をカットします。(「ロール紙のカット方法を設定する」参照) →P.406

用紙の種類を変更する

用紙のセット後にプリンタに設定した用紙の種類を変更する場合は、以下の手順で変更してください。
同じ種類の用紙を使い続ける場合は、[用紙種類の固定]を[オン]に設定すると、用紙をセットする際に、[オン]に設定する前に選択した用紙の種類が自動的に選択され、用紙の種類を設定する手間が省けます。(「同じ種類の用紙を使い続ける場合」参照) →P.399

重要

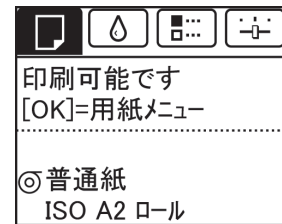
- このプリンタは、最良の印刷品質を得るために、用紙の種類ごとに用紙の送り量とプリントヘッドの高さを調整しています。印刷するときは、給紙する用紙の種類を正しく選択してください。
- 用紙の種類ごとに用紙の送り量を微調整しているため、用紙の種類によって画像のサイズやマージンが変わることがあります。画像のサイズやマージンが思うような結果にならない場合は、用紙の送り量の調整を行ってください。
(「用紙の送り量を調整する」参照) →P.507

用紙の種類を変更する

メモ

- ロール紙をセットすると、ディスプレイに用紙の種類を選択するメニューが表示されます。用紙の種類を選択して[OK]キーを押してください。
ロール紙にバーコードが印刷されていなくて、[ロール紙残量管理]が[オン]に設定されている場合は、用紙の種類を選択した後、続けて、用紙の長さを選択してください。(「用紙の長さを設定する」参照) →P.399

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キー を押して (用紙タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[用紙メニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙種類の変更]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して現在給紙されている用紙の種類([ロール紙]または[カット紙])を選択し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押してプリンタにセットされている用紙の種類を選択し、[OK]キーを押します。

- 必ず正しい用紙の種類を選択してください。セットした用紙の種類と設定値が合っていないと、用紙送りのエラーや印刷品質の低下の原因になります。

- 用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類」参照) →P.388 工場出荷時は、普通紙が選択されています。
- リリースレバーを操作すると、設定値は自動的に最後に選択した用紙に戻ります。

同じ種類の用紙を使い続ける場合

現在設定されている用紙種類が、今後用紙をセットする際に自動的に選択されるように設定します。

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (用紙タブ)を選択します。

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[用紙メニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙種類の固定]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[オン]を選択し、[OK]キーを押します。

- 以下の場合は、設定した用紙種類が更新されます。
  - カット紙を使用する場合、用紙セット前に印刷ジョブを送信すると、印刷ジョブで設定した用紙種類に更新されます。
  - 操作パネルのメニューで[ロール紙残量管理]が[オン]に設定されていて、ロール紙にバーコードが印刷されている場合は、バーコードに登録されている用紙種類に更新されます。
- 用紙の種類を変更したい場合は、「用紙の種類を変更する」を参照してください。 →P.398

用紙の長さを設定する

用紙の給紙後に用紙の長さを変更する場合は、以下の手順で用紙の長さを設定してください。

- ロール紙の長さの設定は、[ロール紙残量管理]が[オン]に設定されている場合に行います。(「ロール紙の残量を管理する」参照) →P.404

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (用紙タブ)を選択します。

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[用紙メニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙サイズの変更]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[ロール紙の長さ]を選択し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押してプリンタにセットされている用紙の長さを設定し、[OK]キーを押します。
用紙の長さは、以下の手順で設定します。

1. [◀]キー、[▶]キーを押して、入力フィールドを移動します。
2. [▲]キー、[▼]キーを押して数値を入力します。
3. 手順 1、2 を繰り返して数値を入力し、[OK]キーを押します。

ロール紙をプリンタから取り外す

以下の手順でロール紙をプリンタから取り外します。

メモ

- ロール紙をカットする必要がある場合は、「ロール紙のカット方法を設定する」を参照してください。 →P.406

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して （用紙タブ）を選択します。

メモ

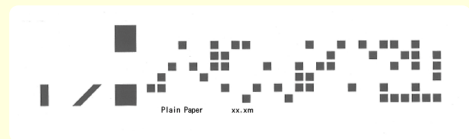
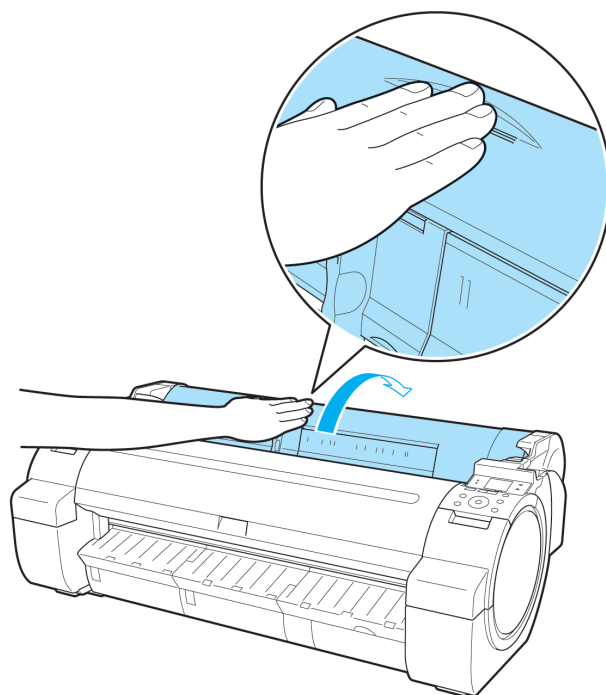
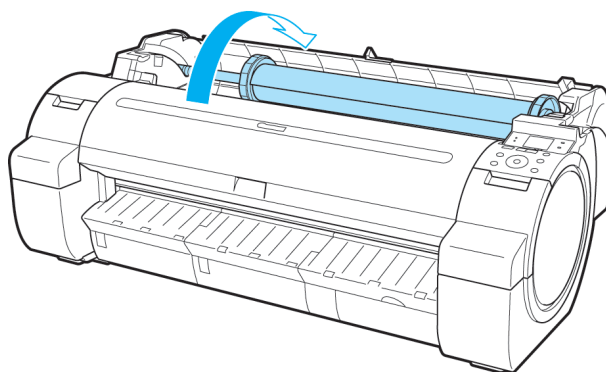
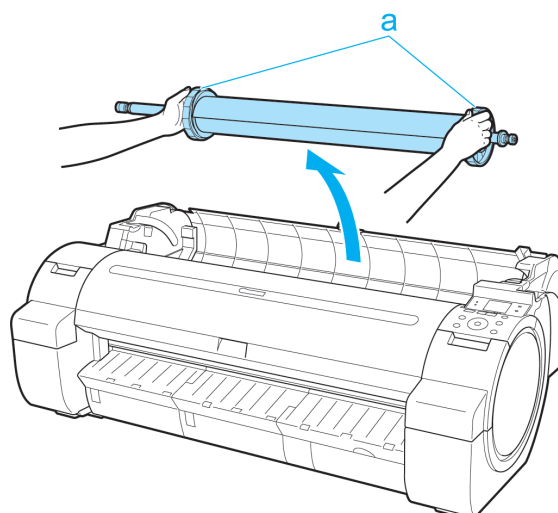
- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[用紙メニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙の取り外し]を選択し、[OK]キーを押します。

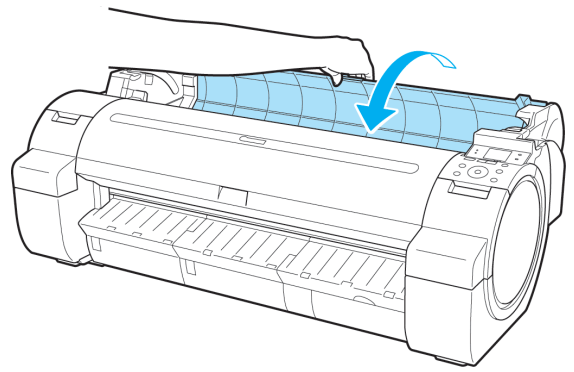
4 [▲]キー、[▼]キーを押して[はい]を選択し、[OK]キーを押します。
ロール紙が巻き戻され、排紙されます。

注意

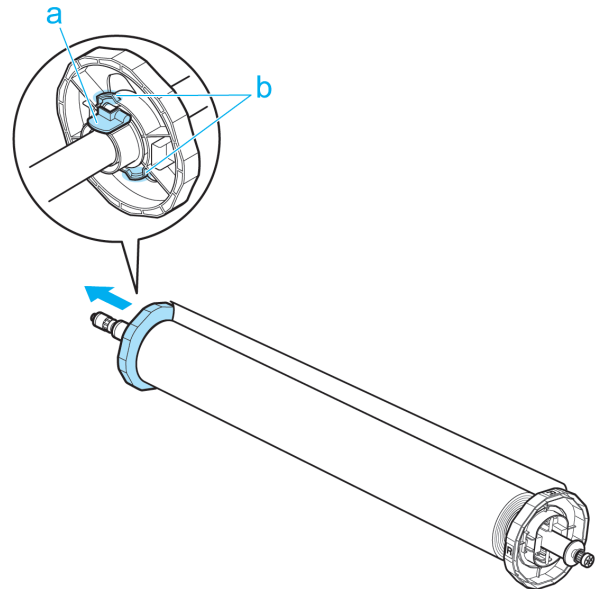
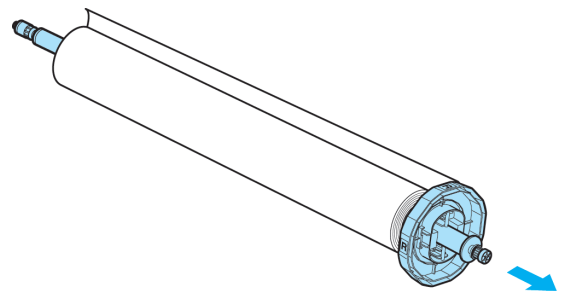
- 操作パネルのメニューで[ロール紙残量管理]を[オン]に設定している場合は、ロール紙の先端にバーコードが印刷されます。
バーコードが印刷される前にロール紙を取り出さないでください。ロール紙の残量を管理できなくなります。(「ロール紙の残量を管理する」参照) →P.404

5 図の位置に手を添えて、ロール紙カバーを開きます。

6 両手でロールホルダーを後方に回してロール紙を巻き取ります。

7 ロールホルダーのフランジ(a)を持って、ロールホルダースロットから取り外します。

メモ

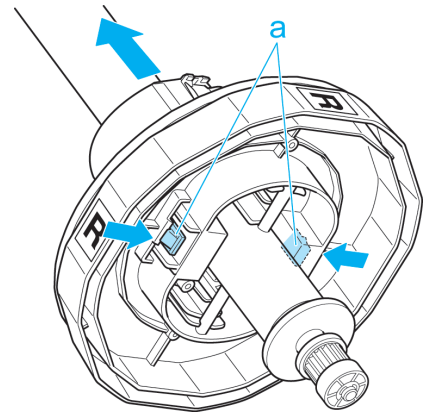
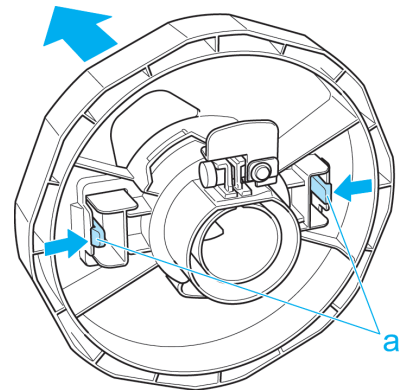
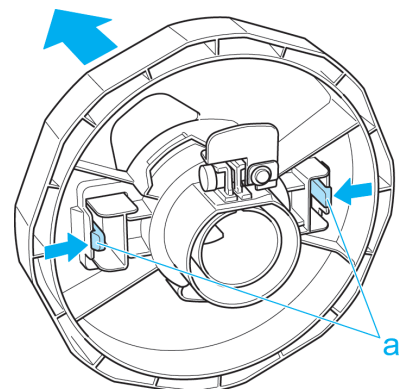
- ロール紙からロールホルダーを取り外す手順は「ロール紙からロールホルダーを取り外す」を参照してください。 →P.402

8 図の位置を持って、ロール紙カバーを閉じます。

メモ

- 新しく用紙をプリンタに取り付ける場合は、引き続き「ロール紙をプリンタにセットする」を参照してください。 →P.395

ロール紙からロールホルダーを取り外す

1 ホルダーストッパのレバー(a)を軸側から起こしてロックを解除し、図の位置(b)を持ってホルダーストッパをロールホルダーから取り外します。

2 ロール紙からロールホルダーを取り外します。

3 アタッチメントを取り外す場合は、ツメ(a)を内側に押して、アタッチメントを取り外します。

- 3インチ紙管アタッチメントR(ロールホルダー側)

- 3インチ紙管アタッチメントL(ホルダーストッパ側)

- 2インチ紙管アタッチメント

重要

- ロール紙は入っていた袋または箱に戻し、高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。正しく保管しておかないと、印刷時に、印刷面がこすれたり、印刷品質が低下する場合があります。

ロール紙を手動で送る

ロール紙の給紙後に[用紙送り]キーを押すと、ロール紙を[▲]キー、[▼]キーで前後に送ることができます。

1 [用紙送り]キーを押します。

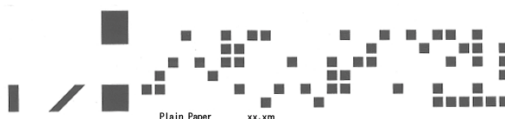
2 [▲]キー、[▼]キーを押してロール紙を前後に送ります。
[▲]キーを押すと、ロール紙を手動で後ろに戻すことができます。
[▼]キーを押すと、ロール紙を手動で前に送ることができます。

メモ

- 1 秒未満[▲]キー、[▼]キーを押すと、ロール紙は約 1 mm 送られます。
1 秒以上[▲]キー、[▼]キーを押し続けると、キーから指を離すまでロール紙が送られます。ディスプレイに[紙送り量のリミットに達しました。これ以上紙送りできません。]が表示された場合は、指を離します。

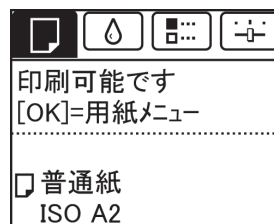
ロール紙の残量を管理する

操作パネルの[用紙メニュー]で[ロール紙残量管理]を[オン]に設定すると、用紙を取り外す際にロール紙の残量と用紙種類情報がバーコードとテキストで印刷されます。[ロール紙残量管理]が[オン]に設定されているときにバーコードが印刷されたロール紙をセットすると、そのロール紙をセットしたときに、ロール紙の残量と用紙種類が自動的に検知されます。バーコード部分は読み取り後にカットされます。

重要

- ロール紙のバーコードが検知されなかったときは、操作パネルで用紙種類と長さを入力します。

[ロール紙残量管理]を[オン]に設定する場合は、以下の手順で行います。

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (用紙タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[用紙メニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[ロール紙残量管理]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[オン]を選択し、[OK]キーを押します。

ロール紙のインク乾燥時間を設定する

インクの定着が悪い用紙の場合、排紙時の転写などにより、用紙の表面が汚れる場合があります。その場合は、印刷した後にインクが乾くまでの待ち時間を設定することで、改善できることがあります。

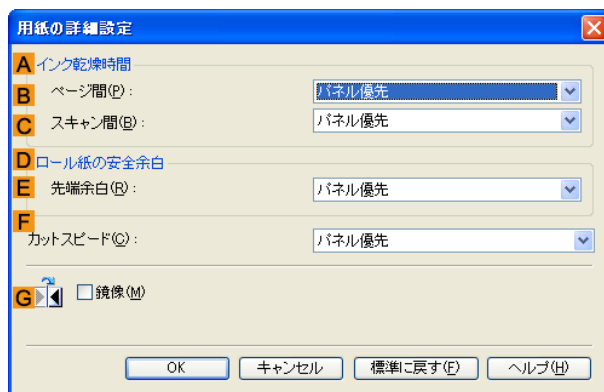
メモ

- カッターがインクの乾いていない印刷面と接触したときに、用紙の表面に傷や汚れが付いたり、用紙がバスケットに落ちる際に表面がこすれ、用紙の表面に汚れが付く場合があります。
印刷直後に印刷物を落下させずにインクの乾燥を待つ場合は、プリンタのメニューの[カットモード]を[イジェクトカット]に設定します。(「ロール紙のカット方法を設定する」参照) →P.406

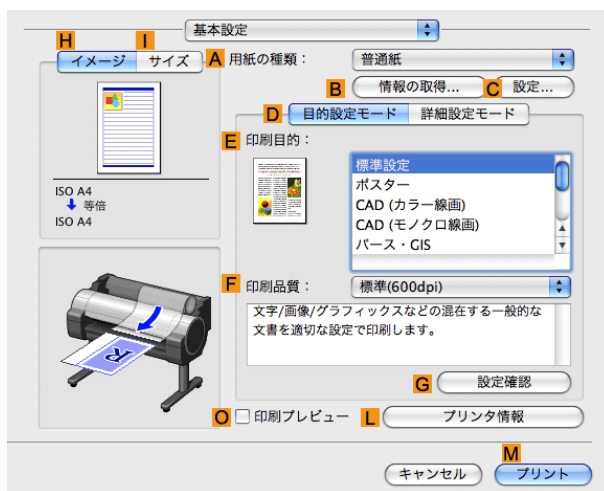
Windows の場合

1 プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。
(「システムのメニューからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows)」参照) →P.161

2 [基本設定]シートを選択し、**A**[用紙の種類]の **C**[詳細設定]をクリックします。

3 [用紙の詳細設定]ダイアログボックスが開いたら、**A**[インク乾燥時間]の **B**[ページ間]と **C**[スキャン間]で、それぞれの一覧から任意の値を選択し、[OK]をクリックします。
(「用紙の詳細設定ダイアログボックス(Windows)」参照) →P.166

Mac OS X の場合

1 アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

2 [基本設定]パネルを選択し、**A**[用紙の種類]の **C**[設定]をクリックします。

3 [用紙の詳細設定]ダイアログボックスが開いたら、B[インク乾燥時間]の C[ページ間]と D[スキャン間]で、それぞれの一覧から任意の値を選択し、[OK]をクリックします。
(「用紙の詳細設定ダイアログボックス(Mac OS X)」参照) →P.296

ロール紙のカット方法を設定する

プリンタの設定によって、排紙したときのロール紙のカット方法は異なります。

カット方法		プリンタの設定		ドライバの設定	
自動カット	プリンタドライバの設定によって、カッターユニットでロール紙を自動的にカットします。	[用紙メニュー]－[用紙詳細設定]－(各用紙種類)－[カットモード]	[自動カット]	[オートカット設定]	[あり]
イジェクトカット	インクの乾燥を待つときなど、印刷直後に印刷物を落下させたくない場合に選択します。 [用紙カット]キーを押して、カッターユニットでロール紙をカットします。		[イジェクトカット]		[あり]
ユーザーカット	カッターユニットでカットできない用紙の種類の場合に選択します。 1枚ずつはさみでロール紙をカットします。連続印刷した後にカットしたい場合は、[オートカット設定]で[あり]または[カットラインを印刷]を選択します。 (「印刷後にロール紙をカットする」参照) →P.149		[ユーザーカット]		[なし][あり][カットラインを印刷]
用紙カット	プリンタドライバの[オートカット設定]で、[なし]または[カットラインを印刷]を選択して印刷した後で、カッターユニットをボタン操作で動作させて、ロール紙をカットしたい場合に選択します。 またはロール紙のセット後に用紙の先端をカットしたい場合に選択します。	[用紙カット]キー押下	[する]		[なし][カットラインを印刷]

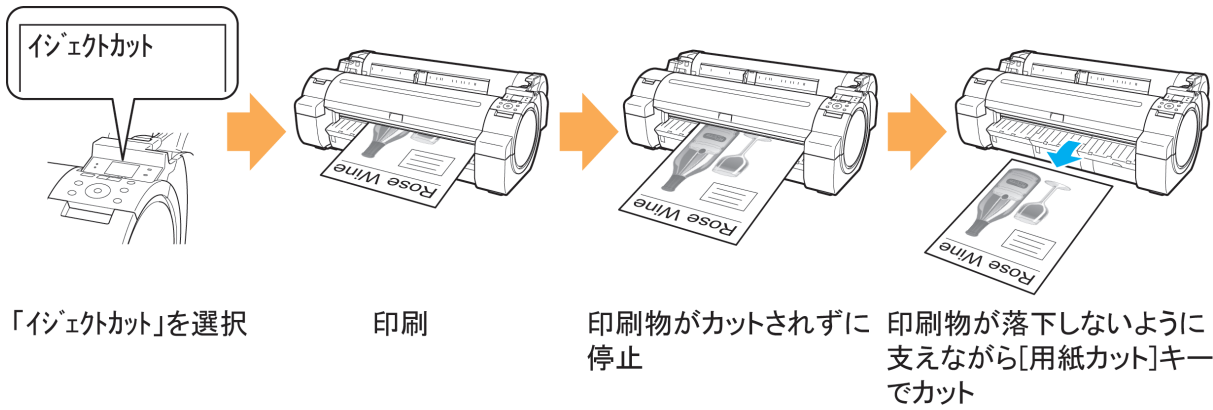
メモ

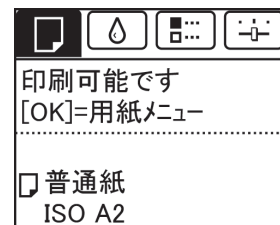
- 自動カット、イジェクトカットは、プリンタドライバの[オートカット設定]が[あり]の場合のみ動作します。
- イジェクトカットで連続印刷をする場合は、印刷後にロール紙をカットしないと次の印刷が開始しません。
- 用紙の種類によっては、あらかじめ[カットモード]が[イジェクトカット]に設定されている用紙があります。これらの用紙はカット方法を変更しないことをお勧めします。

以下の場合に、ロール紙を手動でカットしてください。

イジェクトカット(印刷した後にインクの乾燥を待つ場合)

「ｲｼﾞｪｸﾄｶｯﾄ」を選択　印刷　印刷物がカットされずに停止　印刷物が落下しないように支えながら[用紙カット]キーでカット

重要

- 幅の広い用紙をイジェクトカットするときは、用紙を 2 人で支えてください。用紙が落下すると、印刷物に傷を付ける原因になります。
- カットする前に印刷物を支えるときは、用紙を持ち上げないでください。用紙が浮き上がると、印刷品質が低下したり、切断面がみだれる場合があります。

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (用紙タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。[用紙メニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙詳細設定]を選択し、[OK]キーを押します。

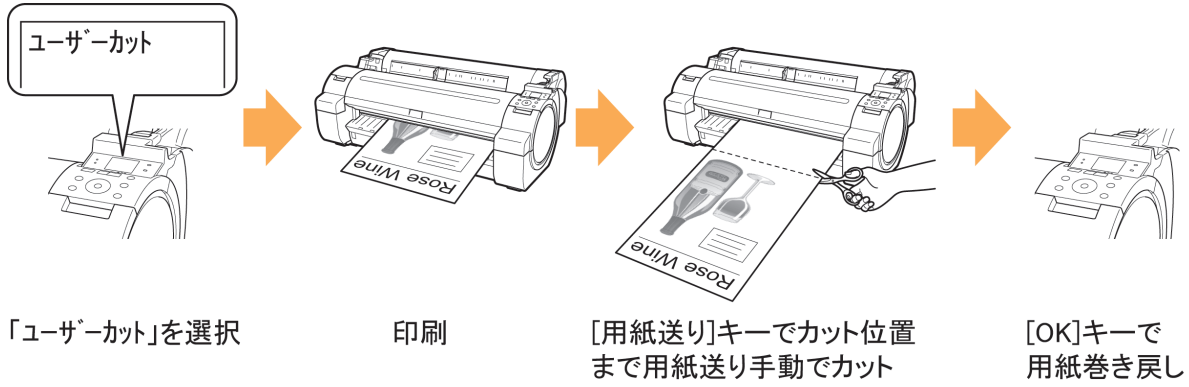
4 [▲]キー、[▼]キーを押して用紙の種類を選択し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[カットモード]を選択し、[OK]キーを押します。

6 [▲]キー、[▼]キーを押して[イジェクトカット]を選択し、[OK]キーを押します。

7 印刷します。
印刷が終わると、カットされずに自動的に停止します。

8 印刷物が落下しないように支えながら、[用紙カット]キーを押してロール紙をカットします。

ユーザーカット(カッターユニットでカットできない用紙の場合)

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (用紙タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。[用紙メニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙詳細設定]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して用紙の種類を選択し、[OK]キーを押します。

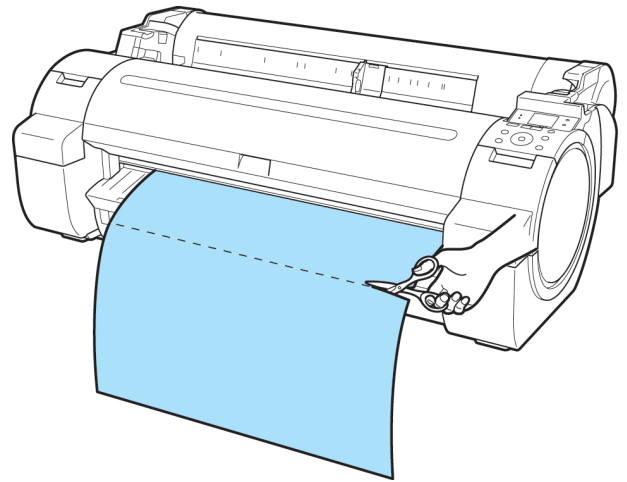
5 [▲]キー、[▼]キーを押して[カットモード]を選択し、[OK]キーを押します。

6 [▲]キー、[▼]キーを押して[ユーザーカット]を選択し、[OK]キーを押します。

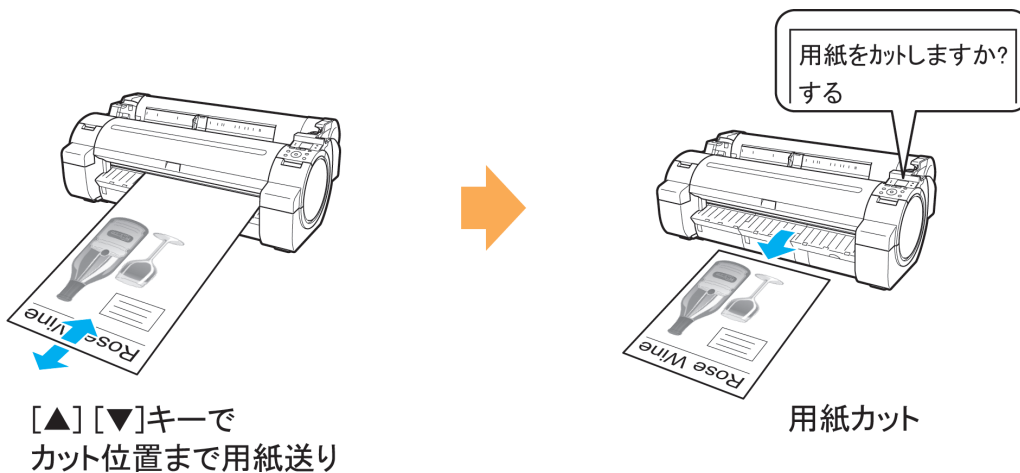
7 印刷します。
印刷が終わると、停止します。

8 [用紙送り]キーを押します。

カットする位置まで自動的に用紙が送られ、停止します。

9 手動でロール紙をはさみなどでカットします。

10 [OK]キーを押します。

ロール紙が巻き戻され、自動的に止まります。

用紙カット（任意の位置でロール紙をカットしたい場合）

1 [用紙送り]キーを押します。

2 [▼]キーを押して、カットしたい位置までロール紙を送ります。

3 [用紙カット]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[する]を選択し、[OK]キーを押します。
ロール紙がカットされ、自動的に巻き戻されます。

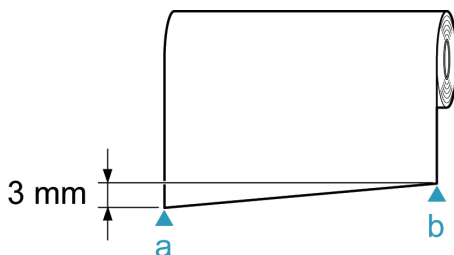
注意

- カットする長さが短い場合、自動的にロール紙が送られてカットされることがあります。

ロール紙の先端を自動でカットする

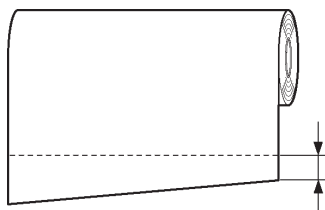
ロール紙の先端が斜めになっていたり、ゆがんでいると、エラーメッセージを表示して正しく印刷できません。その場合は、操作パネルの[用紙メニュー]から[先端プレカット]を[自動]または[オン]に設定すると、ロール紙のセット時に先端を切り揃えることができます。
[先端プレカット]には以下の設定があります。

- [自動]

ロール紙のセット時に、左右の先端(a)と(b)の差が 3 mm 以上あれば、斜め量に応じて先端を切り揃えて白紙の紙片を排紙します。3 mm 以下の場合はカットしません。ただし、先端の状態によってはカットされる場合があります。一部の用紙を除き、工場出荷時の状態では[自動]に設定されています。詳細については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類」参照) →P.388

- [オフ]

先端は切り揃えられず白紙の紙片も排紙されません。

- [オン]

ロール紙のセット時に、先端をカットして白紙の紙片を排紙します。用紙先端のカット量は、用紙の種類によって異なります。詳細については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類」参照) →P.388

重要

- 幅が一定ではない用紙の場合は、[斜行検知精度]で[ゆるめ]を選択して用紙の斜行検知機能の精度を緩めたり、[オフ]を選択して斜行検知機能を無効にします。ただし、[オフ]を選択したときに用紙が斜めにセットされると、紙づまりが起こり、プラテンが汚れる場合があります。

メモ

- 工場出荷時の状態では、用紙により設定が異なります。詳細については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類」参照) →P.388

[先端プレカット]の設定を変更する場合は、以下の手順を行ってください。

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (用紙タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[用紙メニュー]が表示されます。

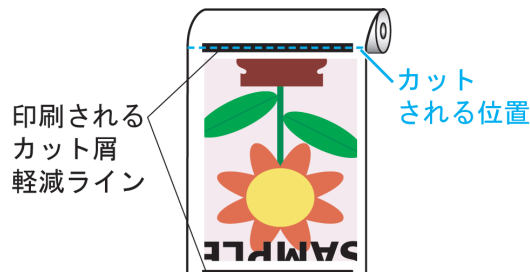
3 [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙詳細設定]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して用紙の種類を選択し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[先端プレカット]を選択し、[OK]キーを押します。

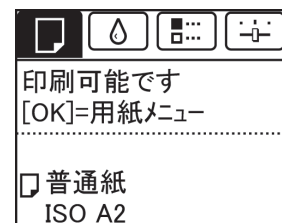
6 [▲]キー、[▼]キーを押して設定を選択し、[OK]キーを押します。
次回ロール紙をセットするときから、設定が有効になります。

ロール紙のカット屑を軽減する

バックライトフィルムなどカット屑が出やすい用紙の場合、操作パネルの[用紙メニュー]から[カット屑軽減]を[オン]に設定することで、印刷物の先端と後端に黒い線が印刷され、カット屑を軽減できます。これによって、プリントヘッドの故障が減る場合があります。[カット屑軽減]は、用紙の種類ごとに設定できます。

重要

- 普通紙や薄い用紙など波打ちが起きやすい用紙の場合は、[カット屑軽減]を[オン]に設定しないでください。正常にカットされず、用紙がつまる場合があります。
- [カット屑軽減]を[オン]に設定している場合は、フチなし印刷できません。フチなし印刷する場合は、[カット屑軽減]を[オフ]に設定してください。

以下の手順で[カット屑軽減]を[オン]に設定します。

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (用紙タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2. [OK]キーを押します。
[用紙メニュー]が表示されます。

3. [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙詳細設定]を選択し、[OK]キーを押します。

4. [▲]キー、[▼]キーを押してプリンタにセットされている用紙の種類を選択し、[OK]キーを押します。

5. [▲]キー、[▼]キーを押して[カット屑軽減]を選択し、[OK]キーを押します。

6. [▲]キー、[▼]キーを押して[オン]を選択し、[OK]キーを押します。

カット紙の取り扱い

カット紙をプリンタにセットする 413
任意の位置から印刷を開始する 415
カット紙を取り外す 418

カット紙をプリンタにセットする

以下の手順でカット紙をプリンタにセットします。

重要

- 給紙口にセットできる用紙は 1 枚です。2 枚以上セットしないでください。紙づまりの原因になります。
- 給紙前や印刷前に、用紙がロール紙カバーに沿っていることを確認してください。用紙が手前に倒れた状態で給紙および印刷をすると、紙づまりの原因になります。

メモ

- 使用しない用紙は入っていた袋に戻し、高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。
- 用紙が波打っていたり、たわんでいる場合、紙づまりの原因になります。用紙は平らな状態に直してからセットしてください。
- 用紙はまっすぐにセットしてください。斜めにセットすると斜行エラーになります。

1 給紙元にカット紙を選択します。

- 事前に印刷ジョブを受信している場合

自動的にカット紙が選択され、ディスプレイに印刷ジョブで指定した用紙の種類とサイズが表示されます。そのまま次の手順に進んでください。

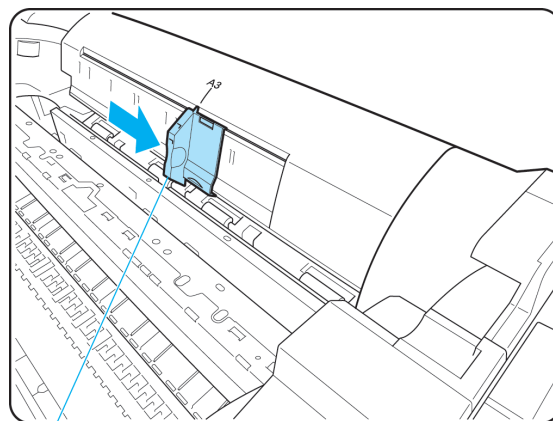
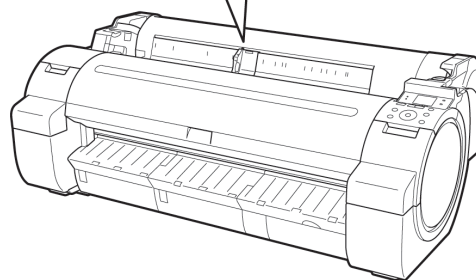
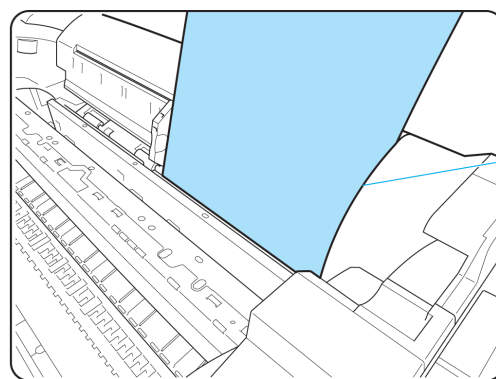
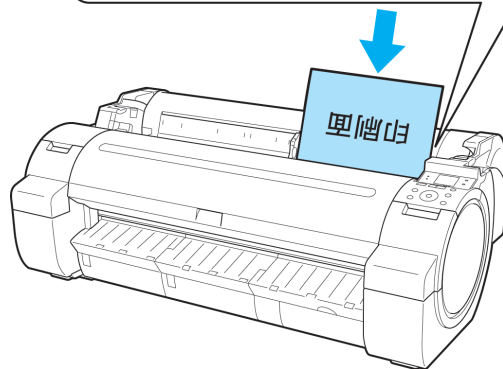
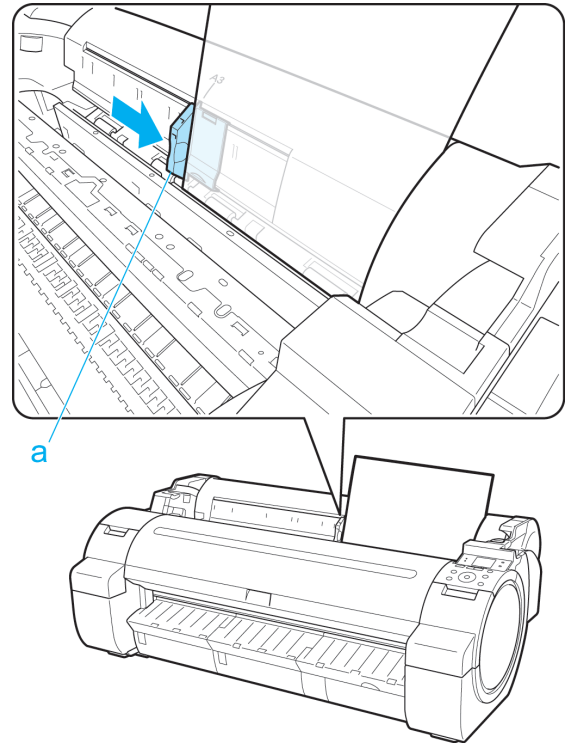
- 事前に印刷ジョブを受信していない場合

1. [用紙交換]キーを押します。

2. [▲]キー、[▼]キーを押して[カット紙をセットする]を選択し、[OK]キーを押します。

メモ

- 使用しない用紙が給紙されている場合は、用紙を外すメッセージが表示されます。
[▲]キー、[▼]キーを押して[はい]を選択し、[OK]キーを押します。用紙を取り外し、次の手順に進んでください。

2 幅ガイド(a)をつまんでスライドし、セットする用紙のサイズの刻印に合わせます。

3 印刷面を上にし、用紙の右端をロール紙カバーの右側の紙合わせガイド(a)に沿わせるようにして、給紙口に用紙を 1 枚セットします。
用紙の先端が突き当たり、ピピッと音が鳴るまで差し込んでください。

4 幅ガイド(a)の位置をセットした用紙のサイズに合わせて微調整します。
セットした用紙が傾いたりしわにならないように、幅ガイドを用紙にぴったり合わせてください。

用紙の取り扱い
カット紙の取り扱い

5 [OK]キーを押します。

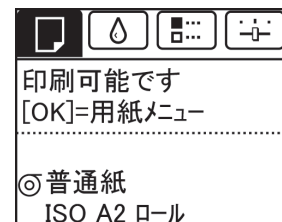
- **事前に印刷ジョブを受信している場合**
  印刷が開始されます。
- **事前に印刷ジョブを受信していない場合**
  ディスプレイに用紙の種類を選択するメニューが自動的に表示されます。
  [▲]キー、[▼]キーを押してセットした用紙の種類を選択し、[OK]キーを押します。
  給紙が開始されます。

メモ
- 選択する用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類」参照) →P.388

任意の位置から印刷を開始する

枠内に印刷したい場合など、任意の位置から印刷を開始したい場合は、プリンタのメニューで使用する用紙種類の[用紙幅検知]を[オフ]に設定します。

[用紙幅検知]を[オフ]に設定する

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (用紙タブ)を選択します。

メモ
- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[用紙メニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙詳細設定]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して用紙の種類を選択し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙幅検知]を選択し、[OK]キーを押します。

6 [▲]キー、[▼]キーを押して[オフ]を選択し、[OK]キーを押します。

用紙を任意の印刷開始位置へセットする

ここでは、[用紙幅検知]が[オフ]に設定されている用紙を、任意の印刷開始位置へセットする手順を説明します。

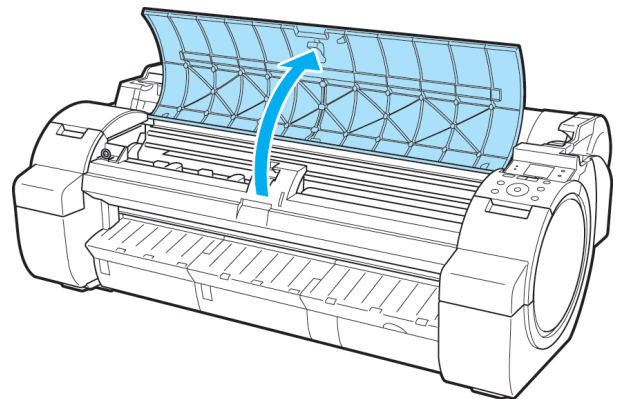
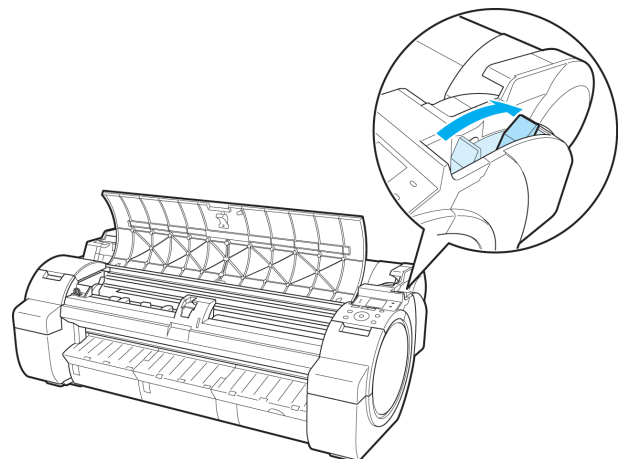
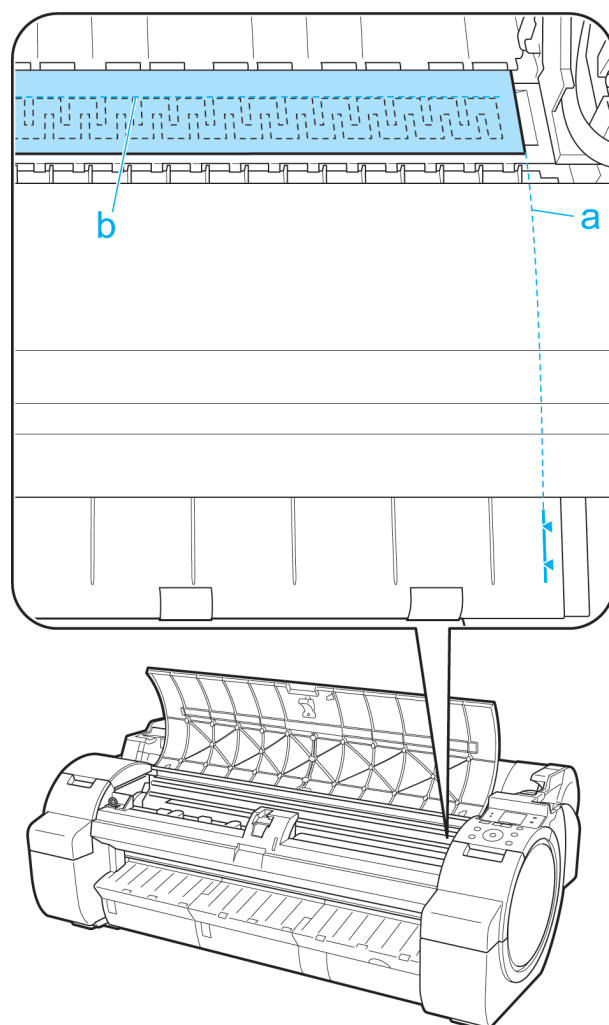
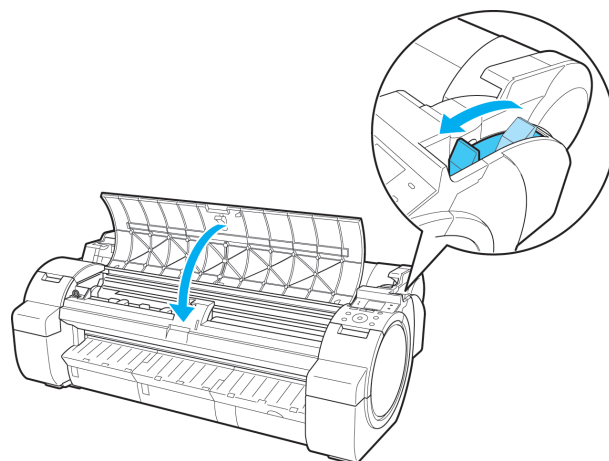
1 用紙のセット後、事前に印刷ジョブを受信していない場合は、用紙の種類を選択する画面が表示されます。[▲]キー、[▼]キーを押してセットした用紙の種類を選択し、[OK]キーを押します。

メモ

- 給紙前に印刷ジョブを受信している場合は、既にディスプレイに印刷ジョブで指定した用紙の種類とサイズが表示されています。
  そのため、こちらの画面は表示されません。手順 2 に進んでください。

2 ディスプレイに[[用紙幅検知]がオフに設定されています。そのまま続けますか?]と表示されるので、[▲]キー、[▼]キーを押して[オフのまま続ける]を選択し、[OK]キーを押します。

3 用紙のサイズを選択する画面が表示されたら、[▲]キー、[▼]キーを押してセットした用紙のサイズを選択し、[OK]キーを押します。

4 上カバーを開いて、用紙のセット位置を確認します。

現在の位置から印刷を開始したい場合は、上カバーを閉じます。
用紙のセット位置を変更したい場合は、リリースレバーを後ろ側に押します。

5 用紙の右端を排紙ガイドの右側の紙合わせライン(a)の延長線上に合わせながら、印刷を開始したい任意の位置をプラテンの奥側の溝(b)に合わせてセットします。

6 リリースレバーを手前側に引いて、上カバーを閉じます。

カット紙を取り外す

以下の手順でカット紙をプリンタから取り外します。

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (用紙タブ)を選択します。

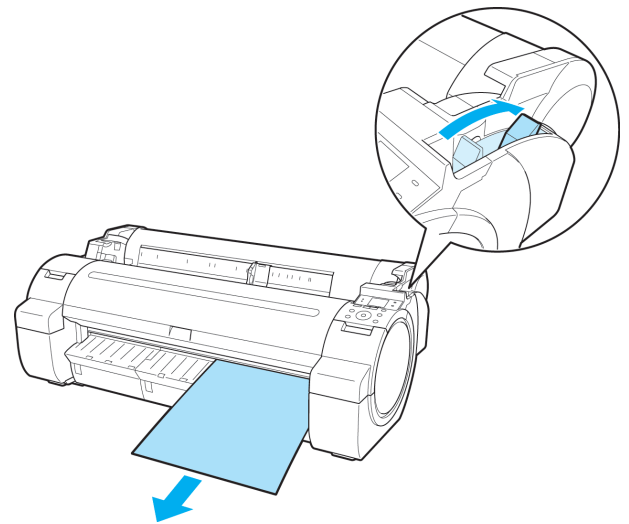
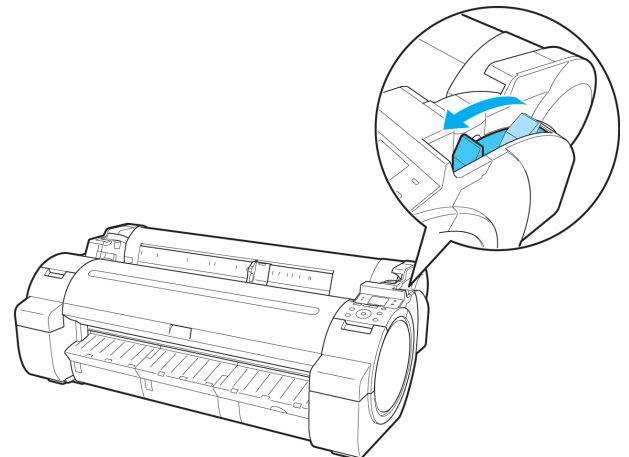
メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[用紙メニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙の取り外し]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[はい]を選択し、[OK]キーを押します。
カット紙は前側に排紙されます。

5 用紙を持ちながらリリースレバーを後ろ側に押して、
カット紙を取り外します。

6 リリースレバーを手前側に引きます。

バスケット

バスケットを使用する

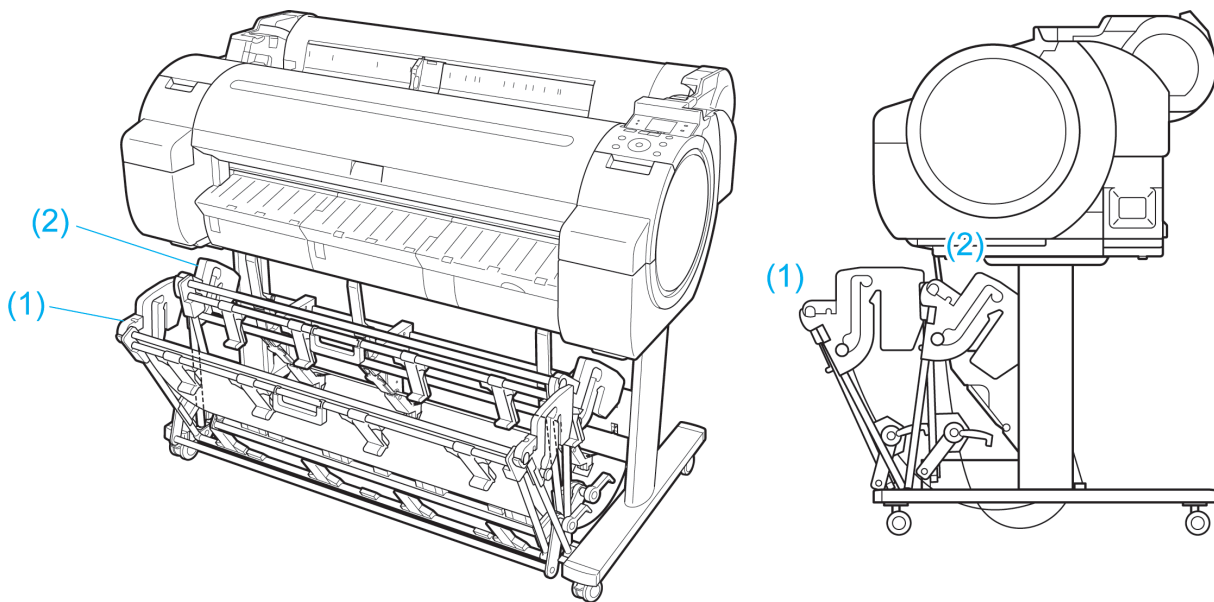
ここではバスケットの使用方法を説明します。

- バスケットに印刷物を収容するとき

(1)の位置で使用します。印刷物の取り出しに便利な取り出しポジションの使用方法は、取り出しポジションについてを参照してください。(「取り出しポジションについて」参照) →P.419

- バスケットを使用しないとき、用紙をセットするとき、プリンタを移動するとき

(2)の位置で使用します。

プリンタを移動するときは、必ず補助ロッドを取り出しポジション A の位置に上げてから(2)の位置にしてください。バスケット布が床にすれて、汚れたり破損したりする場合があります。(「取り出しポジション A に切り替える」参照) →P.420

重要

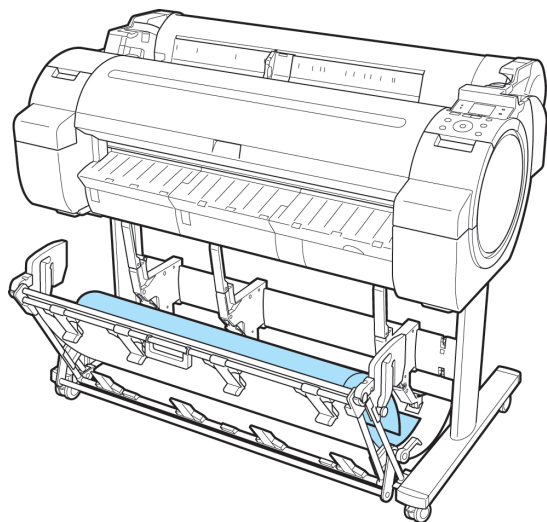
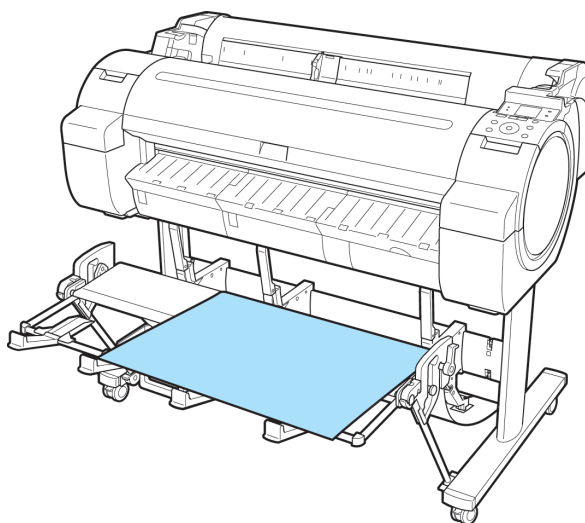
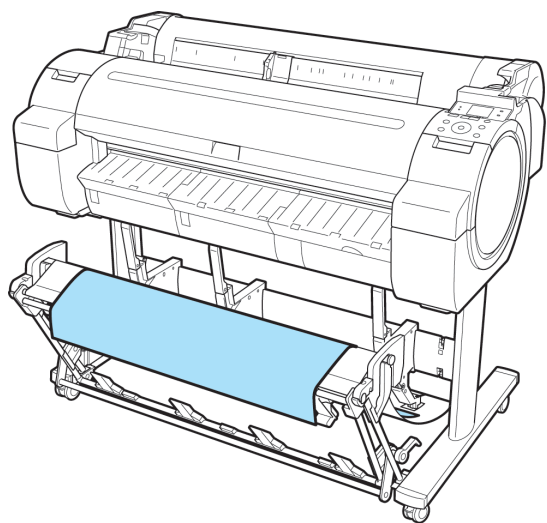
- バスケットに印刷物を収容するときは、必ず(1)の位置で使用してください。(1)の位置で使用しないと、印刷物がバスケットに入らず、印刷面が汚れる場合があります。
- バスケットに収容できる枚数は 1 枚です。複数ページを印刷する場合は、1 枚ずつ取り出してから印刷してください。
- バスケットには、長さ 52.02 インチ(1296mm)までの用紙を収容できます。

取り出しポジションについて

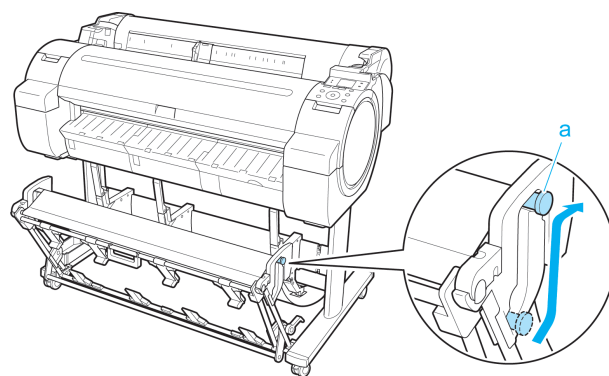
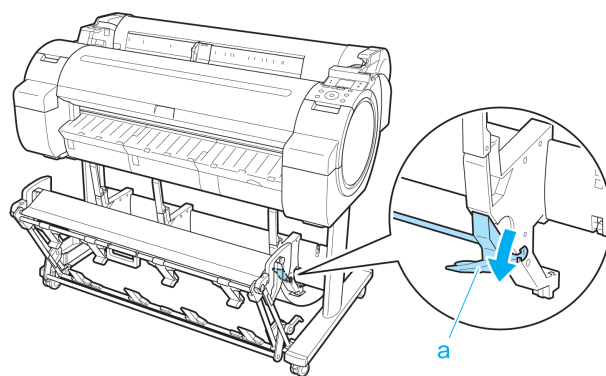
バスケットには通常のポジションの他に、印刷物の取り出しに便利なポジションがあります。使用する用紙のサイズや向きに応じて、最適なポジションで使用してください。

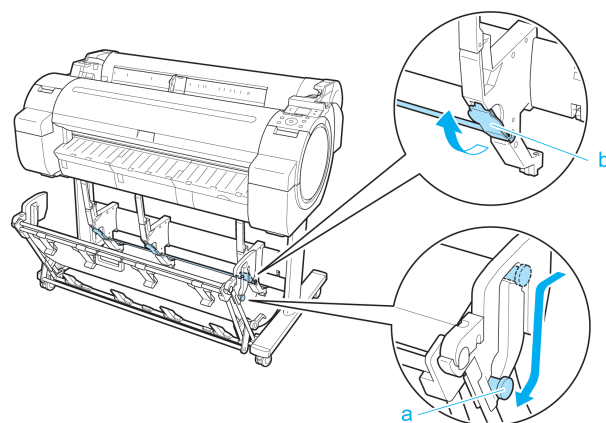
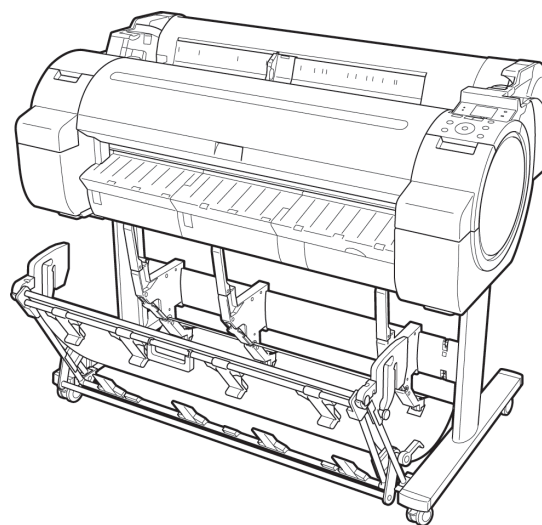
取り出しポジションに対応する用紙の種類とサイズについては、以下を参照してください。

- プリンタスタンド ST-34:バスケット操作ガイド(プリンタスタンド ST-34 に同梱)

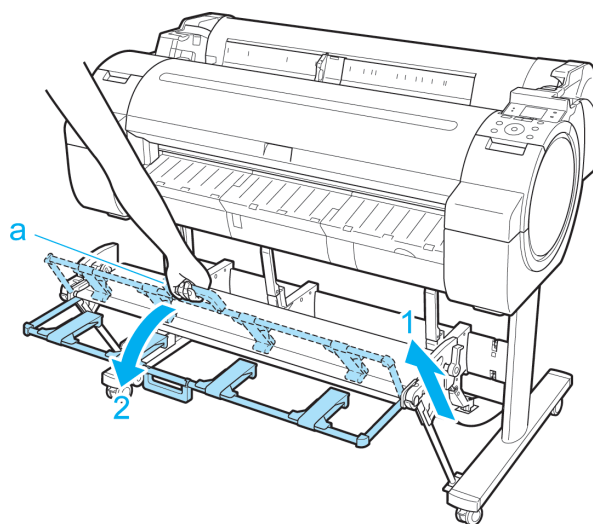
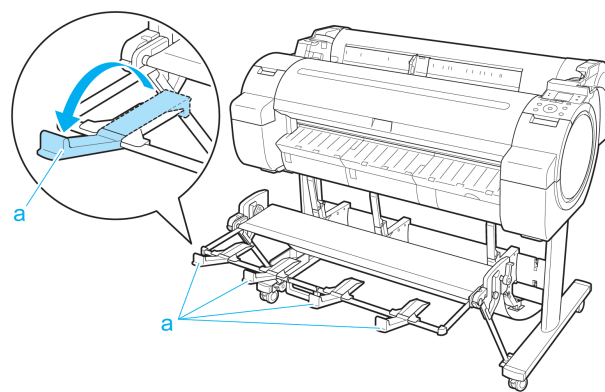
通常ポジション

- 取り出しポジションＡに切り替える

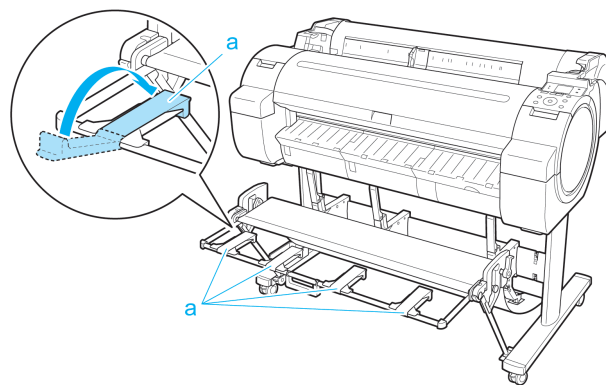
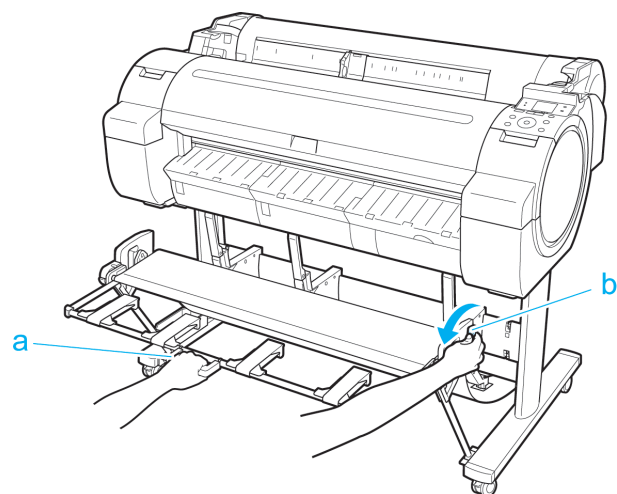
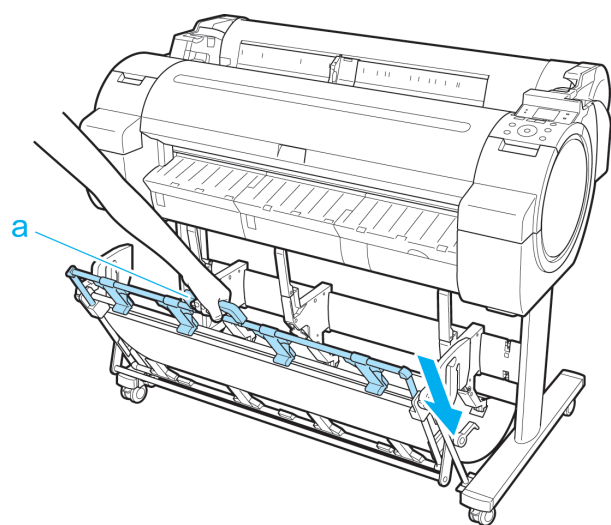
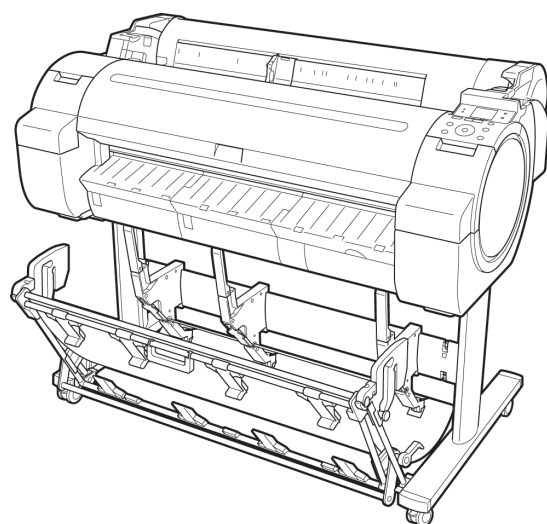
以下の手順で取り出しポジションＡに切り替えます。

1 補助ロッドを図の位置(a)まで上げ､取り出しポジションＡに切り替えます。

2 幅が 24 インチまたは A1(縦)のロール紙を使用する場合は、切り替えストッパ(a) を引き出します。これで、取り出しポジション A への切り替えは完了です。

印刷が終わったら以下の手順で通常ポジションに戻してください。

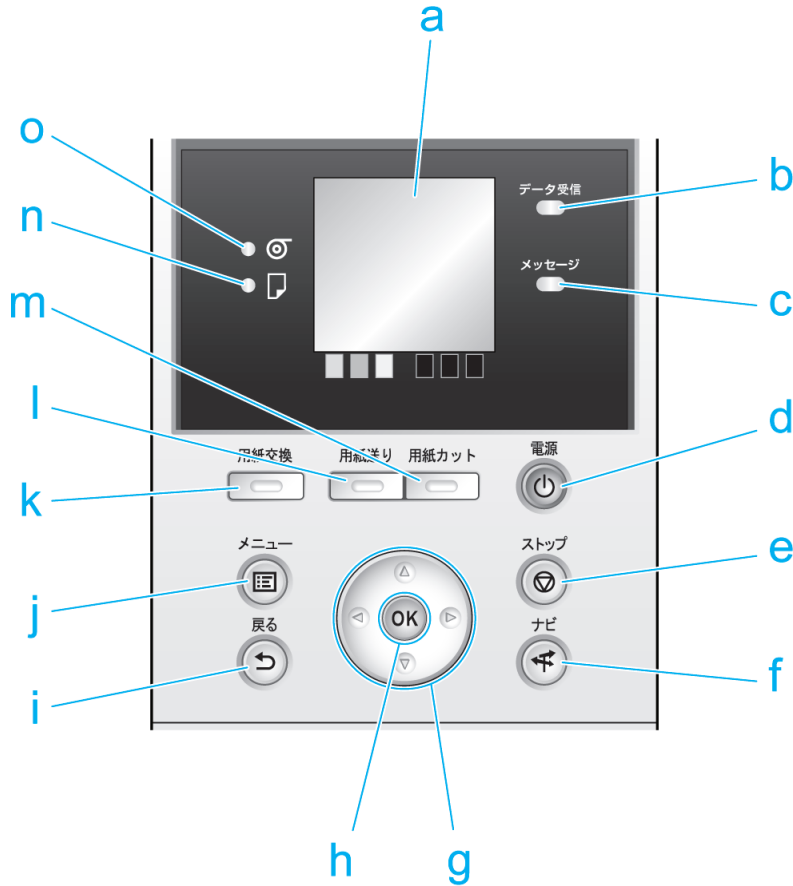
1 補助ロッドを図の位置(a) まで下げ、通常ポジションに戻します。切り替えストッパ(b) が引き出されている場合は収納します。

2 通常ポジションに戻ります。

- 取り出しポジション B に切り替える

以下の手順で取り出しポジション B に切り替えます。

1 バスケットハンドル(a) を持ってバスケットを引き出し、手前に倒します。

2 バスケット排紙ガイド(a) を開きます。これで取り出しポジション B への切り替えは完了です。

印刷が終わったら以下の手順で通常ポジションに戻してください。

1 バスケット排紙ガイド(a) をカチッと音がするまで閉じます。

2 バスケットハンドル(a) を持ちながら、バスケットリリースレバー(b) を手前に引きます。

3 バスケットハンドル(a) を持ったままゆっくりとバスケットをおろします。

4 通常ポジションに戻ります。

操作とディスプレイ

操作パネル 426
操作パネルのディスプレイ 427
ナビの見かた 431
ガイダンスを見ながら操作する 432

操作パネル

a ディスプレイ

プリンタのメニュー、状態、またはメッセージが表示されます。

b [データ受信ランプ](緑)

- 点滅

  印刷しているときは、印刷ジョブの受信中または処理中を示します。印刷していないときは、印刷ジョブの一時停止中またはファームウェアのデータの受信中を示します。

- 消灯

  印刷ジョブがない状態を示します。

c [メッセージランプ](オレンジ)

- 点灯

  警告メッセージの表示中を示します。

- 点滅

  エラーメッセージの表示中を示します。

- 消灯

  正常または電源がオフの状態を示します。

d [電源]キー(緑)

プリンタの電源をオン/オフにします。(「電源をオン/オフにする」参照) →P.17

電源がオンまたはスリープ状態のとき、[電源]キーが点灯します。

e [ストップ]キー

処理中のジョブや実行中のインク乾燥を中止します。

f [ナビ]キー

用紙のセット/取り外し方法、インクタンクの交換方法、プリントヘッドの交換方法などの手順を確認できます。(「ナビの見かた」参照) →P.431

g 方向キー

- [◀]キー

  [タブ選択画面]でこのキーを押すと、タブを移動します。
  数値を入力するメニューのときに、数値の桁を移動します。

- [▲]キー

  メニュー内でこのキーを押すと、次の項目または設定値が表示されます。

- [▶]キー

  [タブ選択画面]でこのキーを押すと、タブを移動します。
  数値を入力するメニューのときに、数値の桁を移動します。

- [▼]キー

  メニュー内でこのキーを押すと、次の項目または設定値が表示されます。

h [OK]キー

[タブ選択画面]でこのキーを押すと、表示されているタブのメニューが表示されます。
各タブのメニューで、メニューの左側に ⊞ がある項目でこのキーを押すと、メニュー項目の下の階層に移動し、メニュー項目の実行や値の設定を行うことができます。
ディスプレイに[OK]キーを押すメッセージが表示された場合も、このキーを押します。

i [戻る]キー

現在表示している画面の 1 つ前の画面が表示されます。

j [メニュー]キー

[タブ選択画面]が表示されます。(「メニューの設定値」参照) →P.443

k [用紙交換]キー

用紙をセット/交換するときに、このキーを押します。
(「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.395
(「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.413

l [用紙送り]キー

ロール紙がセットされているときにこのキーを押すと、用紙の位置を変更できます。(「ロール紙を手動で送る」参照) →P.403

m [用紙カット]キー

操作パネルのメニューで[カットモード]が[自動カット]または[イジェクトカット]に設定されていて、ロール紙がセットされているときにこのキーを押すと、用紙をカットします。(「ロール紙のカット方法を設定する」参照) →P.406

n [カット紙ランプ](緑)

給紙元にカット紙が選択されているときに点灯します。

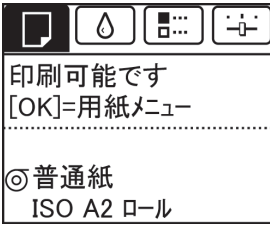
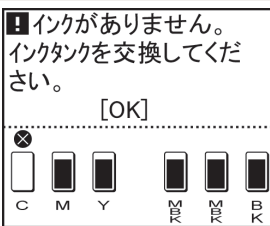
o [ロール紙ランプ](緑)

給紙元にロール紙が選択されているときに点灯します。

メモ

- スリープ中は、[電源]キー以外のいずれかのキーを押すと、スリープ状態から復帰します。

操作パネルのディスプレイ

プリンタが起動すると、ディスプレイには[タブ選択画面]が表示されます。
タブは 4 種類あり、それぞれのタブに関連する状態、メニュー、エラーの情報が表示されます。

タブの種類

[タブ選択画面]には 4 つのタブがあります。タブはディスプレイの上段にアイコンとして表示されます。[◀]キーまたは[▶]キーでタブを移動します。

<table>
<tr><td>用紙タブ
</td><td>用紙に関連する状態やメニューをまとめたタブです。このタブを反転表示中に[OK]キーを押すと、[用紙メニュー]が表示されます。
• ディスプレイ上段
用紙のアイコンが反転表示されます。
• ディスプレイ中段
プリンタの状態とメニュー名が表示されます。
• ディスプレイ下段
1 段目に用紙の種類、2 段目に用紙のサイズが表示されます。</td></tr>
<tr><td>インクタブ
</td><td>インクに関連する状態やメニューをまとめたタブです。このタブを反転表示中に[OK]キーを押すと、[インクメニュー]が表示されます。
• ディスプレイ上段
インクのアイコンが反転表示されます。
• ディスプレイ中段
プリンタの状態とメニュー名が表示されます。
• ディスプレイ下段
現在セットされているインクの残量が表示されます。(「インクタンクの残量を確認する」参照) →P.521</td></tr>
<tr><td>ジョブタブ
</td><td>印刷ジョブに関連する状態やメニューをまとめたタブです。このタブを反転表示中に[OK]キーを押すと、[ジョブメニュー]が表示されます。
• ディスプレイ上段
ジョブのアイコンが反転表示されます。
• ディスプレイ中段
プリンタの状態とメニュー名が表示されます。</td></tr>
<tr><td>設定/調整タブ
</td><td>設定/調整に関連する状態やメニューをまとめたタブです。このタブを反転表示中に[OK]キーを押すと、[設定/調整メニュー]が表示されます。
• ディスプレイ上段
設定/調整のアイコンが反転表示されます。
• ディスプレイ中段
プリンタの状態とメニュー名が表示されます。
• ディスプレイ下段
1 段目にメンテナンスカートリッジの残り容量、2 段目に[総印刷面積]が表示されます。[総印刷面積]の表示単位は[長さの単位]メニューで設定できます。(「メニューの設定値」参照) →P.443</td></tr>
</table>

状態の種類

プリンタの状態には、以下の 5 種類があります。

[スタンバイ]

プリンタがコンピュータからの印刷ジョブを受信できる状態です。コンピュータから印刷ジョブを受信すると、すぐに印刷を開始します。

[印刷一時停止]

プリンタが印刷を一時停止している状態です。コンピュータから印刷ジョブを受信しても、印刷せずに待機します。

[印刷]

プリンタが印刷ジョブを印刷している状態です。コンピュータから印刷ジョブを受信すると、現在印刷中の印刷ジョブを印刷後、印刷を開始します。画面の右上には、印刷の残り時間(10 時間未満)が表示されます。

[スリープ]

表示なし

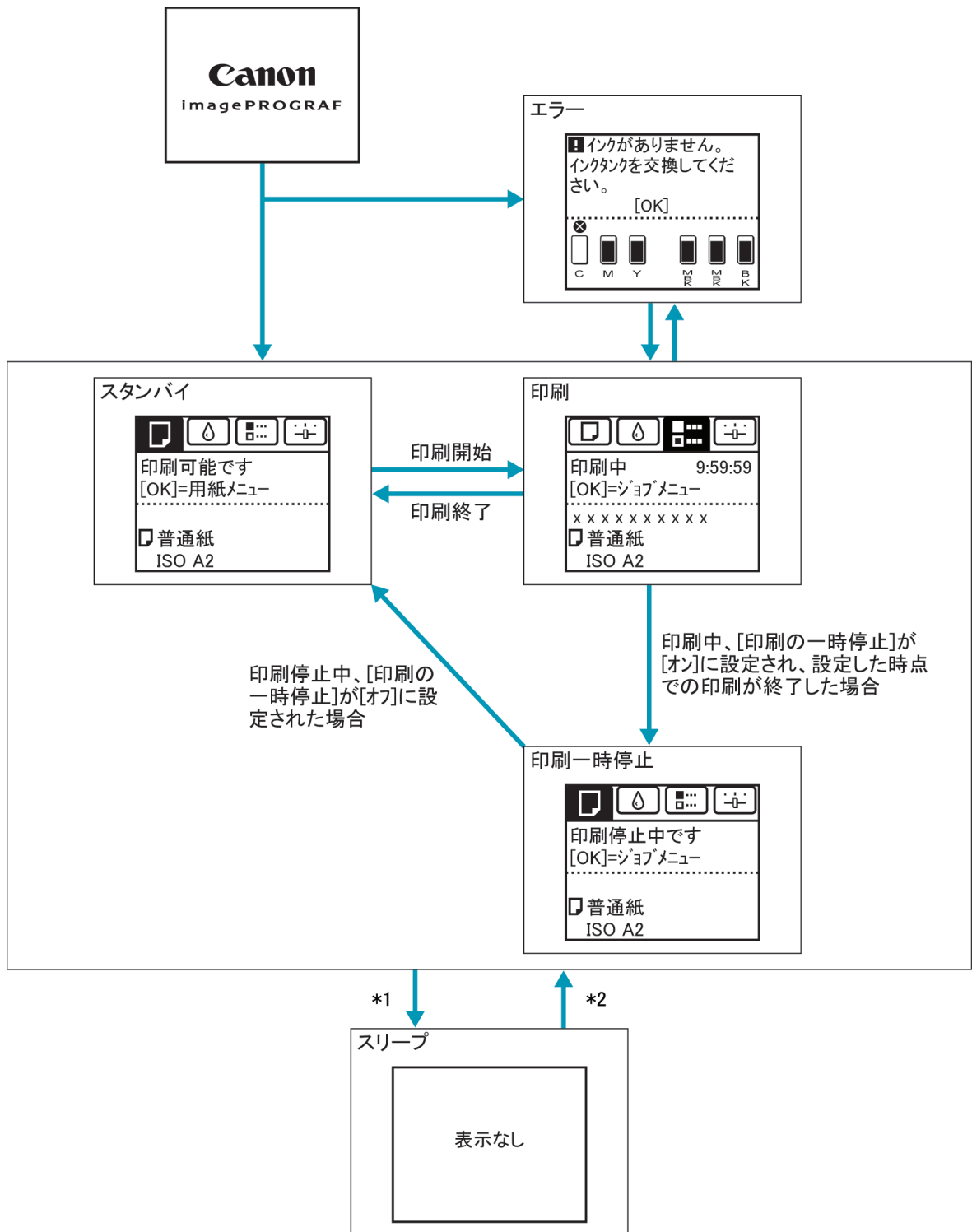
プリンタが節電している状態です。プリンタのカバーがすべて閉じた状態で、印刷ジョブの受信やプリンタの操作を一定時間(工場出荷時の状態では 5 分)以上行わないと、自動的にスリープ状態になり、消費電力を節約します。
[スリープ]への移行時間は、プリンタの[スリープ タイマー]メニューで設定できます。(「メニューの設定値」参照)
→P.443
[スタンバイ]から[スリープ]に移行した場合は、印刷ジョブを受信すると自動的に復帰し、印刷を行います。

[エラー]

プリンタが処置を必要としている状態です。コンピュータから印刷ジョブを受信しても、処理できない状態です。発生しているエラーに関連するタブが表示されます。
複数のエラーが発生している場合のディスプレイ表示は、「エラー表示の遷移」を参照してください。

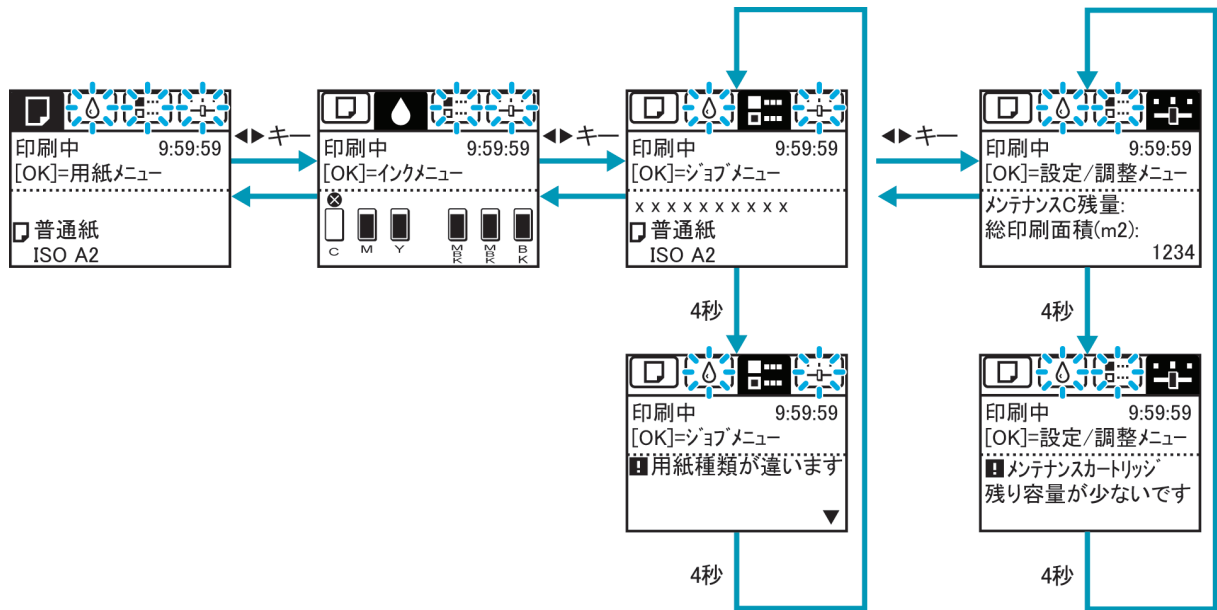
状態の遷移

- 状態表示

プリンタの状態表示を以下に示します。

*1: プリンタのカバーがすべて閉じた状態で、印刷ジョブの受信やプリンタの操作を一定時間(工場出荷時の状態では 5 分)以上行わないと、自動的に[スリープ]になります。ただし、エラーメッセージが表示されている場合は、[スリープ]にはなりません。

*2:[スリープ]中は、[電源]キー以外のいずれかのキーを押すと、[スリープ]から復帰します。また、印刷ジョブの受信時やリモート UI による操作時も、[スリープ]から復帰します。

- エラー表示
  エラー表示の遷移を以下に示します。

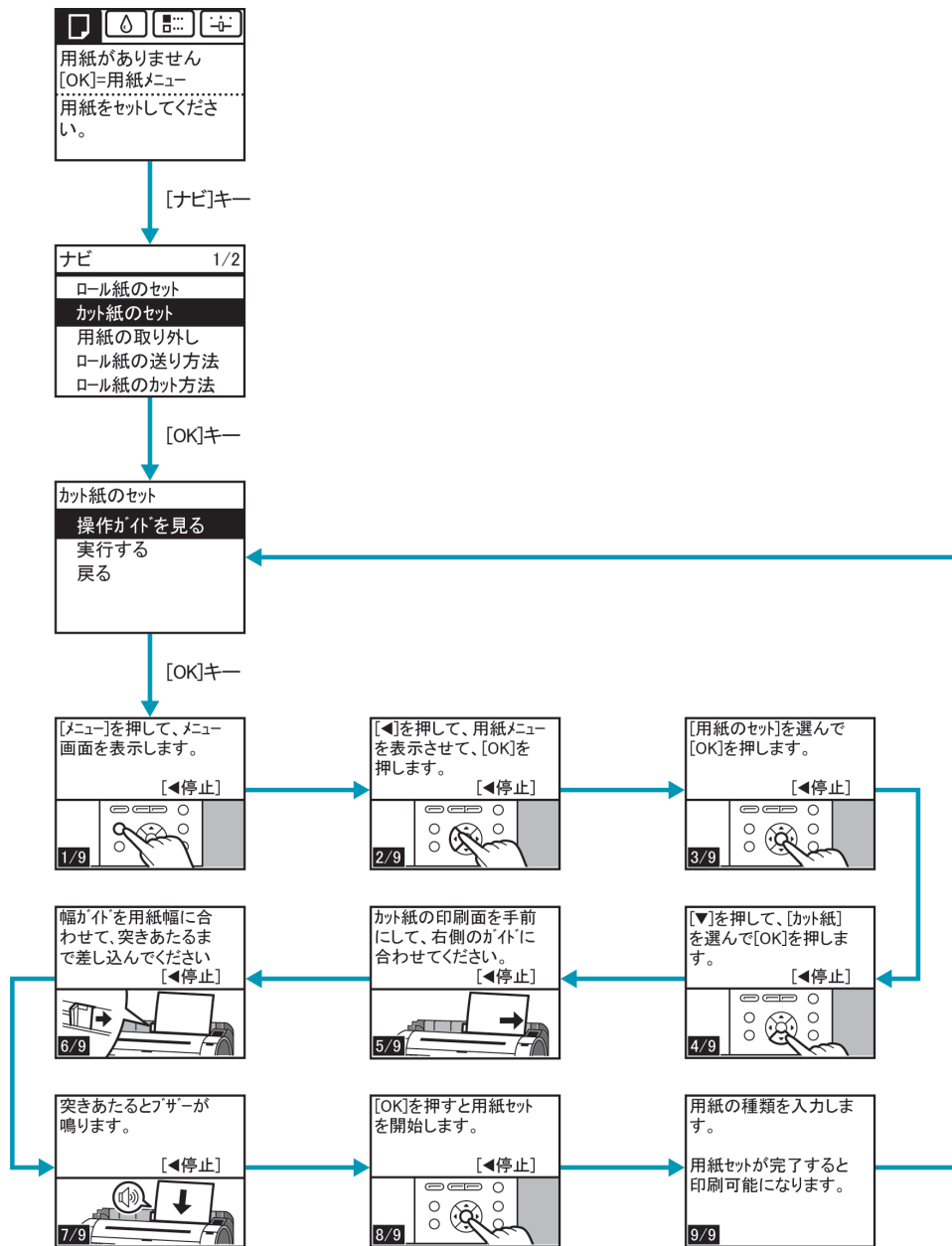
複数のエラーが発生している場合、現在表示しているタブ以外のエラーが発生しているタブが点滅します。[◀]キーまたは[▶]キーでタブを移動してエラーを確認できます。ジョブタブ、設定/調整タブで複数のエラーが発生している場合は、エラーメッセージが各タブ内で 4 秒毎に切り替わります。

ナビの見かた

用紙をセットする手順やインクタンクの交換手順などを、操作パネルのディスプレイで確認できます。

1 [ナビ]キーを押します。

2 [▲]キー、[▼]キーを押して、ナビのメニューを選択します。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して、[操作ガイドを見る]を選択し、[OK]キーを押します。
ナビが開始されます。

例：カット紙のセット

ガイダンスを見ながら操作する

用紙をセットする手順やインクタンクの交換などを、操作パネルのディスプレイで手順を見ながら操作することができます。

ガイダンスの見かた

ガイダンスに表示されている操作を実行すると、プリンタが検知して次のガイダンス画面に切り替わります。

プリンタが検知できない操作については、画面が 4 秒ごとに切り替わり、一連の操作が繰り返し表示されます。

繰り返し表示されるガイダンスについては、すべての操作が終わると次の手順のガイダンス画面が表示されます。

例：インクタンク交換

インクタンクカバーを開けてください。

プリンタが自動的に検知

インクタンクを取り出して、[OK]を押してください [◀停止] 1/2

インクタンクを取り出して、[OK]を押してください [◀停止] 2/2

[OK]キー

新品のインクタンクを取り付ける場合は、袋を開けずに [◀停止] 1/2

ゆっくりと1〜2回振り[OK]を押してください [◀停止] 2/2

[OK]キー

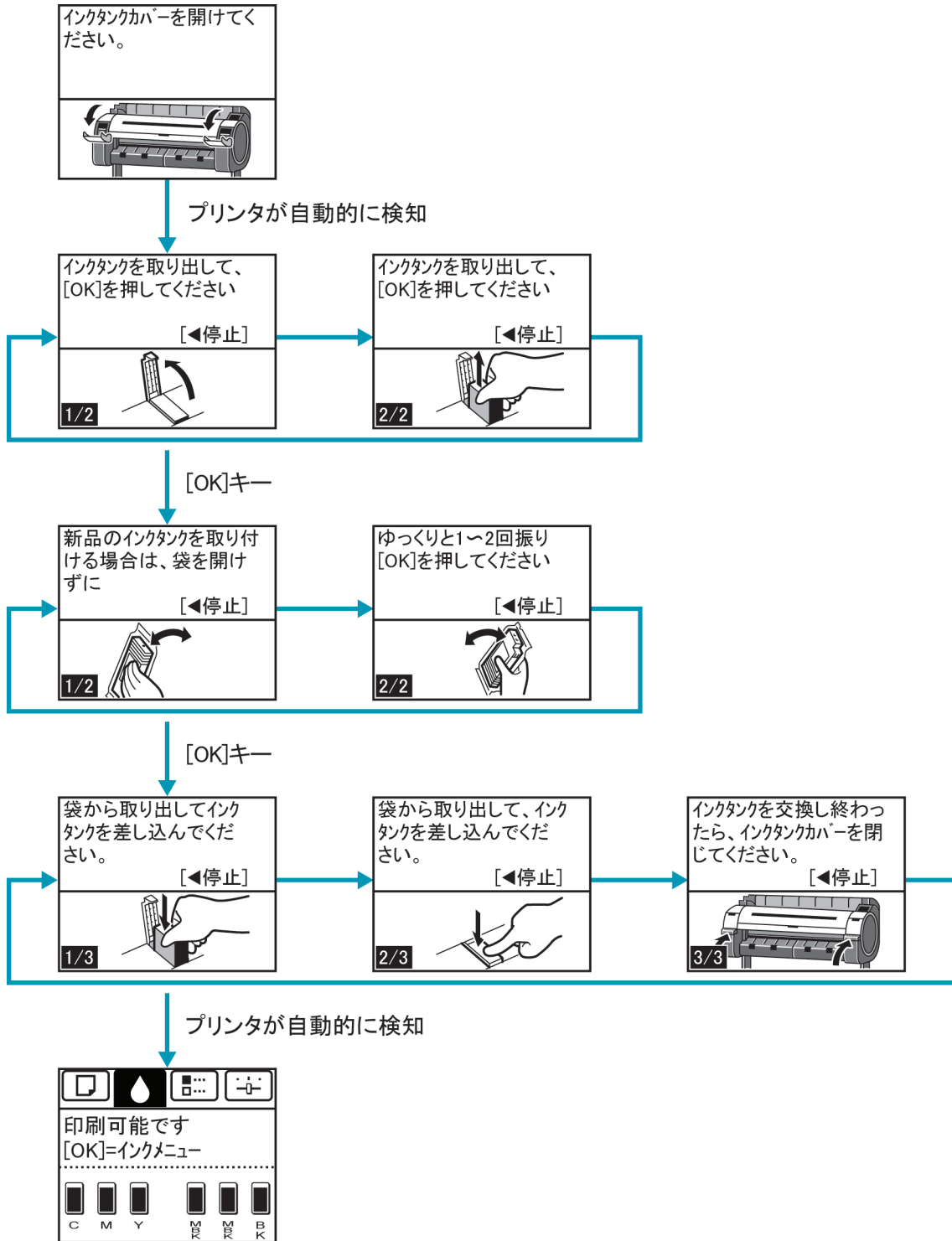
袋から取り出してインクタンクを差し込んでください。 [◀停止] 1/3

袋から取り出して、インクタンクを差し込んでください。 [◀停止] 2/3

インクタンクを交換し終わったら、インクタンクカバーを閉じてください。 [◀停止] 3/3

プリンタが自動的に検知

印刷可能です
[OK]=インクメニュー
C M Y MBK MBK BK

メモ

- 繰り返し表示されるガイダンス中に[◀]キーを押すと、画面が停止します。
  [◀]キー、[▶]キーで前画面/次画面を表示します。[◀]キー、[▶]キーを押さずに 30 秒が経過すると、繰り返し表示に戻ります。
  [OK]キーを押すと、次の手順のガイダンス画面が表示されます。

プリンタのメニュー

プリンタのメニューでできること 434

メニューを操作する 435
メニューの階層 438
メニューの設定値 443

ステータスプリントについて 452
インタフェース設定プリントについて 454

プリンタのメニューでできること

プリンタのメニューには、印刷していないときに操作できる通常のメニューと印刷中のみ操作できる印刷中のメニューがあります。

- 通常のメニューの操作 →P.434
- 印刷中のメニューの操作 →P.434

通常のメニューの操作

[タブ選択画面]でタブを選択し、[OK]キーを押すと各タブに関連するメニューが表示されます。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合、[OK]キーを押してもメニューは表示されません。
問題を解決すると、メニューを選択できます。

メニューでは、以下の操作を行えます。

- [用紙メニュー]
用紙メニューの設定
- [インクメニュー]
インクメニューの操作
- [ジョブメニュー]
ジョブメニューの操作
- [設定/調整メニュー]
プリンタの調整、メンテナンスに関するメニューの操作
HP-GL2 に関する設定

メニューで実行できる具体的な項目については、「メニューの設定値」を参照してください。→P.443
メニューの設定方法については、「メニューを操作する」を参照してください。→P.435

メモ

- メニューで設定した値は、プリンタの初期値としてすべての印刷ジョブに適用されます。ただし、プリンタドライバに同じ設定項目がある場合は、プリンタドライバの設定値が優先されます。

印刷中のメニューの操作

印刷中は、メニューの限定された項目のみ表示されます。印刷中に表示されないメニューは、印刷が終了してから操作してください。
印刷中に、操作パネルの[タブ選択画面]でタブを選択し、[OK]キーを押すとメニューが表示されます。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合、[OK]キーを押してもメニューは表示されません。
問題を解決すると、メニューを選択できます。

印刷中のメニューでは、以下の操作を行えます。

- [インクメニュー]
インクメニューの操作
- [ジョブメニュー]
ジョブメニューの操作
- [設定/調整メニュー]
紙送りの微調整

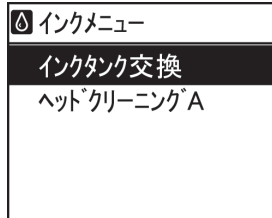
プリンタに関する情報の表示

印刷中のメニューで実行できる具体的な項目については、「メニューの設定値」を参照してください。→P.443
印刷中のメニューの設定方法については、「メニューを操作する」を参照してください。→P.435

メニューを操作する

[タブ選択画面]でタブを選択し、[OK]キーを押すと、各タブに関連するメニューを表示できます。詳細については「メニューの設定値」を参照してください。→P.443

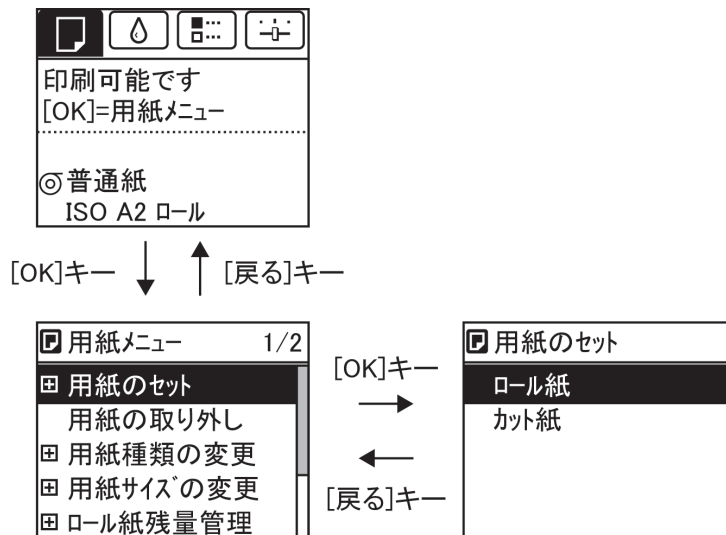
- メニュー(インクタブを選択し、[OK]キーを押した場合)

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合、[OK]キーを押してもメニューは表示されません。
問題を解決すると、メニューを選択できます。

操作パネルのキーを押すだけで、[タブ選択画面]から各タブのメニューに移動したり、[メニュー]の項目を設定または実行できます。
ここでは、メニューの操作方法と、この[製品マニュアル]で手順を説明するときのメニュー操作の表記方法について説明します。

- 各メニューに移動する →P.435
- メニューの項目を設定する →P.436
- メニューの項目で数値を設定する →P.437
- メニューの項目を実行する →P.437

各メニューに移動する

プリンタのメニューは、機能ごとに分類され、階層構造になっています。
メニューの 1 段目が選択されている状態で表示されます。操作パネルのキーを押すと、各メニューに移動できます。

- 同じ画面の上部のメニューに移動する場合は[戻る]キー、下部のメニューに移動する場合は[OK]キーを押します。画面に表示しきれないメニューが上部にある場合は[▲]キー、画面に表示しきれないメニューが下部にある場合は[▼]キーを押し続けます。選択されているメニューは、反転表示されます。

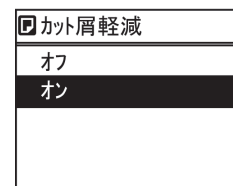
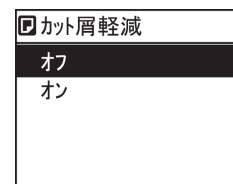
画面の右側にあるスライドバーは、選択されているメニューがメニュー全体に対してどの位置にあるかを示します。

- 下の階層にメニューがある場合は、2 段目以降のメニューの右側に ⊞ が表示されます。下の階層のメニューに移動する場合は、メニューを選択し、[OK]キーを押します。

メニューの項目を設定する

以下の手順で、メニューの項目を設定できます。

1 [▲]キー、[▼]キーを押して設定する項目を選択し、[OK]キーを押します。
2 秒後に、1 つ上の階層のメニューに戻ります。

メモ

- 設定の登録を確認するメッセージが表示された場合は、[OK]キーを押します。設定が登録されて、[スタンバイ]になります。

メニューの項目で数値を設定する

ネットワークなどの設定項目で数値を入力するときに、以下の手順で、数値を設定できます。

1 [◀]キー、[▶]キーを押して、入力フィールドを移動します。

IPv4設定
000.000.000.000 ◀▶ : 桁の変更 ▼▲ : 数値の変更 [OK]=選択

2 [▲]キー、[▼]キーを押して数値を入力します。

メモ

- [▲]キーや[▼]キーを押し続けると、数値を連続して増減できます。

3 手順 1〜2 を繰り返して、設定が完了したら[OK]キーを押します。

メモ

- 設定の登録を確認するメッセージが表示された場合は、[OK]キーを押します。設定が登録されて、[スタンバイ]になります。

メニューの項目を実行する

以下の手順で、メニューの項目を実行できます。

1 [▲]キー、[▼]キーを押して実行する項目を選択し、[OK]キーを押します。
メニュー項目が実行されます。

メニューの階層

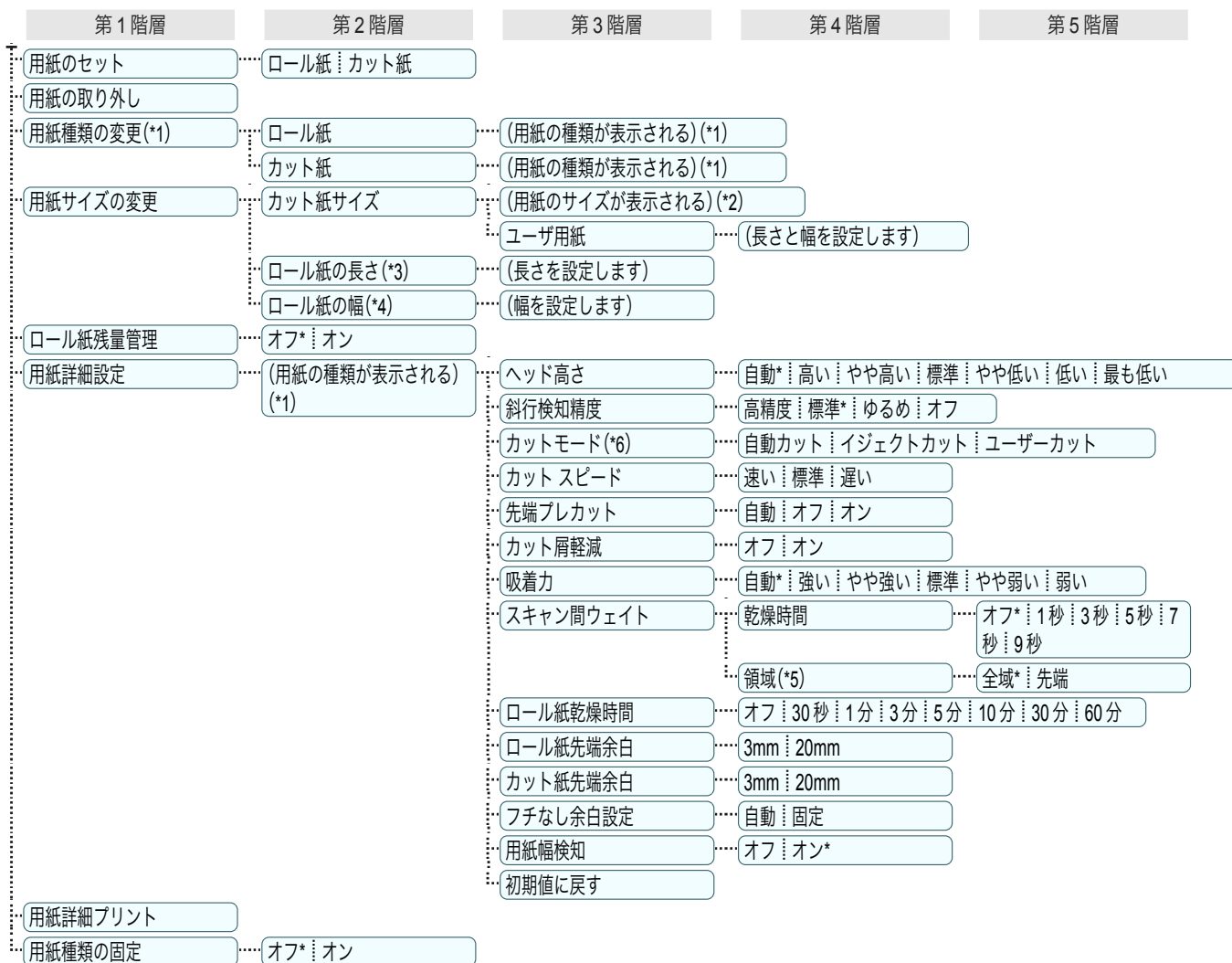
メニューの階層を、各タブごとに分類して示します。項目の右側の*は、初期値を示します。
プリンタのメニューには、印刷していないときに操作できる通常のメニューと印刷中のみ操作できる印刷中のメニューがあります。「プリンタのメニューでできること」を参照してください。 →P.434

通常のメニュー	印刷中のメニュー
用紙メニュー	表示無し
インクメニュー	通常と同じインクメニューが表示されます。
ジョブメニュー	通常と同じジョブメニューが表示されます。
設定/調整メニュー	以下の項目に限定された設定/調整メニューが表示されます。 • [紙送り微調整](*1) • [プリンタの情報]

*1: 印刷中メニューでのみ表示されます。通常メニューでは表示されません。

設定方法については、「メニューを操作する」を参照してください。 →P.435
各項目の詳細については、「メニューの設定値」を参照してください。 →P.443

[用紙メニュー]

印刷中に[用紙メニュー]は表示されません。

*1: プリンタに対応する用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙リファレンスガイド」参照)User Software CD-ROM でプリンタドライバをインストールしたとき、または Media Configuration Tool で用紙の情報を更新したときに、プリンタドライバ、関連ソフトウェア、およびプリンタの操作パネルの用紙の種類が変更されます。(「最新の用紙情報に更新する」参照) →P.391
*2: プリンタに対する用紙サイズについては、「用紙のサイズ」を参照してください。 →P.388

*3: [ロール紙残量管理]で[オン]が設定されている場合のみ設定可能です。
*4: [用紙幅検知]で[オフ]が設定されている場合のみ設定可能です。
*5: プリンタドライバの[用紙の詳細設定]ダイアログボックスから[先端]の設定はできません。
*6:「ロール紙のカット方法を設定する」を参照してください。 →P.406

[インクメニュー]

[ジョブメニュー]

[設定/調整メニュー]

印刷中は限定された項目が表示されます。表示項目は、注釈で示します。

第 1 階層 / 第 2 階層 / 第 3 階層 / 第 4 階層 / 第 5 階層 / 第 6 階層 / 第 7 階層 / 第 8 階層

- テストプリント
  - ノズルチェック プリント ┆ ステータス プリント ┆ インタフェース設定プリント ┆ GL2 設定プリント ┆ 用紙詳細プリント ┆ ジョブ履歴プリント ┆ メニュー マップ ┆ カラーパレットプリント
- 印字調整
  - ヘッド位置調整
    - 自動(標準) ┆ 自動(詳細) ┆ 手動(*1)
  - ヘッド傾き調整
  - 紙送り調整
    - 優先設定
      - 自動* ┆ 画質優先 ┆ 長さ優先
    - 画質調整(*2)
      - 自動(純正紙) ┆ 自動(その他) ┆ 手動
    - 長さ調整(*3)
      - 調整プリント
        - A:きれい ┆ B:標準/速い
      - 調整値の変更
        - A:きれい ┆ B:標準/速い
- メンテナンス
  - ヘッドクリーニング
    - ヘッドクリーニング A ┆ ヘッドクリーニング B
  - ノズルチェック プリント
  - ヘッド交換
  - メンテナンス C 交換
- GL2 リプロット
- GL2 バッファクリア
- GL2 設定
  - 画質の管理
    - カラーモード
      - モノクロ ┆ カラー(CAD)1* ┆ カラー(CAD)2 ┆ カラー(CAD)3 ┆ カラー(CAD)4 ┆ カラー(CAD)5
    - 印刷品質
      - 速い ┆ 標準* ┆ きれい

第 1 階層
第 2 階層
第 3 階層
第 4 階層
第 5 階層
第 6 階層
第 7 階層
第 8 階層
入力解像度
600dpi* ┆ 300dpi
エコノミー印刷
オフ* ┆ オン
用紙の管理
給紙方法
自動* ┆ ロール紙 ┆ カット紙
印刷余白
3mm(標準)* ┆ 5mm
用紙節約
オフ* ┆ オン
自動回転
オフ* ┆ オン
線/ペンの管理
線のマージ
オフ* ┆ オン
ペン設定
パレットの選択
ソフトウェア* ┆ パレット A ┆ パレット B ┆ デフォルト
パレットの定義
パレット A
(ペン番号を選択する)
幅
(幅の値が表示される)
カラー
0～255
つなぎ形状
処理なし ┆ 丸処理
パレット B
(ペン番号を選択する)
(幅、カラー、つなぎ形状が表示される)
(幅、カラー、つなぎ形状の値を設定する)
デフォルト
(ペン番号を選択する)
(幅、カラー、つなぎ形状が表示される)
パレットの初期化
すべてのパレット ┆ パレット A ┆ パレット B
スムージング
ソフトウェア* ┆ スムーズ
細線強調
オフ* ┆ オン
明細線補正
オフ ┆ オン*
処理オプション
警告表示
オフ* ┆ オン
ページサイズ処理 1
オフ* ┆ オン
ページサイズ処理 2
オフ* ┆ オン
GL2 設定プリント
インタフェース設定(*8)
EOP タイマー(*8)
10 秒 ┆ 30 秒 ┆ 1 分 ┆ 2 分 ┆ 5 分 ┆ 10 分* ┆ 30 分 ┆ 60 分
TCP/IP(*8)
IPv4(*8)
IPv4 モード(*8)
自動 ┆ 手動*
プロトコル(*4)(*8)
DHCP(*8)
オン ┆ オフ*
BOOTP(*8)
オン ┆ オフ*
RARP(*8)
オン ┆ オフ*
IPv4 設定(*9)
IP アドレス(*9)
xxx.xxx.xxx.xxx
サブネット マスク(*9)
xxx.xxx.xxx.xxx
デフォルト G/W(*9)
xxx.xxx.xxx.xxx
DNS 設定(*9)
DNS 動的更新(*9)
オン ┆ オフ*
プライマリ DNS サーバアドレス(*9)
セカンダリ DNS サーバアドレス(*9)
DNS ホスト名(*9)
DNS ドメイン名(*9)
IPv6(*8)
IPv6 の使用(*8)
使う ┆ 使わない*
IPv6 ステートレスアドレス(*8)(*10)
使う* ┆ 使わない

操作パネル

プリンタのメニュー

*1: 一度[ヘッド位置調整]の[自動(詳細)]を行った後に設定可能です。
*2: [優先設定]で[自動]または[画質優先]が設定されている場合に設定可能です。
*3: [優先設定]で[自動]または[長さ優先]が設定されている場合に設定可能です。
*4: [IPv4 モード]で[手動]が設定されている場合は表示しません。
*5: [NetWare]で[使わない]が設定されている場合は表示しません。
*6: [自動検出]で[オン]が設定されている場合は表示しません。
*7: [日付形式]の設定に従います。
*8: 管理者は表示/設定可能、管理者以外のユーザーは表示のみ可能です。
*9: 管理者のみ表示/設定可能です。
*10: [IPv6 の使用]で[使わない]が設定されている場合は表示しません。
*11: 省電力モードまたはスリープモードへの移行時間は、初期値が推奨されます。
*12: 印刷中メニューとして印刷中に表示されます。
*13: 通常メニューでは表示されません。

メニューの設定値

メニューの各項目について、以下に示します。
プリンタのメニューには、印刷していないときに操作できる通常のメニューと印刷中のみ操作できる印刷中のメニューがあります。「プリンタのメニューでできること」を参照してください。 →P.434

通常のメニュー	印刷中のメニュー
用紙メニュー	表示無し
インクメニュー	通常と同じインクメニューが表示されます。
ジョブメニュー	通常と同じジョブメニューが表示されます。
設定/調整メニュー	以下の項目に限定された設定/調整メニューが表示されます。 • [紙送り微調整] (*1) • [プリンタの情報]

*1: 印刷中メニューでのみ表示されます。通常メニューでは表示されません。

設定方法については、「メニューを操作する」を参照してください。 →P.435
メニューの階層と設定値については、「メニューの階層」を参照してください。 →P.438

[用紙メニュー]

印刷中に[用紙メニュー]は表示されません。

設定項目			機能説明/設定方法
[用紙のセット]			カット紙、ロール紙のいずれかを選択しセットします。
[用紙の取り外し]			現在セットされている用紙を取り外します。
[用紙種類の変更] (*1)			セットされている用紙種類を変更します。(「用紙の種類を変更する」参照) →P.398
[用紙サイズの変更]			セットされている用紙サイズを変更します。(「用紙の長さを設定する」参照) →P.399 (「用紙のサイズ」参照) →P.388
[ロール紙残量管理]			[オン]を選択すると、ロール紙を取り外すときにバーコードを印刷します。印刷されたバーコードによってロール紙の残量を管理できます。[オフ]を選択すると、バーコードは印刷されません。 (「ロール紙の残量を管理する」参照) →P.404
[用紙詳細設定]	(用紙の種類が表示されます) (*1)	[ヘッド高さ]	プリントヘッドの高さを調整します。(「用紙のこすれや画像のぼやけを改善する(ヘッド高さ)」参照) →P.505
		[斜行検知精度]	幅が一定ではない用紙の場合に、[ゆるめ]を選択して用紙の斜行検知機能の精度を緩めたり、[オフ]を選択して斜行検知機能を無効にします。ただし、[オフ]を選択したときに用紙が斜めにセットされると、紙づまりが起こり、プラテン上が汚れる場合があります。
		[カットモード]	標準装備の丸刃カッターでカットするかどうかを選択します。 [自動カット]を選択すると、印刷後に用紙をカットします。[ユーザーカット]を選択すると、印刷後にカットしないでカット位置に線を印刷します。 [イジェクトカット]はインクの乾燥を待つときなど、印刷直後に印刷物を落下させたくない場合に選択します。
		[カット スピード]	用紙をカットする速度を選択します。糊付きの用紙の場合は、[遅い]を選択すると、カッターに糊が付きにくくなり、カッターの切断性能が劣化しづらくなります。
		[先端プレカット]	ロール紙をセットしたときに、先端をカットします。
		[カット屑軽減]	[オン]を選択すると、用紙をカットする際に、カット位置に線を印刷します。これにより、カット屑の散乱が軽減されます。また、糊付きの用紙の場合は、カッターに糊が付きにくくなり、カッターの切断性能が劣化しづらくなります。(「ロール紙のカット屑を軽減する」参照) →P.411
		[吸着力]	プラテン上での用紙の吸着力を選択します。(「用紙の吸着力を変更する(吸着力)」参照) →P.513

設定項目			機能説明/設定方法
[用紙詳細設定]	(用紙の種類が表示されます)(*1)	[スキャン間ウェイト]	用紙のインク乾燥特性に合わせて、片方向への印刷(スキャン)ごとにインクの乾 燥待ち時間を設定します。さらに、乾燥時間の適用領域を設定します。[全域]を選択すると、印刷のはじめから終わりまでの各スキャンごとに乾燥時間が入ります。[先端]を選択すると、用紙の先端から約 110 mm～140 mmまでの各スキャンごとに乾燥時間が入ります。(乾燥時間の入る長さは[印刷品質]の設定により異なります。)[スキャン間ウェイト]を設定すると、印刷に時間がかかるようになります。とくに[先端]を選択すると、乾燥時間の入る領域と入らない領域の境でバンド状の色ムラが生じる可能性があります。
		[ロール紙乾燥時間]	1 枚印刷するごとのインクの乾燥待ち時間を選択します。
		[ロール紙先端余白]	用紙の先端側の印刷品質を確保したい場合に、ロール紙先端側の余白の最小値を設定します。 [3mm]を選択した場合、用紙の先端の印刷品質または用紙送りの精度が低下したり、印刷面がこすれたり、用紙の先端にインクが付着することがあります。また、プラテンが汚れる場合があります。
		[カット紙先端余白]	用紙先端側の印刷品質を確保したい場合に、カット紙先端側の余白を設定します。 [3mm]を選択した場合、用紙の先端の印刷品質または用紙送りの精度が低下したり、印刷面がこすれたり、用紙の先端にインクが付着することがあります。
		[フチなし余白設定]	フチなし印刷したときに、外側の余白量を調整します。 [自動]を選択すると、用紙の幅を自動で検知し、フチなしの余白設定を行います。[自動]を選択している状態で余白ができてしまう場合は、[固定]を選択します。用紙の幅は自動検知されず、プリンタ規定値の余白設定でフチなし印刷を行い、余白ができなくなります。
		[用紙幅検知]	枠内に印刷したい場合など、任意の位置から印刷を開始したいときに設定します。(「任意の位置から印刷を開始する」参照) →P.415 [オフ]を選択すると、用紙幅や斜行の検知を行ないません。用紙が斜めにセットされると、紙づまりが起こり、プラテン上が汚れる場合があります。
		[初期値に戻す]	[OK]を押すと[用紙詳細設定]の設定が工場出荷時の値に戻ります。
[用紙詳細プリント]			[用紙詳細設定]で設定されている用紙の設定値を印刷します。
[用紙種類の固定]			同じ種類の用紙を使い続ける場合は、[オン]を選択します。(「用紙の種類を変更する」参照) →P.398

*1: プリンタに対応する用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類」参照) →P.388 User Software CD-ROM でプリンタドライバをインストールしたとき、または Media Configuration Tool で用紙の情報を更新したときに、プリンタドライバ、関連ソフトウェア、およびプリンタの操作パネルの用紙の種類が変更されます。(「Media Configuration Tool ガイド Windows 用 →P.274 」、「Media Configuration Tool ガイド Macintosh 用 →P.371 」参照)

[インクメニュー]

設定項目	機能説明/設定方法
[インクタンク交換]	インクタンクを交換します。画面の指示に従って必要な処理を行います。(「インクタンクを交換する」参照) →P.516
[ヘッドクリーニング A]	プリントヘッドをクリーニングします。(「プリントヘッドをクリーニングする」参照) →P.524 印刷がかすれた場合、ゴミなどが付いた場合、または色味がおかしい場合に、[ヘッドクリーニング A]を行います。

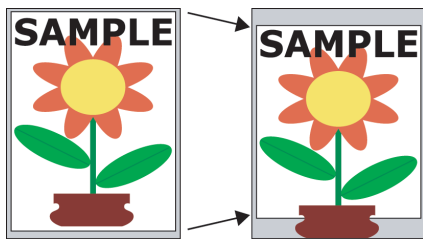
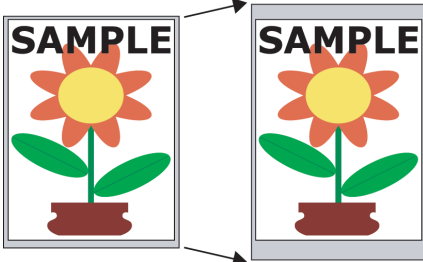
[ジョブメニュー]

設定項目			機能説明/設定方法
[ジョブ履歴]	(最近の印刷ジョブの履歴 3 件から選択できます)	[ドキュメント名]	最後に印刷したジョブのドキュメント名が表示されます。

設定項目			機能説明/設定方法
[ジョブ履歴]	(最近の印刷ジョブの履歴3件から選択できます)	[ユーザー]	ジョブを送信したユーザー名が表示されます。
		[ページ数]	ジョブの枚数が表示されます。
		[ジョブ ステータス]	ジョブの処理結果が表示されます。
		[プリント開始時刻]	ジョブの印刷を開始した時刻が表示されます。
		[プリント終了時刻]	ジョブの印刷を終了した時刻が表示されます。
		[プリント時間]	ジョブの印刷の所要時間が表示されます。
		[出力用紙サイズ]	ジョブの用紙のサイズが表示されます。
		[用紙種類]	ジョブの用紙の種類が表示されます。
		[インタフェース]	ジョブのインターフェースが表示されます。
		[インク使用量]	プリント1枚につき消費されるインクの使用量の概算値が表示されます。(*1)
[ジョブ履歴プリント]			印刷ジョブの用紙の種類、サイズ、インクの消費量などの情報を印刷します。インクの消費量は、プリント1枚につき消費されるインクの使用量の概算値が表示されます。(*1)
[印刷の一時停止]			[オン]を選択すると、印刷を停止します。

*1: プリント1枚につき消費されるインクの使用量の概算値が表示されます。実際の使用量とは異なる場合があります。当社インクコスト測定条件に基づく概算値の平均誤差は、±15%です。この概算値の正確性について、当社は保証するものではありません。お客様のご使用状況に応じて、この概算値は変動します。なお、この概算値の算出には、クリーニング機構による強制吐出のインク消費量等は含まれておりません。

[設定/調整メニュー]

印刷中は限定された項目が表示されます。表示項目は、注釈で示します。

設定項目			機能説明/設定方法
[テストプリント]	[ノズルチェック プリント]		ノズルチェックパターンを印刷します。
	[ステータス プリント]		プリンタの情報を印刷します。
	[インタフェース設定プリント]		インターフェースの設定値を印刷します。
	[GL2 設定プリント]		GL2 の設定値を印刷します。
	[用紙詳細プリント]		[用紙詳細設定]で設定されている用紙の設定値を印刷します。
	[ジョブ履歴プリント]		印刷ジョブの用紙の種類、サイズ、インクの消費量などの情報を印刷します。インクの消費量は、プリント1枚につき消費されるインクの使用量の概算値が表示されます。(*1)
	[メニュー マップ]		メニューの一覧を印刷します。
	[カラーパレットプリント]		GL2 のカラー一覧を印刷します。
[印字調整]	[ヘッド位置調整]	[自動(標準)]	印刷方向に対する、プリントヘッドの位置を調整するための調整用パターンが印刷され、印刷結果から自動的に位置が調整されます。(「縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する(ヘッド位置調整)」参照) →P.500

設定項目					機能説明/設定方法
[印字調整]	[ヘッド位置調整]	[自動(詳細)]			ノズル間、色間、印刷方向に対するプリントヘッドの位置を調整するための調整用パターンが印刷され、印刷結果から自動的に位置が調整されます。(「縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する(ヘッド位置調整)」参照) →P.500
		[手動]			印刷方向に対するプリントヘッドの位置を調整するための調整用パターンが印刷されます。印刷結果を基に、手動で調整値を設定します。(「縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する(ヘッド位置調整)」参照) →P.501
	[ヘッド傾き調整]				プリントヘッドの傾きを調整するための調整用パターンを印刷します。(「罫線のずれを調整する(ヘッド傾き調整)」参照) →P.503
	[紙送り調整]	[優先設定]	[自動]		優先させる紙送りの精度を設定します。通常は、[自動]を選択します。きれいに印刷したい場合は、[画質優先]を選択します。[画質優先]を選択すると、横スジが目立たなくなります。用紙の送り量を正確にしたい場合は、[長さ優先]を選択します。ただし、[長さ優先]を選択した場合、キャリッジのスキャン方向に若干の色ムラが発生することがあります。
			[画質優先]		
			[長さ優先]		
		[画質調整]	[自動(純正紙)]		用紙リファレンスガイドに記載されている用紙を使用する場合に設定します。 用紙の送り量を調整するための調整用パターンが印刷され、印刷結果から自動的に用紙の送り量が調整されます。(「横スジを自動で調整する(画質調整)」参照) →P.508
			[自動(その他)]		用紙リファレンスガイドに記載されていない用紙を使用する場合に設定します。 用紙の送り量を調整するための調整用パターンが印刷され、印刷結果から自動的に用紙の送り量が調整されます。[自動(純正紙)]よりも時間がかかり、インクを多く消費します。(「横スジを自動で調整する(画質調整)」参照) →P.508
			[手動]		透過性の高い用紙など、[自動(純正紙)]または[自動(その他)]で調整できない用紙に対して実行します。 用紙の種類に合わせて、用紙の送り量を調整するための調整用パターンを印刷します。(「横スジを手動で調整する(画質調整)」参照) →P.509
		[長さ調整]	[調整プリント]	[A:きれい]	用紙の種類に合わせて、用紙の伸縮率の調整用パターンを印刷し、調整値を設定します。(「罫線の長さを調整する(長さ調整)」参照) →P.511
				[B:標準/速い]	
			[調整値の変更]	[A:きれい]	[紙送り調整]の[優先設定]で[長さ優先]が選択されている場合に表示されます。 現在セットされている用紙の伸縮率を調整します。 [調整プリント]で調整した結果を入力するか、自分で測定した値との差を%で入力します。 伸びやすい用紙など送り量を長くしたい場合は調整値を増やし、縮みやすい用紙など送り量を短くしたい場合は調整値を減らします。
				[B:標準/速い]	
[メンテナンス]	[ヘッドクリーニング]				プリントヘッドをクリーニングします。(「プリントヘッドをクリーニングする」参照) →P.524 印刷がかすれた場合、ゴミなどが付いた場合、または色味がおかしい場合に、[ヘッドクリーニング A]を選択します。 インクがまったく出ない場合や、[ヘッドクリーニング A]で問題が解決されない場合に、[ヘッドクリーニング B]を選択します。
	[ノズルチェック プリント]				ノズルチェックパターンを印刷します。
	[ヘッド交換]				プリントヘッドを交換するときに[する]を選択し、画面の指示に従って必要な処理を行います。(「プリントヘッドを交換する」参照) →P.525 メンテナンスカートリッジの残量の警告メッセージ表示中は表示されません。

設定項目				機能説明/設定方法
[メンテナンス]	[メンテナンスC交換]			メンテナンスカートリッジを交換するときに[する]を選択し、画面の指示に従って必要な処理を行います。(「メンテナンスカートリッジを交換する」参照) →P.531
[GL2リプロット]				GL2で直前に印刷されたデータを再度印刷します。
[GL2バッファクリア]				リプロットバッファ内の印刷データを削除します。
[GL2設定]	[画質の管理]	[カラーモード]	[モノクロ]	モノクロで印刷します。
			[カラー(CAD)1]	標準的なカラーで印刷します。
			[カラー(CAD)2]	明るめのカラーで印刷します。
			[カラー(CAD)3]	Canon iPF500、iPF600、iPF700、iPF510、iPF610、iPF710、iPF605、iPF720、iPF810、iPF815、iPF820、iPF825をエミュレートした近似色で印刷します。(*2)
			[カラー(CAD)4]	HP Designjet 500/800をエミュレートした近似色で印刷します。(*2)
			[カラー(CAD)5]	HP Designjet 1000をエミュレートした近似色で印刷します。(*2)
		[印刷品質]		印刷品質を選択します。
		[入力解像度]		プリンタへの入力解像度を[600dpi]または[300dpi]から選択します。
		[エコノミー印刷]		通常の印刷よりも印刷品位は下がりますが、インクの消費量を抑えて印刷します。インクを節約したいときに[オン]にしてください。
	[用紙の管理]	[給紙方法]		HP-GL/2で印刷するときの給紙方法を選択します。
		[印刷余白]		用紙の上下左右の余白を設定します。カット紙の場合、後端の余白は23mmになります。 ただし、[用紙詳細設定]で先端余白が設定されている場合は、[用紙詳細設定]の値が優先されます。
		[用紙節約]		用紙を節約して印刷します。
		[自動回転]		原稿の長辺がロール紙幅よりも短い場合に自動で90度回転して用紙を節約します。横長のデータで長辺がロール紙幅より長く、原稿の短辺がロール紙幅より短い場合は90度回転し、用紙に収まるように印刷します。 HP RTLは回転できません。HP RTL画像の場合、用紙サイズは90°回転しても画像は回転出来ないため、途切れた画像となったり、白紙が排紙されることがあります。その場合は[自動回転]を[オフ]にしてください。
	[線/ペンの管理]	[線のマージ]		線が重なっているとき、重なっている部分の色をマージするか上書きするかを設定します。 [オフ]を選択すると、後から書いた線で上書きします。[オン]を選択すると、重なった色をすべてマージします。
		[ペン設定]	[パレットの選択]	ペンに関する値を[ソフトウェア]、[パレットA]、[パレットB]または[デフォルト]から選択します。 [ソフトウェア]を選択すると、アプリケーション側の指定に沿って印刷します。[パレットA]または[パレットB]を選択すると、[パレットの定義]で設定した値で印刷します。
			[パレットの定義]	パレットの[ペン番号]に[幅]、[カラー]、[つなぎ形状]の値を設定します。[デフォルト]を選択すると、[パレットの選択]で[デフォルト]を選択したときの値を確認できます。 [つなぎ形状]は、線の端部および線と線のつなぎ目の形状を[処理なし]または[丸処理]から選択します。 • [処理なし]を選択した場合

設定項目					機能説明/設定方法
[GL2 設定]	[線/ペンの管理]	[ペン設定]	[パレットの定義]		• [丸処理]を選択した場合
			[パレットの初期化]		[パレットの定義]のパレットの設定が工場出荷時の値に戻ります。
		[スムージング]			円弧をスムーズな曲線で印刷するか、多角形で印刷するかを選択します。 • [ソフトウェア]を選択した場合 アプリケーション側の指定に沿った動作をします。指定が無い場合は図のようになります。 ※デフォルトは 72 角形 • [スムーズ]を選択した場合
		[細線強調]			[オン]を選択すると、細い線をくっきりと印刷します。
		[明細線補正]			細線の色味が他の図形と違って印刷されるとき、[オフ]を選択すると思い通りの印刷結果を得られることがあります。ただし、色によっては細線が途切れて印刷される場合があります。
	[処理オプション]	[警告表示]			[オン]にすると GL2 にて発生した警告を表示します。
		[ページサイズ処理 1]			通常、画像は印刷動作に必要なプリンタの余白を除いた位置に印刷されますが、画像データそのものに余白がある場合にこの設定を[オン]すると書き出し位置がずれません。
		[ページサイズ処理 2]			[オン]を選択すると、描画領域を基に用紙サイズを決定します。
	[GL2 設定プリント]				GL2 の設定値を印刷します。
[インタフェース設定]	[EOP タイマー]				印刷ジョブを受信できないときの、印刷ジョブをキャンセルする時間を設定します。
	[TCP/IP]	[IPv4]	[IPv4 モード]		プリンタの IP アドレスを自動で設定するか、手動で固定 IP アドレスを設定するかを選択します。
			[プロトコル]	[DHCP]	IP アドレスを自動で設定するためのプロトコルを設定します。
				[BOOTP]	
				[RARP]	
			[IPv4 設定]	[IP アドレス]	固定 IP アドレスを設定する場合に、プリンタのネットワーク情報を設定します。

設定項目						機能説明/設定方法
[インタフェース設定]	[TCP/IP]	[IPv4]	[IPv4 設定]	[サブネット マスク]		プリンタに割り当てるIPアドレスと、ネットワークのサブネットマスクおよびデフォルトゲートウェイを設定します。
				[デフォルト G/W]		
			[DNS 設定]	[DNS 動的更新]		DNS サーバへの登録の更新を自動的に行うかどうかを設定します。
				[プライマリ DNS サーバアドレス]		DNS サーバアドレスを設定します。
				[セカンダリ DNS サーバアドレス]		
				[DNS ホスト名]		DNS ホスト名を設定します。
				[DNS ドメイン名]		DNS ドメイン名を設定します。
		[IPv6]	[IPv6 の使用]			IPv6 接続をするかどうかを設定します。
			[IPv6 ステートレスアドレス]			IPv6 のステートレスアドレスを使うかどうかを設定します。
			[DHCPv6]			DHCPv6 設定を使うかどうかを設定します。
			[DNS 設定]	[DNS 動的更新]	[ステートフルアドレス]	DNS サーバへの登録の更新を自動的に行うかどうかを設定します。
					[ステートレスアドレス]	
				[プライマリ DNS サーバアドレス]		DNS サーバアドレスを設定します。
				[セカンダリ DNS サーバアドレス]		
				[DNS ホスト名]		DNS ホスト名を設定します。
				[DNS ドメイン名]		DNS ドメイン名を設定します。
	[NetWare]	[NetWare]				NetWare プロトコルを設定します。各項目を設定した後、[設定登録]を選択すると、設定値が有効になります。
		[フレームタイプ]				使用するフレームタイプを選択します。
		[プリント サービス]				使用するプリントサービスを選択します。
	[AppleTalk]					AppleTalk プロトコルを使用するかどうかを設定します。各項目を設定した後、[設定登録]を選択すると、設定値が有効になります。
	[Ethernet ドライバ]	[自動検出]				通信方式を設定します。各項目を設定した後、[設定登録]を選択すると、設定値が有効になります。 [オン]を選択すると、LAN の通信プロトコルを自動的に認識します。[オフ]を選択すると、[通信方式]や[Ethernet 種類]の設定値が有効になります。
		[通信方式]				LAN の通信方式を選択します。
		[Ethernet 種類]				LAN の通信速度を選択します。
		[スパニングツリー]				LAN のスパニングツリー信号を受け入れて対応するかどうかを選択できます。
		[MAC アドレス]				MAC アドレスが表示されます。
	[インタフェース設定プリント]					インターフェースの設定値を印刷します。
	[初期値に戻す]					[OK]を押すと[インタフェース設定]の設定が工場出荷時の値に戻ります。
[システム設定]	[スリープ タイマー]					プリンタがスリープモードに移行するまでの時間を設定します。
	[シャットダウン タイマー]					プリンタが自動的にオフするまでの時間を設定します。スリープモードに移行してから[シャットダウン タイマー]で設定した時間までプリンタを操作しない状態が続くと、プリンタの電源は自動的にオフになります。

設定項目			機能説明/設定方法
[システム設定]	[ブザー]		[オン]を選択すると、警告時に1回、エラー発生時に3回ブザーが鳴ります。
	[画面コントラスト調整]		ディスプレイのコントラストを調整します。
	[日時設定]	[日付設定]	現在の日付を設定します。
		[時刻設定]	現在の時刻を設定します。[日付設定]が設定されている場合のみ設定可能です。
	[日付形式]		日付の表示形式を設定します。
	[表示言語]		ディスプレイの表示言語を設定します。
	[タイムゾーン]		タイムゾーンを設定します。タイムゾーンの項目名には、グリニッジ標準時間からの時差とともに該当のタイムゾーン内の代表的な都市名が表示されます。
	[長さの単位]		長さの表示単位を選択します。ロール紙残量や[総印刷面積]の表示単位が切り替わります。
	[用紙ミスマッチ検知]		プリンタのメニューで設定した用紙の種類やサイズとプリンタドライバで設定した用紙の種類やサイズが異なっている場合の印刷動作を設定します。 [一時停止する]を選択すると、印刷を一時停止します。[警告表示する]を選択すると、警告を表示して印刷を続行します。[検知しない]を選択すると、警告を表示せずに印刷を続行します。
	[用紙サイズ優先]	[ロール紙優先設定 1]	ロール紙のサイズを検知したときに、ロール紙幅が[ISO A3 (297mm)]と[300mm ロール]の間の場合に、どちらのロール紙幅として認識するかを選択します。
		[ロール紙優先設定 2]	ロール紙のサイズを検知したときに、ロール紙幅が[10inch (254mm)]と[JIS B4 (257mm)]の間の場合に、どちらのロール紙幅として認識するかを選択します。
	[外形サイズ優先]		[オン]を選択すると、用紙のサイズが優先されます。プリンタドライバで設定した余白が、プリンタのメニューで設定した余白より少ない場合、プリンタのメニューで設定した余白が優先され、余白をはみ出た分の文字や画像は切れてしまいます。 SAMPLE → SAMPLE [オフ]を選択すると、余白の設定値が優先されます。プリンタドライバで設定した余白とプリンタのメニューで設定した余白の設定値が異なる場合、設定値の大きい方に合わせて印刷します。 SAMPLE → SAMPLE
	[ロール退避時プレカット]		退避位置にある用紙を給紙した際に用紙の先端をカットするかどうかを設定します。退避位置で固定されていた際につく跡が気になる場合はカットしてください。

設定項目		機能説明/設定方法
[システム設定]	[ロール退避時プレカット]	[オン]に設定すると、スリープから復帰後または、電源オン後の最初の印刷開始時にカットします。[自動]に設定すると、2日以上退避位置にあった用紙のみカットします。
	[ヘッド交換後プリント]	[オン]を選択すると、プリントヘッドの交換後に、[詳細調整]が自動的に実行されます。(「縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する(ヘッド位置調整)」参照) →P.500
	[ノズルチェック設定]	ノズルのつまりを印刷後にチェックするタイミングを[間隔]で設定します。[標準]を選択すると、ノズルの使用頻度により、チェックするタイミングを調整します。[1 ページ]を選択すると、1 ページ毎にチェックを行います。 [警告]で[オン]を選択すると、印刷中にプリントヘッドのノズルがつまった場合、警告を表示します。
	[USB の使用]	[使わない]を選択すると USB からのアクセスはできなくなります。
	[イーサネットの使用]	[使わない]を選択するとイーサネットからのアクセスはできなくなります。
	[RemoteUI の使用]	[使わない]を選択すると RemoteUI からのアクセスはできなくなり、操作パネルからの設定のみ可能になります。
	[用紙設定初期化]	Media Configuration Tool で変更した内容を工場出荷時の設定値に戻します。
	[ジョブ履歴表示]	[オフ]を選択すると、[ジョブメニュー]の[ジョブ履歴]で履歴が表示されません。さらに[ジョブメニュー]の[ジョブ履歴プリント]でも履歴が印刷されません。また、Status Monitor のアカウンティング機能においてもジョブ履歴を収集できないため正しい動作が行われません。
[移動の準備]		プリンタを輸送するときに選択します。画面の指示に従って必要な処理を行います。(「プリンタの輸送の準備をする」参照) →P.541 メンテナンスカートリッジの残量の警告メッセージ表示中は表示されません。
[管理者メニュー]	[パスワードの変更]	パスワードを設定すると、メニューの表示/設定を以下のように制限できます。入力できる数値は 0～9999999 です。 • 管理者のみ表示/設定可能 [IPv4 設定] [DNS 設定] [パスワードの変更] [パスワードの初期化] • 管理者は表示/設定可能、管理者以外のユーザーは表示のみ可能 [インタフェース設定]([IPv4 設定][DNS 設定]を除く) [日時設定] [日付形式] [タイムゾーン] [USB の使用] [イーサネットの使用] [RemoteUI の使用] [用紙設定初期化] [ジョブ履歴表示]
	[パスワードの初期化]	[OK]を押すと[管理者メニュー]のパスワードが工場出荷時の値に戻ります。
[紙送り微調整] (*3) (*4)		[紙送り調整]の[優先設定]で[自動]または[画質優先]が選択されている場合に表示されます。用紙の送り量を手動で微調整します。

設定項目		機能説明/設定方法
[プリンタの情報](*3)	[用紙の情報]	現在セットされている用紙の種類、サイズ、プリンタの設定が表示されます。
	[インクの情報]	インクの残量とメンテナンスカートリッジの残り容量が表示されます。
	[システム情報]	ファームウェアのバージョン、シリアルナンバー、インターフェースの情報が表示されます。
	[エラー履歴]	最近発生したエラーメッセージ(5件まで)が表示されます。
	[その他のカウンタ]	プリンタの印刷した総面積が表示されます。

*1: プリント 1 枚につき消費されるインクの使用量の概算値が表示されます。実際の使用量とは異なる場合があります。当社インクコスト測定条件に基づく概算値の平均誤差は、±15%です。この概算値の正確性について、当社は保証するものではありません。お客様のご使用状況に応じて、この概算値は変動します。なお、この概算値の算出には、クリーニング機構による強制吐出のインク消費量等は含まれておりません。

*2: 指定した機種の色味や画質を完全に一致させるものではありません。

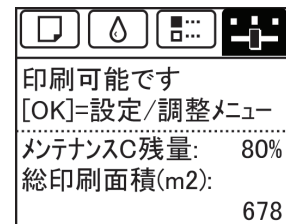
*3: 印刷中メニューとして印刷中に表示されます。

*4: 通常メニューでは表示されません。

ステータスプリントについて

このプリンタはプリンタの状態を示す[ステータス プリント]を印刷できます。
[ステータス プリント]にはファームウェアバージョンやプリンタの各種設定値、消耗品の使用状況などプリンタの情報が印刷されます。

[ステータス プリント]を印刷する

1 用紙をセットします。
カット紙の場合は、A4 サイズで 3 枚以上必要です。

2 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

3 [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[テスト プリント]を選択し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[ステータス プリント]を選択し、[OK]キーを押します。

[ステータス プリント]の内容を確認する

[ステータス プリント]には以下の情報が出力されます。

Canon imagePROGRAF iPFxxxx Status Print	機種名

Firm	ファームウェアバージョン
Boot	ブートロムバージョン
MIT(DBF)	MIT DB フォーマットバージョン
MIT(DB)	MIT DB バージョン

項目	説明
S/N	機種シリアル No
Date	ステータスプリントを印刷した日時です。

項目		説明
Paper Menu		設定されている用紙の情報です。
	Roll Media Type	
	Cut Sheet Type	
	ManageRemainRoll	
	Keep Paper Type	

項目				説明
Set./Adj. Menu				設定/調整関連の情報です。
	System Setup			本体システム/警告/エラー関連の設定値です。
		Sleep Timer		
		Shut Down Timer		
		Buzzer		
		Contrast Adj.		
		Date Format		
		Language		
		Time Zone		
		Length Unit		
		Detect Mismatch		
		Paper Size Basis		
			Roll Selection 1	
			Roll Selection 2	
		Keep Paper Size		用紙関連の設定値です。
		TrimEdge Reload		
		Rep.P.head Print		ヘッド交換後の調整パターン印刷の設定値です。
		Nozzle Check		ノズルチェックの設定値です。
			Timing	
			Warning	
		Use USB		USB の使用の設定値です。
		Use Ethernet		Ethernet の使用の設定値です。
		Use RemoteUI		RemoteUI の使用の設定値です。
Printer Info				各種プリンタの情報です。
	Ink Info			インク関連の情報です。
		MC		メンテナンスカートリッジ空き容量(%)
		C,M,Y,MBK,MBK2,BK		インク残量です。 20%刻みで表示されます。
	System Info			システム関連の情報です。
		RAM		RAM 総容量(システム RAM+プリントバッファ)
	Error Log			過去 5 件のエラーコードです。

項目		説明
HEAD LOT NUMBER		プリントヘッドのロットナンバーです。
	LOT	
PARTS STATUS		サービス交換部品の使用状況です。
	COUNTER	

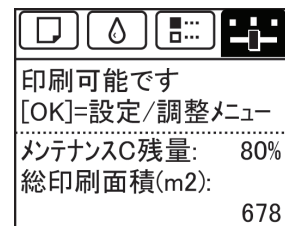
		CR1-5, SP1, PG1, HMa1, MT1, PL1, Mi1,CT1,WF1-2	サービス交換部品の使用状況です。
COUNTER			カッター、メディアなどの使用状況です。
	CUTTER		
	MEDIA		
		LIFE TTL	
		LIFE ROLL	
		LIFE CUTSHEET	
	MEDIA 1-7,OTHER		
		NAME	
		TTL	
		ROLL	
		CUTSHEET	
	AFTER INSTALLATION		

DUTY		メンテナンス用のカウンタです。サービスを依頼する際に、必要となることがあります。
	UNIT:m2	
	UNIT:sq.f	
	UNIT:A4 Sheet	
	UNIT:Letter Sheet	

インタフェース設定プリントについて

このプリンタはプリンタのインタフェース設定値を一覧で示す[インタフェース設定プリント]を印刷できます。[インタフェース設定プリント]には TCP/IP や NetWare などの設定値が印刷されます。

[インタフェース設定プリント]を印刷する

1 用紙をセットします。
カット紙の場合は、A4 サイズで 3 枚以上必要です。

2 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

3 [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[テスト プリント]を選択し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[インタフェース設定プリント]を選択し、[OK]キーを押します。

[インタフェース設定プリント]の内容を確認する

[インタフェース設定プリント]には以下の情報が出力されます。

Canon imagePROGRAF iPFxxxx Interface Print	機種名

Firm	ファームウェアバージョン
Boot	ブートロムバージョン
MIT(DBF)	MIT DB フォーマットバージョン
MIT(DB)	MIT DB バージョン
S/N	機種シリアル No
Date	インタフェース設定プリントを印刷した日時です。

EOP Timer		印刷ジョブを受信できないときの、印刷ジョブをキャンセルする時間を設定します。
TCP/IPv4	Frame Type	[IPv4]の設定値です。
	Use DHCP	
	Use BOOTP	
	Use RARP	
	Enable DNS Dynamic Update	
	Use Zeroconf Function	
	IP Address	
	Subnet Mask	
	Gateway Address	
	LPD Printing	
	IPP Printing	
	IPP Printer URI	
	RAW Printing	
	Raw Mode Bi-direction	
	FTP Printing	
	Use Discovery	
	Scope	
	SMTP Server Address	
	Primary DNS Server Address	
	Secondary DNS Server Address	
	DNS Host Name	
	DNS Domain Name	
	MulticastDNS ServiceName	
	SNMPv1	
	SNMPv3	

TCP/IPv6	Use IPv6		[IPv6]の設定値です。
	Use DHCPv6	Stateful Address	
		Prefix Length	
		Primary DNS Server Address	
		Secondary DNS Server Address	
	Use a stateless address	Stateless Address 1	
		Prefix Length 1	
		Stateless Address 2	
		Prefix Length 2	
		Stateless Address 3	

TCP/IPv6	Use a stateless address	Prefix Length 3	[IPv6]の設定値です。
		Stateless Address 4	
		Prefix Length 4	
		Stateless Address 5	
		Prefix Length 5	
		Stateless Address 6	
		Prefix Length 6	
	Use a link-local Address	Link-Local Address	
		Prefix Length	
	Use a manual address	IP Address	
		Prefix Length	
		Default Router Address	
		Prefix Length	
		Primary DNS Server Address	
		Secondary DNS Server Address	
	Use the same host name and domain name as IPv4	DNS Host Name	
		DNS Domain Name	
	Perform dynamic updating of stateful addresses		
	Dynamically update the stateless address		
	Dynamically update the manual address		

NetWare	Frame Type		[NetWare]の設定値です。
	IPX External Network Number		
	Node Number		
	Print Application		
	Bindery PServer	File Server Name	
		Print Server Name	
		Print Server Password	
		Polling Interval	
	RPrinter	Print Server Name	
		Printer Number	
	NDS PServer	Tree Name	
		Context Name	
		Print Server Name	
		Print Server Password	
		Polling Interval	
	NPrinter	Print Server Name	
		Printer Number	
AppleTalk	Phase Type		[AppleTalk]の設定値です。
	Name		
	Network Number		
	Zone		
Network Interface	Physical Interface		ネットワークインタフェースの設定値です。
	Transmission Rate		
	MAC Address		

Network Interface	Auto Detect	ネットワークインタフェースの設定値です。
	Communication	
	Ethernet Type	
	Spanning Tree	
	Use the Jumbo Frame Function	

操作パネル プリンタのメニュー

各部の説明

前面 460
側面 461
上カバー内部 462
ロール紙カバー内部 463
キャリッジ 463
インクタンクカバー内部 464
スタンド 465

前面

a ロール紙カバー

このカバーを開き、ロール紙をセットします。(「ロール紙カバー内部」参照) →P.463

b 給紙口

用紙をセットするときに、ここに差し込みます。

c ロール紙仮置き台

ロール紙をセットするときに、ここにロールホルダーを置いてからロールホルダースロットにセットします。

d リリースレバー

用紙押さえを解除するときに、このレバーを後ろ側に押します。

e 操作パネル

このパネルで、プリンタを操作したり、プリンタの状態を確認します。(「操作パネル」参照) →P.426

f インクタンクカバー

このカバーを開き、インクタンクを交換します。(「インクタンクカバー内部」参照) →P.464

g 紙合わせライン

用紙を合わせるための、オレンジ色のラインです。

h メンテナンスカートリッジカバー

このカバーを開き、メンテナンスカートリッジを交換します。

i メンテナンスカートリッジ

ヘッドクリーニングなど、メンテナンスで使用したインクを吸収します。(いっぱいになったら交換します。)

j カッターユニット

ロール紙を自動でカットするための丸刃カッターです。

k カッターレール

この部分をカッターユニットが通過し、用紙をカットします。

l 排紙口

すべての印刷物はここから排紙されます。

m 排紙ガイド

印刷物が排紙されます。

n 上カバー

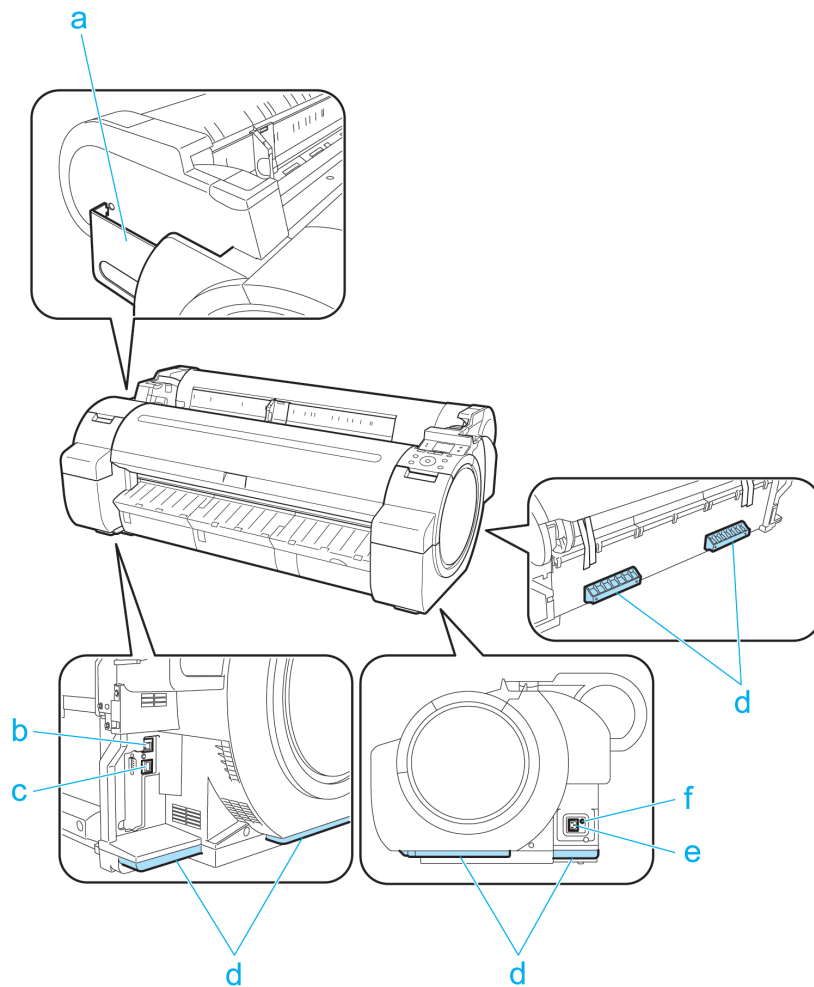
このカバーを開き、プリントヘッドを取り付けたり、プリンタ内部につまった用紙を取り除きます。(「上カバー内部」参照) →P.462

o 幅ガイド

カット紙をセットするときに、用紙のサイズに合わせてこのガイドを移動します。

p スタンド

プリンタの取り付け台です。キャスター付きで簡単に移動できます。(「スタンド」参照) →P.465

側面

a マニュアルポケット

プリンタのマニュアルをこのポケットに収納します。

b Ethernet コネクタ

Ethernet ケーブルをこのコネクタに接続します。Ethernet ケーブルが正しく接続され、通信可能な状態になっている場合は、ランプが点灯します。

c USB ポート

USB ケーブルをこのポートに接続します。Hi-Speed USB に対応しています。

d 運搬用取っ手

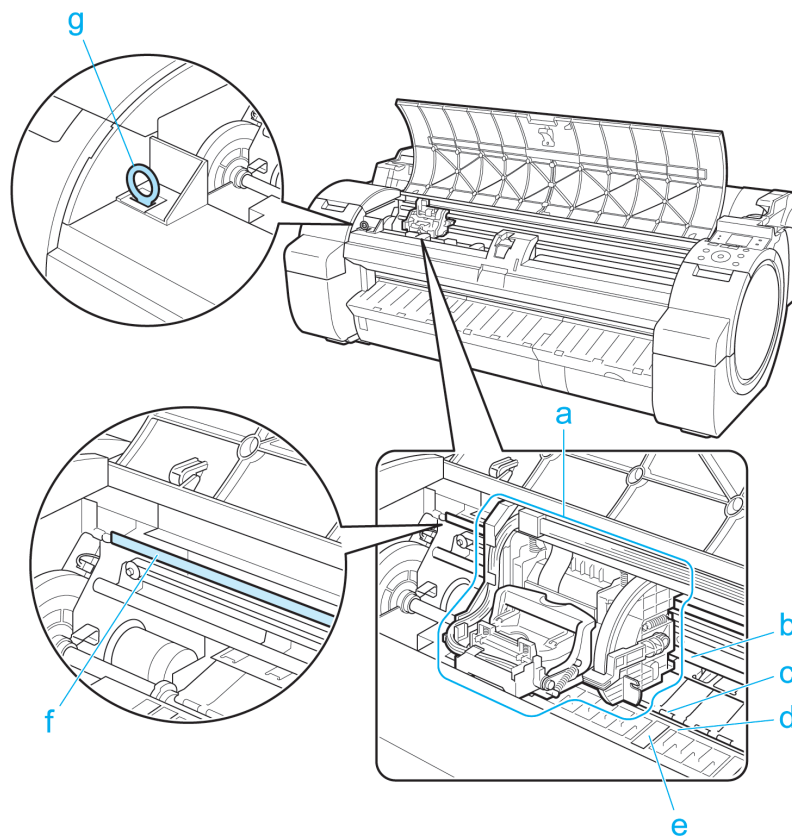
左右背面のこの部分を持って、3 人でプリンタを運びます。

e 電源コネクタ

電源コードをこのコネクタに接続します。

f アース端子

アース線をこの端子に接続します。

上カバー内部

a キャリッジ

プリントヘッドを動かします。印刷するための重要な部品です。(「キャリッジ」参照) →P.463

b キャリッジシャフト

この部分をキャリッジが移動します。

c 用紙押さえ

用紙を送るための重要な部品です。この部分で用紙を保持しています。

d プラテン

この部分をプリントヘッドが移動し、印刷が行われます。表面には吸引口があり、用紙の浮き上がりを防ぎます。

e フチなし印刷インク受け溝

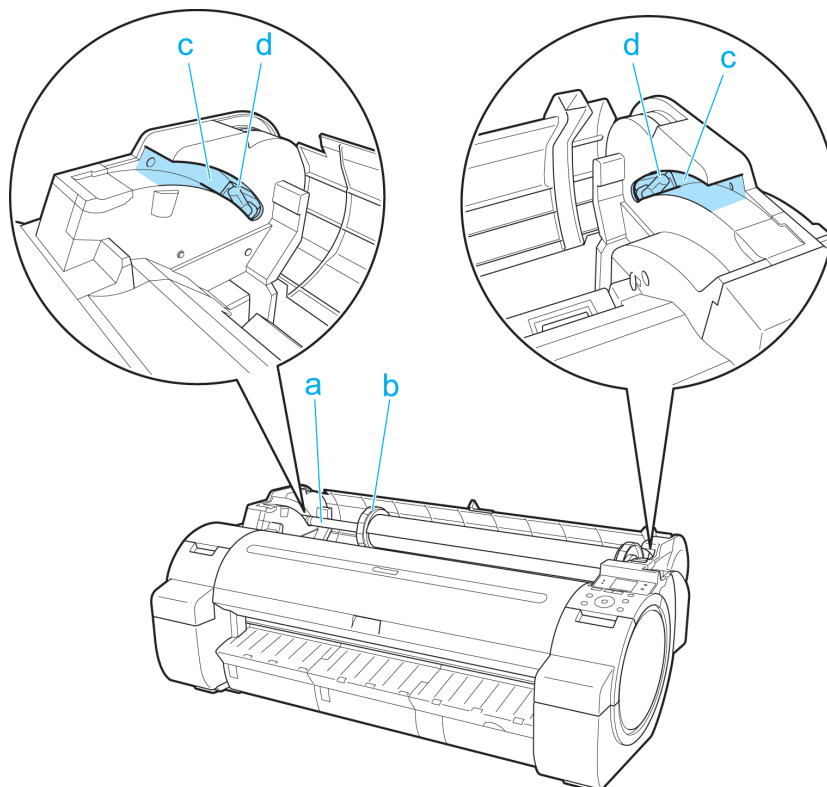
フチなし印刷するときに、用紙の外側にはみ出したインクを受けます。

f リニアスケール

キャリッジの位置を検出するための重要な部品です。上カバー内部で清掃や紙づまり処理を行うときは、絶対に触れないでください。

g クリーナブラシ

上カバー内部を清掃するときに、このブラシでプラテン上の紙粉を掃き取ります。

ロール紙カバー内部

a ロールホルダー

ロール紙をこのホルダーにセットします。

b ホルダーストッパ

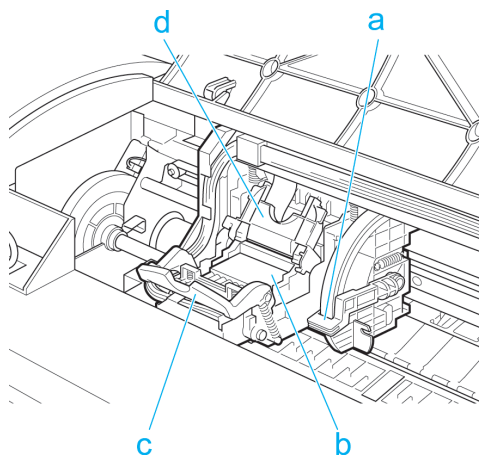
ロールホルダーにロール紙をこの部品で固定します。

c スライドガイド

ロールホルダーをこのガイドに沿って移動します。

d ロールホルダースロット

ロールホルダーをこのスロットにセットします。

キャリッジ

a スラント調整レバー

印刷時の罫線のずれを微調整します。

b プリントヘッド

ノズルが装着されています。印刷するための重要な部品です。

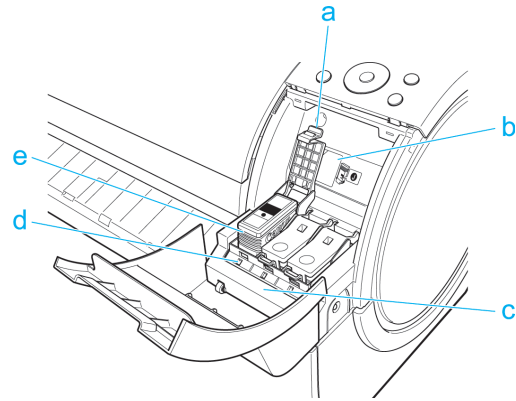
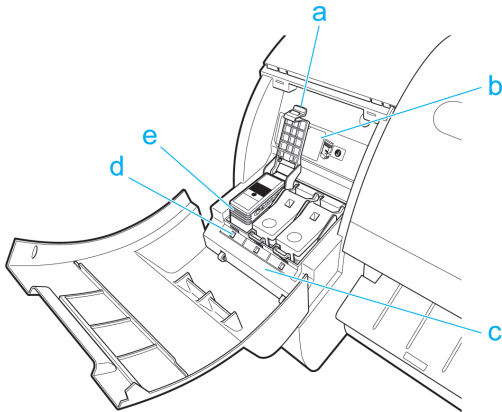
c プリントヘッド固定レバー

プリントヘッド固定カバーをロックします。

d プリントヘッド固定カバー

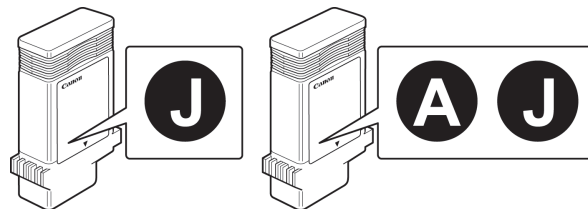
プリントヘッドを固定します。

インクタンクカバー内部

左側	右側

a インクタンク固定レバー

インクタンクを保護し、ロックします。インクタンクを交換するときに、このレバーを開閉します。

b インクセットラベル

このプリンタで使用できるインクタンクの側面には、黒丸に白い文字で[J]と記載されたラベルが付いています。
インクタンクをご購入の際は、ラベルに[J]が記載されていることをご確認ください。(「インクタンク」参照)
→P.516

c インク色ラベル

ラベルの色と名称に合わせてインクタンクをセットします。

d インクランプ(赤)

インクタンクカバーを開いたときに、以下のようにインクタンクの状態を示します。

- 点灯

  インクタンクが正常にセットされています。

- 消灯

  インクタンクがセットされていない、またはインク残量検知機能が無効に設定されています。

- 遅い点滅

  インクの残量が少なくなっています。

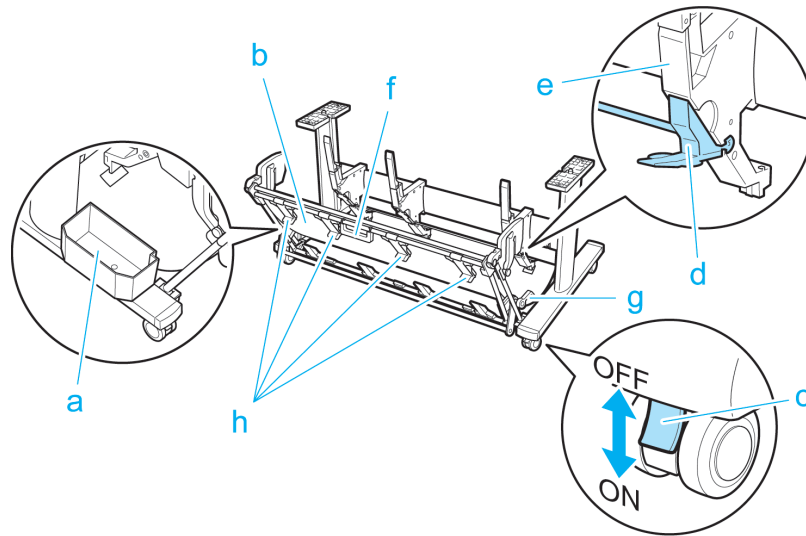
- 速い点滅

  インクの残量がなくなりました。

e インクタンク

各色のインクのカートリッジです。

スタンド

- プリンタスタンド ST-34

a アクセサリポケット

プリンタの付属品を収納します。

b バスケット

排紙された印刷物を受け止めます。

c ロック付きキャスター

ロックしてキャスターを固定できます。

プリンタを移動するときは、必ず 4 つのキャスターのロックをすべてオフにしてください。ロックをオンにしたままプリンタを移動すると、キャスターが削れて床に傷が付く場合があります。

d 切り替えストッパ

バスケットを取り出しポジション A で使用するときに、用紙サイズにより引き出します。

取り出しポジションについては、「バスケットを使用する」を参照してください。 →P.419

e ペーパーガイド

排紙された印刷物をバスケットへ誘導します。

f バスケットハンドル

このハンドルは、バスケットを取り出しポジション B にセットしたり通常ポジションに戻すときに持ち、スライドするバスケットを支えます。

取り出しポジションについては、「バスケットを使用する」を参照してください。 →P.419

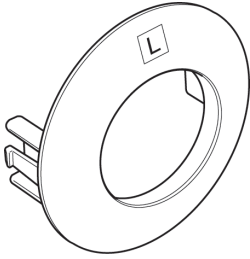
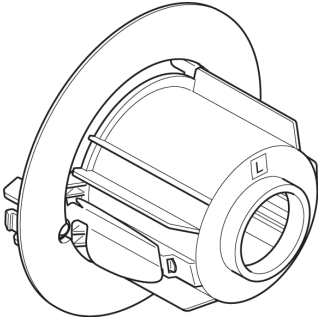
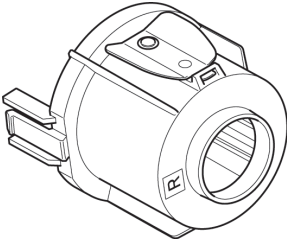
g バスケットリリースレバー

このレバーは、手前に引くと取り出しポジション B のセットを解除します。

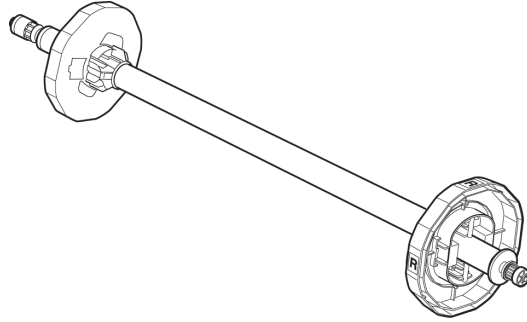
取り出しポジションについては、「バスケットを使用する」を参照してください。 →P.419

h バスケット排紙ガイド

このガイドは、バスケットを取り出しポジション B で使用するときに排紙された用紙を支えます。

オプション

ロールホルダーセット

ロール紙はロールホルダーにセットしてプリンタに取り付けます。ロールホルダーセット RH2-33 のロールホルダーは 2 インチ/3 インチ紙管兼用でお使いいただけます。紙管に合ったアタッチメントを取り付けてご使用ください。
（「ロール紙にロールホルダーをセットする」参照） →P.393

- ロールホルダーセット RH2-33
    - ロールホルダー（2 インチ/3 インチ紙管兼用）

- アタッチメント

2インチ紙管のロール紙を使用する場合	3インチ紙管のロール紙を使用する場合	
2インチ紙管アタッチメント	3インチ紙管アタッチメント L	3インチ紙管アタッチメント R

ネットワーク環境

ネットワーク環境について

必要なシステム環境について

使用するネットワークに応じて、以下のシステム環境が必要です。

- TCP/IP ネットワークで印刷する場合(IPv4 使用時)
  - 対応している OS
    - Windows XP(Home Edition/Professional)
    - Windows Server 2003(Standard Edition)
    - Windows Vista(Home Basic/Business/Ultimate)
    - Windows Server 2008(Standard Edition/Enterprise Edition)
    - Windows 7
    - Windows XP Professional x64 Edition
    - Windows Server 2003 x64 Edition
    - Windows Vista x64
    - Windows Server 2008 x64
    - Windows 7 x64
    - Mac OS X 10.2.8 以降
    - Unix(Solaris 9)
    - Unix(Red Hat 9)
- TCP/IP ネットワークで印刷する場合(IPv6 使用時)
  - 対応している OS
    - Windows Vista(Home Basic/Business/Ultimate)
    - Windows Server 2008(Standard Edition/Enterprise Edition)
    - Windows 7
    - Windows Vista x64
    - Windows Server 2008 x64
    - Windows 7 x64
    - Mac OS X 10.3.9 以降

メモ

- IPv6 を使用する場合、IPv6 を操作パネルまたはリモート UI で設定する必要があります。設定方法については、「TCP/IPv6 ネットワークを設定する」を参照してください。→P.475 または「リモート UI でプリンタに TCP/IP ネットワークの設定をする」を参照してください。→P.477
- imagePROGRAF プリンタドライバは、Mac OS X 10.4.11 以降に対応しています。
- imagePROGRAF プリンタドライバは、Unix には対応していません。

- AppleTalk ネットワークで印刷する場合
  - 対応している OS
    - Mac OS X 10.2.8～10.4

メモ

- LocalTalk ネットワークには対応していません。
- フェーズ 2 の EtherTalk に対応しています。
- imagePROGRAF プリンタドライバは、AppleTalk には対応していません。

- NetWare ネットワークで印刷する場合
  - 対応しているサーバ
    - Novell NetWare Version 4.2/5.1/6.0
  - 対応しているクライアント
    - Windows XP(Professional)

メモ

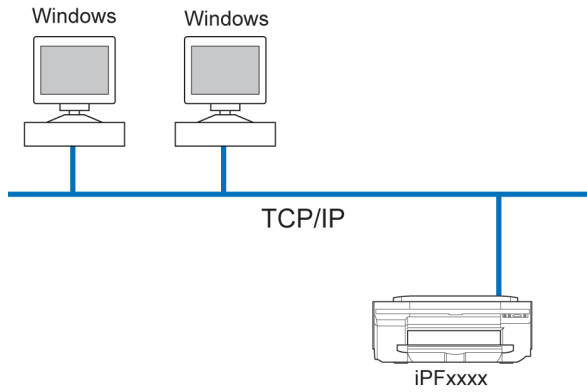
- NetWare Version 6.0 の iPrint はサポートしていません。

ネットワーク環境について

プリンタを接続するネットワーク環境を確認し、必要な作業を行ってください。

- Windows ネットワークの例

Windows ネットワークでは、TCP/IP プロトコルを使用します。

メモ

- このプリンタでは、NetBIOS プロトコルは使用できません。

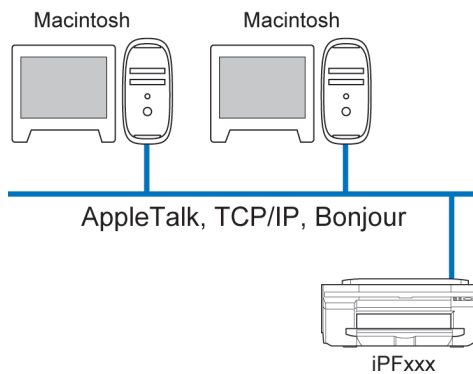
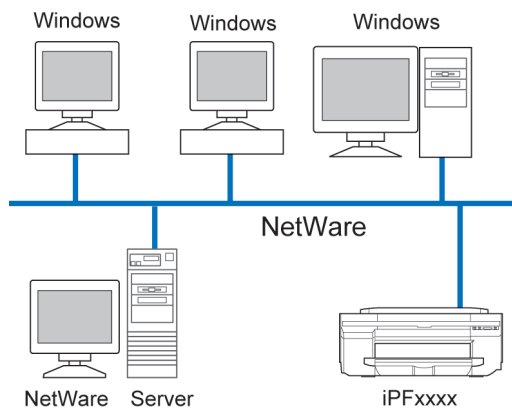
- Macintosh ネットワークの例

Macintosh ネットワークでは、AppleTalk（EtherTalk）、TCP/IP、Bonjour（Zeroconf）機能が使用できます。

メモ

- imagePROGRAF プリンタドライバは、AppleTalk には対応していません。

- NetWare ネットワークの例

メモ

- NetWare サーバがあるネットワーク環境でも、TCP/IP プロトコルや AppleTalk プロトコルを併用することは可能です。その場合は、使用する各プロトコルの設定を行ってください。

リモート UI を使用する

リモート UI を使う

リモート UI は、お手持ちの Web ブラウザからネットワークを経由して本プリンタにアクセスし、プリンタの状況の確認やジョブの操作、各種設定などができるソフトウェアです。リモート UI を使用するためのソフトウェア(Web サーバ)はプリンタに内蔵されているので、Web ブラウザ以外のソフトウェアを用意する必要はありません。ネットワーク上の imagePROGRAF プリンタがコンピュータとつながっていれば、リモート UI を使うことができます。Web ブラウザを起動してプリンタの IP アドレスを指定すると、リモート UI の画面が表示され、リモート UI を使えるようになります。

重要

- リモート UI を使用するためには、プリンタに事前に IP アドレスを設定しておく必要があります。IP アドレスの設定方法については、「プリンタに IP アドレスを設定する」を参照してください。 →P.473

リモート UI でできること

リモート UI では、ネットワーク経由でプリンタにアクセスして、ネットワークに関する設定を行ったり、プリンタの現在の状況や各種情報、ジョブの処理状況などを表示させることができます。

リモート UI の起動方法

次の操作に従い、リモート UI を起動します。

1. Web ブラウザを起動します。
2. [アドレス]または[場所]に以下の URL を入力します。
   http://プリンタの IP アドレスまたは名前/
   入力例: http://xxx.xxx.xxx.xxx/
3. リモート UI の画面が表示されます。

メモ

- プリンタの機種によって画面は多少異なります。

リモート UI でネットワークの設定を行う

ネットワークに関連する項目の設定方法については、以下のトピックを参照してください。

- リモート UI でプリンタに TCP/IP ネットワークの設定をする →P.477
- プリンタに AppleTalk ネットワークの設定をする →P.492
- リモート UI でプリンタに NetWare ネットワークの設定をする →P.485
- プリンタの情報を設定する →P.494

重要

- Web ブラウザは、Netscape Navigator 6.0 以降、Internet Explorer 5.01 以降、または Firefox 1.5 以降を使用してください。Mac OS X の場合は、Safari 1.32 以降または 2.03 以降にも対応しています。
- プロキシサーバ経由で接続することはできません。プロキシサーバをご使用の環境では、Web ブラウザのプロキシサーバの設定で、[例外](プロキシを使用しないアドレス)にプリンタの IP アドレスを追加してください。(設定はネットワーク環境によって異なります。)
- Web ブラウザで、JavaScript とクッキー(Cookie)が使用できるように設定してください。
- プリンタの IP アドレスではなく、名前を指定してリモート UI を起動する場合は、DNS の設定が正しく行われていることを確認してください。
- ネットワーク環境によっては、リモート UI が起動できない場合があります。
- プリンタの操作パネルの[システム設定]で[RemoteUI の使用]が[使う]になっていることを確認してください。

メモ

- リモート UI には、インクの残量やエラーなどのプリンタの状態表示、印刷ジョブの中止など、他にも多くの機能があります。
- 工場出荷時の状態では、英語のページが表示されます。表示言語を切り替えるには[Language]の一覧から言語を選択してから、管理者モードにログオンしてください。
- 管理者モードでログオンすると、[ネットワーク]ページで Jumbo Frame 機能を使用するように設定することができます。ただし、ネットワーク環境によってはこの機能を使用できない場合があります。

最初の設定

プリンタに IP アドレスを設定する 473
プリンタの操作パネルで IP アドレスを設定する 473
ARP/PING コマンドで IP アドレスを設定する 474
TCP/IPv6 ネットワークを設定する 475
プリンタドライバの接続先を設定する(Windows) 476
プリンタドライバの接続先を設定する(Mac OS X) 476
リモート UI でプリンタに TCP/IP ネットワークの設定をする 477

プリンタに IP アドレスを設定する

プリンタを TCP/IP ネットワークで使用するためには、プリンタの IP アドレスを設定する必要があります。
セットアップガイドの手順に従ってプリンタドライバをインストールすると、プリンタの IP アドレスを同時に設定することができます。
一度設定した IP アドレスを変更する場合や、プリンタの接続形態をネットワーク接続に変更する場合は、imagePROGRAF Device Setup Utility、プリンタの操作パネル、ARP/PING コマンドのいずれかを使用して IP アドレスを設定します。IP アドレスの設定方法については、以下のトピックを参照してください。

- imagePROGRAF Device Setup Utility で IP アドレスを設定する →P.271 (Windows)
- プリンタの操作パネルで IP アドレスを設定する →P.473
- ARP/PING コマンドで IP アドレスを設定する →P.474

重要

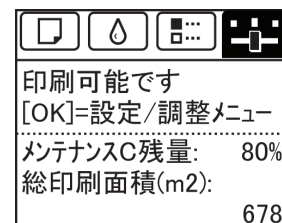
- DHCP サーバの機能を利用して、自動的にプリンタに IP アドレスを割り当てる場合、プリンタの電源を入れなおすと、印刷できなくなることがあります。これは、今まで使用していた IP アドレスとは異なる IP アドレスが割り当てられたためです。DHCP サーバの機能を使用する場合には、ネットワーク管理者にお問合せの上、次のいずれかの設定を行ってください。
  - DNS 動的更新機能を設定する
    プリンタのメニューで[DNS 動的更新]を[オン]にするか、またはリモート UI で[DNS の動的更新を行う]をオンにしてください。
    (「メニューの設定値」参照) →P.443
    (「リモート UI でプリンタに TCP/IP ネットワークの設定をする」参照) →P.477
  - プリンタ起動時に常に同じ IP アドレスを割り当てるように設定する

メモ

- TCP/IP 以外のネットワークでプリンタを使用する場合も、プリンタの IP アドレスを設定しておくことをお勧めします。IP アドレスを設定しておくと、リモート UI を使用し、Web ブラウザからネットワークの設定やプリンタの管理が行えます。リモート UI については、「リモート UI を使う」を参照してください。 →P.471

プリンタの操作パネルで IP アドレスを設定する

ここでは、プリンタの操作パネルでプリンタの IP アドレスを設定する手順を説明します。

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[インタフェース設定]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[TCP/IP]を選択し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[IPv4]を選択し、[OK]キーを押します。

6 [▲]キー、[▼]キーを押して[IPv4 設定]を選択し、[OK]キーを押します。

7 [▲]キー、[▼]キーを押して[IP アドレス]を選択し、[OK]キーを押します。

8 [◀]キー、[▶]キーを押して入力フィールドを選択し、数値を入力できる状態にします。

9 [▲]キー、[▼]キーを押して数値を入力します。

メモ
- [▲]キーを押すと数値は 1 つずつ増えます。ただし、9 の次は 0 になります。
- [▼]キーを押すと数値は 1 つずつ減ります。ただし、0 の次は 9 になります。
- [▲]キーや[▼]キーを押し続けると、数値を連続して増減することができます。
- コンピュータとプリンタの IP アドレスが同じにならないように設定してください。

10 手順 8〜9 を繰り返して、設定が完了したら[OK]キーを押します。

11 [メニュー]キーを押します。
設定値を変更した場合は、確認のメッセージが表示されますので、[▲]キー、[▼]キーを押して[する]を選択し、[OK]キーを押します。

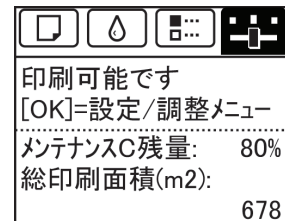
重要
- 必ず手順 11 の操作を行い、設定を登録してください。この操作により、入力値が有効となります。
- エラーが表示される場合は、各設定値を確認し、設定し直してください。

メモ
- サブネットマスク、デフォルトゲートウェイもプリンタの操作パネルで設定できます。

ARP/PING コマンドで IP アドレスを設定する

ここでは、ARP/PING コマンドを使用し、IP アドレスを設定する手順を説明します。
ARP/PING コマンドを使用する場合、プリンタの MAC アドレスが必要になります。MAC アドレスは、プリンタの操作パネルで確認できます。

1 プリンタの MAC アドレスを調べます。
MAC アドレスは、以下の手順でプリンタの操作パネルで確認できます。

1. 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

2. [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

3. [▲]キー、[▼]キーを押して[インタフェース設定]を選択し、[OK]キーを押します。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して[Ethernet ドライバ]を選択し、[OK]キーを押します。
5. [▲]キー、[▼]キーを押して[MAC アドレス]を選択し、[OK]キーを押します。

メモ
- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。
- Mac アドレスはインタフェース設定プリントを出力して調べることもできます。
（「インタフェース設定プリントについて」参照） →P.454

2 Windows の場合はコマンドプロンプト、Mac OS X の場合はターミナルを起動します。

3 以下のコマンドを実行し、IP アドレスと MAC アドレスの対応を管理する ARP テーブルにエントリを追加します。
arp -s [IP アドレス] [確認したプリンタの MAC アドレス]
入力例: arp -s xxx.xxx.xxx.xxx 00-1E-8F-xx-xx-xx

メモ
- Mac OS X のターミナルの場合、arp コマンドは arp -s xxx.xxx.xxx.xxx 00:1E:8F:xx:xx:xx のように指定します。詳細については、コマンドラインのヘルプなどで確認してください。

4 以下のコマンドを実行し、IP アドレスをプリンタに送信し、設定します。
ping [ARP コマンドで指定した IP アドレス] -l 479
入力例: ping xxx.xxx.xxx.xxx -l 479

メモ
- [-l]の[l]はアルファベットの[エル]です。
- Mac OS X のターミナルの場合、ping コマンドは ping -s 479 xxx.xxx.xxx.xxx のように指定します。詳細については、コマンドラインのヘルプなどで確認してください。

メモ
- サブネットマスク、デフォルトゲートウェイは、0.0.0.0 に設定されます。リモート UI を使用して、サブネットマスクとデフォルトゲートウェイを、ご使用のネットワークの設定に合わせて変更してください。
リモート UI については、「リモート UI を使う」を参照してください。 →P.471

TCP/IPv6 ネットワークを設定する

TCP/IPv6 ネットワークで印刷する場合、TCP/IPv6 を操作パネルで設定する必要があります。
TCP/IPv6 ネットワークは、以下の手順で設定します。

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して（設定/調整タブ）を選択します。

メモ
- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[インタフェース設定]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[TCP/IP]を選択し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[IPv6]を選択し、[OK]キーを押します。

6 [▲]キー、[▼]キーを押して[IPv6 の使用]を選択し、[OK]キーを押します。

7 [▲]キー、[▼]キーを押して[使う]を選択し、[OK]キーを押します。

重要

- [IPv6 の使用]で[使う]を選択すると、[IPv6 ステートレスアドレス]の設定が有効になります。

メモ

- [IPv6 ステートレスアドレス]、[DHCPv6]もプリンタの操作パネルで設定できます。

プリンタドライバの接続先を設定する(Windows)

ここでは、プリンタの IP アドレスを変更した場合や、プリンタを USB 接続からネットワーク接続に変更する場合などに、プリンタドライバの接続先を設定する手順を説明します。
この手順は、Windows 標準の TCP/IP ポート([Standard TCP/IP Port])を使用し、LPR または Raw プロトコルを使用する場合の設定方法です。

重要

- TCP/IP ネットワークでプリンタを使用する場合は、プリンタに IP アドレスが正しく設定されていることを確認してください。
  - プリンタに IP アドレスを設定する →P.473

1 [プリンタと FAX](または[プリンタ]、[デバイスとプリンター])ウィンドウを開きます。

2 プリンタのアイコンを右クリックして[プロパティ](Windows 7 は[プリンターのプロパティ]、Windows Vista は[プリンタのプロパティ])を選択し、プリンタのプロパティのウィンドウを開きます。

3 [ポート]タブをクリックし、[ポート]シートを表示します。

4 [ポートの追加]をクリックし、[プリンタポート]ダイアログボックスを開きます。

5 [利用可能なポートの種類]の一覧から[Standard TCP/IP Port]を選択します。

6 [新しいポート]をクリックします。
ウィザードが起動し、[標準 TCP/IP プリンタ ポートの追加ウィザードの開始]ウィンドウが表示されます。

7 [次へ]をクリックします。

8 [プリンタ名または IP アドレス]に、プリンタの IP アドレスを入力します。なお、DNS が設定されている場合は、DNS ドメイン名での入力もできます。

9 画面の指示に従ってプリンタポートを追加します。

10 [閉じる]をクリックし、[プリンタポート]ダイアログボックスを閉じます。

11 [印刷するポート]に追加したポートが表示され、チェックボックスがオンになっていることを確認します。

12 [閉じる]をクリックし、プリンタのプロパティのウィンドウを閉じます。

プリンタドライバの接続先を設定する(Mac OS X)

プリンタの IP アドレスを変更した場合や、プリンタを USB 接続からネットワーク接続に変更する場合などは、プリンタドライバの接続先を設定します。

- TCP/IP ネットワークに変更したり、プリンタの IP アドレスを変更する場合については、「TCP/IP ネットワークで接続先を設定する」を参照してください。→P.488
- Bonjour ネットワークに変更する場合は、「Bonjour ネットワークで接続先を設定する」を参照してください。→P.489

リモート UI でプリンタに TCP/IP ネットワークの設定をする

TCP/IP ネットワークは、以下の手順で設定します。

IPv4 の IP アドレスを使用する場合

1. Web ブラウザを起動し、[場所](または[アドレス])に以下の URL を入力し、リモート UI のページを表示します。
   http://[プリンタの IP アドレスまたは名前]/
   入力例: http://xxx.xxx.xxx.xxx/
2. [管理者モード]をクリックし、[ログオン]をクリックします。
3. プリンタにパスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。
4. 左側の[デバイス管理]の[ネットワーク]をクリックし、[ネットワーク]ページを表示します。
5. [TCP/IPv4]グループの右上にある[変更]をクリックし、[TCP/IP プロトコル設定の変更]ページを表示します。
6. TCP/IP の設定項目の表を参考に、各項目を設定します。

TCP/IP の設定項目

項目名	内容	初期値
[DHCP によるアドレス設定を行う]	オンにすると、DHCP を IP アドレスの設定に使用できます。	オフ
[BOOTP によるアドレス設定を行う]	オンにすると、BOOTP を IP アドレスの設定に使用できます。	オフ
[RARP によるアドレス設定を行う]	オンにすると、RARP を IP アドレスの設定に使用できます。	オフ
[DNS の動的更新を行う]	オンにすると、DNS サーバへの登録を自動的に更新できます。	オフ
[Zeroconf 機能を使用する]	オンにすると、Bonjour 機能を使用できます。	オン
[IP アドレス]	プリンタの IP アドレスを設定できます。	0.0.0.0
[サブネットマスク]	プリンタのサブネットマスクを設定できます。	0.0.0.0
[ゲートウェイアドレス]	プリンタのデフォルトゲートウェイを設定できます。	0.0.0.0
[LPD 印刷]	オンにすると、LPD 印刷機能を使用できます。	オン
[IPP 印刷]	オンにすると、IPP 印刷機能を使用できます。	オン
[IPP プリンタの URI]	IPP 印刷に使用するプリンタの URI(1〜252 文字)を設定できます。	printer
[RAW 印刷]	オンにすると、RAW 印刷機能を使用できます。	オン
[Raw モード双方向通信機能]	オンにすると、Raw モードでの双方向通信機能を使用できます。	オフ
[FTP 印刷]	オンにすると、FTP 印刷機能を使用できます。	オン
[Discovery を使用する]	オンにすると、SLP の Discover 機能を使用できます。	オン
[スコープ]	SLP の検索範囲を入力します。	default
[SMTP サーバアドレス]	SMTP サーバの IP アドレスを設定できます。 SMTP サーバのドメイン名も設定可能です。	0.0.0.0
[プライマリ DNS サーバアドレス]	プライマリ DNS サーバの IP アドレスを設定できます。	0.0.0.0
[セカンダリ DNS サーバアドレス]	セカンダリ DNS サーバの IP アドレスを設定できます。	0.0.0.0
[DNS ホスト名]	プリンタのホスト名(1〜63 文字)を設定できます。半角英数字および[-](ハイフン)で設定します。先頭に数字や[-]、最後に[-]は使用できません。	NB-18GBipxxxxxx
[DNS ドメイン名]	プリンタのドメイン名(0〜63 文字)を設定できます。半角英数字および[-](ハイフン)や[.](ピリオド)で設定します。先頭に数字や[-] [.]、最後に[-] [.]は使用できません。	(空欄)

項目名	内容	初期値
[Multicast DNS サービス名]	プリンタの Multicast DNS サービス名を設定できます。(1〜63 文字) この名前が Bonjour 機能でのプリンタ名として表示されます。	Canon iPFxxxx (xxxxxx)

7 [OK]をクリックし、[ネットワーク]ページを表示します。

メモ

- DHCP、BOOTP、または RARP を使用して IP アドレスを設定する場合は、ネットワーク内にそのプロトコルのサーバが起動されている必要があります。
- DHCP、BOOTP、または RARP を使用して IP アドレスを設定する場合は、いずれかのプロトコルで取得した IP アドレスが優先して使用されます。IP アドレスが取得できない場合は、[IP アドレス]に設定されているアドレスが使用されます。
- DHCP、BOOTP、または RARP が使用できるかどうかのチェックには最大 2 分程度かかります。使用しない項目のチェックボックスはオフにしておくことをお勧めします。
- DNS サーバを使用する場合は、[DNS の動的更新を行う]チェックボックスをオンにし、[プライマリ DNS サーバアドレス]、[セカンダリ DNS サーバアドレス]、[DNS ドメイン名]に、DNS サーバの IP アドレス、DNS ドメイン名を入力します。

IPv6 の IP アドレスを使用する場合

1 Web ブラウザを起動し、[場所](または[アドレス])に以下の URL を入力し、リモート UI のページを表示します。
http://[プリンタの IP アドレスまたは名前]/
入力例: http://xxx.xxx.xxx.xxx/

2 [管理者モード]をクリックし、[ログオン]をクリックします。

3 プリンタにパスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。

4 左側の[デバイス管理]の[ネットワーク]をクリックし、[ネットワーク]ページを表示します。

5 [TCP/IPv6]グループの右上にある[変更]をクリックし、[TCP/IPv6 プロトコル設定の変更]ページを表示します。

6 TCP/IPv6 の設定項目の表を参考に、各項目を設定します。

TCP/IPv6 の設定項目

項目名		内容	初期値
[IPv6 を使用する]		オンにすると、IPv6 を有効にします。	オフ
[DHCPv6 を使用する]		DHCPv6 サーバを使用して IP アドレスを取得する場合にオンにします。	オフ
[ステートレスアドレスを使用する]		IPv6 ルータを使用して IP アドレスを取得する場合にオンにします。	オン
[手動アドレスを使用する]		手動で IP アドレスを設定する場合にオンにします。	オフ
	[IP アドレス]	プリンタの IP アドレスを入力します。	::
	[プレフィックス長]	IP アドレスのプレフィックス長を入力します。	0
	[デフォルトルータアドレス]	デフォルトルータアドレスを入力します。	::
	[プレフィックス長]	デフォルトルータアドレスのプレフィックス長を 入力します。	0
[プライマリ DNS サーバアドレス]		プライマリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。	::
[セカンダリ DNS サーバアドレス]		セカンダリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。	::
[IPv4 と同じホスト名・ドメイン名を使用する]		IPv4 と同じ DNS ホスト名とドメイン名を使用する場合にオンにします。	オフ
	[DNS ホスト名]	プリンタのホスト名(1〜63 文字)を設定できます。半角英数字および[-](ハイフン)で設定します。先頭に数字や[-]、最後に[-]は使用できません。	NB-18GBip6xxxxxx

項目名		内容	初期値
	[DNS ドメイン名]	プリンタのドメイン名(0〜63 文字)を設定できます。半角英数字および[-](ハイフン)や[.](ピリオド)で設定します。先頭に数字や[-][.]、最後に[-] [.]は使用できません。	(空欄)
[ステートフルアドレスの動的更新を行う]		ステートフルアドレスを DNS サーバに自動的に登録する場合にオンにします。	オフ
[ステートレスアドレスの動的更新を行う]		ステートレスアドレスを DNS サーバに自動的に登録する場合にオンにします。	オフ
[手動アドレスの動的更新を行う]		手動アドレスを DNS サーバに自動的に登録する場合にオンにします。	オフ

7 [OK]をクリックし、[ネットワーク]ページを表示します。

メモ

- DNS サーバを使用する場合は、[DNS の動的更新を行う]チェックボックスをオンにし、[プライマリ DNS サーバアドレス]、[セカンダリ DNS サーバアドレス]、[DNS ドメイン名]に、DNS サーバの IP アドレス、DNS ドメイン名を入力します。

NetWare の設定

NetWare ネットワークを設定する 480
プリンタのフレームタイプを設定する 480
NetWare プリントサービスを設定する 483
リモート UI でプリンタに NetWare ネットワークの設定をする 485

NetWare ネットワークを設定する

NetWare ネットワークでプリンタを使用する場合は、以下の手順でネットワーク環境を設定します。

重要

- ネットワークの設定には[Administrator]アカウントに相当する管理者権限が必要です。ネットワークの設定は、ネットワーク管理者が行うことをお勧めします。

1 プリンタがコンピュータとの通信に使用する Ethernet のフレームタイプを設定します。
設定方法については、「プリンタのフレームタイプを設定する」を参照してください。→P.480

2 プリントサーバやプリントキューなどの NetWare のプリントサービスを設定します。
設定方法については、「NetWare プリントサービスを設定する」を参照してください。→P.483

3 フレームタイプ以外の NetWare プロトコルの詳細を設定します。
設定方法については、「リモート UI でプリンタに NetWare ネットワークの設定をする」を参照してください。→P.485
この手順までの設定が完了したら、NetWare ネットワークで印刷するための設定を、各コンピュータで行います。

4 NetWare ネットワークに接続します。
印刷を行うすべてのコンピュータに NetWare クライアントソフトをインストールし、NetWare サーバまたはツリーにログインします。接続する方法については、NetWare のマニュアルや OS のマニュアルを参照してください。

5 プリンタドライバをインストールします。
ネットワーク管理者の指示に従って、印刷を行うすべてのコンピュータにプリンタドライバをインストールします。インストールするときは、プリンタの接続先として[ネットワークプリンタ]を選択し、NetWare プリントサービスの設定で作成したプリントキューを選択します。

6 以下の手順でプリンタのポートを設定します。プリンタドライバのインストール中にプリンタの接続先を設定した場合は、この手順は必要ありません。

1. [プリンタと FAX](または[プリンタ]、[デバイスとプリンター])ウィンドウを開きます。
2. プリンタのアイコンを右クリックして[プロパティ](Windows 7 は[プリンターのプロパティ], Windows Vista は[プリンタのプロパティ])を選択し、プリンタのプロパティのウィンドウを開きます。
3. [ポート](または[詳細])タブをクリックし、[ポート](または[詳細])シートを表示します。
4. 印刷先のポートを NetWare プリントサービスの設定で作成したプリントキューに設定します。

プリンタのフレームタイプを設定する

ご使用の NetWare 環境に合わせて Ethernet のフレームタイプを設定し、プリンタとコンピュータが通信できるようにします。
プリンタのフレームタイプは、imagePROGRAF Device Setup Utility またはプリンタの操作パネルを使用し、以下の手順で設定します。

重要

- フレームタイプを設定する前に、プリンタの電源がオンになっていること、プリンタがネットワークに接続されていることを確認してください。

メモ

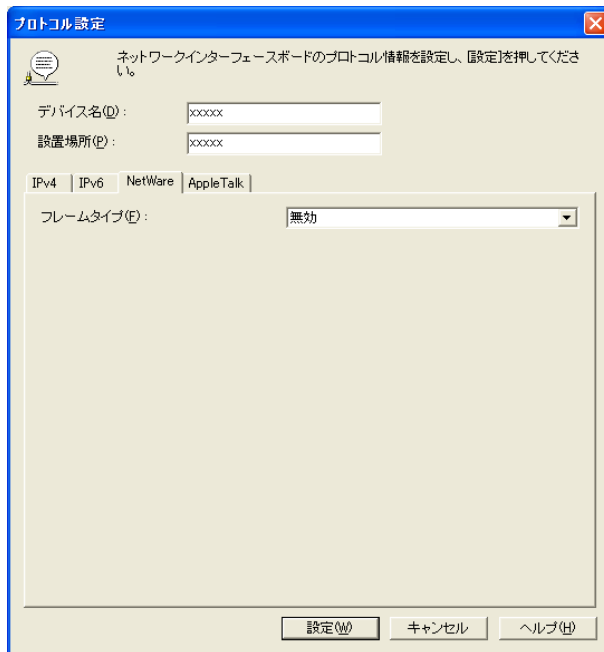
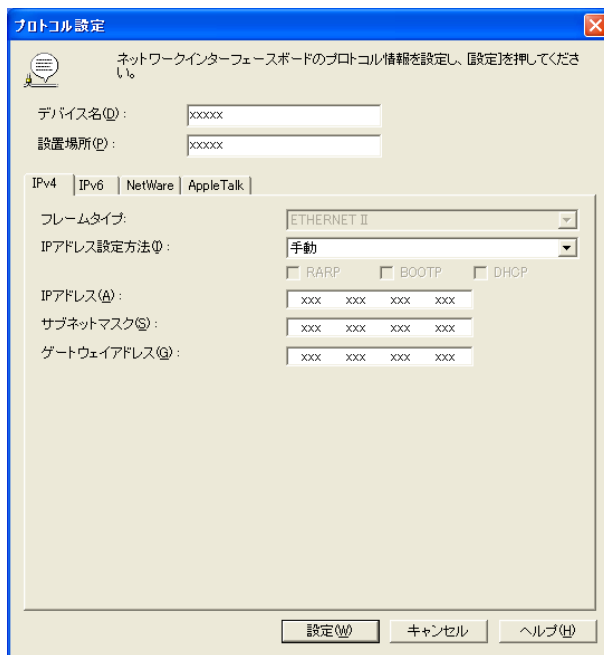
- プリンタに IP アドレスが設定されている場合は、リモート UI を使用してプリンタのフレームタイプを設定することができます。
- imagePROGRAF Device Setup Utility をインストールする方法については、「imagePROGRAF Device Setup Utility をインストールする」を参照してください。 →P.271

imagePROGRAF Device Setup Utility でフレームタイプを設定する

1 imagePROGRAF Device Setup Utility を起動します。

2 一覧に表示されるプリンタの名前から、設定するプリンタを選択します。

3 [プリンタ]メニューから[プロトコル設定]を選択します。

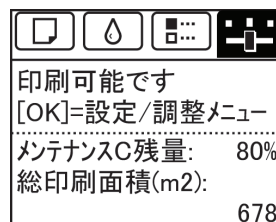
4 [NetWare]タブを選択し、[NetWare フレームタイプ]の一覧からフレームタイプを選択します。

5 [IPv4]タブを選択します。[IP アドレス]でプリンタに割り当てる IP アドレスを入力し、[サブネットマスク]でサブネットマスク、[ゲートウェイアドレス]でデフォルトゲートウェイを入力します。

重要
- リモート UI を使用して NetWare プロトコルを設定するため、ここで IP アドレスを設定しておく必要があります。

6 [設定]をクリックします。

7 [確認]メッセージダイアログボックスが表示されたら、[OK]をクリックします。

8 imagePROGRAF Device Setup Utility を終了します。

プリンタの操作パネルでフレームタイプを設定する

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ
- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[インタフェース設定]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[NetWare]を選択し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[NetWare]を選択し、[OK]キーを押します。

6 [▲]キー、[▼]キーを押して[使う]を選択し、[OK]キーを押します。
[NetWare]メニューに戻ります。

7 [▲]キー、[▼]キーを押して[フレームタイプ]を選択し、[OK]キーを押します。

8 [▲]キー、[▼]キーを押して使用するフレームタイプを選択し、[OK]キーを押します。
[NetWare]メニューに戻ります。

9 [▲]キー、[▼]キーを押して[プリント サービス]を選択し、[OK]キーを押します。

10 [▲]キー、[▼]キーを押して使用するプリントサービスを選択し、[OK]キーを押します。
[NetWare]メニューに戻ります。

11 [メニュー]キーを押します。
設定値を変更した場合は、確認のメッセージが表示されますので、[OK]キーを押します。

重要

- 必ず手順 11 の操作を行い、設定を登録してください。この操作により、入力値が有効となります。

メモ

- エラーが表示される場合は、各設定値を確認し、設定し直してください。
- 設定を中止する場合は、[ストップ]キーを押してください。

NetWare プリントサービスを設定する

NetWare ネットワークを使用して印刷するには、プリントサーバやプリントキューなどのプリントサービスを設定する必要があります。プリントサービスの設定は、以下のいずれかのソフトウェア(NetWare に付属の Novell 社製ソフトウェア)を使用してご使用のコンピュータから設定できます。

- NWADMIN
- PCONSOLE

重要

- NWADMIN からプリントサービスを設定するには、クライアントソフトとして Novell Client(Novell 社製の NetWare クライアント)がインストールされている必要があります。
- Windows Vista、Windows Server 2008 および Windows 7 では NetWare ネットワークは使用できません。

ここでは、NetWare プリントサービスを設定する手順を説明します。ご使用の環境によっては、設定手順が異なることがあります。

プリントサービスの種類を選択する

プリントサービスを設定する前に、以下の説明を参考に、使用するプリントサービスの種類を選択してください。

メモ

- NetWare 5.1/6.0 では、プリントサービスとして NDPS を使用することもできます。NDPS を使用するときは、ゲートウェイとして NetWare に付属の Novell プリンタゲートウェイを使用してください。NDPS の設定方法については、NetWare のマニュアルを参照してください。

- NDS(ノベルディレクトリサービス)とバインダリ
  NDS とバインダリの両方に対応しています。ご使用のネットワーク環境に合わせてモードを選択してください。
- キューサーバモードとリモートプリンタモード
  キューサーバモードとリモートプリンタモードの両方に対応しています。
  - キューサーバモード

キューサーバモードで使用する場合、プリントサーバの機能をすべて備えているため、プリントサーバ用のハードウェアやソフトウェアを用意する必要はありません。NDS のキューサーバモード（NDS PServer）では、NDS のプリントサーバを使用して印刷します。バインダリのキューサーバモード（Bindery PServer）では、バインダリのプリントサーバを使用して印刷します。また、キューサーバモードでは、使用するネットワークインタフェースごとに NetWare ユーザーライセンスが必要です。

- リモートプリンタモード
  リモートプリンタモードで使用する場合、NetWare プリントサーバによって制御されます。そのため、NetWare プリントサーバが必要です。NDS のリモートプリンタモード（NPrinter）では NDS のプリントサーバを使用して、バインダリのリモートプリンタモード（RPrinter）ではバインダリのプリントサーバを使用して印刷します。

NWADMIN、PCONSOLE でプリントサーバを設定する

NDS のキューサーバモード/リモートプリンタモードで使用する場合は、NWADMIN でプリントサーバを設定します。

1 NetWare に Admin または Admin と同等の権限を持つユーザーとしてログインし、NWADMIN を起動します。

2 クイックセットアップを実行します。

1. [ツール]メニューから[プリントサービスクイックセットアップ]を選択します。
2. [プリントサーバ名]に任意の名前の入力します。既存のプリントサーバを使用する場合は、右横のボタンをクリックし、一覧から選択します。
3. プリンタの[名前]に任意の名前を入力します。
4. キューサーバモードで使用する場合は、[タイプ]で[その他／不明]を選択します。リモートプリンタモードで使用する場合は、[タイプ]で[パラレル]を選択して[通信]をクリックし、[ポート]を[LPT1]に、[接続タイプ]を[手動ロード]に設定します。
5. プリントキューの[名前]に任意の名前を入力します。
6. [ボリューム]に、プリントキューを作成するボリュームオブジェクト（ネットワーク上の物理ボリュームを表すオブジェクト）を入力します。右横のボタンをクリックすると一覧から選択できます。
7. 他の項目を設定し、[OK]をクリックします。

メモ
- プリントサーバの名前は、プリンタのプロトコルを設定するときに必要です。メモしておいてください。
- クイックセットアップを実行すると、プリンタ番号 0 にプリンタが割り当てられます。キューサーバモードで使用する場合は、プリンタ番号を 0 から変更しないでください。

3 パスワードを設定します。

1. 手順 2 で作成したプリントサーバを選択し、右クリックして[詳細]を選択します。
2. [パスワード変更]をクリックしてパスワード入力ダイアログボックスを開き、パスワードを入力します。
3. [OK]をクリックし、パスワード入力ダイアログボックスを閉じます。
4. [OK]または[キャンセル]をクリックし、詳細ダイアログボックスを閉じます。

4 リモートプリンタモードで使用する場合は、プリントサーバを起動します。
例えば、NetWare ファイルサーバをプリントサーバとして使用する場合は、ファイルサーバで[LOAD PSERVER.NLM]を入力して < Enter > キーを押します。

メモ
- キューサーバモードで使用する場合は、この手順は必要ありません。

バインダリのキューサーバモードまたはリモートプリンタモードで使用する場合は、PCONSOLE でプリントサーバを設定します。

1 NetWare に Admin としてログインし、PCONSOLE を起動します。

2 バインダリモードに変更します。

3 プリントサーバを作成していない場合は、プリントサーバを作成します。

1. [利用可能な項目]から[クイックセットアップ]を選択し、< Enter >キーを押します。
2. 作成するプリントサーバの名前、新しいプリンタ、およびキューの名前を入力します。

メモ
- プリントサーバの名前は、プリンタのプロトコルを設定するときに必要です。メモしておいてください。

4 プリンタのタイプを設定します。

1. キューサーバモードで使用するときは、[タイプ]で[その他／不明]を選択します。リモートプリンタモードで使用するときは、[プリンタタイプ]で[パラレル]を選択し、[位置]を[手動ロード]に設定します。
2. < Esc >キーを押します。
3. 確認のダイアログボックスで、[Yes]を選択し、< Enter >キーを押します。

5 パスワードを設定します。

1. [利用可能な項目]から[プリントサーバ]を選択し、< Enter >キーを押します。
2. 手順 2 で作成したプリントサーバを選択し、< Enter >キーを押します。
3. [パスワード]を選択して< Enter >キーを押し、パスワードを入力する画面を開きます。
4. パスワードを入力し、< Enter >キーを押します。

6 < Esc >キーを数回押して PCONSOLE の終了を確認するダイアログボックスを表示します。

7 [Yes]を選択し、PCONSOLE を終了します。

リモート UI でプリンタに NetWare ネットワークの設定をする

フレームタイプ以外の NetWare プロトコルは、リモート UI を使用し、以下の手順で設定します。

メモ
- リモート UI については、「リモート UI を使う」を参照してください。 →P.471

1 Web ブラウザを起動し、[場所](または[アドレス])に以下の URL を入力し、リモート UI のページを表示します。
http://プリンタの IP アドレスまたは名前/
入力例: http://xxx.xxx.xxx.xxx/

2 [管理者モード]をクリックし、[ログオン]をクリックします。

3 プリンタにパスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。

4 左側の[デバイス管理]の[ネットワーク]をクリックし、[ネットワーク]ページを表示します。

5 [NetWare]グループの右上にある[変更]をクリックし、[NetWare プロトコル設定の変更]ページを表示します。

6 NetWare の設定項目の表を参考に、各項目を設定します。

NetWare の設定項目

項目名	内容	初期値
[フレームタイプ]	NetWare で使用するフレームタイプを選択できます。	無効
[NCP バーストモード]	オンにすると、NCP バーストモードを使用できます。	オン

<table>
<tr><th colspan="2">項目名</th><th>内容</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td colspan="2">[NCPバーストモード]</td><td>キューサーバモードで印刷する場合に、データを高速で転送するモードです。通常はオンのまま使用してください。</td><td>オン</td></tr>
<tr><td colspan="2">[プリントサービス]</td><td>使用するプリントサービスを選択できます。
ここで選択したプリントサービスが有効になります。同時に複数のプリントサービスを有効にすることはできません。
• [Bindery PServer]
• [RPrinter]
• [NDS PServer]
• [NPrinter]</td><td>NDS PServer</td></tr>
<tr><td colspan="2">[パケットサイン]</td><td>[サーバが要求した場合に使用する]を選択すると、パケットサインを使用できます。</td><td>[サーバが要求した場合に使用する]</td></tr>
<tr><td rowspan="4">[Bindery PServer]</td><td>[ファイルサーバ名]</td><td>NetWareプリントサーバがあるファイルサーバ名を設定できます。
(0～47文字)</td><td>—</td></tr>
<tr><td>[プリントサーバ名]</td><td>NetWareプリントサーバ名を設定できます。
(0～47文字)</td><td>—</td></tr>
<tr><td>[プリントサーバパスワード]</td><td>プリントサーバのパスワードを設定できます。
(0～20文字)</td><td>—</td></tr>
<tr><td>[ポーリング間隔]</td><td>ジョブを確認する間隔を設定できます。
(1～15秒)</td><td>5</td></tr>
<tr><td rowspan="2">[RPrinter]</td><td>[プリントサーバ名]</td><td>NetWareプリントサーバ名を設定できます。
(0～47文字)</td><td>—</td></tr>
<tr><td>[プリンタ番号]</td><td>NetWareプリントサーバに接続しているプリンタの番号を設定できます。
(0～15)</td><td>0</td></tr>
<tr><td rowspan="5">[NDS PServer]</td><td>[ツリー名]</td><td>NetWareプリントサーバがあるNDSツリー名を設定できます。
(0～32文字)</td><td>—</td></tr>
<tr><td>[コンテキスト名]</td><td>NetWareプリントサーバがあるコンテキスト名を設定できます。
(0～255文字)</td><td>—</td></tr>
<tr><td>[プリントサーバ名]</td><td>NetWareプリントサーバ名を設定できます。
(0～64文字)</td><td>—</td></tr>
<tr><td>[プリントサーバパスワード]</td><td>プリントサーバのパスワードを設定できます。
(0～20文字)</td><td>—</td></tr>
<tr><td>[ポーリング間隔]</td><td>ジョブを確認する間隔を設定できます。
(1～255秒)</td><td>5</td></tr>
<tr><td rowspan="2">[NPrinter]</td><td>[プリントサーバ名]</td><td>NetWareプリントサーバ名を設定できます。
(0～47文字)</td><td>—</td></tr>
<tr><td>[プリンタ番号]</td><td>NetWareプリントサーバに接続しているプリンタの番号を設定できます。
(0～254)</td><td>0</td></tr>
</table>

7 選択したサービスに応じて、以下の設定を行います。

- Bindery PServerを選択した場合:キューサーバモード(バインダリのプリントサーバを使用)

  1. [ファイルサーバ名]にファイルサーバ名を入力します。
  2. [プリントサーバ名]に「NetWareプリントサービスを設定する →P.483」で作成したプリントサーバ名を入力します。
  3. [プリントサーバパスワード]に「NetWareプリントサービスを設定する →P.483」で作成したプリントサーバパスワードを入力します。
  4. [ポーリング間隔]に、プリンタがNetWareプリントキューを確認する間隔を設定します。

- RPrinterを選択した場合:リモートプリンタモード(バインダリのプリントサーバを使用)

1. [プリントサーバ名]に「NetWare プリントサービスを設定する →P.483 」で作成したプリントサーバのアドバタイジング名を入力します。
2. [プリンタ番号]に「NetWare プリントサービスを設定する →P.483 」で設定したプリンタ番号と同じ番号を入力します。

- NDS PServer を選択した場合:キューサーバモード(NDS のプリントサーバを使用)

1. [ツリー名]、[コンテキスト名]にプリントサーバがあるツリー名、コンテキスト名を入力します。
2. [プリントサーバ名]に「NetWare プリントサービスを設定する →P.483 」で作成したプリントサーバ名を入力します。
3. [プリントサーバパスワード]に「NetWare プリントサービスを設定する →P.483 」で作成したプリントサーバパスワードを入力します。
4. [ポーリング間隔]に、プリンタが NetWare プリントキューを確認する間隔を設定します。

- NPrinter を選択した場合:リモートプリンタモード(NDS のプリントサーバを使用)

1. [プリントサーバ名]に「NetWare プリントサービスを設定する →P.483 」で作成したプリントサーバのアドバタイジング名を入力します。アドバタイジング名は、通常プリントサーバ名と同じ名前に設定されています。
2. [プリンタ番号]に「NetWare プリントサービスを設定する →P.483 」で設定したプリンタ番号と同じ番号を入力します。

8 [OK]をクリックし、[ネットワーク]ページを表示します。

Mac OS X の設定

TCP/IP ネットワークで接続先を設定する（Mac OS X） 488
Bonjour ネットワークで接続先を設定する（Mac OS X） 489
AppleTalk ネットワークで接続先を設定する（Mac OS X） 490
プリンタに AppleTalk ネットワークの設定をする 492

TCP/IP ネットワークで接続先を設定する

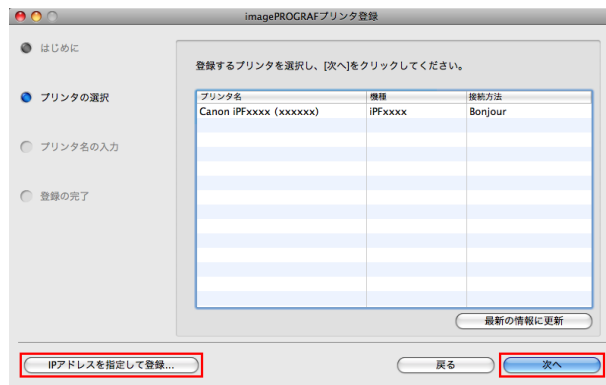
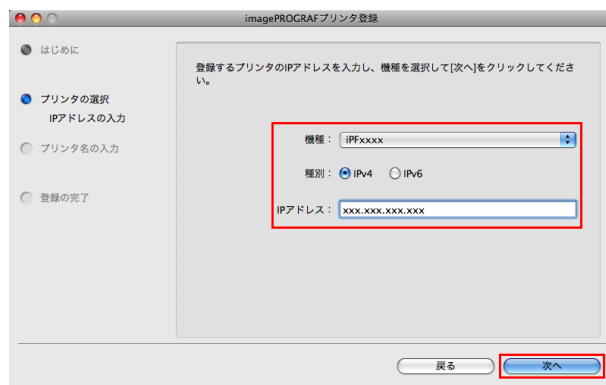
TCP/IP ネットワークでプリンタを使用する場合は、以下の手順で接続先を設定します。

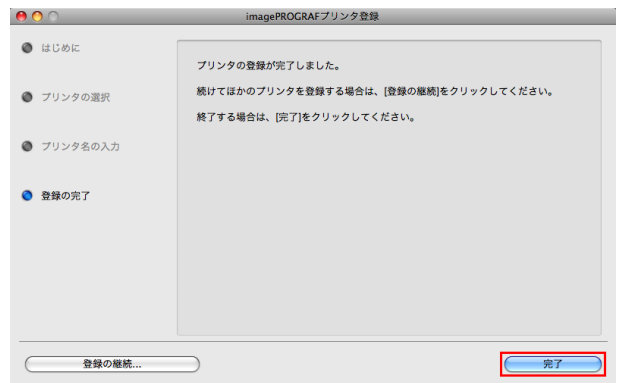
重要

- TCP/IP ネットワークでプリンタを使用する場合は、プリンタに IP アドレスが正しく設定されていることを確認してください。（「プリンタの操作パネルで IP アドレスを設定する」参照） →P.473

1 ［アプリケーション］フォルダ内の［Canon Utilities］-［imagePROGRAF PrinterSetup］フォルダにある［imagePROGRAF PrinterSetup.app］をダブルクリックします。

2 ［次へ］をクリックします。

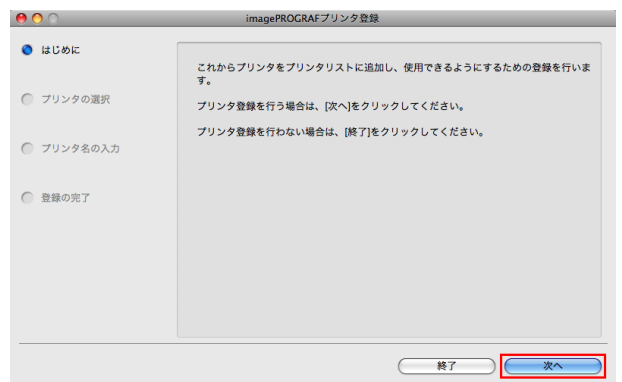
3 ［IP アドレスを指定して登録］をクリックします。

4 機種、種別を選択してから IP アドレスを入力し、［次へ］をクリックします。

5 [プリンタ名]、[場所]を任意で入力し、[登録]をクリックします。

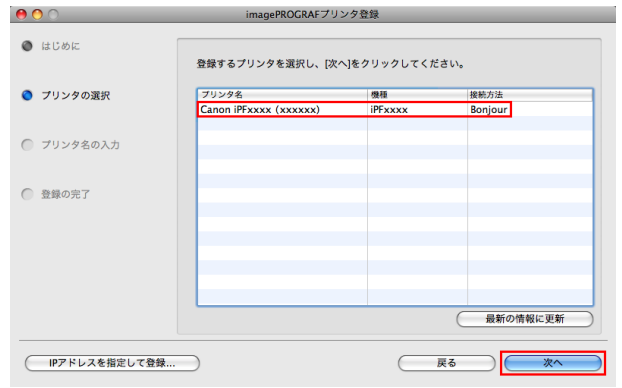
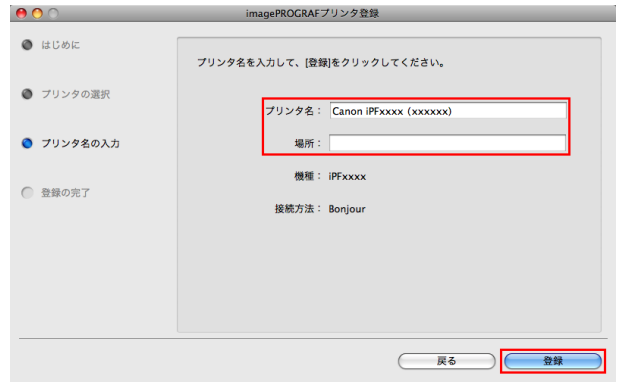
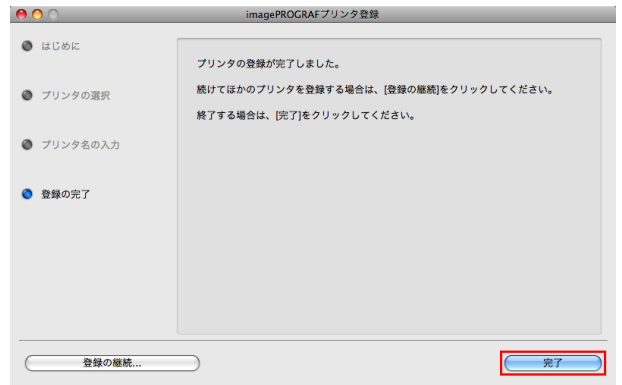
6 [完了]をクリックします。

Bonjour ネットワークで接続先を設定する

Bonjour 機能を使用したネットワークでプリンタを使用する場合は、以下の手順で接続先を設定します。

重要

- Bonjour 機能や[IP プリント(自動)]では、ルーターを経由した他のネットワークグループ上のプリンタで印刷することはできません。コンピュータとプリンタを同じネットワークグループに接続してください。ご使用のネットワークの設定については、ネットワーク管理者に確認してください。
- プリンタの Bonjour 機能は、あらかじめ有効になっています。Bonjour 機能の有効/無効やプリンタ名は、リモート UI を使用して変更できます。変更する方法については、「リモート UI を使う」を参照してください。 →P.471

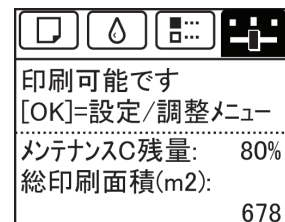
1 [アプリケーション]フォルダ内の[Canon Utilities]-[imagePROGRAF PrinterSetup]フォルダにある[imagePROGRAF PrinterSetup.app]をダブルクリックします。

2 [次へ]をクリックします。

3 登録するプリンタを選択し、[次へ]をクリックします。

4 [プリンタ名]、[場所]を任意で入力し、[登録]をクリックします。

5 [完了]をクリックします。

AppleTalk ネットワークで接続先を設定する

AppleTalk ネットワークでプリンタを使用する場合は、以下の手順で AppleTalk プロトコルを有効にし、接続先を設定します。

AppleTalk プロトコルを有効にする

重要

- 工場出荷時の状態では、プリンタの AppleTalk プロトコルは無効に設定されています。

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して （設定/調整タブ）を選択します。

ネットワークの設定
Mac OS X の設定

メモ
- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[インタフェース設定]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[AppleTalk]を選択し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[使う]を選択し、[OK]キーを押します。

6 [メニュー]キーを押します。
設定値を変更した場合は、確認のメッセージが表示されますので、[OK]キーを押します。

重要
- 必ず手順 6 の操作を行い、設定を登録してください。この操作により、入力値が有効となります。

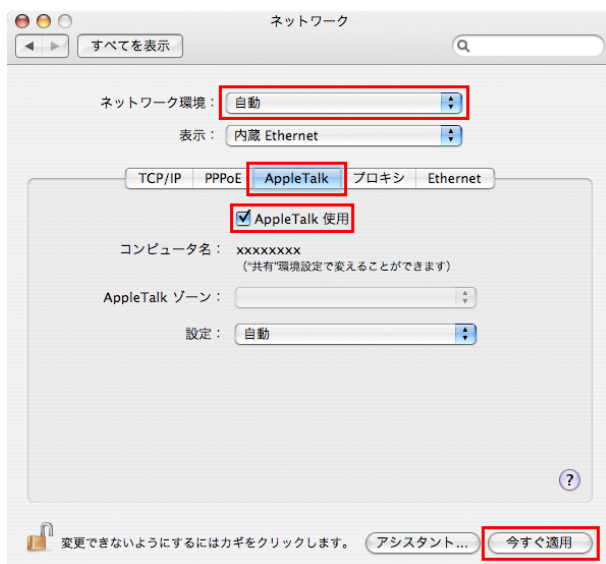
メモ
- リモート UI では、AppleTalk で使用するオブジェクト名やプリンタのゾーン名も設定できます。
リモート UI については、「リモート UI を使う」を参照してください。 →P.471

接続先を設定する（Mac OS X）

重要
- AppleTalk は Mac OS X v10.2.8～10.4 で対応しています。

メモ
- 以下の操作手順は、Mac OS X v10.4 のものです。接続先の設定方法は、Mac OS X のバージョンによって異なります。
- imagePROGRAF プリンタドライバは、AppleTalk には対応していません。

1 [システム環境設定]の[ネットワーク]をクリックし、[ネットワーク]ウィンドウを開きます。

2 ［表示］の一覧から［内蔵 Ethernet］を選択します。次に、［AppleTalk］をクリックし、［AppleTalk 使用］チェックボックスをオンにし、［今すぐ適用］をクリックします。

3 ［ネットワーク］ウィンドウを閉じ、設定を保存します。

プリンタに AppleTalk ネットワークの設定をする

AppleTalk ネットワークは、以下の手順で設定します。

1 Web ブラウザを起動し、［場所］（または［アドレス］）に以下の URL を入力し、リモート UI のページを表示します。
http://プリンタの IP アドレスまたは名前/
入力例: http://xxx.xxx.xxx.xxx/

2 ［管理者モード］をクリックし、［ログオン］をクリックします。

3 プリンタにパスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。

4 左側の［デバイス管理］の［ネットワーク］をクリックし、［ネットワーク］ページを表示します。

5 ［AppleTalk］グループの右上にある［変更］をクリックし、［AppleTalk プロトコル設定の変更］ページを表示します。

6 AppleTalk の設定項目の表を参考に、各項目を設定します。

AppleTalk の設定項目

項目名	内容	初期値
［フェーズタイプ］	AppleTalk の使用を設定できます。 AppleTalk を使用する場合は、［フェーズ 2］を選択します。 AppleTalk を使用しない場合は、［無効］を選択します。	無効
［名前］（*1）	AppleTalk で使用するオブジェクト名（半角 1〜31 文字、全角 1〜15 文字）を設定できます。 半角の@、*、:、=は使用できません。	Canon NB-18GB（xxxxxx）
［ゾーン］（*2）	プリンタのゾーン名（半角 1〜31 文字）を設定できます。 @、:、=は使用できません。また、デフォルトゾーンを示す［*］1 文字のみの設定を除き、文字列中の*は使用できません。	*

*1: ［名前］に設定したオブジェクト名が、Mac OS X 10.2.8〜10.4 の［プリンタ設定ユーティリティ］（または［プリントセンター］）に表示されます。プリンタが同じゾーン内に複数ある場合は、それぞれ固有の名前を付けてください。初期値は、ネットワークインタフェース名［Canon NB-18GB（xxxxxx）］です。（xxxxxx はプリンタの MAC アドレスの下 6 桁）

2: ネットワーク上にゾーンが設定されている場合は、プリンタが属するゾーン名を入力します。ゾーンが設定されていない場合は、［］（デフォルトゾーン）のままで使用してください。ネットワーク上に設定されていないゾーン名を入力すると、Macintosh のコンピュータから認識されなくなります。ゾーン名については、ネットワーク管理者に確認してください。

7 [OK]をクリックし、[ネットワーク]ページを表示します。

その他の設定

プリンタの情報を設定する 494
通信方式を手動で設定する 495
印刷の終了やエラーの発生を電子メールで通知する 496
ネットワークの設定を初期化する 496

プリンタの情報を設定する

デバイス情報、セキュリティ、および電子メール通知は、以下の手順で設定します。
[電子メール通知]は[ステータスモニタ]からも設定できます。詳細は[ステータスモニタ]のヘルプを参照してください。

1. Web ブラウザを起動し、[場所](または[アドレス])に以下の URL を入力し、リモート UI のページを表示します。
   http://プリンタの IP アドレスまたは名前/
   入力例: http://xxx.xxx.xxx.xxx/
2. [管理者モード]をクリックし、[ログオン]をクリックします。
3. プリンタにパスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。
4. 左側の[デバイス管理]の[情報]をクリックし、[情報]ページを表示します。
5. 設定する情報に応じて、[デバイス情報]、[セキュリティ]、または[電子メール通知]のグループの右上にある[変更]をクリックし、それぞれの設定ページを表示します。
   管理者パスワードを変更する場合は、[セキュリティ]の[パスワード変更]ボタンをクリックします。
6. デバイス情報の設定項目、セキュリティの設定項目、または電子メール通知の設定項目の表を参考に、各項目を設定します。
   セキュリティの設定項目は、[セキュリティ]の[パスワード変更]ボタンをクリックすると表示されます。

デバイス情報の設定項目

項目名	内容	初期値
[デバイス名]	デバイスの名前を設定できます。 (0〜32 文字)	(空欄)
[設置場所]	デバイスの設置場所を設定できます。 (0〜32 文字)	(空欄)
[管理者名]	デバイス管理者の名前を設定できます。 (0〜32 文字)	(空欄)
[管理者連絡先]	デバイス管理者の連絡先を設定できます。 (0〜32 文字)	(空欄)
[管理者コメント]	デバイス管理者のコメントを設定できます。 (0〜32 文字)	(空欄)

セキュリティの設定項目

項目名	内容	初期値
[新しいパスワード]	新しいパスワードを入力します。 (0〜9999999)	(空欄)
[確認入力]	確認のために、新しいパスワードを入力します。 (0〜9999999)	(空欄)

*1: [セキュリティ]の設定画面では、デバイスのパスワード以外にも、IP アドレスによる SNMP･TCP の使用制限、MAC アドレスによるアクセスの制限、IPP の認証設定、FTP 認証設定をする事が出来ます。

電子メール通知の設定項目

項目名	内容	初期値
[再送回数]	メールの送信に失敗したときの最大再送回数を設定できます。 (0〜5 回)	0

項目名		内容	初期値
[再送間隔]		メールの送信に失敗したときの再送までの時間を設定できます。 (1〜60 分)	5
[From アドレス]		メールの発信元を設定できます。 (0〜128 文字)	(空欄)
電子メール通知(条件 1)(*1)	[To アドレス]	送信するメールの宛先を設定できます。 (0〜128 文字) 128 文字の範囲内であれば、カンマで区切って複数の宛先を設定できます。	(空欄)
	[Reply-to アドレス]	送信するメールの返信アドレスを設定できます。 (0〜128 文字)	(空欄)
	[通知のタイミング]	メールを送信する条件を、以下のチェックボックスのオン/オフで設定できます。 [ジョブ終了時] [警告発生時] [エラー発生時]	すべてオフ
	[署名]	メールの署名を設定できます。 (0〜128 文字)	(空欄)
電子メール通知(条件 2)(*1)	(条件 1 と同じ)	(条件 1 と同じ)	(条件 1 と同じ)

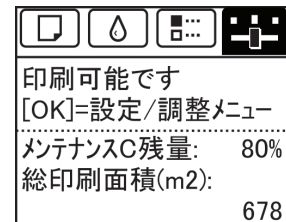
*1: 電子メールを通知する条件は、宛先、返信アドレス、通知タイミング、および署名の組み合わせを、2 組まで設定することができます。

[電子メール通知]を有効にするためには[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス]、[SMTP サーバアドレス]、[DNS ドメイン名]が設定されている必要があります。

7 [OK]をクリックし、設定を有効にします。

通信方式を手動で設定する

ここでは、通信方式を手動で設定する手順を説明します。

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[インタフェース設定]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[Ethernet ドライバ]を選択し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[自動検出]を選択し、[OK]キーを押します。

6 [▲]キー、[▼]キーを押して[オフ]を選択し、[OK]キーを押します。
[Ethernet ドライバ]メニューに戻ります。

7 [▲]キー、[▼]キーを押して[通信方式]を選択し、[OK]キーを押します。

8 [▲]キー、[▼]キーを押して通信方式の種類を選択し、[OK]キーを押します。
[Ethernet ドライバ]メニューに戻ります。

9 [▲]キー、[▼]キーを押して[Ethernet 種類]を選択し、[OK]キーを押します。

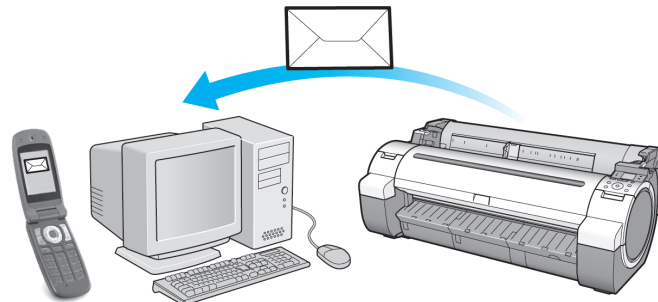
10 [▲]キー、[▼]キーを押して Ethernet の種類を選択し、[OK]キーを押します。
[Ethernet ドライバ]メニューに戻ります。

11 [▲]キー、[▼]キーを押して[スパニングツリー]を選択し、[OK]キーを押します。

12 [▲]キー、[▼]キーを押してスパニングツリーへの対応を選択し、[OK]キーを押します。
[Ethernet ドライバ]メニューに戻ります。

13 [メニュー]キーを押します。
確認のメッセージが表示されますので、[OK]キーを押します。
プリンタが再起動し、設定が適用されます。

印刷の終了やエラーの発生を電子メールで通知する

このプリンタには、プリンタの状態を電子メールで通知する機能があります。プリンタから離れていても、プリンタからの電子メールを携帯電話や自席のコンピュータで受信し、印刷の終了やエラーの発生を知ることができます。

電子メールの宛先や電子メールを送信するタイミングは、リモート UI 機能または imagePROGRAF Status Monitor（Windows）を使用して設定します。印刷ジョブの終了やエラーの発生以外に、サービスコールや消耗品の交換が必要な場合に電子メールを送信するように設定することもできます。詳しい操作方法については「プリンタの情報を設定する」を参照してください。 →P.494

メモ

- imagePROGRAF Status Monitor（Windows）の電子メール通知機能については、imagePROGRAF Status Monitor のヘルプを参照してください。
- メールサーバ上での認証には、imagePROGRAF Status Monitor のみ対応しています。

ネットワークの設定を初期化する

ネットワークの設定を工場出荷時の状態に戻すには、リモート UI を使用し、以下の手順で設定を初期化します。

重要

- ネットワークの設定を初期化すると、プリンタの IP アドレスも工場出荷時の値に戻るため、リモート UI のページは Web ブラウザに表示されなくなります。
- IP アドレスの設定をやり直す方法については、「プリンタに IP アドレスを設定する」を参照してください。 →P.473
- リモート UI については、「リモート UI を使う」を参照してください。 →P.471

1. Web ブラウザを起動し、[場所](または[アドレス])に以下の URL を入力し、リモート UI のページを表示します。
   http://プリンタの IP アドレスまたは名前/
   入力例: http://xxx.xxx.xxx.xxx/

2. [管理者モード]をクリックし、[ログオン]をクリックします。

3. プリンタにパスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。

4. 左側の[デバイス管理]の[ネットワーク]をクリックし、[ネットワーク]ページを表示します。

5. [ネットワークインタフェース]グループの右下にある[プリンタの初期化]をクリックします。

6. メッセージを確認して[OK]をクリックし、ネットワークの設定を初期化します。

メモ

- ネットワークの設定の初期化は、imagePROGRAF Device Setup Utility またはプリンタの操作パネルから行うこともできます。

プリントヘッドの調整

プリントヘッドを調整する 500
縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する(ヘッド位置調整) 500
縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する(ヘッド位置調整) 501
罫線のずれを調整する(ヘッド傾き調整) 503
用紙のこすれや画像のぼやけを改善する(ヘッド高さ) 505

プリントヘッドを調整する

印刷物に以下のような現象が発生した場合は、プリントヘッドを調整します。

- 印刷がかすれたり、色味の違うスジが入る場合
  [ノズルチェック プリント]を実行し、プリントヘッドのノズルがつまっていないかを確認します。
  確認方法については、「ノズルのつまりをチェックする」を参照してください。→P.523
- 印刷した縦線がゆがむ場合や、色ずれが起きた場合
  [ヘッド位置調整]を実行し、プリントヘッドの位置を調整します。
  通常は、[自動(標準)]または[自動(詳細)]を実行してください。ただし、特殊な用紙や、[自動(詳細)]を実行しても改善されない場合は、[手動]を実行してください。
  (「縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する(ヘッド位置調整)」参照) →P.500
  (「縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する(ヘッド位置調整)」参照) →P.501
- 印刷したときに罫線がずれる場合
  [ヘッド傾き調整]を実行し、プリントヘッドの傾きを調整します。
  微妙な罫線のずれを調整することができます。
  (「罫線のずれを調整する(ヘッド傾き調整)」参照) →P.503
- プリントヘッドが用紙にこすれる場合や、画像の端部がぼやける場合
  [ヘッド高さ]を実行し、プリントヘッドの高さを変更すると、改善されることがあります。
  (「用紙のこすれや画像のぼやけを改善する(ヘッド高さ)」参照) →P.505

縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する(ヘッド位置調整)

印刷物の縦線がゆがむ場合や、色ずれが起きた場合は、[ヘッド位置調整]を実行し、プリントヘッドの位置を調整します。
プリントヘッドの位置を自動で調整する方法には、[自動(標準)]と[自動(詳細)]があります。
微小なゆがみや色ずれなど、ほとんどの場合は[自動(標準)]を実行すると改善されますが、改善されない場合は[自動(詳細)]を行ってください。
[自動(標準)]または[自動(詳細)]を実行すると、調整用パターンが印刷され、印刷結果からプリントヘッドの位置が自動的に調整されます。

- プリンタにセットした用紙とプリンタに設定した用紙種類は必ず合わせてください。セットした用紙と用紙種類の設定値が違う場合は、正しく調整されません。
- トレーシングペーパー(CAD)、半透明マットフィルム(CAD)および、クリアフィルム(CAD)は使用できません。
  透過性の高いフィルム系などの用紙や、特殊な用紙で思ったように調整できない場合は、他の用紙で調整するか、[手動]を実行してください。
  (「縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する(ヘッド位置調整)」参照) →P.501

画質の調整と改善
プリントヘッドの調整

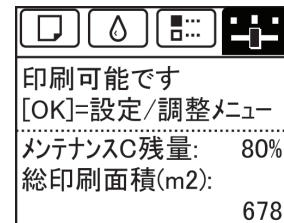
- 特殊な用紙に印刷する場合や、[自動(詳細)]を実行しても印刷結果が改善されない場合は、[手動]を実行してください。(「縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する(ヘッド位置調整)」参照) →P.501
- 用紙を他の種類に変更したときや各色の境界をよりきれいにしたい場合は、[自動(標準)]を行ってください。
- 画質を鮮明にしたい場合やプリントヘッドを交換したときは、ノズル間や色間の位置を詳細に調整する[自動(詳細)]を行ってください。高画質で印刷するために、[自動(詳細)]を実行することをおすすめします。
- 使用頻度が最も高い用紙で調整することをお勧めします。

用意するもの

ロール紙	未使用の 10 インチサイズ以上の用紙
カット紙	[自動(標準)]: 未使用の A4/レターサイズ以上の用紙 1 枚 [自動(詳細)]: 未使用の A4/レターサイズ以上の用紙 5 枚(ただし、A2 サイズ以上の場合は 1 枚)

以下の手順で調整します。

1. 用紙をセットします。
   - ロール紙にロールホルダーをセットする →P.393
   - ロール紙をプリンタにセットする →P.395
   - カット紙をプリンタにセットする →P.413

2. 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

3. [OK]キーを押します。
   [設定/調整メニュー]が表示されます。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して[印字調整]を選択し、[OK]キーを押します。

5. [▲]キー、[▼]キーを押して[ヘッド位置調整]を選択し、[OK]キーを押します。

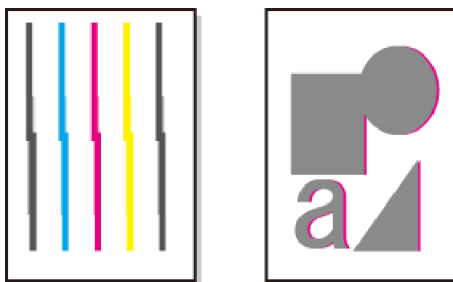
6. [▲]キー、[▼]キーを押して[自動(標準)]または[自動(詳細)]を選択し、[OK]キーを押します。
   調整用パターンが印刷されます。
   ロール紙または A2 サイズ以上のカット紙に印刷した場合は、ここで調整は終了します。

7. [自動(詳細)]で A2 サイズより小さい用紙に印刷した場合は、ディスプレイに印刷の続行を確認するメッセージが表示されます。[OK]キーを押して、ディスプレイの指示に従って操作を続けてください。

縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する(ヘッド位置調整)

印刷した縦線がゆがむ場合や、色ずれが起きた場合は、[ヘッド位置調整]を実行し、プリントヘッドの位置を調整します。
通常は、[自動(標準)]または[自動(詳細)]を実行してください。
(「縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する(ヘッド位置調整)」参照) →P.500
ただし、特殊な用紙に印刷する場合や、[自動(詳細)]を実行しても印刷結果が改善されない場合は、[手動]を実行してください。

[手動]を実行すると、調整用パターンが印刷されますので、印刷結果を見て設定値を入力してください。

メモ

- [手動]がメニューに表示されているのに選択できない場合があります。
  この場合は、一度[自動(詳細)]を実行してください
- プリンタにセットした用紙とプリンタに設定した用紙種類は必ず合わせてください。セットした用紙と用紙種類の設定値が違う場合は、正しく調整されません。
- 使用頻度が最も高い用紙で調整することをお勧めします。

用意するもの

ロール紙	未使用の 10 インチサイズ以上の用紙
カット紙	未使用の A4/レターサイズ以上の用紙 1 枚

以下の手順で調整します。

1 用紙をセットします。

- ロール紙にロールホルダーをセットする →P.393
- ロール紙をプリンタにセットする →P.395
- カット紙をプリンタにセットする →P.413

2 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

3 [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[印字調整]を選択し、[OK]キーを押します。

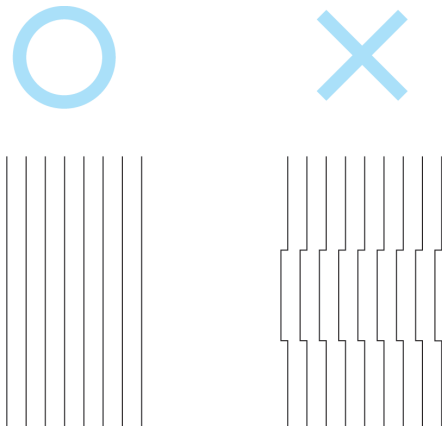
5 [▲]キー、[▼]キーを押して[ヘッド位置調整]を選択し、[OK]キーを押します。

6 [▲]キー、[▼]キーを押して[手動]を選択し、[OK]キーを押します。
調整用パターンが印刷されます。

7 [▲]キー、[▼]キーを押して[D]を選択し、[OK]キーを押します。

8 [▲]キー、[▼]キーを押して[D-1]を選択し、[OK]キーを押します。

9 調整用パターンの[D-1]を見て、線がまっすぐの番号を確認します。

メモ

- 並んだ 2 つのパターンを見て、どちらを選択するか迷った場合は、中間の値を選択してください。
  例えば、番号が 10 と 12 のパターンで迷った場合は、11 を選択します。

10 [▲]キー、[▼]キーを押して、確認した番号を選択し、[OK]キーを押します。

11 手順 8〜10 を繰り返し、[D-2]〜[D-5]、[D-7]〜[D-11]を設定します。

12 [戻る]キーを押します。

13 [▲]キー、[▼]キーを押して[設定登録]を選択し、[OK]キーを押します。

14 [▲]キー、[▼]キーを押して[する]を選択し、[OK]キーを押します。
調整値が登録され、調整が終了します。

罫線のずれを調整する(ヘッド傾き調整)

印刷物の罫線がずれる場合は、[ヘッド傾き調整]を実行し、プリントヘッドの傾きを調整します。[ヘッド傾き調整]を実行すると、調整用パターンが印刷されますので、印刷結果を基に設定値を入力してください。

用意するもの

ロール紙	未使用の 10 インチサイズ以上の用紙
カット紙	未使用の A4/レターサイズ以上の用紙 1 枚

以下の手順で調整します。

1 用紙をセットします。

- ロール紙にロールホルダーをセットする →P.393
- ロール紙をプリンタにセットする →P.395
- カット紙をプリンタにセットする →P.413

メモ

- 用紙をセットするときに、用紙の種類を正しく設定してください。用紙の種類が設定されていない場合、正しい調整結果が得られず、印刷品質が低下する場合があります。
- 使用頻度が最も高い用紙をセットすることをお勧めします。

2 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

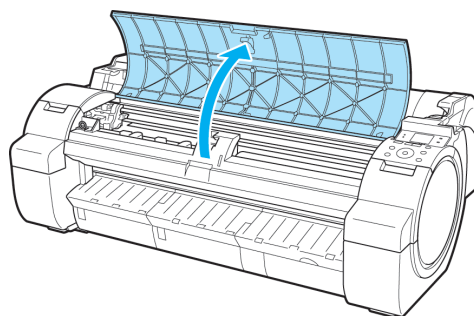
メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

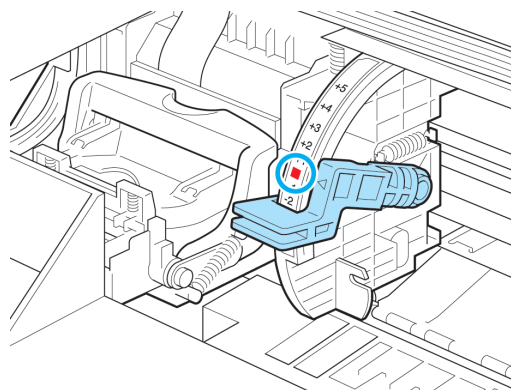
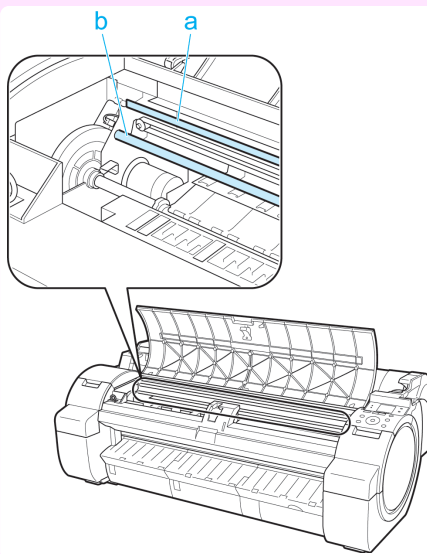
3 [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

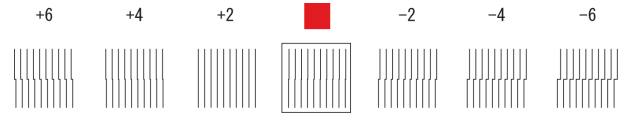
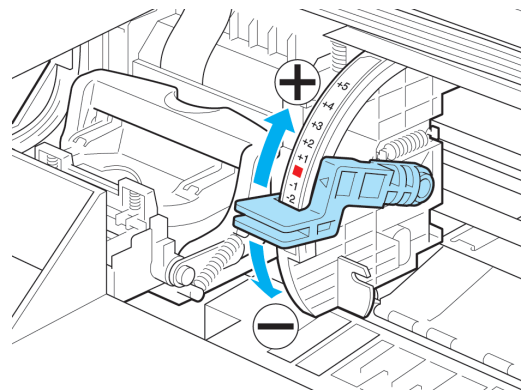
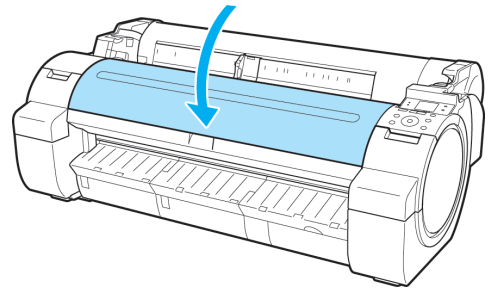
4 [▲]キー、[▼]キーを押して[印字調整]を選択し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[ヘッド傾き調整]を選択し、[OK]キーを押します。
キャリッジが移動し、上カバーを開くメッセージが表示されます。

6 上カバーを開きます。

7 スラント調整レバーを赤い四角の位置に合わせ、上カバーを閉じます。

調整用パターンが印刷されます。

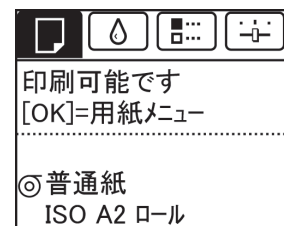
重要

- リニアスケール(a)、キャリッジシャフト(b)には触れないでください。触れると故障の原因になります。

- キャリッジの位置を動かすと、警告音が鳴ります。この場合は、上カバーを閉じてください。

8 印刷された調整パターンを見て、線がまっすぐのチャートを確認します。

9 上カバーを開き、線がまっすぐのチャートの数字または四角にスラント調整レバーを合わせます。
線がまっすぐのチャートがない場合は、線のズレが最も少ない2つのチャートの数字または四角の中間にスラント調整レバーを合わせます。

10 上カバーを閉じます。
プリントヘッドの傾きが調整され、調整が終了します。

用紙のこすれや画像のぼやけを改善する(ヘッド高さ)

印刷したときにプリントヘッドが用紙にこすれる場合は、プリントヘッドの高さを変更すると、改善されることがあります。
また、画像の端部がぼやける場合は、プリントヘッドの高さを低くすると、改善されることがあります。

メモ

- プリントヘッドの高さは、症状に応じて設定してください。
  (「プリントヘッドが用紙にこすれる」参照) →P.560
  (「用紙の端が汚れる」参照) →P.561
  (「画像の端部がぼやけたり、白スジが入る」参照) →P.564

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (用紙タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[用紙メニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙詳細設定]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して用紙の種類を選択し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[ヘッド高さ]を選択し、[OK]キーを押します。

6 [▲]キー、[▼]キーを押して設定値を選択し、[OK]キーを押します。

メモ

- 用紙の種類によっては、選択できない設定値があります。

用紙送りの調整

用紙の送り量を調整する 507
用紙の送り量の調整方法を選択する(紙送り調整) 507
横スジを自動で調整する(画質調整) 508
横スジを手動で調整する(画質調整) 509
用紙の送り量を微調整する(紙送り微調整) 511
罫線の長さを調整する(長さ調整) 511
用紙の吸着力を変更する(吸着力) 513

用紙の送り量を調整する

印刷物に以下のような現象が発生した場合は、用紙の送り量を調整します。

- 印刷物に色味の違うスジが入る
- 用紙送り方向に印刷された罫線の長さが正確でない

用紙の送り量を調整する場合は、以下の順に設定してください。

1. 現象に応じて、用紙の種類に対する[優先設定]の設定を変更します。
(「用紙の送り量の調整方法を選択する(紙送り調整)」参照) →P.507

2. [優先設定]の設定に応じて、[画質調整]または[長さ調整]を実行します。
(「横スジを自動で調整する(画質調整)」参照) →P.508
(「横スジを手動で調整する(画質調整)」参照) →P.509
(「罫線の長さを調整する(長さ調整)」参照) →P.511

3. [画質調整]を実行した後に、さらに微調整が必要な場合は、[紙送り微調整]を実行します。
(「用紙の送り量を微調整する(紙送り微調整)」参照) →P.511

用紙の送り量の調整方法を選択する(紙送り調整)

用紙の送り方向への調整方法は、[優先設定]で設定されています。
[優先設定]の設定は、印刷目的に応じて変更してください。

- [画質優先]: 印刷物の横スジを目立たなくするように調整します。
[画質調整]の設定が適用されます。[紙送り微調整]を実行した場合は、[画質調整]の設定に加えて[紙送り微調整]の設定も適用されます。
- [長さ優先]: 印刷物の罫線の長さを合わせるように調整します。
[長さ調整]の[A:きれい]または[B:標準/速い]の設定が適用されます。
- [自動]: 印刷時にプリンタドライバで選択された[優先画質]により、[画質優先]または[長さ優先]が選択されます。
[写真・イラスト]または[オフィス文書]: [画質優先]が選択されます。
[線画・文字]: [長さ優先]が選択されます。

メモ

- [長さ調整]メニューの[A:きれい]、[B:標準/速い]は、印刷時のプリンタドライバの設定によりいずれかが適用されます。
- プリンタドライバで[目的設定モード]を選択した場合は、以下の手順で[優先画質]を確認してください。
  - Windows : [基本設定]タブで[設定確認]をクリックし、[設定確認]ダイアログボックスを開いてください。
  - Mac OS X : [基本設定]パネルで[設定確認]をクリックし、[設定確認]ダイアログボックスを開いてください。

以下の手順で設定します。

1. 用紙をセットします。
   - ロール紙にロールホルダーをセットする →P.393
   - ロール紙をプリンタにセットする →P.395
   - カット紙をプリンタにセットする →P.413

2 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ
- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

3 [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[印字調整]を選択し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[紙送り調整]を選択し、[OK]キーを押します。

6 [▲]キー、[▼]キーを押して[優先設定]を選択し、[OK]キーを押します。

7 [▲]キー、[▼]キーを押して[自動]、[画質優先]または[長さ優先]を選択し、[OK]キーを押します。

横スジを自動で調整する(画質調整)

印刷物に色味の違う横スジが入る場合は、[画質調整]を実行し、用紙の送り量を調整します。
横スジを自動調整する方法には、[自動(純正紙)]と[自動(その他)]があり、調整パターンが印刷され、印刷結果をもとに用紙の送り量が自動的に調整されます。

- [自動(純正紙)]
用紙リファレンスガイドに記載されている用紙を使用する場合に実行します。
(「用紙の種類」参照) →P.388
- [自動(その他)]
用紙リファレンスガイドに記載されていない用紙を使用する場合や、[自動(純正紙)]を実行しても横スジが改善されない場合に実行します。
(「用紙の種類」参照) →P.388

メモ
- [自動(純正紙)]および[自動(その他)]を実行する前に、必ず[優先設定]の設定値を確認してください。
(「用紙の送り量の調整方法を選択する(紙送り調整)」参照) →P.507
- 透過性の高い用紙などは、[自動(純正紙)]および[自動(その他)]で調整できません。
この場合は、[手動]を実行してください。
(「横スジを手動で調整する(画質調整)」参照) →P.509
- [自動(純正紙)]および[自動(その他)]を実行後、さらに微調整が必要な場合は、[紙送り微調整]を実行してください。
(「用紙の送り量を微調整する(紙送り微調整)」参照) →P.511
- CAD 図の罫線の長さを正確に印刷したい場合は、[長さ調整]を実行してください。
(「罫線の長さを調整する(長さ調整)」参照) →P.511
- 用紙の種類によっては、時間がかかる場合があります。
- 調整に使用する用紙の種類とサイズは、実際の印刷に使用する用紙と同じにしてください。

用意するもの

ロール紙	未使用の 10 インチサイズ以上の用紙
カット紙	[自動(純正紙)]: 未使用の A4/レターサイズ以上の用紙 1 枚 [自動(その他)]: 未使用の A4/レターサイズ以上の用紙 2 枚(ただし、A2 サイズ以上の場合は 1 枚)

以下の手順で調整します。

1 用紙をセットします。

- ロール紙にロールホルダーをセットする →P.393

- ロール紙をプリンタにセットする →P.395
- カット紙をプリンタにセットする →P.413

メモ
- プリンタにセットした用紙と用紙種類の設定は必ず合わせてください。セットした用紙と用紙種類の設定値が違う場合は、正しく調整されません。

2 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ
- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

3 [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[印字調整]を選択し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[紙送り調整]を選択し、[OK]キーを押します。

6 [▲]キー、[▼]キーを押して[画質調整]を選択し、[OK]キーを押します。

7 [▲]キー、[▼]キーを押して[自動(純正紙)]または[自動(その他)]を選択し、[OK]キーを押します。
調整用パターンが印刷されます。
ロール紙または A2 サイズ以上のカット紙に印刷した場合は、ここで調整は終了します。

8 [自動(その他)]で A2 サイズより小さい用紙に印刷した場合は、ディスプレイに印刷の続行を確認するメッセージが表示されます。
[OK]キーを押して、ディスプレイの指示に従って操作を続けてください。

横スジを手動で調整する(画質調整)

印刷物に色味の違うスジが入る場合は、[画質調整]を実行し、用紙の送り量を調整します。
[手動]は、透過性の高い用紙など、[自動(純正紙)]または[自動(その他)]で調整できない用紙に対して実行します。(「横スジを自動で調整する(画質調整)」参照) →P.508
[手動]を実行すると、調整用パターンが印刷されますので、印刷結果をもとに設定値を入力してください。

メモ
- [手動]を実行する前に、必ず[優先設定]の設定値を確認してください。
(「用紙の送り量の調整方法を選択する(紙送り調整)」参照) →P.507
- [手動]を実行後、さらに微調整が必要な場合は、[紙送り微調整]を実行してください。
(「用紙の送り量を微調整する(紙送り微調整)」参照) →P.511
- CAD 図の罫線の長さを正確に印刷したい場合は、[長さ調整]を実行してください。
(「罫線の長さを調整する(長さ調整)」参照) →P.511
- 調整に使用する用紙の種類とサイズは、実際の印刷に使用する用紙と同じにしてください。

用意するもの

ロール紙	未使用の 10 インチサイズ以上の用紙
カット紙	未使用の A4/レターサイズ以上の用紙 2 枚

以下の手順で調整します。

1 用紙をセットします。

- ロール紙にロールホルダーをセットする →P.393

- ロール紙をプリンタにセットする →P.395
- カット紙をプリンタにセットする →P.413

- プリンタにセットした用紙と用紙種類の設定は必ず合わせてください。セットした用紙と用紙種類の設定値が違う場合は、正しく調整されません。

2 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して　(設定/調整タブ)を選択します。

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

3 [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[印字調整]を選択し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[紙送り調整]を選択し、[OK]キーを押します。

6 [▲]キー、[▼]キーを押して[画質調整]を選択し、[OK]キーを押します。

7 [▲]キー、[▼]キーを押して[手動]を選択し、[OK]キーを押します。
調整用パターン A が印刷されます。

- カット紙に印刷した場合は、ディスプレイの指示に従ってカット紙を取り外してください。

8 調整用パターン A を見て、横スジが最も目立たないパターンの番号を確認します。

- 並んだ 2 つのパターンを見て、どちらを選択するか迷った場合は、中間の値を選択してください。
例えば、番号が 10 と 12 のパターンで迷った場合は、11 を選択します。

9 [▲]キー、[▼]キーを押して、確認した番号を選択し、[OK]キーを押します。
調整用パターン B が印刷されます。

- 調整用パターン A をカット紙に印刷した場合は、ディスプレイの指示に従って同じ種類のカット紙を取り付けてください。
また、調整用パターン B の印刷後は、ディスプレイの指示に従ってカット紙を取り外してください。

10 調整用パターン B を見て、横スジが最も目立たないパターンの番号を確認します。

11 [▲]キー、[▼]キーを押して、確認した番号を選択し、[OK]キーを押します。
調整値が登録され、調整が終了します。

用紙の送り量を微調整する(紙送り微調整)

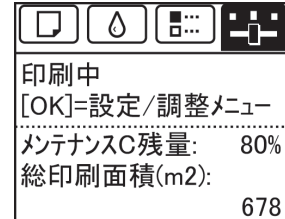
印刷物に 50mm 程度の周期的な濃淡差が発生した場合、または色味の違うスジが入る場合は、印刷中に[紙送り微調整]を実行し、用紙の送り量を微調整します。

メモ

- [紙送り微調整]を実行する前に、必ず[画質調整]を実行しておいてください。
  [画質調整]を実行すると、[紙送り微調整]の設定値は 0 に戻ります。
  (「横スジを自動で調整する(画質調整)」参照) →P.508
  (「横スジを手動で調整する(画質調整)」参照) →P.509

以下の手順で調整します。

1 印刷中に、操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[紙送り微調整]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して-5～+5 の範囲で設定値を選択し、[OK]キーを押します。
設定が有効になります。

罫線の長さを調整する(長さ調整)

CAD 図の罫線の長さを正確に印刷したい場合は、[長さ調整]を実行し、用紙の送り量を調整します。
[長さ調整]には[調整プリント]と[調整値の変更]があります。

- [調整プリント]
  調整用パターンが印刷されますので、印刷結果をもとに誤差を測定します。
- [調整値の変更]
  調整用パターンが印刷されませんので、あらかじめ印刷物を測定し、誤差を測定しておいてください。

また、[調整プリント]と[調整値の変更]には、それぞれ[A:きれい]と[B:標準/速い]がありますので、印刷目的に応じて選択してください。

- [A:きれい]
  印刷時にプリンタドライバの[印刷品質]で[最高]または[きれい]が選択された場合に設定が適用されます。
- [B:標準/速い]
  印刷時にプリンタドライバの[印刷品質]で[標準]または[速い]が選択された場合に設定が適用されます。

メモ

- [長さ調整]を実行する前に、必ず[優先設定]の設定値を確認してください。(「用紙の送り量の調整方法を選択する(紙送り調整)」参照) →P.507
- 調整に使用する用紙の種類とサイズは、実際の印刷に使用する用紙と同じにしてください。

用意するもの

ロール紙を使用する場合	• 未使用の 10 インチサイズ以上の用紙 • 精度の高いものさし
カット紙を使用する場合	• 未使用の A4/レターサイズ以上の用紙 1 枚 • 精度の高いものさし

以下の手順で調整します。

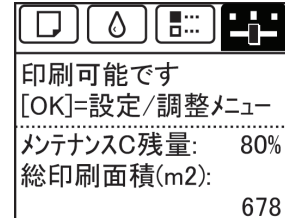
1 用紙をセットします。

- ロール紙にロールホルダーをセットする →P.393
- ロール紙をプリンタにセットする →P.395
- カット紙をプリンタにセットする →P.413

重要

- プリンタにセットした用紙と用紙種類の設定は必ず合わせてください。セットした用紙と用紙種類の設定値が違う場合は、正しく調整されません。

2 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

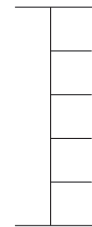
3 [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[印字調整]を選択し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[紙送り調整]を選択し、[OK]キーを押します。

6 [▲]キー、[▼]キーを押して[長さ調整]を選択し、[OK]キーを押します。

7 [▲]キー、[▼]キーを押して[調整プリント]または[調整値の変更]を選択し、[OK]キーを押します。
[調整プリント]を選択した場合は、調整用パターンが印刷されますので、スケールを測定し、誤差を計算します。[Millimeter]には 50 mm 間隔、[Inch]には 1 インチ間隔のスケールが印刷されます。

メモ

- 調整用パターンは、[A:きれい]を選択した場合は黒で、[B:標準/速い]を選択した場合はマゼンタでそれぞれ印刷されます。
- 調整用パターンの印刷を中止する場合は、[ストップ]キーを押します。[印刷を中止しますか?]と表示されたら、[▲]キー、[▼]キーを押して[はい]を選択し、[OK]キーを押します。

8 [▲]キー、[▼]キーを押して誤差を入力し、[OK]キーを押します。
スケールが実際の長さより短かった場合は+側に、長かった場合は-側に設定します。
設定値は、0.02%ごとに変更できます。

用紙の吸着力を変更する(吸着力)

厚い用紙や、カールしたり波打ちが起こりやすい用紙に印刷したときに、プリントヘッドが用紙にこすれる場合は、プラテン上での用紙の吸着力を変更すると、改善されることがあります。

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (用紙タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[用紙メニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙詳細設定]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して用紙の種類を選択し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[吸着力]を選択し、[OK]キーを押します。

6 [▲]キー、[▼]キーを押して設定値を選択し、[OK]キーを押します。

インクタンク

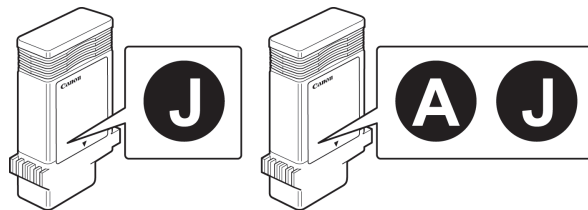
インクタンク 516
インクタンクを交換する 516
インクタンクの残量を確認する 521

インクタンクの交換時期について 521

インクタンク

インクタンクをご購入の際は、以下のインクタンクの型番とラベルに[J]が記載されていることをご確認ください。

- 各色 130ml
    - BK インクタンク PFI-102BK
    - MBK インクタンク PFI-102MBK
    - C インクタンク PFI-102C
    - M インクタンク PFI-104M
    - Y インクタンク PFI-102Y

メモ

- インクタンクの交換方法については、「インクタンクを交換する」を参照してください。 →P.516
- キヤノンでは対象製品毎に製品安全データシート(MSDS)を用意しており、ホームページ上 → http://canon.jp/ecology で公開しています。MSDS とは Material Safety Data Sheet の略で、日本語では製品安全データシートと呼ばれています。化学製品を安全かつ適切に取扱っていただくために、製品に含まれる物質名やその危険有害性情報、取扱い上の注意、環境への影響などに関する情報を記載した資料です。

インクタンクを交換する

対応しているインクタンク

このプリンタで使用できるインクタンクの側面には、黒丸に白い文字で[J]と書かれたラベルが付いています。
インクタンクを購入するときに、同じラベルのインクタンクを指定します。
詳細については、「インクタンク」を参照してください。 →P.516

インクタンクの取り扱い上の注意

インクタンクを取り扱うときは、以下の点に注意してください。

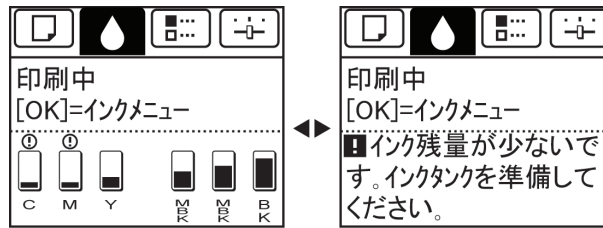
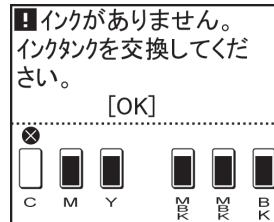
注意

- 安全のため、インクタンクはお子様の手の届かない場所に保管してください。
- 誤ってインクをなめたり飲んだりした場合は、すぐに医師にご相談ください。
- 取り外したインクタンクのインク供給部には、インクが付着している場合があります。インクタンクの取り扱いには十分ご注意ください。インクが衣服などに付くと落ちない場合があります。

重要

- 本製品で一度使用したインクタンクを、他の機種のプリンタに使用しないでください。
インクの残量が正しく検知されず、プリンタに損傷･異常が発生することがあります。
- インクタンクは、開封後、半年以内に使い切ることをお勧めします。時間の経過したインクタンクを使用すると、印刷品質が低下する場合があります。
- プリンタは、長期間(1 か月以上)、インクタンクを取り外した状態にしないでください。プリンタに残ったインクがつまり、印刷不良の原因になります。

インクタンクが交換可能であることを確認する

ディスプレイにインクタンクの残量確認や交換を指示するメッセージなどが表示されているときに、インクタンクを交換できます。

インクタンクの交換を指示するメッセージが表示されている場合は、[OK]キーを押します。この場合は、[インクタンク交換のメニューを選択する]の操作は不要です。[インクタンクを取り外す]に進んでください。

重要

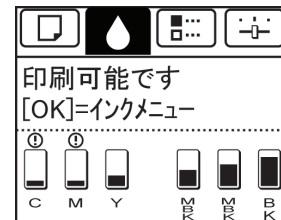
- 電源をオンにした直後のプリンタの初期化中、ヘッドクリーニング中は、インクタンクを取り外さないでください。

メモ

- インクタンクは、印刷中、印刷ジョブのキャンセル中、用紙の給紙中も交換できます。

インクタンク交換のメニューを選択する

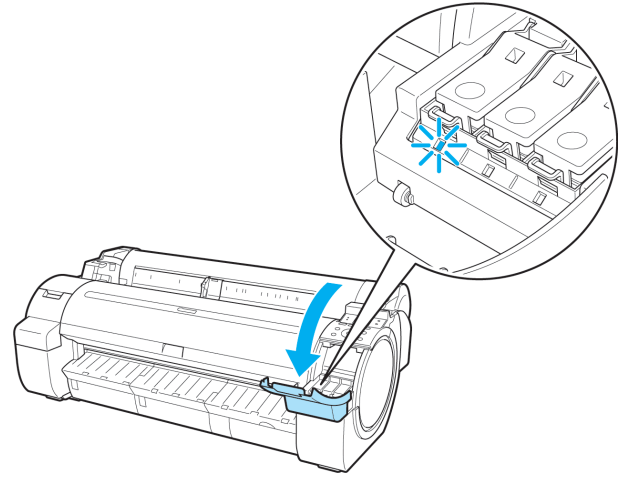
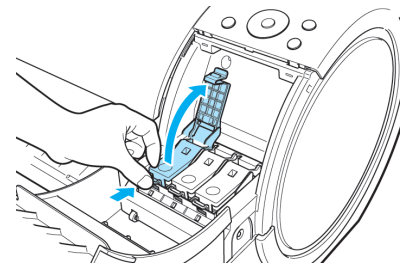
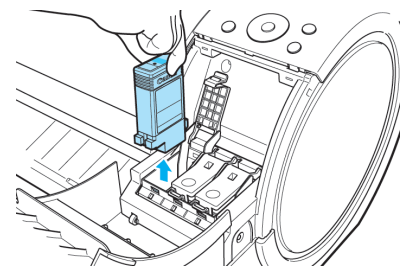
1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (インクタブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

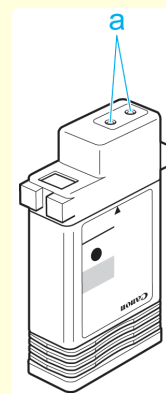
2 [OK]キーを押します。
[インクメニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[インクタンク交換]を選択し、[OK]キーを押します。
ディスプレイにインクタンクカバーを開けるメッセージが表示されます。引き続き、インクタンクを取り外します。

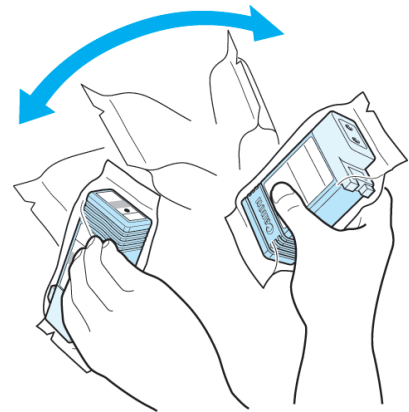
インクタンクを取り外す

1 インクタンクカバーを開き、インクランプを確認します。
インクが少なくなると、インクランプが点滅します。

2 交換する色のインクタンク固定レバーの先端を水平に押しながら、インクタンク固定レバーを上に開きます。

3 つまみ部を持ってインクタンクを取り出し、[OK]キーを押します。

注意

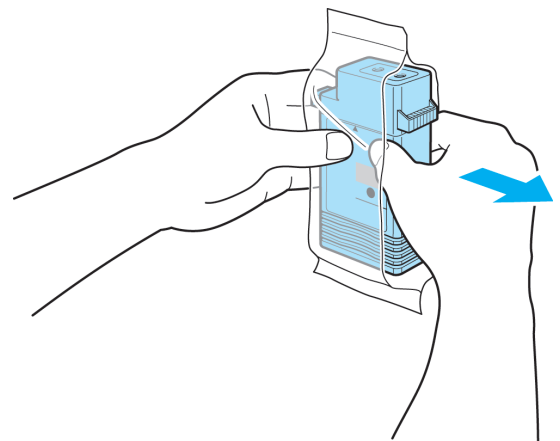
- 取り出したインクタンクにインクが残っているときは、インク供給部(a)を上にして保管してください。インクが漏れて周辺が汚れる場合があります。取り出したインクタンクは、ビニール袋に入れて口を閉じてください。

メモ

- キヤノンでは、資源の再利用のために、使用済みのインクタンクの回収を推進しています。回収窓口につきましては、下記のキヤノンのホームページ上で確認いただけます。
  キヤノンサポートページ → http://canon.jp/support
  事情により、回収窓口にお持ちになれない場合は、使用済みのインクタンクをビニール袋などに入れ、地域の条例に従い処分してください。
- キヤノンでは、使用済みのインクタンク回収を通じてベルマーク運動に参加しています。ベルマーク参加校単位で使用済みのインクタンクを回収していただき、その回収数量に応じた点数をキヤノンより提供するシステムです。この活動を通じ、環境保全と資源の有効活用、さらに教育支援を行うものです。詳細につきましては、下記のキヤノンホームページ上でご案内しています。
  環境への取り組み → http://canon.jp/ecology

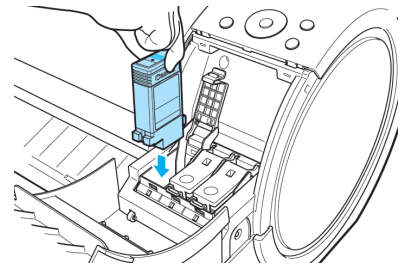
インクタンクをセットする

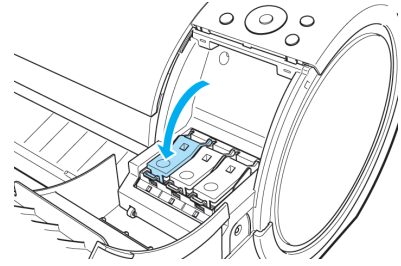
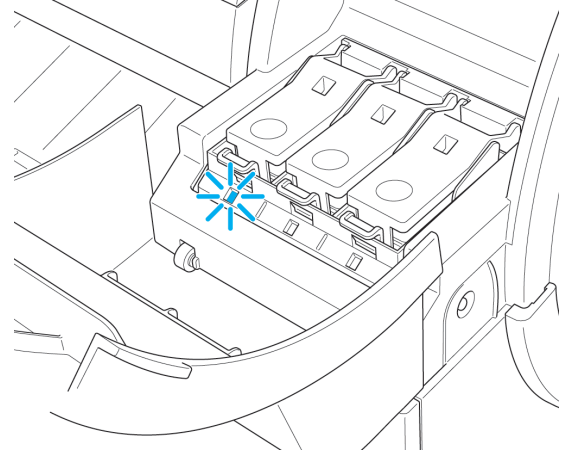
1 袋を開封する前に、新しいインクタンクをゆっくりと 1〜2 回振ります。インクタンクの上下が逆さまになるように、ゆっくり回転させせながらインクタンクを振ります。

注意
- 一度プリンタにセットしたインクタンクは、取り外して振らないでください。インクが飛び散る場合があります。

重要
- インクタンクを振らないと、インクの成分が沈殿し、印刷品質が低下する場合があります。

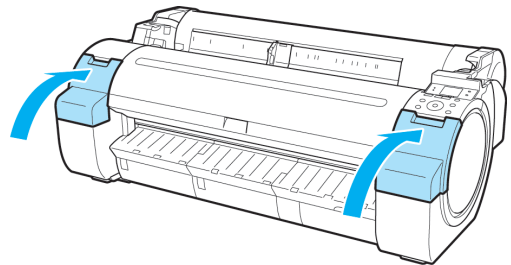
2 袋を開封し、インクタンクを取り出します。

注意
- インク供給部や端子部には、絶対に触れないでください。周辺の汚損、インクタンクの破損、または印刷不良の原因になります。

3 [OK]キーを押し、インク供給部を下側、図の向きにしてインクタンクをホルダーにセットします。

重要

- セットする色と向きが違うと、インクタンクはホルダーにセットできません。
  インクタンクをホルダーにセットできない場合は、無理に入れずに、インクタンク固定レバーに貼ってあるラベルの色表示とインクタンクの色、インクタンクの向きを確認してセットし直してください。

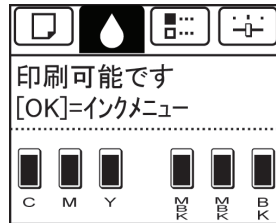
4 インクタンク固定レバーを、カチッと音がするまで閉じます。

5 インクランプが赤く点灯していることを確認します。

メモ

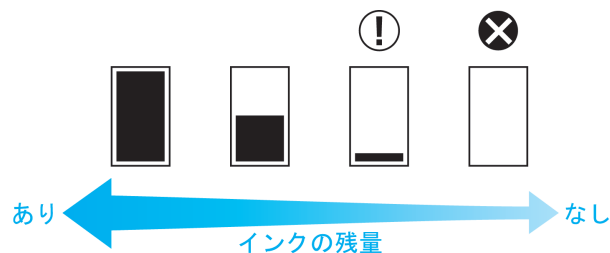
- インクランプが点灯しない場合は、セットし直してください。

6 インクタンクカバーを閉じます。

インクタンクの残量を確認する

インクタンクのインクの残量は、ディスプレイで確認できます。

インクタンクの残り容量を確認する場合は、操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して （インクタブ）を選択します。

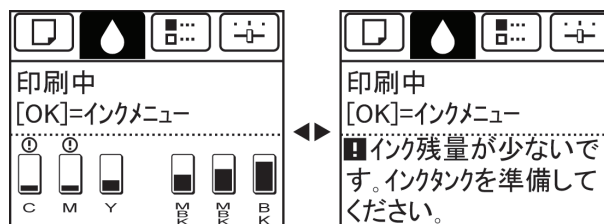
メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。
- エラーが発生し、[タブ選択画面]が表示できない場合は、以下の手順で[インクの情報]を表示してください。
  1. [OK]キーを押して[プリンタの情報]を表示します。
  2. [▲]キー、[▼]キーを押して[インクの情報]を選択します。
  3. [OK]キーを押します。

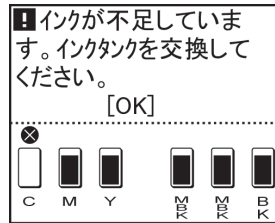
ディスプレイに表示されるインクの残量は、ディスプレイ下部の色ラベルに対応しています。
インクが不足している場合は[!]、インクがない場合は[×]、インク残量検知機能が無効の場合は[?]がインクの残量の上に表示されます。
インクの残量の割合は、以下の図のように表示されます。

ディスプレイにインクタンクの交換を指示するメッセージが表示されたら、インクタンクを交換してください。また、インクの残量確認を指示するメッセージが表示された場合や、インクを大量に消費する長尺印刷、ヘッドクリーニングなどの場合は、残量を確認し、必要に応じてインクタンクを交換してください。(「インクタンクを交換する」参照) →P.516

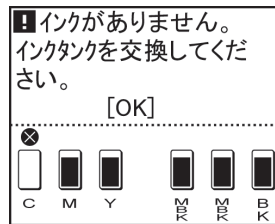
インクタンクの交換時期について

以下の場合、インクタンクを準備または交換してください。

ディスプレイにインク確認のメッセージが表示された場合

インクの残量が少なくなると、[メッセージランプ]が点灯し、ディスプレイに[インク残量が少なくなりました。]と表示されます。印刷は継続されますが、インクタンクを準備してください。(「インクタンクの残量を確認する」参照) →P.521

インクを大量に消費する印刷やメンテナンスを実行する場合

インクの残量が少なくなると、インクを大量に消費する、長尺印刷、ヘッドクリーニング、メンテナンスなどを十分に実行できない場合があります。その場合は、インクタンクを準備または交換してからメンテナンスを実行してください。

ディスプレイにインク交換のメッセージが表示された場合

インクがなくなると、[メッセージランプ]が点滅し、ディスプレイにインクタンク交換のメッセージが表示され、印刷できません。インクタンクを交換してください。

プリントヘッド

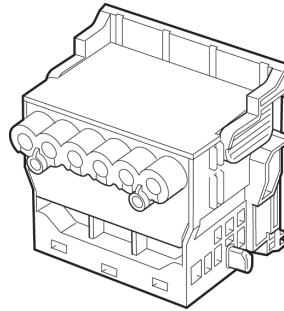
プリントヘッド 523

ノズルのつまりをチェックする 523
プリントヘッドをクリーニングする 524
プリントヘッドを交換する 525

プリントヘッド

このプリンタの交換用プリントヘッドです。

- プリントヘッド PF-04

メモ

- プリントヘッドの交換方法については、「プリントヘッドを交換する」を参照してください。 →P.525

ノズルのつまりをチェックする

印刷がかすれたり、色味の違うスジが入る場合は、ノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドの各ノズルがつまっていないかを確認します。

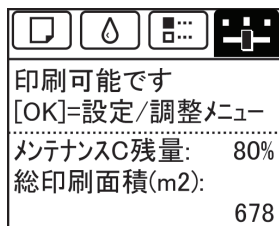
メモ

- ノズルのつまりは、一定の間隔でチェックされています。ノズルのチェックについては、操作パネルのメニューで[ノズルチェック設定]を設定してください。(「メニューの設定値」参照) →P.443

1 未使用の用紙をセットします。

- ロール紙にロールホルダーをセットする →P.393
- ロール紙をプリンタにセットする →P.395
- カット紙をプリンタにセットする →P.413

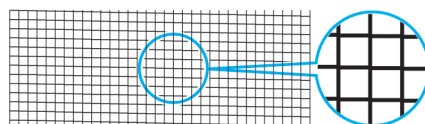
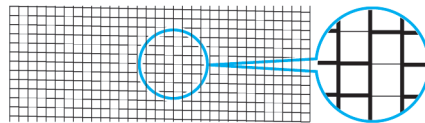
2 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

3 [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[テストプリント]を選択し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[ノズルチェック プリント]を選択し、[OK]キーを押します。
ノズルチェックパターンが印刷されます。

6 印刷結果を確認します。
横線がかすれていない、横線が抜けていない場合は、ノズルは正常です。

横線がかすれていたり抜けている場合は、その色のノズルがつまっています。

横線がかすれていたり抜けている場合は、以下の手順でノズルのつまりを再度チェックしてください。

1. プリントヘッドのクリーニングを実行します。(「プリントヘッドをクリーニングする」参照) →P.524
2. ノズルチェックパターンを印刷します。

メモ
- 上記の操作を何回か繰り返しても横線がかすれていたり抜けている場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

プリントヘッドをクリーニングする

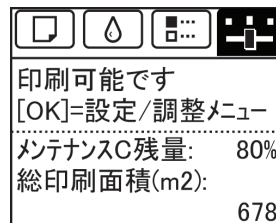
印刷がかすれる場合は、プリントヘッドをクリーニングすると改善される場合があります。
プリントヘッドをクリーニングする方法には、[ヘッドクリーニング A]と[ヘッドクリーニング B]の 2 つの方法がありますので、症状によりいずれかを実行してください。

- [ヘッドクリーニング A]
印刷がかすれた場合や、印刷物にごみが付いた場合などに実行します。インクの消費が少ないクリーニング方法です。
所要時間は約 3 分 30 秒です。
- [ヘッドクリーニング B]
インクがまったく出ない場合や、[ヘッドクリーニング A]を実行しても改善されない場合に実行します。
所要時間は約 4 分です。

注意
- [ヘッドクリーニング A]および[ヘッドクリーニング B]の実行中は、メンテナンスカートリッジやインクタンクを取り外さないでください。

メモ
- [ヘッドクリーニング B]を実行しても改善されない場合は、[ヘッドクリーニング B]を 1~2 回繰り返してください。それでも改善されない場合は、プリントヘッドの寿命の可能性がありますので、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- ノズルのつまりは、一定の間隔でチェックされています。ノズルのチェックについて、操作パネルのメニューで[ノズルチェック設定]を設定してください。(「メニューの設定値」参照) →P.443

以下の手順でクリーニングします。

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ
- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[メンテナンス]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[ヘッドクリーニング]を選択し、[OK]キーを押します。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[ヘッドクリーニング A]または[ヘッドクリーニング B]を選択し、[OK]キーを押します。
ヘッドクリーニングが実行されます。

6 ノズルチェックパターンを印刷して、ノズルのつまりが改善されているかどうかを確認します。(「ノズルのつまりをチェックする」参照) →P.523

プリントヘッドを交換する

プリントヘッドの交換時期について

以下の場合に、プリントヘッドを交換してください。

- プリンタのメニューで[ヘッドクリーニング B]を 1〜2 回実行しても印刷品質が改善されない場合
- ディスプレイに[上カバーを開けて、プリントヘッドを交換してください。]と表示された場合
- キヤノンお客様相談センターでプリントヘッドの交換を指示された場合

対応しているプリントヘッド

プリンタに対応しているプリントヘッドについては、「プリントヘッド」を参照してください。 →P.523

プリントヘッド取り扱いの注意

プリントヘッドを取り扱うときは、以下の点に注意してください。

注意

- 安全のため、プリントヘッドはお子様の手の届かない場所に保管してください。
- 誤ってインクをなめたり飲んだりした場合は、すぐに医師にご相談ください。
- 印刷直後は、プリントヘッドに触れないでください。プリントヘッドが高温になっていて、やけどする場合があります。

重要

- 取り外したプリントヘッドのノズルには、インクが付着している場合があります。プリントヘッドの取り扱いには十分ご注意ください。インクが衣服などに付くと落ちない場合があります。
- プリントヘッドの袋は、プリンタに取り付ける直前まで開封しないでください。また、袋から取り出したプリントヘッドは、すぐにプリンタに取り付けてください。開封したまま放置すると、プリントヘッドのノズルが乾いて、印刷品質が低下する場合があります。

プリントヘッド交換のメニューを選択する

注意

- 印刷直後にプリントヘッドを交換する場合は、数分間待ってから作業してください。印刷直後は、プリントヘッドの金属部分が熱くなっているので、触れるとやけどする場合があります。

メモ

- インクの残量が少ない場合は、新しいインクタンクを準備してください。
- プリントヘッドの交換では、手が汚れる場合があります。交換時は、プリントヘッドの箱に同梱されている手袋を装着してください。

1 ロール紙のカット方法の設定により、印刷物が排紙されていない場合は、カットして取り除きます。(「印刷後にロール紙をカットする」参照) →P.149

2 上カバー内部を清掃します。(「上カバー内部を清掃する」参照) →P.537

3 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

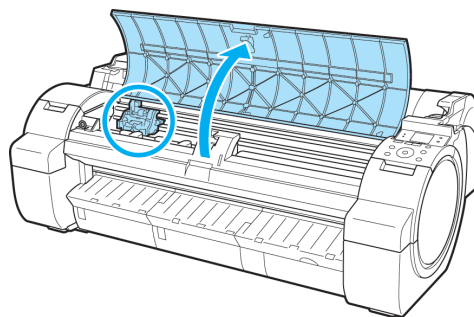
4 [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[メンテナンス]を選択し、[OK]キーを押します。

6 [▲]キー、[▼]キーを押して[ヘッド交換]を選択し、[OK]キーを押します。
インクがメンテナンスカートリッジに吸引されます。
約 2 分後、ディスプレイに上カバーを開けるメッセージが表示されます。

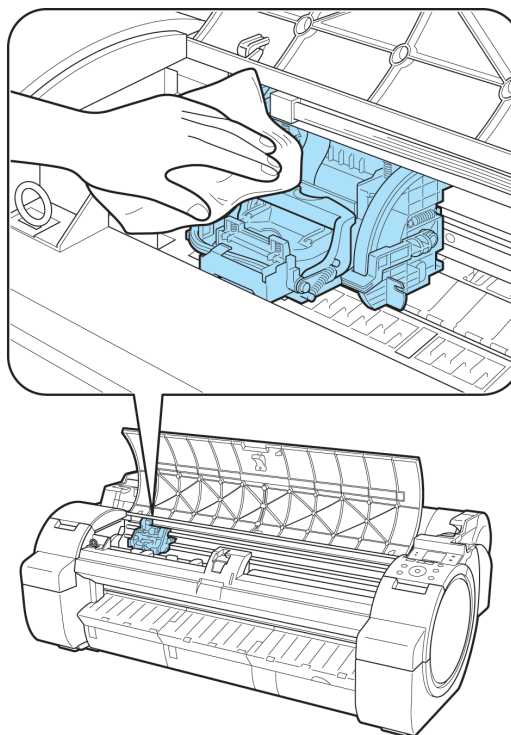
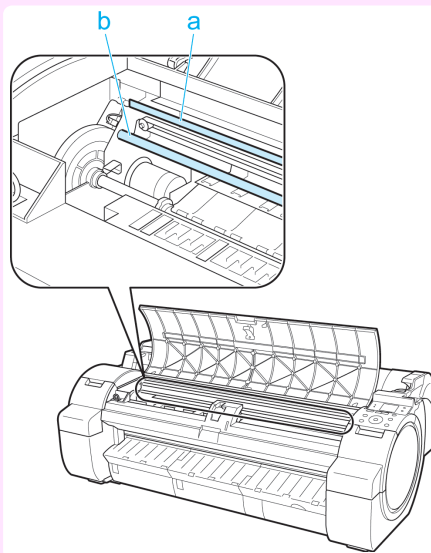
プリントヘッドを交換する

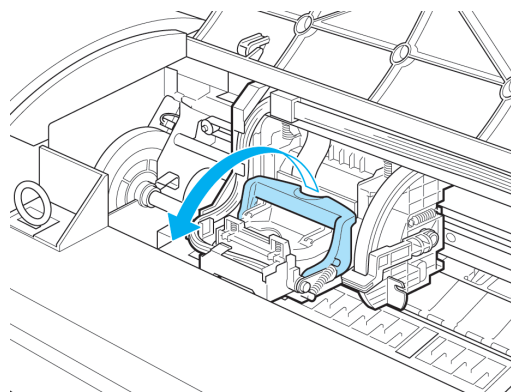
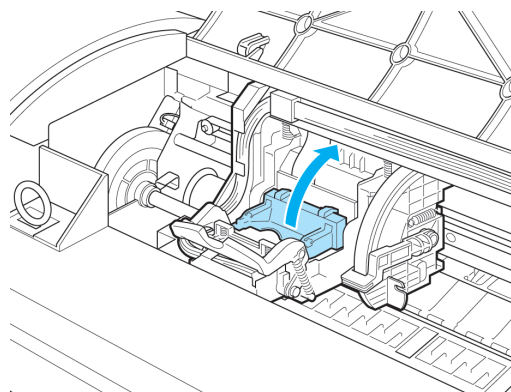
1 上カバーを開きます。

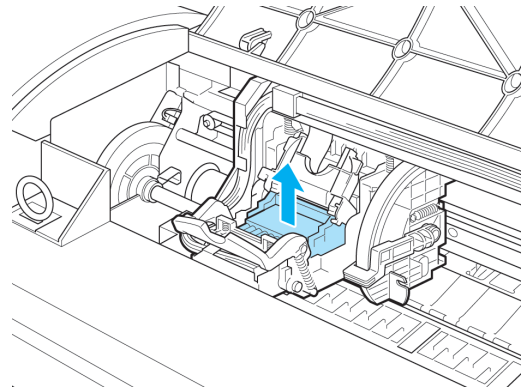
ディスプレイにプリントヘッド交換の手順が表示されます。

重要

- プリントヘッドを交換するときは、キャリッジを図の位置から動かさないでください。キャリッジを動かすと警告音が鳴り、プリントヘッドを交換できません。
キャリッジの位置を動かしてしまった場合は、上カバーを閉じてください。キャリッジが図の位置まで移動します。

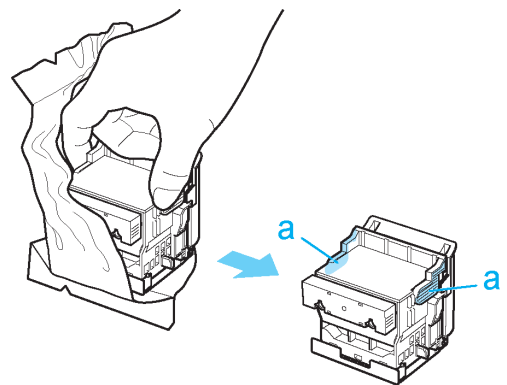
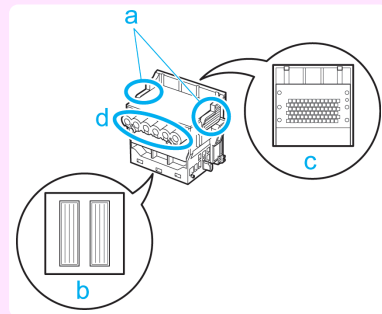
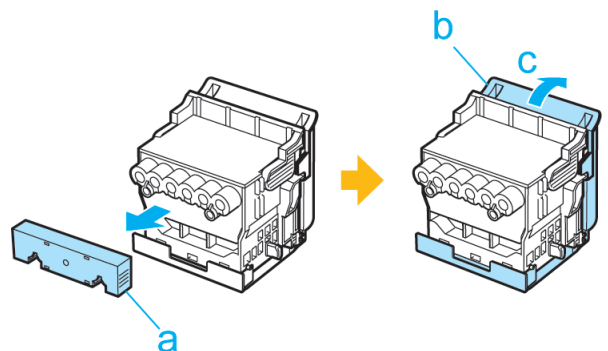
2 プリントヘッド固定カバーやプリントヘッド固定レバーが汚れている場合は、水を含ませて固く絞った布で汚れをふき取ります。

重要

- リニアスケール(a)、キャリッジシャフト(b)には触れないでください。触れると故障の原因になります。

- キャリッジの電極部には、絶対に触れないでください。プリンタの故障の原因になります。

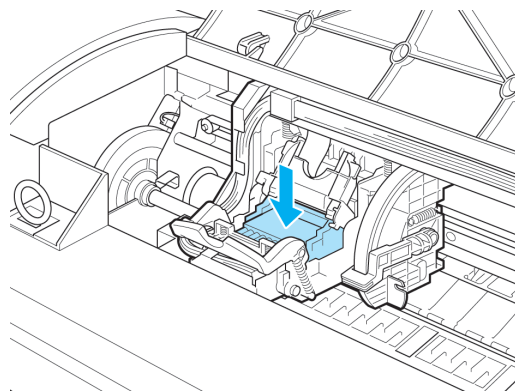
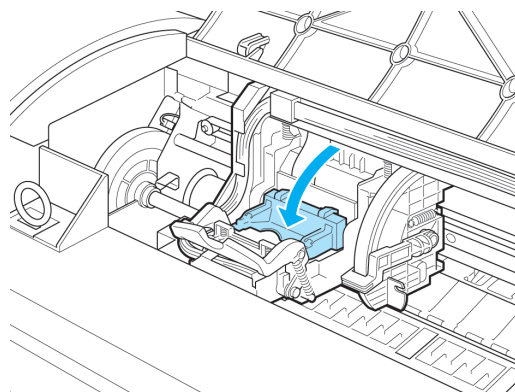
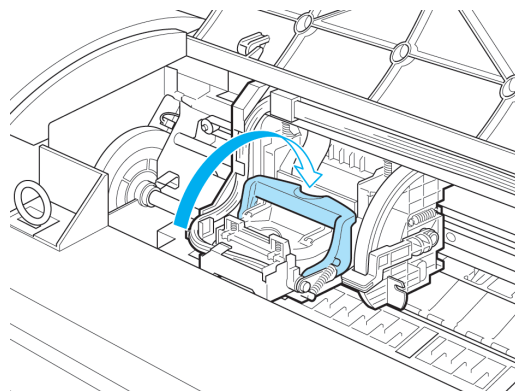
3 プリントヘッド固定レバーを前側に引いて、いっぱいに開きます。

4 プリントヘッド固定カバーを引き上げて、いっぱいに開きます。

5 プリントヘッドを取り外し、[OK]キーを押します。

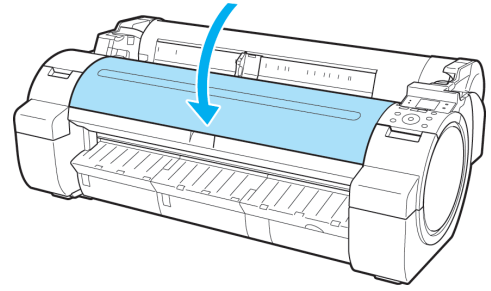
メモ

- 取り出したプリントヘッドは、地域の条例に従って廃棄してください。

6 新しいプリントヘッドを、つまみ部(a)を持って袋から取り出します。

重要

- プリントヘッドは、必ずつまみ部(a)を持って取り扱ってください。ノズル(b)や電極部(c)には、絶対に触れないでください。プリントヘッドの破損や印刷不良の原因になります。
- インク供給部(d)には、絶対に触れないでください。印刷不良の原因になります。

7 プリントヘッドを取り出したまましっかりと持ち、もう一方の手でオレンジ色の保護部品(a)を取り外し、保護部品(b)をつまみ(c)を押しながら下に引いて取り外します。

重要

- 保護部品(a)や保護部品(b)の内側には、ノズルを保護するためのインクが塗られています。取り外す際は触れないように注意してください。
- プリントヘッドには、ノズルを保護するためのインクが入っています。保護部品(b)を取り外す際は、こぼして衣服や周囲を汚さないようにプリントヘッドが入っていた箱の上などで行うことをお勧めします。こぼれてしまった場合は、乾いた布などでインクをふき取ってください。
- プリントヘッドを一時的に置く場合は、ノズルや電極部を下向きに置かないでください。ノズルや電極部が損傷し、印刷品質が低下する場合があります。
- 取り外した保護部品や保護材は、再装着しないでください。これらのものは、地域の条例に従って処理してください。

8 ノズルを下側、電極部を奥側にして、プリントヘッドをキャリッジに差し込みます。ノズルや電極部がキャリッジに当たらないように注意しながら、奥までしっかりと押し込みます。

9 プリントヘッド固定カバーを前側に倒して、プリントヘッドをロックします。

10 プリントヘッド固定レバーを、カチッと音がするまで奥側に倒します。

11 上カバーを閉じます。

インクが充填されます。所要時間は約 7 分です。

重要

- インクの充填中は、絶対にインクタンクを取り出さないでください。
- 操作パネルのメニューで[ヘッド交換後プリント]が[オン]に設定されている場合は、プリントヘッドを交換し、インクが充填された後に[ヘッド位置調整]([自動(詳細)])が実行されます。(「メニューの設定値」参照) →P.443
  この場合は、ディスプレイの指示に従って、プリントヘッドを調整します。
  [ヘッド交換後プリント]が[オフ]に設定されている場合は、[ヘッド位置調整]で[自動(詳細)]を実行してください。(「縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する(ヘッド位置調整)」参照) →P.500

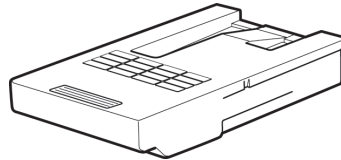
メンテナンスカートリッジ

メンテナンスカートリッジ 531
メンテナンスカートリッジを交換する 531
メンテナンスカートリッジの残り容量を確認する 535

メンテナンスカートリッジの交換時期について 535

メンテナンスカートリッジ

このプリンタの交換用メンテナンスカートリッジです。

- メンテナンスカートリッジ MC-10

メモ

- メンテナンスカートリッジの交換方法については、「メンテナンスカートリッジを交換する」を参照してください。 →P.531

メンテナンスカートリッジを交換する

対応しているメンテナンスカートリッジ

プリンタに対応しているメンテナンスカートリッジについては、「メンテナンスカートリッジ」を参照してください。 →P.531

メンテナンスカートリッジの取り扱い上の注意

メンテナンスカートリッジを取り扱うときは、以下の点に注意してください。

注意

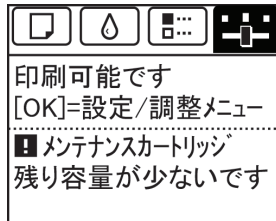
- 安全のため、メンテナンスカートリッジはお子様の手の届かない場所に保管してください。
- 誤ってインクをなめたり飲んだりした場合は、すぐに医師にご相談ください。
- インクを含んだメンテナンスカートリッジは、落としたり傾けたまま放置しないでください。インクが漏れて周辺が汚れる場合があります。
- 一度使用したメンテナンスカートリッジの上面には、インクが付着しています。メンテナンスカートリッジの取り扱いには十分ご注意ください。インクが衣服などに付くと落ちない場合があります。

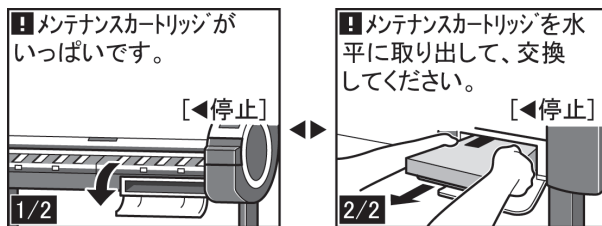
重要

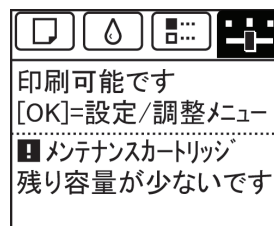
- メンテナンスカートリッジは、交換するとき以外は取り出さないでください。
- 一度使用したメンテナンスカートリッジを他のプリンタで使用しないでください。

メンテナンスカートリッジが交換可能であることを確認する

ディスプレイにメンテナンスカートリッジの残量確認や交換を指示するメッセージなどが表示されているときに、メンテナンスカートリッジを交換できます。

メンテナンスと消耗品
メンテナンスカートリッジ

メンテナンスカートリッジ交換のメッセージが表示されている場合は、[メンテナンスカートリッジ交換のメニューを選択する]の操作は不要です。[メンテナンスカートリッジを交換する]に進んでください。

注意

- 電源をオンにした直後のプリンタの初期化中、プリントヘッドのクリーニング中、インク吸引中は、メンテナンスカートリッジを交換しないでください。インクが漏れる可能性があります。

メンテナンスカートリッジ交換のメニューを選択する

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ

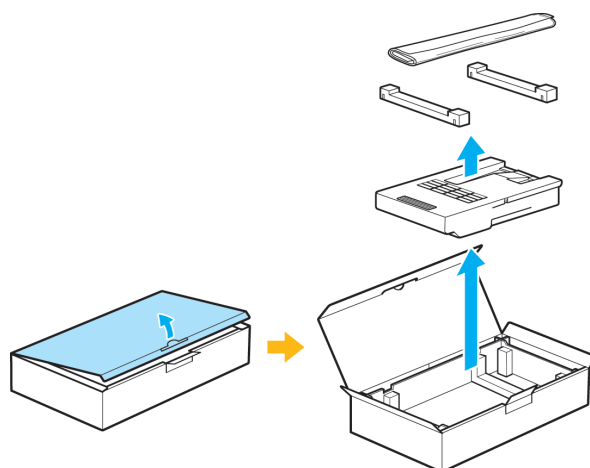
- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

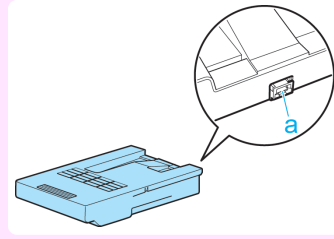
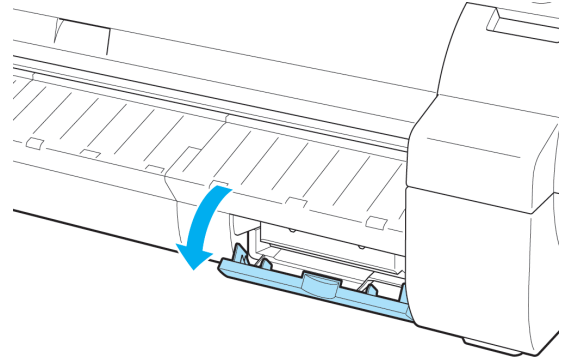
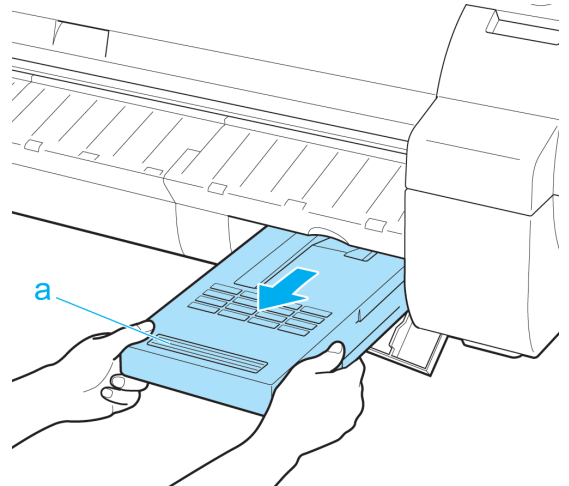
2 [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[メンテナンス]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[メンテナンス C 交換]を選択し、[OK]キーを押します。
ディスプレイにメンテナンスカートリッジカバーを開けるメッセージが表示されます。

メンテナンスカートリッジを交換する

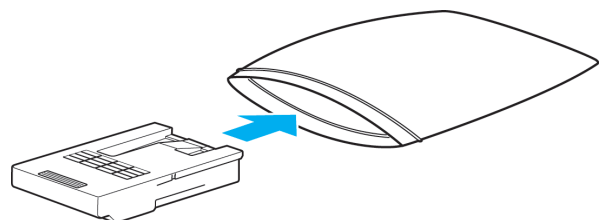
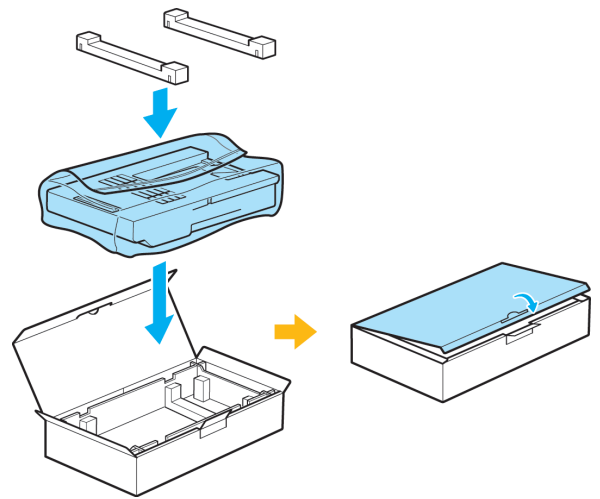
1 梱包箱を開いてビニール袋と緩衝材を取り外し、メンテナンスカートリッジを取り出します。

重要

- 端子部(a)には、絶対に触れないでください。メンテナンスカートリッジの故障の原因になります。

2 メンテナンスカートリッジカバーを開きます。

3 使用済みのメンテナンスカートリッジのつまみ(a)を片手で持って引き出し、もう一方の手でメンテナンスカートリッジの底面をしっかり持って水平に取り出します。

注意

- 使用済みのメンテナンスカートリッジは重くなっています。必ず、しっかり持って水平に保ちながら取り出し、保管してください。インクを含んだメンテナンスカートリッジを落としたり傾けたまま放置すると、インクが漏れて周辺が汚れる場合があります。

重要

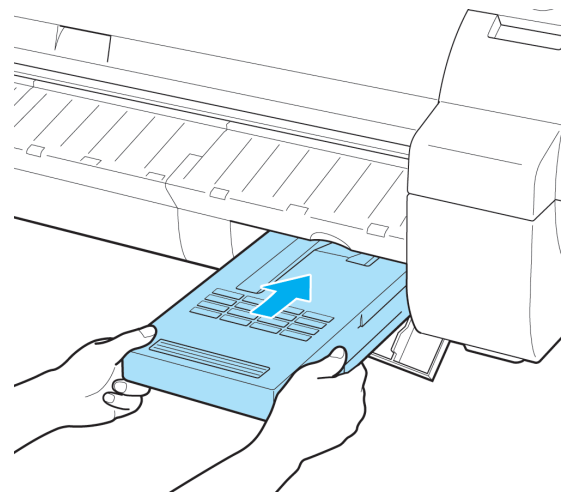
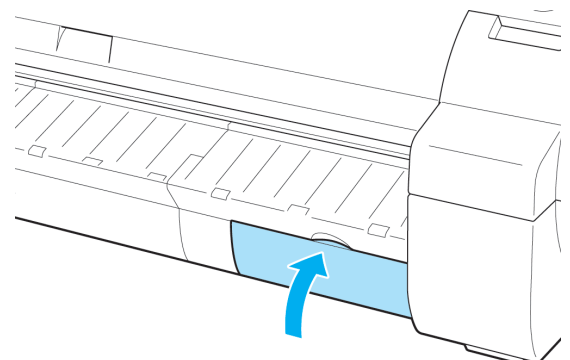
- メンテナンスカートリッジの残り容量はプリンタごとに記録されます。一度使用したメンテナンスカートリッジを他のプリンタに取り付けることはできません。

4 使用済みのメンテナンスカートリッジを水平に保ったままビニール袋に入れます。ビニール袋の中の空気を抜きながらジッパーをしっかり閉じます。

5 メンテナンスカートリッジの上下を確認して、梱包箱に入れて緩衝材を取り付け、水平に保ったまま保管します。

注意

- メンテナンスカートリッジは、必ず梱包箱に入れて、水平に保ったまま保管してください。インクが漏れて周辺が汚れる場合があります。

メモ

- キヤノンでは、地球環境保全と資源の有効活用を目的として、使用済みのメンテナンスカートリッジを回収しています。使用済みのメンテナンスカートリッジは、交換用のメンテナンスカートリッジに付属している説明書に従って処理してください。

6 新しいメンテナンスカートリッジを水平に持ち、奥まで押し込みます。

7 メンテナンスカートリッジカバーを閉じます。

8 [OK]キーを押します。

メンテナンスカートリッジが初期化されます。

メンテナンスカートリッジの残り容量を確認する

メンテナンスカートリッジは、フチなし印刷、ヘッドクリーニングで使用するインクを吸収するためのカートリッジです。メンテナンスカートリッジがあとどれくらいのインクを吸収できるかは、ディスプレイに表示されるメンテナンスカートリッジの残り容量で確認できます。
メンテナンスカートリッジの残り容量を確認する場合は、操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して ［設定/調整タブアイコン］ (設定/調整タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

ディスプレイにメンテナンスカートリッジの交換を指示するメッセージが表示されたら、メンテナンスカートリッジを交換してください。また、メンテナンスカートリッジの残り容量の確認を指示するメッセージが表示された場合や、ヘッドクリーニングの実行やプリンタの輸送によってメンテナンスカートリッジの残り容量が大幅に減る場合は、残り容量を確認し、必要に応じてメンテナンスカートリッジを用意してください。(「メンテナンスカートリッジを交換する」参照) →P.531

メンテナンスカートリッジの交換時期について

以下の場合、メンテナンスカートリッジを準備または交換してください。

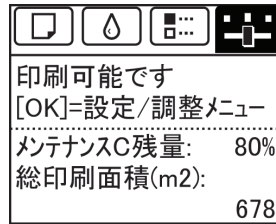
ディスプレイにメンテナンスカートリッジ確認のメッセージが表示された場合

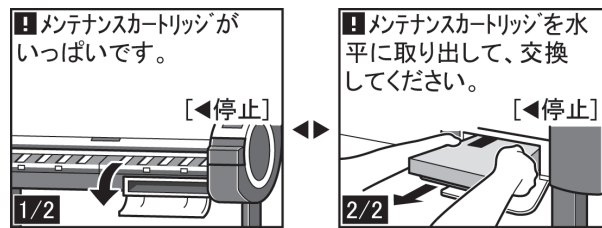
メンテナンスカートリッジの残り容量が少なくなると、[メッセージランプ]が点灯し、ディスプレイに[残り容量が少ないです]と表示されます。印刷は継続されますが、メンテナンスカートリッジの残り容量を確認し、交換用の新しいメンテナンスカートリッジを準備してください。(「メンテナンスカートリッジの残り容量を確認する」参照)
→P.535

メンテナンスカートリッジの残り容量が大幅に減る場合

ヘッドクリーニングの実行やプリントヘッドの交換、プリンタの輸送の準備をする場合、メンテナンスカートリッジの残り容量が大幅に減ります。(特に、プリンタの輸送の準備をする場合は、大幅に減ります。)

メンテナンスと消耗品
メンテナンスカートリッジ

これらのメンテナンスを実行する前には、メンテナンスカートリッジの残り容量を確認し、必要に応じてメンテナンスカートリッジを交換してください。

ディスプレイにメンテナンスカートリッジ交換のメッセージが表示された場合

メンテナンスカートリッジの残り容量がなくなると、[メッセージランプ]が点滅し、ディスプレイにメンテナンスカートリッジ交換のメッセージが表示され、印刷、プリントヘッドの交換、プリンタの輸送ができません。新しいメンテナンスカートリッジに交換してください。

プリンタの清掃

プリンタの外装を清掃する 537
上カバー内部を清掃する 537

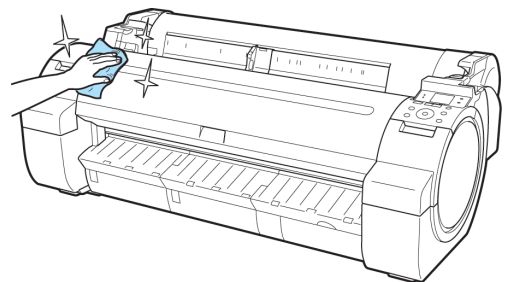
プリンタの外装を清掃する

印刷品質の保持やトラブル防止のために、プリンタは定期的に清掃してください。
快適にご使用いただくために、月に 1 回程度、プリンタの外装を清掃してください。

1 プリンタの電源をオフにします。(「電源をオン/オフにする」参照) →P.17

2 コンセントから電源コードを、アース端子からアース線を取り外します。

注意
- 必ず、プリンタの電源をオフにして、電源コードをコンセントから抜いてください。誤って電源がオンになると、作動した内部の部品に触れて、けがをする場合があります。

3 水を含ませて固く絞った布でプリンタの外装をふき取り、乾いた布で乾ぶきします。

注意
- シンナーやベンジン、アルコールなどの引火性溶剤は使用しないでください。プリンタ内部の電気部品に接触すると、火災や感電の原因になります。

重要
- 排紙ガイドが汚れていると、カット時に用紙の端が汚れる場合があります。見た目に汚れていなくても、紙粉が付いている場合があるため、排紙ガイドを清掃することをお勧めします。

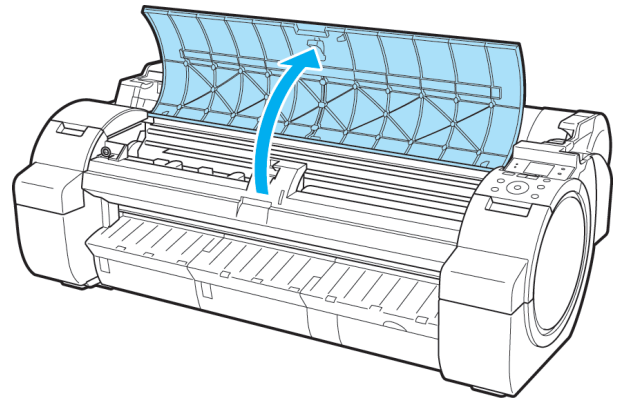
4 アース端子にアース線を、コンセントに電源コードを接続します。

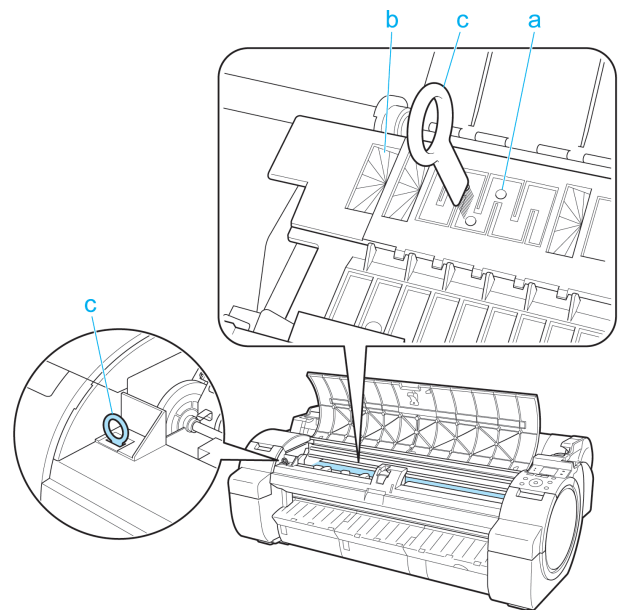
上カバー内部を清掃する

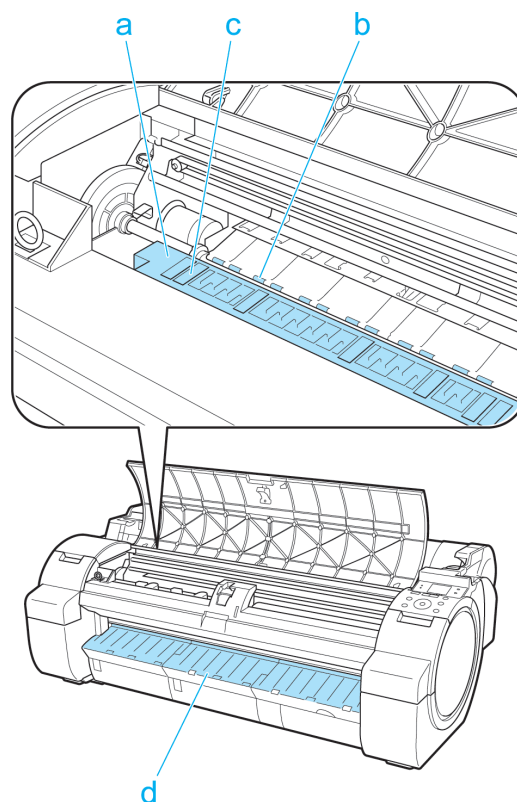
印刷品質の保持やトラブル防止のために、月に 1 回程度、上カバー内部を清掃してください。
また、快適にご使用いただくために、以下の場合に上カバー内部を清掃してください。

- 印刷面や用紙の裏面が汚れる場合
- ロール紙 1 本を使い切った場合
- フチなし印刷を実行した場合
- 小さい用紙に印刷した場合
- カット屑が多く出る用紙に印刷した場合
- ロール紙を交換した場合
- 紙粉が多く出る用紙に印刷した場合
- 糊がついた用紙に印刷した場合

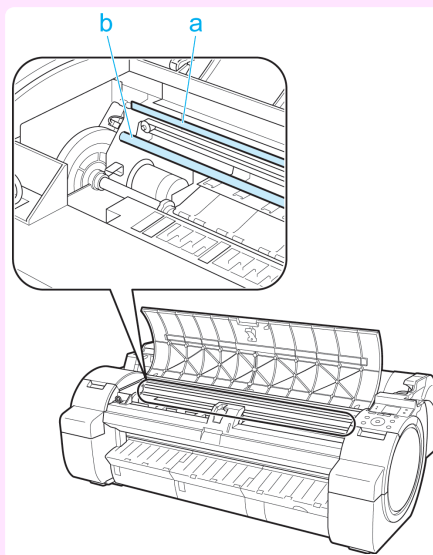
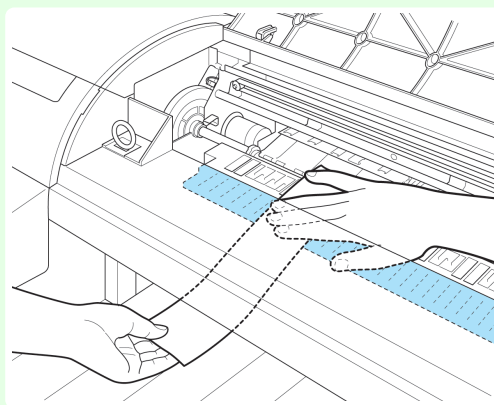
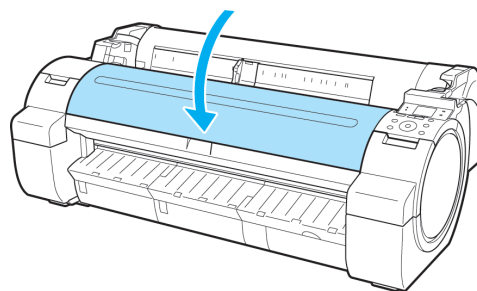
重要
- 上カバー内部のプラテンが汚れていると、用紙の裏面が汚れる場合があります。フチなし印刷を実行した後や小さい用紙に印刷した後は、プラテンを清掃することをお勧めします。
- 排紙ガイドが汚れていると、カット時に用紙の端が汚れる場合があります。見た目に汚れていなくても、紙粉が付いている場合があるため、排紙ガイドを清掃することをお勧めします。
- 糊がついた用紙に印刷した場合は、プラテンや用紙押さえなどに糊が付着することがあります。用紙のつまりを防ぐため、印刷後に上カバー内部の清掃をお勧めします。

1 上カバーを開きます。

2 プラテン上の吸引口(a)やフチなし印刷インク受け溝(b)に紙粉がたまっている場合は、プリンタに同梱されているクリーナブラシ(c)で掃き取ります。

メモ

- クリーナブラシが汚れた場合は、水洗いしてください。

3 水を含ませて固く絞った布で、上カバー内部の汚れをふき取ります。プラテン全域(a)、用紙押さえ(b)、フチなし印刷インク受け溝(c)、排紙ガイド(d)などの汚れをふき取ります。

重要

- 上カバー内部の汚れをふき取るときは、乾ぶきしないでください。静電気を帯びて汚れやすくなり、印刷品質が低下する場合があります。
- シンナーやベンジン、アルコールなどの引火性溶剤を使わないでください。プリンタ内部の電気部品に接触すると、火災や感電の原因になります。
- リニアスケール(a)、キャリッジシャフト(b)には触れないでください。

メモ

- プラテンと排紙ガイドの間を清掃する場合は、水を含ませて固く絞った布を排紙口に通し、溝に沿って拭いてください。

4 上カバーを閉じます。

その他のメンテナンス

プリンタの輸送の準備をする 541
ファームウェアをアップデートする 544

プリンタの輸送の準備をする

プリンタを輸送する場合は、内部機構を保護するために、必ず、輸送の前に以下の手順を行ってください。
プリンタの梱包作業、輸送後の設置作業については、セットアップガイドを参照してください。

- プリンタを輸送するときは、本体を傾けないでください。内部のインクが漏れて周辺が汚れる場合があります。本体を傾けたりする必要がある場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

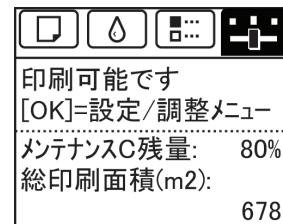
- 輸送準備実行時には、インクがメンテナンスカートリッジに吸引されます。このとき、装着されているメンテナンスカートリッジの残量によっては、新品のメンテナンスカートリッジに交換が必要となることがあります。
  ただし、残量が60%以上の場合は、交換の必要はありません。(「メンテナンスカートリッジの残り容量を確認する」参照) →P.535
- 輸送の準備時(輸送準備のためのメニュー実行時)に、プリンタの状態によっては、部品交換が必要な場合があります。

用紙を取り外す

1 用紙を取り外します。

- ロール紙の場合(「ロール紙をプリンタから取り外す」参照) →P.400
- カット紙の場合(「カット紙を取り外す」参照) →P.418

[本体輸送]のメニューを選択する

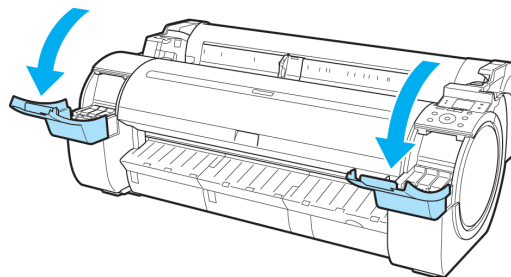
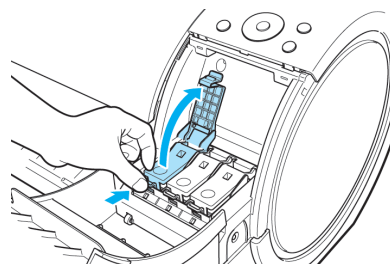
1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

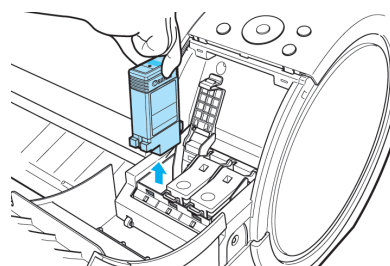
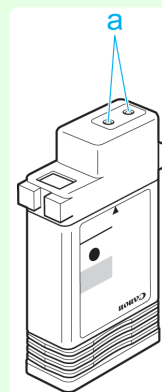
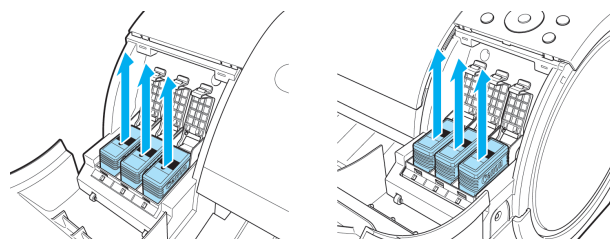
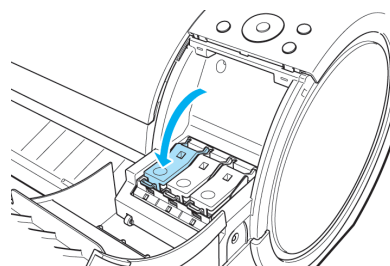
2 [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

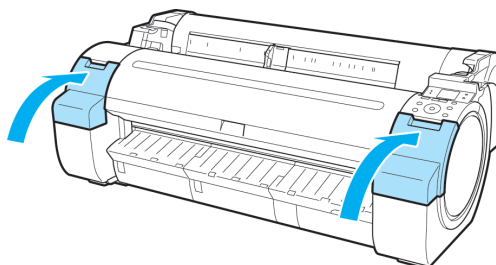
3 [▲]キー、[▼]キーを押して[移動の準備]を選択し、[OK]キーを押します。
準備が完了すると、ディスプレイにインクタンクカバーを開けるメッセージが表示されます。

- 消耗部品の交換が必要な場合は、ディスプレイに[消耗部品の交換が必要です。担当サービスにご相談ください。]と表示され、準備ができません。このメッセージが表示された場合は、[OK]キーを押して、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

インクタンクを取り外す

1 インクタンクカバーを開きます。

2 インクタンク固定レバーの先端を水平に押しながら、インクタンク固定レバーを上に開きます。

3 つまみ部を持ってインクタンクを取り出します。

メモ

- 取り出したインクタンクは、インク供給部(a)を上にして保管してください。インクが漏れて周辺が汚れる場合があります。

4 手順 2～3 を繰り返し、すべてのインクタンクを取り出します。

5 すべてのインクタンク固定レバーをカチッと音がするまで閉じます。

6 インクタンクカバーを閉じます。
チューブ内のインクが吸引されます。

重要

- 吸引中はメンテナンスカートリッジを取り外さないでください。

7 処理が終わると、[終了しました。電源を切ってください。]と表示されますので、[電源]キーを押して、電源をオフにします。

プリンタを梱包する

1 電源コード、アース線、およびインタフェースケーブルを取り外します。

重要

- 電源をオフにしてから電源コードを抜いてください。オフにする前に抜いてしまった場合は、そのまま輸送するとプリンタの故障の原因になります。電源コードとインクタンクを取り付けた後、最初からやり直してください。

2 開梱時と逆の手順でプリンタの各カバーをテープで固定します。

3 プリンタ本体を取り付け時と逆の手順でスタンドから取り外します。

4 スタンドを、設置時と逆の手順で分解して梱包します。

5 ロールホルダー、ホルダーストッパ、プリンタなどに梱包材を取り付け、梱包箱に収納します。

ファームウェアをアップデートする

ファームウェアをアップデートすることにより、プリンタの機能を改善したり、新しい機能を追加することができます。

ファームウェアのバージョンを調べる

1 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2 [OK]キーを押します。
[設定/調整メニュー]が表示されます。

3 [▲]キー、[▼]キーを押して[プリンタの情報]を選択し、[OK]キーを押します。

4 [▲]キー、[▼]キーを押して[システム情報]を選択し、[OK]キーを押します。
ファームウェアのバージョンが表示されます。

ファームウェアをアップデートする

最新のファームウェアは、キヤノンのホームページから入手できます。ファームウェアのバージョンを調べて、ホームページのファームウェアの方が新しい場合は、ファームウェアをアップデートしてください。ファームウェアのダウンロードとアップデートの詳細については、キヤノンのホームページを参照してください。

消耗品

インクタンク 516
プリントヘッド 523
メンテナンスカートリッジ 531

よくある質問

よくある質問

ここでは、よくある質問とその回答を紹介しています。回答欄のリンクをクリックすると、詳しい説明が表示されます。

質問	回答
ロール紙に印刷するには？	ロール紙に印刷する場合は、ロール紙をセットした後、操作パネルとプリンタドライバの両方で用紙の種類や長さを設定します。 ⇒「ロール紙をセットして印刷する →P.19 」
カット紙に印刷するには？	カット紙に印刷する場合は、プリンタドライバで用紙の種類やサイズを設定した後、用紙をセットします。 ⇒「カット紙をセットして印刷する →P.21 」
ロール紙とカット紙との給紙方法を切り替えたい。	操作パネルで用紙をセットまたは交換する操作を行なうと、選択した用紙に給紙元が自動的に切り替わります。 ⇒「ロール紙をプリンタにセットする →P.395 」 ⇒「カット紙をプリンタにセットする →P.413 」
用紙のサイズや種類を変更したい。	操作パネルとプリンタドライバの両方で用紙の種類とサイズを設定します。 • プリンタドライバで設定する ⇒「プリンタドライバで用紙を指定する →P.30 」 • 操作パネルで設定する 用紙の種類選択 ⇒「用紙の種類を変更する →P.398 」 用紙のサイズ選択 ⇒「用紙の長さを設定する →P.399 」
印刷したロール紙をカットするには？	インクが乾燥するのを待ってからカットしたり、任意の位置でカットしたりできます。 ⇒「ロール紙のカット方法を設定する →P.406 」
フチなし(余白なし)で印刷したい。	ロール紙にフチなしで印刷できます。プリンタドライバで原稿を用紙サイズに合わせてフチなし印刷することも可能です。 また、カット紙にはフチなし印刷することはできません。 ⇒「用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する →P.85 」 ⇒「ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する →P.90 」 ⇒「原寸大のフチなしで印刷する →P.79 」
A4 サイズを A2 サイズに大きくして印刷したい。	プリンタドライバで原稿を用紙のサイズや幅に合わせたり、倍率を指定して拡大/縮小の設定をして印刷できます。 ⇒「用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する →P.62 」 ⇒「ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する →P.66 」 ⇒「指定した倍率で拡大/縮小して印刷する →P.70 」
用紙を無駄なく印刷したい。	プリンタドライバで原稿を 90 度回転させて余白を減らしたり、上下の余白をなくして印刷することができます。 ⇒「原稿を 90 度回転してロール紙を節約する →P.133 」 ⇒「原稿の上下の余白分のロール紙を節約する →P.137 」
A4 サイズのデータを A3 サイズの用紙に印刷するとできる、右側の大きな余白がもったいない。	プリンタドライバの設定で A4 サイズの原稿を 90 度回転させると、A3 サイズの用紙の幅をいっぱいに使って A 4 サイズを印刷できます。 ⇒「原稿を 90 度回転してロール紙を節約する →P.133 」
横長(縦長)の用紙に印刷したい。	横長または縦長の原稿をロール紙の幅に合わせて自動的に拡大し、簡単に垂れ幕や横断幕などを印刷できます。 ⇒「垂れ幕や横断幕を印刷する(長尺印刷) →P.96 」
オリジナルサイズの用紙に印刷したい。	プリンタドライバで一時的にカスタムサイズを設定して印刷できます。 ⇒「定形外の用紙に印刷する →P.103 」
オリジナルサイズの用紙を登録したい。	プリンタドライバの[ユーザ用紙設定]ダイアログボックスで任意のサイズ(ユーザ定義用紙)を登録できます。 ⇒「定形外の用紙に印刷する →P.103 」
線を太く印刷したい。	プリンタドライバで[細線強調]を設定すると、細い線を太くし、見やすく印刷できます。 ⇒「印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する →P.56 」
色味を変更したい。	プリンタドライバで好みの色に調整して印刷できます。

質問	回答
色味を変更したい。	⇒「プリンタドライバで色を調整して印刷する →P.50 」
プリンタドライバで設定した内容を、繰り返し使いたい。	設定内容をお気に入りに登録すれば、いつでもその設定で印刷できます。 ⇒「お気に入りの設定で印刷する →P.149 」
[Color imageRUNNER]と連携できると聞いたのですが？	[Color imageRUNNER]と連携して、スキャンした原稿をプリンタで自動的に拡大して印刷できます。 ⇒「Color imageRUNNER でスキャンした原稿を拡大印刷する →P.221 」 ⇒「Color imageRUNNER でスキャンした原稿を拡大印刷する →P.367 」
[Color imageRUNNER]でスキャンした原稿を拡大してプリントしたい。	Color imageRUNNER 連携拡大コピー（iR 連携）機能を使えば、[Color imageRUNNER]で原稿をスキャンして、プリンタで自動的に拡大して印刷できます。 ⇒「Color imageRUNNER でスキャンした原稿を拡大印刷する →P.221 」 ⇒「Color imageRUNNER でスキャンした原稿を拡大印刷する →P.367 」

用紙に関連するトラブル

用紙のつまりを取り除く(給紙口内部) 550
ロール紙のつまりを取り除く 552
カット紙のつまりを取り除く 554

ロール紙が給紙口に入らない 556
カット紙をセットできない 557

用紙をきれいにカットできない 557
用紙がカットされない 557

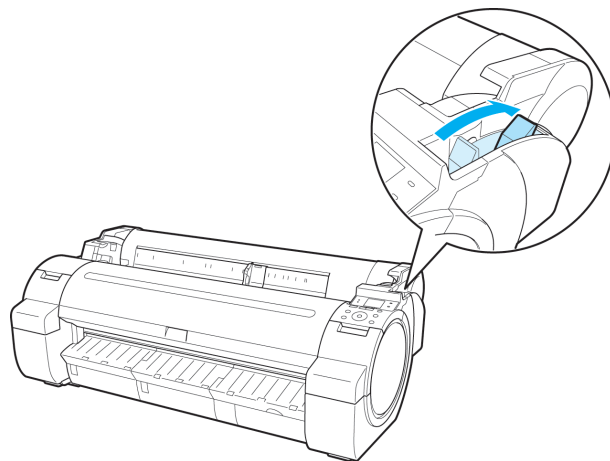
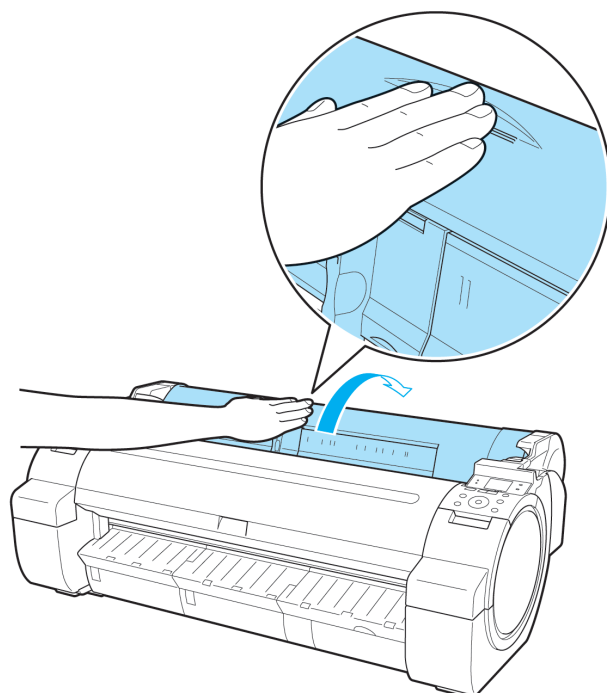
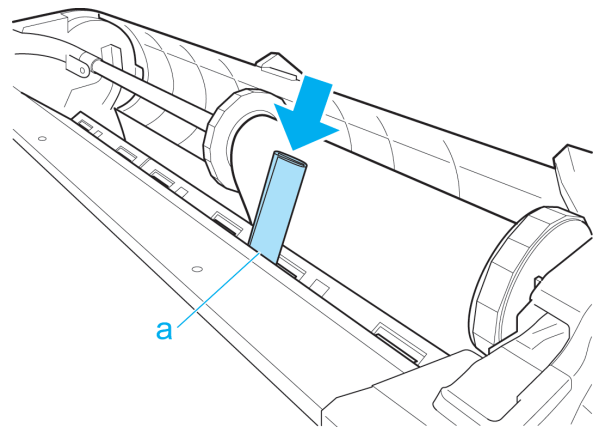
用紙先端にくぼんだような跡が付く 557

クリアフィルムのサイズを検知できない 557
ロール紙が排出され続ける 557

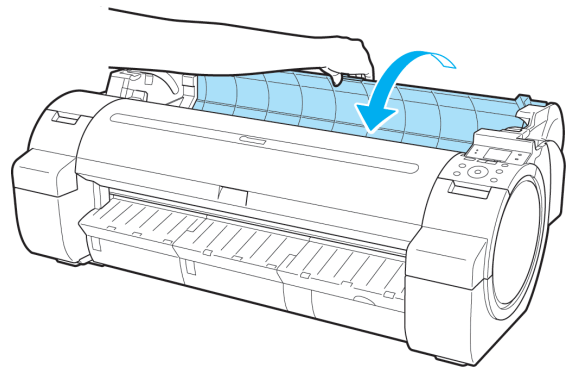
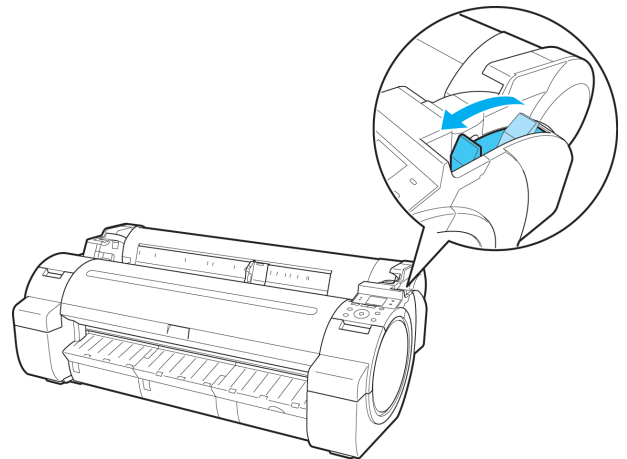
用紙のつまりを取り除く(給紙口内部)

ロール紙やカット紙のつまりを取り除いているときに、紙片がちぎれて給紙口の内部に残ってしまった場合は、以下の手順で紙片を取り除きます。

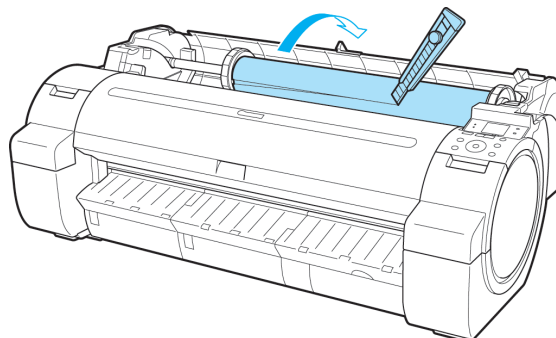
1 プリンタの電源をオフにします。(「電源をオン/オフにする」参照) →P.17

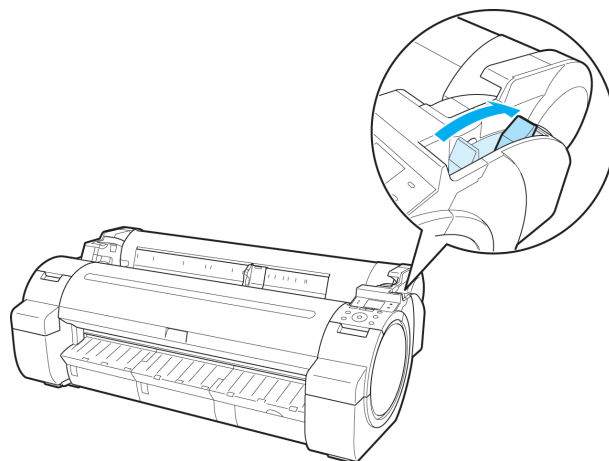
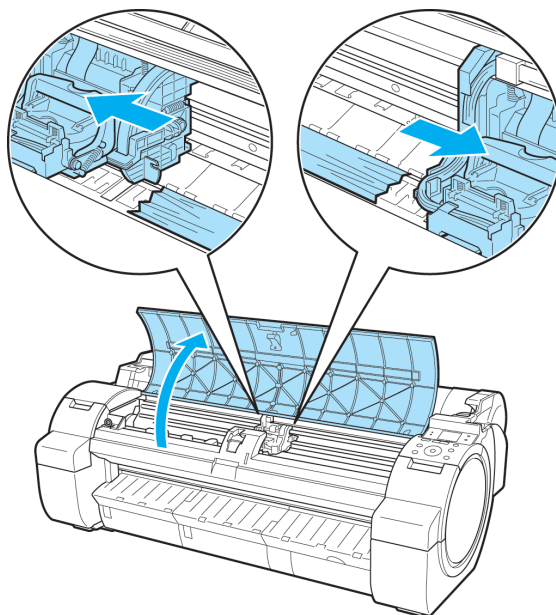
2 リリースレバーを後ろ側に押します。

3 図の位置に手を添えて、ロール紙カバーを開きます。

4 A4 サイズの用紙を縦に四つ折りにして給紙口のすきまに差し込み、つまった用紙をプラテン側に押し出します。

5 プラテン上に紙片が出てきたら、紙片を取り除きます。

6 給紙口内部に紙片が残っている場合は、手順 4〜5 を繰り返します。

7 図の位置を持って、ロール紙カバーを閉じます。

8 リリースレバーを手前側に引きます。

ロール紙のつまりを取り除く

ロール紙がつまった場合、操作パネルのディスプレイに[用紙がつまりました。]と表示されます。以下の手順で、用紙のつまりを取り除きます。

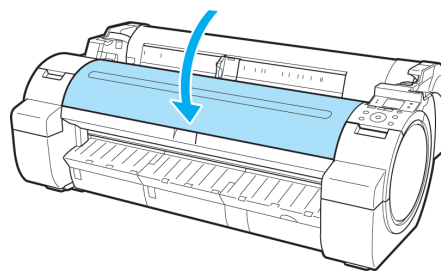
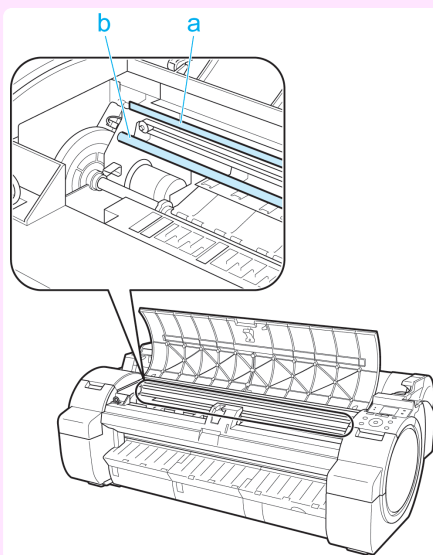
1 ロール紙カバーを開き、セットされているロール紙を市販のカッターなどでカットします。

> 注意
> - カットするときに、ケガをしたり、プリンタに傷を付けたりしないように注意してください。

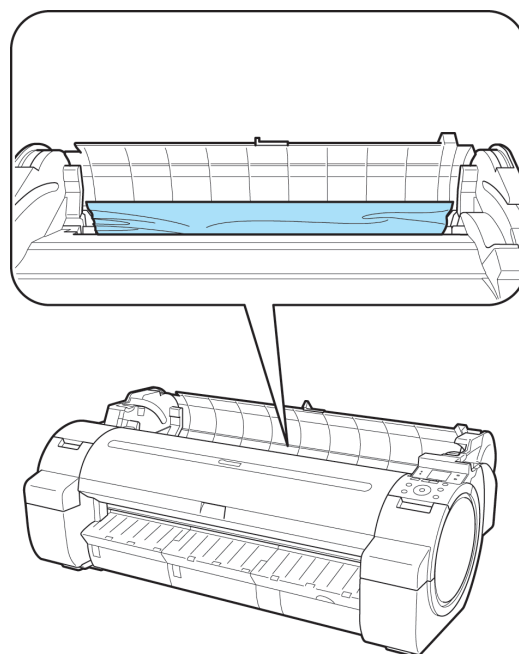
2 リリースレバーを後ろ側に押します。

3 つまっている用紙を取り除きます。

- 上カバー内部で用紙がつまっている場合

1. 上カバーを開き、つまった用紙から離すようにキャリッジを左右いずれかの端に移動します。

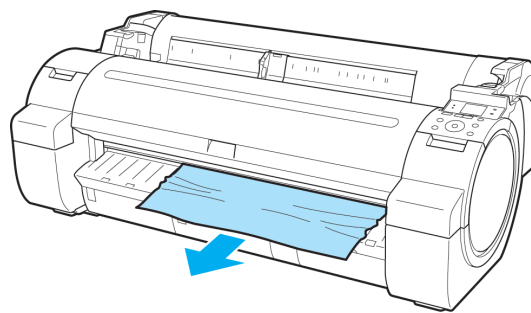
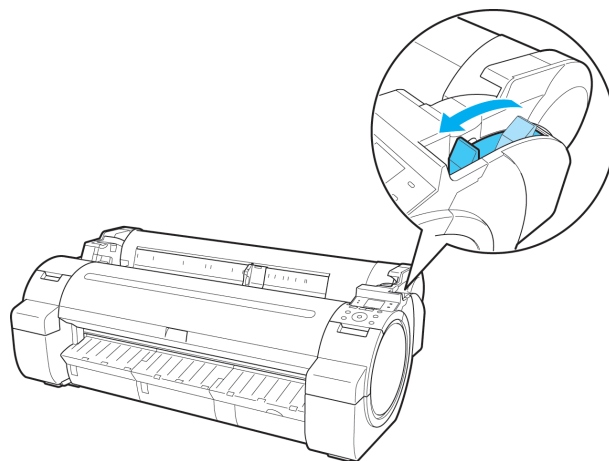
2. 上カバー内部につまった用紙を取り除きます。
取り除いた後、紙片などが残っていないか点検します。

3. 上カバーを閉じます。

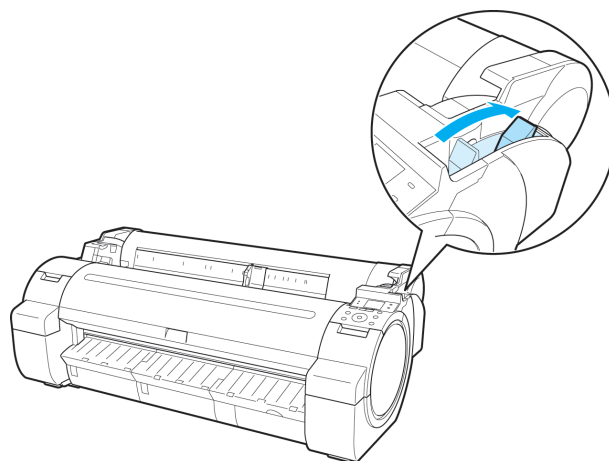
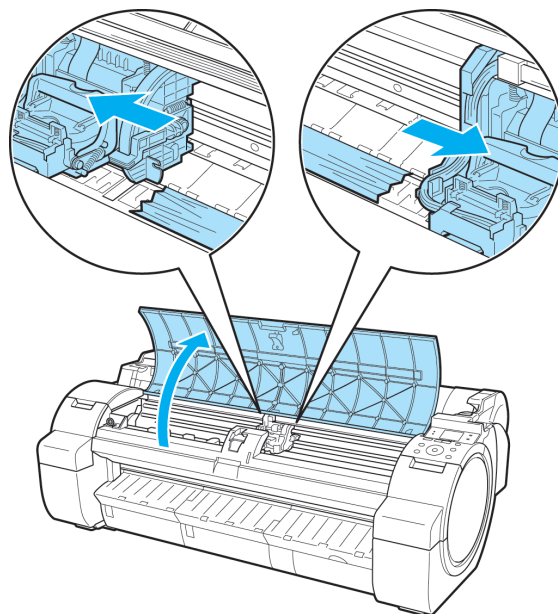
重要

- つまった用紙の上を通して、キャリッジを移動させないでください。プリントヘッドが壊れる可能性があります。
- リニアスケール(a)、キャリッジシャフト(b)には触れないでください。手が汚れたり、プリンタの故障の原因になります。

- ロール紙の給紙口付近で用紙がつまっている場合

1. ロール紙カバーを開きます。
2. 給紙口からつまった用紙を取り除きます。
   取り除いた後、紙片などが残っていないか点検します。

- 排紙ガイド付近で用紙がつまっている場合

  排紙口からつまった用紙を取り除きます。

  取り除いた後、紙片などが残っていないか点検します。

4 リリースレバーを手前側に引きます。

カット紙のつまりを取り除く

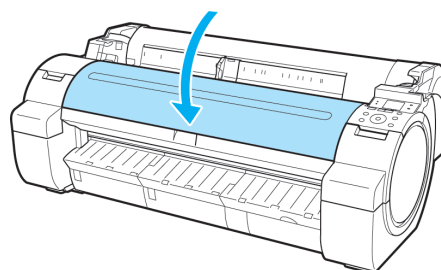
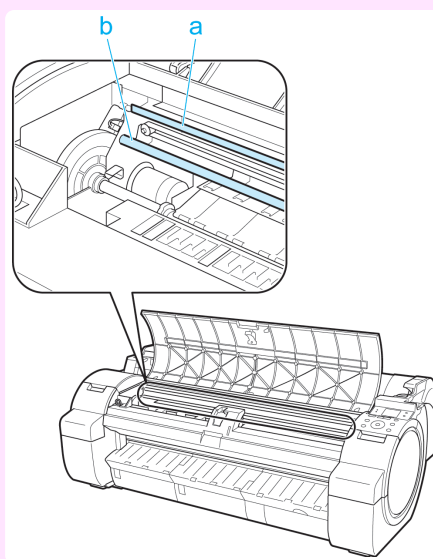
カット紙がつまった場合、操作パネルのディスプレイに[用紙がつまりました。]と表示されます。以下の手順で、用紙のつまりを取り除きます。

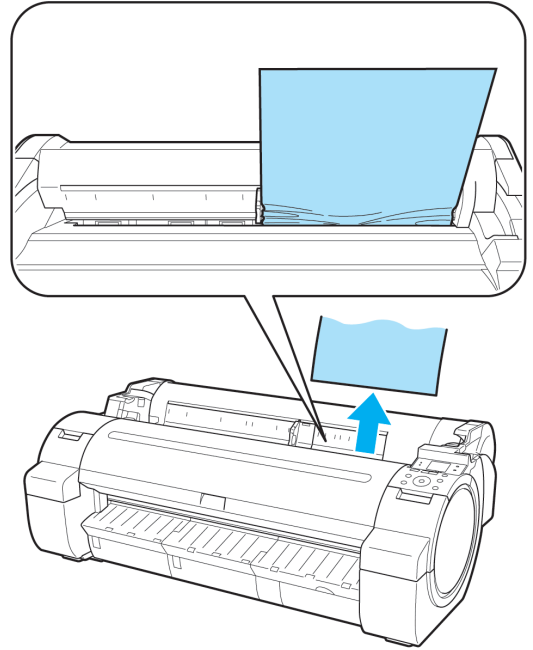
1 リリースレバーを後ろ側に押します。

2 つまっている用紙を取り除きます。

- 上カバー内部で用紙がつまっている場合

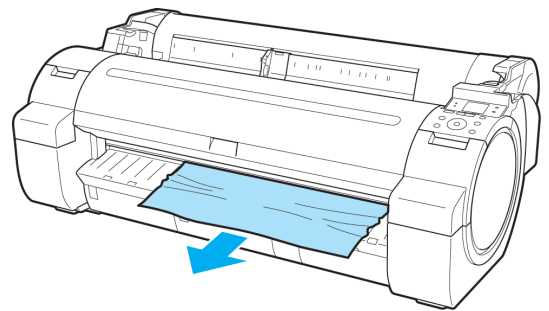
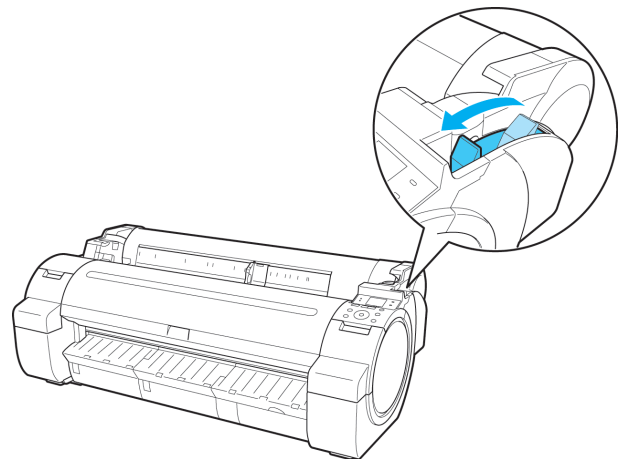
1. 上カバーを開き、つまった用紙から離すようにキャリッジを左右いずれかの端に移動します。

2. 上カバー内部につまった用紙を取り除きます。
取り除いた後、紙片などが残っていないか点検します。

3. 上カバーを閉じます。

重要

- つまった用紙の上を通して、キャリッジを移動させないでください。プリントヘッドが壊れる可能性があります。
- リニアスケール(a)、キャリッジシャフト(b)には触れないでください。手が汚れたり、プリンタの故障の原因になります。

- 給紙口付近で用紙がつまっている場合

給紙口からつまった用紙を取り除きます。
取り除いた後、紙片などが残っていないか点検します。

- 排紙ガイド付近で用紙がつまっている場合

排紙口からつまった用紙を取り除きます。
取り除いた後、紙片などが残っていないか点検します。

3 リリースレバーを手前側に引きます。

ロール紙が給紙口に入らない

原因	処置
ロール紙がカールしています。	カールを直して、ロール紙をセットし直します。
給紙口に用紙がつまっています。	つまっている用紙を取り除きます。 (「ロール紙のつまりを取り除く」参照) →P.552 (「カット紙のつまりを取り除く」参照) →P.554
給紙元の選択が間違っています。	[用紙交換]キーを押して、給紙元を選択します。

カット紙をセットできない

原因	処置
給紙元の選択が間違っています。	[用紙交換]キーを押して、給紙元を選択します。

用紙をきれいにカットできない

原因	処置
用紙のカット位置の端部が折れ曲がっています。	用紙の端部の折れ曲がりを直します。
カット時に用紙のカット位置の端部が浮き上がっています。	用紙を正しくセットし直します。
カッターユニットでカットできない用紙を使用しています。	操作パネルのメニューで[カットモード]を[ユーザーカット]に設定し、印刷後にロール紙をはさみなどでカットします。 (「ロール紙のカット方法を設定する」参照) →P.406
操作パネルのメニューで[カット スピード]が正しく設定されていません。	操作パネルのメニューで[カット スピード]の設定値を変更してください。 (「メニューの階層」参照) →P.438
カット中に、印刷物が斜めに落下しています。	操作パネルのメニューで[カットモード]を[イジェクトカット]に設定し、印刷後に印刷物を持ちながらカットします。 (「ロール紙のカット方法を設定する」参照) →P.406

用紙がカットされない

原因	処置
プリンタドライバの[オートカット設定]で[なし]または[カットラインを印刷]を選択しています。	プリンタドライバの[オートカット設定]で[あり]を選択します。
操作パネルのメニューで[カットモード]が[イジェクトカット]または[ユーザーカット]に設定されています。	[カットモード]が[イジェクトカット]に設定されている場合は、[用紙カット]キーを押して用紙をカットします。 [カットモード]が[ユーザーカット]に設定されている場合は、ロール紙をはさみなどでカットします。

用紙先端にくぼんだような跡が付く

原因	処置
プリンタにロール紙をセットしたまま長時間印刷しないと、次回ロール紙に印刷するときに、用紙の先端にくぼんだような跡が付く場合があります。	印刷品質を特に重視する場合は、[ロール退避時プレカット]で[オン]または[自動]を選択し、印刷開始前に用紙の先端を自動でカットすることをお勧めします。 (「メニューの階層」参照) →P.438

クリアフィルムのサイズを検知できない

原因	処置
プラテンがインクなどで汚れています。	上カバーを開いて、プラテン全域を清掃します。 (「上カバー内部を清掃する」参照) →P.537

ロール紙が排出され続ける

原因	処置
給紙元がカット紙に設定されている状態にもかかわらず、ロール紙を給紙しました。	ロール紙の排出が停止したら、以下の手順でロール紙をセットし直します。 **1.** リリースレバーを後ろ側に押します。 **2.** ロール紙カバーを開きます。 **3.** 両手でロールホルダーを後方に回してロール紙を巻き取ります。このとき、ロール紙の端部がきれいに揃うように注意してください。 **4.** リリースレバーを手前側に引きます。 **5.** ロール紙をセットします。このとき、必ず[用紙交換]キーを押し、[ロール紙をセットする]を選択してください。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.395

困ったときには 用紙に関連するトラブル

印刷が開始されない

操作パネルのデータ受信ランプが点灯しない 558
印刷データを送信してもプリンタが動かない 558
ディスプレイにインク充填中です。と表示された 558
ディスプレイに攪拌中です。と表示された 558

操作パネルのデータ受信ランプが点灯しない

原因	処置
プリンタの電源が入っていません。	電源コードがしっかり奥まで接続されていることを確認します。[電源]キーを押して、プリンタの電源をオンにします。
印刷時に目的のプリンタが選択されませんでした。	Windows の場合は、印刷ダイアログボックスの[プリンタの選択]や[プリンタ設定]でプリンタを選択し、印刷し直します。
	Mac OS X の場合は、プリンタドライバのダイアログボックスを開き、[プリンタ]の一覧からプリンタを選択し、印刷し直します。
印刷ジョブが一時停止になっています。	Windows の場合は、以下の手順で一時停止を解除します。 1. [プリンタと FAX](または[プリンタ])ウィンドウのプリンタのアイコンを選択します。 2. [ファイル]メニューから[一時停止]を選択してチェックを外し、一時停止を解除します。
	Mac OS X の場合は、以下の手順で一時停止を解除します。 1. [プリントとファクス](OS のバージョンによっては[プリンタ設定ユーティリティ]または[プリントセンター])を開きます。 2. プリンタを選択し、[プリンタ]メニューから[プリンタを再開](または[ジョブを開始])を選択し、一時停止を解除します。

印刷データを送信してもプリンタが動かない

原因	処置
操作パネルのメニューで[印刷の一時停止]が[オン]に設定されています。	[印刷の一時停止]を[オフ]に設定します。 (「印刷を一時停止状態にする」参照) →P.27
操作パネルのメニューで[USB の使用]または[イーサネットの使用]が[使わない]に設定されています。	[USB の使用]または[イーサネットの使用]を[使う]に設定します。 (「メニューの設定値」参照) →P.443

ディスプレイにインク充填中です。と表示された

原因	処置
プリンタの動作中に、強制的に電源を切ってしまいました。	インクの充填が完了するまでお待ちください。インクの充填は、7 分 30 秒程度かかる場合があります。

ディスプレイに攪拌中です。と表示された

原因	処置
インク攪拌動作が実行されています。	インク攪拌動作が終了するまでお待ちください。 攪拌の動作時間は、電源オフ状態の経過期間により異なります(約 30 秒〜約 2 分)。

プリンタが途中で停止する

ディスプレイにエラーメッセージが表示される 559
用紙が白紙で排紙される 559

ディスプレイにエラーメッセージが表示される

状態	処置
印刷中にエラーメッセージが表示されます。	エラーメッセージを確認し、必要な処置を行います。 (「エラーメッセージ一覧」参照) →P.578
印刷中にロール紙がなくなり、後端をテープで止められているロール紙が搬送できずに止まっています。	使い終わったロール紙を取り除き、新しいロール紙に交換します。 (「ロール紙をプリンタから取り外す」参照) →P.400 (「ロール紙からロールホルダーを取り外す」参照) →P.402 (「ロール紙をセットして印刷する」参照) →P.19

用紙が白紙で排紙される

状態	処置
ロール紙の先端が切り揃えられました。	操作パネルのメニューで[先端プレカット]が[オン]または[自動]に設定されている場合は、ロール紙の先端が切り揃えられることがあります。 (「ロール紙の先端を自動でカットする」参照) →P.410
プリントヘッドのノズルがつまっています。	ノズルチェックパターンを印刷し、プリントヘッドの状態を確認します。 (「ノズルのつまりをチェックする」参照) →P.523
ご使用のプリンタに合っていないプリンタドライバから送信された印刷ジョブを受信しました。	ご使用のプリンタに合った imagePROGRAF プリンタドライバで印刷し直します。
操作パネルのメニューで[自動回転]が[オン]に設定された状態で、HP RTL コマンドを含む印刷データを受信しました。	操作パネルのメニューで[自動回転]を[オフ]に設定し、印刷してください。 (「メニューの設定値」参照) →P.443
プリンタが故障しています。	キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

印刷品質のトラブル

印刷がかすれる 560
プリントヘッドが用紙にこすれる 560
用紙の端が汚れる 561
用紙の表面が汚れる 562
用紙の裏面が汚れる 562
色味が違って印刷される 562
色味の違うスジが入る 562
色ムラが発生する 563
画像の端部がぼやけたり、白スジが入る 564
印刷中に周期的な濃淡差が発生する 564
印刷物の用紙送り方向の長さが正確でない 564
用紙に対して斜めに印刷される 564
モノクロで印刷される 565
線の太さが均一に印刷されない 565
罫線がずれる 565

印刷がかすれる

原因	処置
用紙の裏面に印刷しています。	用紙の表面に印刷します。
プリントヘッドのノズルがつまっています。	ノズルチェックパターンを印刷し、ノズルのつまりを確認します。 (「ノズルのつまりをチェックする」参照) →P.523
インクタンクを取り外したままプリンタを放置したため、インク供給部にインクがつまっています。	インクタンクを取り付けた状態で 24 時間以上経過してから、操作パネルのメニューで[ヘッドクリーニング B]を実行します。 (「プリントヘッドをクリーニングする」参照) →P.524
上カバー内部に、つまった用紙の紙片が残っています。	以下の手順で、上カバー内部に残っている紙片を取り除きます。 1. 上カバーを開いて、プラテン上にキャリッジがないことを確認します。 2. 上カバー内部に残っている紙片を取り除きます。 (「ロール紙のつまりを取り除く」参照) →P.552 (「カット紙のつまりを取り除く」参照) →P.554 3. 上カバーを閉じます。
用紙をカットするときに、インクが乾燥していません。	操作パネルのメニューで[用紙詳細設定]の[ロール紙乾燥時間]の設定時間を長くします。 (「メニューの設定値」参照) →P.443
プリンタドライバの[詳細設定モード]の[印刷品質]の設定が[標準]または[速い]の場合、印刷がかすれることがあります。	プリンタドライバの[詳細設定モード]の[印刷品質]で、[最高]または[きれい]を選択し、印刷します。 [速い]または[標準]が選択されている場合は、[最高]または[きれい]と比較して、印刷にかかる時間と消費インクは少なくなりますが、印刷品質が低くなります。 (「印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する」参照) →P.56
カット屑が出やすい用紙に印刷しています。	操作パネルのメニューで[用紙詳細設定]の[カット屑軽減]を[オン]に設定します。 (「ロール紙のカット屑を軽減する」参照) →P.411

プリントヘッドが用紙にこすれる

原因	処置
プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタにセットした用紙の種類が合っていません。	プリンタドライバで指定した用紙の種類に合った用紙をプリンタにセットします。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.395 (「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.413
	プリンタドライバの用紙の種類を、プリンタにセットした用紙の種類に合わせます。 1. [ストップ]キーを押して、印刷を中止します。 2. プリンタドライバで用紙の種類を設定し直し、印刷します。
用紙が正しくセットされていないため、用紙が波打っています。	用紙をセットし直します。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.395

原因	処置
用紙が正しくセットされていないため、用紙が波打っています。	(「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.413
操作パネルのメニューでプリントヘッドの高さが低く設定されています。	操作パネルのメニューで[ヘッド高さ]を[自動]に設定します。 (「用紙のこすれや画像のぼやけを改善する(ヘッド高さ)」参照) →P.505
厚い用紙や、インクを吸収するとカールしたり波打ちが起こりやすい用紙に印刷しています。	厚口コート紙のように紙ベースの用紙の場合は、操作パネルのメニューで[吸着力]を[やや強い]または[強い]に設定します。それでもこすれる場合は、操作パネルのメニューで[ヘッド高さ]を[高い]に設定します。 (「用紙の吸着力を変更する(吸着力)」参照) →P.513 (「用紙のこすれや画像のぼやけを改善する(ヘッド高さ)」参照) →P.505
	トレーシングペーパー(CAD)のようにフィルムベースの用紙の場合は、操作パネルのメニューで[吸着力]を[標準]、[やや強い]、または[強い]に設定します。それでもこすれる場合は、操作パネルのメニューで[ヘッド高さ]を[高い]に設定します。 (「用紙の吸着力を変更する(吸着力)」参照) →P.513 (「用紙のこすれや画像のぼやけを改善する(ヘッド高さ)」参照) →P.505
	厚さが 0.1 mm 以下の薄い用紙の場合は、操作パネルのメニューで[吸着力]を[弱い]に設定します。それでもこすれる場合は、操作パネルのメニューで[ヘッド高さ]を[高い]に設定します。 (「用紙の吸着力を変更する(吸着力)」参照) →P.513 (「用紙のこすれや画像のぼやけを改善する(ヘッド高さ)」参照) →P.505
プリンタに用紙をセットするときに、実際にセットした用紙と、操作パネルで選択した用紙の種類が合っていません。	用紙をプリンタにセットするときに、操作パネルのメニューから正しい用紙種類を選択します。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.395 (「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.413

用紙の端が汚れる

原因	処置
フチなし印刷や小さなサイズの用紙を印刷した後、プラテンが汚れています。	上カバーを開いてプラテンを清掃します。 (「上カバー内部を清掃する」参照) →P.537
プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタで指定した用紙の種類が合っていません。	プリンタの用紙の種類を、プリンタドライバで指定した用紙の種類に合わせます。 (「用紙の種類を変更する」参照) →P.398
	プリンタドライバの用紙の種類を、プリンタで指定した用紙の種類に合わせます。 **1.** [ストップ]キーを押して、印刷を中止します。 **2.** プリンタドライバで用紙の種類を設定し直し、印刷します。
用紙にしわやカールがあります。	しわやカールを取ってから、用紙をセットし直します。一度印刷した用紙は使用しないでください。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.395 (「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.413
操作パネルのメニューで[カット屑軽減]が[オン]に設定されているため、用紙のカット位置にカット屑軽減ラインが印刷されています。	カット屑軽減機能が必要ない場合は、操作パネルのメニューで[カット屑軽減]を[オフ]に設定します。 (「メニューの設定値」参照) →P.443
操作パネルのメニューでプリントヘッドの高さが低く設定されています。	操作パネルのメニューで[ヘッド高さ]を[自動]に設定します。 (「用紙のこすれや画像のぼやけを改善する(ヘッド高さ)」参照) →P.505
厚い用紙や、インクを吸収するとカールしたり波打ちが起こりやすい用紙に印刷しています。	厚口コート紙のように紙ベースの用紙の場合は、操作パネルのメニューで[吸着力]を[やや強い]または[強い]に設定します。それでもこすれる場合は、操作パネルのメニューで[ヘッド高さ]を[高い]に設定します。 (「用紙の吸着力を変更する(吸着力)」参照) →P.513 (「用紙のこすれや画像のぼやけを改善する(ヘッド高さ)」参照) →P.505
	トレーシングペーパー(CAD)のようにフィルムベースの用紙の場合は、操作パネルのメニューで[吸着力]を[標準]、[やや強い]、または[強い]に設定します。それでもこすれる場合は、操作パネルのメニューで[ヘッド高さ]を[高い]に設定します。 (「用紙の吸着力を変更する(吸着力)」参照) →P.513 (「用紙のこすれや画像のぼやけを改善する(ヘッド高さ)」参照) →P.505
排紙ガイドが汚れています。	排紙ガイドを清掃します。 (「プリンタの外装を清掃する」参照) →P.537

用紙の表面が汚れる

原因	処置
用紙押さえが汚れています。	用紙押さえを清掃します。 (「上カバー内部を清掃する」参照) →P.537
乾きにくい用紙を使用しています。	操作パネルのメニューで[ロール紙乾燥時間]を[1 分]程度に設定します。 (「メニューの設定値」参照) →P.443
	乾きにくい用紙に印刷すると、印刷中に用紙がカールし、排紙口に接触することがあります。 このような場合は、操作パネルのメニューで[スキャン間ウェイト]の[乾燥時間]と[領域]を設定します。 ただし、印刷に時間がかかるようになります。 (「メニューの設定値」参照) →P.443

用紙の裏面が汚れる

原因	処置
フチなし印刷や小さなサイズの用紙を印刷した後、プラテンが汚れています。	上カバーを開いてプラテンを清掃します。 (「上カバー内部を清掃する」参照) →P.537
操作パネルのメニューで[用紙幅検知]が[オフ]に設定されている状態で印刷したため、プラテンが汚れました。	操作パネルのメニューで[用紙幅検知]を[オン]に設定してから、上カバーを開いてプラテンを清掃します。 (「上カバー内部を清掃する」参照) →P.537
	上カバーを開いてプラテンを清掃してから、ロール紙を手動でプラテン上に送って印刷します。 (「上カバー内部を清掃する」参照) →P.537 (「ロール紙を手動で送る」参照) →P.403
用紙押さえが汚れています。	用紙押さえを清掃します。 (「上カバー内部を清掃する」参照) →P.537

色味が違って印刷される

原因	処置
プリンタドライバの[詳細設定モード]でカラー調整が実行されていません。	プリンタドライバの[詳細設定モード]で[カラーモード]の[色設定]で色を調整します。
コンピュータやモニタのカラー調整が実行されていません。	コンピュータやモニタの取扱説明書を参照して、コンピュータやモニタのカラー調整を実行します。
	カラーマネジメントソフトウェアの取扱説明書を参照して、カラーマネジメントソフトウェアの設定を調整します。
プリントヘッドのノズルがつまっています。	ノズルチェックパターンを印刷し、ノズルのつまりを確認します。 (「ノズルのつまりをチェックする」参照) →P.523
Windows 用のプリンタドライバで[アプリケーションのカラーマッチングを優先する]チェックボックスがオフになっています。	プリンタドライバの[レイアウト]シートで[処理オプション]をクリックし、表示されたダイアログで[アプリケーションのカラーマッチングを優先する]チェックボックスをオンにします。
繰り返し使用するうちに、だんだんプリントヘッドの特性が変化し、色味が変わることがあります。	プリントヘッドの位置を調整します。 (「縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する(ヘッド位置調整)」参照) →P.500 (「縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する(ヘッド位置調整)」参照) →P.501
同一機種のプリンタでも、ファームウェアやプリンタドライバのバージョン、各項目の設定、使用環境が違うと、色味が変わることがあります。	以下の手順でプリンタの使用環境を揃えます。 1. ファームウェアやプリンタドライバのバージョンを同じものに揃えます。 2. 各設定項目を同じ設定にします。

色味の違うスジが入る

原因	処置
用紙の送り量が正しく調整されていません。	用紙の送り量を調整します。 (「用紙の送り量を調整する」参照) →P.507
印刷ジョブの受信が途切れて、スムーズに印刷されていません。	他のアプリケーションや他の印刷ジョブを終了します。
操作パネルのメニューで[優先設定]が[長さ優先]に設定されています。	操作パネルのメニューで[優先設定]を[画質優先]に設定し、用紙の送り量を調整すると改善される場合があります。

原因	処置
操作パネルのメニューで[優先設定]が[長さ優先]に設定されています。	(「用紙の送り量を調整する」参照) →P.507
プリントヘッドの位置がずれています。	プリントヘッドの位置を調整します。 (「縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する(ヘッド位置調整)」参照) →P.500
プリントヘッドのノズルがつまっています。	ノズルチェックパターンを印刷し、ノズルのつまりを確認します。 (「ノズルのつまりをチェックする」参照) →P.523
[印刷品質]の設定が低い場合、印刷にスジが入ることがあります。	プリンタドライバの[詳細設定モード]の[印刷品質]で、より高品質の設定を選択し、印刷します。 [速い]または[標準]が選択されている場合は、[最高]または[きれい]と比較して、印刷にかかる時間と消費インクは少なくなりますが、印刷品質が低くなります。 (「印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する」参照) →P.56
プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタにセットした用紙の種類が合っていません。	プリンタドライバで指定した用紙の種類に合った用紙をプリンタにセットします。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.395 (「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.413
	プリンタドライバの用紙の種類を、プリンタにセットした用紙の種類に合わせます。 1. [ストップ]キーを押して、印刷を中止します。 2. プリンタドライバで用紙の種類を設定し直し、印刷します。

色ムラが発生する

原因	処置
ベタ塗りが多い画像を、[線画・文字]で印刷しています。	プリンタドライバの[詳細設定モード]の[優先画質]で、[写真・イラスト]を選択します。
カールしやすい用紙に印刷しています。	カールしやすい用紙の場合、用紙先端で色ムラが発生することがあります。操作パネルのメニューで用紙の吸着力が強くなるよう[吸着力]の設定値を変更するか、用紙の先端に 20 mm 以上の余白を設定します。 (「用紙の吸着力を変更する(吸着力)」参照) →P.513
[印刷品質]の設定が低い場合、色ムラが発生することがあります。	プリンタドライバの[詳細設定モード]の[印刷品質]で、より高品質の設定を選択します。 [速い]または[標準]が選択されている場合は、[最高]または[きれい]と比較して、印刷にかかる時間と消費インクは少なくなりますが、印刷品質が低くなります。 (「印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する」参照) →P.56
画像に濃い部分と薄い部分がある場合、濃淡の境目に色ムラが発生することがあります。	プリンタドライバの[詳細設定モード]で[片方向印刷]チェックボックスをオンにします。
フチなし印刷の場合、印刷を中断して用紙をカットするため、用紙の先端で若干の色ムラが発生することがあります。	プリンタドライバの[オートカット設定]で[なし]を選択し、印刷します。この場合、左右のみフチなしで印刷されます。印刷物を排紙、カットした後に、上下のフチをはさみなどでカットしてください。
	プリンタドライバの[詳細設定モード]の[印刷品質]で、より高品質の設定を選択します。 (「印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する」参照) →P.56
プリントヘッドの位置がずれています。	プリントヘッドの位置を調整します。 (「縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する(ヘッド位置調整)」参照) →P.500
印刷物を重ねて乾燥させると、色ムラの原因となることがあります。	色ムラが出ないように、1 枚ごとに乾燥させることをお勧めします。
光沢紙、コート紙を使用した場合、濃度ムラが発生する場合があります。	プリンタドライバの[詳細設定モード]の[印刷品質]で、[最高]または[きれい]を選択し、印刷します。
プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタにセットした用紙の種類が合っていません。	プリンタドライバで指定した用紙の種類に合った用紙をプリンタにセットします。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.395 (「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.413
	プリンタドライバの用紙の種類を、プリンタにセットした用紙の種類に合わせます。 1. [ストップ]キーを押して、印刷を中止します。 2. プリンタドライバで用紙の種類を設定し直し、印刷します。
操作パネルのメニューで[スキャン間ウェイト]の[領域]が[先端]に設定されています。	[スキャン間ウェイト]の[領域]が[先端]に設定されている場合、用紙の先端から約 110〜140 mm の位置に色ムラが発生することがあります。(位置は[印刷品質]の設定により異なります)

原因	処置
操作パネルのメニューで[スキャン間ウェイト]の[領域]が[先端]に設定されています。	このような場合は、[スキャン間ウェイト]の[領域]を[全域]に設定します。 ただし、印刷に時間がかかるようになります。 (「メニューの設定値」参照) →P.443

画像の端部がぼやけたり、白スジが入る

原因	処置
プラテン上での用紙の吸着力が強すぎます。	操作パネルのメニューで[吸着力]を[弱い]に設定します。 (「用紙の吸着力を変更する(吸着力)」参照) →P.513
操作パネルのメニューでプリントヘッドの高さが高く設定されています。	操作パネルのメニューで[ヘッド高さ]を[低い]に設定します。 (「用紙のこすれや画像のぼやけを改善する(ヘッド高さ)」参照) →P.505
プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタにセットした用紙の種類が合っていません。	プリンタドライバで指定した用紙の種類に合った用紙をプリンタにセットします。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.395 (「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.413
	プリンタドライバの用紙の種類を、プリンタにセットした用紙の種類に合わせます。 1. [ストップ]キーを押して、印刷を中止します。 2. プリンタドライバで用紙の種類を設定し直し、印刷します。

印刷中に周期的な濃淡差が発生する

原因	処置
用紙の送り量が正しく調整されていません。	用紙の送り量を調整します。 (「用紙の送り量を調整する」参照) →P.507
プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタにセットした用紙の種類が合っていません。	プリンタドライバで指定した用紙の種類に合った用紙をプリンタにセットします。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.395 (「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.413
	プリンタドライバの用紙の種類を、プリンタにセットした用紙の種類に合わせます。 1. [ストップ]キーを押して、印刷を中止します。 2. プリンタドライバで用紙の種類を設定し直し、印刷します。

印刷物の用紙送り方向の長さが正確でない

原因	処置
操作パネルのメニューで[優先設定]が[画質優先]に設定されています。	操作パネルのメニューで[優先設定]を[長さ優先]に設定してから、[長さ調整]を実行します。 (「用紙の送り量を調整する」参照) →P.507
プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタにセットした用紙の種類が合っていません。	プリンタドライバで指定した用紙の種類に合った用紙をプリンタにセットします。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.395 (「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.413
	プリンタドライバの用紙の種類を、プリンタにセットした用紙の種類に合わせます。 1. [ストップ]キーを押して、印刷を中止します。 2. プリンタドライバで用紙の種類を設定し直し、印刷します。

用紙に対して斜めに印刷される

原因	処置
操作パネルのメニューで[斜行検知精度]が[ゆるめ]または[オフ]に設定されています。	操作パネルのメニューで[斜行検知精度]を[標準]に設定します。
操作パネルのメニューで[用紙幅検知]が[オフ]に設定されています。	操作パネルのメニューで[用紙幅検知]を[オン]に設定します。

モノクロで印刷される

原因	処置
プリンタドライバの[詳細設定モード]の[カラーモード]で[モノクロ]、[モノクロ(黒インク)]、[モノクロ(二階調)]が設定されています。	プリンタドライバの[詳細設定モード]の[カラーモード]で[カラー]を選択し、印刷し直します。
プリントヘッドのノズルがつまっています。	ノズルチェックパターンを印刷し、ノズルのつまりを確認します。 (「ノズルのつまりをチェックする」参照) →P.523

線の太さが均一に印刷されない

原因	処置
Windows 用プリンタドライバの[処理オプション]ダイアログボックスで、[高速描画処理する]がチェックされています。	アプリケーションソフトの[ファイル]メニューの[印刷]から、プリンタドライバの[プロパティ]ダイアログボックスを開き、以下の設定で印刷してください。 1. [基本設定]シートの[印刷時にプレビュー画面を表示]のチェックを外してください。 2. [レイアウト]シートで、[ページレイアウト]のチェックを外してください。 3. [レイアウト]シートの[処理オプション]ボタンをクリックして開く[処理オプション]ダイアログボックスで[高速描画処理する]のチェックを外してください。
プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタにセットした用紙の種類が合っていません。	プリンタドライバで指定した用紙の種類に合った用紙をプリンタにセットします。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.395 (「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.413
	プリンタドライバの用紙の種類を、プリンタにセットした用紙の種類に合わせます。 1. [ストップ]キーを押して、印刷を中止します。 2. プリンタドライバで用紙の種類を設定し直し、印刷します。

罫線がずれる

原因	処置
プリントヘッドの位置が調整されていません。	プリントヘッドの位置を調整します。 (「縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する(ヘッド位置調整)」参照) →P.500 (「縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する(ヘッド位置調整)」参照) →P.501 (「罫線のずれを調整する(ヘッド傾き調整)」参照) →P.503
プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタにセットした用紙の種類が合っていません。	プリンタドライバで指定した用紙の種類に合った用紙をプリンタにセットします。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.395 (「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.413
	プリンタドライバの用紙の種類を、プリンタにセットした用紙の種類に合わせます。 1. [ストップ]キーを押して、印刷を中止します。 2. プリンタドライバで用紙の種類を設定し直し、印刷します。

ネットワーク環境で印刷できない

プリンタをネットワークに接続できない 566
TCP/IP ネットワークで印刷できない 566
NetWare ネットワークで印刷できない 566
AppleTalk や Bonjour ネットワークで印刷できない 567

プリンタをネットワークに接続できない

原因	処置
プリンタの Ethernet コネクタと Ethernet ケーブルが正しく接続されていません。	1. 正しい Ethernet ケーブルでプリンタがネットワークに接続されていることを確認し、プリンタの電源をオンにします。ケーブルの接続方法については、セットアップガイドを参照してください。 2. LINK ランプが点灯していることを確認します。 1000Base-T で接続している場合は下側のランプが緑色に、100Base-TX で接続している場合は上側のランプがオレンジ色に、10Base-T で接続している場合は上側のランプが緑色に、それぞれ点灯します。 LINK ランプが点灯しない場合は、以下の点を確認してください。 • HUB の電源がオンになっていることを確認します。 • Ethernet ケーブルのコネクタが正しく接続されていることを確認します。 Ethernet ケーブルは、カチッとロックするまで Ethernet コネクタに差し込んでください。 • Ethernet ケーブルに問題がないことを確認します。 問題がある場合は、Ethernet ケーブルを取り替えてください。 • HUB との通信方式を確認します。 プリンタは通常、HUB の通信モードや速度を自動で検出しますが（オートネゴシエーションモード）、HUB によっては、検出できない場合があります。その場合は、ご使用の通信方式に合わせて、手動で接続方式を設定してください。 （「通信方式を手動で設定する」参照） →P.495

TCP/IP ネットワークで印刷できない

原因	処置
プリンタの IP アドレスが正しく設定されていません。	プリンタの IP アドレスが正しく設定されていることを確認します。 （「imagePROGRAF Device Setup Utility で IP アドレスを設定する」参照） →P.271 （「プリンタの操作パネルで IP アドレスを設定する」参照） →P.473
プリンタの TCP/IP プロトコルが正しく設定されていません。	プリンタの TCP/IP プロトコルが正しく設定されていることを確認します。 （「リモート UI でプリンタに TCP/IP ネットワークの設定をする」参照） →P.477
印刷を行うコンピュータが正しく設定されていません。	コンピュータの TCP/IP 設定が正しく行われていることを確認します。 （「プリンタドライバの接続先を設定する（Windows）」参照） →P.476 （「TCP/IP ネットワークで接続先を設定する」参照） →P.488

NetWare ネットワークで印刷できない

原因	処置
プリンタの NetWare プロトコルが正しく設定されていません。	プリンタの NetWare プロトコルが正しく設定されていることを確認します。特に、有効なフレームタイプが選択されていることを確認してください。 （「リモート UI でプリンタに NetWare ネットワークの設定をする」参照） →P.485
印刷を行うコンピュータが正しく設定されていません。	コンピュータの NetWare 設定が正しく行われていることを確認します。 （「NetWare ネットワークを設定する」参照） →P.480
NetWare のサーバーやサービスが正しく設定されていません。	以下の点を確認します。 1. NetWare サーバーが起動していることを確認します。 2. NetWare サーバーに十分なディスクの空き容量があることを確認します。ディスクの空き容量が不足すると、サイズの大きいジョブを印刷できない場合があります。 3. NWADMIN または PCONSOLE を起動し、プリントサービスが正しく設定され、プリントキューが使用可能であることを確認します。 4. 他のサブネットにあるプリンタへのデータの送信に失敗する場合は、プリンタのプロトコル設定で、NCP バーストモードをオフにします。

原因	処置
NetWare のサーバーやサービスが正しく設定されていません。	**5.** キューサーバーモードで使用している場合は、プリンタタイプを[その他/不明]に設定します。

AppleTalk や Bonjour ネットワークで印刷できない

原因	処置
プリンタの AppleTalk プロトコルが有効になっていません。	AppleTalk プロトコルを有効にします。 (「プリンタに AppleTalk ネットワークの設定をする」参照) →P.492
印刷を行うコンピュータが正しく設定されていません。	コンピュータ側の AppleTalk 設定が正しく行われていることを確認します。 (「AppleTalk ネットワークで接続先を設定する」参照) →P.490 (「Bonjour ネットワークで接続先を設定する」参照) →P.489
コンピュータとプリンタが同一のネットワーク上にありません。	Bonjour 機能では、ルーターを経由した別のネットワークグループ上のプリンタで印刷することはできません。コンピュータとプリンタを同じネットワークグループに接続してください。ご使用のネットワークの設定については、ネットワーク管理者に確認してください。

インストールに関連するトラブル

コンピュータがプリンタを認識できない 568
インストールしたプリンタドライバを削除したい 568

コンピュータがプリンタを認識できない

原因	処置
操作パネルのメニューで[USB の使用]または[イーサネットの使用]が[使わない]に設定されています。	[USB の使用]または[イーサネットの使用]を[使う]に設定します。 (「メニューの設定値」参照) →P.443

インストールしたプリンタドライバを削除したい

コンピュータにインストールしたプリンタドライバやユーティリティソフトは、以下の手順で削除できます。

プリンタドライバを削除する(Windows)

プリンタドライバは、以下の手順で削除します。

メモ

- 以下の操作手順は、Windows XP のものです。削除方法は、Windows のバージョンによって異なります。

1. Windows の[スタート]メニューから[プログラム]－[Canon Printer Uninstaller]－[imagePROGRAF Printer Driver Uninstaller]を選択し、[プリンタの削除]ウィンドウを開きます。
2. 一覧からプリンタを選択し、[削除]をクリックします。
3. [警告]メッセージダイアログボックスで、[はい]をクリックします。
4. 一覧からプリンタが削除されたことを確認し、[終了]をクリックします。

プリンタドライバ/imagePROGRAF Printmonitor を削除する(Macintosh)

プリンタドライバ/imagePROGRAF Printmonitor は、以下の手順で削除します。

1. プリンタに付属の User Software CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。
2. User Software CD-ROM の中にあるプリンタドライバのインストーラを起動します。
   [OS X]フォルダ内の[iPF Driver Installer X]をダブルクリックします。
3. インストーラのウィンドウの左上のメニューから[アンインストール]を選択し、[アンインストール]をクリックします。
4. 画面に従って、プリンタドライバ/imagePROGRAF Printmonitor を削除します。

imagePROGRAF Status Monitor を削除する(Windows)

imagePROGRAF Status Monitor は、以下の手順で削除します。

メモ

- 以下の操作手順は、Windows XP のものです。削除方法は、Windows のバージョンによって異なります。

1. [スタート]メニューから[コントロールパネル]を選択します。
2. [プログラムの追加と削除]を開きます。
3. [imagePROGRAF Status Monitor]を選択し、[変更と削除]ボタンをクリックします。

imagePROGRAF Device Setup Utility を削除する(Windows)

imagePROGRAF Device Setup Utility は、以下の手順で削除します。

メモ

- 以下の操作手順は、Windows XP のものです。削除方法は、Windows のバージョンによって異なります。

1. Windows の[スタート]メニューから[プログラム]－[imagePROGRAF Device Setup Utility]－[Uninstaller (imagePROGRAF Device Setup Utility)]を選択し、ウィザードを起動します。

2. ウィザードのウィンドウで[削除]をクリックし、[次へ]をクリックします。

3. 画面に従って、imagePROGRAF Device Setup Utility を削除します。

HP-GL/2 関連のトラブル

HP-GL/2 で印刷位置がずれる 570
HP-GL/2 で線や画像が欠けて印刷される 570
HP-GL/2 で線が太く（細く）印刷される 570
HP-GL/2 でモノクロ（カラー）で印刷される 570
HP-GL/2 の線画で色味が違って印刷される 570
HP-GL/2 で指定したサイズよりも 6mm 大きく印刷される 570
HP-GL/2 で定型サイズを指定しても最大サイズで出力される 571
HP-GL/2 で出力時間が長い 571
HP-GL/2 でリプロットできない 571
HP-GL/2 でプリンタが途中で停止する（キャリッジの停止） 571

HP-GL/2 で印刷位置がずれる

原因	処置
プロッタの座標原点が違っています。	出力コマンドを確認してください。
操作パネルのメニューで［印刷余白］の設定が正しくありません。	操作パネルのメニューで［印刷余白］の設定値を変更します。

HP-GL/2 で線や画像が欠けて印刷される

原因	処置
メモリがいっぱいです。	データ容量を確認してください。
本プリンタでサポートされていない HP-GL/2 コマンドを受信しています。	印刷データや設定を確認してください。
操作パネルのメニューで［自動回転］が［オン］に設定された状態で、HP RTL コマンドを含む印刷データを受信しました。	操作パネルのメニューで［自動回転］を［オフ］に設定し、印刷してください。 （「メニューの設定値」参照） →P.443

HP-GL/2 で線が太く（細く）印刷される

原因	処置
操作パネルのメニューで［幅］の設定が正しくありません。	操作パネルのメニューで選択されている［パレット A］または［パレット B］の［ペン番号］に設定されている［幅］の設定値を確認してください。また、細い線がかすれて印刷されるような場合は、［細線強調］を［オン］に設定すると、細い線をくっきりと印刷します。 （「メニューの設定値」参照） →P.443

HP-GL/2 でモノクロ（カラー）で印刷される

原因	処置
操作パネルのメニューで［カラーモード］の設定が間違っています。	操作パネルのメニューで［カラーモード］の設定を確認してください。 （「メニューの設定値」参照） →P.443 ただし、このプリンタでは、［カラーモード］で［モノクロ］を選択した場合でも、プリントヘッドの性能維持のため微量のカラーインクを消費して印刷します。

HP-GL/2 の線画で色味が違って印刷される

原因	処置
操作パネルのメニューで［明細線補正］が［オン］に設定されている。	操作パネルのメニューで［明細線補正］を［オフ］に設定すると、思い通りの印刷結果を得られることがあります。ただし、色によっては細線が途切れて印刷される場合があります。

HP-GL/2 で指定したサイズよりも 6mm 大きく印刷される

原因	処置
アプリケーションで作成された、HP-GL/2 データのページサイズが正しくありません。	操作パネルのメニューで［ページサイズ処理 1］を［オン］に設定してください。 （「メニューの設定値」参照） →P.443

HP-GL/2 で定型サイズを指定しても最大サイズで出力される

原因	処置
アプリケーションで作成された、HP-GL/2 データのページサイズが正しくありません。	操作パネルのメニューで[ページサイズ処理 2]または[用紙節約]を[オン]に設定してください。 最適なレイアウトに変更されます。 (「メニューの設定値」参照) →P.443

HP-GL/2 で出力時間が長い

原因	処置
印刷データの容量が大きいと、印刷に時間がかかります。	印刷が終了するまで、そのまましばらくお待ちください。
操作パネルのメニューで[入力解像度]が[600dpi]に設定された状態で印刷しました。	操作パネルのメニューで[入力解像度]を[300dpi]に設定し、印刷してください。 (「メニューの設定値」参照) →P.443

HP-GL/2 でリプロットできない

原因	処置
リプロットするためのデータが無くなりました。	以下の操作を行った場合はリプロット用のデータが失われるため、印刷データを送信し直してください。 • 操作パネルからバッファクリアを行った。 • プリンタの電源をオフにした。 • プリンタが新しい HP-GL/2 データを受信した。 • 印刷のキャンセルを行った

HP-GL/2 でプリンタが途中で停止する(キャリッジの停止)

原因	処置
印刷データの解析を行っています。	印刷が終了するまで、そのまましばらくお待ちください。
操作パネルのメニューで[入力解像度]が[600dpi]に設定された状態で印刷しました。	操作パネルのメニューで[入力解像度]を[300dpi]に設定し、印刷してください。 (「メニューの設定値」参照) →P.443

その他のトラブル

電源がオンにならない 572
異常音かなと思ったときには 572
メンテナンスカートリッジの確認を指示するメッセージが消えない 572
インクが異常に消費される 572
インク残量検知機能について 573

電源がオンにならない

原因	処置
電源コードが抜けています。	コンセントに電源コードを接続してから、プリンタの電源をオンにします。
所定の電圧が供給されていません。	コンセントやブレーカーの電圧を確認します。プリンタの仕様に合った電源を使用してください。(「仕様」参照) →P.600

異常音かなと思ったときには

原因	処置
プリンタの動作音がした。	以下のような場合は、異常ではありません。 • プラテンから吸引音がする 用紙の浮き上がりを防ぐために、プラテン表面には吸引口があり、用紙を吸引しています。 • 用紙のサイズを変更したときやキャリッジが反転するときに音がする 用紙のサイズを変更したときに、用紙がない位置の吸引口の吸引を止めるために、用紙の吸引範囲を切り替える弁が自動的に切り替わり、音がする場合があります。 また、インクの吐き出しを良好にするために、印刷中にキャリッジが反転するタイミングでインクが吐き出されますが、このときに、用紙の吸引範囲を切り替える弁が自動的に切り替わり、音がする場合があります。 • 印刷中にロール紙がはためく音がする 大きいサイズの用紙が送られるときに、はためく音がする場合があります。 • 突然クリーニング動作の音がする プリンタのメンテナンスのため、所定の期間が経過するとスリープ状態でもクリーニング動作が自動実行されます。 • 突然インク攪拌動作の音がする 最適な印字品位を保つため、所定の期間が経過するごとにスリープ状態でもインク攪拌動作が自動実行されます。攪拌の動作時間は約 30 秒です。 また、以下のタイミングでもインク攪拌動作が自動実行されます。なお、操作パネルのディスプレイに[攪拌中です。]と表示されている間に他の操作はできません。 　• 電源オン後(攪拌の動作時間は、電源オフ状態の経過期間により異なります。(約 30 秒～約 2 分)) 　• データ送信後(約 1 分 30 秒後にプリント動作が開始されます。ただし、プリントデータのサイズによってはデータ受信動作から開始される場合もあります。) 　• インクタンク交換後(攪拌の動作時間は約 3 分 30 秒です。) 上記以外の場合は、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

メンテナンスカートリッジの確認を指示するメッセージが消えない

原因	処置
交換した新しいメンテナンスカートリッジが認識されていません。	交換した新しいメンテナンスカートリッジを取り外し、再度しっかり差し込み直します。

インクが異常に消費される

原因	処置
全面カラーの多数の印刷物が印刷されています。	写真など色を塗りつぶすような印刷物の場合、インクを多く消費します。異常ではありません。

原因	処置
操作パネルのメニューで[ヘッドクリーニングB]が頻繁に実行されています。	操作パネルのメニューで[ヘッドクリーニングB]を実行すると、インクを多く消費します。異常ではありません。プリンタの輸送後、長期間プリンタを使用しなかった後、またはプリントヘッドのトラブル時以外は、できる限り[ヘッドクリーニングB]を実行しないことをお勧めします。
初期充填が行われました。	初めてプリンタを使用する場合やプリンタの輸送後に使い始める場合、インクタンクとプリントヘッド間でインクの初期充填が行われるため、インクの残量表示がすぐに80%になることがあります。異常ではありません。
プリントヘッドのノズルがつまっています。	ノズルのつまりをチェックしてください。 (「ノズルのつまりをチェックする」参照) →P.523

インク残量検知機能について

一度空になったインクタンクを取り付けた場合、インク残量検知機能を無効にできます。

インク残量検知機能について

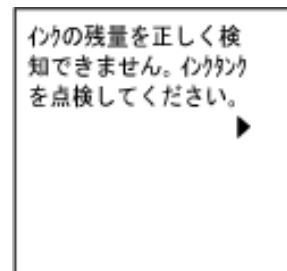
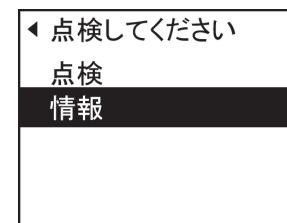
このプリンタ指定のインクタンクには、印刷中のインク切れやプリンタの故障を防止するためのインク残量検知機能があります。(「インクタンク」参照) →P.516
インクを補充したインクタンクを使用した場合、インク残量検知機能が正常に機能しなくなり、印刷が停止します。そのため、インクを補充したインクタンクを使用する場合は、インク残量検知機能を無効にする必要があります。
ただし、インク残量検知機能を無効にして印刷した場合、プリンタに損傷、異常が発生する場合があります。インクを補充したことが原因の故障につきましては、キヤノンは責任を負いかねます。

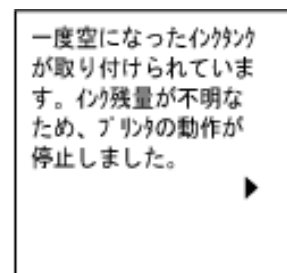
重要

- いったんインク残量検知機能を無効にすると、そのインクタンクに対するインク残量検知機能を回復させることはできません。インク残量検知機能を回復するには、プリンタ指定の新しいインクタンクに交換してください。
- 同じインクタンクを何度も抜き差しすると、インクタンクとプリンタとの接合部に不具合が生じ、インクタンクからインクが漏れてプリンタに損傷を与える場合があります。

インク残量検知機能を無効にする

1 ディスプレイに、インクの残量を検知できないというメッセージが表示されます。確認して[▶]キーを押します。

インクの残量を正しく検知できません。インクタンクを点検してください。

2 [▲]キー、[▼]キーを押して[情報]を選択し、[OK]キーを押します。

3 ディスプレイにインク残量検知機能の無効を確認するメッセージが表示されます。確認して[▶]キーを押します。

一度空になったインクタンクが取り付けられています。インク残量が不明なため、プリンタの動作が停止しました。

4 メッセージを確認して[▶]キーを押します。

印刷を続けるにはｲﾝｸ
残量検知機能を無効に
する必要があります。

5 [▲]キー、[▼]キーを押して[する]を選択し、[OK]キーを押します。

◀ 無効にしますか？
しない
する

6 メッセージを確認し、[▶]キーを押します。

ｲﾝｸﾀﾝｸにｲﾝｸが入って
いる事を確認の上、ｲﾝ
ｸ残量検知機能を無効
にしてください。
▶

7 メッセージを確認し、[▶]キーを押します。

ｷﾔﾉﾝはｲﾝｸ補充が原因
となったﾌﾟﾘﾝﾀの故障
については責任を負い
かねます。

8 [▲]キー、[▼]キーを押して[はい]を選択し、[OK]キーを押します。

◀ よろしいですか？
いいえ
はい

9 ディスプレイに、インクの情報の更新を確認するメッセージが表示されます。確認して[▶]キーを押します。

ｲﾝｸ残量検知機能を無
効にします。
履歴を残した上で実
行しますか?
▶

10 [▲]キー、[▼]キーを押して[はい]を選択し、[OK]キーを押します。

インク残量検知機能が無効になります。

エラーメッセージ一覧

GARO Wxxxx（x は数字） 596
GL2:W0502 パラメータが範囲外です。 595
GL2:W0504 サポートしていないコマンドです。 595
GL2:Wxxxx メモリがいっぱいです。（xxxx は 0501/0903/0904） 595

インクがありません。 589
インクが不足しています。 589
インク残量が少ないです。 590
インク残量を正しく検知できません。 589
インクタンクカバーを閉じてください。 589
インクタンクが空です。 590
インクタンクが装着されていません。 590
インクタンクが違います。 590
インクタンクを抜き取らないでください。 590
インクの残量を正しく検知できません。 589
印刷された出力物を確認してください。 591

上カバーが開いています。 596

エラー Exxx-xxxx（x は英数字） 596

カッターポジションが異常です。 597
カット紙印刷が指定されています。 584
カット紙印刷が指定されましたが、ロール紙がセットされています。 585
紙送り調整できません。 591
紙送り量のリミットに達しました。 587

このデータを印刷するには用紙が足りません。 583
この用紙種類は HP-GL/2 でサポートされません。 595
この用紙は使用できません。 583

ハードウェアエラー xxxxxxxx-xxxx（x は英数字） 596

ファイルを認識できませんでした。 597
フチなし印刷ができません。 587
部品交換が近付いています。 597
部品交換目安を過ぎています。 597
プリントヘッドがありません。 592
プリントヘッドが異常です。 592
プリントヘッドが違います。 592

ヘッドクリーニングを行ってください。 592
ヘッド調整できません 592

マルチセンサが異常です。 597

メンテナンスカートリッジ 残り容量が少ないです。 594
メンテナンスカートリッジが異常です。 594
メンテナンスカートリッジがいっぱいです。 594
メンテナンスカートリッジが違います。 594
メンテナンスカートリッジの残り容量がありません 594
メンテナンスカートリッジを装着してください。 594

用紙カットに失敗しました。 586
用紙が小さいです 581
用紙が小さいです。 581
用紙がつまりました 585
用紙が斜めです。 585
用紙が右側のガイドに合っていません。 586
用紙サイズを検知できません。 582
用紙種類が違います 580
用紙のセット位置がフチなし印刷に適していません。 588

用紙幅が違います 582
用紙を検知できません。..... 586

リリースレバーの位置が不正です。..... 587

ロール紙印刷が指定されています。 583
ロール紙印刷が指定されましたが､カット紙がセットされています。 584
ロール紙がなくなりました。 584
ロール紙がロールホルダーにしっかり突き当たっていません。 588

用紙関連のメッセージ

用紙種類が違います 580
用紙が小さいです 581
用紙が小さいです。 581
用紙幅が違います 582
用紙サイズを検知できません。 582
このデータを印刷するには用紙が足りません。 583
この用紙は使用できません。 583

ロール紙印刷が指定されています。 583
ロール紙印刷が指定されましたが、カット紙がセットされています。 584
ロール紙がなくなりました。 584

カット紙印刷が指定されています。 584
カット紙印刷が指定されましたが、ロール紙がセットされています。 585

用紙がつまりました 585
用紙が斜めです。 585
用紙が右側のガイドに合っていません。 586
用紙を検知できません。 586
用紙カットに失敗しました。 586
紙送り量のリミットに達しました。 587
リリースレバーの位置が不正です。 587

フチなし印刷ができません。 587
用紙のセット位置がフチなし印刷に適していません。 588

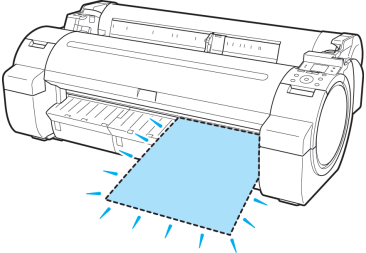
ロール紙がロールホルダーにしっかり突き当たっていません。 588

用紙種類が違います

原因	処置
操作パネルのメニューの[用紙ミスマッチ検知]が[一時停止する]に設定されているときに、プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタにセットしてある用紙の種類が合っていません。	以下の手順で、プリンタドライバの用紙の種類と、プリンタで指定した用紙の種類を合わせます。 **1.** [▲]キー、[▼]キーを押して[印刷を中止する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を中止します。 **2.** プリンタドライバで用紙の種類を変更するか、プリンタにセットしていた用紙を交換してプリンタの用紙の種類を変更します。 (「ロール紙をセットして印刷する」参照) →P.19 (「カット紙をセットして印刷する」参照) →P.21
調整パターンを複数枚のカット紙に印刷する場合に、用紙の種類が統一されていません。	調整パターンを印刷する際は、同じ種類の用紙を、調整に必要な枚数用意してください。以下の手順で用紙を交換し、調整し直します。 **1.** [▲]キー、[▼]キーを押して[印刷を中止する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を中止します。 **2.** 用紙を交換します。 (「カット紙をセットして印刷する」参照) →P.21 **3.** 操作パネルのメニューから再度調整を実行します。
	[▲]キー、[▼]キーを押して[そのまま印刷する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を続行します。 ただし、紙づまりや印刷結果に不具合が発生する可能性があります。
操作パネルのメニューの[用紙ミスマッチ検知]が[警告表示する]に設定されているときに、プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタにセットしてある用紙の種類が合っていません。	印刷は継続されますが、印刷結果に不具合が発生する可能性があります。

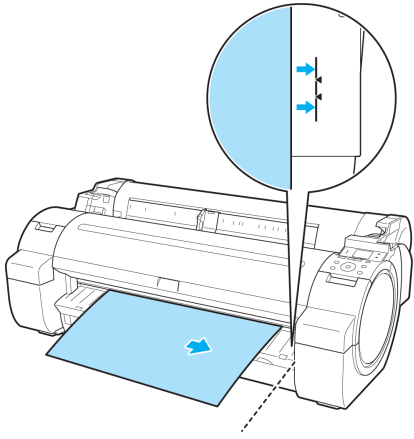
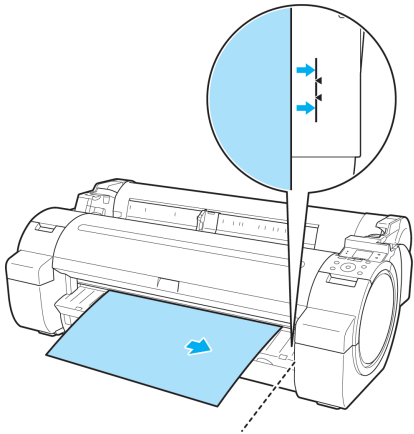
用紙が小さいです

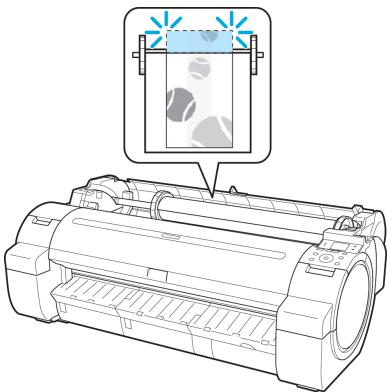
原因	処置
操作パネルのメニューの[用紙ミスマッチ検知]が[一時停止する]に設定されているときに、プリンタドライバで設定した用紙のサイズよりも小さいサイズの用紙がプリンタにセットされています。	[▲]キー、[▼]キーを押して[そのまま印刷する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を続行します。 ただし、紙づまりや印刷結果に不具合が発生する可能性があります。
	以下の手順で、プリンタにセットした用紙のサイズに合わせて、プリンタドライバの用紙サイズを設定し直します。 1. [▲]キー、[▼]キーを押して[印刷を中止する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を中止します。 2. プリンタドライバの用紙サイズ設定を、プリンタにセットした用紙のサイズに変更し、印刷し直します。
	以下の手順で、プリンタドライバで設定した用紙サイズに合わせて、プリンタの用紙を交換します。 1. [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙を交換する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を中止します。 2. プリンタドライバで設定したロール紙幅の用紙に交換し、印刷し直します。
操作パネルのメニューの[用紙ミスマッチ検知]が[警告表示する]に設定されているときに、プリンタドライバで設定した用紙のサイズよりも小さいサイズの用紙がプリンタにセットされています。	印刷は継続されますが、印刷結果に不具合が発生する可能性があります。

用紙が小さいです。

[A4/LTR 縦サイズ以上の用紙に交換してください。]

原因	処置
セットされている用紙が小さすぎます。	以下の手順で、A4/レター縦サイズ以上の用紙に交換します。 1. [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙を交換する]を選択し、[OK]キーを押して用紙を取り外します。 (「カット紙を取り外す」参照) →P.418 2. A4/レター縦サイズ以上の用紙に交換します。 (「カット紙をセットして印刷する」参照) →P.21 印刷が再開されます。
	[▲]キー、[▼]キーを押して[印刷を中止する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を中止します。

[10inch 幅以上のロール紙に交換してください。]

原因	処置
セットされている用紙が小さすぎます。	以下の手順で、10 インチ幅以上のロール紙に交換します。 1. [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙を交換する]を選択し、[OK]キーを押してロール紙を取り外します。 (「ロール紙をプリンタから取り外す」参照) →P.400 (「ロール紙からロールホルダーを取り外す」参照) →P.402 2. 10 インチ幅以上のロール紙に交換します。 (「ロール紙にロールホルダーをセットする」参照) →P.393 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.395 印刷が再開されます。
	[▲]キー、[▼]キーを押して[印刷を中止する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を中止します。

[用紙を取り外し用紙サイズを確認してください]

原因	処置
カット紙が印刷中に外れました。 	**1.** リリースレバーを後ろ側に押して用紙を取り外します。 **2.** カット紙を右側のガイドに合わせてセットし直します。 **3.** リリースレバーを手前側に引きます。 **4.** ディスプレイに[印刷が完了しなかったジョブが残っています。このジョブを印刷しますか?]と表示された場合は、[OK]キーを押します。 エラーが発生したページから、印刷が再開されます。 (「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.413

用紙幅が違います

原因	処置
操作パネルのメニューの[用紙ミスマッチ検知]が[一時停止する]に設定されているときに、プリンタドライバの[ロール紙の幅に合わせる]で設定したロール紙幅と、プリンタにセットしてあるロール紙の幅が違います。	[▲]キー、[▼]キーを押して[そのまま印刷する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を続行します。 ただし、紙づまりや印刷結果に不具合が発生する可能性があります。
	[▲]キー、[▼]キーを押して[印刷を中止する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を中止します。
	以下の手順で、プリンタドライバで設定したロール紙幅の用紙に交換します。 **1.** [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙を交換する]を選択し、[OK]キーを押してロール紙を取り外します。 (「ロール紙をプリンタから取り外す」参照) →P.400 (「ロール紙からロールホルダーを取り外す」参照) →P.402 **2.** プリンタドライバで設定した幅の用紙に交換します。 (「ロール紙にロールホルダーをセットする」参照) →P.393 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.395 印刷が開始されます。
	プリンタドライバの[ロール紙の幅に合わせる]を選択したときに表示されるダイアログボックスで設定したロール紙幅と、プリンタにセットする用紙の幅を合わせて印刷し直します。

用紙サイズを検知できません。

原因	処置
用紙のセット位置がずれているか、カールした用紙がセットされています。 	以下の手順でロール紙をセットし直します。 **1.** リリースレバーを後ろ側に押します。 **2.** ロール紙の右端をオレンジ色の紙合わせラインに平行になるように合わせます。 **3.** リリースレバーを手前側に引きます。 **4.** ディスプレイに[印刷が完了しなかったジョブが残っています。このジョブを印刷しますか?]と表示された場合は、[OK]キーを押します。 エラーが発生したページから、印刷が再開されます。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.395
	ロール紙をセットし直しても、このエラーが再び発生する場合は、ロールホルダーをプリンタから取り外し、ロール紙をロールホルダーのフランジに突き当たるまでしっかりと差し込んでから、ロールホルダーをプリンタにセットしてください。 (「ロール紙にロールホルダーをセットする」参照) →P.393
	以下の手順で、カット紙をセットし直します。 **1.** リリースレバーを後ろ側に押します。 **2.** カット紙を右側のガイドに合わせてセットします。

エラーメッセージ 用紙関連のメッセージ

原因	処置
用紙のセット位置がずれているか、カールした用紙がセットされています。 	3. リリースレバーを手前側に引きます。 4. ディスプレイに[印刷が完了しなかったジョブが残っています。このジョブを印刷しますか?]と表示された場合は、[OK]キーを押します。 エラーが発生したページから、印刷が再開されます。 (「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.413
プラテンがインクなどで汚れているので、クリアフィルムのサイズを検知できません。	上カバーを開いて、プラテン全域を清掃します。 (「上カバー内部を清掃する」参照) →P.537

このデータを印刷するには用紙が足りません。

原因	処置
操作パネルのメニューで[ロール紙残量管理]が[オン]に設定されている場合に、ロール紙の残量よりも長いサイズの印刷ジョブを受信しました。 	[▲]キー、[▼]キーを押して[そのまま印刷する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を続行します。 ただし、途中でロール紙がなくなり最後まで印刷できない可能性があります。
	[▲]キー、[▼]キーを押して[用紙を交換する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を中止します。 プリンタドライバの[給紙方法]、HP-GL/2 印刷の場合はプリンタのメニューの[GL2 設定]の[給紙方法]を変更するか、印刷ジョブが印刷可能な長さの用紙に交換して印刷し直します。 (「ロール紙をプリンタから取り外す」参照) →P.400 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.395

この用紙は使用できません。

原因	処置
プリンタがサポートしているサイズよりも小さな用紙がセットされています。	リリースレバーを後ろ側に押して、正しいサイズの用紙をセットし直します。 (「用紙のサイズ」参照) →P.388
調整用パターンやノズルチェックパターンの印刷に必要なサイズよりも小さな用紙がセットされています。	リリースレバーを後ろ側に押して、A4 以上のサイズで未使用の用紙をセットし直します。各調整により複数の用紙が必要な場合があります。

ロール紙印刷が指定されています。

原因	処置
テストプリントなどのプリンタ内部データをロール紙で印刷しようとしましたが、ロール紙がセットされていません。	[▲]キー、[▼]キーを押して[ロール紙をセットする]を選択し、[OK]キーを押して、ロール紙をセットして印刷します。 (「ロール紙にロールホルダーをセットする」参照) →P.393 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.395
	カット紙に印刷したい場合は、以下の手順で印刷します。 1. [▲]キー、[▼]キーを押して[印刷を中止する]を選択し、[OK]キーを押して、印刷を中止します。 2. カット紙をセットして印刷し直します。 (「カット紙をセットして印刷する」参照) →P.21

ロール紙印刷が指定されましたが、カット紙がセットされています。

原因	処置
カット紙がセットされているときに、ロール紙を指定した印刷ジョブを受信しました。	以下の手順で、ロール紙をセットして印刷します。 1. [▲]キー、[▼]キーを押して[カット紙を取り外す]を選択し、[OK]キーを押してカット紙を取り外します。 (「カット紙を取り外す」参照) →P.418 2. ロール紙をセットします。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.395 印刷が開始されます。
	[▲]キー、[▼]キーを押して[印刷を中止する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を中止します。

ロール紙がなくなりました。

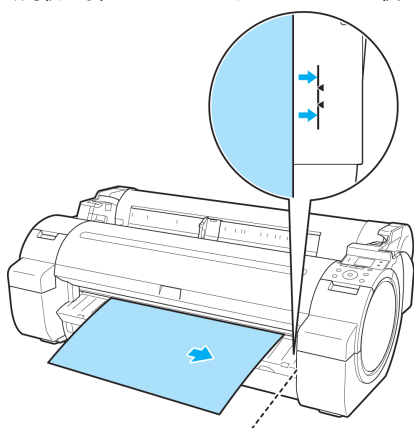
原因	処置
ロール紙がなくなりました。	以下の手順で、使用していたロール紙と同じサイズ、種類のロール紙に交換します。 1. リリースレバーを後ろ側に押して、ロール紙を取り外します。 (「ロール紙をプリンタから取り外す」参照) →P.400 (「ロール紙からロールホルダーを取り外す」参照) →P.402 2. 新しいロール紙をセットします。 (「ロール紙にロールホルダーをセットする」参照) →P.393 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.395 3. ロール紙にバーコードが印刷されていない場合は、用紙の種類を選択します。 (「用紙の種類を変更する」参照) →P.398 4. 操作パネルのメニューで[ロール紙残量管理]が[オン]に設定されていて、ロール紙にバーコードが印刷されていない場合は、用紙の長さを設定します。 (「用紙の長さを設定する」参照) →P.399 5. ディスプレイに[印刷が完了しなかったジョブが残っています。このジョブを印刷しますか?]と表示された場合は、[OK]キーを押します。 エラーが発生したページから、印刷が再開されます。 メッセージが表示されない場合は、次のページから印刷されます。
ロール紙はありますが、用紙送りに失敗して検知できませんでした。	ロール紙の未使用部が重いため負荷がかかっています。印字モードを変更すると紙送りのタイミングが変わるため改善する可能性があります。 プリンタドライバの[詳細設定モード]の[印刷品質]で、より高品質の設定を選択します。 (「印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する」参照) →P.56

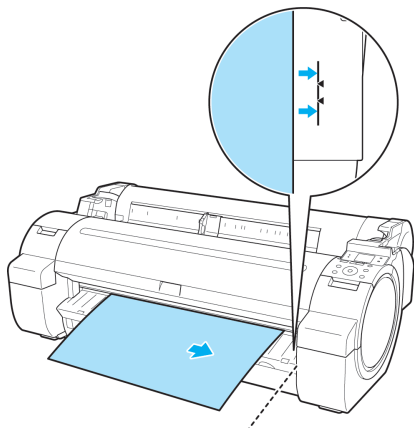
カット紙印刷が指定されています。

原因	処置
テストプリントなどのプリンタ内部データをカット紙で印刷しようとしましたが、カット紙がセットされていません。	[▲]キー、[▼]キーを押して[カット紙をセットする]を選択し、[OK]キーを押して、カット紙をセットして印刷します。 (「カット紙をセットして印刷する」参照) →P.21
	ロール紙に印刷したい場合は、以下の手順で印刷します。 1. [▲]キー、[▼]キーを押して[印刷を中止する]を選択し、[OK]キーを押して、印刷を中止します。 2. ロール紙をセットして印刷し直します。 (「ロール紙をセットして印刷する」参照) →P.19

カット紙印刷が指定されましたが、ロール紙がセットされています。

原因	処置
ロール紙がセットされている状態で、カット紙印刷のデータを受信しました。	1. [▲]キー、[▼]キーを押して[ロール紙を取り外す]を選択し、[OK]キーを押して印刷を中止します。 2. ロール紙を取り外し、プリンタドライバで指定したサイズ/種類のカット紙をセットして印刷し直します。 (「ロール紙をプリンタから取り外す」参照) →P.400 (「カット紙をセットして印刷する」参照) →P.21

用紙がつまりました

[リリースレバーを後ろに押してください。]

原因	処置
印刷中に用紙がプリンタ内部でつまりました。	1. リリースレバーを後ろ側に押して、つまった用紙を取り除きます。 (「ロール紙のつまりを取り除く」参照) →P.552 (「カット紙のつまりを取り除く」参照) →P.554 2. 用紙をセットします。 3. リリースレバーを手前側に引きます。 4. ディスプレイに[印刷が完了しなかったジョブが残っています。このジョブを印刷しますか?]と表示された場合は、[OK]キーを押します。 エラーが発生したページから、印刷が再開されます。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.395 (「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.413

[用紙を手動で全て巻き戻して[OK]を押してください。]

原因	処置
給紙中に用紙がつまりました。	1. ロールホルダーの用紙を手動ですべて巻き戻して[OK]キーを押します。 2. 用紙をセットします。 3. ディスプレイに[印刷が完了しなかったジョブが残っています。このジョブを印刷しますか?]と表示された場合は、[OK]キーを押します。 エラーが発生したページから、印刷が再開されます。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.395

用紙が斜めです。

原因	処置
紙送り中に、用紙が斜めにセットされていることを検知しました。 	以下の手順でロール紙をセットし直します。 1. リリースレバーを後ろ側に押します。 2. ロール紙の右端をオレンジ色の紙合わせラインに平行になるように合わせます。 3. リリースレバーを手前側に引きます。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.395
	ロール紙をセットし直しても、このエラーが再び発生する場合は、ロールホルダーをプリンタから取り外し、ロール紙をロールホルダーのフランジに突き当たるまでしっかりと差し込んでから、ロールホルダーをプリンタにセットしてください。 (「ロール紙にロールホルダーをセットする」参照) →P.393
	以下の手順で、カット紙をセットし直します。 1. リリースレバーを後ろ側に押します。 2. カット紙を引き抜きます。 3. リリースレバーを手前側に引きます。

原因	処置
紙送り中に、用紙が斜めにセットされていることを検知しました。	**4.** カット紙を右側のガイドに合わせてセットし直します。 (「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.413

重要

- 上記の手順を繰り返してもこのメッセージが表示される場合やこのメッセージを表示したくない場合は、プリンタのメニューの[斜行検知精度]で[オフ]または[ゆるめ]を選択します。ただし、用紙が斜めのまま印刷されるため、紙づまりや印刷結果に不具合が発生したり、プラテンが汚れ、次に印刷するときに用紙の裏が汚れる可能性があります。

用紙が右側のガイドに合っていません。

原因	処置
用紙セット時に、用紙が右端のガイドに合っていません。	以下の手順で、カット紙をセットし直します。 **1.** リリースレバーを後ろ側に押します。 **2.** カット紙を引き抜きます。 **3.** リリースレバーを手前側に引きます。 **4.** カット紙を右側のガイドに合わせてセットし直します。

用紙を検知できません。

原因	処置
用紙が外れてしまいました。	以下の手順で、カット紙をセットし直します。 **1.** 用紙を取り除いて、[OK]キーを押します。 **2.** カット紙を右側のガイドに合わせてセットし直します。 (「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.413
	以下の手順で、カット紙をセットし直します。 **1.** リリースレバーを後ろ側に押して、用紙を取り除きます。 **2.** リリースレバーを手前側に引きます。 **3.** カット紙を右側のガイドに合わせてセットし直します。 (「カット紙をプリンタにセットする」参照) →P.413

用紙カットに失敗しました。

原因	処置
カットされた用紙が排紙ガイド上に残っています。	**1.** リリースレバーを後ろ側に押して、用紙を取り除きます。 **2.** 用紙をセットします。 **3.** リリースレバーを手前側に引きます。 **4.** ディスプレイに[印刷が完了しなかったジョブが残っています。このジョブを印刷しますか?]と表示された場合は、[OK]キーを押します。 エラーが発生したページから、印刷が再開されます。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.395

原因	処置
排紙口付近に異物があり、カッターユニットがぶつかっています。	**1.** 上カバーを開けて、異物を取り除きます。 **2.** ディスプレイに[印刷が完了しなかったジョブが残っています。このジョブを印刷しますか?]と表示された場合は、[OK]キーを押します。 エラーが発生したページから、印刷が再開されます。
用紙の推奨使用環境で使用していません。	用紙の推奨使用環境範囲内で使用します。用紙ごとに推奨使用環境が異なります。推奨使用環境については、用紙リファレンスガイドを参照してください。 (「用紙リファレンスガイド」参照)
オートカットに対応していない用紙を使用しています。	**1.** ロール紙のカット方法を[ユーザーカット]に設定してロール紙をはさみなどでカットします。 (「ロール紙のカット方法を設定する」参照) →P.406 オートカットの対応については、用紙リファレンスガイドを参照してください。 (「用紙リファレンスガイド」参照) **2.** リリースレバーを後ろ側に押して、用紙を取り除きます。
上記以外の場合、カッターユニットが故障している可能性があります。	キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

紙送り量のリミットに達しました。

原因	処置
操作パネルの[▲]キーを押して、ロール紙を先端まで巻き戻そうとしています。	[▲]キーから指を離します。

リリースレバーの位置が不正です。

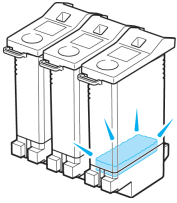
原因	処置
リリースレバーが後ろ側に押されています。	リリースレバーを手前側に引きます。 電源をオフにしてしばらくしてから電源をオンにします。

フチなし印刷ができません。

原因	処置
フチなし印刷に対応していない用紙の種類あるいは紙幅が指定されたデータを受信しました。	以下の手順で、フチなし印刷できるように印刷ジョブを設定し直します。 **1.** [▲]キー、[▼]キーを押して[印刷を中止する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を中止します。 **2.** ご使用のプリンタ専用のプリンタドライバが選択されていることを確認し、印刷し直します。 フチなし印刷できる用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。 (「用紙リファレンスガイド」参照)
	操作パネルのメニューの[用紙ミスマッチ検知]を[警告表示する]に設定している場合は、[検知しない]に設定します。 ただし、紙づまりや印刷結果に不具合が発生する可能性があります。
	[▲]キー、[▼]キーを押して[フチありで印刷する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を続けた場合は、フチのある印刷になります。
プリンタにセットしてある用紙がフチなし印刷をサポートしていないサイズの用紙です。	[▲]キー、[▼]キーを押して[印刷を中止する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を中止します。
	以下の手順で、フチなし印刷できるプリンタの用紙に交換します。 **1.** [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙を交換する]を選択し、[OK]キーを押してロール紙を取り外します。 (「ロール紙をプリンタから取り外す」参照) →P.400 (「ロール紙からロールホルダーを取り外す」参照) →P.402 **2.** フチなし印刷できるプリンタの用紙に交換します。 (「ロール紙にロールホルダーをセットする」参照) →P.393 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.395 印刷が開始されます。 フチなし印刷できる用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。

原因	処置
プリンタにセットしてある用紙がフチなし印刷をサポートしていないサイズの用紙です。	(「用紙リファレンスガイド」参照)
	[▲]キー、[▼]キーを押して[フチありで印刷する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を続けた場合は、フチのある印刷になります。

用紙のセット位置がフチなし印刷に適していません。

原因	処置
使用環境によってロール紙が伸びたり、縮んだりするため、フチなし印刷可能な幅に入らなくなる場合があります。	[▲]キー、[▼]キーを押して[印刷を中止する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を中止します。 用紙種類ごとの使用環境範囲内で使用してください。用紙の使用環境については、用紙リファレンスガイドを参照してください。 (「用紙リファレンスガイド」参照)
	操作パネルのメニューで[用紙ミスマッチ検知]が[警告表示する]に設定されている場合は、[検知しない]に設定します。 ただし、印刷結果に不具合が発生する可能性があります。
用紙のセット位置がずれています。	[▲]キー、[▼]キーを押して[用紙の位置を直す]を選択し、用紙の端部がフチなし印刷インク受け溝の幅に入るようにセットし直します。 ロール紙はロールホルダーのフランジに突き当たるまでしっかりと差し込みます。 (「ロール紙にロールホルダーをセットする」参照) →P.393
	操作パネルのメニューで[用紙ミスマッチ検知]が[警告表示する]に設定されている場合は、[検知しない]に設定します。 ただし、印刷結果に不具合が発生する可能性があります。
	[▲]キー、[▼]キーを押して[フチありで印刷する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を続けた場合は、フチのある印刷になります。

ロール紙がロールホルダーにしっかり突き当たっていません。

原因	処置
用紙セット時に、ロール紙がロールホルダーにしっかり突き当たっていません。	以下の手順で、ロール紙をセットし直します。 1. [OK]キーを押して、ロールホルダーをプリンタから取り外します。 2. ロール紙をロールホルダーのフランジに突き当たるまでしっかりと差し込みます。(「ロール紙にロールホルダーをセットする」参照) →P.393 3. ロールホルダーをプリンタにセットします。

インク関連のメッセージ

インクが不足しています。 589
インクがありません。 589
インクの残量を正しく検知できません。 589
インク残量を正しく検知できません。 589
インクタンクカバーを閉じてください。 589
インクタンクが空です。 590
インク残量が少ないです。 590
インクタンクが装着されていません。 590
インクタンクが違います。 590
インクタンクを抜き取らないでください。 590

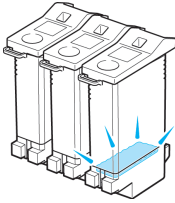
インクが不足しています。

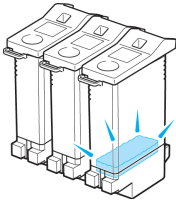
原因	処置
インクの残量が少ないため、プリントヘッドのクリーニングや印刷など、インクを使用する機能が実行できません。	[▲]キー、[▼]キーを押して[インクタンク交換]を選択し、[OK]キーを押して、残量の少ないインクタンクを新しいインクタンクに交換します。 (「インクタンクを交換する」参照) →P.516
	[▲]キー、[▼]キーを押して[印刷続行]を選択し、[OK]キーを押して印刷を続行します。ただし、印刷結果に不具合が発生する可能性があります。

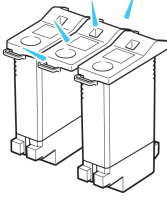
インクがありません。

原因	処置
インクがなくなりました。	[OK]キーを押してインクタンクカバーを開き、インクランプが点滅している色のインクタンクを交換します。 (「インクタンクを交換する」参照) →P.516 Tbend:

インクの残量を正しく検知できません。

原因	処置
インクを補充したインクタンクを使用した場合、インク残量検知機能が正常に機能しなくなります。	インクを補充したインクタンクはそのままでは使用できません。[インク残量検知機能について]を参照し、必要な処置を行ってください。(「インク残量検知機能について」参照) →P.573

インク残量を正しく検知できません。

原因	処置
インクの残量を正しく検知できませんでした。	インクタンクカバーを閉じてください。 エラーが解除されると、ブザーが鳴り止みます。

インクタンクカバーを閉じてください。

原因	処置
インクタンクカバーが開いています。	インクタンクカバーを閉めます。

インクタンクが空です。

原因	処置
インクタンクのインクがなくなりました。	インクタンクカバーを開き、インクランプが点滅している色のインクタンクを交換します。(「インクタンクを交換する」参照) →P.516

インク残量が少ないです。

原因	処置
インクの残量が少なくなっています。	新しいインクタンクを準備します。 長尺印刷や多部数の印刷の場合は、残量の少ないインクタンクを新しいインクタンクに交換することをお勧めします。

インクタンクが装着されていません。

原因	処置
インクタンクがセットされていません。	インクタンクをセットし直します。 (「インクタンクを交換する」参照) →P.516
インクタンクにトラブルが発生しました。	新しいインクタンクに交換します。 (「インクタンクを交換する」参照) →P.516

インクタンクが違います。

原因	処置
使用できないインクタンクがセットされています。	プリンタ指定のインクタンクをセットします。 (「インクタンクを交換する」参照) →P.516

インクタンクを抜き取らないでください。

原因	処置
インクの残量を正しく検知できませんでした。	取り外したインクタンクを取り付けてください。 エラーが解除されると、ブザーが鳴り止みます。

印刷／調整関連のメッセージ

紙送り調整できません。 591
印刷された出力物を確認してください。 591

紙送り調整できません。

原因	処置
プリントヘッドのノズルがつまっています。	以下の手順を行い、[画質調整]をやり直してください。 1. [OK]キーを押してエラーを解除します。 2. ノズルチェックパターンを印刷してノズルの状態を調べます。 (「ノズルのつまりをチェックする」参照) →P.523 3. ノズルがつまっている場合は、プリントヘッドをクリーニングします。 (「プリントヘッドをクリーニングする」参照) →P.524 4. [画質調整]をやり直します。 (「横スジを自動で調整する(画質調整)」参照) →P.508
用紙の送り量を自動で調整できない透過性の高いフィルム系の用紙がセットされています。	[OK]キーを押してエラーを解除し、用紙の送り量を手動で調整します。 (「横スジを手動で調整する(画質調整)」参照) →P.509

印刷された出力物を確認してください。

原因	処置
プリントヘッドのノズルがつまり始めています。	印刷物がかすれている場合は、プリントヘッドをクリーニングします。 (「プリントヘッドをクリーニングする」参照) →P.524

プリントヘッド関連のメッセージ

ヘッド調整できません 592
プリントヘッドが違います。 592
プリントヘッドが異常です。 592
プリントヘッドがありません。 592
ヘッドクリーニングを行ってください。 592

ヘッド調整できません

原因	処置
プリントヘッドのノズルがつまっています。	以下の手順を行い、[ヘッド位置調整]をやり直してください。 1. [OK]キーを押してエラーを解除します。 2. ノズルチェックパターンを印刷してノズルの状態を調べます。 (「ノズルのつまりをチェックする」参照) →P.523 3. ノズルがつまっている場合は、プリントヘッドをクリーニングします。 (「プリントヘッドをクリーニングする」参照) →P.524 4. [ヘッド位置調整]をやり直します。 (「縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する(ヘッド位置調整)」参照) →P.500
プリントヘッドの調整ができない、透過性の高いフィルム系の用紙がセットされています。	[OK]キーを押してエラーを解除します。 プリントヘッドを調整する場合は、フィルム系以外の使用頻度が高い用紙で調整することをお勧めします。 (「縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する(ヘッド位置調整)」参照) →P.500
プリントヘッドが傾いて取り付けられています。	以下の手順で、プリントヘッドの傾きを調整してから[ヘッド位置調整]をやり直してください。 1. [OK]キーを押してエラーを解除します。 2. [ヘッド傾き調整]を行い、プリントヘッドの傾きを調整します。 (「罫線のずれを調整する(ヘッド傾き調整)」参照) →P.503 3. [ヘッド位置調整]をやり直します。 (「縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する(ヘッド位置調整)」参照) →P.500

プリントヘッドが違います。

原因	処置
使用できないプリントヘッドが取り付けられています。	上カバーを開けて、新しいプリントヘッドに交換します。 (「プリントヘッドを交換する」参照) →P.525

プリントヘッドが異常です。

原因	処置
プリントヘッドに異常があります。	上カバーを開けて、新しいプリントヘッドに交換します。 (「プリントヘッドを交換する」参照) →P.525

プリントヘッドがありません。

原因	処置
プリントヘッドが取り付けられていません。	プリントヘッドを取り付けます。 (「プリントヘッドを交換する」参照) →P.525

ヘッドクリーニングを行ってください。

原因	処置
プリントヘッドのノズルがつまっています。	以下の手順で、プリントヘッドをクリーニングしてください。 1. [▲]キー、[▼]キーを押して[印刷を中止する]を選択し、印刷を中止します。 2. プリントヘッドをクリーニングします。 (「プリントヘッドをクリーニングする」参照) →P.524

<table>
<tr><th>原因</th><th>処置</th></tr>
<tr><td rowspan="3">プリントヘッドのノズルがつまっています。</td><td>それでも印刷時にこのメッセージが表示される場合はプリントヘッドを交換してください。
(「プリントヘッドを交換する」参照) →P.525</td></tr>
<tr><td>[▲]キー、[▼]キーを押して[そのまま印刷する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を続行します。ただし、印刷結果に不具合が発生する可能性があります。</td></tr>
<tr><td>ディスプレイに[OK]と表示された場合は、以下の手順で、プリントヘッドをクリーニングしてください。
1. 操作パネルの[OK]キーを押して印刷を中止します。
2. プリントヘッドをクリーニングします。
(「プリントヘッドをクリーニングする」参照) →P.524
それでも印刷時にこのメッセージが表示される場合はプリントヘッドを交換してください。
(「プリントヘッドを交換する」参照) →P.525</td></tr>
</table>

メンテナンスカートリッジ関連のメッセージ

メンテナンスカートリッジを装着してください。 594
メンテナンスカートリッジが違います。 594
メンテナンスカートリッジ 残り容量が少ないです。 594
メンテナンスカートリッジの残り容量がありません 594
メンテナンスカートリッジがいっぱいです。 594
メンテナンスカートリッジが異常です。 594

メンテナンスカートリッジを装着してください。

原因	処置
メンテナンスカートリッジが取り付けられていません。	メンテナンスカートリッジを取り付けます。 (「メンテナンスカートリッジを交換する」参照) →P.531

メンテナンスカートリッジが違います。

原因	処置
違う機種のメンテナンスカートリッジが取り付けられました。	ご使用のプリンタ専用のメンテナンスカートリッジと交換してください。

メンテナンスカートリッジ 残り容量が少ないです。

原因	処置
メンテナンスカートリッジの残り容量が少なくなってきました。	印刷は続行されますが、メンテナンスカートリッジ交換のメッセージに備えて新しいメンテナンスカートリッジを準備します。

メンテナンスカートリッジの残り容量がありません

原因	処置
プリントヘッドのクリーニングなどを実行するのに十分なメンテナンスカートリッジの残り容量がありません。	プリンタの動作が停止していることを確認し、メンテナンスカートリッジを交換します。 (「メンテナンスカートリッジを交換する」参照) →P.531

メンテナンスカートリッジがいっぱいです。

原因	処置
メンテナンスカートリッジの残り容量がなくなりました。	プリンタの動作が停止していることを確認し、メンテナンスカートリッジを交換します。 (「メンテナンスカートリッジを交換する」参照) →P.531

メンテナンスカートリッジが異常です。

原因	処置
使用できない、または使用済みのメンテナンスカートリッジが取り付けられています。	プリンタ指定の未使用のメンテナンスカートリッジを取り付けます。 (「メンテナンスカートリッジを交換する」参照) →P.531

HP-GL/2 関連のメッセージ

この用紙種類は HP-GL/2 でサポートされません。 595

GL2:Wxxxx メモリがいっぱいです。(xxxx は 0501/0903/0904) 595
GL2:W0502 パラメータが範囲外です。 595
GL2:W0504 サポートしていないコマンドです。 595

この用紙種類は HP-GL/2 でサポートされません。

原因	処置
HP-GL/2 に対応していない用紙が給紙された状態で HP-GL/2 の印刷データを受信しました。	以下の手順でプリンタの用紙の種類を交換します。 1. [▲]キー、[▼]キーを押して[印刷を中止する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を中止します。 2. HP-GL/2 に対応した用紙に交換して印刷し直します。HP-GL/2 に対応した用紙については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類」参照) →P.388
	[▲]キー、[▼]キーを押して[そのまま印刷する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を続行します。ただし、紙づまりや印刷結果に不具合が発生する可能性があります。

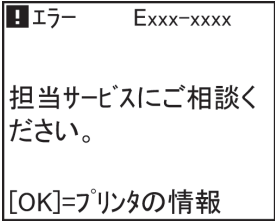
GL2:Wxxxx メモリがいっぱいです。(xxxx は 0501/0903/0904)

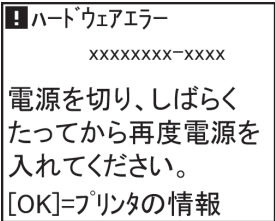
原因	処置
プリンタのメモリがいっぱいになりました。	受信した印刷データが欠けているため、印刷も一部分が欠けている可能性があります。印刷結果を確認してください。

GL2:W0502 パラメータが範囲外です。

原因	処置
HP-GL/2 コマンドで指定されたパラメータがサポートされている範囲を超えています。	印刷データを確認してください。
	操作パネルのメニューの[処理オプション]で、[警告表示]を[オン]に設定している場合は、[オフ]に設定します。

GL2:W0504 サポートしていないコマンドです。

原因	処置
サポートしていない HP-GL/2 コマンドを受信しました。	印刷データを確認してください。
	操作パネルのメニューの[処理オプション]で、[警告表示]を[オン]に設定している場合は、[オフ]に設定します。

その他のメッセージ

GARO Wxxxx(x は数字) 596
エラー Exxx-xxxx(x は英数字) 596
ハードウェアエラー xxxxxxxx-xxxx(x は英数字) 596
上カバーが開いています。 596
部品交換が近付いています。 597
部品交換目安を過ぎています。 597
ファイルを認識できませんでした。 597
マルチセンサが異常です。 597
カッターポジションが異常です。 597

GARO Wxxxx(x は数字)

原因	処置
印刷ジョブに問題があります。	正しいプリンタドライバを使用して、印刷し直します。
	そのまま印刷が続行されます。 但し、意図通りの印刷結果が得られない場合があります。

エラー Exxx-xxxx(x は英数字)

原因	処置
お客様では対処の出来ないエラーが発生している可能性があります。 エラー　Exxx-xxxx 担当サービスにご相談ください。 [OK]=プリンタの情報	エラーコードとメッセージをメモに書き留めてから電源をオフにし、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

ハードウェアエラー xxxxxxxx-xxxx(x は英数字)

原因	処置
印刷中にロール紙がなくなりました。ロール紙の後端とロール紙の芯がテープで止められているため、搬送が止まっています。	電源をオフにして、ロール紙をプリンタから取り外してから電源をオンにしてください。
上カバー内部のテープやベルトストッパが取り外されていません。	電源をオフにして、上カバーを開きテープやベルトストッパを取り外してから電源をオンにしてください。
お客様では対処の出来ないエラーが発生している可能性があります。 ハードウェアエラー xxxxxxxx-xxxx 電源を切り、しばらくたってから再度電源を入れてください。 [OK]=プリンタの情報	電源をオフにし、3 秒以上待ってから電源をオンにしてください。再びメッセージが表示される場合は、エラーコードとメッセージをメモに書き留めてから電源をオフにし、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

上カバーが開いています。

原因	処置
上カバーが開いた状態を検知しました。	上カバーを開け、異物などが挟まってる場合は取り除いたあと、上カバーを閉め直します。
	このエラーが再び発生する場合は、上カバーを閉めて、電源をオフにし、しばらくしてから電源をオンにします。

部品交換が近付いています。

原因	処置
サービス交換が必要な消耗部品の交換時期が近付いています。	[部品交換目安を過ぎています。]と表示されるまでは、しばらく使用することができます。キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

部品交換目安を過ぎています。

原因	処置
サービス交換が必要な消耗部品の交換時期の目安を過ぎています。	キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

ファイルを認識できませんでした。

原因	処置
プリンタを最新状態にするために送信した用紙情報などのデータ形式が間違っています。	データを確認してください。電源を切り、しばらくたってから再度電源を入れてデータを送信し直します。
違う機種のファームウェアがアップロードされています。	ファームウェアを確認してください。電源を切りしばらくたってから再度電源を入れて、ファームウェアを送信し直します。
	再びメッセージが表示される場合は、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

マルチセンサが異常です。

原因	処置
直射日光など、強い光がプリンタに当たり、センサが誤動作している可能性があります。	直射日光など、強い光がプリンタに当たらない環境で使用します。
プリンタ内部のセンサの一部の性能が低下している可能性があります。	電源をオフにし、3 秒以上待ってから電源をオンにしてください。 再びメッセージが表示される場合は、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

カッターポジションが異常です。

原因	処置
用紙をカットできずに、カッターユニットが途中で停止しています。	**1.** リリースレバーを後ろ側に押して、用紙を取り除きます。 **2.** リリースレバーを手前側に引きます。

プリンタの仕様

仕様 600
印刷領域 602

仕様

重要

- 使用環境によって、下記の数値と異なる場合があります。

プリンタ

電源			AC 100～240 V(50/60 Hz)
消費電力	動作時		140W 以下
	スリープモード時		100～120V:5W 以下 220～240V:6W 以下
	電源オフ時		0.5W 以下(*1)
稼動音(*2)	動作時(音圧レベル/LWAd)		約 50dB(A)/約 6.6B
	待機時		35dB(A)以下
動作環境	温度		15～30℃
	湿度		10～80%(結露なきこと)
寸法(幅×奥行×高さ mm)	本体とスタンド	バスケットを使用しないとき	1,304×708×1,062 mm
		通常ポジション	1,304×887×1,062 mm
		取り出しポジション A	
		取り出しポジション B	1,304×1,100×1,062 mm
質量	本体とスタンド(プリントヘッド、インクタンクを含まない)		約 63.9kg
設置面積(幅×奥行×高さ mm)	本体とスタンド		1,704×1,700×1,362 mm
規格適合	国際エネルギースタープログラム、グリーン購入法、エコマーク、GPN、RoHS、ECO Declaration、WEEE、米国大統領令、中国 RoHS		

*1: 電源をオフにした状態でも、若干の電力が消費されます。電力消費量を 0 にする場合は、電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

*2: 測定方法は ISO7779 に基づいています。動作時の印刷条件は、ドライバの[基本設定]シートで[用紙の種類]を普通紙、[詳細設定モード]の[優先画質]を[線画・文字]、[印刷品質]を[標準]に設定しています。

印刷性能

印刷方式	バブルジェット方式
最高解像度	2400 dpi(横)(*1) × 1200 dpi(縦)
プリントヘッド	PF-04
ノズル数	MBK:5120 ノズル　その他:各色 2560 ノズル

*1: 最小 1/2400 インチのドット(インク滴)間隔でプリントします。

メモリ

メモリ	256MB

インタフェース

USB	形状	本体内蔵
	モード	Full Speed(12 Mbit/sec)、High Speed(480 Mbit/sec)、バルク転送
	コネクタ形状	シリーズ B(4 ピン)

Ethernet	形状	本体内蔵
	規格	IEEE 802.3 10Base-T、IEEE 802.3u 100Base-TX/Auto-Negotiation、IEEE 802.3ab1000Base-T/Auto-Negotiation、IEEE 802.3x Full Duplex
	プロトコル	IPX/SPX(Netware 4.2(J)、5.1(J)、6.0(J))、SNMP(Canon-MIB 対応)、TCP/IP(IPv4/IPv6)、AppleTalk、HTTP

インク

インクタンク	MBK インクタンク(マットブラックインク)	顔料インク	PFI-102MBK
	BK インクタンク(ブラックインク)	染料インク	PFI-102BK
	C インクタンク(シアンインク)	染料インク	PFI-102C
	M インクタンク(マゼンタインク)	染料インク	PFI-104M
	Y インクタンク(イエローインク)	染料インク	PFI-102Y
容量			各色 130ml(*1)

*1: プリンタに同梱のスターターインクタンクは各色 90ml

用紙

プリンタに対応する用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙リファレンスガイド」参照)

用紙幅	ロール紙	254.0〜914.4 mm
	カット紙	203.2〜917.0 mm
1 ページの用紙長さ(*2)	ロール紙	203.2(*1)〜18,000 mm
	カット紙	279.4〜1,600 mm
用紙厚さ	ロール紙	0.07〜0.8 mm
	カット紙	0.07〜0.8 mm
[用紙サイズ]	ロール紙(幅)	[36 インチロール(914.4mm)]、[ISO A0/A1 ロール(841.0mm)]、[30 インチロール(762.0mm)]、[JIS B1/B2 ロール(728.0mm)]、[24 インチロール(609.6mm)]、[ISO A1/A2 ロール(594.0mm)]、[JIS B2/B3 ロール(515.0mm)]、[17 インチロール(431.8mm)]、[ISO A2/A3 ロール(420.0mm)]、[16 インチロール(406.4mm)]、[14 インチロール(355.6mm)]、[300mm ロール(300.0mm)]、[ISO A3/A4 ロール(297.0mm)]、[JIS B4 ロール(257.0mm)]、[10 インチロール(254.0mm)]
	カット紙	[ISO A0]、[ISO A1]、[ISO A2 ノビ]、[ISO A2]、[ISO A3 ノビ]、[ISO A3]、[ISO A4]、[ISO B1]、[ISO B2]、[ISO B3]、[ISO B4]、[JIS B1]、[JIS B2]、[JIS B3]、[JIS B4]、[34"x44"(ANSI E)]、[28"x40"(ANSI F)]、[22"x34"(ANSI D)]、[17"x22"(ANSI C)]、[13"x19"(Super B)]、[11"x17"(Ledger)]、[Legal (8.5"x14")]、[Letter(8.5"x11")]、[36"x48"(ARCH E)]、[30"x42"(ARCH E1)]、[26"x38"(ARCH E2)]、[27"x39"(ARCH E3)]、[24"x36"(ARCH D)]、[18"x24"(ARCH C)]、[12"x18"(ARCH B)]、[9"x12"(ARCH A)]、[DIN C0]、[DIN C1]、[DIN C2]、[DIN C3]、[DIN C4]、[大全 (20"x24")]、[全紙 (18"x22")]、[半切 (14"x17")]、[小半切 (12"x16")]、[四切 (10"x12")]、[四切ワイド (10"x15")]、[US フォト (16"x20")]、[ポスター 20"x30"]、[ポスター 30"x40"]、[13"x22"]、[ポスター 300x900mm]
印刷領域	通常サイズ	印刷可能領域 • ロール紙 上端:3 mm、下端:3 mm、左右端:3 mm • カット紙 上端:3 mm、下端:23 mm、左右端:3 mm 印刷推奨領域については、「印刷領域」を参照してください。→P.602
	フチなしサイズ(*2)	印刷可能領域(ロール紙) 上端:0 mm、下端:0 mm、左右端:0 mm

仕様 プリンタの仕様

フチなし対応用紙幅	[36 インチロール(914.4mm)]、[ISO A0/A1 ロール(841.0mm)]、[JIS B1/B2 ロール(728.0mm)]、[24 インチロール(609.6mm)]、[ISO A1/A2 ロール(594.0mm)]、[JIS B2/B3 ロール(515.0mm)]、[17 インチロール(431.8mm)]、[ISO A2/A3 ロール(420.0mm)]、[14 インチロール(355.6mm)]、[300mm ロール(300.0mm)]、[ISO A3/A4 ロール(297.0mm)]、[JIS B4 ロール(257.0mm)]、[10 インチロール(254.0mm)]

*1: 用紙の種類やサイズによって、印刷できない場合があります。

*2: OS およびアプリケーションにより異なります。

オプション

ロールホルダーセット	RH2-33

印刷領域

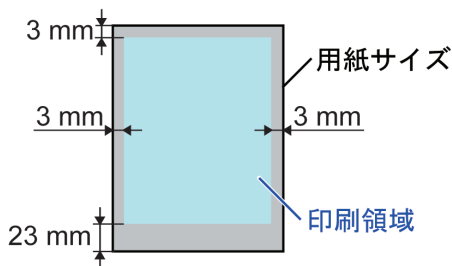
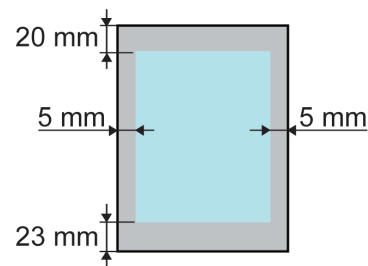
プリンタは、プリンタにセットされている用紙のサイズに対して、印刷動作のための余白を必要とします。フチなし印刷の場合を除き、用紙のサイズから余白を除いたサイズが実際の印刷領域になります。

メモ

- 印刷可能領域:印刷できる範囲です。
- ロール紙でフチなし印刷した場合は、余白は 0 mm になります。
- 印刷推奨領域:この範囲に印刷することをお勧めします。
- 原稿のサイズと実際の印刷領域を一致させるには、必要な余白を加えたオーバーサイズの用紙サイズを使用して印刷します。(「オーバーサイズの用紙サイズに印刷する」参照) →P.75

	印刷可能領域での余白			印刷推奨領域での余白		
	上端	下端	左右端	上端	下端	左右端
カット紙	3 mm	23 mm	3 mm	20 mm	23 mm	5 mm
ロール紙	0/3 mm	0/3 mm	0/3 mm	20 mm	5 mm	5 mm

カット紙

印刷可能領域

印刷推奨領域

- 印刷可能領域

  上端 3 mm、下端 23 mm、左右端 3 mm が必要な余白です。

- 印刷推奨領域

  上端 20 mm、下端 23 mm、左右端 5 mm が必要な余白です。

仕様
プリンタの仕様

ロール紙

印刷可能領域

0/3 mm
用紙サイズ
0/3 mm
0/3 mm
印刷領域
0/3 mm

印刷推奨領域

20 mm
5 mm
5 mm
5 mm

- 印刷可能領域

  上下端 3 mm、左右端 3 mm が必要な余白です。フチなし印刷時には上下左右端の余白は 0 mm になります。フチなし印刷可能な用紙については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類」参照) →P.388

- 印刷推奨領域

  上端 20 mm、下端 5 mm、左右端 5 mm が必要な余白です。

安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために 606
規制について 608

安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために、以下の注意事項を必ずお守りください。また、本書に記載されていること以外は行わないでください。思わぬ事故を起こしたり、火災や感電の原因になります。

設置場所について

警告

- アルコール·シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が内部の電気部品に触れると火災や感電の原因になります。

注意

- 不安定な場所や振動のある場所に設置しないでください。プリンタが落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる場所、高温や火気の近くには設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。周囲の温度が 15〜30℃、湿度が 10〜80%(結露しないこと)の範囲の場所でお使いください。
- 毛足の長いジュータンやカーペットなどの上に設置しないでください。プリンタ内部に入り込んで火災の原因になることがあります。
- いつでも電源コードが抜けるように、コンセントの回りには物を置かないでください。万一プリンタに異常が起きたとき、すぐに電源コードが抜けないため、火災や感電の原因になることがあります。
- 強い磁気を発生する機器の近くや磁界のある場所には設置しないでください。誤動作や故障の原因となることがあります。

電源について

警告

- 濡れた手で電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- 電源コードは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。差し込みが不十分だと、火災や感電の原因になります。
- 同梱されている電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。また、同梱されている電源コードを他の製品に使用しないでください。
- 電源コードを傷つける、加工する、引っ張る、無理に曲げるなどのことはしないでください。また電源コードに重い物をのせないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。
- ふたまたソケットなどを使ったタコ足配線は行わないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりして使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントに溜まったほこりや汚れを、乾いた布で拭き取ってください。ほこり、湿気、油煙の多いところで、電源プラグを長期間差したままにすると、その周辺に溜まったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。

注意

- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。コードを引っぱると電源コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。
- 延長コードは使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- AC100〜240V 以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。なおプリンタの動作条件は次のとおりです。この条件にあった電源でお使いください。
  電源電圧: 100V
  電源周波数: 50/60Hz

万一異常が起きたら

警告

- 万一、煙が出たり変な臭いがするなどの異常が起こった場合、そのまま使用を続けると火災や感電の原因になります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源コードをコンセントから抜いてください。そしてお近くの販売店までご連絡ください。

清掃のときは

警告

- 清掃のときは、水で湿した布を使用してください。アルコール・ベンジン・シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。プリンタ内部の電気部品に接触すると火災や感電の原因になります。

注意

- 清掃のときは、電源コードをコンセントから抜いてください。誤って電源スイッチを押してしまうと、作動した内部の部品に触れてけがの原因になることがあります。

心臓ペースメーカをご使用の方へ

警告

- 本製品から微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカをご使用の方は、異常を感じたら本製品から離れてください。そして、医師にご相談ください。

プリンタを持ち運ぶときは

注意

- プリンタを持ち運ぶときは、必ず 3 人以上で左右と背面から持ち、腰などを痛めないように注意してください。
- プリンタを持ち運ぶときは、左右底面と背面の運搬用取っ手をしっかりと持ってください。他の場所を持つと不安定になり、落としてけがをする場合があります。

プリントヘッド、インクタンク、メンテナンスカートリッジについて

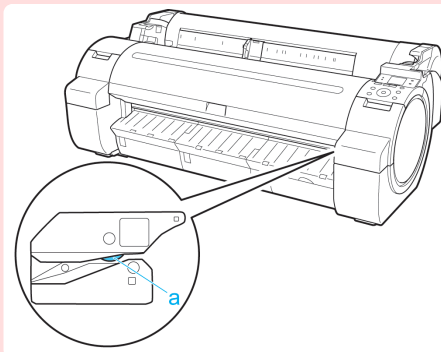
注意

- 安全のため子供の手の届かないところへ保管してください。誤ってインクをなめたり飲んだりした場合には、ただちに医師にご相談ください。
- インクが目に入ってしまった場合は、すぐに水で洗い流してください。
  インクが皮膚に付着した場合は、すぐに水や石けん水で洗い流してください。
  万一、目や皮膚に刺激が残る場合は、直ちに医師にご相談ください。
- プリントヘッド、インクタンク、メンテナンスカートリッジを落としたり振ったりしないでください。インクが漏れて衣服などを汚すことがあります。
- 印刷後、プリントヘッドの金属部分には触れないでください。熱くなっている場合があり、やけどの原因になることがあります。

その他

警告

- プリンタを分解・改造しないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因になります。
- プリンタの近くでは可燃性のスプレーなどは使用しないでください。スプレーのガスが内部の電気部分に触れて、火災や感電の原因になります。
- カッターユニットの刃(a)の部分に触れないでください。けがの原因になります。

注意

- 印刷中はプリンタの中に手を入れないでください。内部で部品が動いているため、けがの原因になることがあります。
- プリンタの上にクリップやホチキス針などの金属物や液体・引火性溶剤(アルコール・シンナーなど)の入った容器を置かないでください。プリンタ内部に落ちたりこぼれたりすると、火災や感電の原因になることがあります。
- 万一、異物(金属片・液体など)がプリンタ内部に入った場合は、プリンタの電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、お近くの販売店までご連絡ください。そのまま使用を続けると火災や感電の原因になることがあります。

重要
- インタフェースケーブル類は正しく接続してください。コネクタの向きを間違えて接続すると、故障の原因になります。
- 印刷中は、部屋の換気を行なってください。
- 設置には十分なスペースを確保することをお勧めします。

規制について

商標について

- Canon、Canon ロゴ、imagePROGRAF は、キヤノン株式会社の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows は、アメリカ合衆国およびその他の国で登録されている Microsoft Corporation の商標です。
- Macintosh は、アメリカ合衆国およびその他の国で登録されている Apple Inc.の商標です。
- その他、このマニュアルに記載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

著作権について

- 製品マニュアルの内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。

カラープリンタの使用に関する法律について

- 紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。
関連法律：刑法 第 148 条、第 149 条、第 162 条 通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条 等

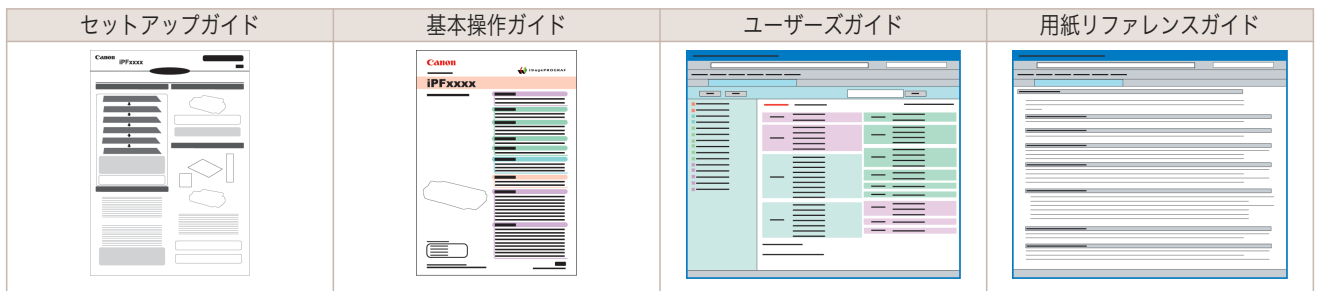
本プリンタのマニュアル

本プリンタのマニュアル 609
この製品マニュアルについて 609

本プリンタのマニュアル

本プリンタのマニュアルには、つぎのものがあります。

名前	内容	形態
セットアップガイド	プリンタの開梱から設置、ソフトウェアと電子マニュアルのインストールの手順が記載されています。	紙マニュアル
基本操作ガイド	プリンタの基本的な使い方について記載されています。	
ユーザーズガイド	プリンタを操作するうえでの詳しい操作方法が記載されています。	電子マニュアル
用紙リファレンスガイド	プリンタで使用できる用紙の種類や仕様が記載されています。	

セットアップガイド	基本操作ガイド	ユーザーズガイド	用紙リファレンスガイド

この製品マニュアルについて

- マークについて

この製品マニュアルでは、安全のためにお守りいただきたいことや取り扱い上の制限、注意などの説明に、以下のマークを付けています。

	警告	取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。
	注意	取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
	重要	操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルや故障、物的損害を防ぐために、必ずお読みください。
	メモ	操作の参考となる情報や、特定のテーマに関する補足情報を記載しています。

- ボタン名や画面上の表示項目について

この製品マニュアルでは、操作パネル上のキーやボタンの名称、ソフトウェアの画面上の項目（メニューやボタンなど）などを以下のように表しています。

操作パネル上のキー	（例）［OK］キーを押します。
操作パネルのディスプレイの表示	（例）［ヘッドクリーニング］と表示されます。
ソフトウェアの画面上の項目（メニューやボタンなど）	（例）［OK］をクリックします。
キーボード上のキー	（例）<Tab>を押します。

- 参照先について

この製品マニュアルでは、参照していただきたいページやマニュアルを、以下のように表しています。

製品マニュアル内のページへの参照	（例）「電源をオン/オフにする」を参照してください。 →P.17 リンクをクリックすると該当のページにジャンプします。
関連するマニュアルへの参照	（例）用紙リファレンスガイドを参照してください。

その他への参照	(例)プリンタドライバのヘルプを参照してください。

- イラストやソフトウェアの画面について
  - この製品マニュアルで使われている機種のイラストは、実際の機種と異なる場合があります。
  - この製品マニュアルで使われているプリンタドライバやアプリケーションソフトの画面は、ソフトウェアのバージョンアップなどにより、実際と異なる場合があります。
- お客様へご承知いただきたいこと
  - 製品マニュアルに記載した内容は、予告なしに変更する場合があります。
  - 製品マニュアルの内容については万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がございましたら、弊社までご連絡ください。

このマニュアルの使い方

トピック検索について 611
印刷用 HTML について 612

トピック検索について

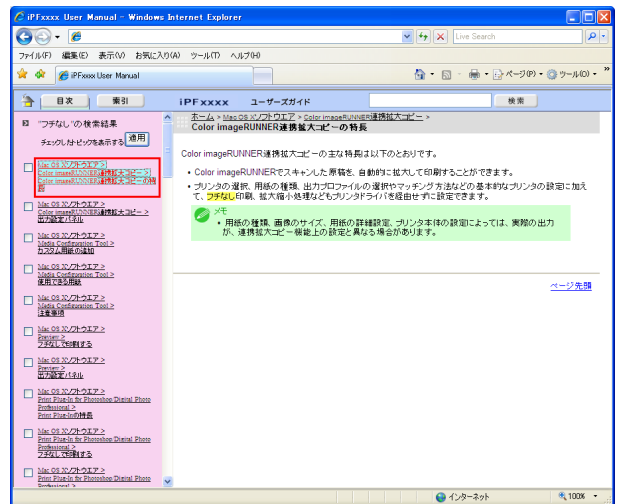
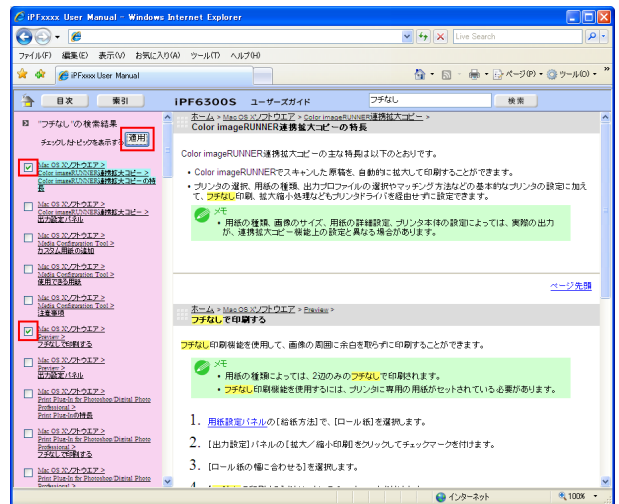
この製品マニュアルでは、用語からトピックを検索できます。

1 用語を入力して、[検索]ボタンをクリックします。

メモ

- 複数の用語で検索する場合は、用語と用語の間にスペースを入力してください。

左フレームに検索結果が表示されます。

2 確認したいトピックをクリックします。
検索した用語がマーカ表示されます。

複数のトピックを同時に確認したい場合は、確認したいトピックのチェックボックスをクリックし、[適用]ボタンをクリックします。

印刷用 HTML について

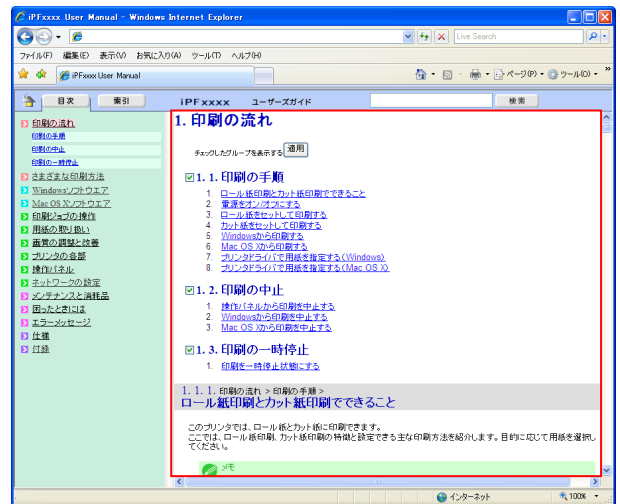
この製品マニュアルでは、目次の項目ごとにまとめて印刷したり、小項目を指定して印刷したりできます。
ここでは、[印刷の流れ]に関する内容を例に説明します。

印刷する項目をまとめて指定する

目次の大項目のタイトルから印刷用 HTML を開くと、印刷したい項目をまとめて指定できます。

1. 目次の大項目、ここでは[印刷の流れ]をクリックします。

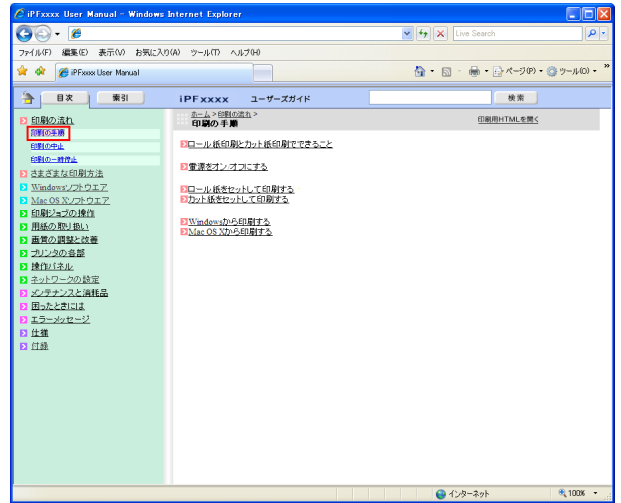
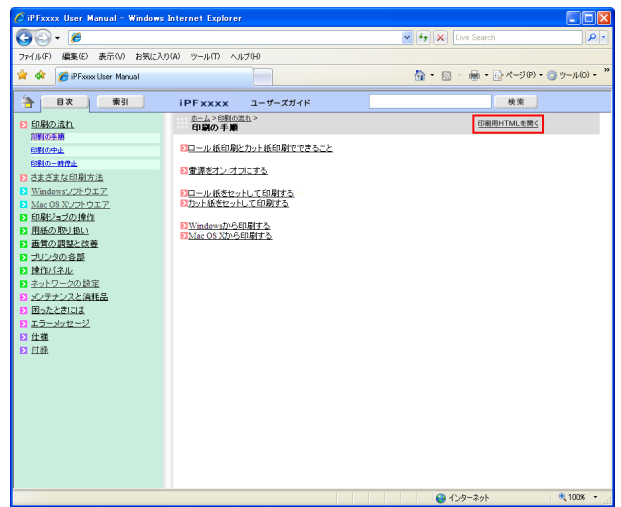
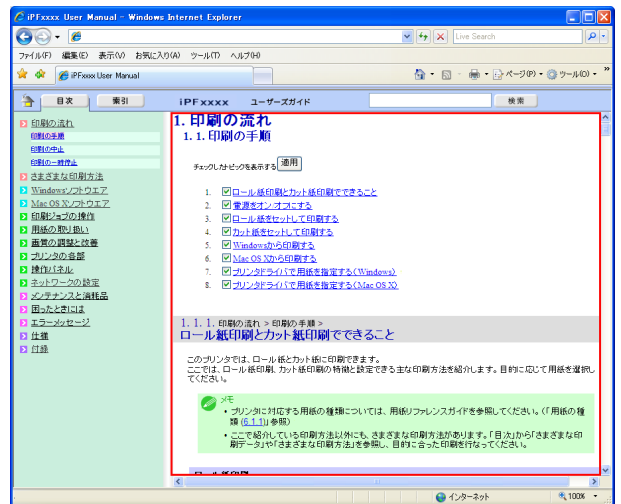
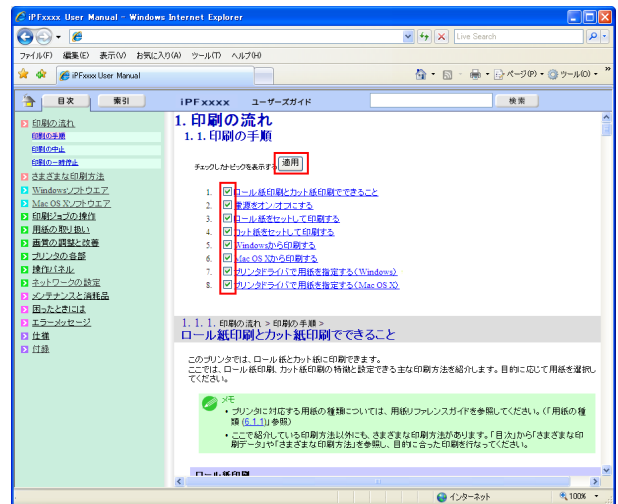
2. タイトル部分に表示される[印刷用 HTML を開く]をクリックします。

[印刷の流れ]内の項目をまとめた、印刷用の HTML が表示されます。

3 印刷しない項目のチェックを外し、[適用]ボタンをクリックします。

印刷する項目を小項目ごとに指定する

目次の中項目のタイトルから印刷用 HTML を開くと、印刷したい小項目ごとに指定できます。

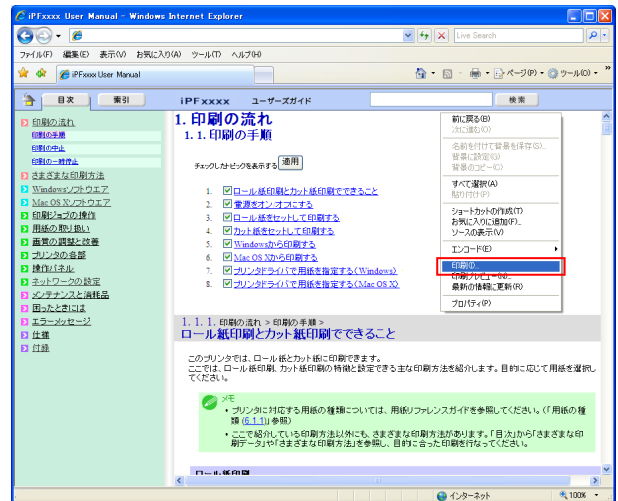
1 目次の大項目、ここでは[印刷の流れ]をクリックします。

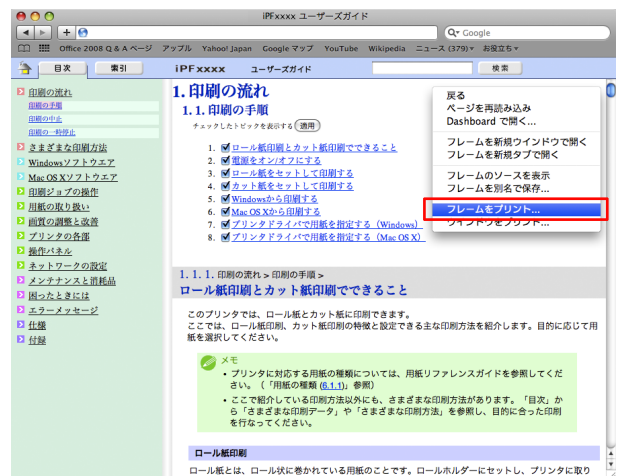
2 [印刷の流れ]の下の項目、ここでは[印刷の手順]をクリックします。

3 タイトル部分に表示される[印刷用 HTML を開く]をクリックします。

[印刷の手順]内の項目をまとめた、印刷用の HTML が表示されます。

4 印刷しない項目のチェックを外し、[適用]ボタンをクリックします。

指定した項目を印刷する

以下の方法で、指定した項目を印刷します。

1 お使いの OS に合わせて、以下の手順で印刷ダイアログボックスを開きます。

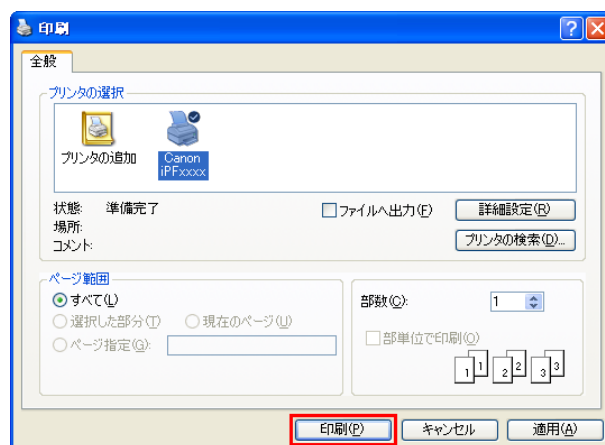
- **Windows の場合**

Windows では、この説明の部分で画像やリンク以外の場所を右クリックし、[印刷]を選択して[印刷]ダイアログボックスを開きます。

- **Macintosh の場合**

Macintosh では、この説明の部分で画像やリンク以外の場所を、Control キーを押しながらクリックし、表示されたメニューから[フレームをプリント]を選択し、[印刷]ダイアログボックスを開きます。

2 必要な条件を設定して、[印刷](Windows)または[プリント](Macintosh)をクリックします。

- Windows の場合

- Macintosh の場合

メモ

- 表示されている各説明の部分だけを印刷するには、この方法で印刷してください。

9

90 度回転 ... 133, 134, 187, 325

A

AppleTalk ネットワーク ... 490, 492

B

Bonjour ネットワーク ... 489, 567

C

CAD ... 42, 47, 48
Color imageRUNNER 連携拡大コピー ... 213, 214, 353, 354

D

Device Setup Utility ... 271, 481, 569

G

GARO Wxxxx(x は数字) ... 596

I

IP アドレスを設定 ... 271, 473, 474

N

NetWare ネットワーク ... 480, 485, 566
NetWare プリントサービス ... 483

P

PosterArtist ... 39

あ

アカウンティング ... 261, 262, 265, 268

い

異常音 ... 572
色調整 ... 167, 170, 317, 337
インク乾燥時間 ... 404
インク残量検知機能 ... 573
インクタンクの交換時期 ... 521
インクタンクの残量を確認 ... 521
インクタンクを交換 ... 516
インクの残量 ... 589
印刷できない ... 566, 567
印刷の設定 ... 157, 290
印刷領域 ... 602
印刷を中止 ... 24, 25
インタフェース ... 454
インタフェース設定 ... 454

う

上カバー内部を清掃 ... 537

え

エラーメッセージ ... 559

お

横断幕 ... 96, 100, 237, 248
送り量 ... 507, 511, 587
オーバーサイズ ... 75

か

カット紙印刷 ... 16, 584, 585
カット紙をセットして印刷 ... 21
カット紙を取り外す ... 418
紙送り調整 ... 507, 591

き

給紙口内部 ... 550
吸着力 ... 513

こ

交換時期 ... 535

し

処理オプション ... 177, 257
仕様 ... 600
自動配置 ... 205, 349

す

スタンプ ... 143, 144
ステータスプリント ... 452

せ

清掃 ... 607
設定プレビュー ... 291

た

垂れ幕 ... 96, 100, 237, 248

ち

中央に印刷 ... 124, 126, 128, 130, 190, 324
長尺印刷 ... 96, 100

つ

つまりを取り除く ... 550, 552, 554

て

定形外の用紙 ... 103, 106
電源 ... 17, 572, 606
電源をオンにする ... 17

な

長さ調整 511
ナビ 431

ね

ネットワーク環境 468

の

ノズル 523

は

ハードウェアエラー 596
バスケットを使用 419

ふ

フリーレイアウト 192, 194
フレームタイプ 480
分割して印刷 121
プリンタドライバで色を調整 50
プリンタドライバで用紙を指定 30, 155, 289
プリンタドライバの設定項目 154, 288
プリンタドライバを削除 568
プリンタの外装を清掃 537
プリンタのメニュー 434
プリンタの輸送の準備 541
プリントヘッド 500, 523, 524, 525, 560, 592, 607

へ

ヘッドクリーニング 592
ヘッド高さ 505

ほ

本体輸送 541

め

メニューの階層 438
メニューを操作する 435
メンテナンスカートリッジ 531, 535, 572, 594, 607

ゆ

ユーザ用紙設定 174

よ

用紙カット 586
用紙の種類を選択 30

り

リモートUI 471, 477, 485

ろ

ロール紙印刷 16, 583, 584
ロールホルダー 393, 402, 466, 588